NEC

Color MultiWriter 9700C
カラーレーザプリンタ

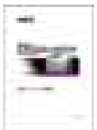


活用マニュアル（印刷用）

活用マニュアル（印刷用）について

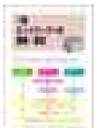
このColor MultiWriter 9700Cには、ユーザーズマニュアルと活用マニュアル（閲覧用）の2種類のマニュアルがあります。本書は、活用マニュアル（閲覧用）と同じ内容を記載してある、印刷用としてのマニュアルです。本書の印刷したい章を以下から選び、イメージアイコンをクリックするとAcrobatReaderでご希望の章を開くことができます。本書の印刷の仕方については「はじめに」の「本書を印刷するには」（viiページ）をご覧ください。

はじめに
本書をお読みいただくために、知っておいていただきたい内容、目次、また、便利な使い方「MOPYING」について記載しています。



こちら↑

1章　ネットワークへの接続・設定
操作パネルまたはユーティリティーを使ったIPアドレスの設定方法、IPP、LPR（TCP/IP）を使った印刷方法について説明します。



こちら↑

2章　メニューモード
操作パネル上のスイッチを使って設定できるメニューモードの詳細について説明しています。



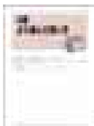
こちら↑

3章　プリンタードライバー
印刷の手順と、印刷の詳細を設定するためのプロパティダイアログボックスの概要を説明します。



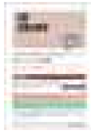
こちら↑

4章　より進んだ使い方
プリンターソフトウエアを使った、便利な印刷機能について詳しく説明しています。



こちら↑

5章　日常の保守
消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。



こちら↑

6章　故障かな？と思ったら
「故障かな？」と思ったときの症状を基に、原因と処置方法を説明します。



こちら↑

付録　技術情報
このプリンターの性能、印刷範囲や制御コードなどの詳しい技術情報について説明しています。



こちら↑

用語解説・索引
わからない用語の解説や、索引があります。



こちら↑

893-810030-002-A　第3版

プリンターに添付で、本書の他にあるユーザーズマニュアルには以下のことが書かれています。必要に応じて併せてお読みください。

ユーザーズマニュアルの概要

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

2003年6月　初版
2004年5月　第3版

893-810030-002-A　第3版

NEC

Color MultiWriter 9700C

カラーレーザプリンタ



活用マニュアル（印刷用）

893-810030-002-A
第3版

このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、印刷してお手元に置くことをお勧めします。

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。
このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

マニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

警告	指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
注意	指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起　注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		火傷を負うおそれがあることを示します。
	爆発するおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	感電のおそれがあることを示します。		

行為の禁止

行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

記号	内容	記号	内容
	プリンターを分解・修理・改造しないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。**感電**するおそれがあります。
	火気に近づけないでください。**発火**するおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと**感電や発火**のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。**感電や火傷などの傷害**が起こるおそれがあります。		

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

記号	内容	記号	内容
	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電や火災**のおそれがあります。		アース線を接続してください。**感電や火災**のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、FontAvenueは日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Netscape、Netscape Navigatorは米国 Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
i486は米国Intel Corporationの商標です。
HPは米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXはThe Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。
Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderおよびPhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。
MULTIWRITER、PrintAgent、MOPYING、NMPS、DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。
その他、記載されている会社名・製品名は、各社の登録商標または商標です。

OSの表記について

このマニュアルではOSを以下のように略して表記しています。
Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard EditionおよびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Editionの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Advanced ServerはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0,Terminal Server Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。
また、Windows Server 2003について特記がない場合は、Windows XPと読み替えてください。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

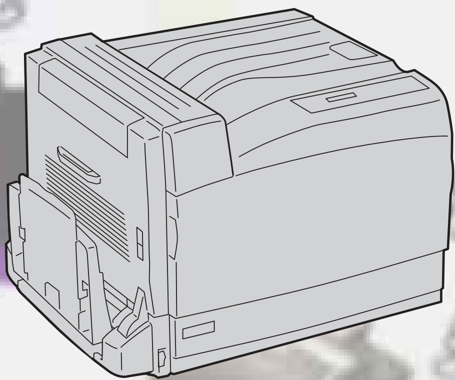
Color MultiWriter 9700Cは、高性能CPUと専用描画プロセッサーを搭載することにより高速な印刷を可能にした、NECが提唱する「MOPYING」に適したプリンターです。

以下のような特長を持っています。

- 最高24ページ/分の印刷速度（A4サイズ横の場合）
- 9,600dpi 相当×600dpiの高品位の印刷を実現
- ネットワークインターフェース標準装備
- 両面印刷機能を実現（オプションの両面印刷ユニット装着時）
- 最大給紙容量2,420枚（オプションの増設ホッパ（500×3）装着時）
- ハードディスク（オプション）に蓄えられたデータを使った電子ソート、認証印刷
- ウォームアップタイム30秒の高速起動

また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただける印刷統合管理ソフトウエア「PrintAgent」に対応しています。PrintAgentにより、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、より快適な「MOPYING」を実現しています。

MOPYINGについては、『プリンティングスタイル「MOPYING」とは』（9ページ）をお読みください。

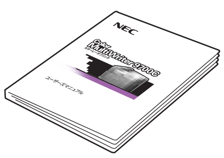


2003年 6月　初版
2004年 5月　第3版

マニュアルの種類と使い方

Color MultiWriter 9700C本体や付属のプリンターソフトウエアの取り扱い方法を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル」と「活用マニュアル」があります。

活用マニュアルは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの［MANUAL］フォルダーに収録されており、閲覧用（HTML）と印刷用（PDF）のファイルがあります。また、各プリンターソフトウエアの詳細については画面上の「ヘルプ」をご覧ください。



Color MultiWriter 9700C　ユーザーズマニュアル

プリンターのセットアップから、プリンターの基本的な操作方法、および困ったときの対処方法などを、この1冊で説明しています。本書はいつでもご覧になれるようにお手元に置いてください。



閲覧用

Color MultiWriter 9700C　活用マニュアル

ネットワーク環境で印刷する場合の設定方法、プリンターソフトウエアやメニューモードの詳細、および技術情報などについて説明しています。

活用マニュアルには、汎用のブラウザーで閲覧できるHTML形式を採用した「活用マニュアル（閲覧用）」と、Adobe社のAcrobat Readerで参照および印刷できるPDF形式を採用した「活用マニュアル（印刷用）」（本書） があります。ご使用の目的に応じて活用してください。



印刷用（本書）

「活用マニュアル（閲覧用）」の開き方についてはviiiページ、活用マニュアル（印刷用）の印刷方法についてはviiページをご覧ください。

活用マニュアルについて

「活用マニュアル（印刷用）」（本書）を印刷する方法、「活用マニュアル（閲覧用）」をブラウザーで開く方法についてはこちらをご覧ください。

チェック

活用マニュアルに記載されている「安全にお使いいただくために」にはプリンターを安全にお使いいただくための注意事項が記載してあります。必ずお読みください。

本書を印刷するには

このマニュアルはA4サイズの大きさで作成されています。ここではWindows XPの環境でColor MultiWriter 9700Cを使って活用マニュアル（印刷用）を両面印刷する手順を説明します。他のOSをお使いの方は多少画面表示が異なりますが、手順は同じです。

なお、両面印刷ユニット（オプション）を取り付けていない場合は、両面印刷はできません。手順❸～❺は読み飛ばしてください。この場合、片面で印刷されます。

❶ **[ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。**

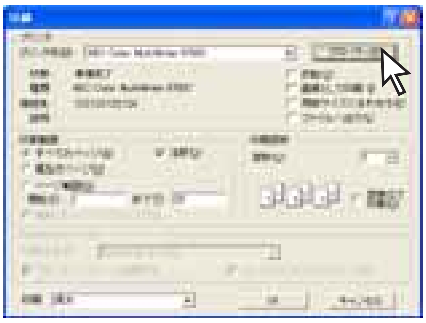
[印刷]ダイアログボックスが表示されます。



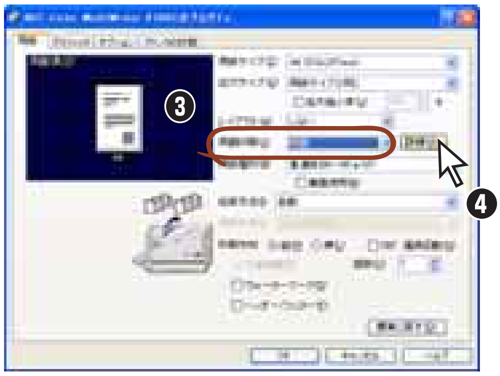
❷ **[プロパティ]をクリックする。**

プロパティダイアログボックスが表示されます。

オプションの両面印刷ユニットを取り付けていない場合は手順❻へ進んでください。



❸ **[用紙]シートの両面印刷から[両面]を選択する。**



❹ **[詳細]をクリックする。**

［両面印刷］ダイアログボックスが表示されます。

❺ **[長辺綴じ]を選択し、[OK]をクリックする。**

プロパティダイアログボックスに戻ります。



❻ **印刷部数を指定して[OK]をクリックする。**

両面印刷で出力されます。

ユーザーズマニュアルのように両面で仕上がります。

活用マニュアル（閲覧用）の開き方

活用マニュアル（閲覧用）は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されており、お手持ちのコンピューターの画面上でインターネットブラウザーを使って閲覧できます。なお、閲覧するにはブラウザーはMicrosoft Internet Explorer 5.0以上が必要です。あらかじめインストールして以下の手順を行ってください。

以下に開き方の手順を説明します。

❶ **お使いのOS（日本語版）を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

「プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー」が起動します。



お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、プリンターソフトウェアCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **[オンラインマニュアル]をクリックする。**

右側のボックスにオンラインマニュアルの名称が表示されます。



❹ **右側のボックスの[Color MultiWriter 9700C 活用マニュアル（閲覧用）]を選び、[オンラインマニュアルを読む]をクリックする。**



お使いのインターネットブラウザーが起動し、「活用マニュアル（閲覧用）」が開きます。



目次

1章　ネットワークへの接続・設定

2章　メニューモード

3章　プリンタードライバー

4章　より進んだ使い方

5章　日常の保守

6章　故障かな？と思ったら

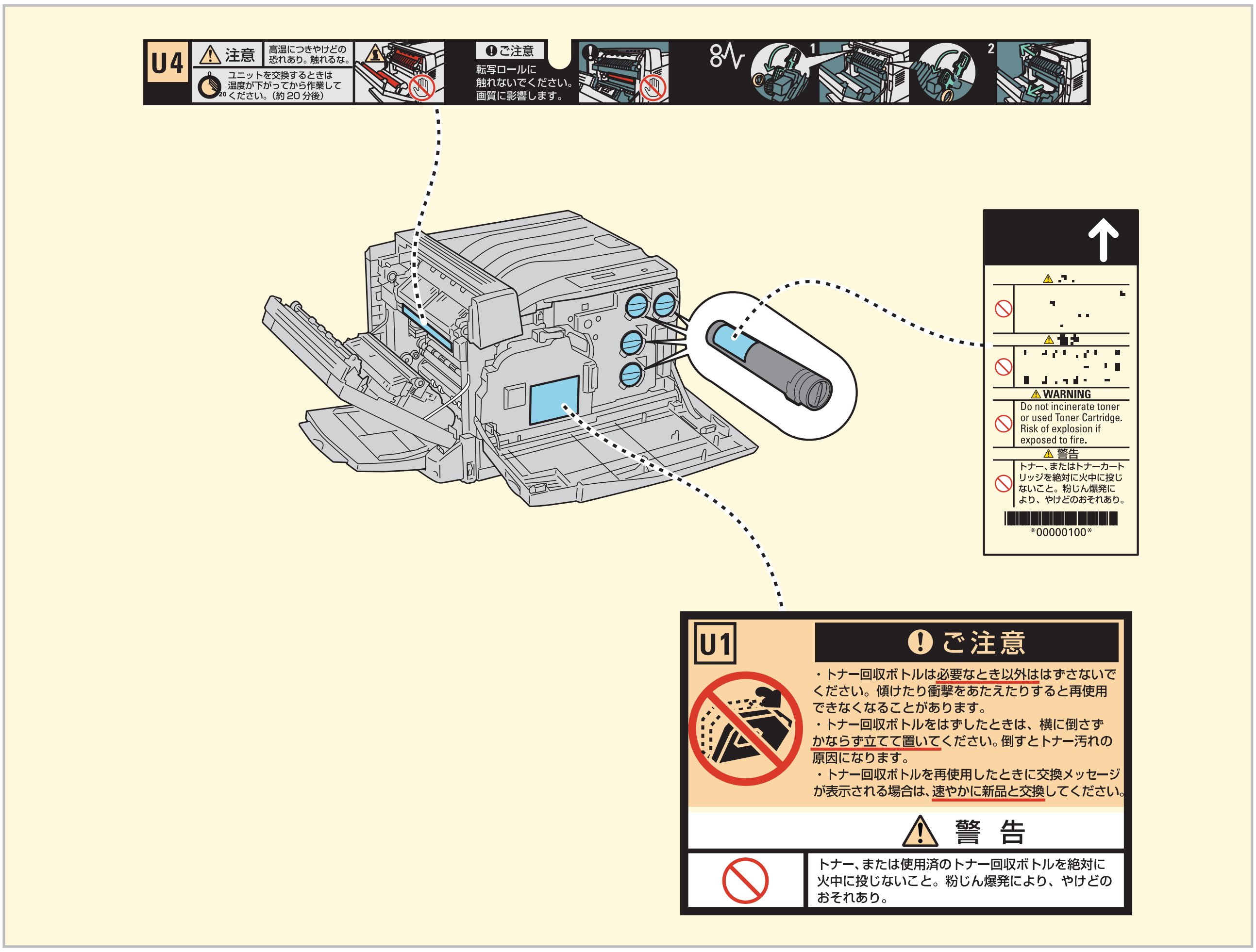
付録　技術情報

安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

Color MultiWriter 9700Cプリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店または、NECサービス窓口にご連絡ください。

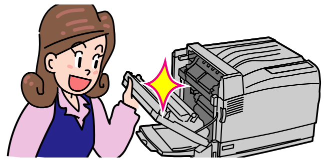


安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示」を参照してください。

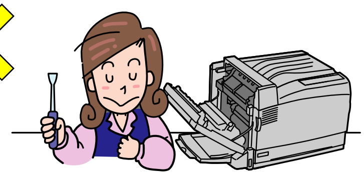
警告

プリンターの内部をのぞかない



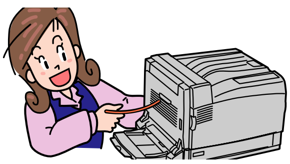
このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。（このプリンターは、JIS C 6802規格に基づくクラス1レーザー製品です。）

分解・修理・改造はしない



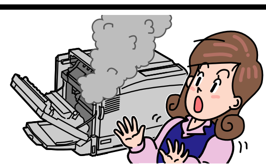
マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない



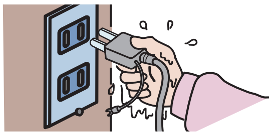
通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源OFF



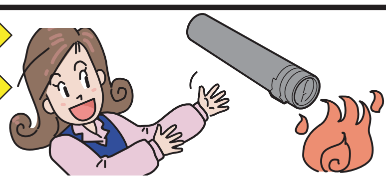
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らない



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

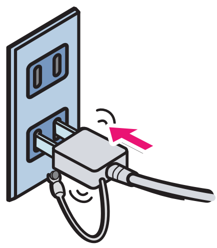
カートリッジを火の中に投げ入れない



トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、トナー回収カートリッジを火の中に投げ入れないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

警告

電源コードのアース線を取り付ける



万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、アース線を必ず次のいずれか取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）を行っている接地端子

アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また接地接続（アース線）を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースがとれない場所や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。

ただし次のようなところには絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発のおそれがあります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

掃除機でトナーを吸い取らない



床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固くしぼった布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

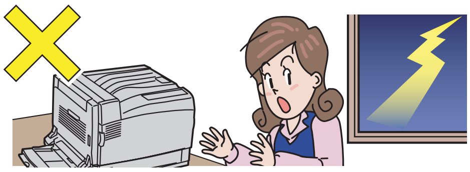
注意

壊れた液晶ディスプレイには触らない



壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

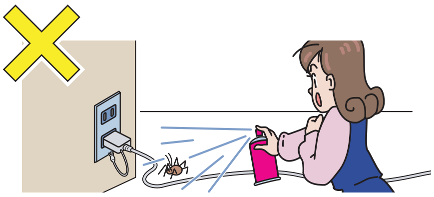
雷が鳴りだしたらプリンターに触らない



火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがありますが、この対策として交流無停電電源装置等を使用することをお勧めします。

電源コードに薬品類をかけない



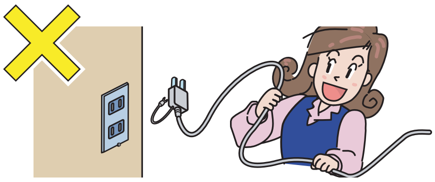
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プリンター内に異物を入れない



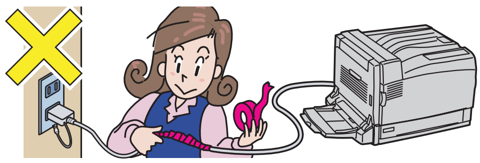
プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときはすぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない



電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

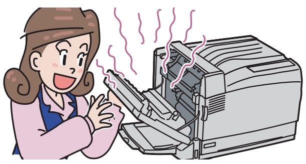
損傷した電源コードは使わない



電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。

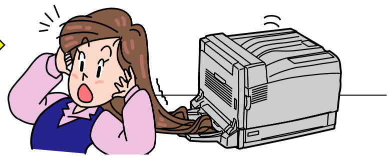
⚠注意

高温注意



プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部品があり、触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意



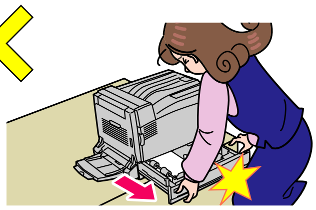
プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

目や口にトナーを入れない



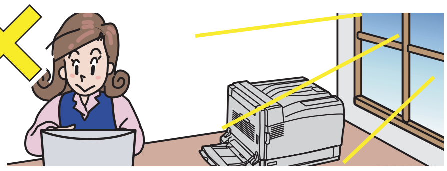
トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、トナー回収カートリッジに入っているトナーを目や口に入れないでください。トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

用紙カセットを勢いよく引き出さない



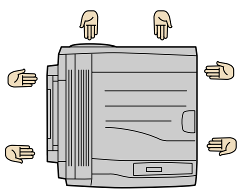
用紙カセットを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。用紙カセットを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりけがをするおそれがあります。

直射日光が当たるところには置かない



プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

プリンターを運ぶときは3人以上で

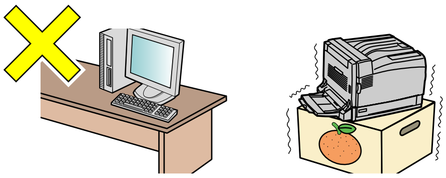


プリンターの質量は約60kgの重さがあります。（消耗品、用紙カセットを含む。）

左図の位置にある取っ手部を持って3人以上で運んでください。1〜2人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

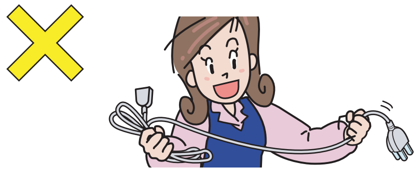
⚠注意

不安定な場所に置かない



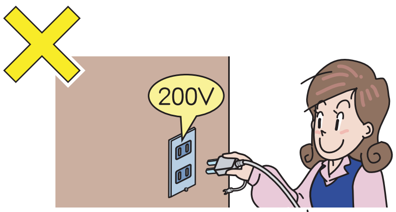
プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

専用電源コード以外は使わない



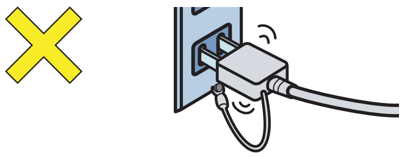
プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

100V以外のコンセントに差し込まない



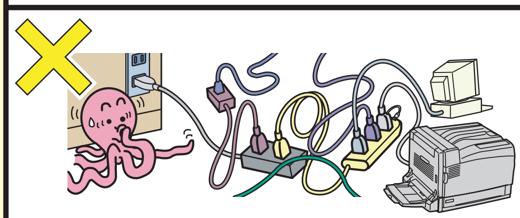
電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない



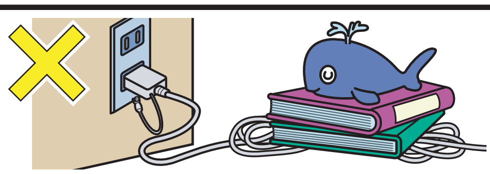
電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

延長コードを使わない



添付の電源コードのみでは届かないところには設置しないでください。コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない



電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

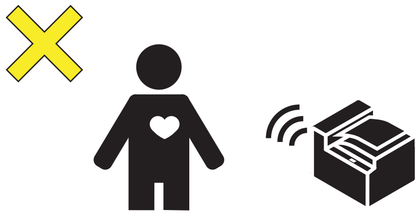
無線LANボードに関する安全上のご注意

オプションの無線LANボードを取り付けた場合の注意事項について説明します。

⚠ 警告

心臓ペースメーカーに近づけない





埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、無線LANボードをペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。心臓ペースメーカーの近くで使用するとペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。

飛行機内では使用しない



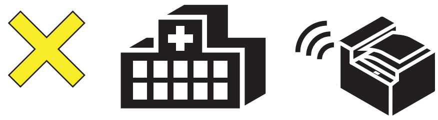


飛行機内では無線LANボードを装着したプリンターの電源は切ってください。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。

現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、無線LANボードもその該当機器となります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

使用禁止区域では使用しない



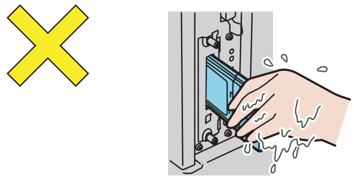


心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が無線LANボードの使用を禁止した区域では、無線LANボードを使用しないでください。また、医療機関側が無線LANボードの使用を認めた区域でも、近くで医療用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源は切ってください。

無線LANボードの電波出力は、例えば携帯電話などに比べてはるかに低く抑えられており、医療電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、医療機器が正しく動作しないおそれがあります。使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

ぬれた手で触らない

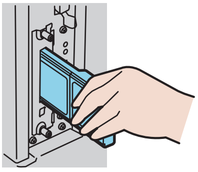




無線LANボードがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手で無線LANボードやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

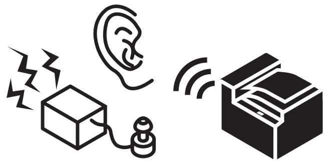
注意

無線LANカードの差し込む向きを間違えない



無線LANボードのPCカードスロットに無線LANカードを取り付けるときは、カードの向きを間違えないでください。差し込む向きを間違うと故障や発火の原因となるおそれがあります。

補聴器のそばで使用しない



補聴器を装着されている方、またはその近くで無線LANボードを使用しないでください。補聴器を装着されている方の近くで無線LANボードを使用すると、補聴器にノイズを引き起こし、事故の原因となるおそれがあります。

プリンティングスタイル

MOPYINGとは

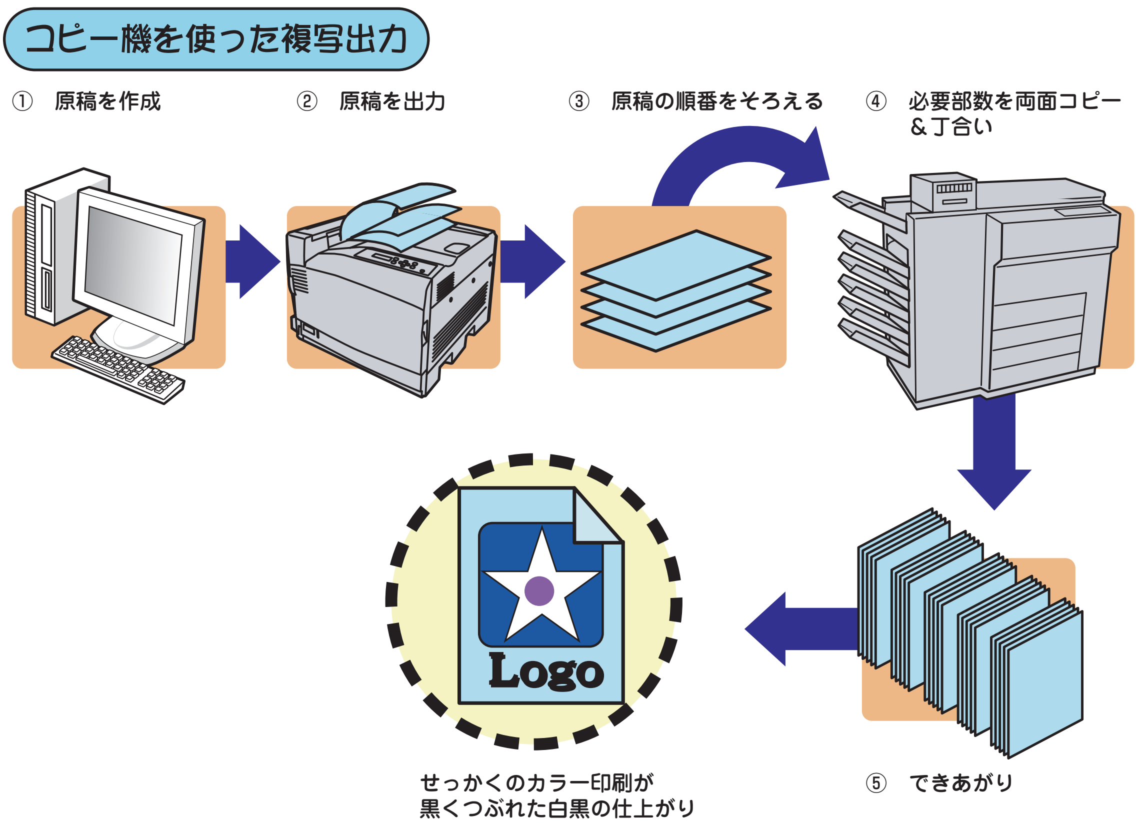
～Color MultiWriterを使って手間もコストも大幅削減！～

MOPYING（Multiple Original coPY and printING）とは、オリジナルのドキュメントをコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要部数を直接印刷する新しいドキュメント処理スタイルのことです。Color MultiWriter 9700Cに搭載されているPrintAgentの機能を使うと、Color MultiWriterをコピー機のような使い方ができるばかりでなく、手間のかかる原稿の準備作業がパソコン上でできます。
コピー機を使ってドキュメントを複数コピーする作業と比較すると、導入コストやランニングコストを低く抑えることができます。しかも、オリジナル出力なので仕上がりがきれいです。

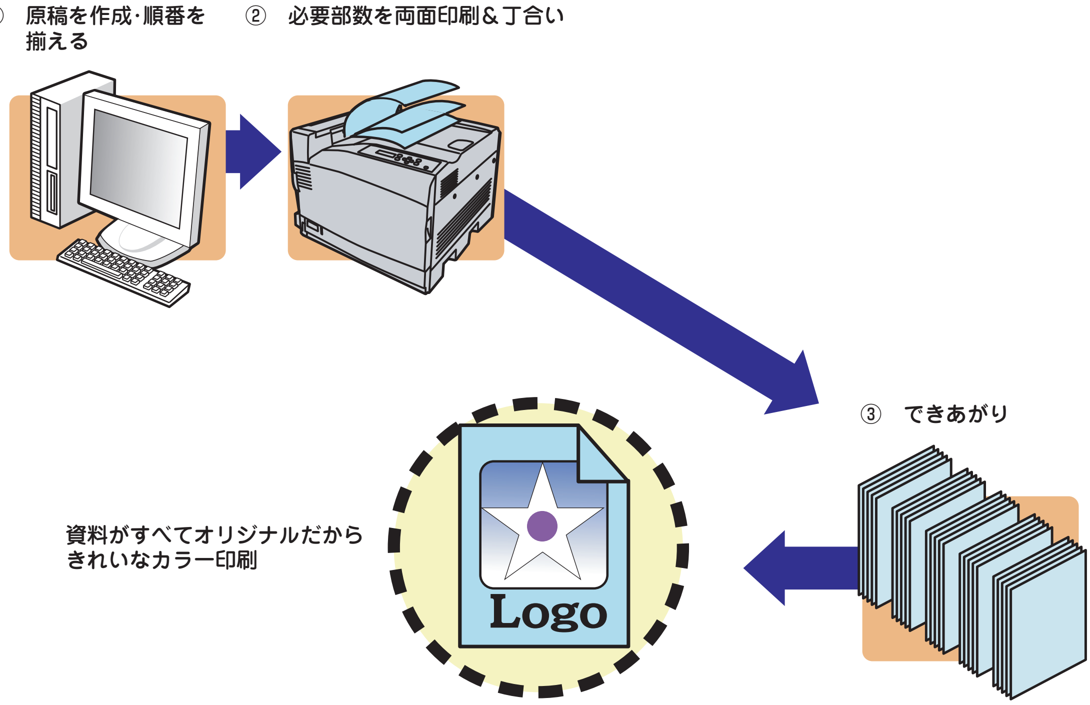
コピー機を使わずに必要部数をそのまま印刷

会議の資料は原稿をコピー機で複数コピーするのではなくColor MultiWriter 9700Cで必要部数を直接印刷することをお勧めします。Color MultiWriter 9700Cはコピー機並みの印刷速度、両面印刷機能*、丁合い機能を備えています。
原稿に合わせて、いちいちコピー機のように濃度調整をする必要がなくカラーで印刷されたものが白黒になりません。
Color MultiWriter 9700Cはカラー印刷の資料が必要部数そろいます。

* 両面印刷するにはオプションの両面印刷ユニットが必要です。



MOPYINGによるオリジナル出力



￥ コピー機よりコストが安い

Color MultiWriter 9700Cを使った場合、コピー機のような契約によるコピーチャージや定期保守費用などを必要としません。Color MultiWriter 9700Cのランニングコストは1枚あたりモノクロ印刷で約3円*、カラー印刷でも約12円*と低コストです。

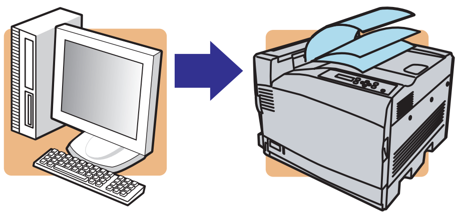
Color MultiWriter 9700Cの導入は同等機能のカラーコピー機を導入する場合と比較した場合、ランニングコストが半分以下となり、大幅な経費削減になります。

＊ 平成15年7月現在

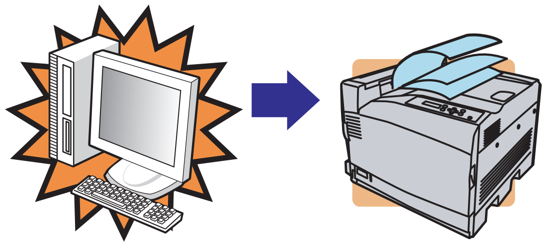
一度印刷した文書なら、すぐリプリント（再印刷）

PrintAgentの「リプリント機能」を使うと一度でも印刷したデータなら設定範囲内でパソコンのスプールフォルダーに残しておき、再印刷することができます。これを使えばいちいちアプリケーションを立ち上げずにコピー感覚ですぐ再印刷できます。
しかも、蓄えた印刷データを自由に組み合わせて再印刷することも可能です。
コピー作業のように原稿を持って席とコピー機を往復することはありません。自席でPrintAgentを使って作業は終了です。

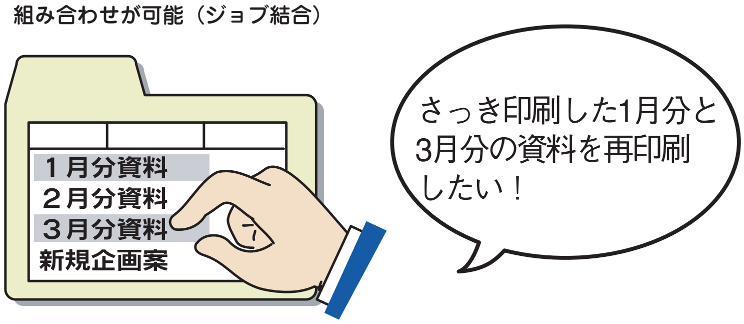
① 一度印刷したデータなら・・・



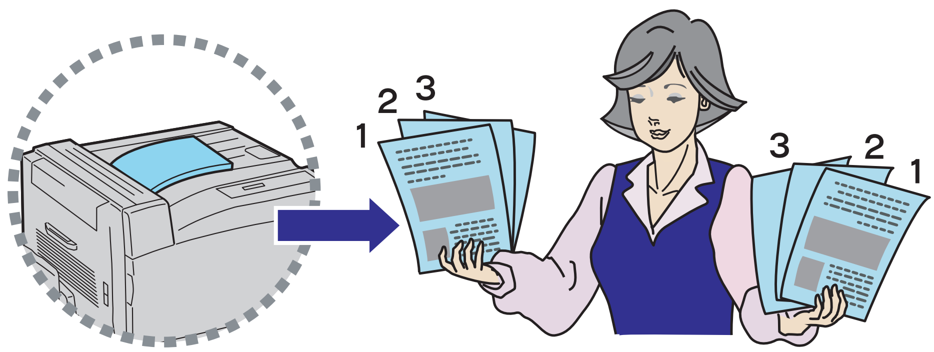
② PrintAgentが覚えているのでアプリケーションを立ち上げなくてもすぐ再印刷



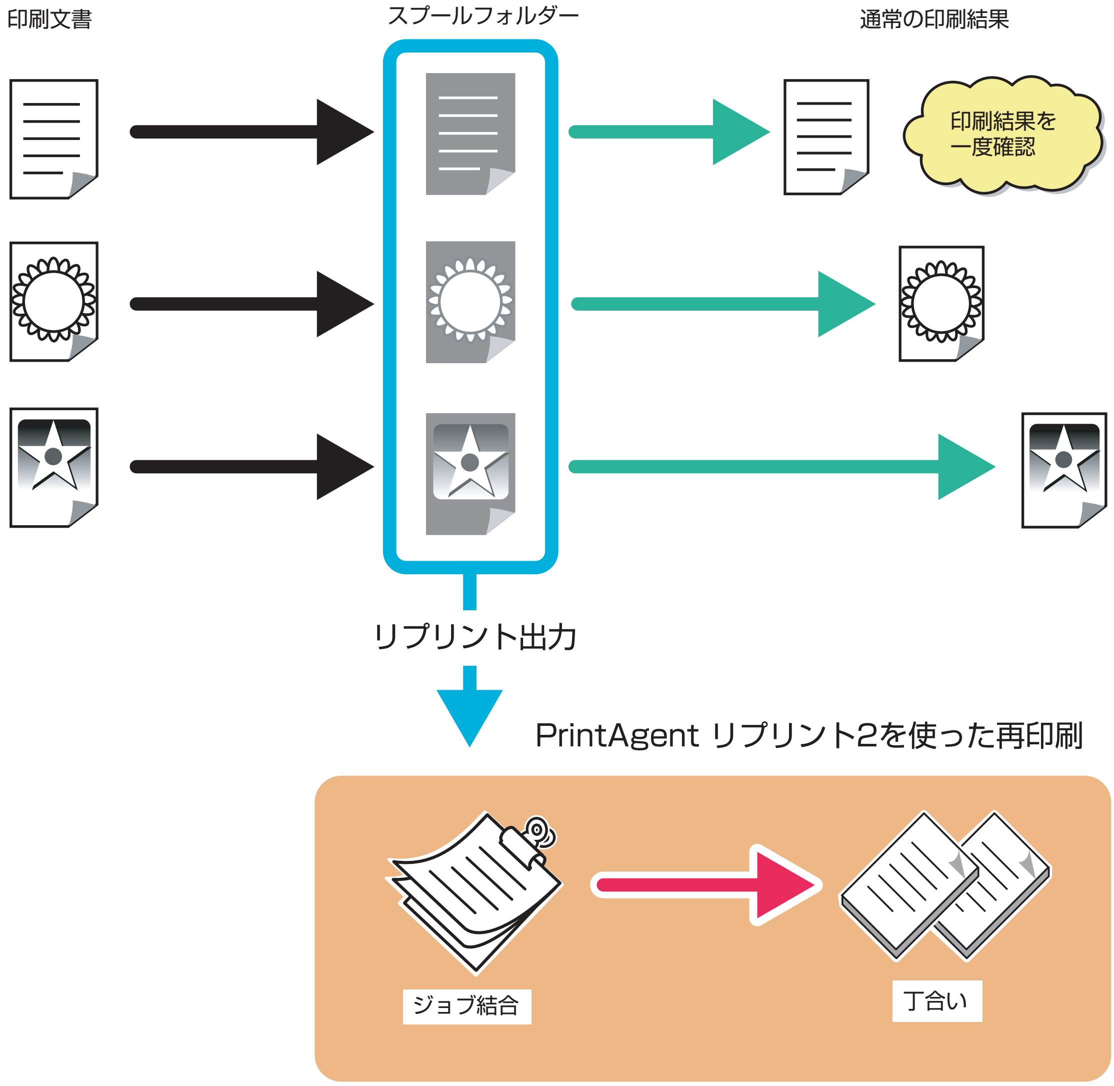
しかも、覚えているドキュメントで自由な組み合わせが可能（ジョブ結合）



さらに、再印刷する文書でも丁合いされた出力が可能です！

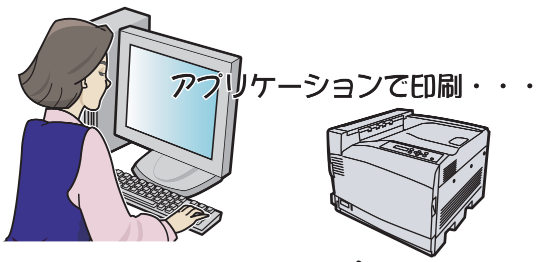


リプリント機能はColor MultiWriter 9700Cに添付されている印刷統合ソフトウエア「PrintAgent」のPrintAgent リプリント2が提供します。PrintAgent リプリント2を使ったMOPYINGのフローは以下のとおりです。

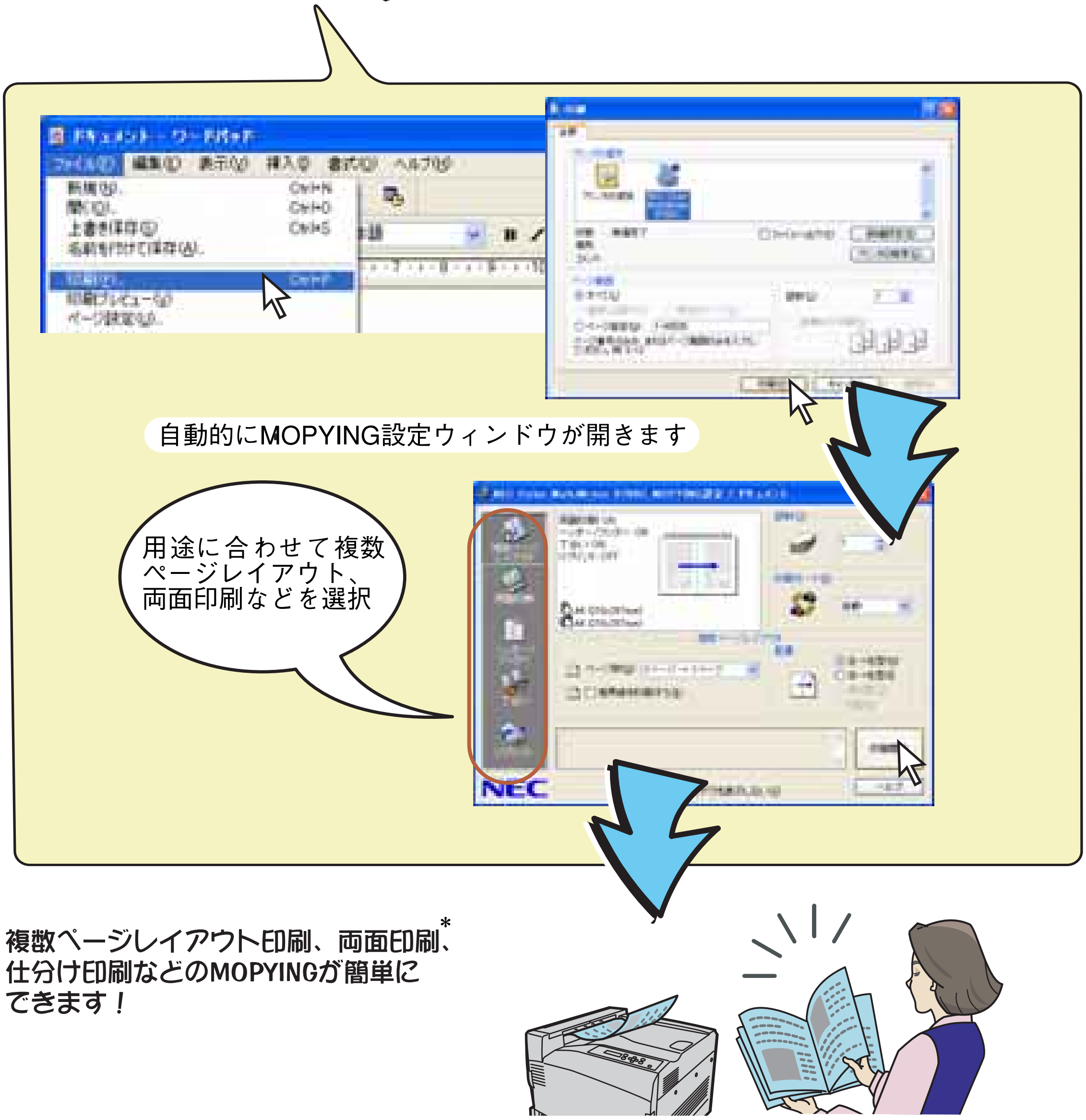


MOPYING設定ウィンドウで簡単設定

本プリンターでは、印刷開始前にプリンタードライバーのプロパティで設定を忘れても大丈夫。アプリケーションの印刷を選択した後に「MOPYING設定ウィンドウ」が表示される*ので、複数ページ印刷や両面印刷の設定が印刷開始後でも簡単に行えます。これによって、より快適にMOPYINGを実現できます。



* 標準設定ではMOPYING設定ウィンドウは表示されません。MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、プリンターソフトウエアのインストール時、またはプロパティダイアログボックスで有効にする必要があります。手順については4章の「MOPYING設定ウィンドウ」(306ページ)をご覧ください。

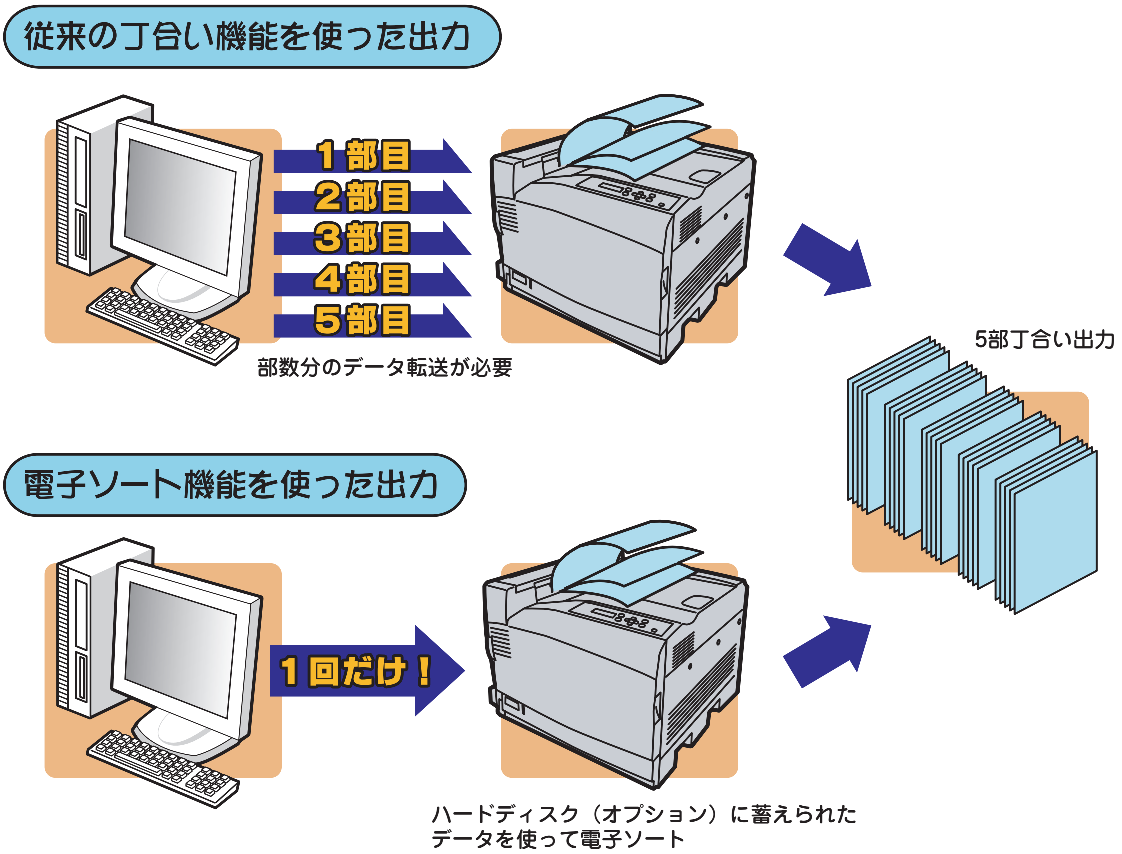


* 両面印刷ユニット(オプション)使用時。

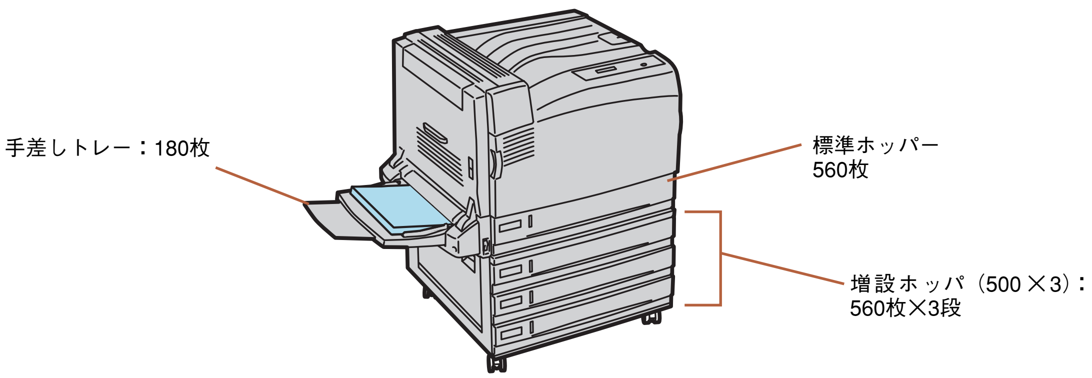
高速印刷・電子ソートですばやい仕上がり

Color MultiWriter 9700Cはコピー機さながらのモノクロ／カラー毎分最大24ページの高速印刷を実現。電子ソート機能*を使えばパソコンからプリンターへ部数分のデータ転送が不要です。プリンターのハードディスクに印刷データを蓄え、必要部数を印刷するのでトータル印刷処理時間が短縮されます。

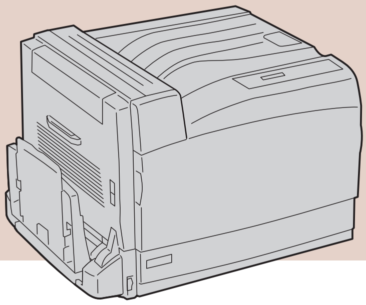
＊ 電子ソート機能を有効にする場合、ハードディスク（オプション）の装着が必要です。



Color MultiWriter 9700Cは増設ホッパ（500×3）（1,680枚）を取り付けることで、標準ホッパー、手差しトレーも合わせた用紙容量は最大2,420枚。まさにコピー機並みの用紙容量です。



1章
ネットワークへの接続・設定



この章では、Color MultiWriter 9700Cをネットワークに接続してお使いになる場合の設定方法およびネットワークユーティリティーの詳細について説明しています。また、無線LANボード使用時の注意事項についても説明しています。

お使いになるインターフェースによってお読みいただく箇所が異なります。下の図に従ってお読みください。

標準装備のLANインターフェース

無線LANボード PR-WLX-13

- 無線LANボードに関する安全上のご注意 → 17ページ
- 無線LANボードの設置 → 18ページ

LANアダプター PR-NP-03TR2 PR-NPX-05

- LANアダプターの設置 → 23ページ

↓

操作パネルによる基本設定 → 25ページ

または

ユーティリティーによるネットワークの設定→ 31ページ

↓

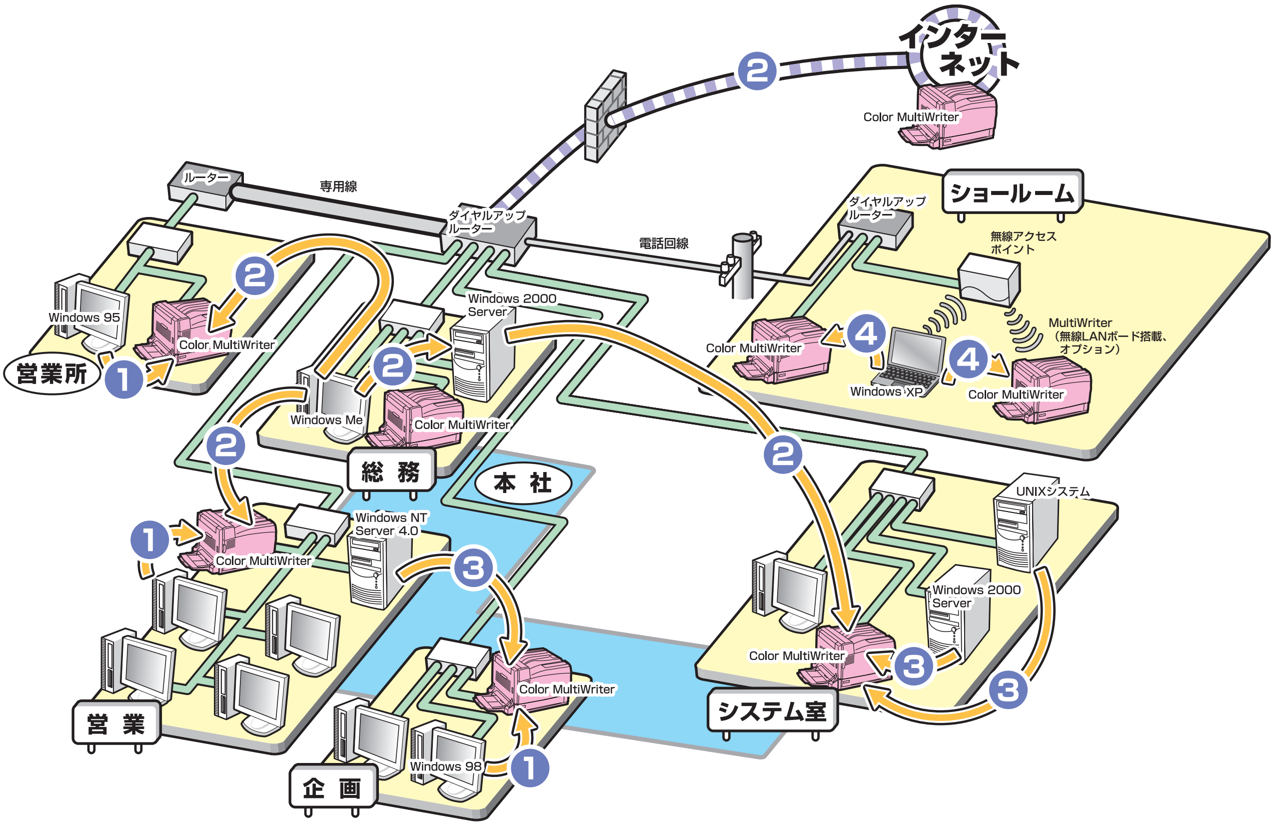
より便利なネットワーク機能 → 133ページ

↓

接続先の設定とプリンタードライバーのインストール → 17ページ

Color MultiWriterを使ったネットワーク印刷

以下にColor MultiWriterをネットワークプリンターとして使用する場合の例を示します。



❶ PrintAgent

PrintAgentは部門内、ワークグループでの使用に適した印刷管理ソフトウエアです。
丁合い、リプリント、ジョブセパレートなどの機能によりMOPYINGを快適に利用できます。

❷ IPP（Internet Printing Protocol）

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows Meで標準サポートされたインターネット印刷プロトコルです。印刷先をURLで指定することでインターネットに接続されている遠隔地のプリンターまたはWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000のIPPサーバーを経由して印刷することができます。Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0用にはNEC Internet Printing Systemを使うことで利用できます。

❸ LPR

UNIXシステムネットワークで標準の1つとして利用されている印刷プロトコルです。
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0に標準で搭載されています。

❹ NEC TCP/IP Printing System（NEC Network Port）

NEC製のプリンターやネットワークオプションが使用できるプリンターで共通して使用できる印刷方式です。
PrintAgentソフトウエアと共に使用することでプリンターとの双方向通信を実現します。

無線LANボードに関する安全上のご注意

ここでは、無線LANボードを安全にお使いいただくための注意事項について説明します。注意事項の内容をよく読んでご理解いただき、無線LANボードをより安全にご活用ください。

警告

- 心臓ペースメーカーに近づけない

  埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、無線LANボードをペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。心臓ペースメーカーの近くで使用するとペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。

- 使用禁止区域では使用しない

  心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が無線LANボードの使用を禁止した区域では、無線LANボードを使用しないでください。

  また、医療機関側が無線LANボードの使用を認めた区域でも、近くで医療用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源を切ってください。

  無線LANボードの電波出力は、例えば携帯電話などに比べてはるかに低く抑えられており、医療電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、医療機器が正しく動作しないおそれがあります。使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

- 飛行機内では使用しない

  飛行機内では、無線LANボードを装着したプリンターの電源を切ってください。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、無線LANボードもその該当機器となります。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがありますので、詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

- ぬれた手で触らない

  無線LANボードがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手で無線LANボードやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

ネットワークオプションの設置

オプションの無線LANボード（型番 PR-WLX-13）またはLANアダプタ（TCP/IP）（型番 PR-NP-03TR2）で本プリンターをネットワークに接続する場合は、以下の手順に従って無線LANボードまたはLANアダプターを取り付けた後、「操作パネルによる基本設定」（25ページ）または「ユーティリティーによるネットワークの設定」（31ページ）を参照して必要な設定をしてください。

無線LANボードの設置

ここでは、オプションの無線LANボード（型番 PR-WLX-13）の設置方法を説明します。

無線LANボードの取り付け

次のStep1からStep3の手順に従って無線LANボードを取り付けてください。

Step1　無線LANボードの取り付け

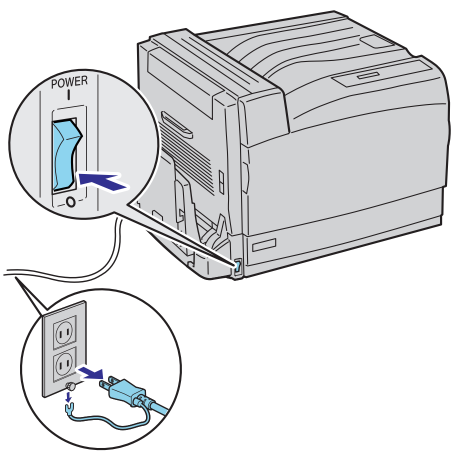
チェック

無線LANボードは大変デリケートな電子部品です。無線LANボードを取り扱うときは、プリンター後面のセントロニクスインターフェースコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

❶ プリンターの左側にある電源スイッチの［○］側を押して電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜く。

注意

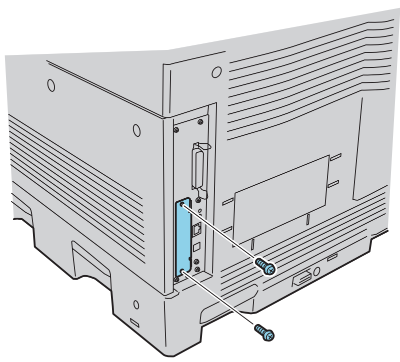
電源プラグは必ず電源コンセントから抜いてください。電源プラグを接続したまま取り付けると故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。



❷「インタフェース3」と刻印されたスロットからネジ2本を外して、プレートを取り外す。

チェック

インターフェース3スロットのプレートおよびネジは大切に保管しておいてください。ボードを取り外し、プリンターを元に戻すときに必要です。

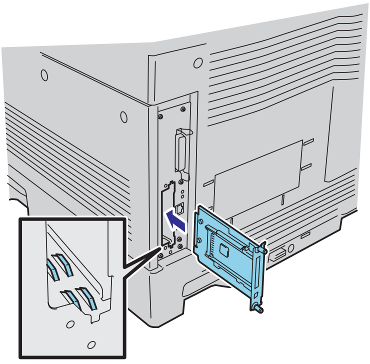


❸ **ネジがついている方を手前にして、図のようにガイドレールに沿って無線LANボードを両手で差し込む。**

手ごたえがあるまで押し込みます。

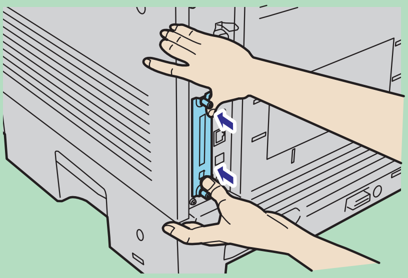
⚠ 注意

- 無線LANボードを差し込む際、指や手をはさまないようにゆっくり作業してください。
- 無線LANボードを強く押し込むと、プリンターが倒れてけがをするおそれがあるので十分注意してください。

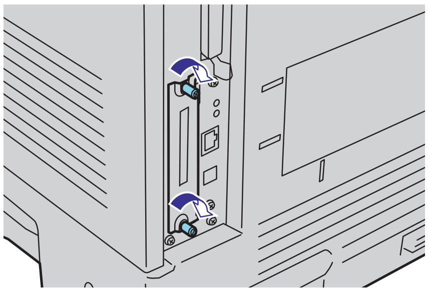


チェック

図のようにプリンターのリアカバーに手をかけながら無線LANボードの上下に親指をあてて、水平に押してください。



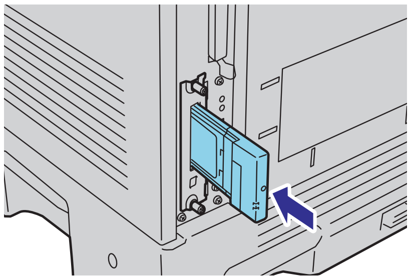
❹ **無線LANボードにあるネジ2本でプリンターに固定する。**



❺ **無線LANカードを無線LANボードのスロットに差し込む。**

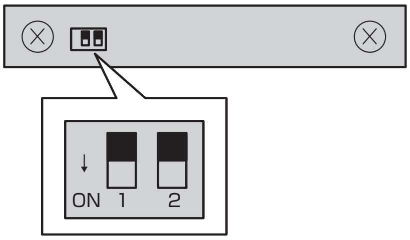
⚠ 注意

- 無線LANカードを差し込む際、指や手をはさまないようにゆっくり作業してください。
- MACアドレスが記載されているラベルが貼られている面を装置背面から見て右にして、カードをスロットに差し込んでください。向きを間違うと故障や発火の原因となります。



Step2　ピア・ツー・ピア グループ接続の通信モード設定

無線LANボードにある2極のDIPスイッチによるピア・ツー・ピア グループ接続の通信モードの設定手順を説明します。お使いの無線LANネットワーク環境に合わせて設定してください。



❶ **DIPスイッチを先の細いボールペンなどで切り替えて通信モードを設定する。**

SW番号	機能	OFF（工場設定値）	ON
SW1	ピア・ツー・ピア グループ接続時に「ピア・ツー・ピア グループ」と「アドホック」のいずれの通信モードで動作するかを設定します。通信モードは、無線LANボードと無線接続するコンピューターが使用している無線LANカードの種類によって決まります。	ピア･ツー･ピア　グループ ネットワーク名（ESS-ID）を入力設定する無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。	アドホック* 無線通信に使用するチャンネルバンドを選択設定する（ネットワーク名（ESS-ID）を設定しない）無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。
SW2	（未使用）	―	―

＊　アドホック設定時は、使用するチャンネルバンドが「チャンネル1」固定になります。また、無線LAN環境に関する設定の変更を行ったら、必ずプリンターをOFF/ONしてください。

❷ **電源プラグを電源コンセントに差し込み、プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの操作パネルから、コンフィグレーションページを印刷する。**

手順については「コンフィグレーションページの印刷」（151ページ）を参照してください。

❹ **コンフィグレーションページの「Network Type」が設定した通信モードになっていることを確認する。**

Step3　無線LANボードのセットアップ用コンピューターの準備

ここでは無線LANボードのセットアップ用としてNEC無線LANカード（11Mbps）PK-WL006Jを使用するコンピューターで、ピア・ツー・ピア グループ設定にするための手順を説明します。その他の無線LANカードを使用するコンピューターでセットアップを行う場合は、無線LANカードに添付のユーザーズマニュアルを参照して、「ピア・ツー・ピア グループ」または「アドホック」に設定してください。
ここでは、Windows XP を例にとり、コンピューターの設定手順を説明します。

❶ **タスクバーにあるアイコンをクリックして「ORiNOCO クライアントマネージャ」の設定画面を起動する。**

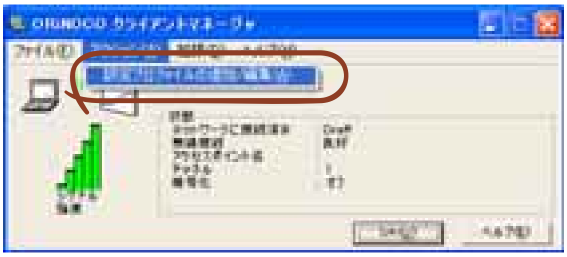
タスクバーにこのアイコンがない場合は［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのプログラム］－［ORiNOCO］－［ClientManager］をクリックしてクライアントマネージャを起動してください。

Windows XP、Windows Server 2003以外は［プログラム］－［ORiNOCO］－［ClientManager］をクリックしてクライアントマネージャを起動してください。



❷ **［アクション］メニューの［設定プロファイルの追加/編集］を選択する。**

［ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

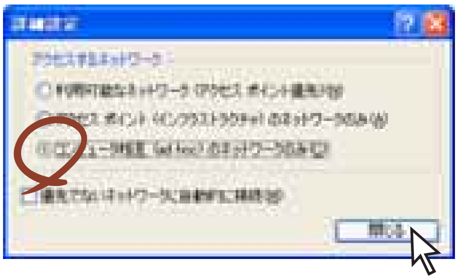


❸ **［ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ］の［ワイヤレスネットワーク］シートで［詳細設定］をクリックする。**



❹ **［詳細設定］の［アクセスするネットワーク］から［コンピュータ相互（ad hoc）のネットワークのみ］を選択し、［閉じる］をクリックする。**

［ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ］に戻ります。

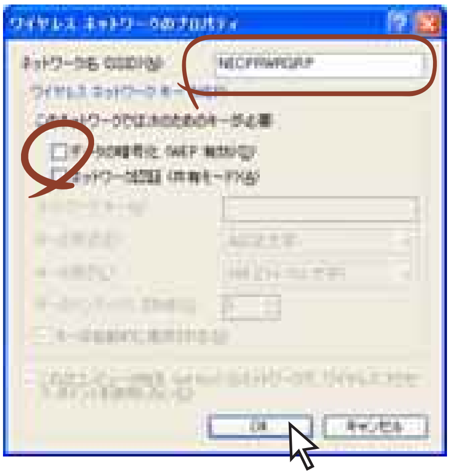


❺ **［ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ］の［ワイヤレスネットワーク］シートで［追加］をクリックする。**



❻ **［ワイヤレスネットワークのプロパティ］でネットワーク名を入力し、［データの暗号化（WEP 有効）］のチェックを外した状態（データ保護なし）で、［OK］をクリックする。**

ネットワーク名は「NECPRWRGRP」と入力してください。



❼ **［ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ］の［ワイヤレスネットワーク］シートで［OK］をクリックする。**

❽ **［ORiNOCO クライアントマネージャ］のメイン画面で［OK］をクリックする。**

これでピア・ツー・ピア グループ設定は終了です。次に「無線LANプリンタ導入ウィザード」（62ページ）に進んでください。

無線LANボードの取り外し

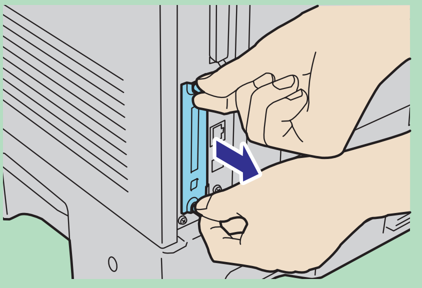
無線LANボードを取り外すときは、プリンターの電源をOFFにしてから取り付け手順の逆を行ってください。

注意

電源プラグは必ず電源コンセントから抜いてください。電源プラグを接続したまま取り付けると故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

チェック

無線LANボードはネジが緩んで遊びができたら取り外せます。ネジは完全に取り外さないで、図のようにネジ2本を持って無線LANボードを引き出してください。



LANアダプターの設置

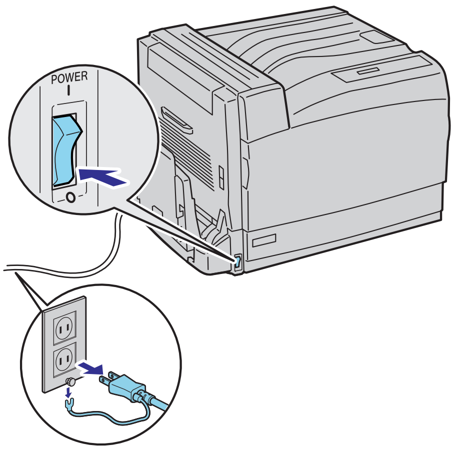
ここでは、LANアダプタ（TCP/IP）（型番 PR-NP-03TR2）の設置方法を説明します。マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）の設置方法についてはLANアダプターに添付されているセットアップガイドを参照してください。

ここでは、LANアダプターを設置する手順を説明します。

❶ **プリンターの電源を OFF にし、電源コードをプリンターから取り外す。**

重要

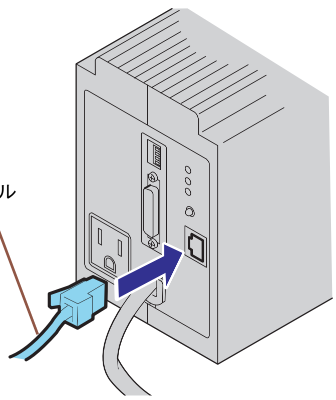
電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。



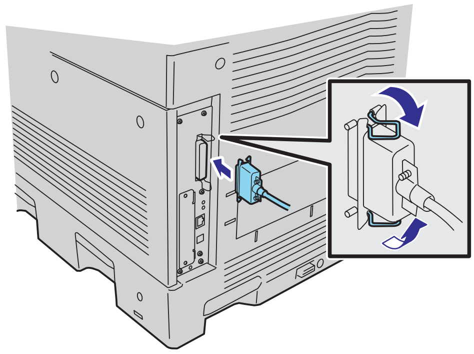
❷ **LAN ケーブルのコネクターを LAN アダプターのイーサネット用コネクターに差し込む。**

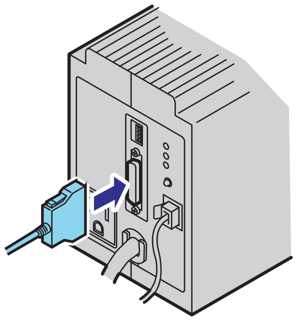
チェック

LANアダプターの電源コードは、まだコンセントに差し込まず抜いておいてください。

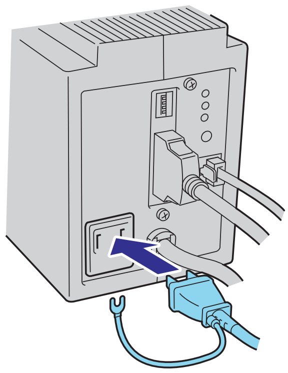


❸ **LAN アダプターとプリンターを添付のインターフェースケーブルで接続する。**





❹ **プリンターの電源コードのプラグを LAN アダプター背面のACコンセントに差し込む。**

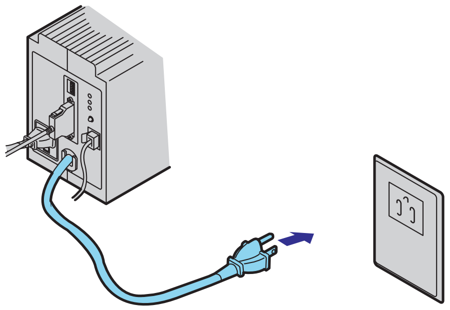


チェック

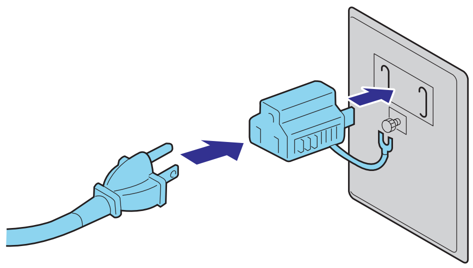
プリンターの電源コードをLANアダプターのACコンセントに差し込むことにより、リモート電源制御機能が使えます。
リモート電源制御機能を使わない場合は必ずしもLANアダプターのACコンセントに差し込む必要はありません。

5 電源コードをプリンターに接続してプリンターの電源をONにする。

6 LAN　アダプターの電源コードをコンセントに差し込む。



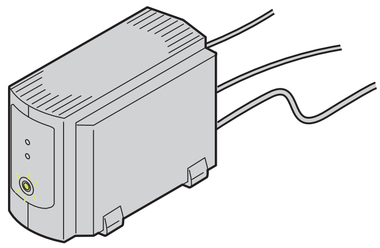
LANアダプターの電源コードは3極プラグです。2極の壁付きACコンセント（AC100V、電源容量15A以上）に差し込む場合は、付属の3極/2極変換プラグをご使用ください。



注意

3極/2極変換プラグのアースリード線で接地してください。接地を行わない場合、LANアダプターの特性に悪影響を及ぼしたり、漏電があった場合に感電するおそれがあります。

7 前面のローカルON/OFFを押して、LANアダプター前面のランプが緑色に点灯することを確認する。



8 LANアダプター背面の［コンフィグレーションページ印刷］スイッチを押し、コンフィグレーションページが印刷されることを確認する。

チェック

ユーティリティーのインストール方法などは、LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

コンフィグレーションページの印刷例（工場出荷時）

```
NEC NIC Configuration Page [400]

<LAN Card information>

ROM Version                 : 01.00
ID Number                   : NFE-291001
Printer Name                : NFE-291001
MAC Address                 : 00:00:4C:29:00:01
H/W Description             : NEC FastEthernet000000
10Base/100Base              : "Auto(?)"
Half/Full Duplex            : "Auto(?)"


<TCP/IP parameters>

IP Address                  :  11. 22. 33. 44
Subnet Mask                 :  255. 0. 0. 0
Geteway Adress              :  0. 0. 0. 0
Auto IP Address             :  "On"
Max.Number of Session       : 64
Session Timeout             : 120
Keep Alive                  : "Off"
FTP Timeout                 : 10


<TCP/IP network connection>

Current Active Session      : 0


<Print Status Information>

Printing Log                :  "OFF"
Status Monitor              : 50


<Self-Diagnosis>

Link Test                   :  "No connection"
LAN Card Status             :  "OK"
```

操作パネルによる基本設定

プリンターをネットワーク環境で利用する前に、LANインターフェースにIPアドレスやサブネットマスクなどを設定する必要があります。LANインターフェースの設定は、プリンターの操作パネルまたはユーティリティーを使用して行うことができます。

プリンターの操作パネルからは、ネットワーク環境で使用するための基本的な設定を行うことができます。手順については、以下をご覧ください。

ユーティリティーから基本設定および詳細な設定を行う場合は､「ユーティリティーによるネットワークの設定」（31ページ）を参照してください。また、DHCPを使用して設定する場合は、「DHCP」（133ページ）を参照してください。

設定するIPアドレス、サブネットマスクなどの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する

使用するネットワークインターフェースに合わせて、IPアドレスとサブネットマスクの設定を行ってください。

標準装備のLANインターフェースの場合

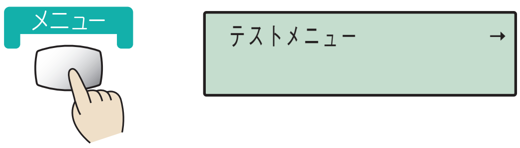
❶ **操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。



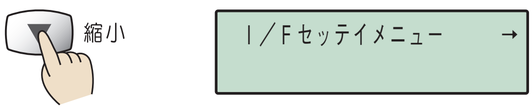
❷ **[メニュー]スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”と表示されます。

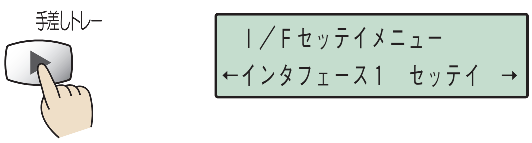


❸ **ディスプレイに“Ｉ／Ｆセッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。**

メニューの内容については2章の「メニューツリー」（163～174ページ）を参照してください。

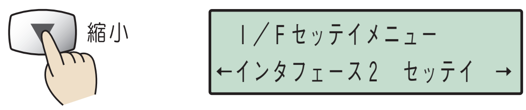


❹ **[▶]スイッチを1回押す。**



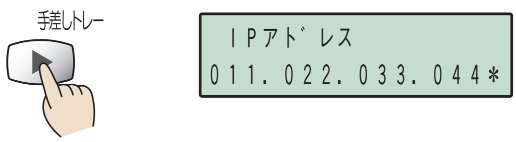
❺ **[▼]スイッチを1回押す。**

ディスプレイ下段に“←インタフェース２　セッテイ　→”と表示されます。



❻ **[▶]スイッチを1回押し、[▼] スイッチを1回押す。**

ディスプレイに“ＩＰアドレス”と表示されます。



❼ **IPアドレスを設定する。**

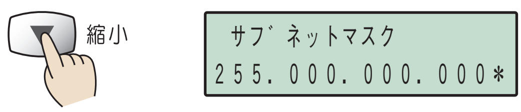
[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチで手順❻に戻って入力し直してください。

❽ **[▼]スイッチを押す。**

ディスプレイに“サブネットマスク”と表示されます。



❾ **サブネットマスクを設定する。**

［設定変更］スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

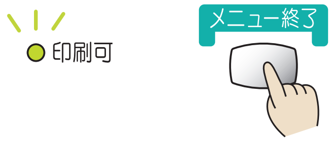
0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、［▶］スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、［◀］スイッチを押し、手順❻に戻って入力し直してください。

> ゲートウェイアドレスの設定を行う場合は、上記の「IPアドレスとサブネットマスクを設定する」と同様の手順で操作パネルからゲートウェイアドレスを設定することができます。「メニューツリー」（163～174ページ）を参照して設定してください。

❿ **［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了させる。**

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。



⓫ **コンフィグレーションページを印刷する。**

手順については「コンフィグレーションページの印刷」（151ページ）を参照してください。

⓬ **コンフィグレーションページの印刷例を参照して、正しく設定されているか設定内容を確認する。**

これで操作パネルによる基本設定は完了です。さらに詳細な設定を行う場合は、「ユーティリティーによるネットワークの設定」（31ページ）を参照してください。

LANアダプターの場合

お使いになるLANアダプターの種類によって設定方法が異なります。

<LANアダプタ（型番 PR-NP-03TR2）をお使いの場合>

- プリンターの操作パネルで設定できます。（以下の手順を参照してください。）
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティで設定できます。（「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」（35ページ）を参照してください。）

<マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）をお使いの場合>

LANアダプターに添付のマニュアルを参照してください。

プリンターの操作パネルによる設定では、あらかじめ、メニューモードでI/F設定の「双方向設定」を「ECP」に設定しておく必要があります。

設定するIPアドレス、サブネットマスクの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

I/F設定をECPに変更する

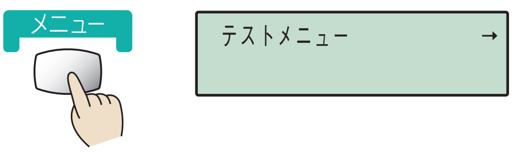
❶ **操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。



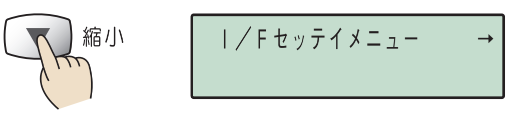
❷ **[メニュー]スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”と表示されます。

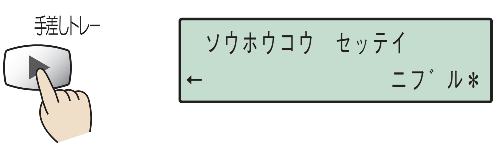


❸ **ディスプレイに“I/Fセッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。**

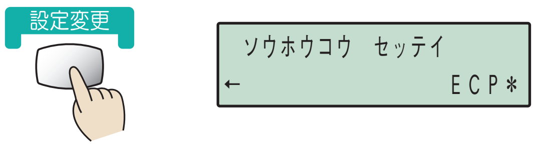
メニューの内容については2章の「メニューツリー」（163〜174ページ）を参照してください。



❹ **[▶]スイッチを2回押して、ディスプレイ下段に“←　ニブル＊”を表示させる。**

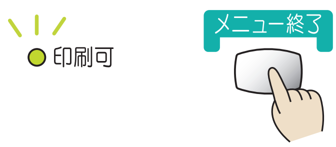


❺ **[設定変更]スイッチを1回押して、ディスプレイ下段に“←　ECP＊”を表示させる。**



❻ **[メニュー終了]スイッチを押す。**

メニューモードを終了します。



❼ **プリンターの電源をOFFにする。**

[ソウホウコウ　セッテイ]の設定の変更を有効にするために、プリンターの電源をいったんOFFにする必要があります。

❽ **プリンターの電源をONにする。**

プリンターの電源を再投入することによって、設定が有効になります。

次に、「IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する」（28ページ）に進んでください。

IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する

❶ **[印刷可]スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

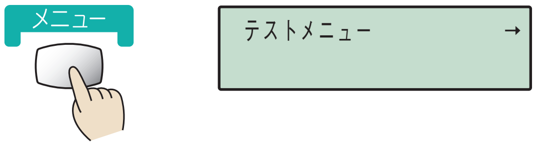


❷ **データランプが点灯していないことを確認する。**

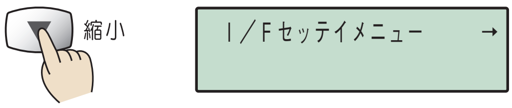
点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❸ **[メニュー]スイッチを押す。**

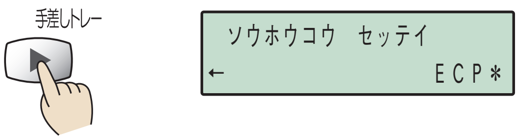
プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示されます。



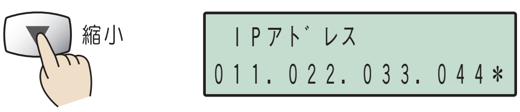
❹ **ディスプレイに“I／F セッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。**



❺ **[▶]スイッチを2回押し、ディスプレイに“ソウホウコウ　セッテイ　ＥＣＰ＊”を表示させる。**



❻ **[▼]スイッチを1回押し、ディスプレイに“ＩＰアドレス”を表示させる。**



❼ **IPアドレスを設定する。**

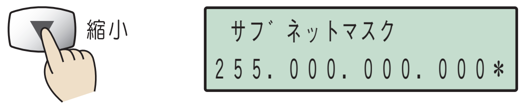
[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチを押して手順❻に戻って入力し直してください。

❽ **[▼]スイッチを押す。**

ディスプレイに“サブネットマスク”と表示されます。



❾ **サブネットマスクを設定する。**

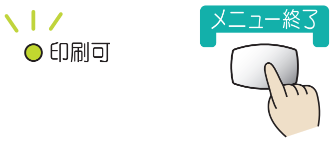
[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチを押し、手順❻に戻って入力し直してください。

❿ **[メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。**

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。



⓫ **コンフィグレーションページを印刷する。**

手順については「コンフィグレーションページの印刷」（151ページ）を参照してください。

⓬ **コンフィグレーションページの印刷例を参照して、正しく設定されているか設定内容を確認する。**

これで操作パネルによる基本設定は完了です。さらに詳細な設定を行う場合は、「ユーティリティーによるネットワークの設定」（31ページ）を参照してください。

無線LANボードの場合

無線LANボードを使用する場合、プリンターの操作パネルから行える基本設定は次のとおりです。

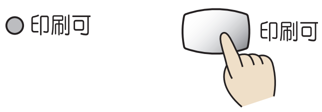
- IPアドレスの設定
- サブネットマスクの設定
- DHCPの設定
- ゲートウェイアドレスの設定
- ネットワークタイプの設定
- ネットワーク名の設定
- アクセス制限の設定

ここでは、IPアドレス、サブネットマスク、ネットワークタイプを設定する場合を例にとって説明します。操作パネルから、DHCPを設定する場合は「DHCP」（133ページ）を、ゲートウェイアドレスまたはネットワーク名を設定する場合は、「インターフェース設定メニュー」（184ページ）を参照してください。

設定するIPアドレス、サブネットマスクの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

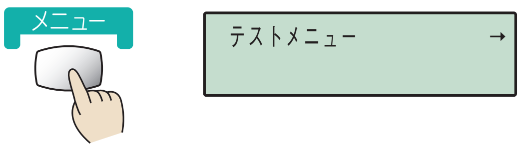
❶ 操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



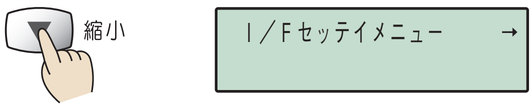
❷ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”と表示されます。

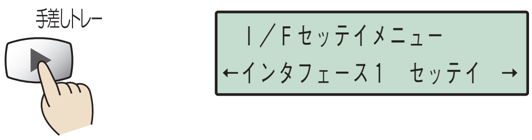


❸ ディスプレイに“I／Fセッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。

メニューの内容については2章の「メニューツリー」（163～174ページ）を参照してください。

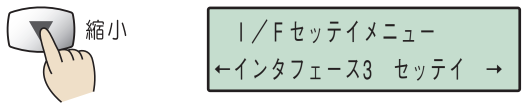


❹ [▶]スイッチを1回押す。



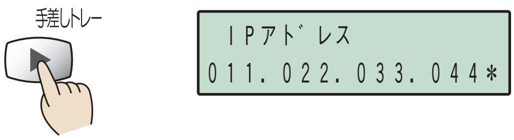
❺ [▼]スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段に“←インタフェース3　セッテイ　→”と表示されます。



❻ [▶]スイッチを1回押し、[▼] スイッチを1回押す。

ディスプレイに“IPアドレス”と表示されます。



❼ IPアドレスを設定する。

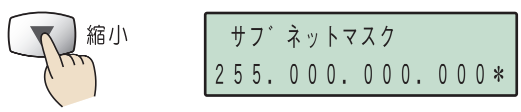
[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチで手順❻に戻って入力し直してください。

❽ [▼]スイッチを押す。

ディスプレイに“サブネットマスク”と表示されます。



❾ サブネットマスクを設定する。

［設定変更］スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

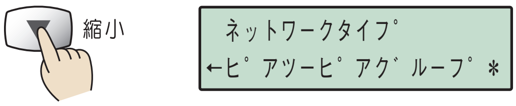
0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、［▶］スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、［◀］スイッチを押し、手順❻に戻って入力し直してください。

> ゲートウェイアドレスの設定を行なう場合は、手順❽〜❾のサブネットマスクを設定する場合と同様の手順で設定することができます。「メニューツリー」（163ページ）を参照して設定してください。

❿ ［▼］スイッチを2回押す。

ディスプレイ上段に“ネットワークタイプ”と表示されます。



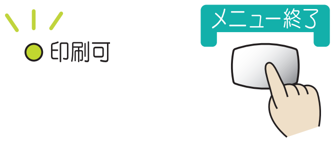
⓫ ネットワークタイプを設定する。

［設定変更］スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のようにタイプが変わります。

> ピアツーピアグループ→アクセスポイント→
> レジデンシャルG/W→ピアツーピアグループ

⓬ ［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。



> ネットワーク名も操作パネルから入力できます。ネットワーク名を設定する場合は、2章の「インターフェース設定メニュー」（184ページ）を参照してください。

⓭ コンフィグレーションページを印刷する。

手順については「コンフィグレーションページの印刷」（151ページ）を参照してください。

⓮ コンフィグレーションページの印刷例を参照して、正しく設定されているか設定内容を確認する。

これで操作パネルによる基本設定は完了です。さらに詳細な設定を行う場合は、「ユーティリティーによるネットワークの設定」（31ページ）を参照してください。

ユーティリティーによるネットワークの設定

プリンターをネットワーク環境で利用する前に、LANインターフェースにIPアドレスやサブネットマスクなどを設定する必要があります。ここでは、LANインターフェースを使用する際に必要な設定方法について説明しています。
以下のいずれかの方法で設定してください。また、DHCPを使用して設定する場合は、「より便利なネットワーク機能」の「DHCP」（133ページ）を参照してください。

- プリンターの操作パネル .... プリンターの操作パネルから、ネットワーク環境で使用するために必要な基本設定を行うことができます。「操作パネルによる基本設定」（25ページ）」を参照してください。
- EASY設定ユーティリティ .... 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM に収録されています。簡単にIPアドレスなどの設定ができます。「EASY設定ユーティリティ」（32ページ）を参照してください。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ .... 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM に収録されています。プリンターソフトウエアを管理者向けとしてインストールすると使用できます。
  詳細については、「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」（35ページ）を参照してください。
- 無線LANプリンタ導入ウィザード .... 添付のプリンターソフトウェア CD-ROM に収録されています。簡単に無線LANボードの設定ができます。設定に関する解説や操作手順がウィザードの画面上に表示されます。「無線LANプリンタ導入ウィザード」（62ページ）を参照してください。
- WWWブラウザー .... 汎用のWWWブラウザーを使用してプリンターをネットワーク環境で使用するための設定をします。「WWWブラウザー」（64ページ）を参照してください。
- Telnet .... Telnetで接続し、プリンターをネットワーク環境で使用するための設定をします。「Telnet」（77ページ）を参照してください。
- UNIXコマンド .... UNIXコマンド「ping」と「arp」を使用して設定します。「UNIXコマンド」（84ページ）を参照してください。

ユーティリティーでIPアドレスを設定する前にコンフィグレーションページを印刷して、LANボードのMACアドレスを確認してください。コンフィグレーションページの印刷は操作パネルから行います。コンフィグレーションページ印刷については、「コンフィグレーションページの印刷」（151ページ）を参照してください。

また、ネットワークプリンターに印刷するためには、IPアドレスを設定した後にコンピューターのOSについて設定が必要です。各OSの設定方法については、「接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」（86ページ）を参照してください。

EASY設定ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「EASY設定ユーティリティ」を使用してIPアドレスやサブネットマスクなどを設定します。このユーティリティーはWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95で使用できます。詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの［EASY］フォルダー内に収録されている「README.TXT」をご覧ください。

重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を［コンピュータの管理者］のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。
- マルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）を使用する場合は、マルチプロトコルLANアダプターに添付されているCD-ROMの「EASY設定ユーティリティ」を使用してください。

Windows XP上での手順を例にとって説明します。

❶ **Windows XPを起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、プリンターソフトウエアCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。



❸ **［ユーティリティ］をクリックする。**



❹ **［EASY設定ユーティリティ］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。**

プリンターソフトウエアCD-ROM内の［EASY］フォルダーが開きます。

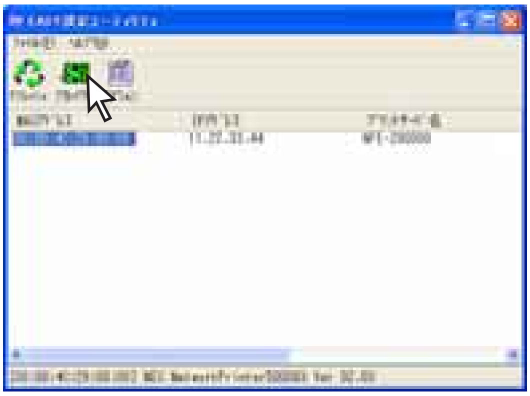


❺ **［NICSET］アイコンをダブルクリックする。**

［EASY設定ユーティリティ］ウィンドウが表示されます。

❻ **一覧からプリンターのMACアドレスを選択し、［プロパティ］をクリックする。**

［TCP/IP］タブが表示されます。



一覧にプリンターが表示されない場合は、［リフレッシュ］ボタンをクリックし、再検索を行ってください。

❼ **プリントサーバー名を確認する。**

ネットワーク上から見たプリンターの名前が［プリントサーバ名］ボックスに表示されます。プリントサーバー名の変更もできます。



❽ **［設定モード］で［IPアドレスを指定］を選択する。**

❾ **［IPアドレス］と［サブネットマスク］を入力する。**

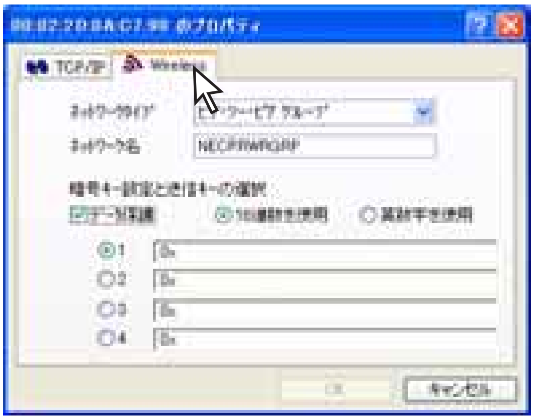
❿ **ゲートウェイアドレスを設定する。**

ゲートウェイ（ルーター）を使用しないネットワーク環境では、設定の必要はありません。

LANインターフェース､LANアダプターを使用している場合は、手順⓯へ進んでください。

⓫ **無線 LAN ボードを使用している場合は、［Wireless］タブをクリックする。**

［ワイヤレス］シートが表示されます。



⓬ **［ネットワークタイプ］で接続する無線LAN環境を選択する。**

- ピア・ツー・ピアグループ
  ネットワーク名（ESS-ID）を入力設定する無線LANカード（NEC無線LANカードなど）を使用したコンピューターとピア・ツー・ピア グループ接続します。

チェック

アドホックタイプでご使用の場合は、無線LANボード（PR-WLX-13)のセットアップガイドを参照してください。
アドホックは、無線通信に使用するチャネルバンドを選択設定する（ネットワーク名（ESS-ID）を設定しない）無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。アドホック設定時は、使用するチャネルバンドが「チャネル1」固定になります。

- レジデンシャル・ゲートウェイ
  NEC無線LANアクセスポイント（PK-WL002H）経由でネットワークに無線接続します。
- アクセスポイント
  IEEE802.11b準拠のアクセスポイント経由でネットワークに接続します。
  NEC無線LANアクセスポイントN（PK-WL003)、無線LANアクセスポイントE（PK-WL005)、無線LANアクセスポイントS（PK-WL007)、または無線LANアクセスポイントEX（PK-WL010）経由でネットワークに接続する場合は、この項目を選択します。

⓭ **ネットワーク名（ESS-ID）を入力する。**

接続したいアクセスポイントや無線LANカードを装着したコンピューターに付けられているネットワーク名と同じ名前を設定します。

⑭ データ保護を設定する。

チェックを付けることで、WEP(Wired Equivalent Privacy)データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。暗号キーは、次のように使用します。

- 無線LANプリンターが受信する無線メッセージを復号します。(4つまで設定することができます。)
- 無線LANプリンターが送信する無線メッセージを暗号化します。キー 1から4の中で選択された1つの暗号キーは無線LANボードが送信する無線メッセージを暗号化します。選択された暗号キーは、必ず設定する必要があります。

暗号キーは、アクセスポイントやコンピューターの無線端末が、無線LANプリンターにデータを送信する時に使用する暗号キーと同じものを設定します。

使用できる文字は、半角英数字と文字記号（「*」アスタリスクを除く）。

暗号キーの5文字（16進数で10桁）または13文字（16進数で26桁）のどちらかの文字数のみで設定することができます。

重要

暗号キーを変更する場合は無線LANボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。
「ネットワークタイプ」や「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違って設定した場合は、ネットワーク設定の初期化を実行し、再度設定を行ってください。

⑮ ［OK］をクリックして、EASY設定ユーティリティを終了する。

以上で設定は完了です。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用してIPアドレスやサブネットマスクなどを設定します。IPアドレスの設定以外にもネットワークに接続されたプリンターの状態を監視したり、ネットワーク接続や監視に必要な各種パラメーターを設定したりすることができます。インストールについては4章の「プリンター管理者向けインストール」の「インストール手順」（327ページ）を参照してください。また、操作方法などの詳細については、「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」（35ページ）をご覧ください。

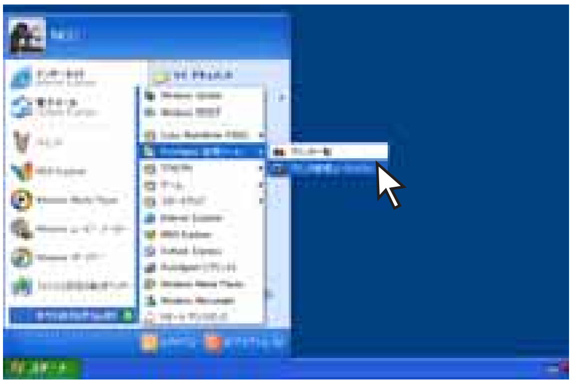
重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を［コンピュータの管理者］のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0環境でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。
- マルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）を使用する場合は、マルチプロトコルLANアダプターに添付されているCD-ROMの「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用してください。

❶ **プリンタ管理ユーティリティを起動する。**

［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］－［PrintAgent管理ツール］をポイントします。次に［プリンタ管理ユーティリティ］をクリックします。

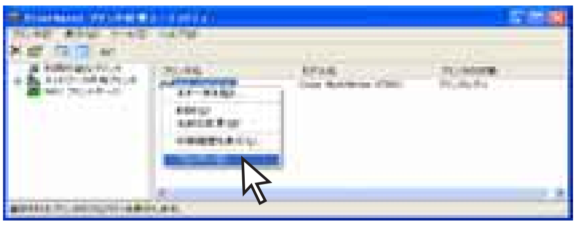
Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、［プログラム］－［PrintAgent管理ツール］をポイントします。



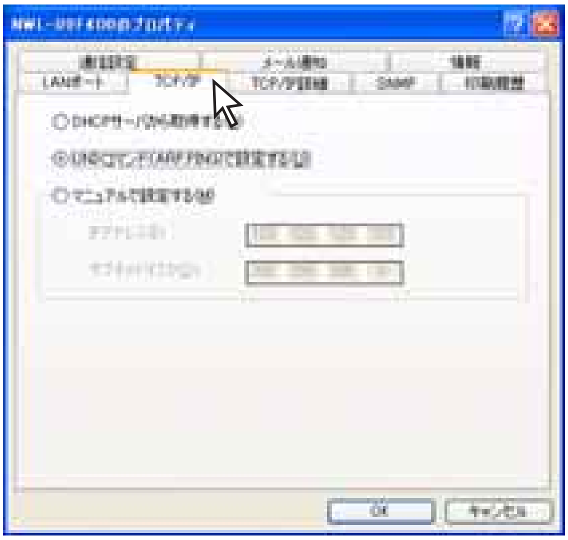
❷ **ウィンドウの左側ボックスから［NEC プリントサーバ］を選択する。**

プリンターがまだ登録されていないときは、［プリンタ］メニューから［プリンタの登録］をクリックしてプリンターを登録してください。

❸ **ウィンドウの右側ボックスから対象のプリンターを右クリックし、［プロパティ］をクリックする。**



❹ **［TCP/IP］タブをクリックする。**



❺ **［マニュアルで設定する］を選択する。**

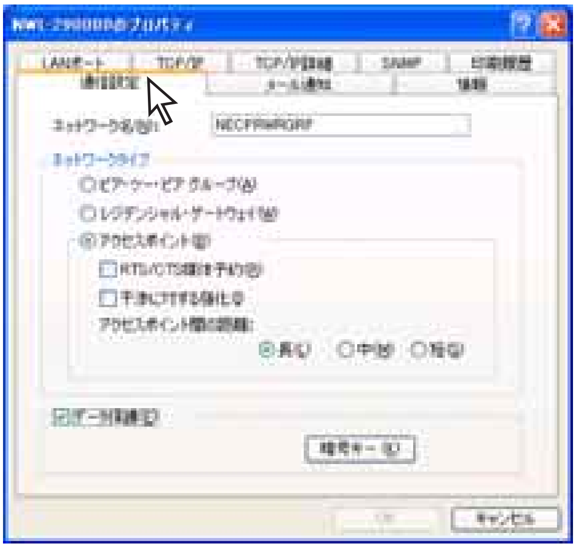
重要

- ［マニュアルで設定する］を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、［UNIXコマンドで設定する］を選んでください。
- 無線LANボードはUNIXコマンドによる設定には対応していません。［UNIXコマンドで設定する］は選択しないでください。

❻ **IPアドレスとサブネットマスクを入力する。**

LANインターフェース、LANアダプターを使用している場合は、手順⓫に進んでください。

❼ **無線 LAN ボードを使用している場合は、［通信設定］タブをクリックする。**



❽ **［ネットワーク名］を入力する。**

接続したいアクセスポイントや無線LANカードを装着したコンピューターに付けられているネットワーク名と同じ名前を設定します。

❾ **［ネットワークタイプ］で接続する無線LAN環境を選択する。**

各項目についての説明は、56ページの「［通信設定］シート」をご覧ください。

❿ **データ保護を設定する。**

チェックを付けることで、WEP(Wired Equivalent Privacy)データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。

各項目についての説明は、56ページの「［通信設定］シート」をご覧ください。

重要

暗号キーを変更する場合は無線LANボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。

「ネットワークタイプ」や「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違って設定した場合は、ネットワーク設定の初期化を実行し、再度設定を行ってください。

⓫ **［OK］をクリックして終了する。**

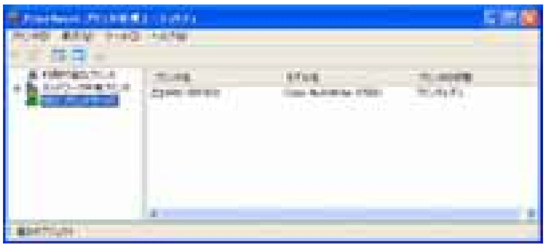
以上で設定は完了です。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティの詳細

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティは、LANインターフェースやオプションの無線LANボード/LANアダプターを接続しているプリンターのネットワーク設定や状態の確認やPrintAgentのいろいろな機能を設定するユーティリティーです。
このユーティリティーは、プリンター管理者向けのツールとして以下のような設定やプリンター運用時の監視機能を提供しています。ただし、ご使用のネットワークインターフェースにより、その内容は異なります。

ここでは、Windows XP 日本語版環境でPrintAgentプリンタ管理ユーティリティの画面左のツリービューから［NECプリントサーバ］を選択している場合について説明します。

- ネットワークプリンターの設定と管理
  - ネットワークプリンターの一覧の確認



  - プリンターの状態の確認



  - IPアドレスの設定
  - プリンターの構成
  - リモート電源制御（型番 PR-NP-03TR2 LANアダプタ装着時）

- PrintAgentの機能
  - 印刷ジョブの制御
  - プリンタステータスウィンドウの起動
  - 保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）の設定
  - プリンタ自動切替の設定（グループプリンター作成の設定）

ご利用までの手順

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティがネットワークで使用できるようになるまでの手順について説明します。

重要

プリンタ管理ユーティリティをご使用になるときは、以下の点に注意してください。

- PrintAgent プリンタ管理ユーティリティをインストールする前にコンピューターのネットワーク設定（IP アドレスなど）がすでに行われていることを確認してください。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティとLANボード、LANアダプターに添付のWindows 3.1用ネットワークプリンタユーティリティを同時に実行しないでください。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動していることにより、メモリー不足で他のアプリケーションソフトウエアが実行できない場合は、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを終了してください。
- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を［コンピュータの管理者］のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0でご使用になる場合、Administratorsの権限を持ったユーザーでログインしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログインした場合には設定を行えません。
- ネットワークインターフェースへの設定は、ネットワークインターフェースと同一ネットワークアドレスに接続されたコンピューターを使用してください。
- Windows 2000で、IPX/SPX互換トランスポートを使用する場合、ネットワーク上にNetWareサーバーが起動している必要があります。NovellのNetWareクライアントソフトウエアをインストールすることで一部の機能が有効になります（「［NetWare］シート」（59ページ）参照）。
- オプションの無線LANボード、LANアダプターに添付のPrintAgentプリンタ管理ユーティリティをすでにご使用の場合は、これを削除（アンインストール）した後、プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているPrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールしてください。アンインストール方法については、オプションに添付の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ取扱説明書」をご覧ください。

Step1　使用環境を確認する

このPrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使用できるネットワークインターフェースは以下のとおりです。

- 本プリンターに標準装備のLANインターフェース
- PR-WLX-13　無線LANボード
- PR-NP-03TR2　LANアダプタ（TCP/IP）
- PR-NPX-05　マルチプロトコルLANアダプタ

Step2　イーサネットコネクターを装備しているネットワークインターフェースを接続する

ケーブルの接続方法などは、プリンターに添付のユーザーズマニュアルをご覧ください。ネットワークオプションの取り付け方法については本章の「ネットワークオプションの設置」（18ページ）を参照してください。

Step3　PrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールする

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティをコンピューターにインストールします。インストールは、PrintAgentのインストール時に［管理者向けカスタムインストール］を選択し、［プリンタ管理ユーティリティ］にチェックを付けることで行います。

プリンターソフトウエアのインストールプログラムで後から追加インストールを行ったり、削除することができます。詳細については、「プリンター管理者向けインストール」（326ページ）を参照してください。

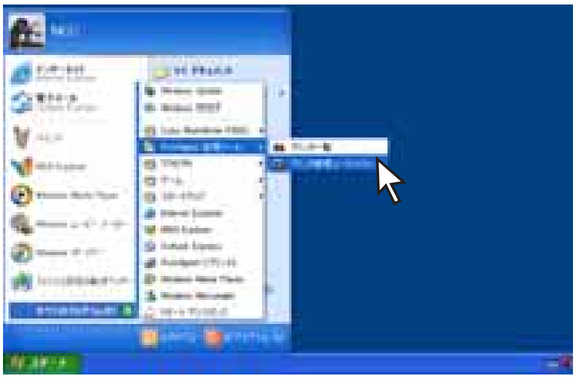
Step4 プリンターを登録する

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使ってネットワークインターフェースの設定を行うためにプリンターの登録を行います。新規にネットワークインターフェースをネットワークに接続した場合は、このプリンターのコンフィグレーションページの印刷結果にあるMACアドレス等も参照してください。コンフィグレーションページの印刷方法については、「コンフィグレーションページの印刷」（151ページ）を参照してください。

❶ **PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動する。**

［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］－［PrintAgent管理ツール］をポイントします。次に［プリンタ管理ユーティリティ］をクリックします。

Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、［プログラム］－［PrintAgent管理ツール］をポイントします。



❷ **パスワードの入力、設定をする。**

パスワードを既に設定している場合は、パスワードを入力するダイアログボックスがされますので、パスワードを入力してください。



パスワードの設定をたずねるダイアログボックスが表示されます。



［はい］をクリックするとパスワードの設定ウインドウが表示されます。パスワードは、半角の英数文字で8文字まで入力できます。



パスワードが不要の場合は、［いいえ］をクリックしてください。後から［ツール］メニューの［パスワードの変更］で設定できます。

❸ **プリンターを登録していない場合、プリンターを登録するかどうかの［確認］ダイアログボックスが表示されるので、どちらかをクリックする。**

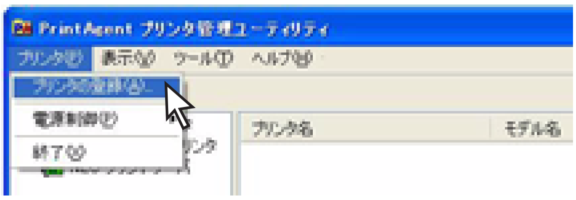
［はい］をクリックした時は手順❺に、「いいえ」をクリックした時は手順❹に進んでください。

このダイアログボックスが表示されなかった場合は、画面左のツリービューで［NECプリントサーバ］を選択してください。

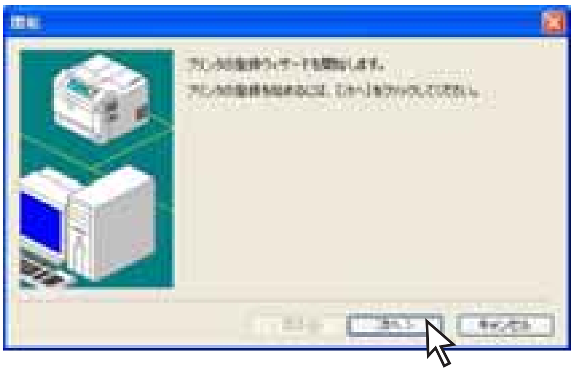


❹ **［プリンタ］メニューから［プリンタの登録］をクリックする。**

［プリンタの登録］ウィザードが開始されます。



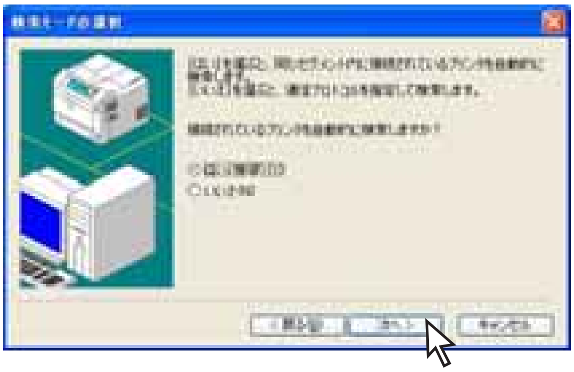
❺ **［次へ］をクリックする。**



❻ 設定するプリンターを自動で検索するか、マニュアルで検索するかを選び、［次へ］をクリックする。

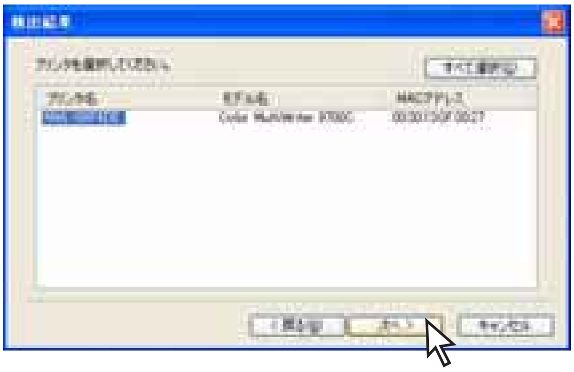
［はい］を選ぶと、ネットワーク内で登録されていないプリンターを自動的に検索します。手順❼に進んでください。

［いいえ］を選ぶと、プロトコル、MACアドレスなどを入力して検索します。手順❽に進んでください。



❼ 登録したいプリンターを選び、［次へ］をクリックする。

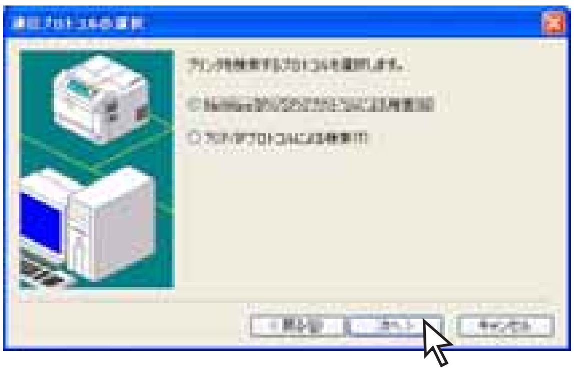
手順⓱に進んでください。



❽ ネットワークインターフェースと通信するプロトコルを選び、［次へ］をクリックする。

「NetWare（IPX/SPX）プロトコルによる検索」を選んだ場合は、手順❾に進んでください。

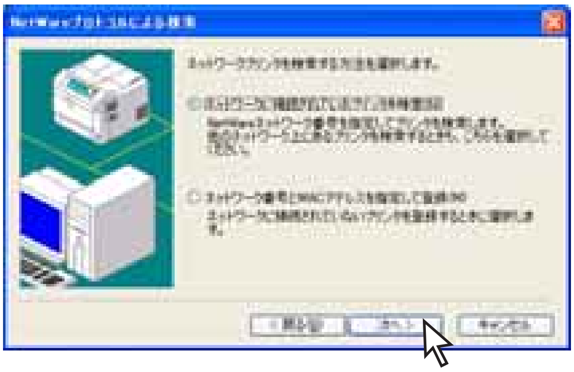
「TCP/IPプロトコルによる検索」を選んだ場合は、手順⓭に進んでください。



❾ プリンターの検索方法を選び、［次へ］をクリックする。

「ネットワークに接続されているプリンタを検索」を選んだ場合は、手順❿に進んでください。

「ネットワーク番号とMACアドレスを指定して登録」を選んだ場合は、手順⓬に進んでください。



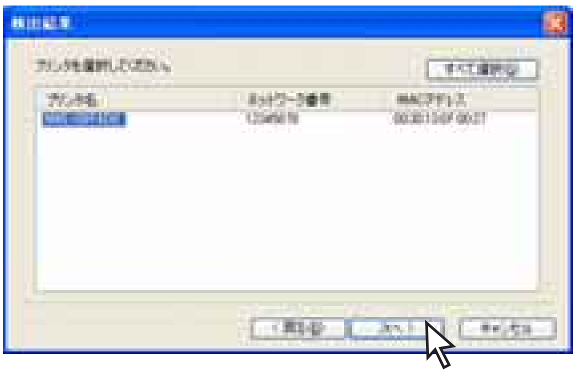
❿ ネットワーク番号を入力して、［次へ］をクリックする。

> ✔チェック
>
> 存在しないネットワーク番号を入力しないでください。入力すると動作が遅くなることがあります。



⓫ 登録したいプリンターを選び、［次へ］をクリックする。

手順⓱に進んでください。



⓬ **ネットワーク番号と MAC アドレスを入力して、［次へ］をクリックする。**

手順⓱に進んでください。



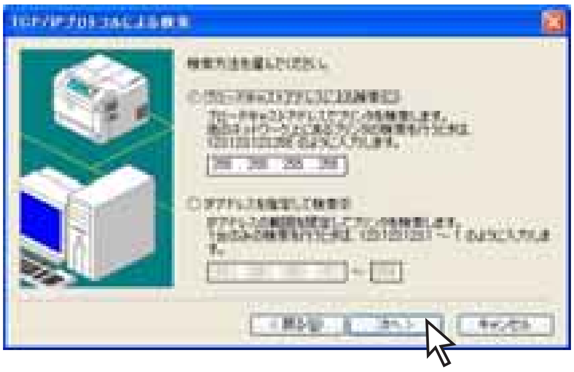
⓭ **プリンターの検索方法を選び、［次へ］をクリックする。**

「ネットワークに接続されているプリンタを検索」を選んだ場合は、手順⓮に進んでください。

「IPアドレスとMACアドレスを指定して登録」を選んだ場合は、手順⓰に進んでください。

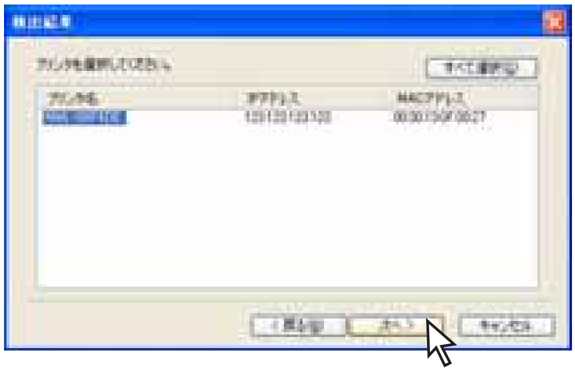


⓮ **ブロードキャストアドレス、またはIPアドレスを入力して［次へ］をクリックする。**



⓯ **登録したいプリンターを選び、［次へ］をクリックする。**

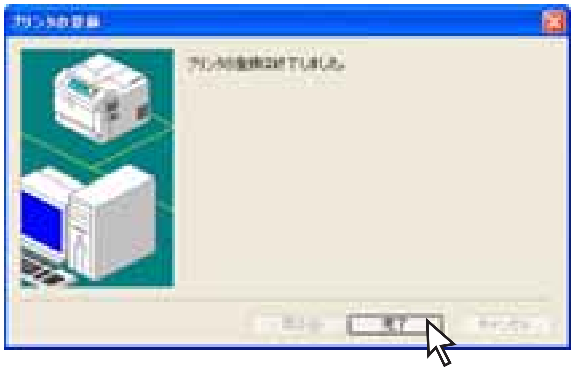
手順⓱に進んでください。



⓰ **IP アドレスと MAC アドレスを入力し、［次へ］をクリックする。**



⓱ **［完了］をクリックする。**



以上でプリンターの登録は完了です。

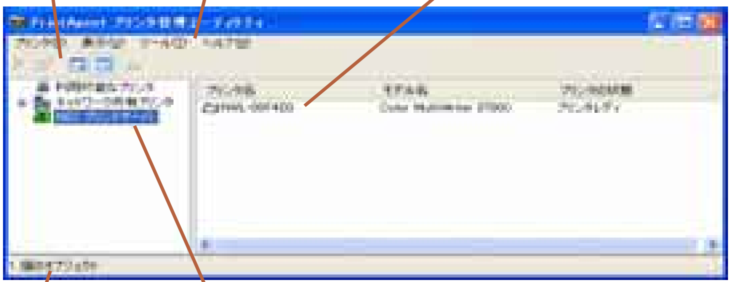
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティのメニュー

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動すると以下のウィンドウが表示されます。

ツールバー
メニューの項目をアイコン化したものです。選んだプリンター、接続形態によって表示は異なります。

メニューバー

リストビュー
左側のボックスで選ばれた接続形態のプリンターの使用状況をリストで表示します。



ステータスバー

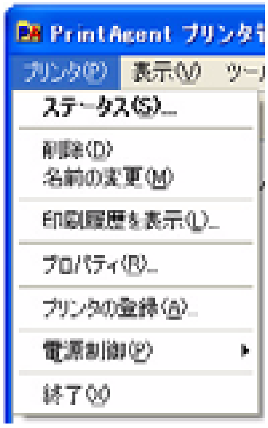
ツリービュー
ネットワーク内のプリンターがどのように接続されているかをツリー形式で表示します。

利用可能なプリンタ：	実際にコンピューターにプリンタードライバーがインストールされているプリンターです。
ネットワーク共有プリンタ：	ネットワーク内で共有されているプリンターを検索できます。
NECプリントサーバ：	LANインターフェースを標準装備したNEC製プリンター、またはNEC製のLANボード、LANアダプターを使ってネットワーク接続されているプリンターです。

各メニューのコマンドをポイントするとステータスバーに簡単な説明が表示されます。詳細な説明が必要な場合はヘルプをご覧ください。

［プリンタ］メニュー

リストビューでプリンターを選んでいるときに実行できる機能は次のとおりです。



■　ステータス

以下のようなプリンターのステータス画面を表示します。プリンターのステータス画面ではプリンターの状態、モデル名、プリンターの構成が表示されます。この画面は、ツールバーの［ステータス］ボタンをクリックしても表示することができます。



■　削除

選択したプリンターを削除します。ツールバーの［削除］ボタンをクリックしても同じ機能を実行することができます。

■　名前の変更

選択したプリンターの［プリンタ名］ボックスがハイライトし、名前を変更することができます。デフォルトでは［LANボード］シートのプリンター名と同じ名前が表示されますが、任意の名前に変更できます。また、ここでの変更は［LANボード］シートのプリンター名には影響しません。

■　印刷履歴を表示

ネットワーク経由で印刷した履歴を表示します。

■　プロパティ

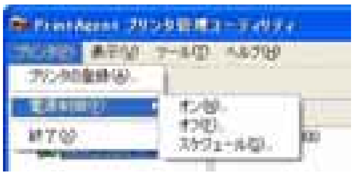
選択したプリンターの設定（LANボードまたはLANアダプター接続時は、これらの設定）を変更することができます。プロパティの内容については「［プロパティ］ダイアログボックス」をご覧ください。

■　プリンタの登録

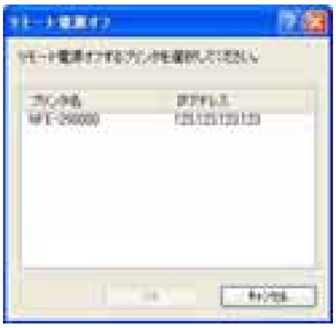
プリンターを登録するための［プリンタの登録］ウィザードが起動します。

■　電源制御

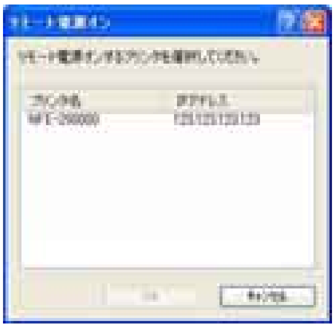
リモート電源制御機能を持つLANアダプター（型番 PR-NP-03TR2）を使って接続されたプリンターの電源をON/OFFできます。ON/OFFは［リモート電源制御］シートの設定に従います。NECプリントサーバーのリストビューにリモート電源制御機能をもつプリンターを登録し、次のサブメニューを実行します。



- オン（またはオフ）
  ［電源制御］のサブメニュー［オン］または［オフ］をクリックすると、それぞれ電源制御可能なプリンターを選ぶダイアログボックスが表示されます。プリンターを選択し、［OK］をクリックすることで［リモート電源制御］シートの設定に従ってON/OFFします。



リモート電源オフ



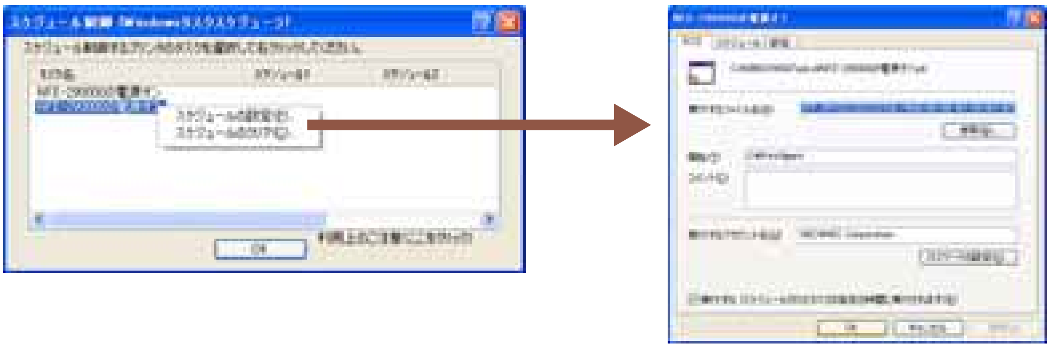
リモート電源オン

- スケジュール
  ［電源制御］のサブメニュー［スケジュール］をクリックすると、スケジュール可能なプリンターをON/OFFするためのタスク名の一覧が表示されます。

  この一覧では、電源オン、電源オフのペアで20台までスケジュール管理ができます。また、スケジュールの設定状況は、各タスク名ごとに4つまでその概要を一覧に表示します。

  各タスク名の上で右クリックすると、以下の画面のようなサブメニューが表示されます。ここでプリンターをON/OFFするスケジュールを設定します。プリンターのON/OFFは［リモート電源制御］シートの設定に従います。

<スケジュールの設定>



［電源制御］のサブメニュー［スケジュールの設定］を選ぶと、プリンターの電源をON/OFFする日時の設定を行うダイアログボックスが表示されます。

これらのダイアログボックスは、Windowsのタスクスケジュール機能を使用しています。設定の詳細については、このダイアログボックスのポップアップヘルプも参照してください。

［電源制御］のサブメニュー［スケジュールのクリア］を選ぶと、選択したタスク名に設定した複数のスケジュールをすべて削除します。

重要

スケジュール機能使用上のご注意

- ［スケジュールの設定］で表示されているダイアログボックスは、Windowsのタスクスケジューラーを使用しています。タスクスケジューラーの一時停止をしている場合は、タスクスケジューラーの続行を行ってください。［コントロールパネル］または、［マイコンピュータ］－［タスク］または、［Scheduled Tasks］または［エクスプローラー］－［コントロールパネル］－［タスク］の［詳細設定］から設定できます。Windows XPでは、［コントロールパネル］で［クラシックに切り替える］を行うと表示されます。
- NECプリントサーバのリストビューに表示されている［プリンタ名］を変更した場合、既に設定しているスケジュールは、変更前の状態のままになっています。

  ［スケジュールのクリア］でスケジュールを削除し、新たに表示されているタスク名にスケジュールを設定し直してください。
- プリンターのIPアドレスを変更した場合、既に設定しているスケジュールは、変更前の状態のままになっています。次の手順に従ってIPアドレスを修正してください。

  ①［スケジュールの設定］から［タスク］を開く。

  ②［実行するファイル名］ボックスに表示されているIPアドレスの「/IP:」以降を修正する。

  （例）

  IPアドレス「111.222.123.123」を「100.200.123.123」に変更する場合

  「/IP:111.222.123.123」を「/IP:100.200.123.123」と修正します。
- NECプリントサーバに登録したプリンターを削除しても、このプリンターに対するスケジュールは削除されません。
- プリンタ管理ユーティリティをアンインストールすると、電源制御に必要なファイルもアンインストールされてしまい、設定時刻になってもプリンターのオン・オフができなくなります。

  ［コントロールパネル］または、［マイコンピュータ］－［タスク］または［Scheduled Tasks］または［エクスプローラー］－［コントロールパネル］－［タスク］からタスク名を表示し、タスク名を右クリックして削除してください。Windows XPでは、［コントロールパネル］で［クラシックに切り替える］を行うと表示されます。
- ［電源制御］はTCP/IPプロトコルを使用していますので、ご使用のコンピューターにTCP/IPプロトコルが組み込まれていることを確認してください。

－［タスク］シート

［タスク］シートでは、次のような設定ができます。



項　目	説　明
実行するファイル名	プリンターの電源をON/OFFする実行ファイル名です。
開始	プリンターの電源をON/OFFする実行ファイルへのパスです。変更しないでください。
実行する	[スケジュール]シートで設定した日時にON/OFFする実行ファイルを実行するためにチェックを付けてください。

－［スケジュール］シート

［スケジュール］シートでは、次のような設定ができます。



項　目	説　明
新規	プリンターをON（またはOFF）する日時の設定を行います。[タスクのスケジュール]で日単位、週単位などの選択ができます。 ［新規］を数回クリックすると、複数の日時の設定を行うことができます。 複数の設定を行った場合、［スケジュール制御］の一覧には、最初の4つの設定の概要が表示されます。
削除	［新規］で設定したスケジュールを1つずつ削除します。
詳細設定	［詳細設定］をクリックすると、次の設定項目が表示されます。 • 開始日 プリンターのON/OFFを開始する日付を設定します。 • 終了日 プリンターのON/OFFを終了する日付を設定します。 • タスクを繰り返し実行 チェックを外してください。
複数のスケジュールを表示する	チェックを付けてください。

ー［設定］シート

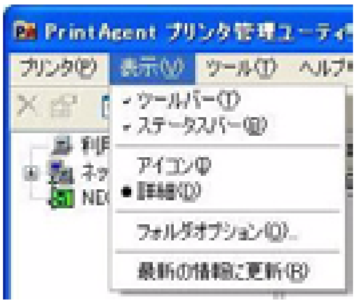
［設定］シートでは、次のような設定ができます。



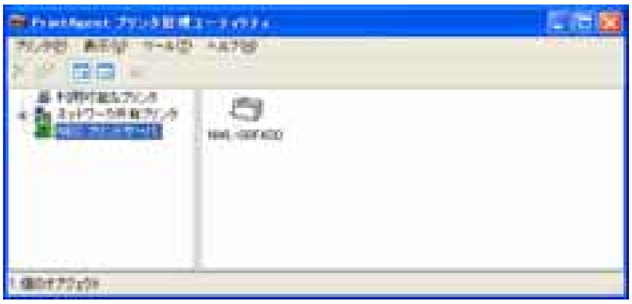
項　目	説　明
タスク完了時	［今後実行する予定のないタスクは削除する］をチェックしてください。
アイドル時	チェックを外してください。
電源の管理	チェックを外してください。

［表示］メニュー

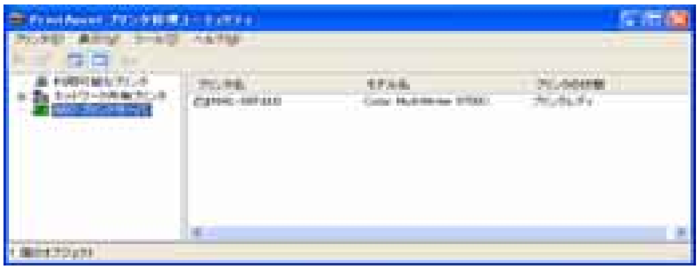
［表示］メニューでは、次のような機能が実行できます。



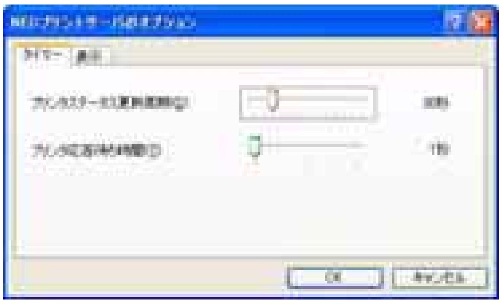
- ツールバー
  ツールバーを表示するかしないかを切り替えます。メニュー上のチェックマークは表示している状態を示しています。
- ステータスバー
  ステータスバーを表示するかしないかを切り替えます。メニュー上のチェックマークは表示している状態を示しています。
- アイコン
  右のようなプリンターの一覧をアイコンで表示します。



- 詳細
  右のようなプリンタの一覧をリストで表示します。

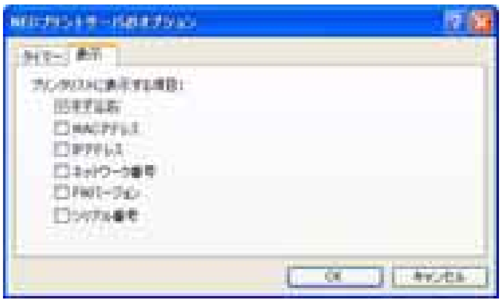


- フォルダオプション
  NECプリントサーバの設定を行います。［NECプリントサーバのオプション］ダイアログボックスを表示します。
  ー［タイマー］シート



項　目	説　明
プリンタステータス更新周期	登録されたプリンターの状態を確認しリストを更新する周期を設定します。10秒から120秒まで10秒刻みで設定できます。初期値は30秒です。
プリンタ応答待ち時間	プリンターとの通信時、本ユーティリティーがプリンターからの応答を待つ時間を設定します。プリンターからの応答が遅い場合、待ち時間をより長く設定してください。初期値は1秒です。

ー［表示］シート
詳細リスト表示のとき列見出しの項目を選択します。［プリンタ名］と［プリンタの状態］は、はじめから表示されています。
デフォルトでは、［LANポート］シートのプリンター名と同じ名前が表示されますが、プリンター名をダブルクリックすると、任意の名前に変更することができます。ここでの変更は、［LANポート］シートのプリンター名には影響しません。



項　目	説　明
モデル名	ネットワークインターフェースのモデル名を表示します。
MACアドレス	ネットワークインターフェースの固有のネットワークアドレスを示します。
IPアドレス	ネットワークインターフェースのIPアドレスを表示します。
ネットワーク番号	NetWareプロトコルで通信しているとき、NetWareネットワーク番号を表示します。
FWバージョン	ネットワークインターフェース内のLAN関連ファームウエアのバージョンを表示します。
シリアル番号	プリンターのシリアル番号を表示します。

- 最新の情報に更新
  登録されているプリンターと通信を行い、情報を更新します。

［ツール］メニュー



［ツール］メニューでは、［パスワードの変更］が選択できます。
［パスワードの変更］は、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使用するためのパスワードの設定・変更を行います。

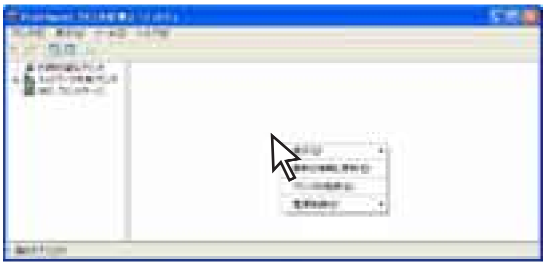
［ヘルプ］メニュー



［ヘルプ］メニューでは、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティについてのヘルプを参照することができます。

ポップアップメニュー

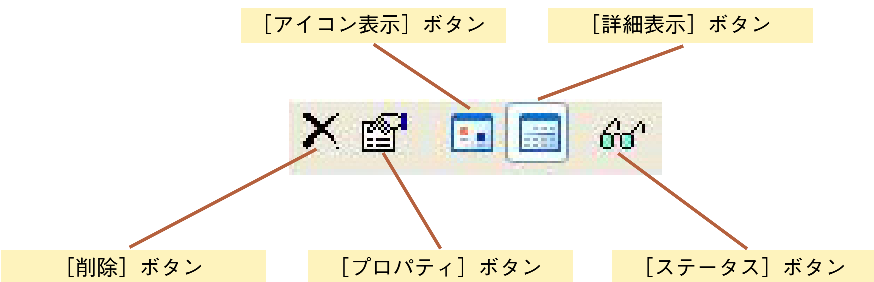
リストビュー内の任意の場所で右クリックすると表示されるメニューです。以下のような機能が実行できます。



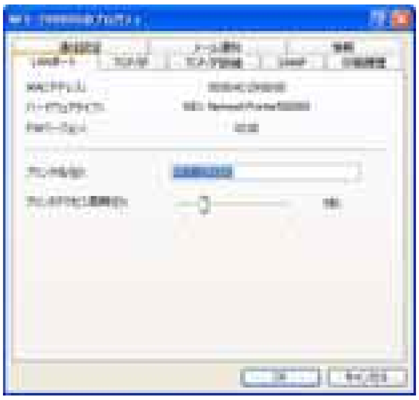
- 表示
  リストビューをアイコン形式で表示するか、リスト形式で表示するかを切り替えます。［表示］メニューの［アイコン］、［詳細］と同じ機能です。
- 最新の情報に更新
  登録されているプリンターと通信を行い情報を更新します。［表示］メニューの［最新の情報に更新］と同じ機能です。
- プリンタの登録
  プリンターを登録します。［プリンタの登録］ウィザードが起動します。［プリンタ］メニューの［プリンタの登録］と同じ機能です。
- 電源制御
  ［プリンタ］メニューの［電源制御］と同じです。

ツールバー

以下のようにメニューの項目をボタンにしたものがツールバーに用意されています。



［プロパティ］ダイアログボックス



ネットワークインターフェースの設定は、左のような［プロパティ］ダイアログボックスで行います。

> **チェック**
>
> 表示される内容は、ネットワークインターフェースによって異なります。
> また、設定できない項目は、グレーアウトされます。

ダイアログボックスの開き方

［プロパティ］ダイアログボックスは、次の方法で開くことができます。

- ［プリンタ］メニューを使う方法
  ［プリンタ］アイコンを選択してから、［プリンタ］メニューの［プロパティ］を選択します。



- ［プリンタ］アイコンを右クリックする方法
  ［プリンタ］アイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

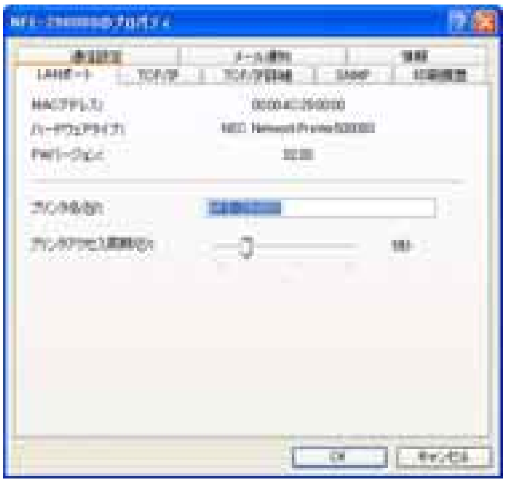


- ［ツール］ボタンをクリックする方法
  ツールバーの［プロパティ］ボタンをクリックします。



[LANポート] シート

ネットワークインターフェースの固有情報を表示設定します。



以下の固有情報を表示します。

- MACアドレス
  プリンターに接続しているネットワークインターフェース固有のネットワークアドレスです。
- ハードウェアタイプ
  プリンターに接続しているネットワークインターフェースの種別です。
- FWバージョン
  ネットワークインターフェースのファームウエアバージョンです。

以下の固有情報を設定できます。

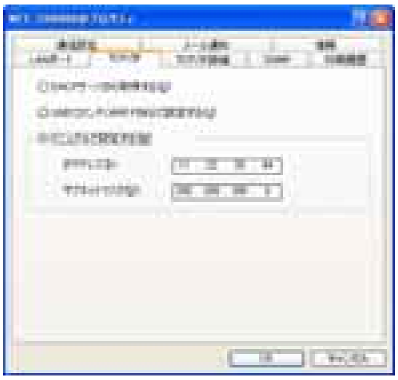
- プリンタ名
  ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
- プリンタアクセス周期
  プリンターの状態を更新する周期です。初期値は5秒になっています。

チェック

プリンターによっては変更が行えない機能があります。

[TCP/IP] シート

TCP/IPプロトコルを使ったときのIPアドレスとサブネットマスクを設定できます。



- DHCPサーバから取得する
  ネットワークインターフェースのIPアドレスとサブネットマスクをDHCPサーバーから取得して設定します。
- UNIXコマンド（ARP, PING）で設定する
  ネットワークインターフェースのIPアドレスをUNIXコマンドで設定できるようにします。
- マニュアルで設定する
  ネットワークインターフェースのIPアドレスとサブネットマスクをマニュアルで設定します。

重要

［DHCPサーバから取得する］を選択した場合は、DHCPサーバーへネットワークインターフェースに設定するIPアドレスを事前に登録しておくことで、不用意なIPアドレスの変化を防止することができます。DHCPサーバーによりIPアドレスが変更された後は登録されたプリンターとしての通信ができなくなります。プリンターを再度、選んで登録し直してください。

［マニュアルで設定する］を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、［UNIXコマンドで設定する］を選んでください。

[TCP/IP詳細] シート

TCP/IP詳細パラメータを設定します。以下の機能を持たないLANボードでは、このシートは表示されません。

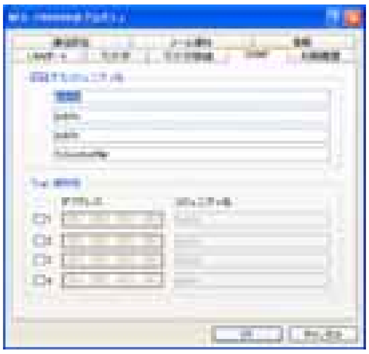


- デフォルトゲートウェイ
  ゲートウェイアドレスを示します。ルーターを超えた印刷をする場合は、設定が必要です。
- 最大セッション数
  TCP/IPの最大接続数を設定します。この設定はすべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象となります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。

- 通信タイムアウト
  TCP/IP接続時にホストコンピュータから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。
  - タイムアウト時間
    タイムアウトまでの時間を示します。設定範囲は「30～7200秒」、初期値は「120秒」になっています。
  - キープアライブパケットを送信する
    通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにKeep Aliveパケットを送信するか、しないかを設定します。Keep Aliveパケット送信時にホストコンピューターから応答がある場合には、TCP/IP接続が維持されます。
- FTPタイムアウト
  FTP接続時のタイムアウト時間を設定します。設定範囲は「5～60分」、初期値は「10分」になっています。

［SNMP］シート

SNMPプロトコルに必要な設定を行います。SNMP機能を持たないネットワークインターフェースでは、このシートは表示されません。



- 認証するコミュニティ名
  ホストコンピューターからのSNMP通信の中で、ネットワークインターフェースが受け付けるコミュニティ名を設定します。コミュニティ名には異なる名称を最大4つまで登録できます。
- Trap通知先
  Trap通知先のSNMPマネージャの登録を最大4つまで行うことができます。以下でTrap通知先を設定します。
  - IPアドレス
    ネットワークインターフェースがホストコンピューターにTrapを通知する時のホストコンピューターのIPアドレスを設定します。
  - コミュニティ名
    ネットワークインターフェースがホストコンピューターにTrapを通知する時のホストコンピューターのコミュニティ名を設定します。

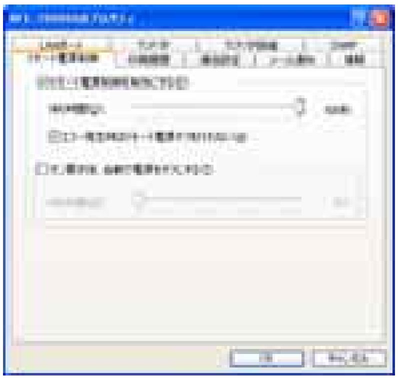
チェック

Trap通知先ホストコンピューターのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。

［TCP/IP詳細］シートの［デフォルトゲートウェイ］ボックスにゲートウェイアドレスを設定してください。

［リモート電源制御］シート

リモート電源制御に関する設定を行います。プリンターの電源のオン、オフ要求は［プリンタ］メニューの［電源制御］から行います。リモート電源制御機能を持つLANアダプターでのみ、このシートは表示されます。

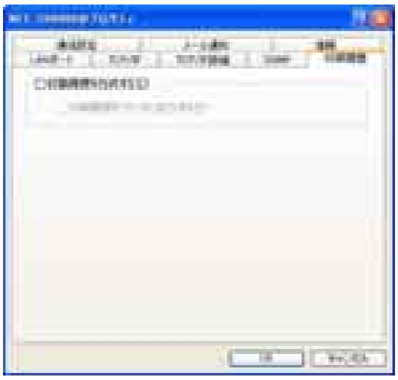


- リモート電源制御を有効にする
  プリンターの電源へのオン／オフ要求を有効にします。オフ要求から［待ち時間］で設定した時間後、プリンターの電源をオフにします。［待ち時間］を「0」に設定した場合は、直ちにオフにします。ただし、プリンターによっては、電源をオフできる状態（印刷中ではないなどの、待機状態）になってからオフする場合があります。
- エラー発生時はリモート電源オフを行わない
  プリンターでエラー発生時は、電源のオフを行いません。
- オン要求後、自動で電源をオフにする
  電源のオンを要求した後、［待ち時間］に設定された時間が経過すると、プリンターの電源をオフにします。

電源制御機能の詳細については、PR-NP-03TR2 LANアダプタの取扱説明書も参照してください。

［印刷履歴］シート

印刷履歴に関する設定を行います。印刷履歴機能を持たないネットワークインターフェースではこのシートは表示されません。



- 印刷履歴を作成する
  チェックすると最大50までのジョブの情報を記録します。
- 印刷履歴をプリンタに出力する
  チェックすると印刷履歴の記録ジョブ数が50になると印刷履歴を印刷します。チェックを外すと印刷を行わず古いジョブの記録から上書きされます。

チェック

印刷履歴はLANボードの電源切断時、またはリセット時（LANボード、またはLANアダプターご使用の場合はこれらの電源切断時）にすべてクリアされ、内部に保持されません。

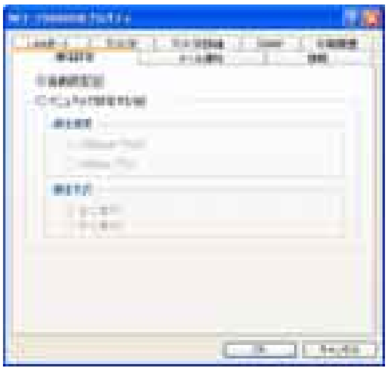
IPアドレスなどの設定を変更した場合もクリアされます。設定を［記録］から［記録しない］に変更した場合、LANボードが保持している印刷履歴を印刷してから設定が変更されます。

［通信設定］シート

通信に関する設定を行います。イーサネットインターフェースがイーサネットで接続されている場合と無線で接続されている場合では表示内容が異なります。

■ イーサネットで接続されている場合

通信速度、通信方式の設定を行います。通信速度の指定ができないイーサネットインターフェースでは、このシートは表示されません。



- 自動設定
  10BASE-T、または100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。また、通信方式も自動で選択されます。
- マニュアルで設定する
  以下の項目をマニュアルで設定できます。
  - 通信速度
    100BASE-TX：100BASE-TX固定の接続設定になります。
    10BASE-T：　10BASE-T固定の接続設定になります。
  - 通信方式
    全二重（Full Duplex）：パケットの送受信を同時に行うことができます。
    半二重（Half Duplex）：パケットの送受信をそれぞれ別々に行うことができます。

■ 無線で接続されている場合

ネットワークに関する設定を行います。



- ネットワーク名
  接続したいアクセスポイントやコンピューターに認証機能として設定しているネットワーク名（ESS-ID）と同じ名前を設定します。
- ネットワークタイプ
  以下のネットワークタイプから選択します。
  - ピア・ツー・ピアグループ（あるいはアドホック）
    無線LANカードを取り付けたコンピューターと無線LANプリンターを直接、無線接続します。プリンターのLANボードの設定によって、「ピア・ツー・ピア グループ」または「アドホック」の表示が異なります。

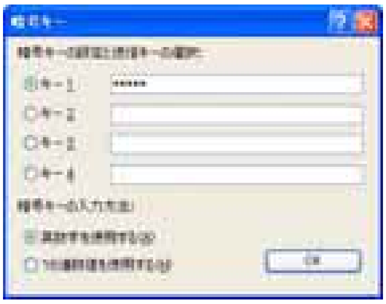
> **チェック**
> アドホックタイプでご使用の場合は、PR-WLX-13 無線LANボードのセットアップガイドを参照してください。[アドホック] は、無線通信に使用するチャンネルバンドを選択設定する（ネットワーク名（ESS-ID）を設定しない）無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。アドホック設定時は、 使用するチャンネルバンドが「チャンネル1」固定になります。

  - レジデンシャル・ゲートウェイ
    NEC無線LANアクセスポイント（PK-WL002H）経由でネットワークに無線接続します。
  - アクセスポイント
    無線LANアクセスポイント経由でネットワークに無線接続します。以下の項目は、NEC無線LANアクセスポイントN（PK-WL003)、無線LANアクセスポイントE（PK-WL005)、無線LANアクセスポイントS（PK-WL007)、無線LANアクセスポイントEX（PK-WL010）と無線LANプリンターを接続する場合に、アクセスポイントの設定に合わせた設定を行います。その他のアクセスポイントと接続する場合は変更の必要はありませんので、初期値のままご使用ください。

項　目	説　明
RTS/CTS媒体予約	チェックを付けることでRTS/CTS媒体予約を使用します。 • 使用しない： CSMA/CA機構で無線メッセージの衝突検出と再送を行います。 • 使用する： 送信メッセージが長い場合、アクセスポイントがRTSを受信するとCTSを無線端末に送信し、RTSを送信した無線LANボードが転送を完了するまで他の無線端末を待たせます。
干渉に関する強化	ネットワーク内で使用している電子レンジなどとの干渉により、無線ネットワークの性能が落ちている場合にチェックします。
アクセスポイント間の距離	無線LANボードのローミング感度を設定します。「長」から「短」になるほどローミングしやすくなります。 無線ネットワーク環境では、通常、複数のアクセスポイントの設置が密集してくると「長」から「短」の設定になります。無線ネットワーク環境で一致しない値を使うと無線通信性能に著しく影響するおそれがあります。

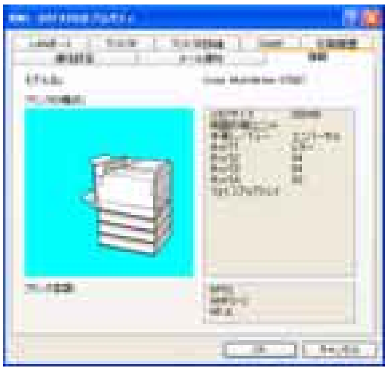
- データ保護
  チェックすると、WEP（Wired Equivalent Privacy）データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。暗号キーは次のように使用します。
  - キー 1から4の暗号キーは、無線LANボードが受信する無線メッセージを複合します。
  - キー 1から4の中から選択された1つの暗号キーは、無線LANボードが送信する無線メッセージを暗号化します。選択された暗号キーは、必ず設定する必要があります。

［暗号キー］は、アクセスポイントやコンピューターの無線端末が、無線LANボードにデータを送信するときに使用する暗号キーと同じものを設定します。
使用できる文字は、［英数字を使用］を選択時は、半角英数字「a～z」、「A～Z」、「0～9」です。［16進数を使用］を選択時は、「0～9」、「A～F」です。
暗号キーの文字数は、5文字（16進数で10桁）または13文字（16進数で26桁）のどちらかの文字数でのみ設定することができます。



［情報］シート

プリンターの構成情報を以下の項目で文字とイラストを使って表示します。プリンターと双方向通信ができず、プリンターの情報が取得できないときはこのシートは表示されません。



- モデル名
  プリンターのモデル名です。
- プリンタの構成
  プリンターに装着されているオプションなどの情報です。
- プリンタ言語
  プリンターで使用可能なプリンターの言語を一覧します。

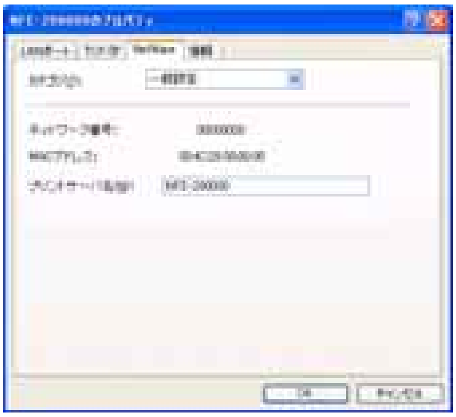
［NetWare］シート

NetWareネットワーク環境で印刷する場合の設定をします。［カテゴリ］の設定によってシートの表示が切り替わります。

> ✔チェック
>
> NetWareプロトコルを持たないネットワークインターフェースではこのシートは表示されません。

■　一般設定

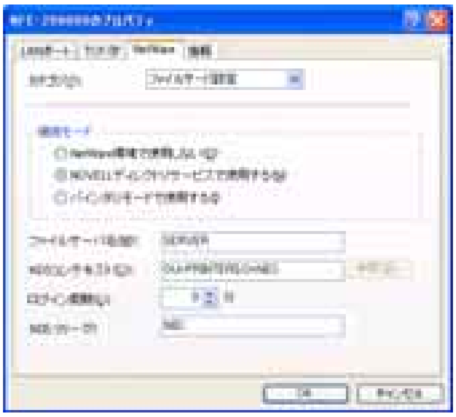
［一般設定］を選ぶと、以下のような表示や設定ができます。



- ネットワーク番号
  NetWareネットワーク番号を示します。
- MACアドレス
  LANボードのMACアドレスを示します。
- プリントサーバ名
  NetWareで使用するプリントサーバー名を設定します。

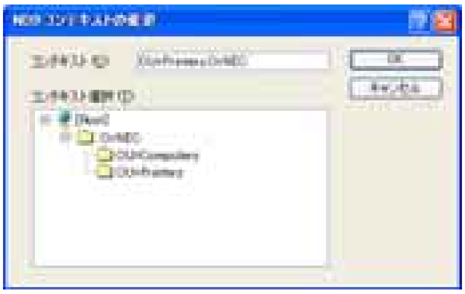
■　ファイルサーバ設定

［ファイルサーバ設定］を選択すると、以下のような設定ができます。



- 接続モード
  NetWareサーバーへの接続モードを指定します。
  - NetWare環境で使用しない
    NetWareプリントサービスを使用しないとき選択します。
  - NOVELLディレクトリサービスで使用する
    NetWare 4.1以降のNDSモードで接続するときに使用します。
  - バインダリモードで使用する
    NetWare 3.1以降で使用できるモードです。
- ファイルサーバ名
  プリントサーバーが定義されているファイルサーバー名を指定します。
- NDSコンテキスト
  NDSモードで接続するときプリントサーバーが定義されているコンテキストを入力します。

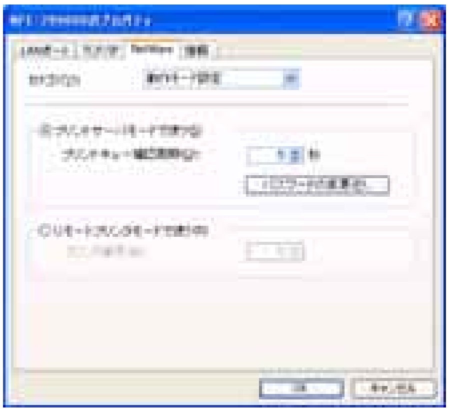
- ［参照］
  NDSコンテキスト情報を入力するときに利用します。クリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。このボタンは、ご使用のコンピューターにNovellのNetWareクライアントソフトウエアがインストールされていることで有効になります。また、NetWareサーバーにログインしていることが必要です。



  - コンテキスト
    現在選択されているコンテキストを表示します。
  - コンテキスト選択
    ディレクトリツリーを表示しコンテキストを選択します。
  - ログイン周期
    ファイルサーバーとの接続が切れたときに再ログインする周期を設定します。
  - NDSツリー
    NDSツリー名を設定します。NDSコンテキストを［参照］で設定した場合、参照したツリーの名前が［NDSツリー］に設定されます。

■　**動作モード設定**

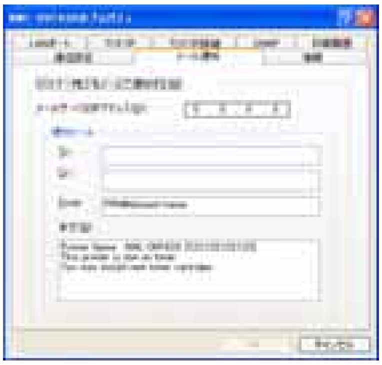
NetWareプリントサービスのモードを指定します。



- プリントサーバモードで使う
  プリントキューの印刷ジョブを確認する周期を設定できます。また、［パスワードの変更］をクリックすると以下のダイアログボックスが表示され、NetWareのファイルサーバーにログインするためのパスワードの設定ができます。
- リモートプリンタモードで使う
  リモートプリンターの番号を選択できます。

［メール通知］シート

トナー残少をメールで通知する設定を行います。



- トナー残少をメールで通知する
  この項目にチェックするとプリンターが「トナー残少」となった場合、設定されたアドレスへメールが送信されます。

> **チェック**
>
> 電子メール送信後、トナーカートリッジの交換が行われる前に送信先メールアドレスなどのパラメーターが変更されると、再度、電子メールが送信されます。

- メールサーバのIPアドレス
  メールサーバーのIPアドレスを設定します。
- To：
  メールの送信先アドレスを設定します。

> **チェック**
>
> メールのSubjectは以下で固定です。
> Subject: [NECNIC Report] Printer low-toner

- Cc：
  メールの配付先アドレスを設定します。
- From：
  メールの送信元アドレスを設定します。仮のアドレスが使用できますが、必ず「@（アットマーク）」付きの形式で入力してください。
- 本文
  メールの本文を記述します。使用可能な文字は半角文字のうち、「；（セミコロン）」を除いたものです。

無線LANプリンタ導入ウィザード

添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティー「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使用すると無線LANボードを簡単に設定することができます。ここではWindows XP上での手順を例にとって、無線LANプリンタ導入ウィザードの起動方法までを説明します。

重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を［コンピュータの管理者］のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターに IP アドレスを設定する場合は、プリンターに IP アドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。
- 800×600ピクセル以上の解像度、High Color（16ビット色）以上を推奨します。

❶ **Windows XPを起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

> お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、プリンターソフトウエアCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。



❸ **［ユーティリティ］をクリックする。**



❹ **［無線LANプリンタ導入ウィザード］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。**

プリンターソフトウエアCD-ROM内の［Wireless］フォルダーが開きます。



❺ **［SetupWiz.EXE］アイコンをダブルクリックする。**

［無線LANプリンタ導入ウィザード］が起動します。

❻ **［次へ］をクリックする。**

［設定方法の選択］が表示されます。



設定方法の選択

- 初期設定 ....プリンターが出荷時の状態の場合または無線LANボード／アダプターの設定を初期化してから再度設定したい場合には、こちらを選択してください。
- 設定変更 ....パソコン・プリンター間の通信が可能な状態から無線LANボード／アダプターの設定を変更したい場合には、こちらを選択してください。
- 通信確認 ....設定後の通信確認のために、現在のパソコン設定で通信可能なプリンターを表示確認する場合には、こちらを選択してください。

以降の手順については、無線LANプリンタ導入ウィザードに従って設定を行ってください。

WWWブラウザー

プリンターをネットワーク環境で利用するための設定を汎用のWWWブラウザーで実行する方法について説明します。

重要

LANインターフェースの設定項目は、プリンターやLANボードの種類によって異なります。

WWWブラウザーの起動

LANインターフェースに設定されたIPアドレスをWWWブラウザーのURL入力欄に入力することでLANインターフェースのページを開くことができます。

```
http://ddd.ddd.ddd.ddd/
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はLANボードのIPアドレスです。

（実行例）

```
http://11.22.33.44/
```

重要

工場出荷状態または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は以下のことにご注意ください。

- ホストコンピューターのルーティングテーブルにルートパスを一時的に設定する必要があります。
- 接続時はプロキシーサーバーを使用しない設定にしてください。
- プリンターとホストコンピューターがルーターなどを介さないで接続された環境で行ってください。

ホストコンピューターの設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

LANインターフェースとの接続に成功すると右のような画面が開きます。



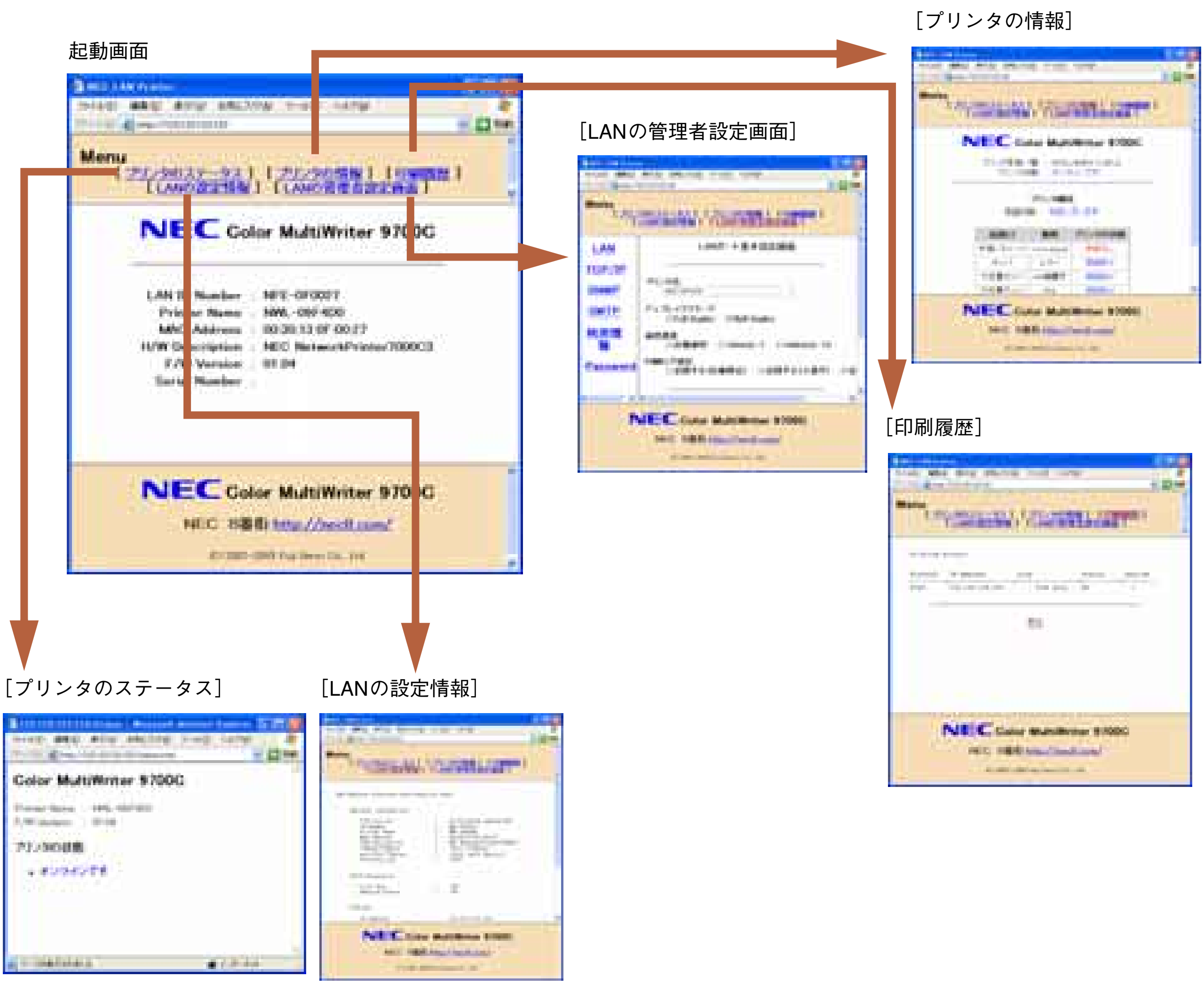
WWWブラウザーでは以下の情報を設定または参照することができます。

- プリンタのステータス
- プリンタの情報
- 印刷履歴
- LANの設定情報
- LANの管理者設定画面

チェック

「LANの管理者設定画面」ではフレーム表示対応のWWWブラウザーを使用する必要があります。Internet Explorer 3.x以降またはNetscape Navigator 3.x以降などのフレーム対応ブラウザーをご使用ください。

画面の構成



画面表示は一部製品と異なる場合があります。

各メニューの詳細

起動画面から選択するメニューの詳細について説明します。

プリンタのステータス

「プリンタのステータス」画面では、プリンターの状態が表示されます。
この画面は起動画面とは別の新規ウィンドウとして起動されます。

チェック

- 状態表示の周期は変更できません。
- プリンター名は「LANの管理者設定画面」で変更することができます。



- Printer Name
  LANインターフェースに登録されたプリンター名を示します。
- F/W Version
  LANインターフェースのファームウェアのバージョンを示します。
- プリンタの状態
  30秒周期にプリンターの状態を監視し、状態が自動的に更新されます。

プリンタの情報

「プリンタの情報」画面では、プリンターの状態、構成情報が表示されます。



- プリンタ言語一覧
  プリンターがサポートしている処理言語を一覧表示します。
- プリンタ状態
  「プリンターの情報」画面を開いたときのプリンターの状態が表示されます。

> ✔チェック
>
> ステータスはWWWブラウザーの表示を更新するまで変わりません。

- プリンタ構成
  プリンターの給紙ユニット情報、用紙サイズ、および用紙の有無が表示されます。

印刷履歴

印刷履歴画面では、LANインターフェース経由で印刷した印刷履歴が表示されます。

> ✔チェック
>
> - プリンターの印刷履歴を表示する場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷時の設定では［記録しない］になっています。
> - 印刷履歴を記録するための設定変更は、「LANの管理者設定画面」で行います。



- Protocol：　印刷アプリケーションプロトコルを示します。
- IP Address：　ホストコンピューターのアドレスです。
- Size ：　プリンターが受信したデータサイズを示します。
- Satus：　通信結果を示します。
- Session：　プリンターが受けている印刷リクエストの数を示します。

LANの設定情報

「LANの設定情報」画面では、LANインターフェースに設定されている登録情報一覧を参照することができます。

この画面は、コンフィグレーションページより得られる印刷出力情報を画面に表示したものです。



LANの管理者設定画面

「LANの管理者設定画面」では、LANインターフェースの設定確認、設定変更を行うことができます。

チェック

- パスワードの変更に関してはPassword設定画面を参照してください。
- LANボード出荷時のパスワードは「NECPRADMIN」です。
- パスワードを忘れた場合は、LAN インターフェースの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るため、再設定が必要です。LANインターフェースの初期化については、本章の「ネットワーク設定の初期化」（150ページ）を参照してください。



チェック

設定の登録は大きく分かれた個々のブロック単位で行います。設定変更後に［設定］を押して登録を行ってください。

設定項目は大きく次の6つに分かれています。

- LAN
  「LANポートの基本設定画面」が表示され、LANインターフェース固有の基本設定を行います。
- TCP/IP
  「TCP/IP設定画面」が表示され、IPアドレス設定など、ネットワーク接続に必要な設定を行います。
- SNMP
  「SNMP設定画面」が表示され、SNMP管理プロトコルを使用する場合に、必要な設定を行います。
- SMTP
  「SMTP設定画面」が表示され、レーザープリンターのトナー残量が少なくなった場合に電子メールを送信する設定を行います。
- 利用情報
  「利用情報 設定画面」が表示され、利用情報の設定を行います。
- Password
  「Password設定画面」が表示され、設定を変更するときに入力するパスワードの変更が行えます。

LANポート基本設定画面

「LANポート基本設定画面」では、LANインターフェースのプリンター名や通信速度などの基本的な設定を行います。



- プリンタ名
  LANインターフェース固有の名前を登録することができます。
  登録可能な文字列は半角大文字の英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- デュプレックスモード
  スイッチングハブ接続時のパケットの送受信設定を行います。
  - Full Duplex（全二重通信）
    パケットの送受信を同時に行うことができます。
  - Half Duplex（半二重通信）
    パケットの送受信をそれぞれ別々に実行します。

> **チェック**
>
> 「通信速度」で「自動選択」が選ばれているときはデュプレックスモードの設定は無効となり自動選択になります。

- 通信速度
  LANインターフェースの通信速度の設定を行います。
  - 自動選択
    10BASE-Tまたは100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。本設定選択時は、デュプレックスモードも自動判別し、決定します。
  - 10BASE-T
    10BASE-T固定の接続設定になります。
  - 100BASE-TX
    100BASE-TX固定の接続設定になります。

> チェック
> 10BASE-Tまたは100BASE-TX選択時は、デュプレックスモードの設定が有効になります。

- 印刷ログ設定
  LANインターフェース経由の印刷履歴を記録するための設定を行います。
  - 記録する（自動排出）
    印刷履歴を記録するとともに、最大登録ジョブ数になると、自動的に印刷履歴を印刷出力します。
    最大登録ジョブ数：50
  - 記録する（上書き）
    印刷履歴を記録するとともに最大登録ジョブ数を超えて印刷すると、一番古いジョブから削除（上書き）されます。
  - 記録しない
    印刷履歴は記録されません。

> チェック
> - 印刷履歴はLANインターフェースの電源切断時またはリセット時にすべてクリアされ、内部に保持されません。
> - IPアドレスなどの設定を変更した場合もクリアされます。
> - 設定を［記録する］から［記録しない］に変更した場合、LANボードが保持している印刷履歴を印刷してから設定が変更されれます。

- Password
  パスワードを入力します。

無線LANボード（型番：PR-WLX-13）を取り付けている場合は、以下が表示されます。

- プリンタ名
  LANボード固有の名前を登録することができます。
- ネットワーク名
  接続したいアクセスポイントやコンピューターに認証機能として設定しているネットワーク名（ESS-ID）と同じ名前を設定します。
- ネットワークタイプ
  以下のネットワークタイプから設定します。詳しくは、無線LANボードに添付のセットアップガイドをご覧ください。
  - ピア・ツー・ピア グループ（あるいはアドホック）
  - アクセスポイント
  - レジデンシャル・ゲートウェイ
- アクセスポイント間の距離
  無線LANボードのローミング感度を設定します。「長」から「短」になるとローミングしやすくなります。
- RTS/CTS媒体予約
  この項目をチェックすると、RTS/CTS媒体予約を使用します。

- 干渉に関する強化
  ネットワーク内で使用している電子レンジなどの干渉により、無線ネットワークの性能が落ちている場合にチェックします。
- 暗号化
  WEP（Wired Equivalent Privacy）データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。最大4つまで設定できる暗号キーは、LANプリンターが受信する無線メッセージを復号するために使用されます。詳しくは無線LANボードに添付のセットアップガイドをご覧ください。
- 印刷ログ設定
  LANボード経由の印刷履歴を記録するための設定を行います。
- Password
  パスワードを入力します。

無線LAN設定については、「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「■ 無線で接続されている場合」（56ページ）を併せてご覧ください。

TCP/IP設定画面

TCP/IPに関する設定を行います。



- DHCP
  LANインターフェースのIPアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する機能を使用するかしないかを設定します。［使用する］選択時にDHCPが有効となります。DHCPの詳細については「より便利なネットワーク機能」の「DHCP」（133ページ）を参照してください。
- IPアドレス
  LANボードのIPアドレスを設定します。

> **重要**
>
> 工場出荷状態または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は、次のことに注意してください。
>
> - ホストコンピューターのルーティングテーブルにルートパスを一時的に設定する必要があります。
> - 接続時はプロキシーサーバーを使用しない設定にしてください。
> - プリンターとホストコンピューターがルーターなどを介さないで接続された環境で行ってください。
> - 異なるIPアドレスを設定すると応答が返らなくなります。一度、WWWブラウザーを閉じて正しいIPアドレスをURLに指定してください。

- サブネットマスク
  LANインターフェースのサブネットマスクを設定します。
- ゲートウェイ
  ゲートウェイアドレスを設定します。

> チェック
> - ゲートウェイアドレスの設定は、ルータを超えた印刷、SNMPのTrap機能および電子メール配信機能を使用する場合に必要です。
> - 使用しないときは「0.0.0.0」を登録してください。

- FTPタイムアウト
  FTPログイン時のタイムアウト時間を設定します。

  設定範囲　：5〜60（分）
  初期値　：10（分）
- 最大セッション数
  TCP/IPの最大接続数を設定します。
  この設定はすべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象となります。

  設定範囲　：1〜64
  初期値　：64
- 通信タイムアウト
  TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。

  設定範囲　：30〜7200（秒）
  初期値　：120（秒）
- AutoIP設定（PING）
  UNIXコマンドによるIPアドレス設定時にPINGによるIPアドレス設定を許可するかしないかを設定します。
  ［設定する］選択時にPINGによる設定変更が可能です。
- KeepAlive
  ［通信タイムアウト］で設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにキープアライブパケットを送信するかしないかを設定します。
  キープアライブパケット送信時にホストコンピューターから対応がある場合は、TCP/IP接続が維持されます。
  ［使用する］選択時にキープアライブパケットが送信されます。
- アクセス制限
  IPアドレスによるアクセス制限機能を使用するか、しないかを設定します。詳しくは「アクセス制限」を参照してください。
- アクセス制限1
  アクセス制限1の各項目を設定します。項目は以下の4項目で構成されています。
  - 有効／無効設定
    アクセス制限1のパラメーターの有効／無効を設定する。
  - アクセス許可／拒否設定
    アクセス制限1のIPアドレス／ネットマスクにマッチしたパケットの取り扱いを設定する。
  - アクセス制限を行うIPアドレス
    アクセス制限を行うIPアドレスを設定します。
    設定範囲　：各オクテットは0〜255
    初期値　：0.0.0.0
  - アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスク
    アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスクを設定する。
    設定範囲　：各オクテットは0〜255
    初期値　：0.0.0.0
- アクセス制限2〜5
  各パラメーター、入力条件はアクセス制限１と同じです。
- Password
  パスワードを入力します。

SNMP設定画面



- 認証されたコミュニティ名
  Get Request、Set Requestコマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。
  コミュニティ名には異なる名称を最大4つまで登録できます。
- Trapの設定
  Trap送信先のTrapマネージャの登録を最大4つまで行うことができます。
  それぞれのTrapマネージャに対し、以下の設定が必要です。
  ［使用する］選択時に有効となります。
  - IPアドレス
    Trap送信するホストコンピューターのIPアドレスを設定します。
  - コミュニティ名
    ホストコンピューターがTrapを受け付けるコミュニティ名を設定します。

> **チェック**
>
> Trap送信先ホストコンピューターのIPアドレスのネットワークアドレスがLANインターフェースのネットワークアドレスと異なる場合はゲートウェイアドレスの設定が必要です。
> TCP/IP設定の［ゲートウェイアドレス］欄でゲートウェイアドレスを設定してください。

SMTP設定画面

プリンターのトナー残量が少なくなると、電子メールを送信して通知します。



- トナーの残量が少ないとき、メールで通知
  プリンターのトナーの残量が少ない場合に電子メールを送信するかしないかを設定します。[する] を選択している場合に、有効となります。

> チェック
> - トナーの残量が少なくなった初期の状態において、プリンター側のセンサーの状況により、数回電子メールが送信される可能性があります。
> - 電子メール送信後、トナーカートリッジの交換が行われる前に送信先メールアドレスなどのパラメーターが変更されると、再度、電子メールが送信されます。

- メールサーバーのIPアドレス
  メールサーバーのIPアドレスを設定します。

> チェック
> メールサーバーのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
> TCP/IP設定画面の［ゲートウェイアドレス］ボックスでゲートウェイアドレスを設定してください。

- To:のメールアドレス
  電子メール送信先のメールアドレスを入力します。

> チェック
> メールのSubjectは以下で固定です。
> Subject: [NECNIC Report] Printer low-toner

- Cc:のメールアドレス
  電子メール送信先の写しが必要な場合にメールアドレスを入力します。
- From:のメールアドレス
  電子メール送信元のメールアドレスを変更します。初期値として「PRN@domain-name」が設定されています。必要に応じて、送信元アドレスの変更を行ってください。

> チェック
> From：送信元アドレスを入力する場合
> 「ユーザー名@ドメイン名」の形式で必ず入力してください。
> 「@」がない場合や「@」の前後に文字列がない場合は入力エラーとなり、設定変更されません。

- メール本文
  電子メールの本文に記載するコメントを入力します。3行まで入力できます。各行ともに最大80文字（80バイト）、計240文字の入力可能です。

> チェック
> 本文として使用可能な文字列は、ASCIIコード：0020h～007Eh（16進）の範囲に限ります。ただし、以下の文字コードは使用することができません。
> - “(0022h)
> - &（0026h）
> - ;（003Bh）
> - <（003Ch）
> - >（003Eh）

- Password
  パスワードを入力します。

利用情報 設定画面



- 利用情報記録
  利用情報機能を使用するか、しないかを設定します。

- 利用情報サーバーのIPアドレス
  FTPサーバーのIPアドレスを入力します。

  初期値　　　　　：0.0.0.0
  初期値の場合、利用情報はプリンターからコンピューターへ送信されず、印刷出力されます。

- ログインユーザー名

  初期値：　　　　　anonymous
  使用できる文字：　半角英数、アンダーバー「_」、およびハイフン「-」。32文字まで有効

- ログインパスワード

  初期値：　　　　　PRN@domain-name
  使用できる文字：　文字コード（0x20-0x7F）、32文字まで有効

- サーバーのポート番号

  初期値：　　　　　21
  設定範囲：　　　　0～65535

- 利用情報ファイル名

  初期値：　　　　　prXXXXXX.csv（標準装備のLANインターフェースの場合）
  　　　　　　　　　wlXXXXXX.csv（無線LANボードの場合）
  使用できる文字：　半角英数、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、ドット（0x2e）「.」、64文字まで有効。ファイル名は、ディレクトリー指定（'/'）ができます。ファイル名は変更できません。ファイル名が存在しない場合は、エラーとなります。

- Password
  パスワードを入力します。

Password設定画面

設定変更するときに入力するパスワードの変更方法を説明します。



画面の指示に従い、以下の3つのパスワードをすべて入力して新しいパスワードの登録を行ってください。

- 現在のパスワード入力
- 新しいパスワード入力
- 新しいパスワード再入力

LANインターフェース出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。

チェック

- パスワードとして使用可能な文字列は半角英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「 _ 」です。
- 英字の大文字と小文字は区別されます。
- WWWブラウザーからのパスワード変更によりTelnetのログインに必要なパスワードも同時に変更されます。Telnetによるパスワード設定に関しては「Telnet」を参照してください。
- 新しいパスワードは、次回のログイン時から有効になります。
- パスワードを忘れた場合は、LAN インターフェースの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るので、再設定が必要です。LANインターフェースの初期化に関しては「ネットワーク設定の初期化」（150ページ）を参照してください。

Telnet

ネットワーク環境で利用するための設定をTelnetで変更する方法について説明します。Telnetで接続（ログイン）すると以下の情報を設定または参照することができます。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイアドレス
- アクセス制限
- SNMP
- パスワード
- LANボード管理情報

チェック

- Telnetでログインする際はパスワードの入力が必要です。
- パスワードの設定に関しては「パスワード」を参照してください。
- Telnetでログインできるユーザーは1人です。2人以上で同時にログインすると最初にログインしたユーザーのみ受け付けます。

Telnet起動画面

Telnetを使用して設定を変更することができます。

❶ **ログインを希望するLANボードのIPアドレスを指定して、「Enter」キーを押す。**

```
Telnet ddd.ddd.ddd.ddd
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はLANボードのIPアドレスです。

（実行例）

```
Telnet 11.22.33.44
```

チェック

LANインターフェースのIPアドレスがホストコンピューターと異なるネットワークアドレスの場合、ホストコンピューターのルーティングテーブルにルート・パスを一時的に設定する必要があります。

設定に関しては、ホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

❷ **パスワードを入力する。**

```
Connected to:11.22.33.44

Password:
```

チェック

- パスワードに関しては「パスワード」を参照してください。
- パスワード入力を間違うと、Telnetからログアウトされます。
- LANボード出荷時のパスワードは「NECPRADMIN」です。

セットアップのメインメニューが表示されます。

```
Main Menu
---------
1. IP Address
2. Subnet Mask
3. Gateway Address
4. Access Limitation setting
---------
5. SNMP setting
---------
6. Password
7. Management
---------
S. Save (Disconnect and Save parameters)
Q. Quit
Type Any No.>
```

❸ **各メニューにはサブメニューがあります。設定変更を行いたい項目の番号を［Type Any No.>］の後に入力する。**

各メニューの設定については、それぞれのページを参照してください。

すべての内容の変更または内容の確認が終わったら、Telnetをログアウトします。

❹ **［Type Any No.>］の後に「S」か「Q」を入力し、「Enter」キーを押してログアウトする。**

「S」入力：設定変更した内容をLANインターフェースに登録してTelnetをログアウトします。

「Q」入力：設定変更した内容をLANインターフェースに登録せずにTelnetをログアウトします。この場合、Telnetログイン前の設定が保持されます。

> ✔チェック
>
> - 印刷データ受信中に「S」入力により設定変更を行うと、受信済みのすべての印刷処理終了後に設定変更が行われます。
> - 設定変更時はLANインターフェースのリセットが実行されます。リセット処理中はTelnetによるログインはできません。

各メニューの詳細

起動画面から選択するメニューの詳細について説明します。

IPアドレス

LANインターフェースのIPアドレスを設定します。

❶ **メインメニューで「1」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
Current IP Address: 11.22.33.44

DHCP: OFF
1. Change IP Address
2. DHCP On/Off
3. Exit

Type Any No.>
```

❷ **直接IPアドレスを設定変更する場合は「1」を、DHCP設定を変更する場合は「2」を入力し、「Enter」キーを押す。**

DHCPの詳細については「より便利なネットワーク機能」の「DHCP」（133ページ）を参照してください。

❸ **設定内容を保存してログアウトする。**

サブネットマスク

LANインターフェースのサブネットマスクを設定します。

❶ **メインメニューで「2」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
Current Subnet Mask: 255.0.0.0

1. Change
2. Exit

Type Any No.>
```

❷ **「1」を入力し、「Enter」キーを押す。**

❸ **変更するサブネットマスクを入力する。**

❹ **設定内容を保存してログアウトする。**

ゲートウェイアドレス

ゲートウェイアドレスを設定します。

❶ **メインメニューで「3」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
Current Gateway Address: 0.0.0.0

1. Change
2. Exit

Type Any No.>
```

❷ **「1」を入力し、「Enter」キーを押す。**

❸ **変更するゲートウェイアドレスを入力する。**

❹ **設定内容を保存してログアウトする。**

アクセス制限

アクセス制限を設定します。IPアドレスによるアクセス制限には、次の設定が必要です。以下の手順に従ってアクセス制限を設定してください。詳しくは、「アクセス制限」（146ページ）を参照してください。

> **チェック**
>
> アクセス制限機能が有効な場合は、アクセスを拒否されているコンピューターからWWWブラウザーやTelnetなど、すべての通信を行うことができません。通信を行う場合は、設定を無効にしてください。

- アクセス制限のOn／Off
  IPアドレスによるアクセス制限機能のOn/Off設定を行えます。

- コミュニティ名の設定
  アクセス制限1～5の各項目の設定を行えます。項目は以下の4項目で構成されます。
  - 有効／無効設定
  - アクセス許可／拒否設定
  - アクセス制限を行うIPアドレス
  - アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスク

❶ **メインメニューで「4」を入力し、「Enter」キーを押す。**

次のように表示されます。

```
Access Limitaion Setting
Current Access Limitaion: Off

1. Access Limitation On/Off
2. 1st Level Access Limitation
3. 2nd Level Access Limitation
4. 3rd Level Access Limitation
5. 4th Level Access Limitation
6. 5th Level Access Limitation
7. Exit

Type Any No.>
```

❷ **アクセス制限On／Offの設定の場合は「1」を、アクセス制限1～5の設定の場合は「2」～「6」を入力し、「Enter」キーを押す。**

設定についてはそれぞれのページを参照してください。

❸ **設定内容を保存してログアウトする。**

アクセス制限On／Off

［1. Access Limitation On/Off］を選択した場合は、以下のように表示されます。（上段に現在の設定が表示されます。）

```
Current Access Limitaion: Off

1. On
2. Off

Type Any No.>
```

アクセス制限を使用する(Onにする)場合、「1」を入力し、「Enter」キーを押す。アクセス制限を使用しない(Offにする)場合は、「2」を入力し、「Enter」キーを押す。

アクセス制限のメニュー画面に戻ります。

アクセス制限の設定

［2. 1st Level Access Limitation］を選択した場合は、以下のように表示されます。（上段に現在の設定が表示されます。）

```
1st Level Access Limitation

Access Limitation: Invalid
Access: Accept
Current IP Address:
XXX.XXX.XXX.XXX
Current Net Mask:
XXX.XXX.XXX.XXX
1. Access Limitation Valid/Invalid
2. Access Accept/Reject
3. Change IP Address
4. Change Net Mask
5. Exit

Type Any No.>
```

アクセス制限2～5の各パラメータ、入力条件はアクセス制限1と同じです。ここでは、アクセス制限1の設定を説明します。

❶ **アクセス制限1を有効にする場合、［1. Access Limitation Valid/Invalid］の設定を［Valid］にする。**

❷ **アクセス制限1の IP アドレス／ネットマスクにマッチしたパケットを［Accept］（許可）または［Reject］（拒否）のいずれで扱うか設定する。**

「2」、「Enter」キーを押して、Accept／Rejectを選択してください。

❸ **アクセス制限を行うIPアドレスを設定する。**

「3」、「Enter」キーを押して、IPアドレスを入力してください。

❹ **アクセス制限を行う IP アドレスのネットマスクを設定する。**

「4」、「Enter」キーを押して、ネットマスクを入力してください。

❺ **すべての設定が完了したら、「5」、「Enter」キーを押して、アクセス制限のメニュー画面に戻ります。**

SNMP

SNMPの通信には、次の設定が必要です。以下の手順に従ってSNMPを設定してください。

- SNMP Trapの設定
  SNMP Trapマネージャーの登録を最大4つまで行えます。
- コミュニティ名の設定
  GetRequest、SetRequestコマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。コミュニティ名には最大5つまで異なる名称を登録できます。

❶ **メインメニューで「5」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
SNMP Setting

1. 1st SNMP Trap Manager
2. 2nd SNMP Trap Manager
3. 3rd SNMP Trap Manager
4. 4th SNMP Trap Manager
5. Authentic Community
6. Exit

Type Any No.>
```

チェック

アクセス制限機能が有効な場合は、アクセスを拒否されているコンピューターからWWWブラウザーやTelnetなど、すべての通信を行うことができません。通信を行う場合は、設定を無効にしてください。

❷ **SNMP Trapの設定の場合は、「1」～「4」を、コミュニティ名の設定の場合は「5」を入力し、「Enter」キーを押す。**

設定についてはそれぞれのページを参照してください。

❸ **設定内容を保存してログアウトする。**

SNMP Trap

［1. 1st SNMP Trap Manager］～［4. 4th SNMP Trap Manager］を選択した場合は、以下のように表示されます。

```
1st SNMP Trap Manager

Trap:                        Off
Current IP Address:          0.0.0.0
Current Community Name: public

1. Trap On/Off
2. Change IP Address
3. Change Community Name
4. Exit

Type Any No.>
```

上段に現在の設定が表示されます。

❶ **SNMP Trapを使用する場合、［1. Trap On/Off］の設定を［On］にする。**

❷ **Trap送信先ホストのIPアドレスを設定する。**

「2」、「Enter」キーを押して、IPアドレスを入力してください。

❸ Trap送信のコミュニティ名を設定する。

「3」、「Enter」キーを押して、コミュニティ名を入力してください。

> ✔チェック
>
> Trap送信先ホストのIPアドレスのネットワークアドレスがLANインターフェースのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。「ゲートウェイアドレス」を参照してゲートウェイアドレスを設定してください。

コミュニティ名の設定

[5. Authentic Community] を選択した場合は、以下のように表示されます。

```
Authentic Community

1. Authentic Community1: public
2. Authentic Community2: public
3. Authentic Community3: public
4. Authentic Community4: public
5. Exit

Type Any No.>
```

現在登録されているコミュニティ名が右側に表示されます。変更したいコミュニティ名の番号を選択して新しいコミュニティ名を入力してください。

パスワード

Telnetでログインする際に入力するパスワードの変更方法について説明します。LANインターフェース出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。

> ✔チェック
>
> - パスワードとして使用可能な文字列は、半角英字、数字、ハイフン 「-」、およびアンダーバー「_」です。
> - 英語の大文字と小文字は区別されます。
> - Telnet のパスワードを変更すると、WWW ブラウザーから設定する場合に必要なパスワードも同時に変更されます。WWW ブラウザーからの設定に関しては、「WWWブラウザー」を参照してください。

❶ メインメニューで［Type Any No.>］の後に「6」を入力し、「Enter」キーを押す。

❷ パスワードを入力する。

パスワードの変更時は入力ミスを防ぐために2回同じパスワードを入力します。画面の指示に従って新しいパスワードを入力してください。

> ✔チェック
>
> - 新しいパスワードは、次回のログイン時から有効になります。
> - パスワードを忘れた場合は、LANインターフェースの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るため、再設定が必要です。LAN インターフェースの初期化に関しては「ネットワーク設定の初期化」（150ページ）を参照してください。

LANボード管理情報

Telnetにより、LANインターフェースが管理する次の情報を参照または変更することができます。

- LANボード設定情報一覧
  テストページの「LANステータス」で得られる情報を画面上で参照することができます。
- 印刷履歴の確認
  LANインターフェース経由で印刷した印刷履歴を画面上で参照することができます。

✔チェック

- 印刷履歴の確認を行う場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷時は［記録しない］に設定されています。
- 印刷履歴の設定変更はWWWブラウザー（「WWWブラウザー」（64ページ）参照）または付属のPrintAgentプリンタ管理ユーティリティ（「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」（35ページ）参照）から行います。

- 画面表示ライン数の変更
  LANボード設定情報一覧、印刷履歴を参照する場合の画面表示ライン数を変更することができます。

メインメニューで［Type Any No.>］の後に「7」を入力し、「Enter」キーを押すと以下のように表示されます。

```
Management Menu

1. Display Cofiguration Data
2. Display Printing Log Data
3. Change Display Line Number
4. Web Management
5. ARP
6. Exit

Type Any No.>
```

LANボード設定情報一覧

［1. Display Configuration Data］を選択すると、コンフィグレーションページの情報が画面に表示されます。
表示内容は「コンフィグレーションページの印刷」（151ページ）を参照してください。

WWWブラウザーへの応答設定

［4. Web Management］を選択し、設定を［Access Enable］にするとWWWブラウザーからのLANボードの設定、閲覧を許可します。
設定を［Access Disable］にすると、WWWブラウザーへの応答はなくなり、WWWブラウザーからの設定、閲覧は行えません。

印刷履歴の確認

［2. Display Printing Log Data］を選択すると、LANインターフェース経由で印刷した印刷履歴を画面に表示します。

印刷履歴がない、印刷履歴の記録設定がされていない場合は以下のように表示されます。

```
There is no log data.
```

印刷履歴が存在する場合は以下のように表示されます。

```
NEC Printing History
Protocol  Source Host  Size [byte]    Result    Jobs
------------+-------------------+---------------+-------------+---------
  9100  123.123.123.1       12     OK          1
  ftp     123.123.123.2      123     Timeout     1
  lpr     123.123.123.3   1234     OK          1
  fttp    123.123.123.4 12345     Error        1
```

- Protocol　印刷アプリケーションプロトコルを示します。
- Source Host　ホストコンピューターのアドレスです。
- Size [byte]　プリンターが受信したデータサイズを示します。
- Result　通信結果を示します。
- Jobs　印刷時に受信した印刷ジョブの待ち行列を示します。

チェック

- 印刷履歴はLANインターフェースの電源切断時またはリセット時にすべてクリアされ、内部に保持されません。
- IPアドレス等の設定を変更した場合もクリアされます。

画面表示ライン数の変更

［3. Change Display Line Number］を選択すると、LANボード設定情報一覧、印刷履歴を参照する場合の画面表示ライン数を変更することができます。工場出荷時の表示ライン数は［20］です。画面に現在の表示ライン数が表示されますので、新しい表示ライン数を入力してください。

UNIXコマンド

UNIXコマンドを使ってIPアドレスを設定する方法を説明します。

重要

- ここで示す方法でIPアドレスを設定すると、LANインターフェースの設定を初期化するまで同じ方法では設定できません（「ネットワーク設定の初期化」（150ページ）参照）。
  LANインターフェースの設定を初期化すると他のOSの設定もクリアされ、工場出荷時の設定に戻ります。初期化を行う前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください（「コンフィグレーションページの印刷」（151ページ）参照）。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

ここでは、設定例としてコンピューターのIPアドレスを「123.123.123.1」、プリンターに設定するIPアドレスを「123.123.123.123」とします。

❶ プリンターの電源をOFFにし、再度電源をONにする。

❷ コマンドプロンプトを開き、routeコマンドを実行する。

```
>route add 11.22.33.44 <コンピューターのIPアドレス>
```

（実行例）

```
>route add 11.22.33.44 123.123.123.1
```

❸ pingコマンドを実行する。

```
>ping 11.22.33.44
```

次のような画面が表示されます。
（画面表示例）

```
Pinging 11.22.33.44 with 32bytes of data:
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time<10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time<10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time<10ms TTL=32
```

❹ arpコマンドを実行する。

```
>arp -a 11.22.33.44
```

次のような画面が表示されます。
（画面表示例）

```
Interface: 123.123.123.1
Internet Address    Physical Address    Type
11.22.33.44         00.-00-4C-29-00-00  dynamic
```

Physical Addressには、ネットワークに接続されているプリンターのMACアドレスが表示されます。複数のプリンターが接続されている場合には、その中の1つが表示されます。IPアドレスを設定するプリンターの電源のみをONにして設定することをお勧めします。

❺ IPアドレスをコンピューターへ登録する。

以下のarpコマンドを実行します。

```
>arp -s <プリンターに設定するIPアドレス><設定するプリンターのMACアドレス>
```

（実行例）

```
>arp -s 123.123.123.123 00-00-4C-29-00-00
```

❻ pingコマンドを実行する。

```
>ping　<プリンターに設定するIPアドレス>
```

（実行例）

```
>ping 123.123.123.123
```

以上でIPアドレスの設定は終了です。

コンフィグレーションページを印刷して、IPアドレスが正しく設定されたことを確認してください（151 ページの「コンフィグレーションページの印刷」を参照）。

続いて他のプリンターのIPアドレスを変更する場合は、以下のコマンドを実行後、手順❸から設定を行ってください。

```
>arp -d 11.22.33.44
```

接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

ここでは、各OSへの設定について説明しています。印刷方法にはIPP、LPR、PrintAgentがあります。設定方法はOSごとに異なります。使用しているOSのページを参照してください。

重要

- PrintAgentは、インターネット印刷プロトコル（IPP）やLPRプロトコルに対応していません。IPPやLPRを使用する場合は、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。詳しくは、6章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（396ページ）を参照してください。
- インターネット印刷プロトコル（IPP）を使用した印刷の設定を行う場合には、プリンターの電源をONにする必要があります。

OSの設定を行った後に、ネットワークを介した印刷がうまくいかなかったときは6章「故障かな？と思ったら」の「「ネットワークで思うように印刷できないときは」（399ページ）」を参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003 日本語版

Windows XP、Windows Server 2003からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows XP、Windows Server 2003から印刷するためには、以下の4つの方法があります。

- NEC Network Port（PrintAgent）............... 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM からプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- IPP（Internet Printing Protocol）............... Windows XP、Windows Server 2003に標準で実装されているソフトウエアを使用して印刷します。
- UNIX用印刷サービス（LPR）......................... Windows XP、Windows Server 2003に標準で収録されているUNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷します。
- Standard TCP/IP Port（LPR)..................... Windows XP、Windows Server 2003に標準で実装されているStandard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」（31ページ）または各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

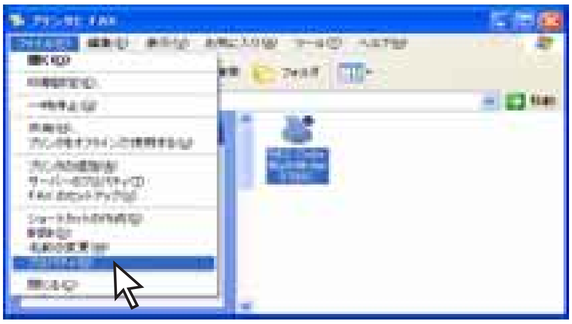
NEC Network Port（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについてはユーザーズマニュアル2章の『「インストールプログラム」からのインストール』を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタとFAX］フォルダーの［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**



❹ **［利用可能なポートの種類］で［NEC Network Port］を選び、［新しいポート］をクリックする。**



❺ **［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。**

❻ **［OK］をクリックする。**



❼ **［閉じる］をクリックする。**

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network PortをインストールしたクライアントコンピューターのＴＣＰ/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

✔チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

IPP（Internet Printing Protocol）を使用して印刷するには

Windows XPの環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

重要

IPP（Internet Printing Protocol）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、双方向通信を無効にしてください。

❶ **プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

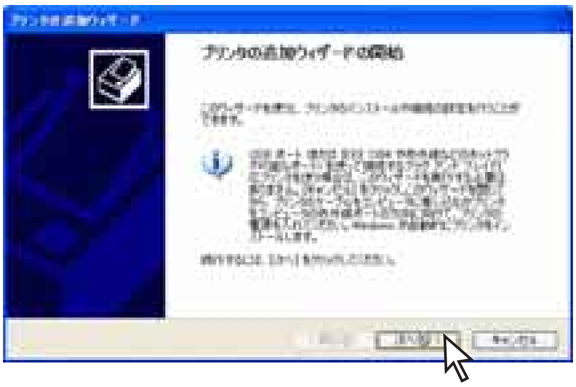
［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

❷ **［終了］をクリックする。**

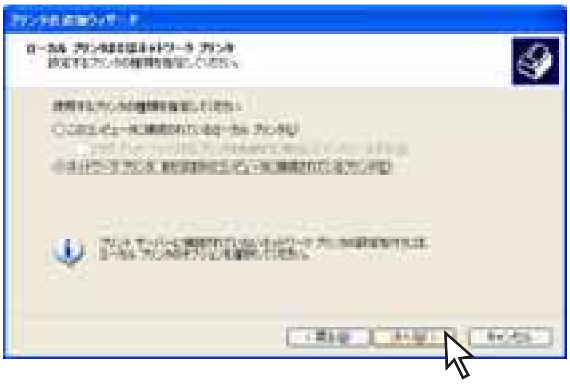


❸ **［プリンタとFAX］フォルダーの［プリンタのインストール］をクリックする。**

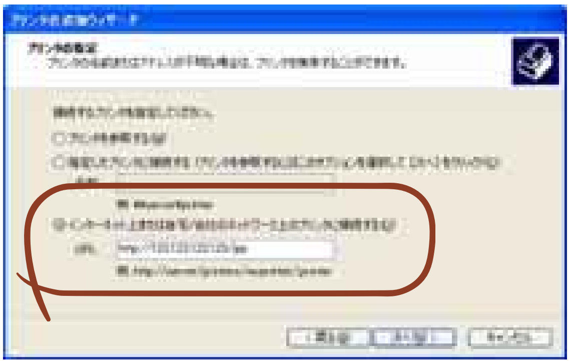
❹ **［次へ］をクリックする。**



❺ **［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択して、［次へ］をクリックする。**



❻ **［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択して、［URL］ボックスに登録するプリンターのIPアドレスを含むアドレスを入力する。**



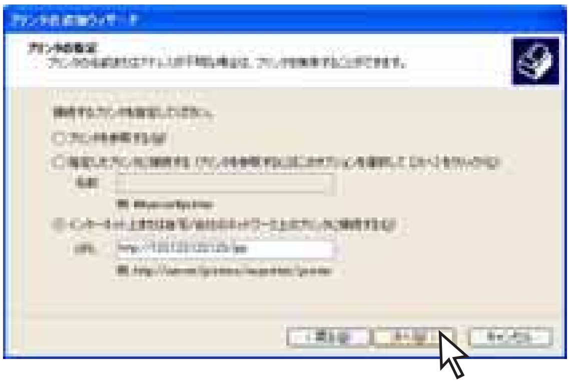
重要

入力可能な形式は「http://」に限られます。

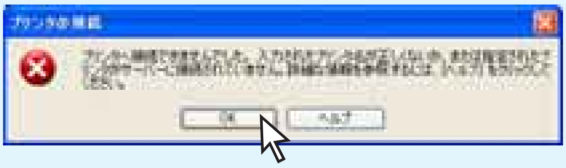
（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123」の場合 http://123.123.123.123/ipp

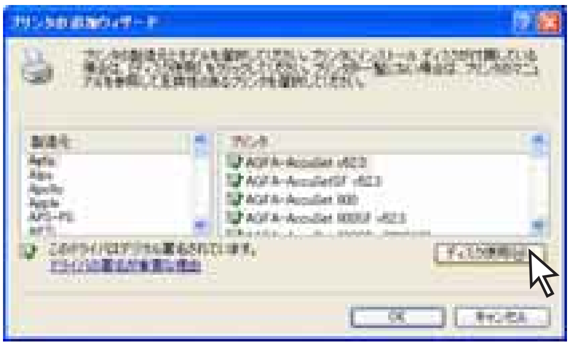
❼［次へ］をクリックする。



該当するプリンターの電源が入っていないまたはIPアドレスが正しくない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。表示された場合は、［OK］をクリックしてください。

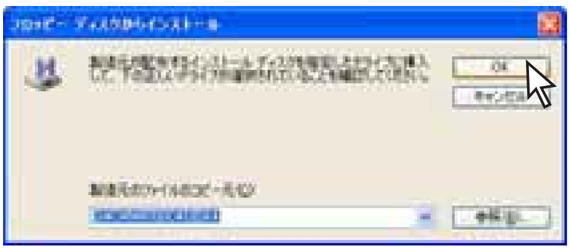


❽［ディスク使用］をクリックする。

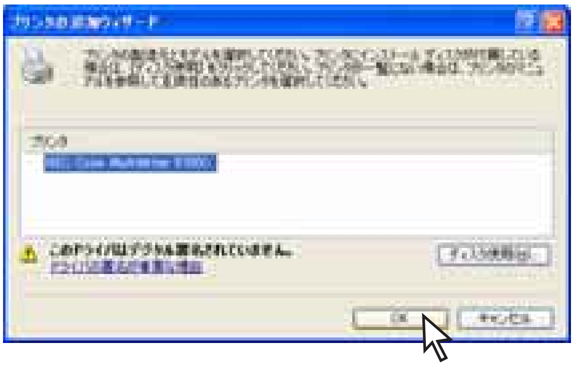


❾［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

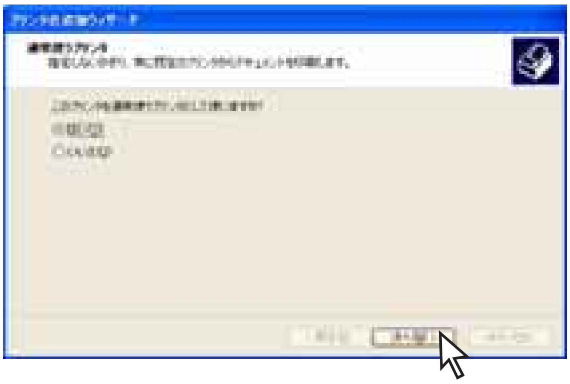
［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「CMW9700C¥DISK4」と入力します。



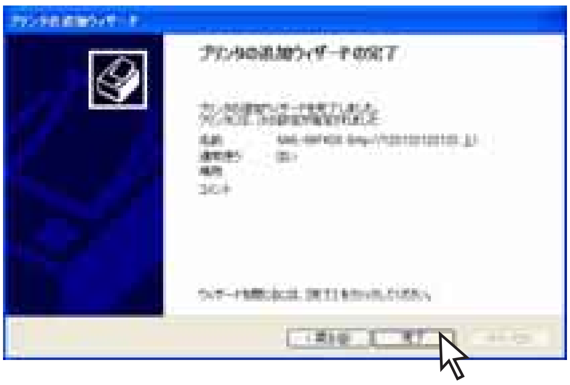
❿ 使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。



⓫［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。



⓬［完了］をクリックする。

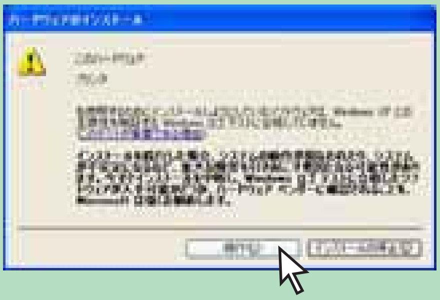


チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[続行]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止]をクリックした場合は、インストールが中止されます。



以上で設定は完了です

UNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷するには

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類あります。はじめに、UNIX用印刷サービス（LPR）を使用した印刷を行うための設定方法を説明します。

重要

UNIX用印刷サービス（LPR）を使用する場合、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、双方向通信を無効にしてください。

使用するコンピューターにUNIX用印刷サービスをインストールします。インストールされている場合は、「Windows XP、Windows Server 2003からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows XP、Windows Server 2003から印刷するためには、以下の4つの方法があります。」へ進んでください。

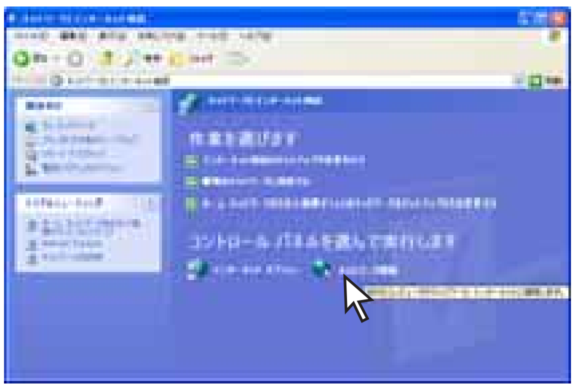
UNIX用印刷サービスのインストール

UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows XP、Windows Server 2003のヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。

❶ Windows XPまたはWindows Server 2003のCD-ROMをセットする。

❷ コントロールパネルの［ネットワークとインターネット接続］をクリックする。

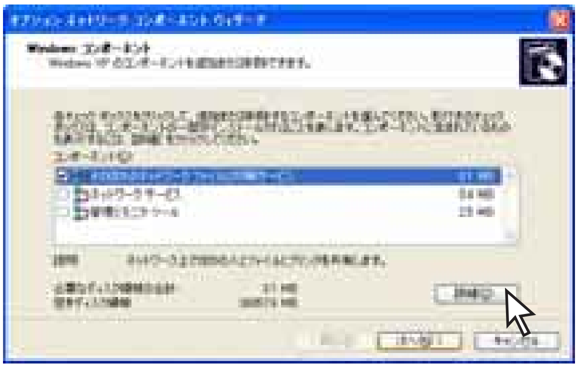
❸ ［ネットワーク接続］をクリックする。



❹［詳細設定］メニューの［オプション ネットワーク コンポーネント］をクリックする。

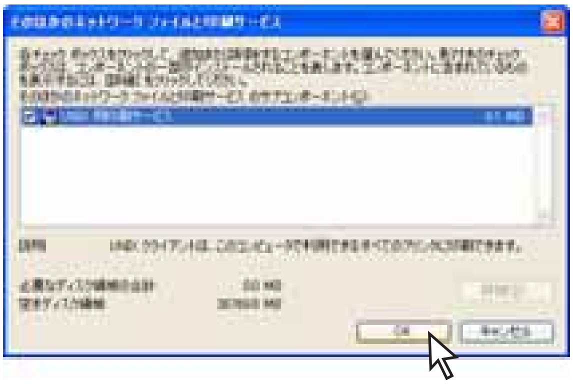


❺［そのほかのネットワーク　ファイルと印刷サービス］を選択し、［詳細］をクリックする。



❻［UNIX用印刷サービス］をチェックして、［OK］をクリックする。

［オプション ネットワーク コンポーネントウィザード］ダイアログボックスに戻ります。



❼［次へ］をクリックする。

次に「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

プリンタードライバーのインストール

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

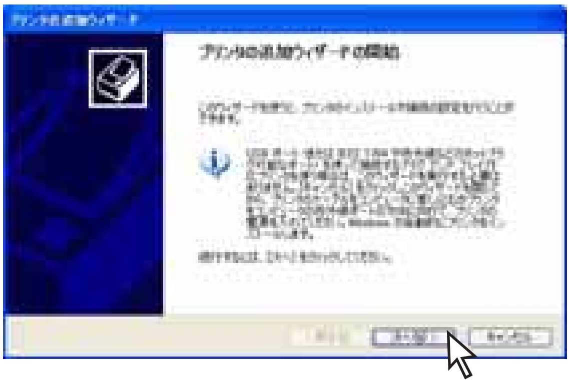
❷［終了］をクリックする。

プリンターソフトウエアを終了します。

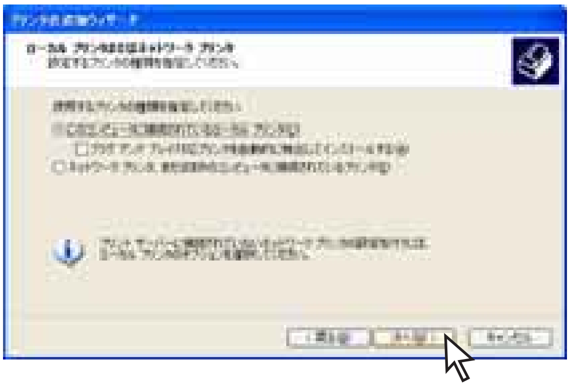
❸［プリンタとFAX］フォルダーを開く。

❹［プリンタのインストール］をクリックする。

❺［次へ］をクリックする。

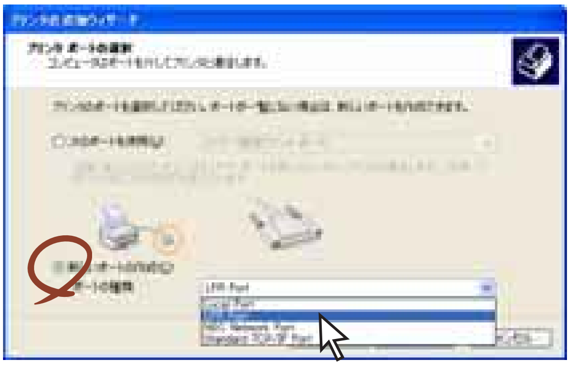


❻［このコンピュータに接続されているローカル　プリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して［次へ］をクリックする。



❼ **［新しいポートの作成］をクリックし、［LPR Port］を選択する。**

［LPR Port］が表示されない場合は、［UNIX用印刷サービス］をインストールしてください。



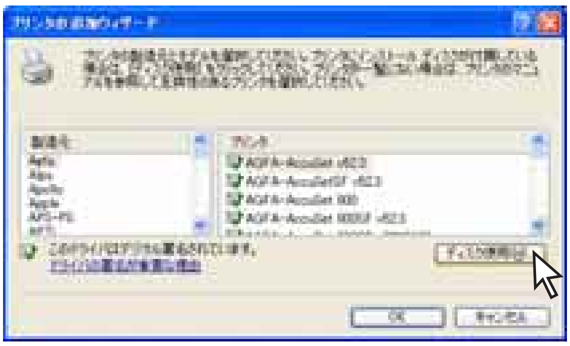
❽ **［次へ］をクリックする。**



❾ **［LPDを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力し、［OK］をクリックする。**

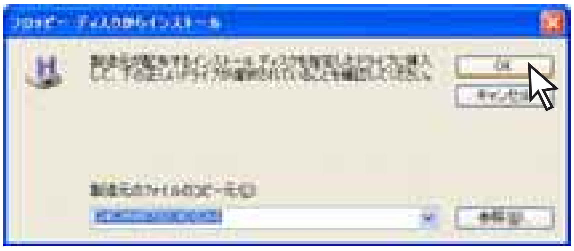


❿ **［ディスク使用］をクリックする。**

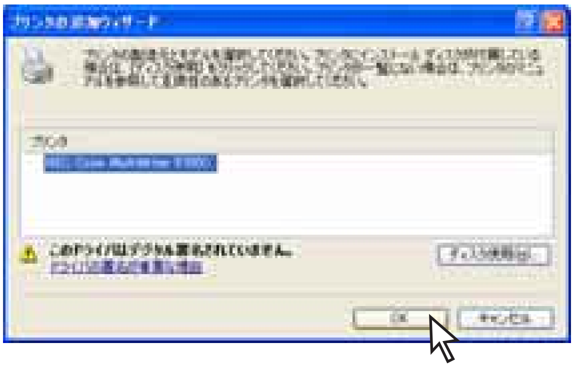


⓫ **［製造元のファ イルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。**

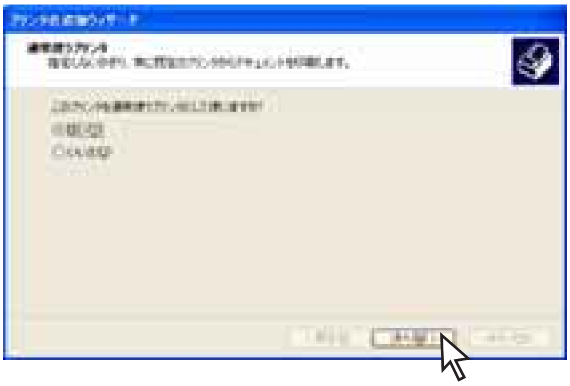
［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「CMW9700C¥DISK4」と入力します。



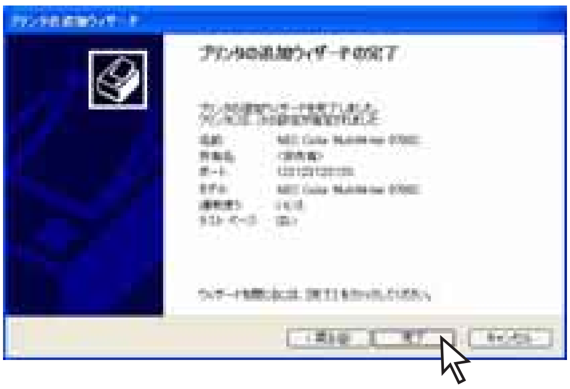
⓬ **使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。**



⓭ **［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。**



⓮ **［完了］をクリックする。**

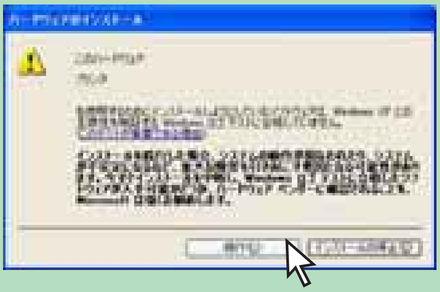


チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは､弊社により動作を確認されています。

[続行] をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止] をクリックした場合は、インストールが中止されます。

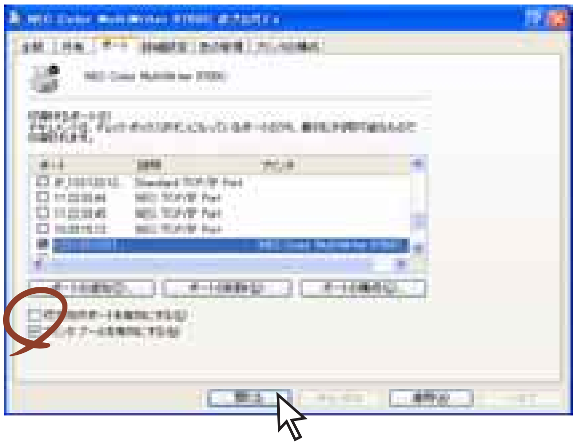


次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ **[プリンタと FAX] フォルダー内に作成されたプリンターの [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。**

❷ **[ポート] タブをクリックする。**

❸ **[双方向サポートを有効にする] のチェックを外して、[閉じる] をクリックする。**



以上で設定は完了です。

Standard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷するには

Windows XP、Windows Server 2003の環境でLPRを使用してプリンタードライバーのインストール手順から印刷するまでの設定方法について説明します。

重要

- 従量課金回線でご使用の場合、「SNMPステータスを有効にする」チェックを外してください。チェックを外さないと異常に課金される場合があります。
- Standard TCP/IP Port（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、双方向通信を無効にしてください。

❶ **プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

❷ **［終了］をクリックする。**

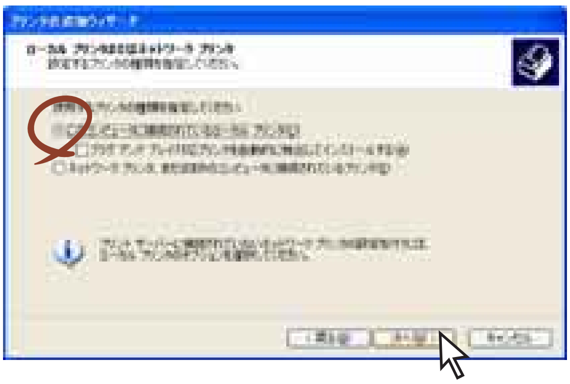
❸ **［プリンタとFAX］フォルダーを開く。**

❹ **［プリンタのインストール］をクリックする。**

❺ **［次へ］をクリックする。**



❻ **［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックする。**

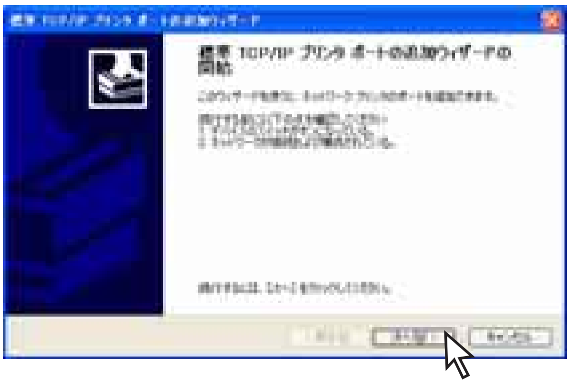


❼ **［新しいポートの作成］、［Standard TCP/IP Port］を選び、［次へ］をクリックする。**

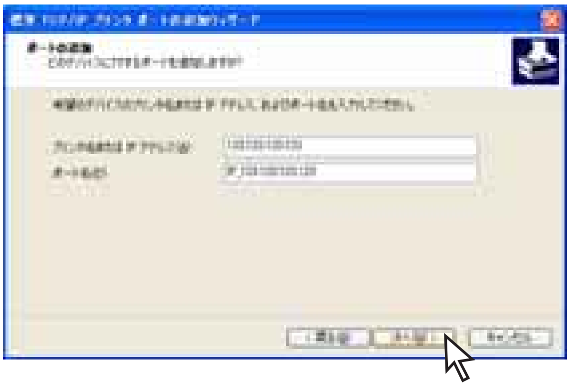
［標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。



❽ **［次へ］をクリックする。**



❾ ［プリンタ名または IPアドレス］ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックする。

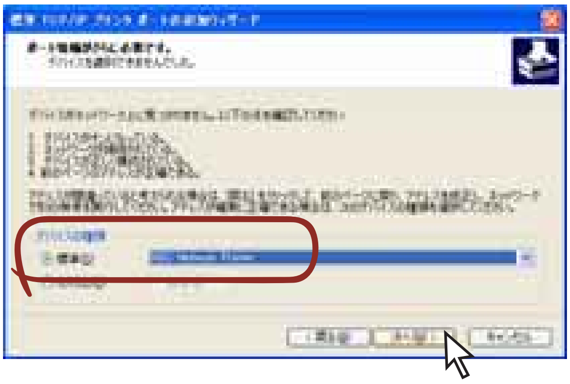


チェック

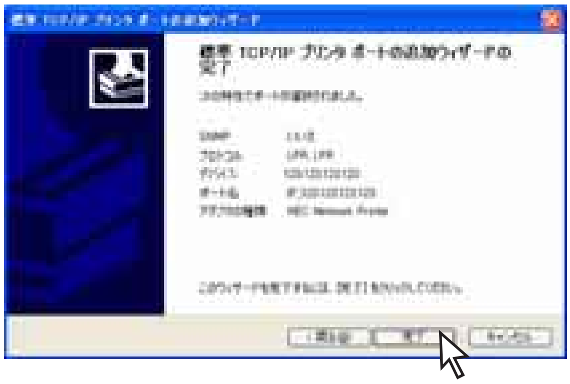
DNSサーバーが存在し、プリンターが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在する場合は、ネットワークプリンターが検出され、自動的に設定が完了します。手順⓫へ進んでください。
ネットワーク上にネットワークプリンターが存在しない場合は、手順⓾へ進んでください。

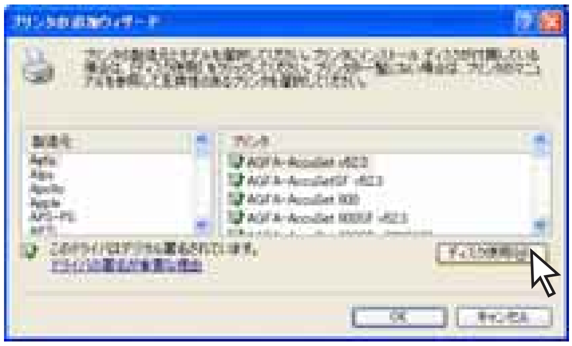
⓾ ［デバイスの種類］の［標準］をクリックし、［NEC Network Printer］を選び、［次へ］をクリックする。



⓫ 内容を確認し、［完了］をクリックする。

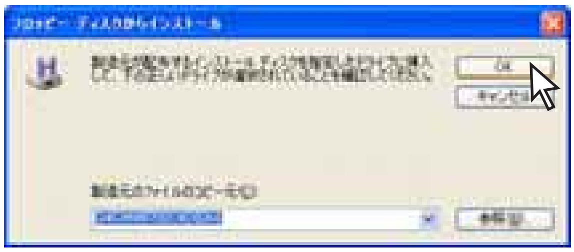


⓬ ［ディスク使用］をクリックする。

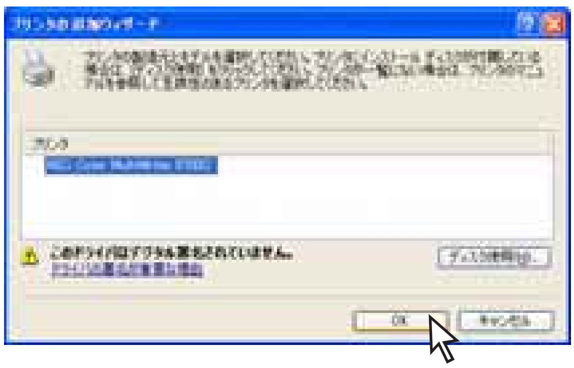


⓭ ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

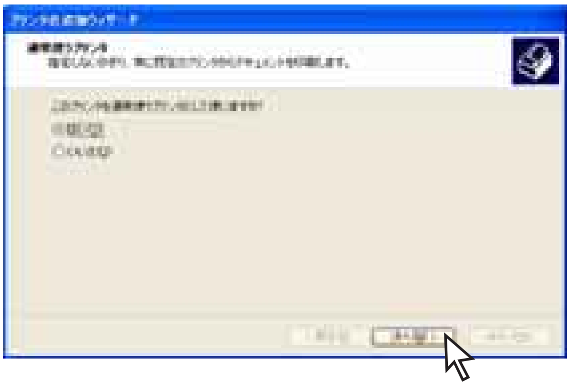
［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「CMW9700C¥DISK4」と入力します。



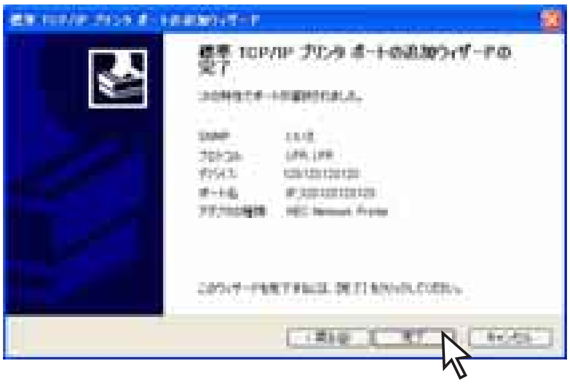
⓮ 使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。



⓯［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。



⓰［完了］をクリックする。

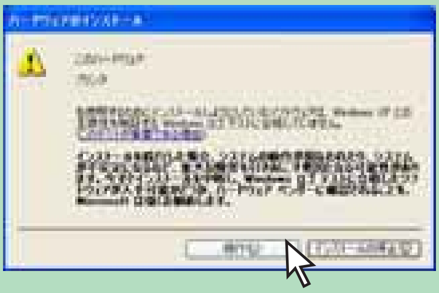


チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［インストールの停止］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

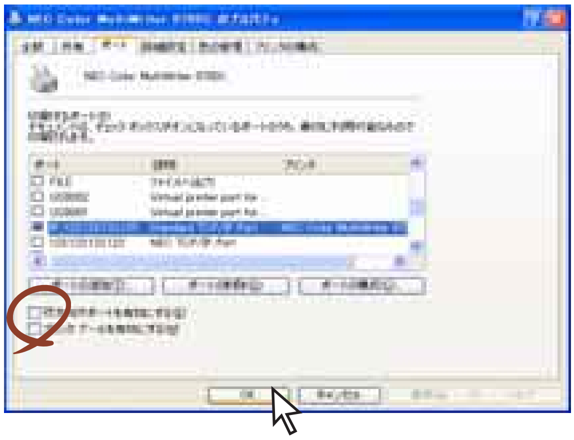


次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶［プリンタと FAX］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷［ポート］タブをクリックする。

❸［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。



以上で設定は完了です。

Windows Me 日本語版

Windows Meからプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定方法について説明します。Windows Meから印刷するためには、以下の2つの方法があります。

- NEC TCP/IP Printing System（PrintAgent）... 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM からプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- IPP（Internet Printing Protocol）...................... Windows　MeのCD-ROMに収録されているIPPクライアントソフトウエアを使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」（31ページ）および各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC TCP/IP Printing Systemを使用して印刷するには

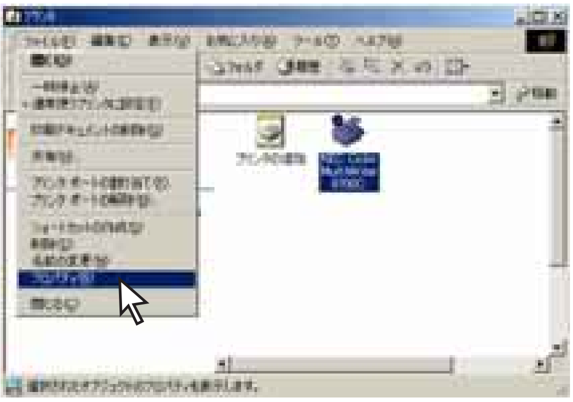
NEC TCP/IP Printing System（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC TCP/IP Printing Systemは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについてはユーザーズマニュアル2章の『「インストールプログラム」からのインストール』を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

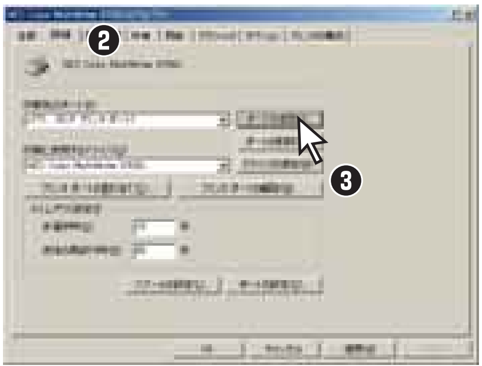
❶ **［Color MultiWriter 9700Cのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダーの［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

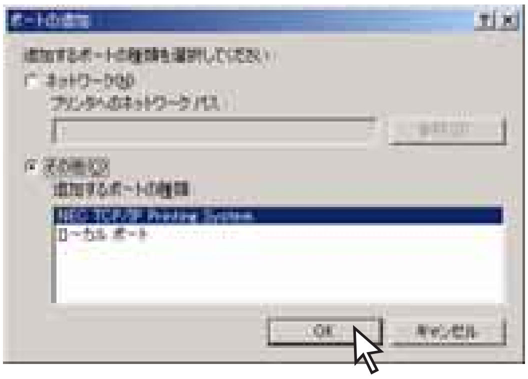


❷ **［詳細］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**



❹ **［その他］、［追加するポートの種類］で［NEC TCP/IP Printing System］を選び、［OK］をクリックする。**



❺ ［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。



❻ ［OK］をクリックする。

［Color MultiWriter 9700Cのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC TCP/IP Printing SystemではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC TCP/IP Printing Systemをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。
ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

重要

ドメインネームとして入力可能な文字の最大は、127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

IPP（Internet Printing Protocol）を使用して印刷するには

Windows Me環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

1 IPPクライアントソフトウエアのインストール

IPPクライアントソフトウエアのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

❶ Windows MeのCD-ROMをセットする。

❷ ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックする。

❸ 「Q:¥add-ons¥ipp¥wpnpins.exe」と入力し、［OK］をクリックする。

「Q」は、CD-ROMを挿入したドライブ名です。

重要

［¥add-ons¥ipp］フォルダーにある［ipp.txt］を必ずお読みください。

2 プリンタードライバーのインストール

プリンターをインストールします。次の手順に従ってください。

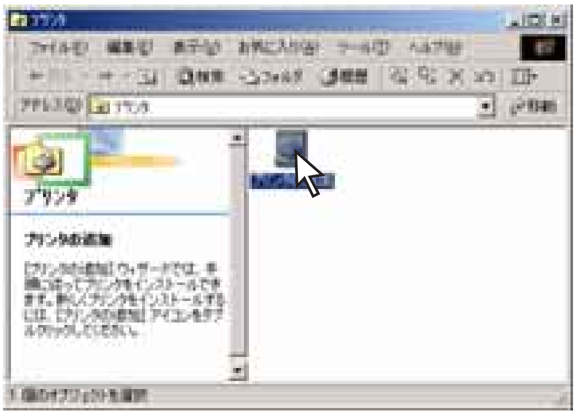
❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❷ ［終了］をクリックする。



❸ ［プリンタ］フォルダーを開く。

❹［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。



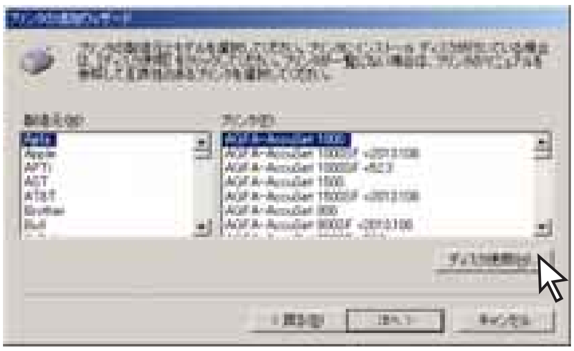
❺［次へ］をクリックする。



❻［ローカルプリンタ］を選び、［次へ］をクリックする。



❼［ディスク使用］をクリックする。

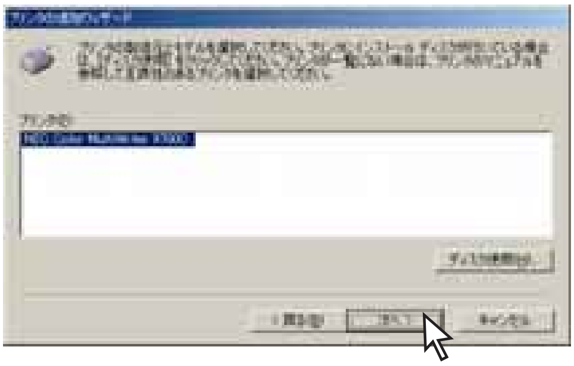


❽［製造元ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［製造元ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「CMW9700C¥DISK2」と入力します。

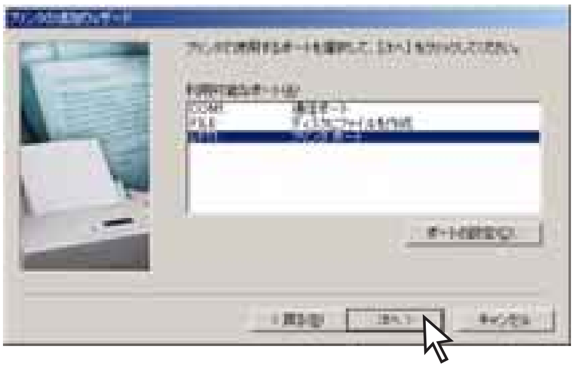


❾使用するプリンターを選択して、［次へ］をクリックする。



❿［LPT1:］を選び、［次へ］をクリックする。

次の「3 印刷先の変更」でIPPポートを作成するので、ここでは「LPT1:」を選びます。

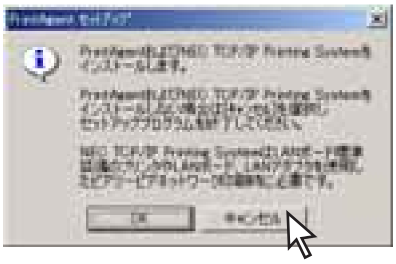


⓫ **プリンターの名前を確認して、［完了］をクリックする。**

プリンタードライバーがインストールされます。



⓬ **［キャンセル］をクリックする。**



3　印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **［Color MultiWriter 9700Cのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

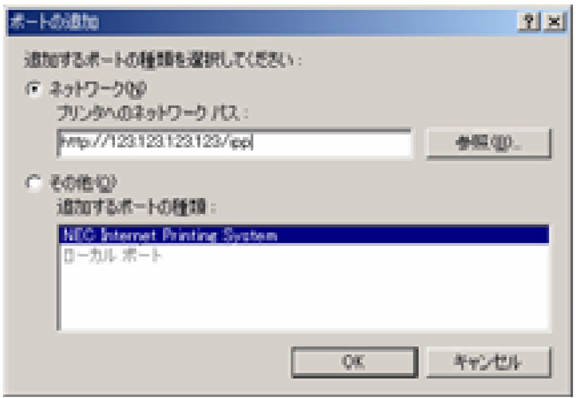
［プリンタ］フォルダーの［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［詳細］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［プリンタへのネットワーク パス］ボックスにプリンターのアドレスを入力する。**

> **重要**
>
> 入力可能な形式は「http://」に限られます。



（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123」の場合 http://123.123.123.123/ipp

❺ **［OK］をクリックする。**

この後、テストページを印刷する場合は、

［Color MultiWriter 9700Cのプロパティ］ダイアログボックスの［全般］シートで［印字テスト］をクリックしてください。テストページが印刷されます。

以上で設定は完了です。

Windows 98、Windows 95 日本語版

Windows 98、Windows 95からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows 98、Windows 95から印刷するためには以下の2つの方法があります。

- NEC TCP/IP Printing System（PrintAgent）...添付のプリンターソフトウエア CD-ROM からプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- NEC Internet Printing System（IPP）................プリンターに添付のCD-ROMに収録されているNEC Internet Printing Systemを使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」（31ページ）または各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC TCP/IP Printing Systemを使用して印刷するには

NEC TCP/IP Printing System（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC TCP/IP Printing Systemは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについてはユーザーズマニュアル2章の『「インストールプログラム」からのインストール』を参照してください。以下の手順はWindows 98 日本語版で説明しています。Windows 95 日本語版の場合も同じ手順です。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

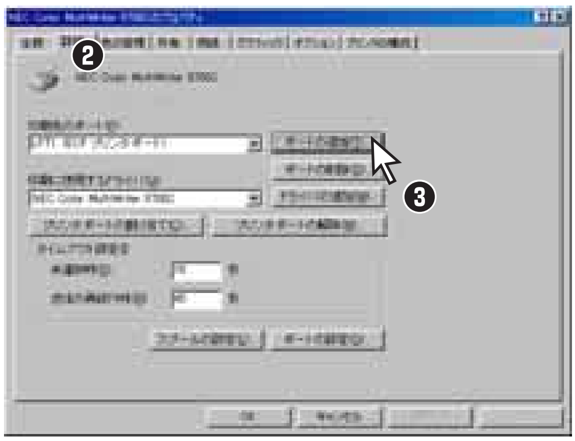
❶ **［Color MultiWriter 9700Cのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダーの［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

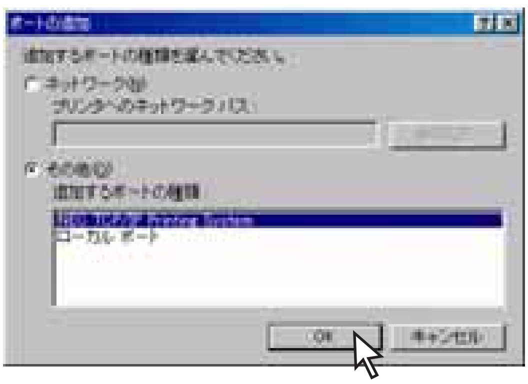


❷ **［詳細］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**



❹ **［その他］、［追加するポートの種類］で［NEC TCP/IP Printing System］を選び、［OK］をクリックする。**



❺ ［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。



❻ ［OK］をクリックする。

［Color MultiWriter 9700Cのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC TCP/IP Printing SystemではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC TCP/IP Printing Systemをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。
ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

> **重要**
>
> ドメインネームとして入力可能な文字の最大は、127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

NEC Internet Printing System（IPP）を使用して印刷するには

Windows 98、Windows 95の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。IPPの機能は、プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているNEC Internet Printing Systemを使用します。

重要

- NEC Internet Printing Systemは、プロキシーサーバーには対応していません。IPP対応プリンターへのアクセスにプロキシーサーバーの設定が必要な場合は印刷できません。
- NEC Internet Printing Systemは［プリンタ］フォルダーを開くと、プリンターの状態を確認します。

1 NEC Internet Printing Systemのインストール

NEC Internet Printing Systemのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❷ **［ユーティリティ］をクリックする。**



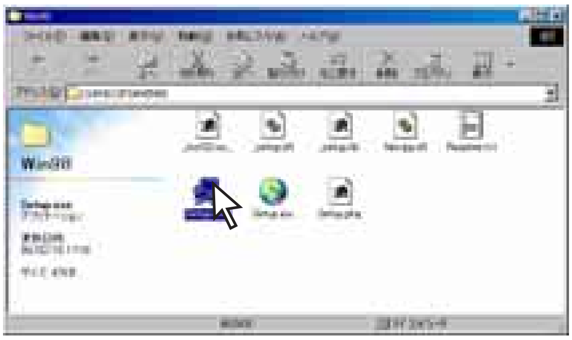
❸ **「NEC Internet Printing System for Windows 98/95］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。**

重要

［¥NECIPS¥WIN98］フォルダーにある［Readme.txt］を必ずお読みください。



❹ **［Setup.exe］アイコンをダブルクリックする。**

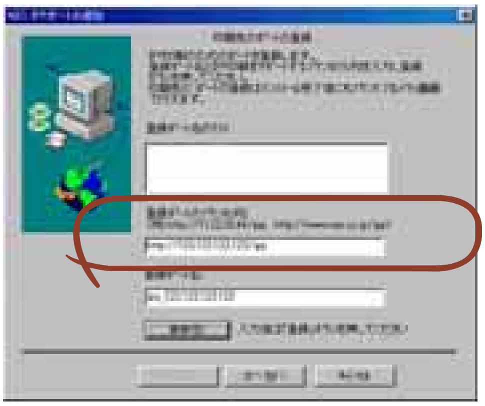


❺ **［次へ］をクリックする。**



❻ **［登録ポートのプリンタURI］ボックスに登録するプリンターのIPアドレスを含むアドレスを入力する。**

ここで［登録］を行わなくても、インストール終了後に「印刷先の変更」で印刷先のポートを追加できます。



（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp）」の場合

http://123.123.123.123/ipp

ipp://123.123.123.123/ipp

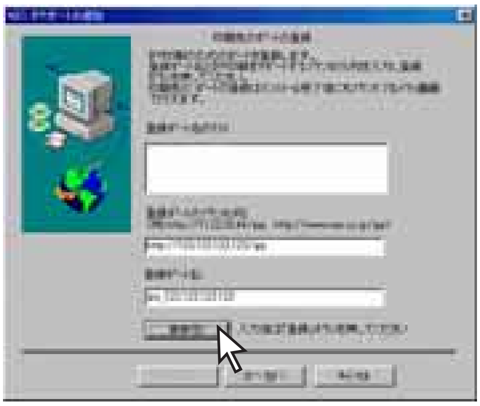
printer1.sample.nec.co.jp/ipp

チェック

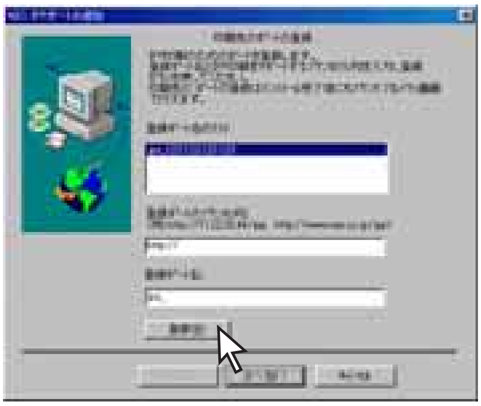
IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

❼ **［登録］をクリックする。**

［登録ポート名のリスト］ボックスにポートが登録されます。



❽ **［次へ］をクリックする。**



❾ **［開始］をクリックする。**



❿ **［OK］をクリックする。**

2 プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーをインストールします。次の手順に従ってください。

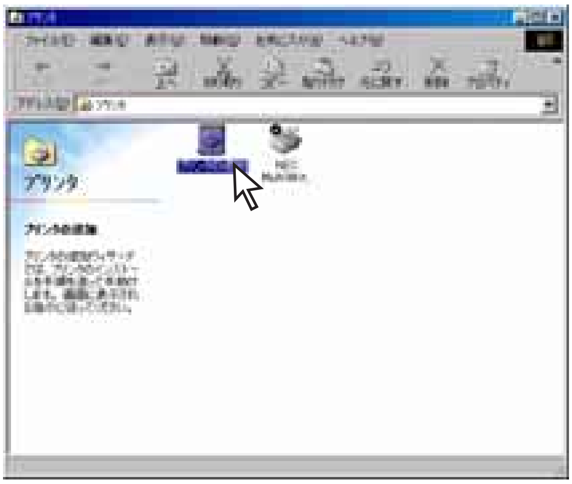
❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❷ **［終了］をクリックする。**



❸ **［プリンタ］フォルダーを開く。**

❹［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。



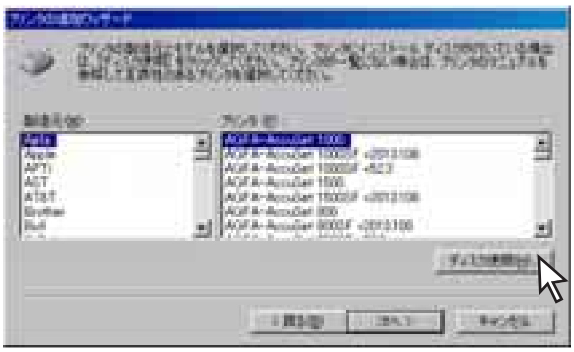
❺［次へ］をクリックする。



❻［ローカルプリンタ］を選び、［次へ］をクリックする。

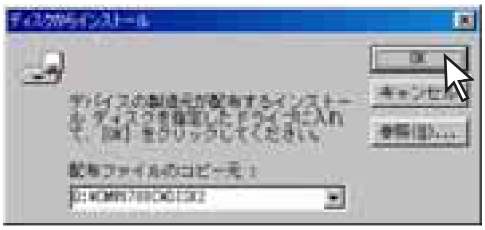


❼［ディスク使用］をクリックする。

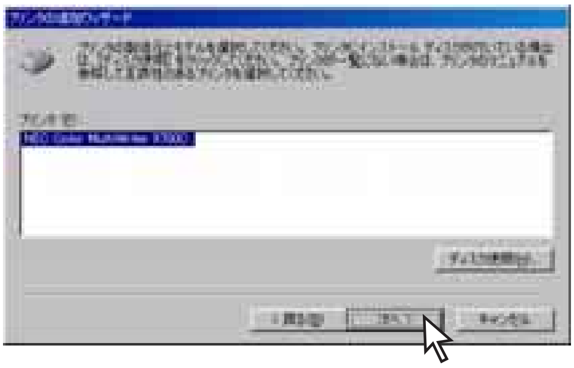


❽［配布ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

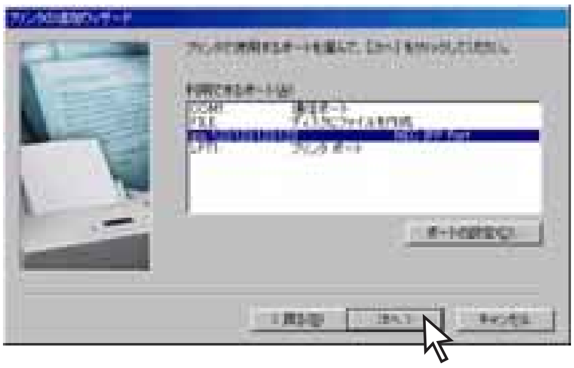
［配布ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「CMW9700C¥DISK2」と入力します。



❾使用するプリンターを選択して、［次へ］をクリックする。



❿使用するポートを選び、［次へ］をクリックする。

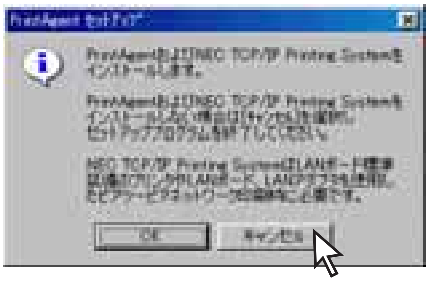


⓫プリンターの名前を確認して、［完了］をクリックする。

プリンタードライバーがインストールされます。



⓬［キャンセル］をクリックする。



この後、テストページを印刷する場合は、［Color MultiWriter 9700Cのプロパティ］ダイアログボックスの［全般］シートで［印字テスト］をクリックしてください。テストページが印刷されます。

以上で設定は完了です。

3　印刷先の変更

NEC Internet Printing Systemをインストールした後に印刷ポートを追加する場合の手順について説明します。

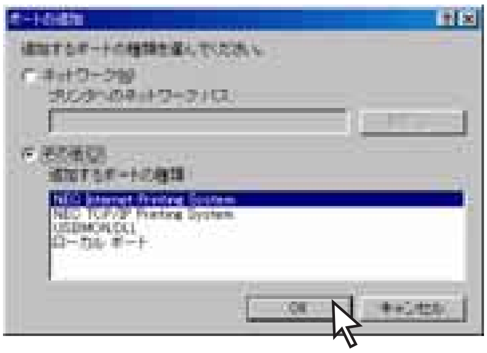
❶ **［Color MultiWriter 9700Cのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダーの［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

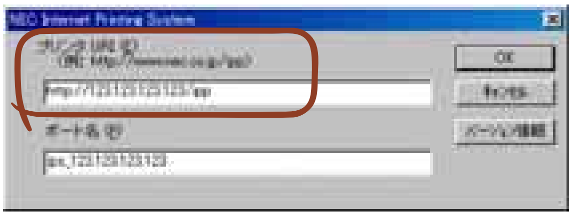
❷ **［詳細］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［その他］、［追加するポートの種類］で［NEC Internet Printing System］を選択し、［OK］をクリックする。**



❺ **［プリンタURI］ボックスにプリンターのURIを入力する。**



（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp)」の場合

http://123.123.123.123/ipp

ipp://123.123.123.123/ipp

printer1.sample.nec.co.jp/ipp

✔チェック

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

❻ **［OK］をクリックする。**

［Color MultiWriter 9700Cのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

Windows 2000 日本語版

Windows 2000からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows 2000から印刷するためには、以下の4つの方法があります。

- NEC Network Port（PrintAgent）..........添付のプリンターソフトウエアCD-ROMからプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- IPP（Internet Printing Protocol）..........Windows　2000に標準で実装されているソフトウエアを使用して印刷します。
- UNIX用印刷サービス（LPR）....................Windows　2000に標準で収録されているUNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷します。
- Standard TCP/IP Port（LPR）..............Windows　2000に標準で実装されているStandard　TCP/IP　Port（LPR）を使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」（31ページ）または各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

NEC Network Port（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについてはユーザーズマニュアル2章の『「インストールプログラム」からのインストール』を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

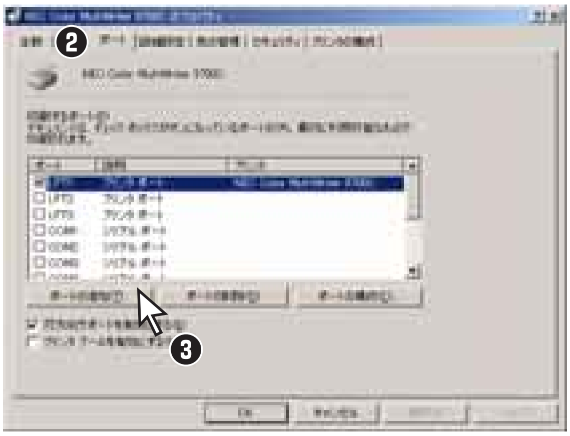
❶ **［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダーの［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

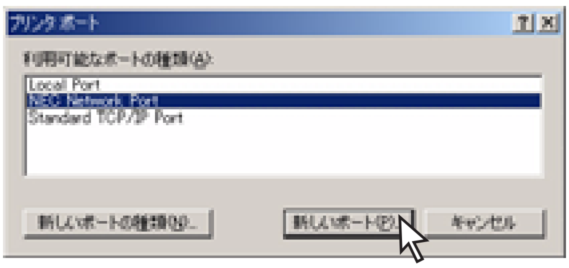


❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**



❹ **［利用可能なポートの種類］で［NEC Network Port］を選び、［新しいポート］をクリックする。**



❺ ［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。



❻ ［OK］をクリックする。

❼ ［閉じる］をクリックする。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

IPP（Internet Printing Protocol）を使用して印刷するには

Windows 2000の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

❶ プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

❷ ［終了］をクリックする。

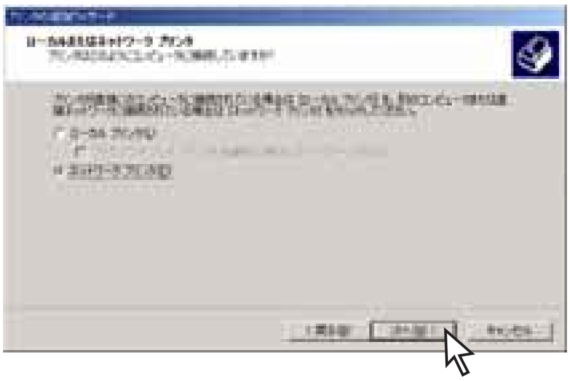


❸ ［プリンタ］フォルダーの［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

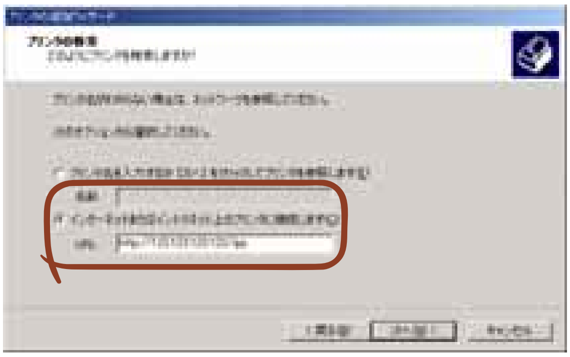
❹ ［次へ］をクリックする。



❺［ネットワーク］を選択して、［次へ］をクリックする。



❻［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択して、［URL］ボックスに登録するプリンターのIPアドレスを含むアドレスを入力する。



重要

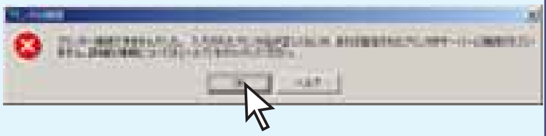
入力可能な形式は「http://」に限られます。

（入力例）

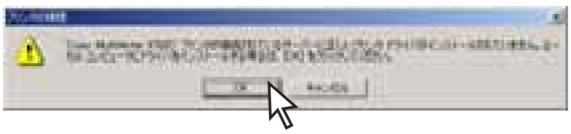
IPアドレスが「123.123.123.123」の場合
http://123.123.123.123/ipp

❼［次へ］をクリックする。

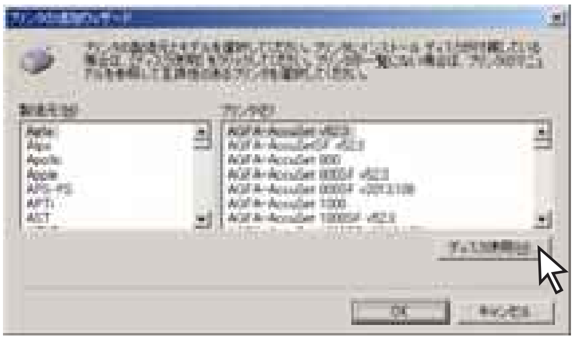
該当するプリンターの電源が入っていないまたはIPアドレスが正しくない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。表示された場合は、［OK］をクリックしてください。



❽［OK］をクリックする。



❾［ディスク使用］をクリックする。

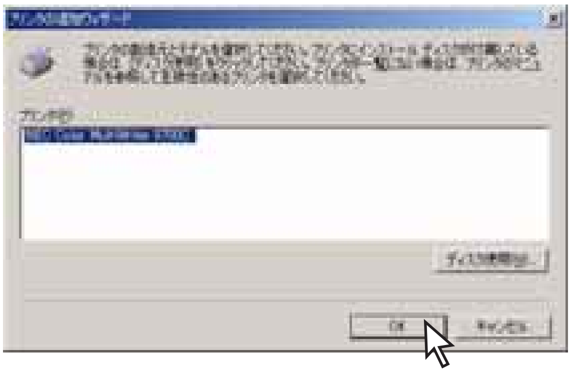


❿［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

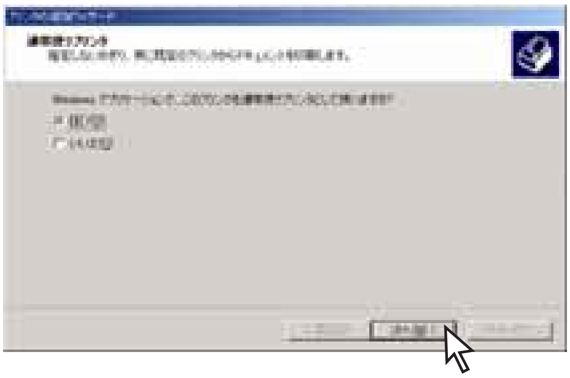
［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「CMW9700C¥DISK4」と入力します。



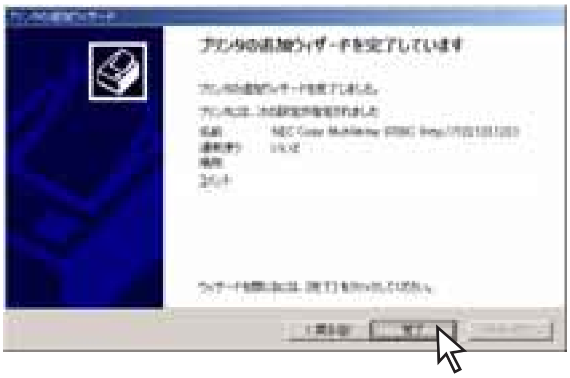
⓫使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。



⓬ ［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。



⓭ ［完了］をクリックする。



✔チェック

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［はい］をクリックし、インストールを続行します。

［いいえ］をクリックした場合は、インストールが中止されます。



以上で設定は完了です。

UNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷するには

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類あります。UNIX用印刷サービス（LPR）を使用した印刷を行うための設定方法を説明します。

重要

UNIX用印刷サービス（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、双方向通信を無効にしてください。

まず、使用するコンピューターにUNIX用印刷サービスをインストールします。インストールされている場合は、「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

UNIX用印刷サービスのインストール

UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows 2000のヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。

❶ **コントロールパネルの［ネットワークとダイアルアップ接続］ダイアログボックスを開く。**

❷ **［詳細設定］メニューの［オプション ネットワーク コンポーネント］をクリックする。**

❸ **［そのほかのネットワーク　ファイルと印刷サービス］を選択し、［詳細］をクリックする。**

❹ **［UNIX用印刷サービス］をチェックして、［OK］をクリックする。**



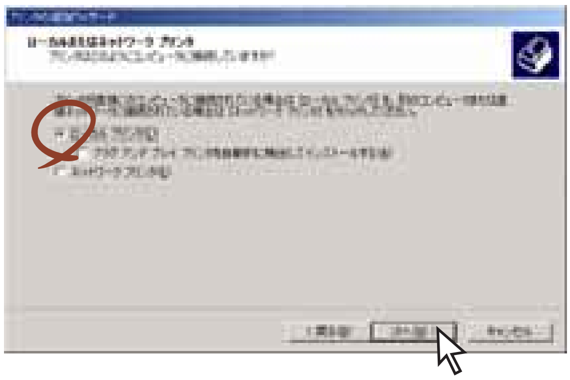
次に「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

プリンタードライバーのインストール

❶ **［プリンタ］フォルダーを開く。**

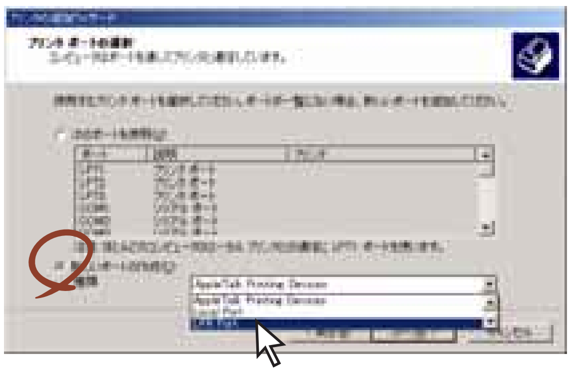
❷ **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］をクリックする。**

❸ **［ローカル プリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して［次へ］をクリックする。**



❹ **［新しいポートの作成］をクリックし、［LPR Port］を選択する。**

［LPR Port］が表示されない場合は、［UNIX用印刷サービス］をインストールしてください。

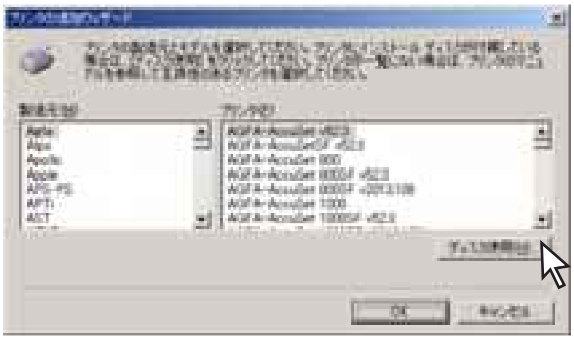


❺ ［次へ］をクリックする。

❻ ［LPD　を提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力し、［OK］をクリックする。



❼ ［ディスク使用］をクリックする。

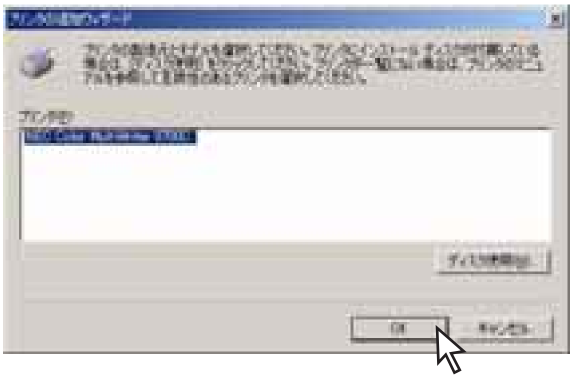


❽ ［製造元のファ イルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

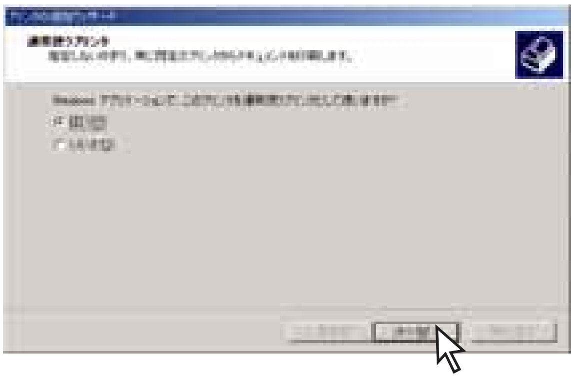
［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「CMW9700C¥DISK4」と入力します。



❾ 使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。



❿ ［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。



⓫ ［完了］をクリックする。



チェック

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［はい］をクリックし、インストールを続行します。

［いいえ］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

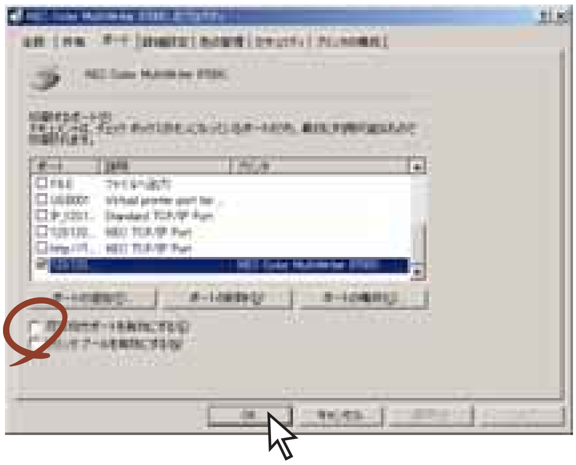


次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷［ポート］タブをクリックする。

❸［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。



以上で設定は完了です。

Standard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷するには

Windows 2000の環境でLPRを使用して印刷するまでの設定方法について説明します。

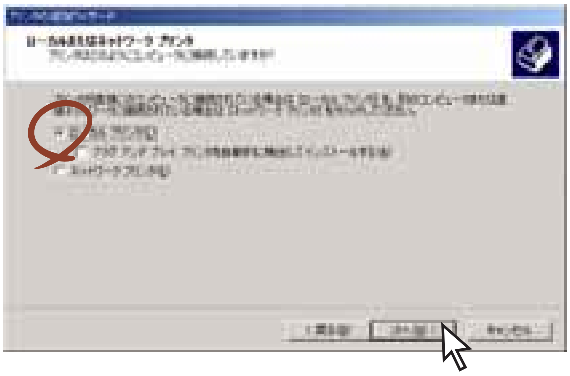
重要

- 従量課金回線でご使用の場合、「SNMPステータスを有効にする」のチェックを外してください。チェックを外さないと異常に課金される場合があります。
- Standard TCP/IP Port（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、双方向通信を無効にしてください。

❶ **［プリンタ］フォルダーを開く。**

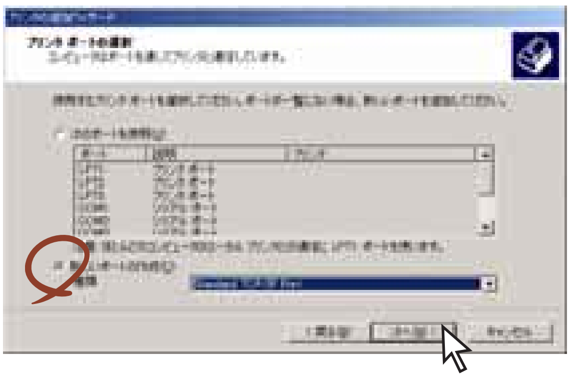
❷ **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。**

❸ **［ローカルプリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックする。**

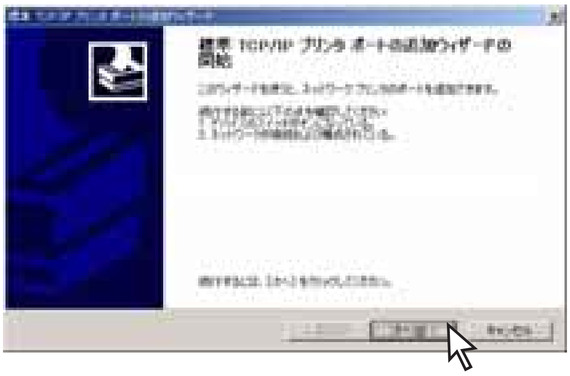


❹ **［新しいポートの作成］、［Standard TCP/IP Port］を選び、［次へ］をクリックする。**

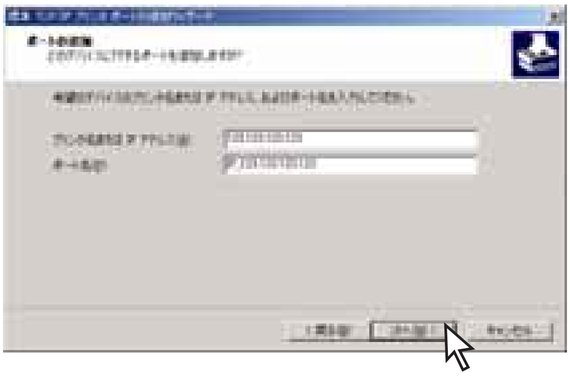
［標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。



❺ **［次へ］をクリックする。**



❻ **［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックする。**



チェック

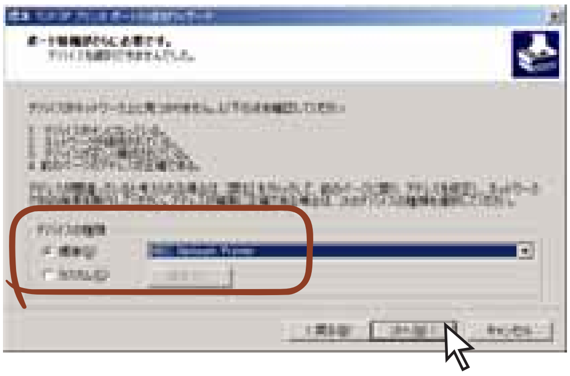
DNSサーバーが存在し、プリンターが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在する場合は、ネットワークプリンターが検出され、自動的に設定が完了します。手順❽へ進んでください。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在しない場合は、手順❼へ進んでください。

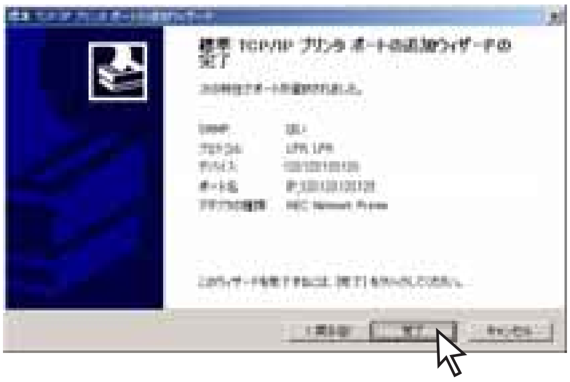
❼ ［デバイスの種類］の［標準］をクリックし、［NEC Network Printer］を選び、［次へ］をクリックする。

この画面が表示されなかった場合は、次の手順に進んでください。

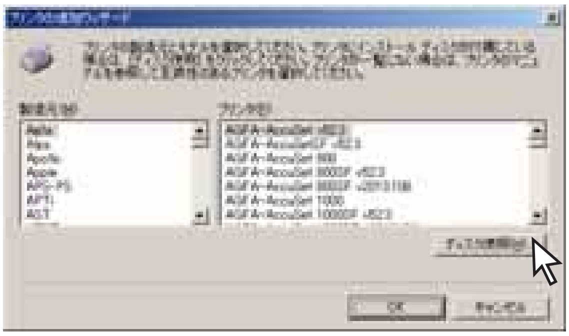


❽ 内容を確認し、［完了］をクリックする。

画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了してください。次に「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。



❾ ［ディスク使用］をクリックする。

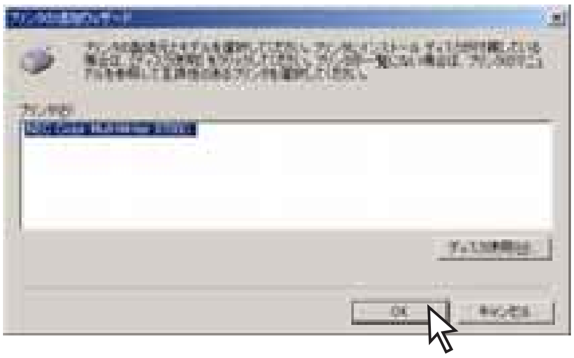


❿ ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

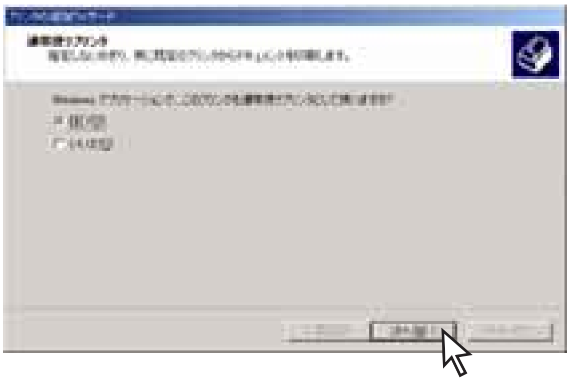
［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「CMW9700C¥DISK4」と入力します。



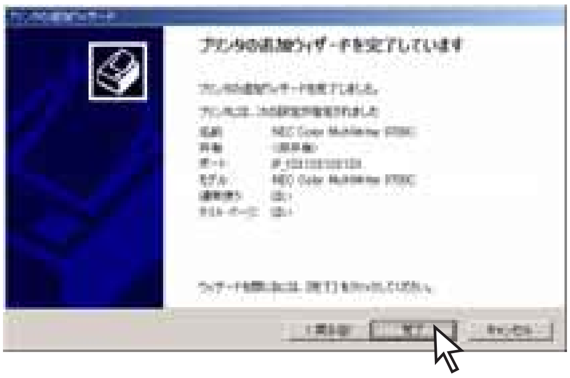
⓫ 使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。



⓬ ［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。



⑬ ［完了］をクリックする。



チェック

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認しております。

［はい］をクリックし、インストールを続行します。

［いいえ］をクリックした場合は、インストールが中止されます。



次に「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

LPRバイトカウント機能

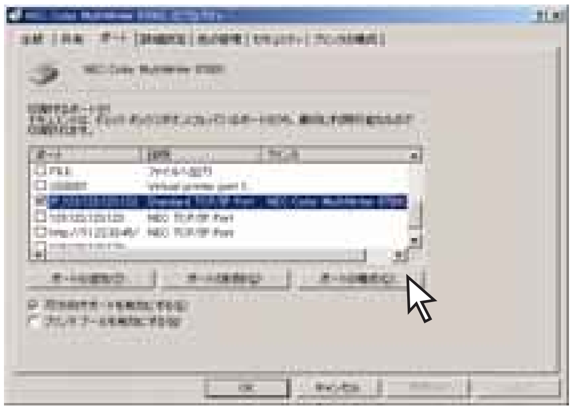
LPRプロトコルには、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能があります。これを「LPRバイトカウント機能」といいます。

この「LPRバイトカウント機能」を有効にすると、印刷が途中で中断されたときに、プリンターは処理されずに残っている印刷データを消去します。この機能を使用することで次の印刷データが送られてきたときにプリンター内に残っているデータと混在することを防ぐことができます。LPRバイトカウント機能を有効にするには、次の手順で設定してください。

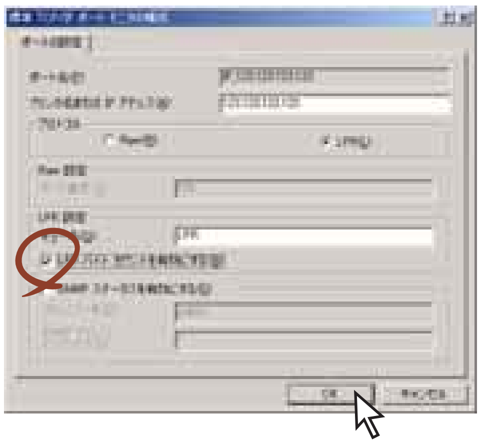
❶ ［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷ ［ポート］タブをクリックする。

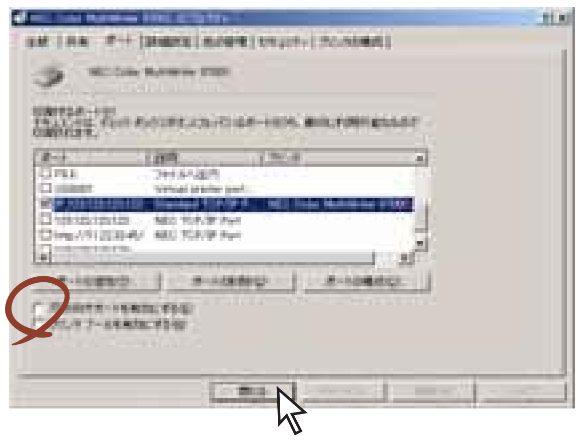
❸ ［ポートの構成］をクリックする。



❹ ［LPRバイトカウントを有効にする］をチェックして、［OK］をクリックする。



❺ ［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［閉じる］をクリックする。



以上で設定は完了です。

Windows NT 4.0 日本語版

Windows NT 4.0からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows NT 4.0から印刷するためには、以下の3つの方法があります。

- NEC Network Port（PrintAgent）................ 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM からプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- NEC Internet Printing System（IPP）.......... プリンターに添付のプリンターソフトウエア CD-ROM に収録されているNEC Internet Printing Systemを使用して印刷します。
- Microsoft TCP/IP印刷（LPR)...................... Windows NT 4.0に標準で実装されているTCP/IP印刷サービスのLPRプロトコルを使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」（31ページ）またはLANアダプターの取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

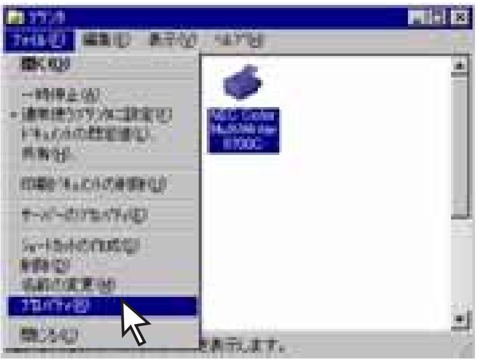
NEC Network Port（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについてはユーザーズマニュアル2章の『「インストールプログラム」からのインストール』を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

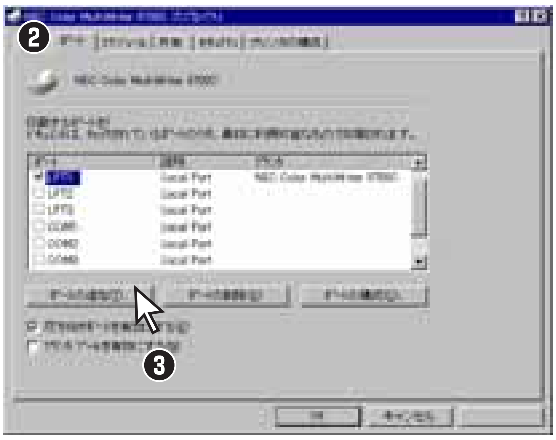
❶ ［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

［プリンタ］フォルダーの［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

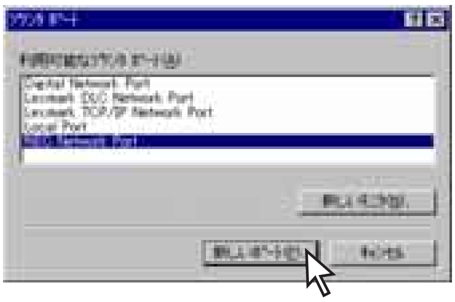


❷ ［ポート］タブをクリックする。

❸ ［ポートの追加］をクリックする。



❹ ［利用可能なプリンタポート］で［NEC Network Port］を選び、［新しいポート］をクリックする。



❺ ［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメンネームを入力する。



❻ ［OK］をクリックする。

❼ ［閉じる］をクリックする。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

NEC Internet Printing System（IPP）を使用して印刷するには

Windows NT 4.0 日本語版の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。NEC Internet Printing Systemを使用します。

重要

- NEC Internet Printing Systemは、プロキシーサーバーには対応していません。IPP対応プリンターへのアクセスにプロキシーサーバーの設定が必要な場合は印刷できません。
- NEC Internet Printing Systemは［プリンタ］フォルダーを開くと、プリンターの状態を確認します。

□ NEC Internet Printing Systemのインストール

NEC Internet Printing Systemのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、プリンターソフトウエアCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❷ ［ユーティリティ］をクリックする。



❸ ［NEC Internet Printing for Windows NT4.0］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。

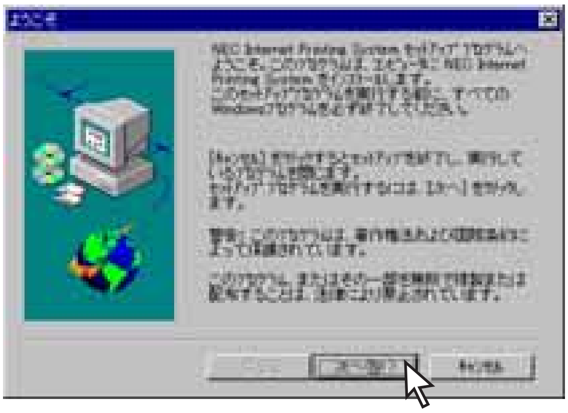
> **重要**
>
> ［¥NECIPS¥WINT40］フォルダーにある［Readme.txt］を必ずお読みください。



❹ ［Setup.exe］アイコンをダブルクリックする。

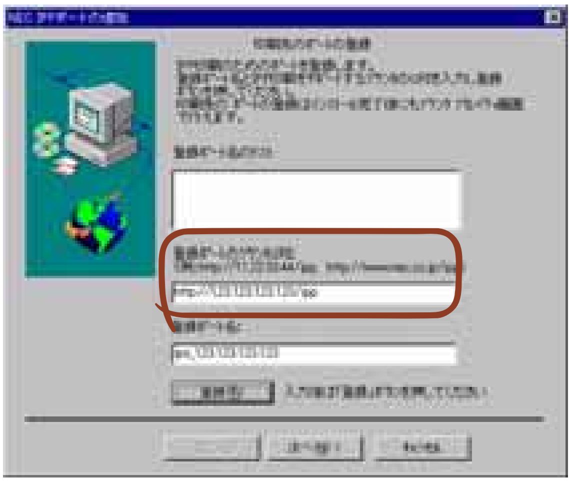


❺ ［次へ］をクリックする。



❻ ［登録ポートのプリンタURI］ボックスに登録するプリンターのアドレスを入力する。

ここで［登録］を行わなくても、インストール終了後に「印刷先の変更」で印刷先のポートを追加できます。



（入力例）

> IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp）」の場合
>
> http://123.123.123.123/ipp
>
> ipp://123.123.123.123/ipp
>
> printer1.sample.nec.co.jp/ipp

> **チェック**
>
> IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

❼ ［登録］をクリックする。



❽ ［次へ］をクリックする。

❾ ［開始］をクリックする。



❿ ［OK］をクリックする。

2 プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーをインストールします。次の手順に従ってください。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❷ ［終了］をクリックする。

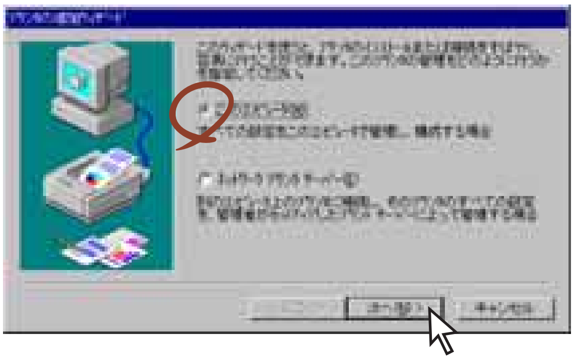


❸ ［プリンタ］フォルダーを開く。

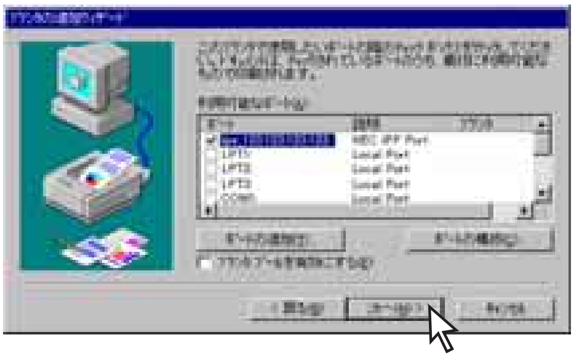
❹ ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。



❺ ［このコンピュータ］を選択して、［次へ］をクリックする。



❻ 使用するポートを選び、［次へ］をクリックする。

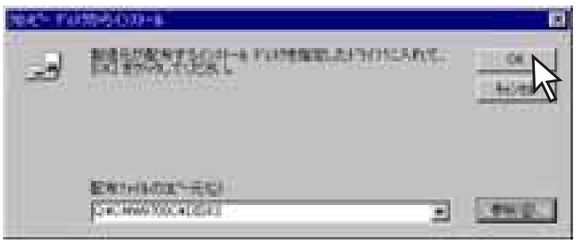


❼ ［ディスク使用］をクリックする。

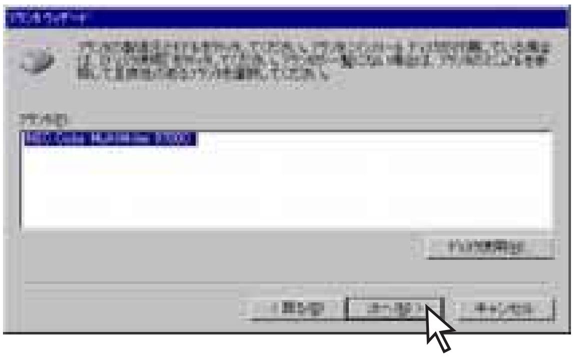


❽ ［配布ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［配布ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「CMW9700C¥DISK3」と入力します。



❾ **使用するプリンターを選択して、［次へ］をクリックする。**



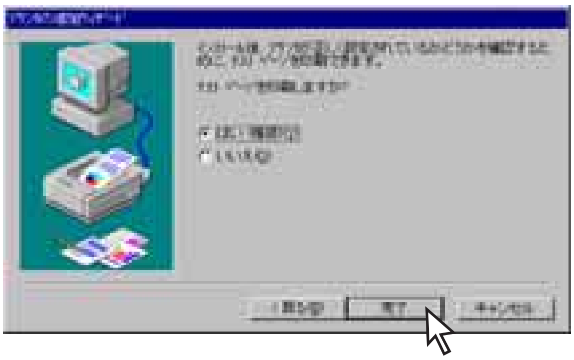
❿ **［次へ］をクリックする。**



⓫ **必要に応じて共有設定をして、［次へ］をクリックする。**



⓬ **［完了］をクリックして、終了する。**



以上で設定は完了です。

3 印刷先の変更

NEC Internet Printing Systemをインストールした後に印刷ポートを追加する場合の手順について説明します。

❶ **［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダーの［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**



❹ **［利用可能なプリンタポート］で［NEC Internet Printing System］を選択し、［新しいポート］をクリックする。**



❺ **［プリンタ URI］ボックスにプリンターのIPアドレスを含むURIを入力する。**

（入力例）

> Pアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp)」の場合
>
> http://123.123.123.123/ipp
>
> ipp://123.123.123.123/ipp
>
> printer1.sample.nec.co.jp/ipp

✔チェック

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

❻ ［OK］をクリックする。



❼ ［閉じる］をクリックして、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じる。

以上で設定は完了です。

Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用して印刷するには

Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用した印刷を行うための方法を説明します。

重要

- Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用した印刷を行うためには、プリンターに印刷データを送るWindows NT 4.0にLPR（OS添付のMicrosoft TCP/IP印刷サービス）をインストールする必要があります。
- LPRで印刷する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、双方向通信を無効にしてください。

使用するコンピューターにMicrosoft TCP/IP印刷をインストールします。インストールされている場合は「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

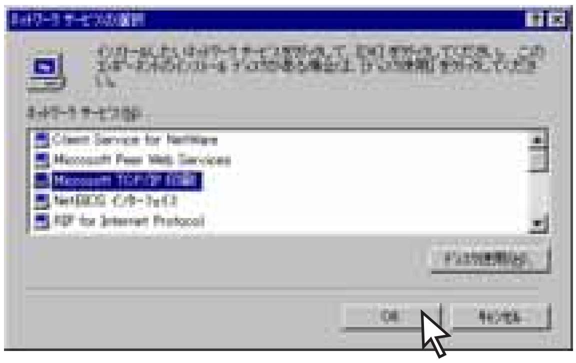
Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール

Microsoft TCP/IP印刷を使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows NT 4.0のヘルプ「ネットワークプロトコルをインストールするには」を参照してください。Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール方法について説明します。

❶ コントロールパネルの［ネットワーク］ダイアログボックスを開く。

❷ ［サービス］を選択し、［追加］をクリックする。

❸ ［ネットワークサービス］の一覧から［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択し、［OK］をクリックする。



❹ 画面に表示される指示に従ってインストールを完了する。

次に「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

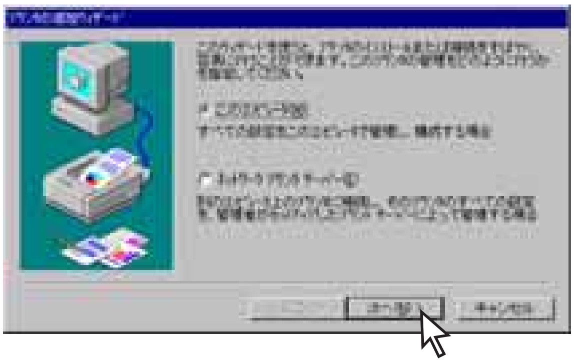
プリンタードライバーのインストール

❶ ［プリンタ］フォルダーを開く。

❷ ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。



❸ ［このコンピュータ］を選択し、［次へ］をクリックする。



❹ ［ポートの追加］をクリックする。

❺ ［LPR Port］を選択し、［新しいポート］をクリックする。

［LPR Port］が表示されない場合は、［Microsoft TCP/IP 印刷］サービスをインストールしてください。

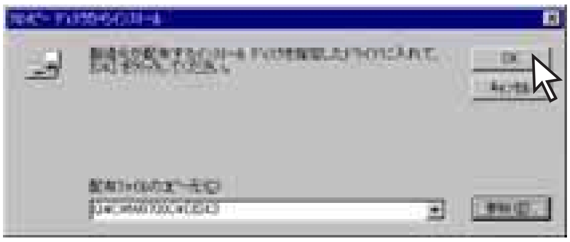
❻ ［lpdを提供しているサーバの名前またはアドレス］ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。

❼ ［ディスク使用］をクリックする。

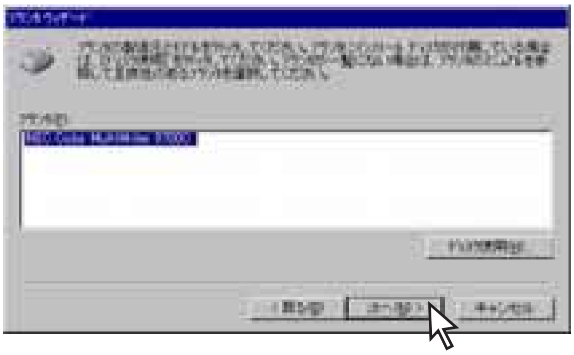


❽ ［配布ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［配布ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「CMW9700C¥DISK3」と入力します。



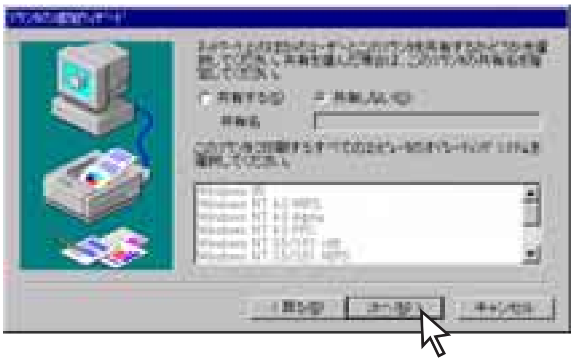
❾ 使用するプリンターを選択して、［次へ］をクリックする。



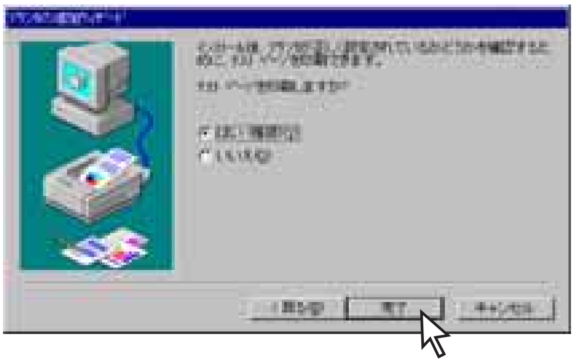
❿ ［次へ］をクリックする。



⓫ **必要に応じて共有設定をして、［次へ］をクリックする。**



⓬ **［完了］をクリックして、終了する。**

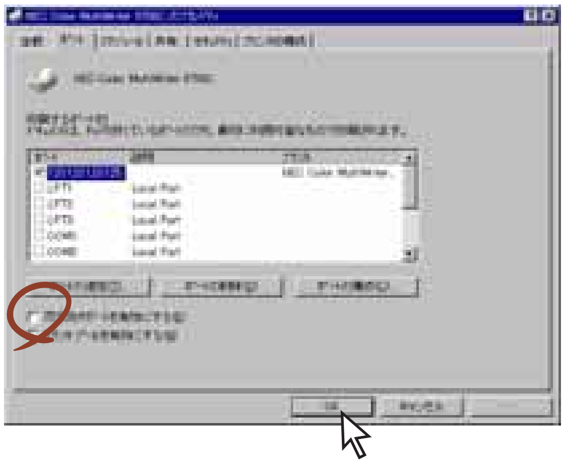


次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ **［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。**



以上で設定は完了です。

ターミナルサービス環境

Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0で動作しているターミナルサービス環境でMultiWriterを利用する場合は、ターミナルサービス用プリンタードライバーをインストールします。

対応するOSは、以下のとおりです。

- Microsoft Windows Server 2003 ターミナルサービス（日本語版）
- Microsoft Windows 2000 Server ターミナルサービス（日本語版）
- Microsoft Windows NT Server 4.0 Terminal Server Edition（日本語版）

チェック

- PrintAgentは、ターミナルサービス環境には対応していません。
- ターミナルサービス用プリンタードライバーは、PrintAgentに対応していません。

ターミナルサービス用プリンタードライバーのインストール

プリンターソフトウエアCD-ROMのインストールプログラムを使ってターミナルサービス用のプリンタードライバーをインストールします。プリンターソフトウエアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。

ここではWindows 2000 Server ターミナルサービス 日本語版を例にとり、プリンターソフトウエアのインストール手順を説明します。

❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はプリンターソフトウエアCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❷ **［インストール］をクリックする。**

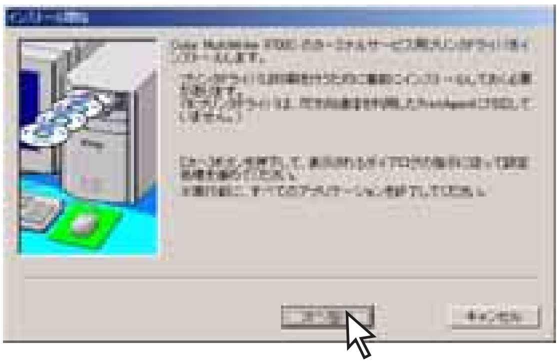


❸ **右側のボックスから［Color MultiWriter 9700C（ターミナルサービス用プリンタドライバ）］を選んで［インストール開始］をクリックする。**

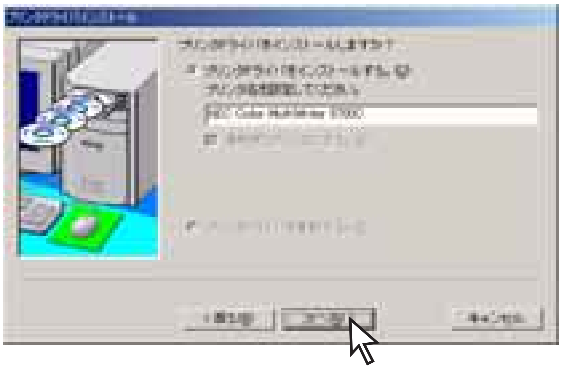
Windows NT 4.0は［Color MultiWriter 9700C（Terminal Server Edition用プリンタドライバ）］を選択します。



❹ ［次へ］をクリックする。

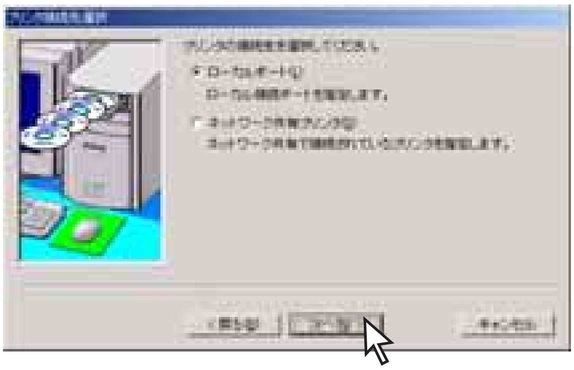


❺ ［プリンタドライバをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。



❻ プリンターの接続先を選び、［次へ］をクリックする。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「［ローカルポート］を選んだ場合」へ進んでください。



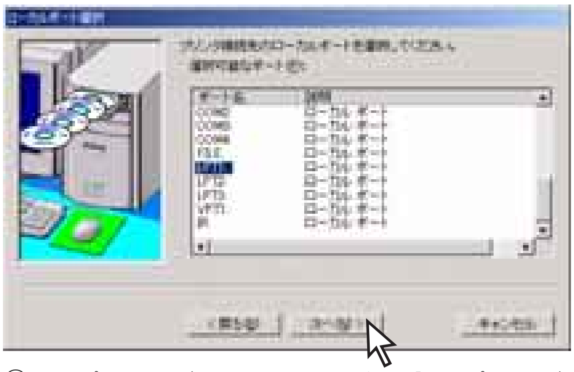
- ［ローカルポート］は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- ［ネットワーク共有プリンタ］は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。

✔チェック

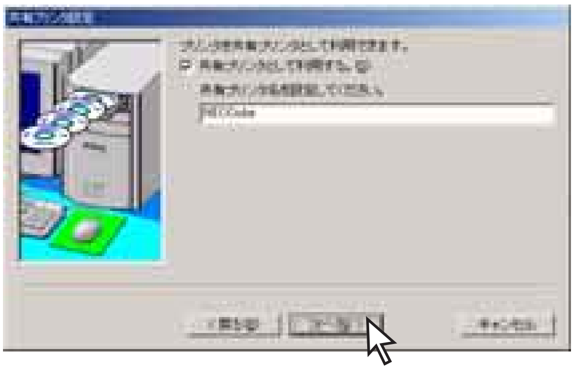
ネットワークポート接続する場合は、一度ローカルポートに接続してインストールを行い、「接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」（86ページ）を参照して変更してください。

<［ローカルポート］を選んだ場合>

① 希望するポートを選び［次へ］をクリックする。



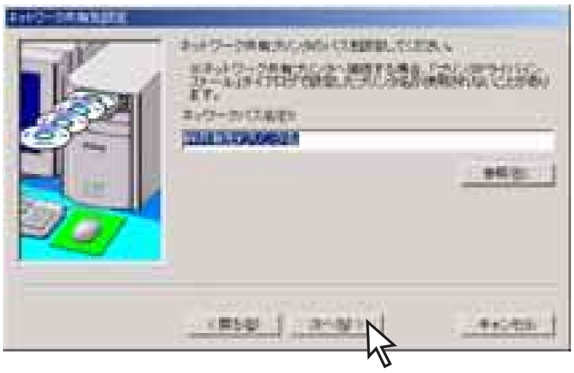
② 共有プリンターとして設定する場合は［共有プリンタとして利用する］をチェックして［次へ］をクリックする。



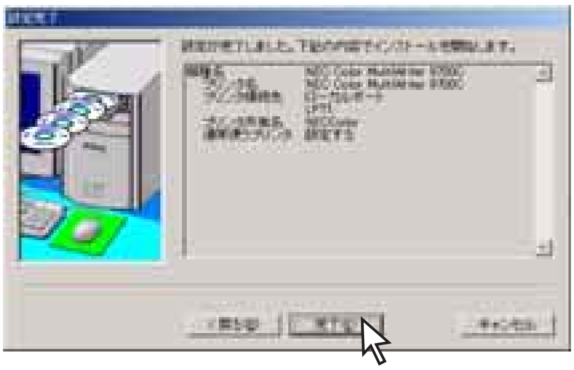
<［ネットワーク共有プリンタ］を選んだ場合>

プリンターの接続先を指定し、［次へ］をクリックする。

プリンターの接続先を［ネットワークパス名］に直接入力するか、［参照］をクリックして表示される一覧から指定します。



❼ 設定した内容を確認し、［完了］をクリックする。



❽ ［OK］をクリックする。

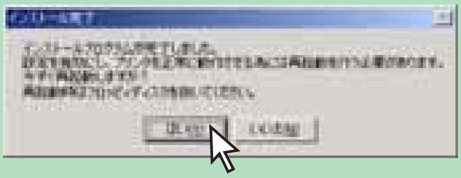


❾ インストールが終了したら［OK］をクリックする。



チェック

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合、画面のメッセージに従ってコンピューターを再起動してください。



❿ プリンタードライバーが正常にインストールされていることを確認する。

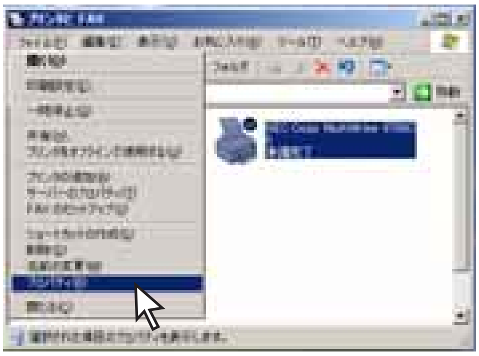
［プリンタ］フォルダー内に、［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンが登録されている。



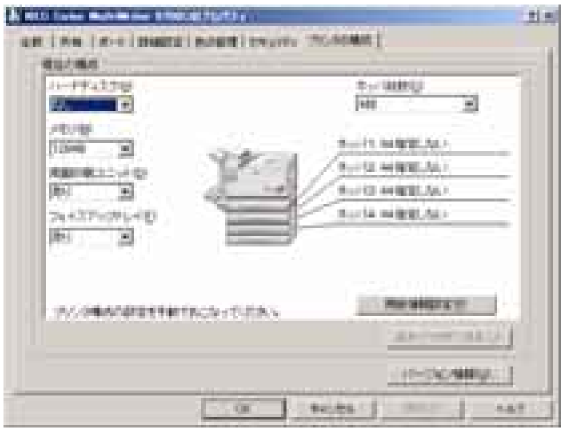
⓫ オプション機器の設定を行う。

<Windows Server 2003の場合>

［プリンタとFAX］フォルダー内の［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンをクリックし、ファイルメニューから［NEC Color MultiWriter 9700C］プロパティを開く。

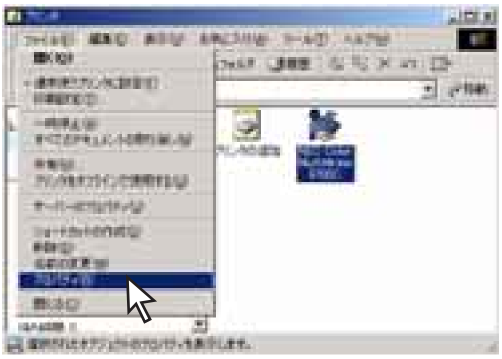


［プリンターの構成］シートで、プリンターの構成を設定する。

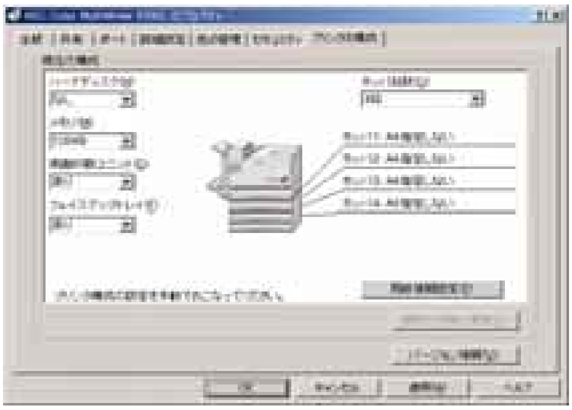


<Windows 2000の場合>

［プリンタ］フォルダー内の［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンをクリックし、ファイルメニューから［NEC Color MultiWriter 9700C］プロパティを開く。



［プリンタの構成］シートで、プリンターの構成を設定する。



＜Windows NT 4.0の場合＞

プリンタフォルダー内の［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンをクリックし、ファイルメニューから［NEC Color MultiWriter 9700C］プロパティを開く。



［プリンタの構成］シートで、プリンターの構成を設定する。



UNIX環境の設定

UNIX環境で設定および印刷する方法について説明します。

IPアドレスの設定

UNIXマシンからIPアドレスを設定する方法には、主に「arp」コマンドと「ping」コマンドを使って設定する方法とTelnetの2つがあります。
Telnetを使ったIPアドレスの設定方法については「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「Telnet」の「IPアドレス」（78ページ）を参照してください。

ここでは、「ping」コマンドを使った設定方法について説明します。あらかじめ、ホストマシン側のARPアドレス変換テーブルにプリンターのARPエントリーを作っておくことにより、IPアドレスを変更できます。

以下の手順に従ってください。

チェック

- ここで示す方法で IP アドレスを設定すると、LAN インターフェースを初期化しないと同じ方法では設定できません（「ネットワーク設定の初期化」（150ページ）参照）。
- LANインターフェースの設定を初期化すると他のLANの設定もクリアされ、工場出荷時の設定に戻ります。クリアする前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください（「コンフィグレーションページの印刷」（151ページ）参照）。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

❶ エディターを使用して、ホストコンピューターの「/etc/hosts」ファイルにプリンターのIPアドレスとホスト名を追加する。

```
ddd.ddd.ddd.ddd <ホスト名>
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はプリンターの変更したいIPアドレスです。<ホスト名>はプリンター名を入力してください。

重要

設定されるプリンターのIPアドレスは設定するために使うホストと同一のネットワークアドレスでなくてはなりません。
プリンターのIPアドレスがホストと異なるネットワークアドレスの場合は、ホストのサブネットマスクを一時的に変更して、同一ネットワークにあるかのように設定し直す必要があります。

次にUNIXの/etc/hostsファイルの表示例を示します。

```
:        :            :
192.9.200.20          pr9700n   #ColorMultiWriter9700C
:        :            :
:        :            :
```

「192.9.200.20」はプリンターのIPアドレスです。
「pr9700n」はプリンターのホスト名です。
「#ColorMultiWriter9700C」はコメント文です。

❷ **ホストコンピューターのアドレス変換テーブルにプリンターのエントリーを追加する。**

```
arp -s <ホスト名> <Ethernetアドレス>
```

<ホスト名>は手順1で指定したプリンターのホスト名です。<Ethernetアドレス>には、コンフィグレーションページのMAC Addressの値を入力してください。

＜実行例＞

```
arp -s pr9700n 00:00:4C:29:00:00
```

arpコマンドの詳細については、各システムのコマンドマニュアルを参照してください。

❸ **pingコマンドを実行する。**

新しいIPアドレスに変更されます。

＜実行例＞

```
ping pr9700n
```

❹ **コンフィグレーションページを印刷してIPアドレスが変更されたことを確認する。**

手順については、「コンフィグレーションページの印刷」（151ページ）を参照してください。

以上で設定は完了です。

ホストコンピューター側のセットアップ

「lprコマンド」か「ftpコマンド」のどちらを使用する場合も、プリンターのIPアドレスとホスト名のhostsファイルに登録する必要があります。

hostsファイルにIPアドレスを登録すると、ftpコマンドを使用できるようになります。lprコマンドを使用する場合は、IPアドレスの登録の他に次に示す設定を行う必要があります。

lprコマンドを使用する場合

lprコマンドを使用する場合、通常ホストコンピューター側のprintcapファイルでリモートプリンターとなるプリンターを定義する必要があります。また、プリンターが持つフィルターを使う場合は、その定義も同時に行います。フィルターは以下のフィルター名の中からprintcapファイル内でコマンドオプションのrpで定義してください。

フィルター名	機　能	
lpb	フィルターなし：	バイナリーファイルの転送に使います。
lpa	LF→CR+LF：	改行コードLF（0A）をCR+LF（0D0A）に変換します。
lpbf	lpb+FF：	ファイルの最後にFFコード（0C）を付加します。
lpaf	lpa+FF：	LFをCR+LF（0B0A）に変換しファイルの最後にFFコード（0C）を付加します。
euc	EUC→JIS：	EUCコードをプリンターJISコードに変換します。
EUC	EUC→JIS： LF→CR+LF +FF	EUCコードのプリンターJISコード変換に加えてLFコード（0A）変換と FFコード（0C）付加を行います。
sjis	Shift-JIS→JIS：	Shift-JISコードをプリンターJISコードに変換します。
SJIS	SJISShift-JIS→JIS： LF→CR+LF +FF	Shift-JISコードのプリンターJISコード変換に加えてLFコード（0A）変換と FFコード（0C）付加を行います。

その他未登録のフィルター名はlpbとみなされます。

（BSD系UNIXのprintcapファイルの設定例）

```
pt0¦no convert:¥
   :lp=:rm=<ホスト名>:¥
   :sd=/usr/spool/lpd0:
pt1¦ascii file:¥
   :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpa:¥
   :sd=/usr/spool/lpd1:
pt2¦binary with FF:¥
   :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpbf:¥
   :sd=/usr/spool/lpd2:
pt3¦ascii with FF:¥
   :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpaf:¥
   :sd=/usr/spool/lpd3:
```

printcapの詳細についてはホストコンピューターの取扱説明書を参照してください。

印刷方法

ホストコンピューターからプリンターへのファイルの転送には、以下の2つの方法があります。

- ftpコマンドによる転送
- lprコマンドによる転送

ftpコマンドによる転送

ftp（file transfer protocol）コマンドとは、通常UNIX上でコンピューター間のデータ転送に使用されるプロトコルで、TCP/IPの上位層に位置します。

プリンターは、このftpコマンドプロトコルで、クライアント側から転送されたファイルを受け取ることができるサーバー機能をサポートしています。

印刷ファイルは、ftpコマンドを使いプリンターに転送することで印刷されます。サポートしているコマンドは次の3つです。

コマンド名	機　　能
binary	転送されたファイルはそのままプリンターへ送られます。
ascii	プリンターでLF（0A）をCR+LF（0D0A）に変換します。デフォルトはこのモードです。
put （send）	ファイルの転送に使用します。宛先ファイルとして「FEED」あるいは「feed」と入力すると、ファイルの最後にフォームフィードを付加します。

ファイルの転送は、次の例のようにクライアント側でftpコマンドプロトコルのコマンドを実行することにより行われます。

（ftpコマンドによるファイル転送例）

```
olive%ftp pr9700n （[Enter] キーを押してftpコマンドを起動します。）
Connected to pr9700n
220 NEC Network Interface Version 02.02 FTP Service Ready
Name(pr9700dn:) （[Enter] キーを押します。）
230 NEC Printer Log-In Complete.
ftp>binary （[Enter] キーを押してファイルの形式を指定します。）
200 Type set to BINARY.
ftp>put data.plt （[Enter] キーを押してdata.pltファイルを転送します。）
200 PORT command successful
250 Requested file Action okay,completed
13083 bytes sent in 0 seconds(12.78 kbytes/s)
ftp>quit （ftpコマンドを終了します。）
221 Services closing control connection
olive%
```

チェック

転送方法は、ワークステーションまたはパーソナルコンピューター用ソフトウエアによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

lprコマンドによる転送

BSD系UNIXで標準的なリモートプリント機能（lprコマンド）を使ってプリンターにデータを出力することができます。

また、あらかじめprintcapファイルでプリンターにフィルターを登録しておくと、そのプリンターを指定するだけでプリンターに登録されたフィルターを使用してデータの出力を行うことができます。
フィルターを指定しない場合は、ホストコンピューターから受信したデータを無変換のままプリンターに出力するので、あらかじめホスト側で出力するデータの形式をプリンターに合わせておく必要があります。

プリンター名は、ホストコンピューターの/etc/printcapファイルにプリンターを登録するときに指定します。printcapの設定については、「lprコマンドを使用する場合」を参照してください。また、printcapの詳細については、ホストコンピューターのコマンド説明書を参照してください。

ホストコンピューターからは、次のようなコマンドを入力し、「Enter」キーを押してファイルを転送します。

＜表示例＞

```
lpr -Ppt0 <ファイル名>
```

チェック

ファイルの転送方法は、ソフトウエアまたはコンピューターによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

より便利なネットワーク機能

Color MultiWriter 9700Cには、ネットワーク上にあるプリンターの情報を取得することやネットワークからの利用者を制限することができる便利なネットワーク機能があります。ここでは、それぞれの機能の設定方法や利用方法について説明しています。

DHCP

DHCPを使用すると、DHCPサーバー（Windows Server 2003、Windows 2000 Server、Windows NT Server、またはUNIX Server）からIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを自動的に取得することができます。これによりDHCPサーバーにIPアドレスの登録を行うだけで個々の標準装備のLANインターフェースまたは無線LANボードに対するIPアドレスの設定が不要となります。

重要

- DHCPを使用してIPアドレスを設定する場合は、ネットワーク環境にDHCPサーバーが必要です。
- 工場出荷時の設定では、［DHCPは使用しない］に設定されています。次に説明する方法で設定を変更してから使用してください。
- LANボードおよび無線LANボードに割り当てるIPアドレスは固定です。毎回、IPアドレスが変わると印刷データの送信先が不明となり、プリンターに印刷データが送信されなくなります。これを避けるために必ずDHCPサーバーでIPアドレスの予約をしてください（「DHCPサーバーの設定」（136ページ）参照）。すでにIPアドレスが設定されている環境では、WWWブラウザーまたはTelnetを使用してDHCPをオンにすることができます。

DHCPの設定

DHCP設定には、主に以下の3つの方法があります。それぞれについては次ページで説明します。

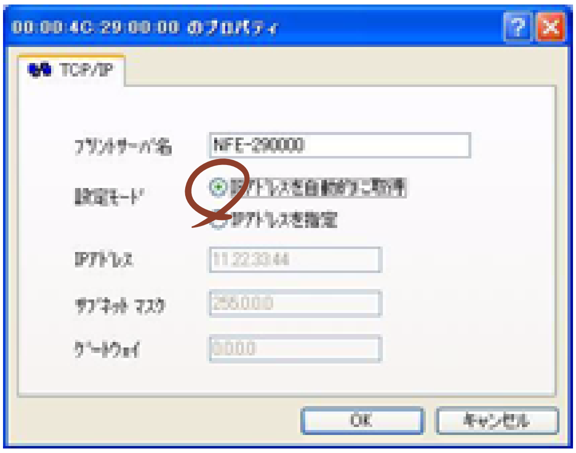
- EASY設定ユーティリティ
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
- プリンターの操作パネル

EASY設定ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「EASY設定ユーティリティ」を使用して設定します。

プリンターのMACアドレスを選択し、［プロパティ］をクリックすると表示される［TCP/IP］シート上で［IPアドレスを自動的に取得］を選択してください。詳しくは、「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「EASY設定ユーティリティ」（32ページ）をご覧ください。

＜LANボードの場合の表示例＞

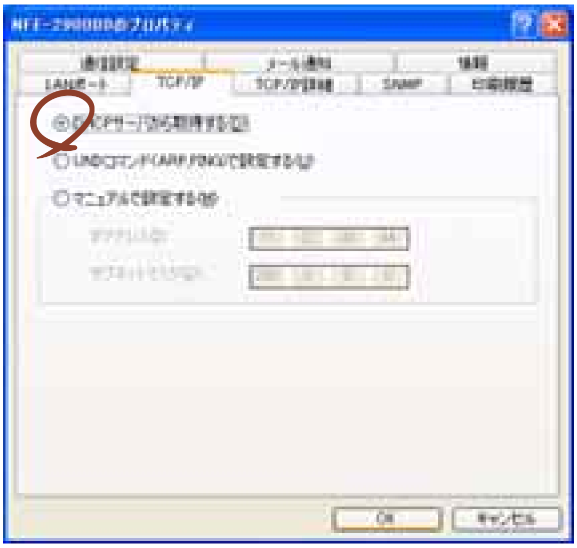


PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用して設定します。

［NECプリントサーバー］のリストビューから、対象のプリンターアイコンを選択して［プロパティ］ダイアログボックスを開き、［TCP/IP］シート上で、［DHCPサーバから取得する］を選択してください。詳しくは、「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」（35ページ）をご覧ください。

＜LANボードの場合の表示例＞

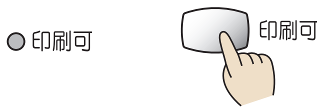


プリンターの操作パネル

プリンターの操作パネルからDHCPの設定を切り替えることができます。本プリンターに標準実装されているLANインターフェースおよびオプションの無線LANボード（型番 PR-WLX-13）のDHCP設定を変更する方法について説明します。

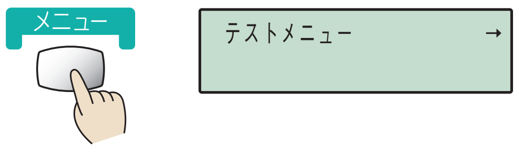
❶ **[印刷可]スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。



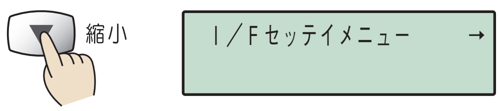
❷ **[メニュー]スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示されます。

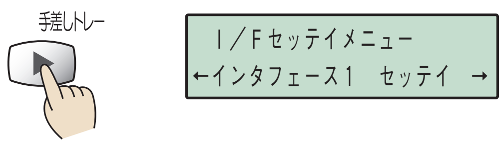


❸ **ディスプレイに“I/Fセッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。**

メニューの内容については2章の「メニューツリー」（163～174ページ）を参照してください。

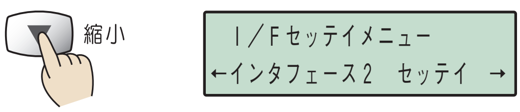


❹ **[▶]スイッチを1回押す。**



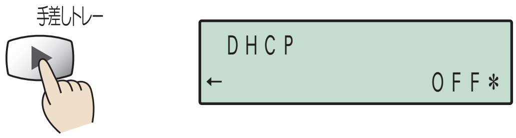
❺ **[▼]スイッチを1回押す。**

ディスプレイ下段に“←インタフェース 2　セッテイ　→”と表示されます。



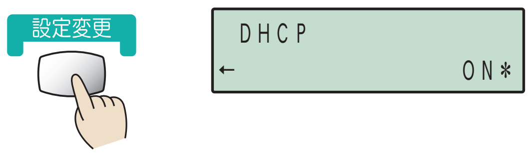
❻ **[▶]スイッチを1回押す。**

ディスプレイ上段に“DHCP”と表示されます。



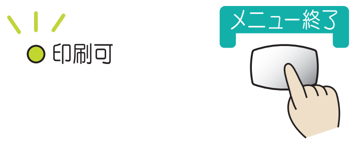
❼ **[設定変更]スイッチを押す。**

“ON”に設定されます。



❽ **[メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。**

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。



DHCPが有効になりました。

> **チェック**
>
> IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスはDHCPサーバーから取得した値が表示されます。また、表示されるまでは多少時間がかかる場合があります。

DHCPサーバーの設定

DHCP機能を使用するためには、DHCPサーバーとしてWindows Server 2003、Windows 2000 Server、Windows NT Server 4.0、またはUNIX サーバーが必要です。ここではWindows 2000 ServerとWindows NT Server 4.0によるDHCPサーバーの設定について説明します。

チェック

- Windows 2000 Professional、Windows NT WorkstationはDHCPサーバー機能をサポートしていません。
- UNIXサーバーについては、OSのマニュアルを参照してください。

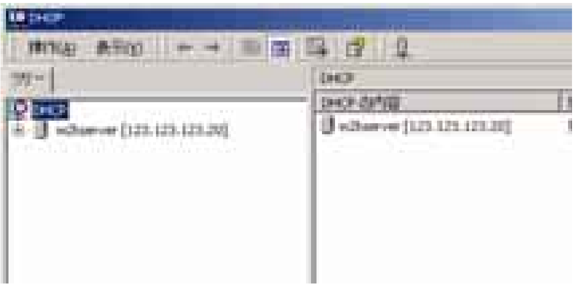
Windows Server 2003、Windows 2000の場合

ここでは、Windows 2000の場合を例にとって説明しています。Windows Server 2003でも同じ手順で設定できます。

DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows Server 2003、Windows 2000 Serverに「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。「DHCPサーバー」のインストールについては、Windows 2000 Serverのヘルプを参照してください。

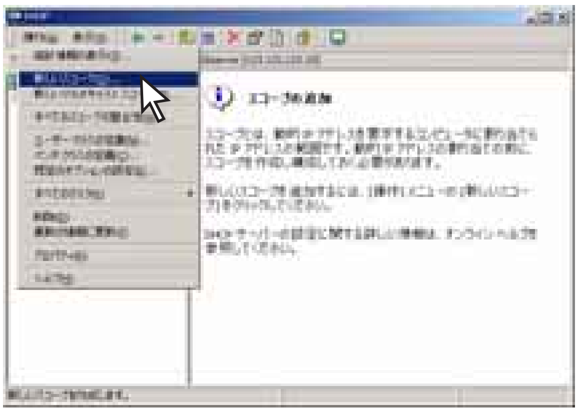
❶ **DHCPを起動する。**

［スタート］メニューから［プログラム］－［管理ツール］の順でポイントし、［DHCP］をクリックします。



❷ **DHCPサーバー（ここでは「w2kserver」）を選択し、［操作］メニューから［新しいスコープ］をクリックする。**

新しいスコープウィザードが起動します。

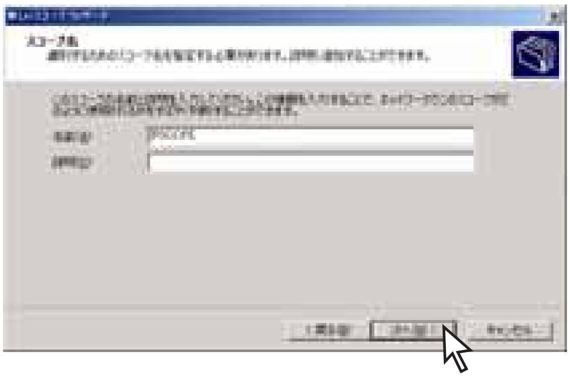


❸ **［次へ］をクリックする。**

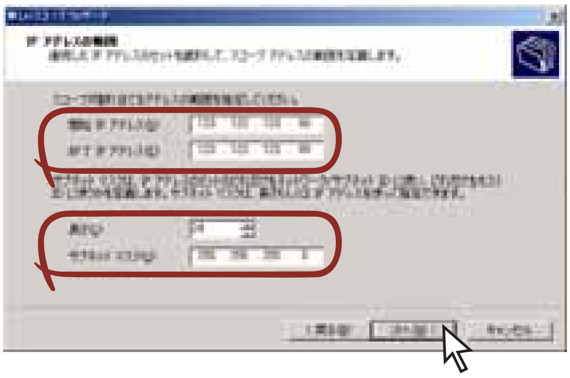


❹ **任意のスコープ名を［名前］ボックスに入力し、［次へ］をクリックする。**

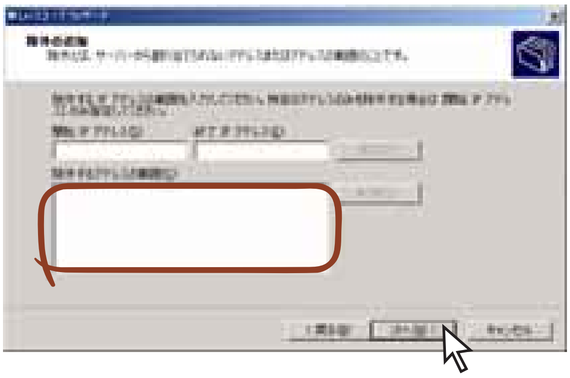
ここでは、例として「IPSCOPE」と入力します。



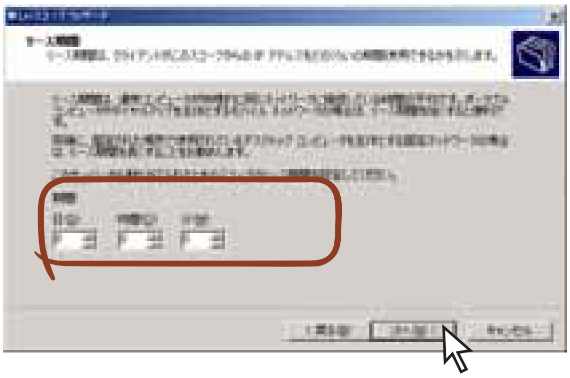
❺ **DHCP サーバーが割り当てる IP アドレスの範囲とサブネットマスクを入力し、［次へ］をクリックする。**



❻ **手順❺で入力したIPアドレスの範囲で、割り当てに使用したくないIPアドレスがあれば［除外するアドレスの範囲］ボックスに入力し、［次へ］をクリックする。**

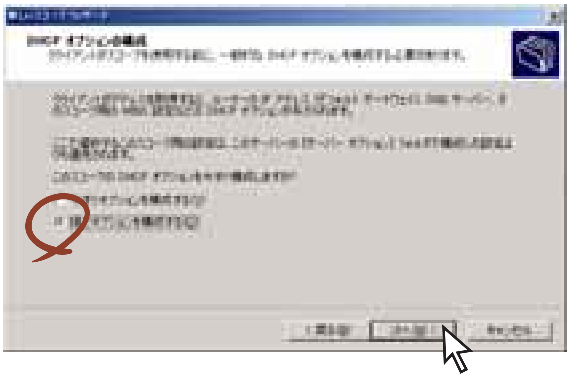


❼ **LAN ボードに割り当てられた IP アドレスが使用できる期間を設定し、［次へ］をクリックする。**

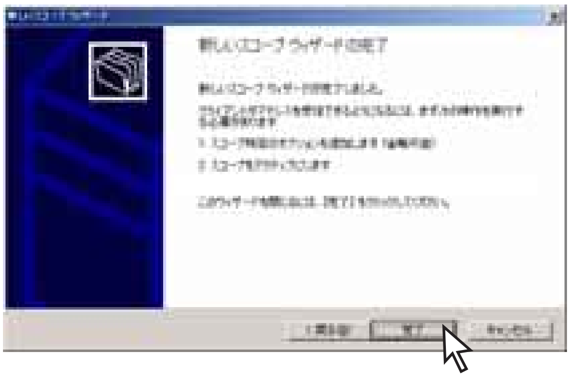


❽ **［後でオプションを構成する］を選択し、［次へ］をクリックする。**

ここで、オプションの設定を行う場合は、［今すぐオプションを構成する］を選択し、ウィザードの指示に従ってください。

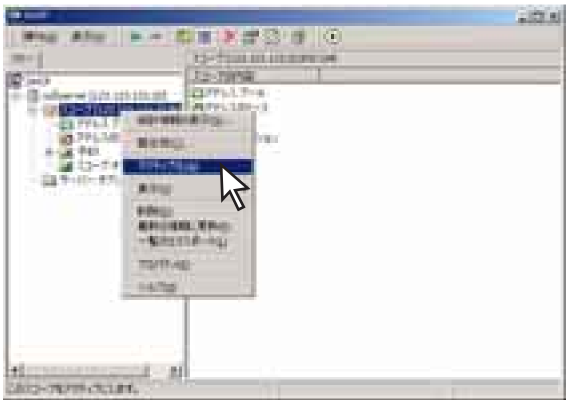


❾ **［完了］をクリックして、ウィザードを終了する。**



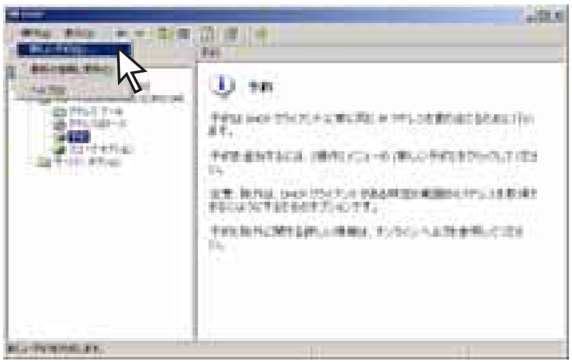
❿ **［スコープ］（ここでは「スコープ［123.123.123.0］IPSCOPE」）上で右クリックし、［アクティブ化］をクリックする。**

手順❾までの手順で作成したスコープ「IPSCOPE」をアクティブにするために必要な手順です。



⓫ **手順❾までの手順で作成した［スコープ］（ここでは「スコープ［123.123.123.0］IPSCOPE」）上の［予約］を選択し、［操作］メニューから［新しい予約］をクリックする。**

LANボードに常時、同じIPアドレスが割り当てられるようにするために必要な手順です。

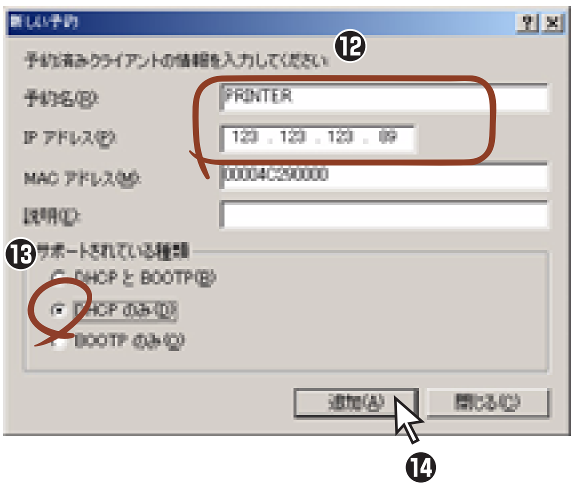


チェック

DHCPによるIPアドレス自動取得で、LANボードには毎回同じIPアドレスが割り当てられなければなりません。この［予約の追加］では、LANボードの固有情報であるMACアドレスをIPアドレスと関連付けることで、毎回同じIPアドレスをLANボードに割り当てることができるようになります。

⓬ **LANボードに割り当てたいIPアドレスを入力し、［予約名］ボックスに任意の名前を入力する。**

ここでは、例として「PRINTER」と入力します。

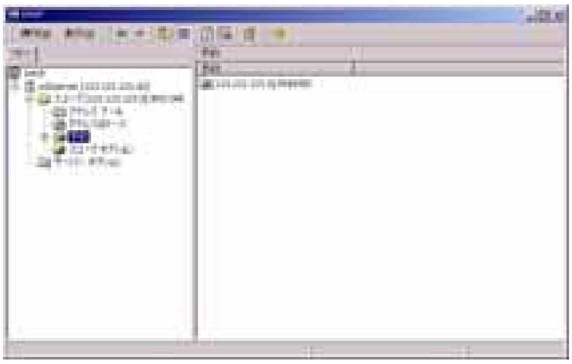


⓭ **［サポートされている種類］で［DHCP のみ］を選択する。**

⓮ **［追加］をクリックする。**

⓯ **［閉じる］をクリックする。**

以上で設定は完了です。設定後は、以下のような画面が表示されます。

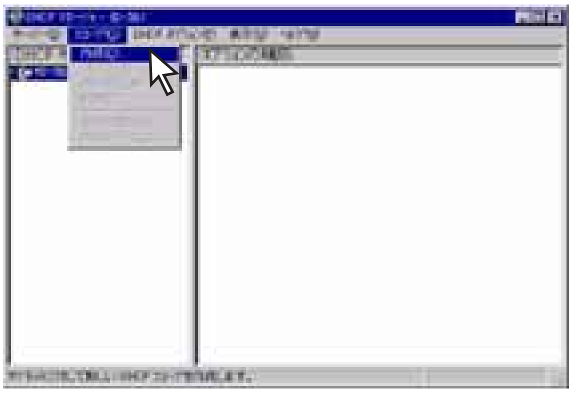


Windows NT Server 4.0の場合

DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows NT Server 4.0に「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。DHCPサーバーのインストールについては、Windows NT Server 4.0のヘルプを参照してください。

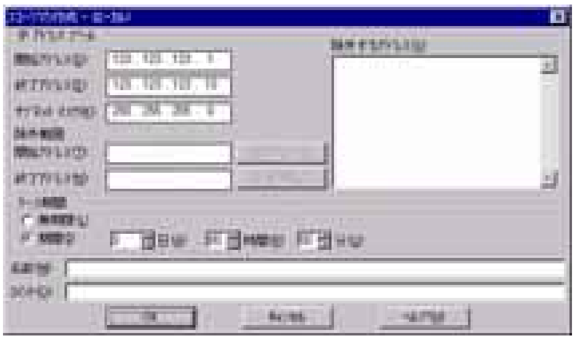
❶ ［ネットワーク管理］グループのDHCPマネージャを起動する。

❷ メニューバーの［スコープ］メニューから［作成］をクリックし、スコープを作成する。



❸ ［スコープの作成］ダイアログボックスで以下の設定を入力する。

- IPアドレスプールの開始アドレス（必須）
- IPアドレスプールの終了アドレス（必須）
- サブネットマスク（必須）
- 除外範囲の開始アドレス（必要時）
- 除外範囲の終了アドレス（必要時）
- ソース期間の設定（必要時）



❹ ［OK］をクリックし、［スコープの作成］ダイアログボックスを閉じる。

❺ ［DHCP マネージャ］ダイアログボックスのメニューバーの［スコープ］メニューから［予約の追加］を選択する。

［予約クライアントの追加］ダイアログボックスが開きます。

> ✔チェック
>
> DHCPによるIPアドレス自動取得で、LANボードには毎回同じIPアドレスが割り当てられなければなりません。この［予約の追加］では、LANボードの固有情報であるMACアドレスをIPアドレスと関連付けることで、毎回同じIPアドレスをLANボードに割り当てることができるようになります。

❻ 以下の情報を入力する。

- IPアドレス：LANボードのIPアドレス（必須）
- 一意のID：LANボードのMACアドレス（必須）
- クライアント名：任意の名前（必須）
- クライアントコメント：任意のコメント（必要時）

> ✔チェック
>
> IPアドレスはスコープ作成時に設定したIPアドレスプールの範囲内で設定してください。



❼ ［追加］をクリックし、［予約クライアントの追加］ダイアログボックスを閉じる。

以上で設定は完了です。

DHCPの動作について

LANインターフェースおよび無線LANボードのDHCP設定を有効にした場合の動作について説明します。
DHCP機能を使用するためには、ネットワーク上にDHCPサーバーが必要です。LANインターフェースおよび無線LANボードに電源が供給されると、DHCPサーバーを自動的に検索します。ネットワーク上に複数のDHCPサーバーが存在する場合は、最初に応答を受け取ったDHCPサーバーと通信し、IPアドレスのリース（貸し出し）を受けます。LANインターフェースおよび無線LANボード用にIPアドレスの予約を行ったDHCPサーバーのみのネットワーク環境で使用してください。

チェック

- IPアドレスの予約を行っていないDHCPサーバーからIPアドレスがリースされるとLANインターフェースおよび無線LANボードは誤って登録されたIPアドレスで動作します。一度受信したIPアドレスを解放するには以下のどちらかを行ってください。
  - DHCP設定を一度無効にする。
  - LANインターフェースおよび無線LANボードの設定を初期化する（「ネットワーク設定の初期化」（150ページ）参照）。
- DHCPはルーターを越えたネットワーク上のDHCPサーバーと通信することができます。ルーターを使用している場合は、ルーターのリレーエージェントの設定を確認してください。

DHCP機能を有効にし、起動時にDHCPサーバーが検索されなかった場合*、LANインターフェースは1分周期でDHCPサーバーの検索を継続します。

* DHCPサーバーからIPアドレスを設定した後、DHCPサーバーのないネットワーク環境に接続を切り替えた場合を含む。

チェック

一度DHCP機能を有効にしたLANインターフェースおよび無線LANボードの設定を無効にする場合は、以下のどちらかを行ってください。

- LANインターフェースおよび無線LANボードの設定を初期化する（「ネットワーク設定の初期化」（150ページ）参照）。
- 操作パネルでDHCPを無効（135ページ参照）にして、IPアドレスを再設定する。

SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）を使用することで汎用のSNMPマネージャソフトウエアからプリンターの情報を取得することができます。

Get Request Set Requestによる管理

通信に必要なコミュニティ名を4つまで登録できます。コミュニティ名の変更するには、以下の3つの方法があります。

> チェック
>
> 工場出荷時のコミュニティ名には「public」もしくは「fxSystemMgr」が登録されています。必要に応じて設定変更を行ってください。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
  設定の詳細については、本章の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「［SNMP］シート」（54ページ）を参照してください。
- WWWブラウザー
  設定の詳細については、「WWWブラウザー」の「SNMP設定画面」（73ページ）を参照してください。
- Telnet
  設定の詳細については、「Telnet」の「SNMP」（80ページ）を参照してください。

サポートしているMIBは、MIB-II（RFC1213）、ホストリソースMIB（RFC1514）、およびプリンターMIB（RFC1759）です。

SNMP MIB-II（RFC1213）オブジェクト一覧

[system] グループ	[ip] グループ	[icmp] グループ
sysDescr	ipForwarding	icmpInMsgs
sysObjectID	ipDefaultTTL	icmpInErrors
sysUpTime	ipInReceives	icmpInDestUnreachs
sysContact	ipInHdrErrors	icmpInTimeExcds
sysName	ipForwDatagrams	icmpInParmProbs
sysLocation	ipInDiscards	icmpInSrcQuenchs
sysServices	ipInDelivers	icmpInRedirects
	ipOutRequests	icmpInEchos
	ipOutDiscards	icmpInEchoReps
	ipReasmTimeout	icmpInTimestamps
	ipReasmReqds	icmpInTimestampReps

（次ページへ続く）

[interface] グループ

ifNumber
ifIndex
ifDescr
ifType
ifMtu
ifSpeed
ifPhysAddress
ifAdminStatus
ifOperStatus
ifLastChange
ifInOctets
ifInUcastPkts
ifInNUcastPkts
ifInDiscards
ifInErrors
ifInUnknownProtos
ifOutOctets
ifOutUcastPkts
ifOutNUcastPkts
ifOutDiscards
ifOutErrors
ifOutQLen
ifSpecific

ipReasmOKs
ipFragOKs
ipFragFails
ipFragCreates
ipAdEntAddr
ipAdEntIfIndex
ipAdEntNetMask
ipAdEntBcastAddr
ipRouteDest
ipRouteIfIndex
ipRouteMetric1
ipRouteMetric2
ipRouteMetric3
ipRouteMetric4
ipRouteNextHop
ipRouteMask
ipRouteMetric5

icmpInAddrMasks
icmpInAddrMaskReps
icmpOutMsgs
icmpOutDestUnreachs
icmpOutTimeExcds
icmpOutParmProbs
icmpOutSrcQuenchs
icmpOutRedirects
icmpOutEchos
icmpOutEchoReps
icmpOutTimestamps
icmpOutTimestampReps
icmpOutAddrMasks
icmpOutAddrMaskReps

[tcp] グループ

tcpRtoAlgorithm
tcpRtoMin
tcpRtoMax
tcpMaxConn
tcpCurrEstab
tcpInSegs
tcpOutSegs
tcpRetransSegs
tcpConnState
tcpConnLocalAddress
tcpConnLocalPort
tcpConnRemAddress
tcpConnRemPort
udpOutDatagrams
tcpInErrs

[udp] グループ

udpInDatagrams
udpNoPorts
udpInErrors
udpOutDatagrams
udpLocalAddress
udpLocalPort

[snmp] グループ

snmpInPkts
snmpOutPkts
snmpInBadVersions
snmpInBadCommunityNames
snmpInBadCommunityUses
snmpInASNParseErrs
snmpInTotalReqVars
snmpInTotalSetVars
snmpInGetRequests
snmpInGetNexts
snmpInSetRequests
snmpInGetResponses
snmpInTraps
snmpOutTooBigs
snmpOutNoSuchNames
snmpOutBadValues
snmpOutGenErrs
snmpOutGetRequests
snmpOutGetNexts
snmpOutSetRequests
snmpOutGetResponses
snmpOutTraps
snmpEnableAuthenTraps

SNMPホストリソースMIB（RFC1514）オブジェクト一覧

[Device] グループ

hrDeviceIndex
hrDeviceType
hrDeviceDescr
hrDeviceStatus
hrPrinterStatus
hrPrinterDetectedErrorState

プリンター MIB（RFC1759）オブジェクト一覧

[General Printer] グループ

prtGeneralConfigChanges
prtGeneralCurrentLocalization
prtGeneralReset
prtInputDefaultIndex
prtOutputDefaultIndex
prtMarkerDefaultIndex
prtMediaPathDefaultIndex
prtConsoleLocalization
prtConsoleNumberOfDisplayLines
prtConsoleNumberOfDisplayChars
prtConsoleDisable
prtDeviceRefIndex
prtCoverDescription
prtCoverStatus
prtLocalizationLanguage
prtLocalizationCountry
prtLocalizationCharacterSet

[Input]グループ

prtInputType
prtInputDimUnit
prtInputMediaDimFeedDirDeclared
prtInputMediaDimXFeedDirDeclared
prtInputMediaDimFeedDirChosen
prtInputMediaDimXFeedDirChosen
prtInputCapacityUnit
prtInputMaxCapacity
prtInputCurrentLevel
prtInputStatus
prtInputMediaName

[Extended Input]グループ

prtInputName
prtInputVendorName
prtInputModel
prtInputVersion
prtInputSerialNumber
prtInputDescription
prtInputSecurity

[Output] グループ

prtOutputType
prtOutputCapacityUnit
prtOutputMaxCapacity
prtOutputRemainingCapacity
prtOutputStatus

[Extended Output]グループ

prtOutputName
prtOutputVendorName
prtOutputModel
prtOutputVersion
prtOutputSerialNumber
prtOutputDescription
prtOutputSecurity

[Output Dimensions]グループ

prtOutputDimUnit
prtOutputMaxDimFeedDir
prtOutputMaxDimXFeedDir
prtOutputMinDimFeedDir
prtOutputMinDimXFeedDir

[Output Features]グループ

prtOutputStackingOrder
prtOutputPageDeliveryOrientation
prtOutputBursting
prtOutputDecollating
prtOutputPageCollated
prtOutputOffsetStacking

[Marker]グループ

prtMarkerMarkTech
prtMarkerCounterUnit
prtMarkerLifeCount
prtMarkerPowerOnCount
prtMarkerProcessColorants
prtMarkerSpotColorants
prtMarkerAddressabilityUnit
prtMarkerAddressabilityFeedDir
prtMarkerAddressabilityXFeedDir
prtMarkerNorthMargin

（次ページへ続く）

prtMarkerSouthMargin
prtMarkerWestMargin
prtMarkerEastMargin
prtMarkerStatus

[Marker Supplies]グループ

prtMarkerSuppliesMarkerIndex
prtMarkerSuppliesColorantIndex
prtMarkerSuppliesClass
prtMarkerSuppliesType
prtMarkerSuppliesDescription
prtMarkerSuppliesSupplyUnit
prtMarkerSuppliesMaxCapacity
prtMarkerSuppliesLevel

[Marker Colorant]グループ

prtMarkerColorantMarkerIndex
prtMarkerColorantRole
prtMarkerColorantValue
prtMarkerColorantTonality

[Media Path]グループ

prtMediaPathMaxSpeedPrintUnit
prtMediaPathMediaSizeUnit
prtMediaPathMaxSpeed
prtMediaPathMaxMediaFeedDir
prtMediaPathMaxMediaXFeedDir
prtMediaPathMinMediaFeedDir
prtMediaPathMinMediaXFeedDir
prtMediaPathType
prtMediaPathDescription
prtMediaPathDescription
prtMediaPathDescription.3
prtMediaPathStatus
prtMediaPathStatus
prtMediaPathStatus.3

[Channel]グループ

prtChannelType
prtChannelProtocolVersion
prtChannelCurrentJobCntlLangIndex
prtChannelDefaultPageDescLangIndex
prtChannelState
prtChannelIfIndex
prtChannelStatus

[Interpreter]グループ

prtInterpreterLangFamily
prtInterpreterLangLevel
prtInterpreterLangVersion
prtInterpreterDescription
prtInterpreterVersion
prtInterpreterDefaultOrientation
prtInterpreterFeedAddressability
prtInterpreterXFeedAddressability
prtInterpreterDefaultCharSetIn
prtInterpreterDefaultCharSetOut
prtInterpreterTwoWay

[Console]グループ

prtConsoleDisplayBufferText
prtConsoleOnTime
prtConsoleOffTime
prtConsoleColor
prtConsoleDescription

[Alerts]グループ

prtAlertSeverityLevel
prtAlertTrainingLevel
prtAlertGroup
prtAlertGroupIndex
prtAlertLocation
prtAlertCode
prtAlertDescription

Trapによる管理

プリンターのエラーまたは状態変化が発生した場合に指定されたホストコンピューターにTrapを発信することができます。最大4台のホストコンピューターにTrapを送信することができます。

Trapの設定

Trapによる管理を行うためには以下の設定が必要です。

- Trap使用の要否設定
- 送信先ホストコンピューターのIPアドレス
- Trap通信のコミュニティ名
- ゲートウェイアドレスの設定

✔チェック

- ゲートウェイアドレスの設定について
  - 4つのホストコンピューターのIPアドレス設定の中で、LANインターフェースのネットワークアドレスと異なるものが含まれている場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
  - 同じネットワークアドレスのホストコンピューターに Trap送信する場合は、ゲートウェイアドレスの設定は不要ですので、「0.0.0.0」（工場出荷設定）のままでご使用ください。
- SNMP MIB IIの［SNMP］グループで「snmpEnableAuthenTraps」の設定が［Disabled（2）］になっている場合は、すべてのTrap設定が無効となります。Trapをご使用の場合は、［Enabled（1）］に設定してください。なお、工場出荷時は［Enabled（1）］に設定されています。
- 「SnmpEnableAuthenTraps」の設定に関わらず、LANインターフェースに登録されたIPアドレス等の情報は保持されます。

Trapの設定方法は、以下の3つです。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
  設定の詳細については、「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「［SNMP］シート」（54ページ）を参照してください。
- WWWブラウザー
  設定の詳細については、「WWWブラウザー」の「SNMP設定画面」（73ページ）を参照してください。
- Telnet
  設定の詳細については、「Telnet」の「SNMP」（80ページ）を参照してください。

Trapの送信

プリンターのエラーまたは状態変化が発生すると登録されたすべてのホストコンピューターにTrapが送信されます。Trapはプリンターのエラーが取り除かれるまで10分おきに送信されます。Trap-PDUで通知される情報は次のとおりです。

- プリンター Cold Start発生情報
- プリンター Warm Start発生情報
- プリンターエラー発生情報

  Variable-bindings
  - hrPrinter Detected Error State
  - prtAlert Index
  - prtAlert Severity Level
  - prtAlert Group
  - prtAlert Group Index
  - prtAlert Location
  - prtAlert Code

アクセス制限

アクセス制限とは、例えばサーバ(課金サーバなど)を特定した印刷実行ニーズに対応するために、ある特定のコンピュータまたはネットワークからの印刷を許可または拒否する機能です。あらかじめ設定されたアクセス許可／拒否設定、IPアドレス、ネットマスクにより指定される送受信パケットはフィルタリングが実行され、印刷が行えるコンピューターを制限できます。

✔チェック

アクセス制限機能が有効な場合は、アクセスを拒否されているコンピューターからWWWブラウザーやTelnetなど、すべての通信を行うことができません。通信を行う場合は、設定を無効にしてください。

概要

アクセス制限による送受信パケットのフィルタリングはプリンター内で以下のように実行されます。

準備動作として、設定されているアクセス制限設定値のIPアドレスとネットマスクの論理積(AND)を行い、比較アドレスを作成する。

設定IPアドレス	192.168.100.0
設定ネットマスク	255.255.255.192
論理積結果	192.168.100.0（比較アドレス）

↓

ネットワーク通信が行われると、送受信パケットからIPアドレスを抽出する

↓

抽出したIPアドレスとネットマスクの論理積(AND)を行い対象アドレスを作成する。

抽出IPアドレス	192.168.100.7
設定ネットマスク	255.255.255.192
論理積結果	192.168.100.0（対象アドレス）

↓

比較アドレスと対象アドレスを比較し、上記の例では比較アドレスと対象アドレスが一致したため、アクセス制限の処理の対象となる。不一致の場合は対象外となり次優先順位のアクセス制限設定による比較の対象となる。

アクセス制限の設定

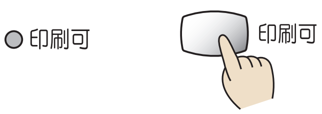
アクセス制限設定には、以下の3つの方法があります。

- WWWブラウザー
  汎用のWWWブラウザーを使用して設定します。
  WWWブラウザーからLANボードのページを起動し、[LANの管理者設定画面]−[TCP/IP]から「TCP/IP設定画面」を開き、アクセス制限に関する各項目を設定してください。詳しくは、「ネットワークへの 接続・設定」の「WWWブラウザー」をご覧ください。
- Telnet
  Telnetでプリンターに接続(ログイン)して設定します。
  メインメニューで「4」を入力し、「Enter」キーを押して「Access Limitation Setting」を表示して、アクセス制限に関する各項目を設定してください。詳しくは、「ネットワークへの 接続・設定」の「Telnet」をご覧ください。

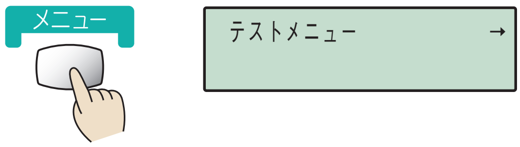
- プリンターの操作パネル
  プリンターの操作パネルからアクセス制限のON/OFFを切り替えることができます。
  アクセス制限を「ON」→「OFF」とすることでアクセス制限は無効となります。再度、「OFF」→「ON」とした時に、前回「ON」時に設定された条件でアクセス制限が有効となります。
  プリンターの操作パネルからの設定は、一時的なアクセス制限の解除やユーザーの設定ミスによって生じたネットワーク不通状態からの復旧のために使用し、詳細な設定は「WWWブラウザー」、「Telnet」から行ってください。

アクセス制限の解除

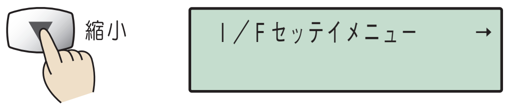
❶ **［印刷可］スイッチを押す。**
［印刷可］ランプが消灯します。



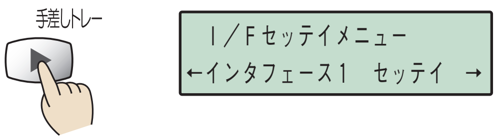
❷ **［メニュー］スイッチを押す。**
プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー”を表示します。



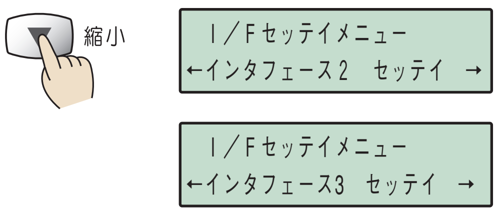
❸ **ディスプレイに“I/Fセッテイメニュー”と表示されるまで［▼］スイッチを数回押す。**



❹ **［▶］スイッチを1回押す。**
ディスプレイに“インタフェース1　セッテイ”と表示されます。LANアダプターに設定する場合は、手順❻へ進んでください。

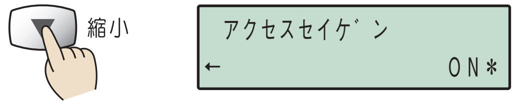


❺ **標準装備のLANインターフェースに設定する場合は“インタフェース2　セッテイ”、無線LANボードに設定する場合は“インタフェース3　セッテイ”と表示されるまで［▼］スイッチを押す。**

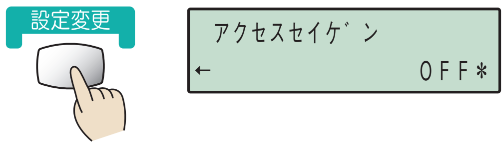


❻ **［▶］スイッチを1回押す。**

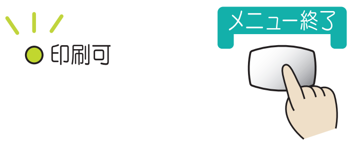
❼ **ディスプレイに“アクセスセイゲン”と表示されるまで［▼］スイッチを数回押す。**



❽ **［設定変更］スイッチを押す。**
“OFF”に設定されます。



❾ **［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了させる。**
これでアクセス制限の解除終了です。プリンターはセレクト状態になります。印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。



アクセス制限使用例

使用例①　特定クライアントをアクセス制限の対象とする場合

192.168.1.10 からの印刷のみ許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.1.10	255.255.255.255	192.168.1.10 許可
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

192.168.1.50 からの印刷のみ拒否したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.1.50	255.255.255.255	192.168.1.50 拒否
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例②　特定ネットをアクセス制限の対象とする場合

192.168.1 ネットからの印刷のみ許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.1.0	255.255.255.0	192.168.1　ネット許可
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

192.168.2 ネットからの印刷のみ拒否したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.2.0	255.255.255.0	192.168.2　ネット拒否
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例③　応用例

192.168 ネットのみ許可したい
ただし192.168.2 ネットは拒否したい
しかし192.168.2.10 は許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.2.10	255.255.255.255	192.168.2.10　ネット許可
アクセス制限2	有効	アクセス拒否	192.168.2.0	255.255.255.0	192.168.2　ネット拒否
アクセス制限3	有効	アクセス許可	192.168.0.0	255.255.0.0	192.168　ネット許可
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例④　応用例

192.168.1.64 ～192.168.1.127 まで許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.1.0	255.255.255.192	192.168.1.0～63　拒否
アクセス制限2	有効	アクセス許可	192.168.1.0	255.255.255.128	192.168.1.0～127　許可
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

ネットワーク設定の初期化

Color MultiWriter 9700Cに標準装備のLANインターフェースおよびオプションの無線LANボード（型番：PR-WLX-13）のIPアドレスなどのネットワーク設定情報を初期化する方法について説明します。

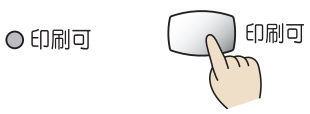
チェック

Color MultiWriter 9700Cに標準実装されているLANインターフェースおよびオプションの無線LANボード（型番 PR-WLX-13）の初期化は、プリンターの操作パネルから行います。以下に示すLANアダプターの初期化の手順については、それぞれのマニュアルを参照してください。

- LANアダプタ（型番 PR-NP-03TR2）
- マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）

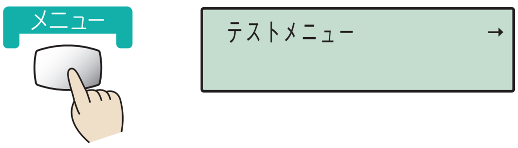
❶ ［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

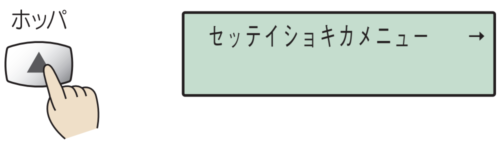


❷ ［メニュー］スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”を表示します。



❸ ディスプレイに“セッテイショキカメニュー　→”と表示されるまで［▲］スイッチを数回押す。

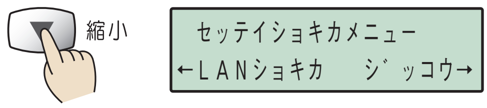


❹ ［▶］スイッチを1回押す。



❺ ［▼］スイッチを1回押す。

ディスプレイには“←セッテイショキカメニュー　LANショキカ　ジッコウ→”と表示されます。



❻ ［▶］スイッチを1回押す。

ネットワークの設定が初期値に戻ります。



コンフィグレーションページの印刷

コンフィグレーションページとは、標準装備のLANインターフェース、オプションの無線LANボードのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレスなどのネットワークの設定情報が一覧できるLANステータス印刷のことです。ネットワークケーブルを接続したとき、またはネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページを印刷して設定内容の確認を行ってください。

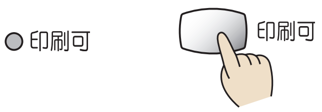
❶ プリンターの電源スイッチをONにする。

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態（印刷可ランプ点灯）になったことを確認します。

> **チェック**
>
> コンフィグレーションページを印刷する前に用紙がプリンターにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合はユーザーズマニュアルを参照してセットしてください。

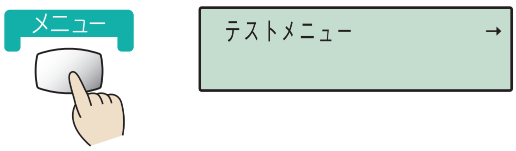
❷ プリンターの操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



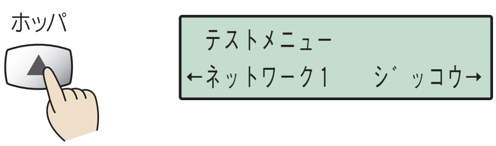
❸ [メニュー]スイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。



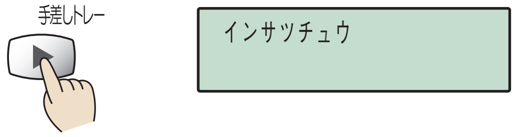
❹ [▶]スイッチを1回、[▲]スイッチを2回押す。

ディスプレイ下段には“←ネットワーク1　ジッコウ→”と表示されます。



❺ [▶]スイッチを押す。

データランプが点灯し、設定情報の印刷を開始します。



❻ コンフィグレーションページを参照して設定内容を確認する。

次のコンフィグレーションページの印刷例を参考にしてください。

> **チェック**
>
> ネットワークへのセットアップ後やプリンターの設定を変更した後は必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

標準装備のLANインターフェースを使用した場合のコンフィグレーションページの印刷例

```
          NEC Network Interface Configuration Page

            <Network Information>

              F/W Version            :    02. 00 00001.0000000000
*1            ID Number              :    NFE-290000
              Printer Name           :    NFE-290000
*1            MAC Address            :    00:00:4C:29:00:00
              H/W Description        :    NEC NetworkPrinter500000
              10Base/100Base         :    "Auto (10Base)"
              Half/Full Duplex       :    "Auto (Full Duplex)"
              Printing Log           :    "Off"

            <Self-Diagnosis>

              Link Test              :    "OK"
              Network Status         :    "OK"

            <TCP/IP>

*2            IP Address             :    11. 22. 33. 44
*2            Subnet Mask            :    255.  0.  0.  0
              Gateway Address        :    0.  0.  0.  0
              Auto IP Address        :    "On"
              Max. Number of Session :    64
              Session Timeout [sec]  :    120
              Keep Alive             :    "On"
              FTP Timeout [min]      :    10
              DHCP                   :    "Off"
              e-Mail Service         :    "Off"
              Current Active Session :    0
   ┌          1st Access Limitation  :     0. 0. 0. 0
   │          "Accept"               :     0. 0. 0. 0
   │          2nd Access Limitation  :     0. 0. 0. 0
   │          "Accept"               :     0. 0. 0. 0
*3 │          3rd Access Limitation  :     0. 0. 0. 0
   │          "Accept"               :     0. 0. 0. 0
   │          4th Access Limitation  :     0. 0. 0. 0
   │          "Accept"               :     0. 0. 0. 0
   │          5th Access Limitation  :     0. 0. 0. 0
   └          "Accept"               :     0. 0. 0. 0
```

＊1　ID NumberおよびMAC AddressはLANボード個々の情報を示します。
＊2　IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷時の値です。
＊3　アクセス制限を設定した場合のみ表示されます。

> ネットワークへ接続した後やプリンターの設定を変更した後は、必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

項　目	説　明
F/W Version	LANインターフェースのファームウエアバージョンです。
ID Number	LANインターフェース固有のIDです。
Printer Name	ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
MAC Address	LANインターフェース固有のネットワークアドレスです。
H/W Description	LANインターフェースの種別です。
10Base/100Base	「Auto」では10BASE-T、または100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。
Half/Full Duplex	「Auto」では通信方式を自動判別し、全二重（Full Duplex）、半二重（Half Duplex）のどちらかに決定します。
Printing Log	印刷ログの設定状況です。
Link Test	Link状態を表します。
NetWork Status	ハードウエアテストの結果を表します。
IP Address	IPアドレスを表します。
Subnet Mask	サブネットマスクを表します。
Gateway Address	ゲートウェイアドレスを表します。
Auto IP Address	UNIXコマンド（Arp、Ping）を用いた設定の許可を表します。
Max. Number of Session	TCP/IPの最大接続数を表します。この設定は、すべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象になります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。
Session Timeout [sec]	TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答が無い場合の通信タイムアウトの設定を表します。
Keep Alive	通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにKeepAliveパケットを送信するか、しないかの設定を表します。
FTP Timeout [min]	FTP接続時のタイムアウト時間を表します。
DHCP	DHCPを用いてアドレスを取得するかどうかの設定を表します。
e-Mail Service	トナー残少時のメール通知設定を表します。
Current Active Session	現在のTCP接続数を表します。
1st～5th Access Limitation	アクセス制限機能が有効の場合、アクセス制限1～5のそれぞれの設定値を表します。 有効（Valid）と設定した各アクセス制限の、IPアドレス（上段）、ネットマスク（下段）、アクセス許可（Accept）／拒否（Reject）が表示されます。

Color MultiWriter 9700Cに無線LANボード（型番：PR-WLX-13）を使用した場合のコンフィグレーションページの印刷例

```
        Network Interface Configuration Page [Wireless]

         <Network Information>
           F/W Version              :    02.03 00000.0000000000
*1         ID Number                :    NWL-000000
           Printer Name             :    NWL-000000
*1         MAC Address              :    00:02:2D:00:00:00
           H/W Description          :    NEC NetworkPrinter500083
           Network Type             :    "Peer to peer"
           Network Name             :    NECPRWRGRP
           Link Quality             :    No Connection
           Access Point Name        :    ?
           Channel                  :    01
           Encryption               :    "Off"
           Medium Reservation       :    "Off"
           Interference Robustness  :    "Off"
           Distance Between APs     :    "Large"
           Printing Log             :    "Off"

         <Self-Diagnosis>
           Link Test                :    "No connection"
           Network Status           :    "OK"

         <TCP/IP>
*2         IP Address               :     11. 22. 33. 44
*2         Subnet Mask              :    255.  0.  0.  0
           Gateway Address          :      0.  0.  0.  0
           Auto IP Address          :    "On"
           Max. Number of Session   :    64
           Session Timeout [sec]    :    120
           Keep Alive               :    "On"
           FTP Timeout [min]        :    10
           DHCP                     :    "Off"
           e-Mail Service           :    "Off"
           Current Active Session   :    0
  ┌        1st Access Limitation    :     0. 0. 0. 0
  │        "Accept"                 :     0. 0. 0. 0
  │        2nd Access Limitation    :     0. 0. 0. 0
  │        "Accept"                 :     0. 0. 0. 0
*3│        3rd Access Limitation    :     0. 0. 0. 0
  │        "Accept"                 :     0. 0. 0. 0
  │        4th Access Limitation    :     0. 0. 0. 0
  │        "Accept"                 :     0. 0. 0. 0
  │        5th Access Limitation    :     0. 0. 0. 0
  └        "Accept"                 :     0. 0. 0. 0
```

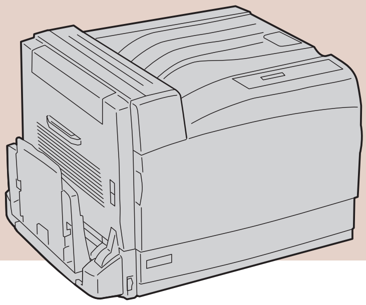
＊1 ID NumberおよびMAC AddressはLANボード個々の情報を示します。
＊2 IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷時の値です。
＊3 アクセス制限を設定した場合のみ表示されます。

> ネットワークへ接続した後やプリンターの設定を変更した後は、必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

項　目	説　明
F/W Version	無線LANボードのファームウエアバージョンです。
ID Number	無線LANボードの固有IDです。
Printer Name	無線LANボードのネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
MAC Address	無線LANボード固有のネットワークアドレスです。
H/W Description	無線LANボードの種別です。
Network Type	無線LANプリンターの接続している無線LAN環境の接続形態です。
Network Name	認証機能に使用されるESS-IDとして設定されているネットワーク名です。半角英数文字が使用可能です。
Link Quality	無線通信対象との通信品質です。「Good」と表示される場所への無線プリンターの設置をお勧めします。
Access Point Name	無線通信対象のアクセスポイント名です。一部のアクセスポイントは対応しておらず、その場合はブランクとなります。
Channel	無線通信対象と使用している無線チャンネルバンドです。
Encryption	データ保護（暗号化）の設定状況です。
Medium Reservation	RTS/CTS 媒体予約の設定状況です。
Interference Robustness	干渉に対する強化の設定状況です。
Distance Between APs	アクセスポイント間の距離の設定状況です。
Printing Log	印刷ログの設定状況です。
Link Test	Link状態を表します。
Network Status	ハードウエアテストの結果を表します。
IP Address	IPアドレスを表します。
Subnet Mask	サブネットマスクを表します。
Gateway Address	ゲートウェイアドレスを表します。
Auto IP Address	UNIXコマンド（Arp、Ping）を用いた設定の許可を表します。
Max. Number of Session	TCP/IPの最大接続数を表します。この設定は、すべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象になります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。
Session Timeout [sec]	TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答が無い場合の通信タイムアウトの設定を表します。
Keep Alive	通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにKeepAliveパケットを送信するか、しないかの設定を表します。
FTP Timeout [min]	FTP接続時のタイムアウト時間を表します。
DHCP	DHCPを用いてIPアドレスを取得するかどうかの設定を表します。
e-Mail Service	トナー残量少時のメール通信設定を表します。
Current Active Session	現在のTCP接続数を表します。
1st～5th Access Limitation	アクセス制限機能が有効の場合、アクセス制限1～5のそれぞれの設定値を表します。 有効（Valid）と設定した各アクセス制限の、IPアドレス（上段）、ネットマスク（下段）、アクセス許可（Accept）／拒否（Reject）が表示されます。

メ　モ

2章
メニューモード



メニューモードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

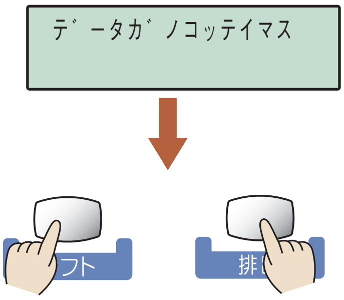
操作パネルでの設定方法

ここでは操作パネルを使って、メニューモードとメモリースイッチの設定変更の仕方をそれぞれ説明しています。

メニューモードの設定変更のしかた

❶ データが残っていないことを確認する。

データが残っている場合は［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。



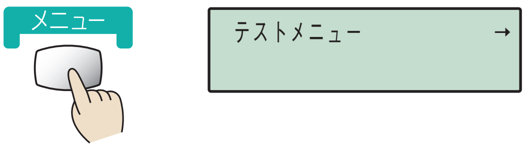
❷ ［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯します。



❸ ［メニュー］スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示されます。



❹ メニューモードの設定を変更する。

メニューモードの内容は次ページの「メニューモード設定項目一覧」および163〜174ページの「メニューツリー」を参照してください。

メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

［◀］、［▼］、［▶］、［▲］スイッチ：

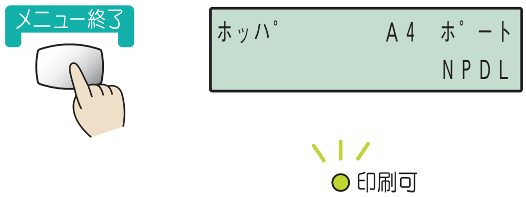
このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。

［設定変更］スイッチ：

押すたびにレベル3をひとつずつ表示し、その内容が自動的に選択されます。

❺ ［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンターはセレクト状態になり、ディスプレイは通常の表示に戻り、印刷可ランプが点灯します。

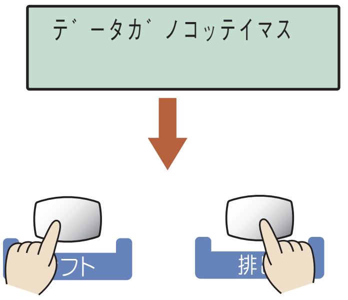


メモリースイッチの設定変更のしかた

ここでは、セントロニクスインターフェース信号のストローブ割り込みでラッチタイミング設定を変更する場合のメモリースイッチの設定変更を例にして説明します。対象となるメモリースイッチは「7-2」です。

❶ データが残っていないことを確認する。

データが残っている場合は［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。



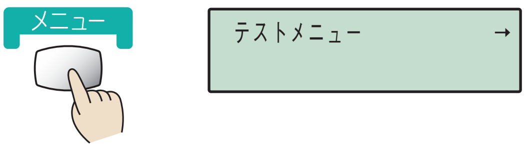
❷ ［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯します。



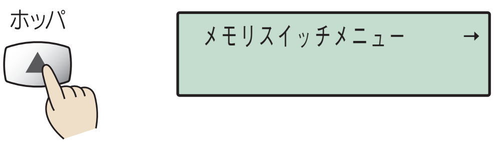
❸ ［メニュー］スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示します。



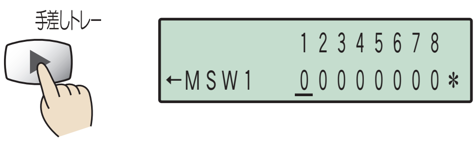
❹ ［▲］スイッチを1回押す。

ディスプレイに“メモリスイッチメニュー　　→”と表示されます。

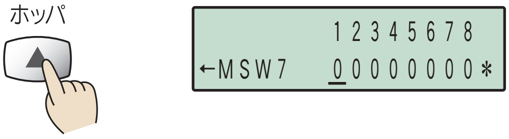


❺ ［▶］スイッチを1回押す。

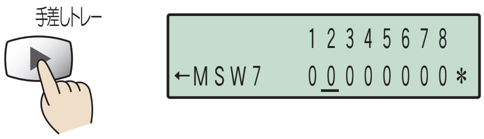
MSW1が表示されます。



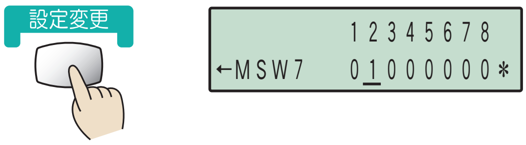
❻ ［▲］スイッチを押して、MSW7を表示させる。



❼ ［▶］スイッチを押して、カーソルをMSW7-2に移動する。

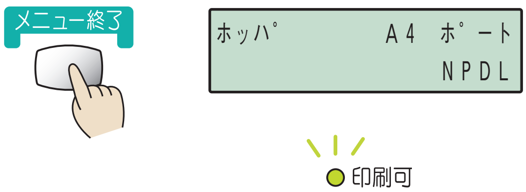


❽ ［設定変更］スイッチを押して、MSW7-2 を“1”に変更する。



❾ ［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯します。



メニューモード設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。
また、これらの設定の一部はメモリースイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。

メニューモード設定項目一覧

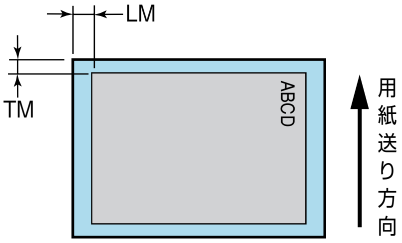
○：有効　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ(MSW)	Windows	NPDL
テスト メニュー	ステータス印刷	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、各プリンターの状態が印刷されます。	×	○	○
	サンプル印刷	サンプルページ印刷を行います。	×	○	○
	連続印刷	連続印刷を行います。	×	○	○
	16進ダンプ印刷	16進ダンプ印刷を行います。	×	○	○
	ネットワーク1	標準装備のLANインターフェースまたは無線LANボード（オプション）のコンフィグレーションページを印刷します。	×	○	○
	ネットワーク2	標準装備のLANインターフェースまたは無線LANボード（オプション）のログ印刷を行います。	×	○	○
印刷設定 メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。	×	×	○
	黒トナー節約機能	黒トナー節約機能を使用するかどうか選択します。	×	×	○
	SET機能	SET機能を使用するかどうかを選択します。	○	×	○
用紙メニュー	ホッパ初期設定	電源投入時およびリセット時のホッパー、トレー設定を選択します。	×	○	○
	用紙種別エラー表示	用紙種別エラーを通知するかどうかを選択します。	×	○	○
	ホッパ1用紙種別	ホッパー 1で使用する用紙の種別を選択します。	×	○	○
	ホッパ2用紙種別*1	ホッパー 2で使用する用紙の種別を選択します。	×	○	○
	ホッパ3用紙種別*1	ホッパー 3で使用する用紙の種別を選択します。	×	○	○
	ホッパ4用紙種別*1	ホッパー 4で使用する用紙の種別を選択します。	×	○	○
	トレー用紙種別	トレーで使用する用紙の種別を選択します。	×	○	○
	トレー定形外用紙	トレーで定形外用紙を使用するかどうかを選択します。	×	×	○
	用紙サイズ設定	ホッパーで用紙サイズ検出を自動で行うか、手動で設定するかどうかを選択します。	×	○	○
	リレー給紙設定	リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	排紙方法*2	用紙の排出先をスタッカー（フェイスダウン）にするかフェイスアップトレイにするかを設定します。	×	×	○

*1　増設ホッパー（オプション）が装備されているときのみ表示されます。
*2　フェイスアップ排出ユニット（オプション）が装着されているときのみ表示されます。

メニューモード設定項目一覧（続き）

○：有効　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ (MSW)	Windows	NPDL
印字位置設定メニュー	ホッパ1微調整	ホッパー、トレー、両面印刷時の表面・裏面の印刷位置を調整します。	×	○	○
	ホッパ2微調整＊1		×	○	○
	ホッパ3微調整＊1		×	○	○
	ホッパ4微調整＊1		×	○	○
	トレー微調整		×	○	○
	表面微調整＊2		×	○	○
	裏面微調整＊2		×	○	○
両面印刷＊2 メニュー	初期設定	電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。	×	×	○
	綴じしろ	綴じしろを付加する位置を設定します。	×	×	○
	余白	綴じしろを付加する量を設定します。	×	×	○
	クリップ	印刷範囲からはみ出したデータをクリッピングするか、自動改行/改ページするかを設定します。	×	×	○
	奇数ページ	奇数ページ原稿の最終ページに対する印刷方法を設定します。	×	×	○
運用メニュー	節電機能	節電機能へ移行するまでの時間を設定します。	×	○	○
	自動排出＊3	自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。	×	○	○
	総印字枚数	プリンターの総印字枚数を表示します。	×	○	○
	ドラム寿命動作	ドラムカートリッジ寿命時にプリンターを強制停止とするか、動作可能（非保証）とするかを選択します。	×	○	○
	トナー設定機能	カウンターによりトナーが寿命に達したら印刷を停止するか、しないかを設定する機能です。通常は使用しません。設定を変更しないでください。	×	○	○
調整メニュー	スキュー検出0	使用しません。	×	×	×
	スキュー検出1		×	×	×
	スキュー検出2		×	×	×
	スキュー検出3		×	×	×
	色ズレチャート	カラーレジ調整用チャートを印刷します。	×	○	○
	Y色ズレ補正	Y色の色ズレを補正値を入力します。	×	○	○
	M色ズレ補正	M色の色ズレを補正値を入力します。	×	○	○
	C色ズレ補正	C色の色ズレを補正値を入力します。	×	○	○
	色ズレ補正実行	カラーレジ調整を実行します。	×	○	○
	クリーニング	印刷機構のクリーニングを行います。	×	○	○
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	1バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	×	○
	2バイト系ゼロ	2バイト系ゼロの字体を切り替えます。	×	×	○
	ANK	1バイト系コードのフォントのANK文字を選択します。	×	×	○
	漢字	標準フォント（2バイト文字）を選択します。	×	×	○
	文字セット	2バイト系文字セットを選択します。	×	×	○
	国別	各国文字セットを選択します。	○	×	○

＊1　増設ホッパー（オプション）が装備されているときのみ表示されます。
＊2　両面印刷ユニット（オプション）が装着されているときのみ表示されます。
＊3　コンピューターに負荷がかかっている場合やネットワークのデータ量が多い場合、自動排出までの待ち時間（最大30秒）以上にデータ送信が停止することがあります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られませんので、自動排出の設定を無効にする必要があります。

メニューモード設定項目一覧（続き）

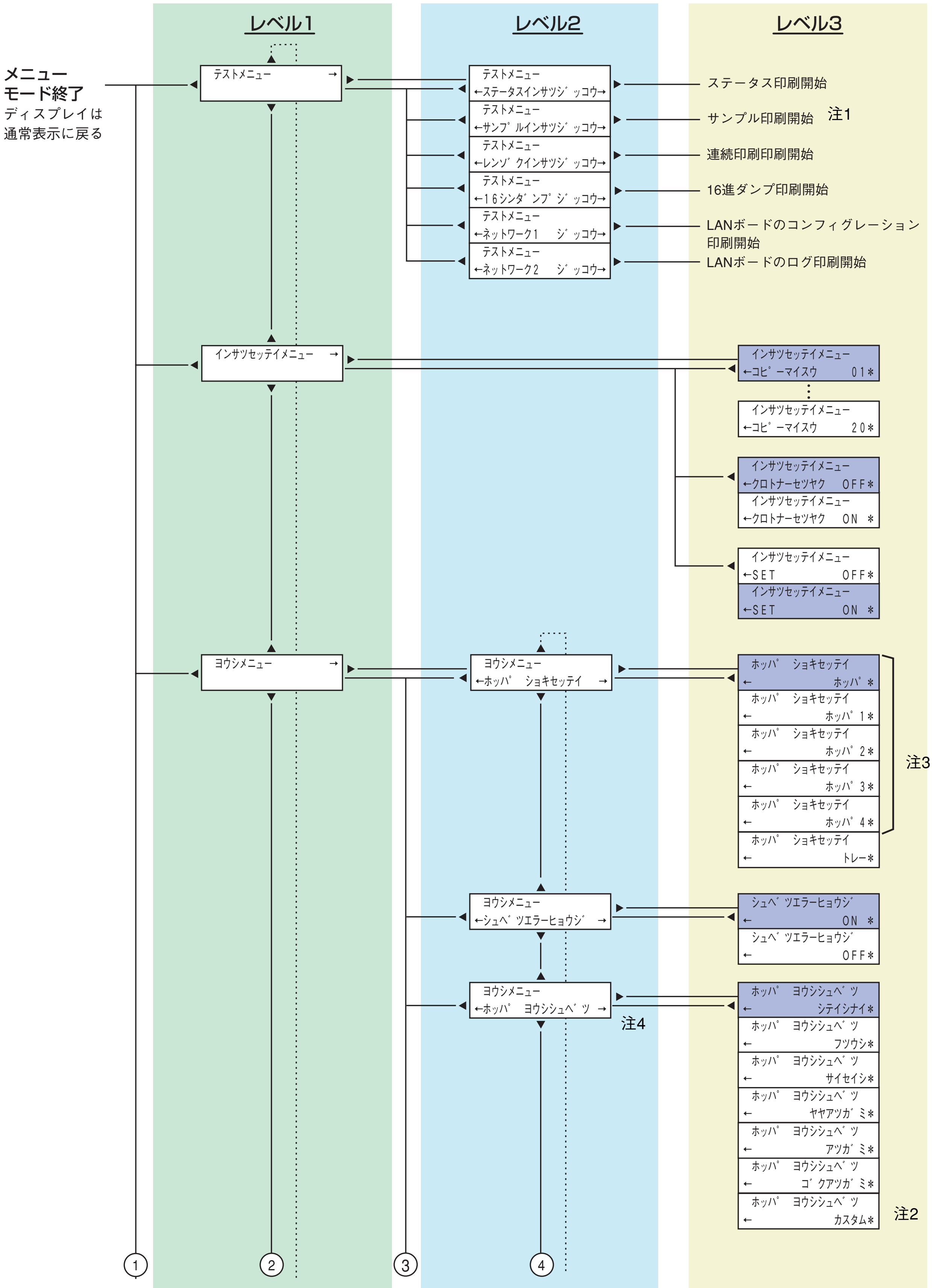
○：有効　×：無効

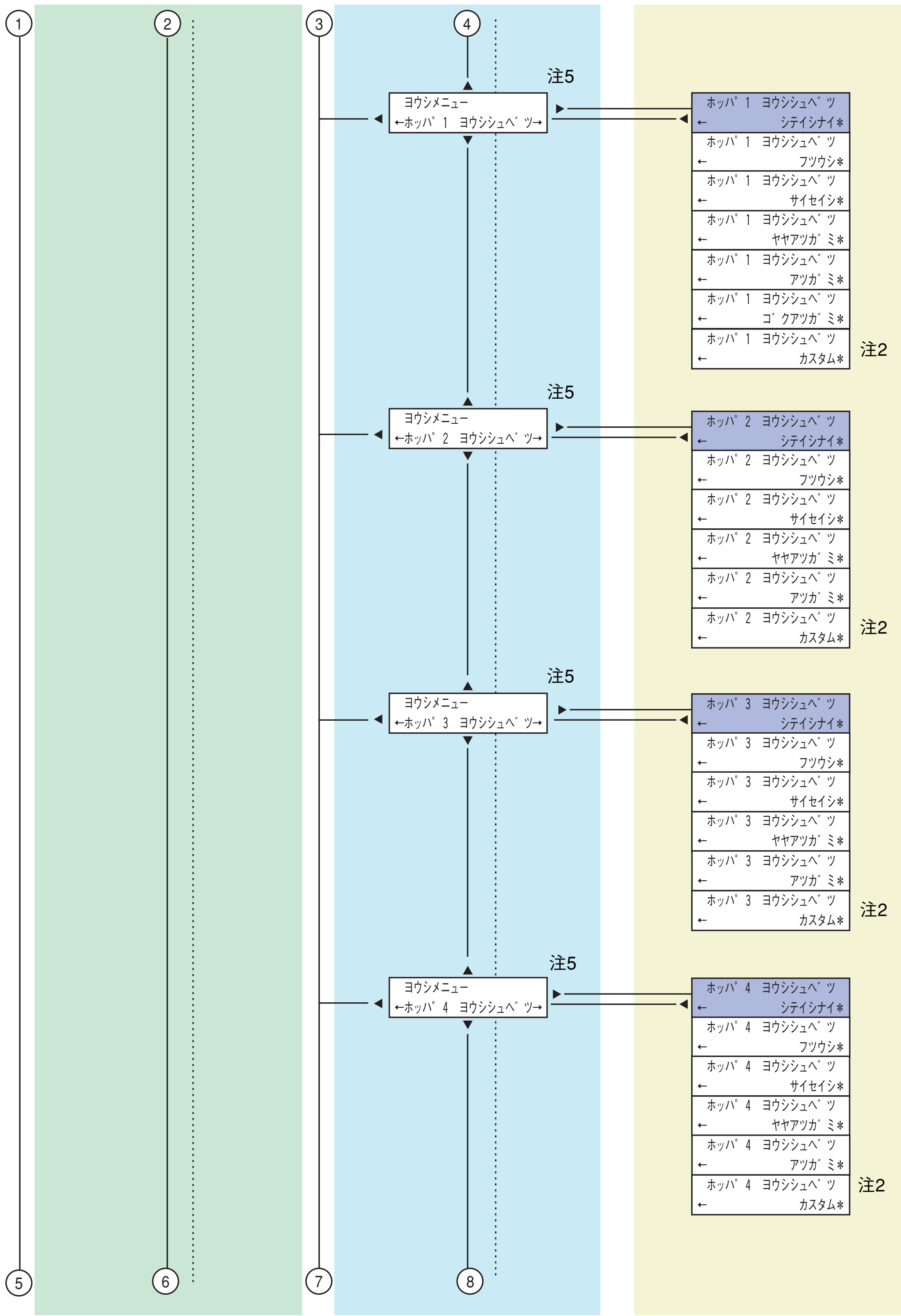
設定項目		説　明	メモリースイッチ (MSW)	Windows	NPDL
NPDL設定メニュー	A4ポートレート桁数	用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数を設定します。	○	×	○
	エミュレーション	ページプリンタモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。	○	×	○
	136桁モード設定	136桁モードの有効・無効を選択します。有効のときは、用紙位置微調整の方向と量を選択します。	○	×	○
インターフェース設定メニュー	インターフェース1＊[1]	動作双方向の設定（ニブルモード、ECPモード、ナシ）とLANアダプターのIPアドレス、サブネットマスクを設定します。	×	○	○
	インターフェース2＊[2]	標準装備のLANインターフェースのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DHCP、アクセス制限を設定します。	×	○	○
	インターフェース3＊[3]	無線LANボードのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DHCP、ネットワークタイプ、ネットワーク名、アクセス制限を設定します。	×	○	○
設定初期化メニュー	初期化実行	メニュー項目を初期設定に戻します。	×	○	○
	LAN初期化実行	LAN設定を初期化します。	×	○	○
	初期化オール実行	メニュー項目とLAN設定を初期化します。	×	○	○
	呼び出し	設定記憶で記憶されている内容を呼び出します。	×	○	○
	記憶実行	メニューモード内の各種機能設定とトレースイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。またIPアドレス、サブネットマスクなどの情報は、記憶実行では記憶されません。	×	○	○
メモリースイッチメニュー	メニューモードの中で比較的変更頻度の低いものがまとめられています。		－	＊5	＊5
認証メニュー＊[4]	パスワード設定	認証印刷で設定したパスワードを選択します。	×	○	×
	ジョブ印刷	認証印刷を行う印刷ジョブを選択します。	×	○	×
	ジョブ削除	認証印刷に登録済みのジョブで削除するジョブを選択します。	×	○	×

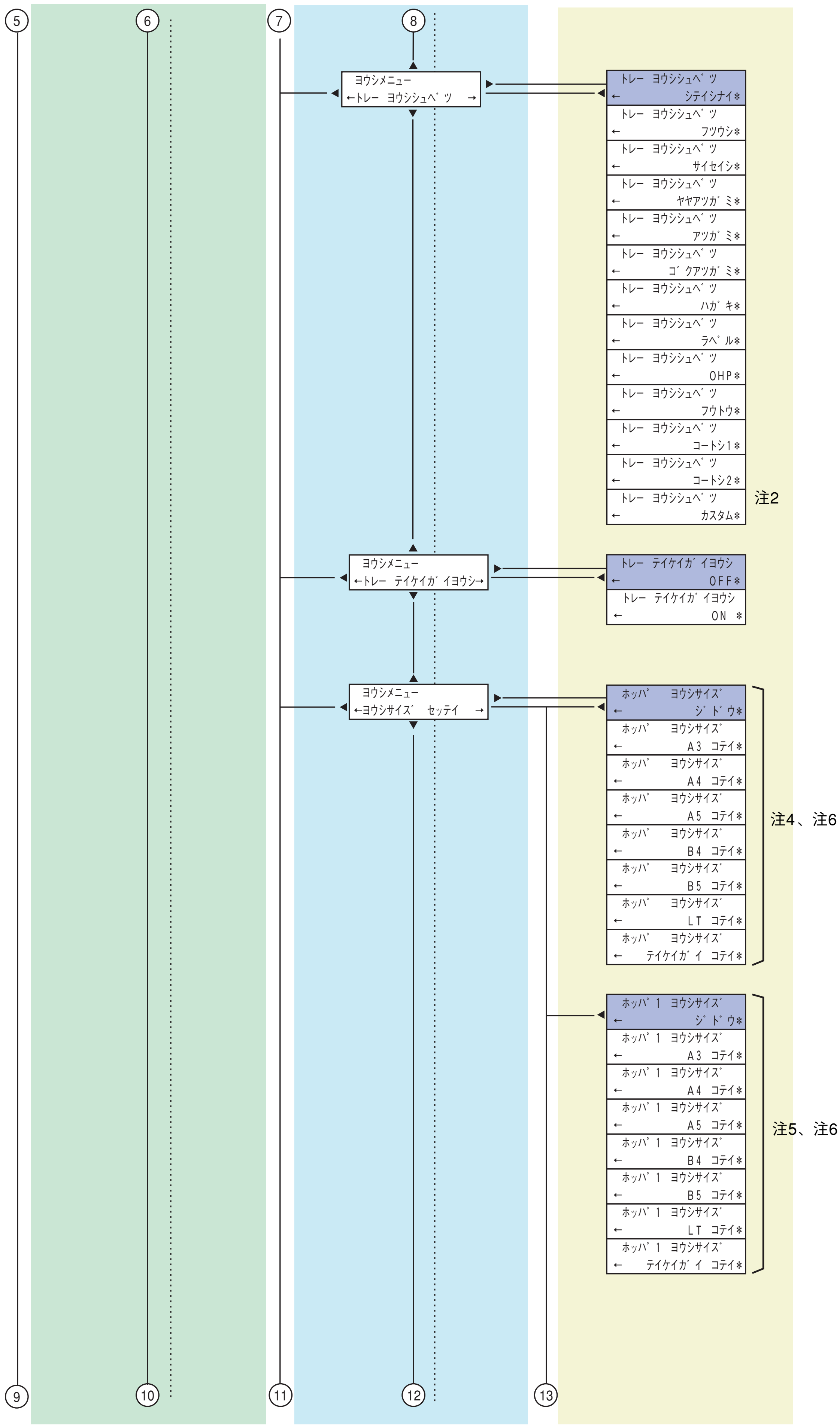
＊[1]　インターフェース設定を変更した場合は、プリンターの電源を再投入する必要があります。
＊[2]　インターフェース3に無線LANボードが装着されている場合には表示されません。
＊[3]　インターフェース3に無線LANボードが装着されているときのみ表示されます。このとき、インターフェース2は使用できません。
＊[4]　ハードディスク（オプション）が装着されている場合に表示されます。
＊[5]　詳細は190ページをご覧ください。

メニューツリー

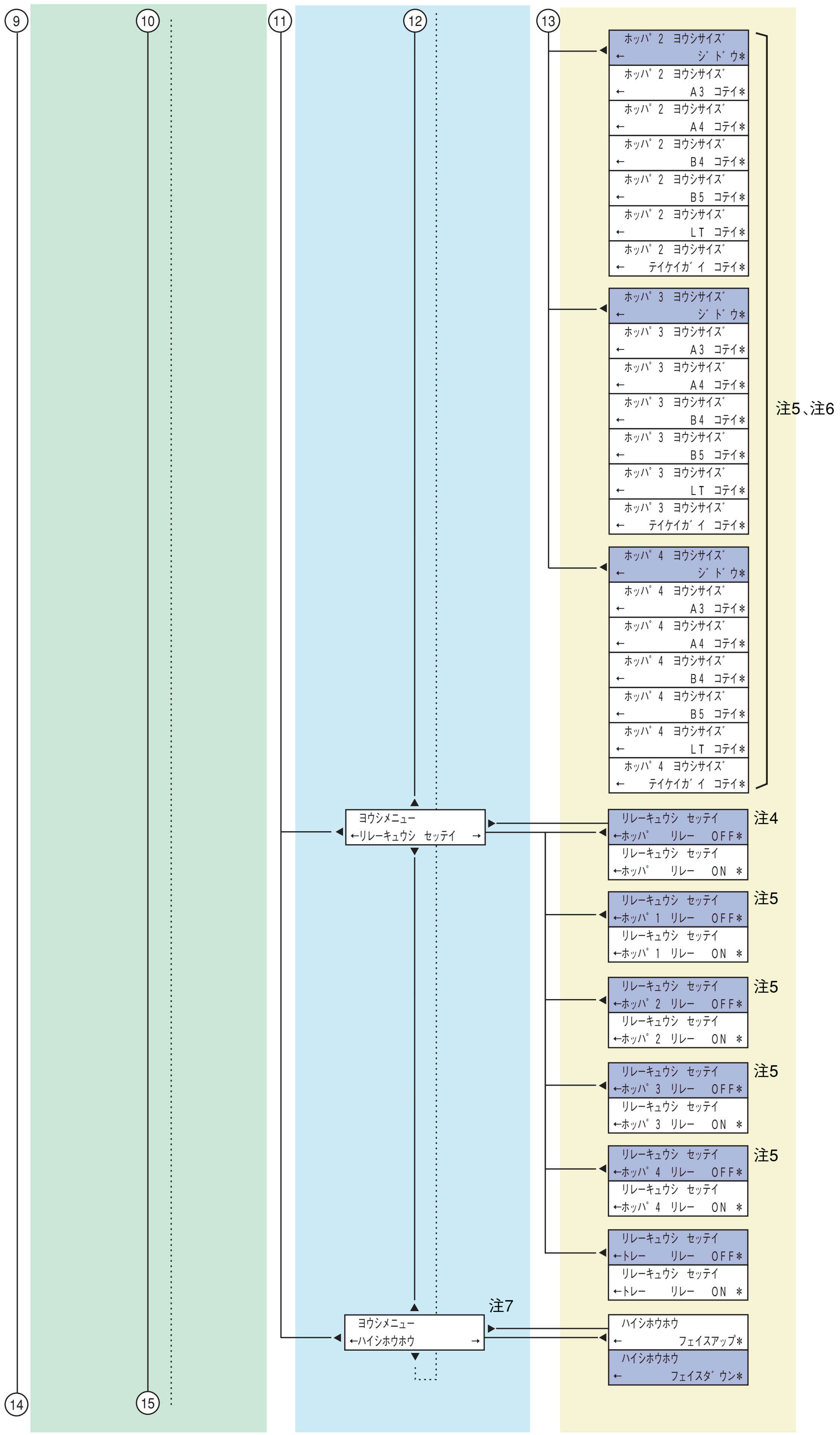
次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。（グレー部分は出荷時の設定値です。）
「注」で示す補足的な説明は325ページにあります。

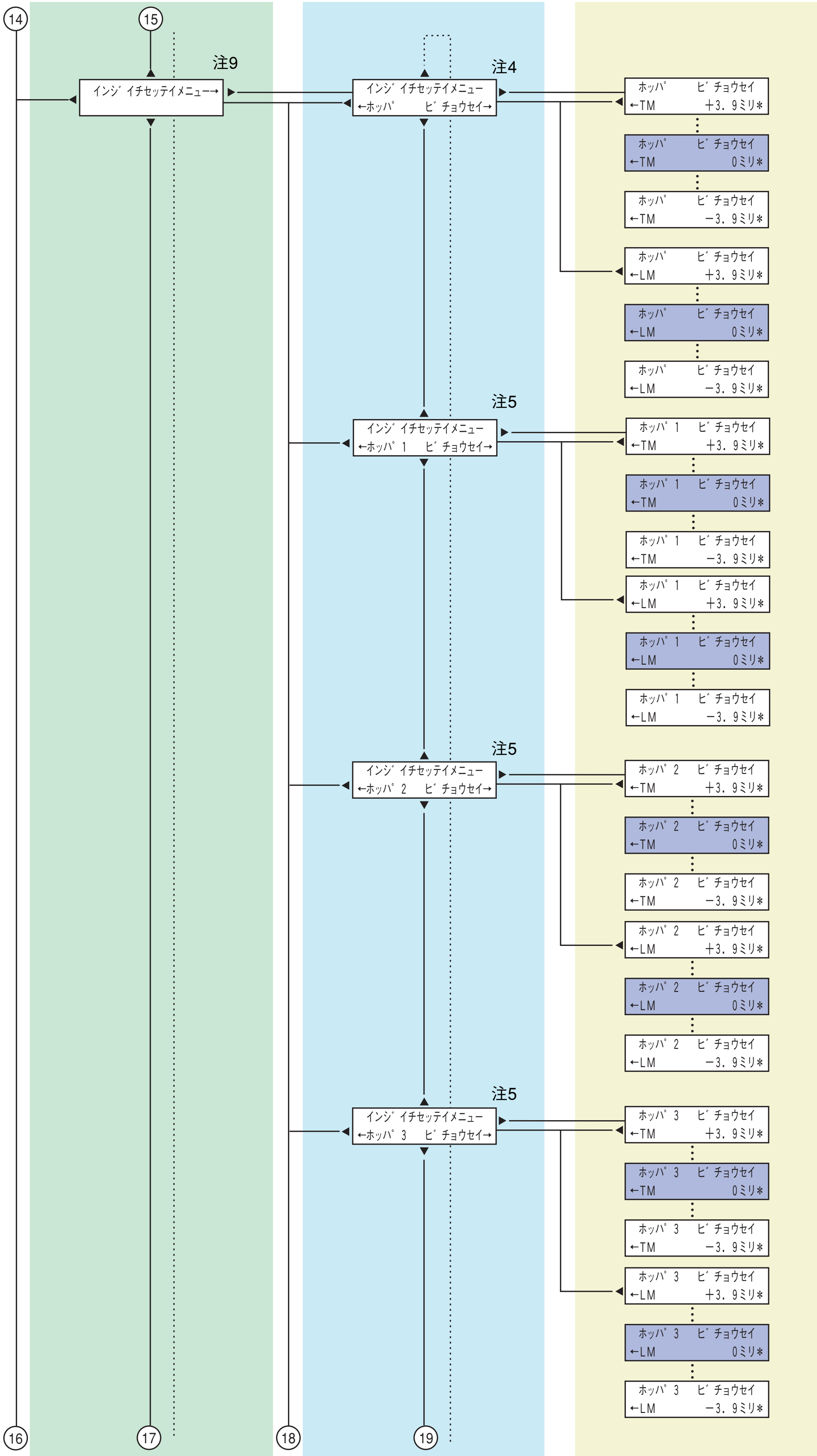


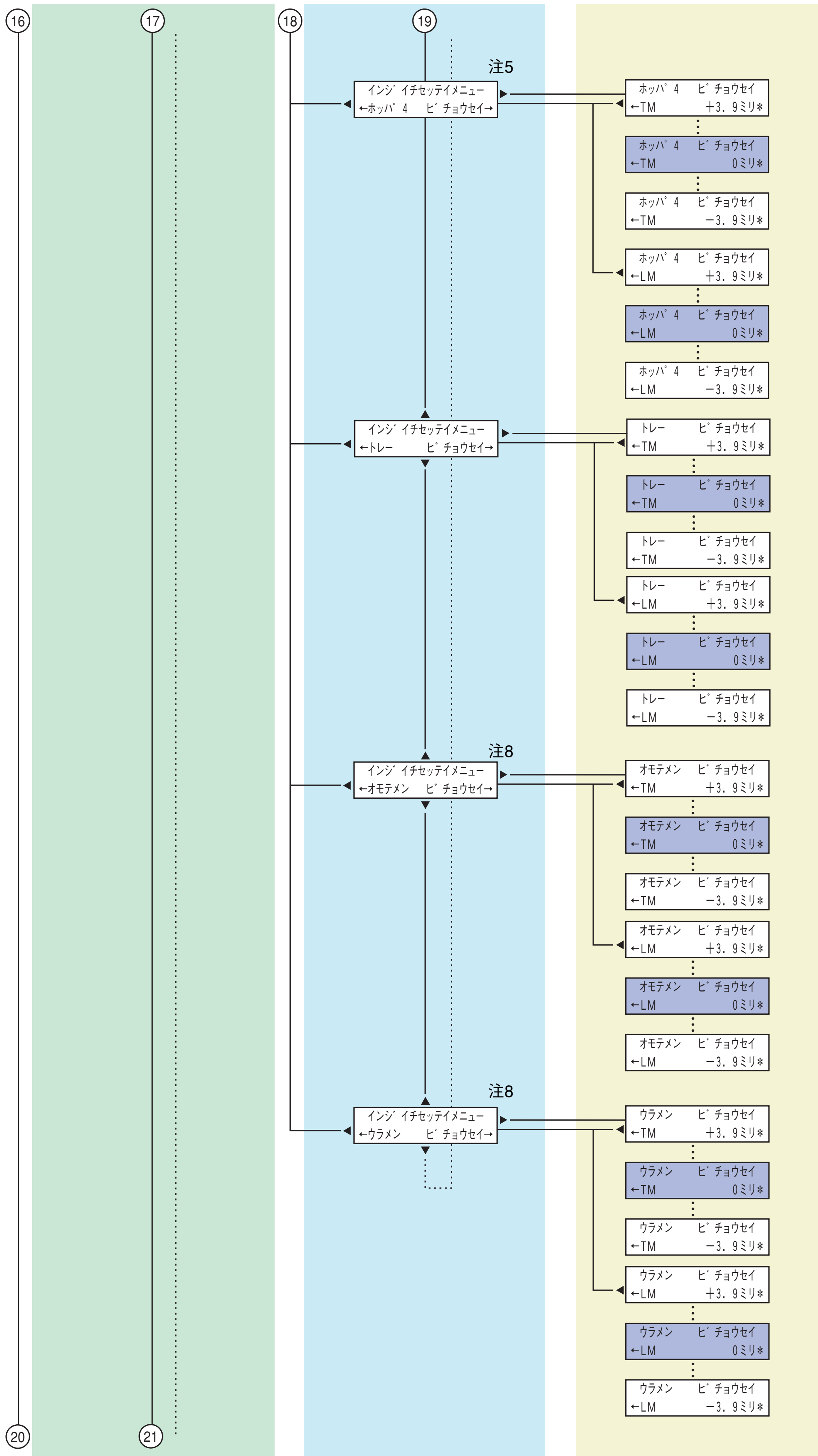

ヨウシメニュー
←ホッパ゜1　ヨウシシュベ゛ツ→
ホッパ゜1　ヨウシシュベ゛ツ ← シテイシナイ*
ホッパ゜1　ヨウシシュベ゛ツ ← フツウシ*
ホッパ゜1　ヨウシシュベ゛ツ ← サイセイシ*
ホッパ゜1　ヨウシシュベ゛ツ ← ヤヤアツガ゛ミ*
ホッパ゜1　ヨウシシュベ゛ツ ← アツガ゛ミ*
ホッパ゜1　ヨウシシュベ゛ツ ← ゴ゛クアツガ゛ミ*
ホッパ゜1　ヨウシシュベ゛ツ ← カスタム*
注5
注2
ヨウシメニュー
←ホッパ゜2　ヨウシシュベ゛ツ→
ホッパ゜2　ヨウシシュベ゛ツ ← シテイシナイ*
ホッパ゜2　ヨウシシュベ゛ツ ← フツウシ*
ホッパ゜2　ヨウシシュベ゛ツ ← サイセイシ*
ホッパ゜2　ヨウシシュベ゛ツ ← ヤヤアツガ゛ミ*
ホッパ゜2　ヨウシシュベ゛ツ ← アツガ゛ミ*
ホッパ゜2　ヨウシシュベ゛ツ ← カスタム*
注5
注2
ヨウシメニュー
←ホッパ゜3　ヨウシシュベ゛ツ→
ホッパ゜3　ヨウシシュベ゛ツ ← シテイシナイ*
ホッパ゜3　ヨウシシュベ゛ツ ← フツウシ*
ホッパ゜3　ヨウシシュベ゛ツ ← サイセイシ*
ホッパ゜3　ヨウシシュベ゛ツ ← ヤヤアツガ゛ミ*
ホッパ゜3　ヨウシシュベ゛ツ ← アツガ゛ミ*
ホッパ゜3　ヨウシシュベ゛ツ ← カスタム*
注5
注2
ヨウシメニュー
←ホッパ゜4　ヨウシシュベ゛ツ→
ホッパ゜4　ヨウシシュベ゛ツ ← シテイシナイ*
ホッパ゜4　ヨウシシュベ゛ツ ← フツウシ*
ホッパ゜4　ヨウシシュベ゛ツ ← サイセイシ*
ホッパ゜4　ヨウシシュベ゛ツ ← ヤヤアツガ゛ミ*
ホッパ゜4　ヨウシシュベ゛ツ ← アツガ゛ミ*
ホッパ゜4　ヨウシシュベ゛ツ ← カスタム*
注5
注2
1
2
3
4
5
6
7
8

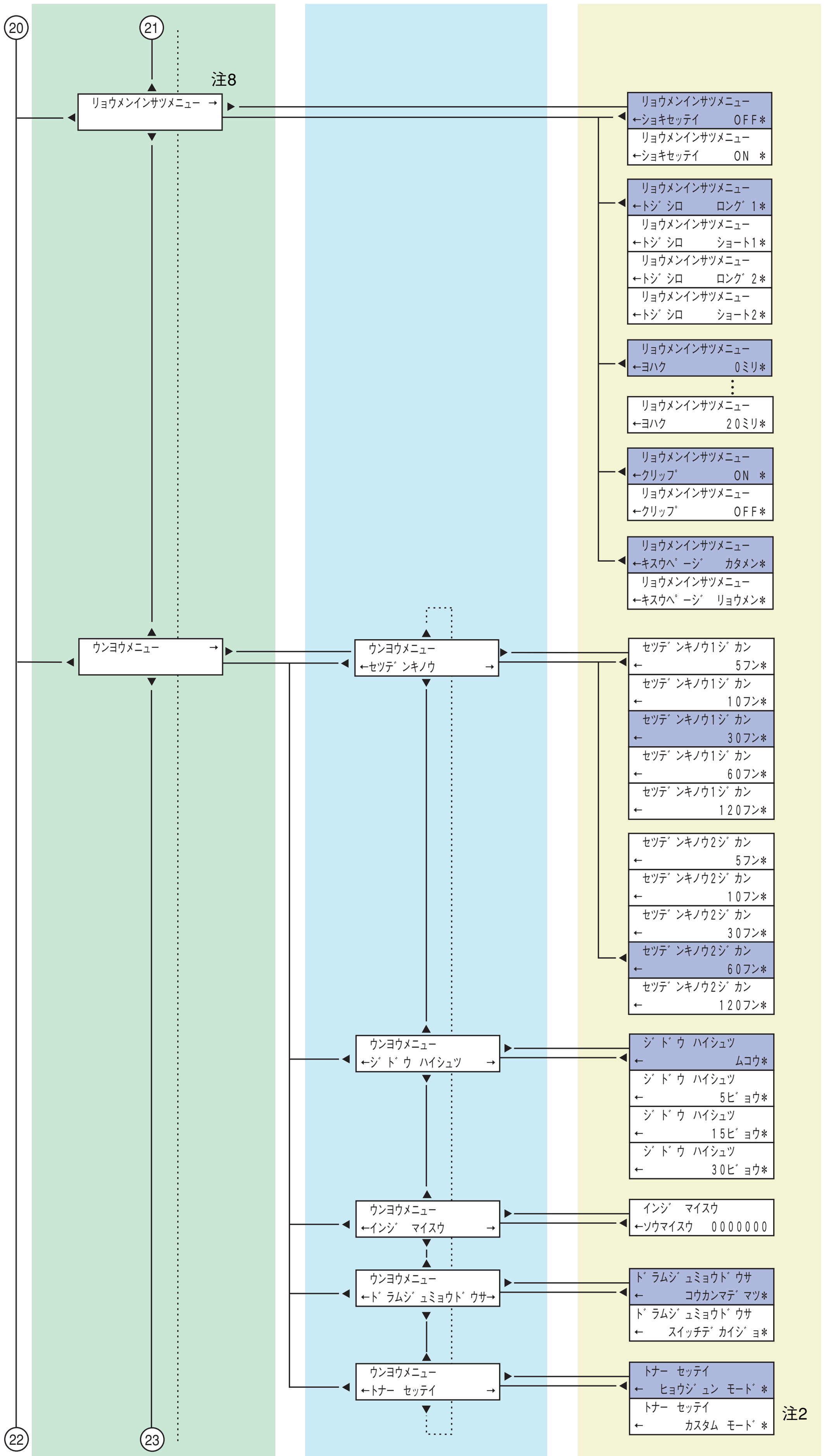


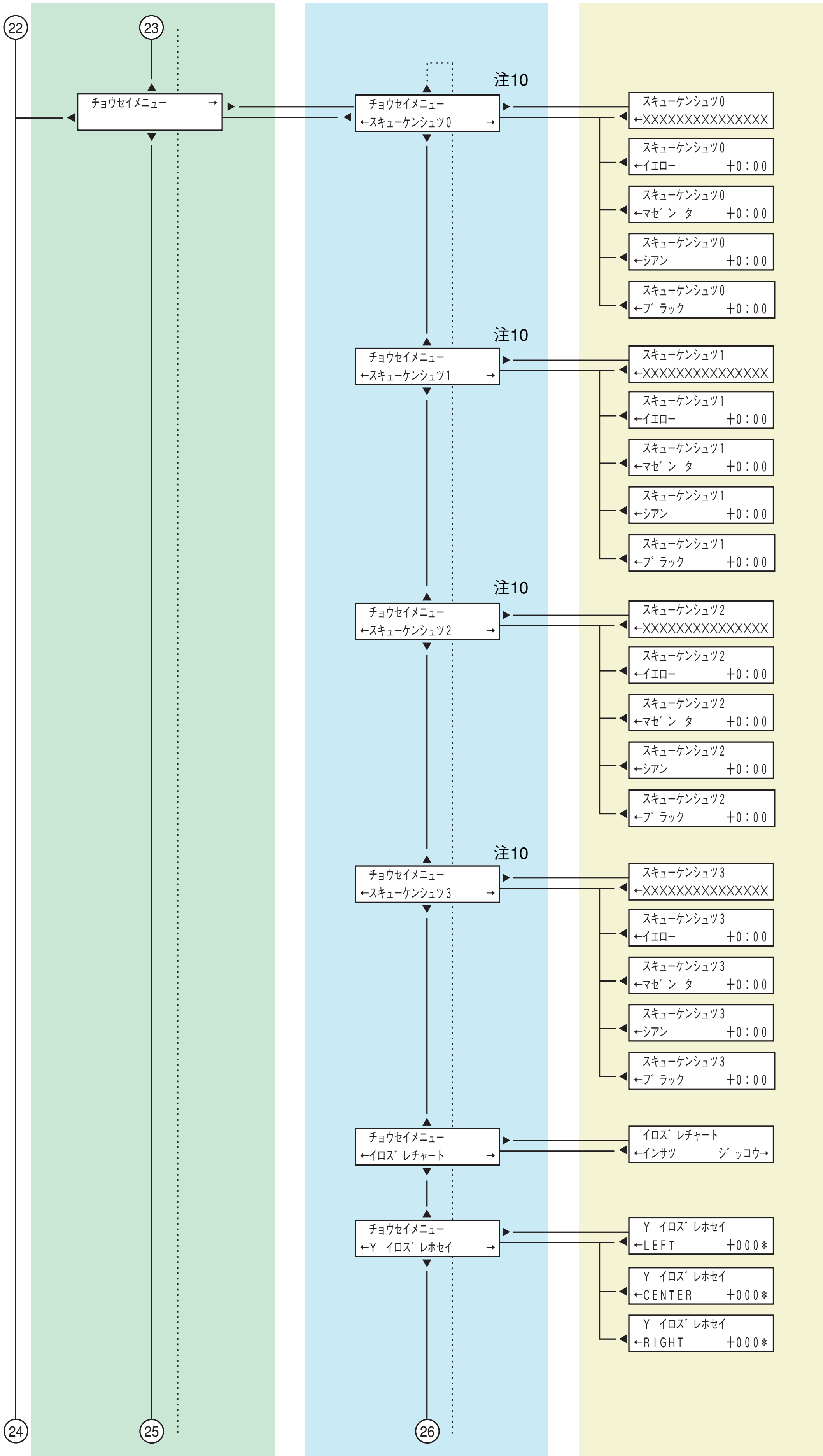
5
6
7
8
ヨウシメニュー
←トレー ヨウシシュベツ →
トレー ヨウシシュベツ
← シテイシナイ*
トレー ヨウシシュベツ
← フツウシ*
トレー ヨウシシュベツ
← サイセイシ*
トレー ヨウシシュベツ
← ヤヤアツガミ*
トレー ヨウシシュベツ
← アツガミ*
トレー ヨウシシュベツ
← ゴクアツガミ*
トレー ヨウシシュベツ
← ハガキ*
トレー ヨウシシュベツ
← ラベル*
トレー ヨウシシュベツ
← OHP*
トレー ヨウシシュベツ
← フウトウ*
トレー ヨウシシュベツ
← コートシ1*
トレー ヨウシシュベツ
← コートシ2*
トレー ヨウシシュベツ
← カスタム*
注2
ヨウシメニュー
←トレー テイケイガイヨウシ→
トレー テイケイガイヨウシ
← OFF*
トレー テイケイガイヨウシ
← ON *
ヨウシメニュー
←ヨウシサイズ セッテイ →
ホッパ ヨウシサイズ
← ジドウ*
ホッパ ヨウシサイズ
← A3 コテイ*
ホッパ ヨウシサイズ
← A4 コテイ*
ホッパ ヨウシサイズ
← A5 コテイ*
ホッパ ヨウシサイズ
← B4 コテイ*
ホッパ ヨウシサイズ
← B5 コテイ*
ホッパ ヨウシサイズ
← LT コテイ*
ホッパ ヨウシサイズ
← テイケイガイ コテイ*
注4、注6
ホッパ1 ヨウシサイズ
← ジドウ*
ホッパ1 ヨウシサイズ
← A3 コテイ*
ホッパ1 ヨウシサイズ
← A4 コテイ*
ホッパ1 ヨウシサイズ
← A5 コテイ*
ホッパ1 ヨウシサイズ
← B4 コテイ*
ホッパ1 ヨウシサイズ
← B5 コテイ*
ホッパ1 ヨウシサイズ
← LT コテイ*
ホッパ1 ヨウシサイズ
← テイケイガイ コテイ*
注5、注6
9
10
11
12
13

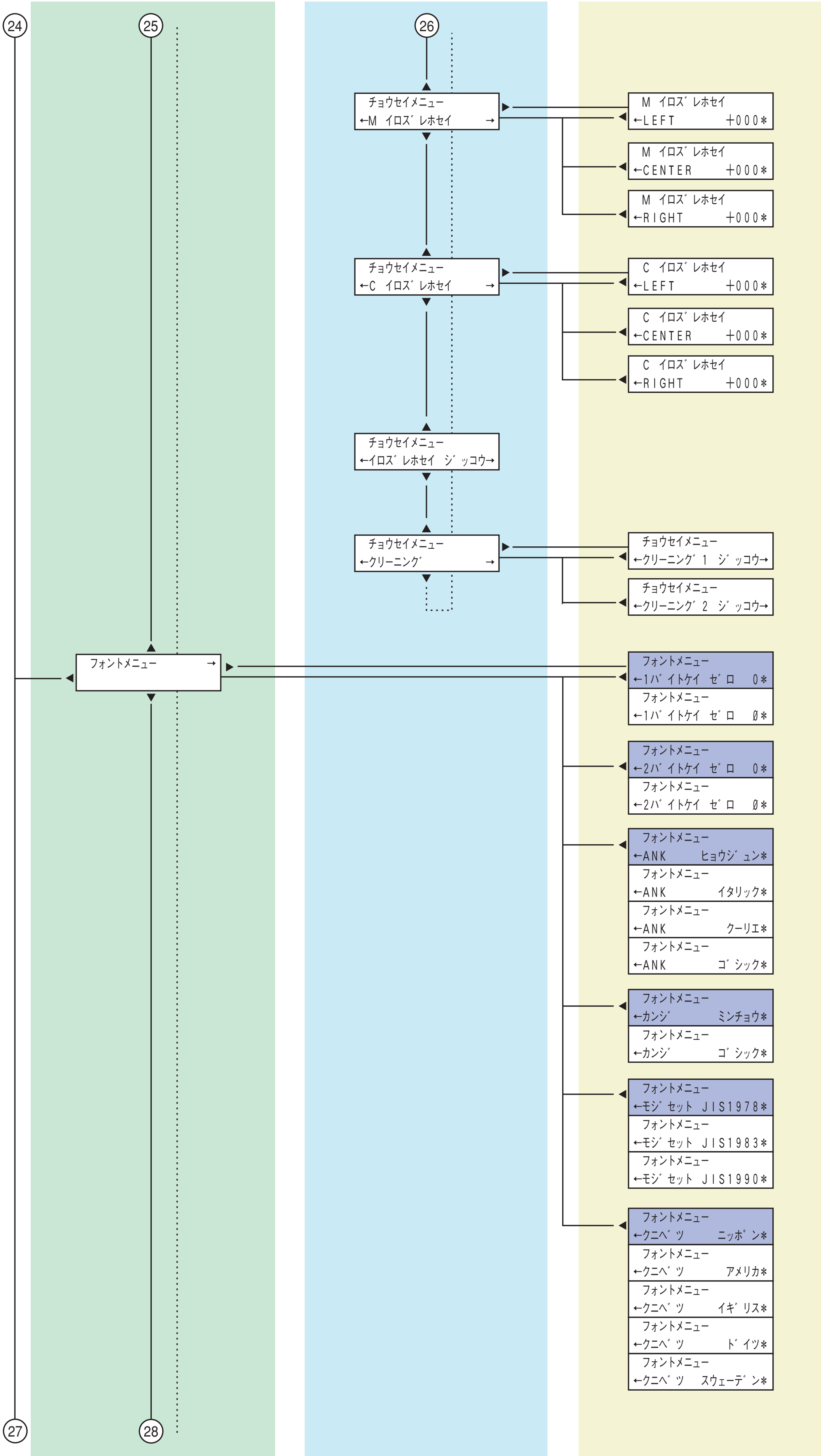

ホッパ゜2 ヨウシサイズ゛ ← ジ゛ド゛ウ*
ホッパ゜2 ヨウシサイズ゛ ← A3 コテイ*
ホッパ゜2 ヨウシサイズ゛ ← A4 コテイ*
ホッパ゜2 ヨウシサイズ゛ ← B4 コテイ*
ホッパ゜2 ヨウシサイズ゛ ← B5 コテイ*
ホッパ゜2 ヨウシサイズ゛ ← LT コテイ*
ホッパ゜2 ヨウシサイズ゛ ← テイケイガ゛イ コテイ*
ホッパ゜3 ヨウシサイズ゛ ← ジ゛ド゛ウ*
ホッパ゜3 ヨウシサイズ゛ ← A3 コテイ*
ホッパ゜3 ヨウシサイズ゛ ← A4 コテイ*
ホッパ゜3 ヨウシサイズ゛ ← B4 コテイ*
ホッパ゜3 ヨウシサイズ゛ ← B5 コテイ*
ホッパ゜3 ヨウシサイズ゛ ← LT コテイ*
ホッパ゜3 ヨウシサイズ゛ ← テイケイガ゛イ コテイ*
ホッパ゜4 ヨウシサイズ゛ ← ジ゛ド゛ウ*
ホッパ゜4 ヨウシサイズ゛ ← A3 コテイ*
ホッパ゜4 ヨウシサイズ゛ ← A4 コテイ*
ホッパ゜4 ヨウシサイズ゛ ← B4 コテイ*
ホッパ゜4 ヨウシサイズ゛ ← B5 コテイ*
ホッパ゜4 ヨウシサイズ゛ ← LT コテイ*
ホッパ゜4 ヨウシサイズ゛ ← テイケイガ゛イ コテイ*
注5、注6
ヨウシメニュー ←リレーキュウシ セッテイ →
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ゜ リレー OFF*
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ゜ リレー ON *
注4
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ゜1 リレー OFF*
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ゜1 リレー ON *
注5
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ゜2 リレー OFF*
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ゜2 リレー ON *
注5
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ゜3 リレー OFF*
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ゜3 リレー ON *
注5
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ゜4 リレー OFF*
リレーキュウシ セッテイ ←ホッパ゜4 リレー ON *
注5
リレーキュウシ セッテイ ←トレー リレー OFF*
リレーキュウシ セッテイ ←トレー リレー ON *
注7
ヨウシメニュー ←ハイシホウホウ →
ハイシホウホウ ← フェイスアップ*
ハイシホウホウ ← フェイスダ゛ウン*
9
10
11
12
13
14
15

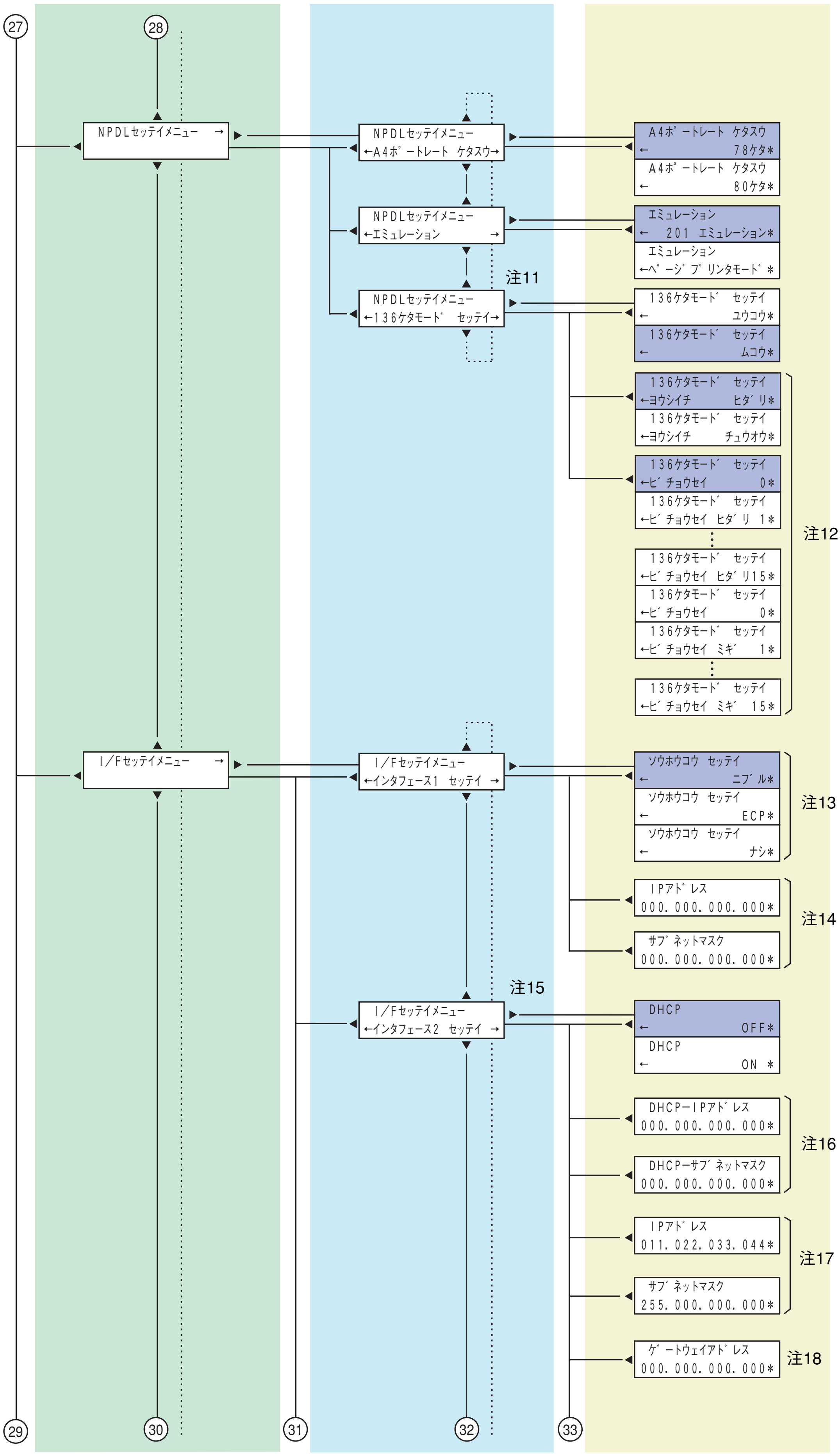

14
15
注9
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ→
注4
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ ←ﾎｯﾊﾟ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ→
ﾎｯﾊﾟ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←TM ＋3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←TM 0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←TM −3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←LM ＋3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←LM 0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←LM −3．9ﾐﾘ*
注5
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ ←ﾎｯﾊﾟ 1 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ→
ﾎｯﾊﾟ 1 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←TM ＋3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 1 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←TM 0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 1 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←TM −3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 1 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←LM ＋3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 1 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←LM 0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 1 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←LM −3．9ﾐﾘ*
注5
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ ←ﾎｯﾊﾟ 2 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ→
ﾎｯﾊﾟ 2 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←TM ＋3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 2 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←TM 0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 2 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←TM −3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 2 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←LM ＋3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 2 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←LM 0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 2 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←LM −3．9ﾐﾘ*
注5
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ ←ﾎｯﾊﾟ 3 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ→
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←TM ＋3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←TM 0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←TM −3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←LM ＋3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←LM 0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ←LM −3．9ﾐﾘ*
16
17
18
19

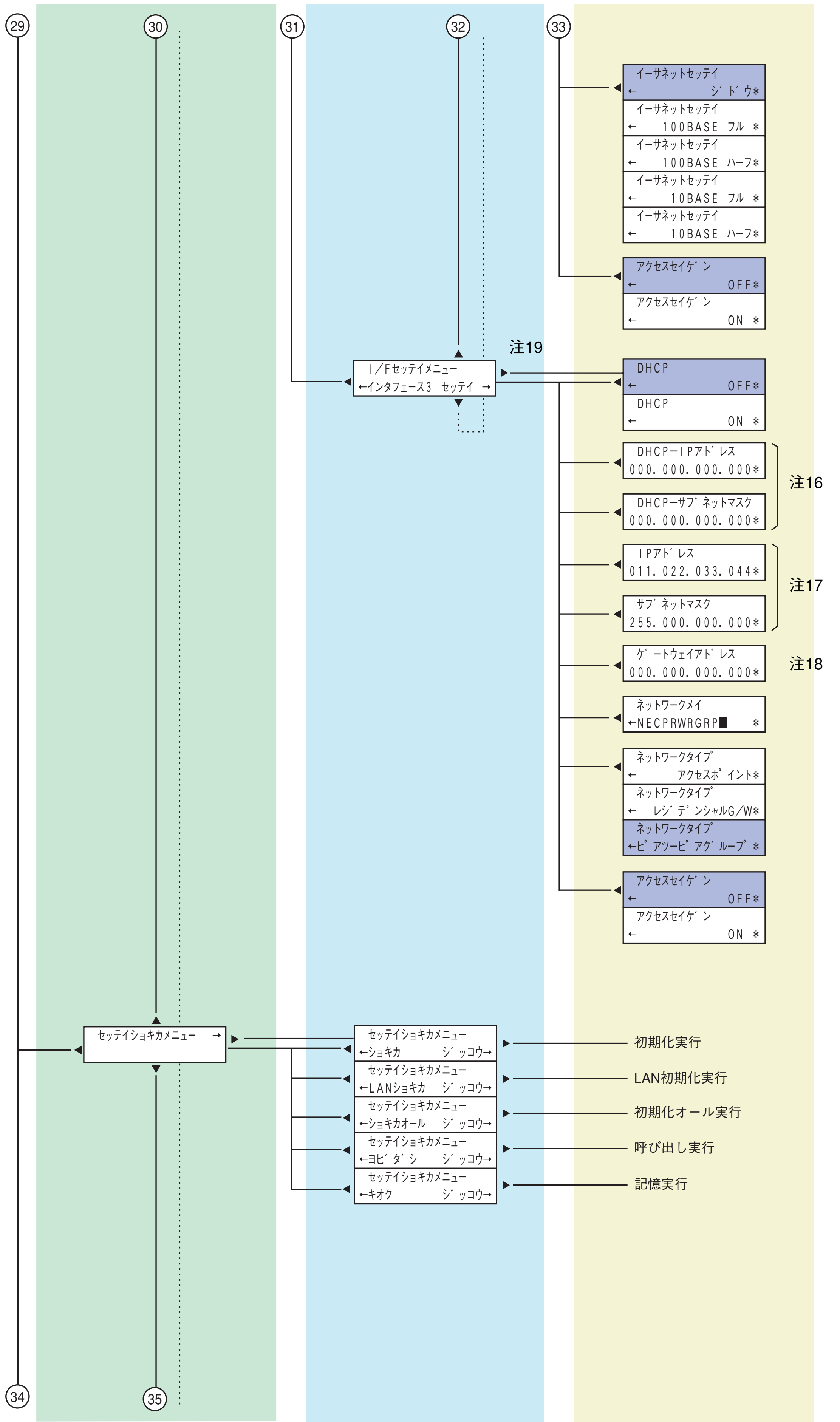

16
17
18
19
注5
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ﾎｯﾊﾟ 4　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ→
ﾎｯﾊﾟ 4　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　+3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 4　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 4　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　−3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 4　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　+3．9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 4　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 4　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　−3．9ﾐﾘ*
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ﾄﾚｰ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ→
ﾄﾚｰ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　+3．9ﾐﾘ*
ﾄﾚｰ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　0ﾐﾘ*
ﾄﾚｰ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　−3．9ﾐﾘ*
ﾄﾚｰ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　+3．9ﾐﾘ*
ﾄﾚｰ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　0ﾐﾘ*
ﾄﾚｰ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　−3．9ﾐﾘ*
注8
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ｵﾓﾃﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ→
ｵﾓﾃﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　+3．9ﾐﾘ*
ｵﾓﾃﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　0ﾐﾘ*
ｵﾓﾃﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　−3．9ﾐﾘ*
ｵﾓﾃﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　+3．9ﾐﾘ*
ｵﾓﾃﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　0ﾐﾘ*
ｵﾓﾃﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　−3．9ﾐﾘ*
注8
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ｳﾗﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ→
ｳﾗﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　+3．9ﾐﾘ*
ｳﾗﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　0ﾐﾘ*
ｳﾗﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←TM　−3．9ﾐﾘ*
ｳﾗﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　+3．9ﾐﾘ*
ｳﾗﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　0ﾐﾘ*
ｳﾗﾒﾝ　ﾋﾞ ﾁｮｳｾｲ
←LM　−3．9ﾐﾘ*
20
21

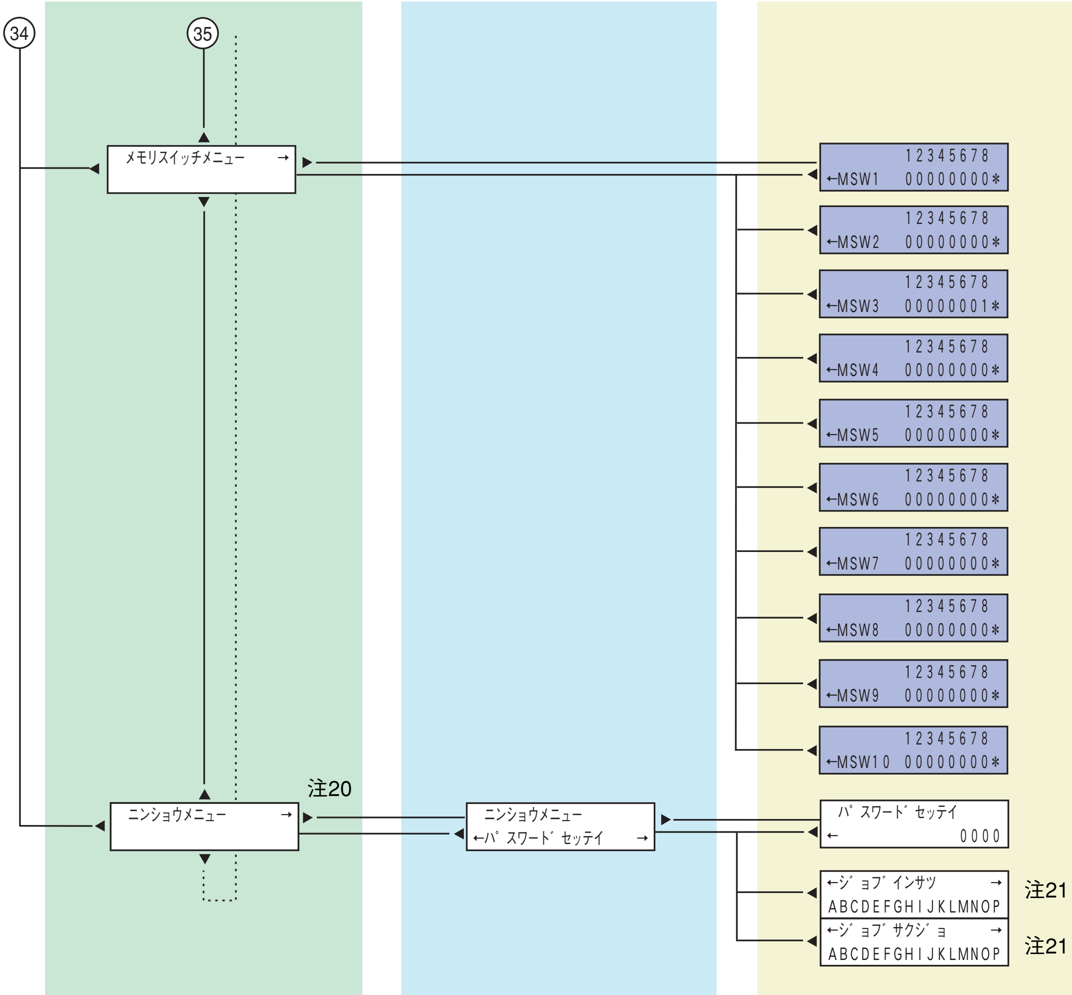

20
21
注8
リョウメンインサツメニュー →
リョウメンインサツメニュー ←ショキセッテイ OFF＊
リョウメンインサツメニュー ←ショキセッテイ ON ＊
リョウメンインサツメニュー ←トジシロ ロング1＊
リョウメンインサツメニュー ←トジシロ ショート1＊
リョウメンインサツメニュー ←トジシロ ロング2＊
リョウメンインサツメニュー ←トジシロ ショート2＊
リョウメンインサツメニュー ←ヨハク 0ミリ＊
リョウメンインサツメニュー ←ヨハク 20ミリ＊
リョウメンインサツメニュー ←クリップ ON ＊
リョウメンインサツメニュー ←クリップ OFF＊
リョウメンインサツメニュー ←キスウページ カタメン＊
リョウメンインサツメニュー ←キスウページ リョウメン＊
ウンヨウメニュー →
ウンヨウメニュー ←セツデンキノウ →
セツデンキノウ1ジカン ← 5フン＊
セツデンキノウ1ジカン ← 10フン＊
セツデンキノウ1ジカン ← 30フン＊
セツデンキノウ1ジカン ← 60フン＊
セツデンキノウ1ジカン ← 120フン＊
セツデンキノウ2ジカン ← 5フン＊
セツデンキノウ2ジカン ← 10フン＊
セツデンキノウ2ジカン ← 30フン＊
セツデンキノウ2ジカン ← 60フン＊
セツデンキノウ2ジカン ← 120フン＊
ウンヨウメニュー ←ジドウ ハイシュツ →
ジドウ ハイシュツ ← ムコウ＊
ジドウ ハイシュツ ← 5ビョウ＊
ジドウ ハイシュツ ← 15ビョウ＊
ジドウ ハイシュツ ← 30ビョウ＊
ウンヨウメニュー ←インジ マイスウ →
インジ マイスウ ←ソウマイスウ 0000000
ウンヨウメニュー ←ドラムジュミョウドウサ→
ドラムジュミョウドウサ ← コウカンマデマツ＊
ドラムジュミョウドウサ ← スイッチデカイジョ＊
ウンヨウメニュー ←トナー セッテイ →
トナー セッテイ ← ヒョウジュン モード＊
トナー セッテイ ← カスタム モード＊
注2
22
23


22
23
チョウセイメニュー →
チョウセイメニュー ←スキューケンシュツ0 →
注10
スキューケンシュツ0 ←XXXXXXXXXXXXXXX
スキューケンシュツ0 ←イエロー +0:00
スキューケンシュツ0 ←マゼンタ +0:00
スキューケンシュツ0 ←シアン +0:00
スキューケンシュツ0 ←ブラック +0:00
チョウセイメニュー ←スキューケンシュツ1 →
注10
スキューケンシュツ1 ←XXXXXXXXXXXXXXX
スキューケンシュツ1 ←イエロー +0:00
スキューケンシュツ1 ←マゼンタ +0:00
スキューケンシュツ1 ←シアン +0:00
スキューケンシュツ1 ←ブラック +0:00
チョウセイメニュー ←スキューケンシュツ2 →
注10
スキューケンシュツ2 ←XXXXXXXXXXXXXXX
スキューケンシュツ2 ←イエロー +0:00
スキューケンシュツ2 ←マゼンタ +0:00
スキューケンシュツ2 ←シアン +0:00
スキューケンシュツ2 ←ブラック +0:00
チョウセイメニュー ←スキューケンシュツ3 →
注10
スキューケンシュツ3 ←XXXXXXXXXXXXXXX
スキューケンシュツ3 ←イエロー +0:00
スキューケンシュツ3 ←マゼンタ +0:00
スキューケンシュツ3 ←シアン +0:00
スキューケンシュツ3 ←ブラック +0:00
チョウセイメニュー ←イロズレチャート →
イロズレチャート ←インサツ ジッコウ→
チョウセイメニュー ←Y イロズレホセイ →
Y イロズレホセイ ←LEFT +000*
Y イロズレホセイ ←CENTER +000*
Y イロズレホセイ ←RIGHT +000*
24
25
26


24
25
26
チョウセイメニュー
←M イロズ゛レホセイ →
M イロズ゛レホセイ
←LEFT +000*
M イロズ゛レホセイ
←CENTER +000*
M イロズ゛レホセイ
←RIGHT +000*
チョウセイメニュー
←C イロズ゛レホセイ →
C イロズ゛レホセイ
←LEFT +000*
C イロズ゛レホセイ
←CENTER +000*
C イロズ゛レホセイ
←RIGHT +000*
チョウセイメニュー
←イロズ゛レホセイ ジ゛ッコウ→
チョウセイメニュー
←クリーニング゛ →
チョウセイメニュー
←クリーニング゛1 ジ゛ッコウ→
チョウセイメニュー
←クリーニング゛2 ジ゛ッコウ→
フォントメニュー →
フォントメニュー
←1バ゛イトケイ ゼ゛ロ 0*
フォントメニュー
←1バ゛イトケイ ゼ゛ロ Ø*
フォントメニュー
←2バ゛イトケイ ゼ゛ロ 0*
フォントメニュー
←2バ゛イトケイ ゼ゛ロ Ø*
フォントメニュー
←ANK ヒョウジ゛ュン*
フォントメニュー
←ANK イタリック*
フォントメニュー
←ANK クーリエ*
フォントメニュー
←ANK ゴ゛シック*
フォントメニュー
←カンジ゛ ミンチョウ*
フォントメニュー
←カンジ゛ ゴ゛シック*
フォントメニュー
←モジ゛セット JIS1978*
フォントメニュー
←モジ゛セット JIS1983*
フォントメニュー
←モジ゛セット JIS1990*
フォントメニュー
←クニベ゛ツ ニッポ゛ン*
フォントメニュー
←クニベ゛ツ アメリカ*
フォントメニュー
←クニベ゛ツ イギ゛リス*
フォントメニュー
←クニベ゛ツ ド゛イツ*
フォントメニュー
←クニベ゛ツ スウェーデ゛ン*
27
28


NPDLセッテイメニュー →
NPDLセッテイメニュー ←A4ポートレート ケタスウ→
A4ポートレート ケタスウ ← 78ケタ*
A4ポートレート ケタスウ ← 80ケタ*
NPDLセッテイメニュー ←エミュレーション →
エミュレーション ← 201 エミュレーション*
エミュレーション ←ページプリンタモード *
注11
NPDLセッテイメニュー ←136ケタモード セッテイ→
136ケタモード セッテイ ← ユウコウ*
136ケタモード セッテイ ← ムコウ*
136ケタモード セッテイ ←ヨウシイチ ヒダリ*
136ケタモード セッテイ ←ヨウシイチ チュウオウ*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ 0*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ ヒダリ 1*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ ヒダリ15*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ 0*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ ミギ 1*
136ケタモード セッテイ ←ビチョウセイ ミギ 15*
注12
I/Fセッテイメニュー →
I/Fセッテイメニュー ←インタフェース1 セッテイ →
ソウホウコウ セッテイ ← ニブル*
ソウホウコウ セッテイ ← ECP*
ソウホウコウ セッテイ ← ナシ*
注13
IPアドレス 000.000.000.000*
サブネットマスク 000.000.000.000*
注14
注15
I/Fセッテイメニュー ←インタフェース2 セッテイ →
DHCP ← OFF*
DHCP ← ON *
DHCP−IPアドレス 000.000.000.000*
DHCP−サブネットマスク 000.000.000.000*
注16
IPアドレス 011.022.033.044*
サブネットマスク 255.000.000.000*
注17
ゲートウェイアドレス 000.000.000.000*
注18
27
28
29
30
31
32
33


29
30
31
32
33
イーサネットセッテイ
←　ジ゛ド゛ウ*
イーサネットセッテイ
←　100BASE　フル　*
イーサネットセッテイ
←　100BASE　ハーフ*
イーサネットセッテイ
←　10BASE　フル　*
イーサネットセッテイ
←　10BASE　ハーフ*
アクセスセイゲ゛ン
←　OFF*
アクセスセイゲ゛ン
←　ON　*
注19
I/Fセッテイメニュー
←インタフェース3　セッテイ　→
DHCP
←　OFF*
DHCP
←　ON　*
DHCP−IPアド゛レス
000.000.000.000*
DHCP−サブ゛ネットマスク
000.000.000.000*
注16
IPアド゛レス
011.022.033.044*
サブ゛ネットマスク
255.000.000.000*
注17
ゲ゛ートウェイアド゛レス
000.000.000.000*
注18
ネットワークメイ
←NECPRWRGRP█　*
ネットワークタイプ゛
←　アクセスポ゜イント*
ネットワークタイプ゛
←　レジ゛デ゛ンシャルG/W*
ネットワークタイプ゛
←ピ゜アツーピ゜アグ゛ループ゛*
アクセスセイゲ゛ン
←　OFF*
アクセスセイゲ゛ン
←　ON　*
セッテイショキカメニュー　→
セッテイショキカメニュー
←ショキカ　ジ゛ッコウ→
セッテイショキカメニュー
←LANショキカ　ジ゛ッコウ→
セッテイショキカメニュー
←ショキカオール　ジ゛ッコウ→
セッテイショキカメニュー
←ヨビ゛ダ゛シ　ジ゛ッコウ→
セッテイショキカメニュー
←キオク　ジ゛ッコウ→
初期化実行
LAN初期化実行
初期化オール実行
呼び出し実行
記憶実行
34
35



注1　設定されている用紙がA4のときのみ表示されます。
注2　通常は使用しません。選択しないでください。
注3　“ホッパ”はホッパーが1段のときのみ表示されます。ホッパ1～4は増設ホッパー（オプション）が装着されているときのみ表示されます。
注4　ホッパーが1段のときのみ表示されます。
注5　ホッパ1～4は増設ホッパー（オプション）が装着されているときのみ表示されます。
注6　各設定においては、次の用紙がセットされたものとして動作します。
「A3コテイ」: A3縦置き、「A4コテイ」: A4横置き、「A5コテイ」: A5横置き、「B4コテイ」: B4縦置き、「B5コテイ」: B5横置き、「LTコテイ」: LT横置き
注7　フェイスアップ排出ユニット（オプション）が装着されているときのみ表示されます。
注8　両面印刷ユニット（オプション）が装着されているときのみ表示されます。
注9　[ピチョウセイ] により印刷領域を移動させた結果、印刷領域が用紙からはみ出すような設定はできません。用紙からはみ出す設定を行っても移動量は用紙の内側で制限されます。
注10　使用しません。
注11　201エミュレーションモード時のみ表示されます。
注12　136ケタモードが有効のときのみ表示されます。
注13　[ドウサソウホウコウ] の変更を有効にするためには、プリンターの電源を再投入する必要があります。
注14　マルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NP-03TR2）（オプション）が装着されていて、「インターフェース設定メニュー」の「双方向設定」が「ECP」に設定されているときのみ表示されます。
注15　インターフェース3に無線LANボード（型番：PR-WLX-13）（オプション）が装着されていない場合に表示されます。
注16　DHCPがONに設定されているときのみ表示されます。
注17　DHCPがOFFに設定されているときのみ表示されます。
注18　DHCPがONの場合にはDHCPで取得した値が表示されます。
注19　インターフェース3に無線LANボード（型番：PR-WLX-13）（オプション）が装着された場合に表示されます。このとき、インターフェース2は使用できません。
注20　ハードディスク（オプション）が装着されているときのみ表示されます。
注21　パスワードの一致した印刷ジョブがハードディスク（オプション）にある場合のみ表示されます。下段は任意の印刷ジョブ名です。

メニューの詳細

テストメニュー

次のテスト印刷を実行します。

- ステータス印刷
- サンプル印刷
- 連続印刷
- 16進ダンプ印刷
- ネットワーク1（LANインターフェースやオプションの無線LANボードのコンフィグレーション印刷）
- ネットワーク2（通信ログ印刷）

「連続印刷」（テスト印刷）は自動的に印刷を終了しません。［ストップ］スイッチを押した後、［シフト］スイッチを押しながら［リセット］スイッチを2回押してください。

プリント結果については付録の「ステータス印刷のプリント結果」（484ページ）をご覧ください。用紙はA4普通紙を使用してください。

印刷設定メニュー

1. コピー枚数

コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。
プリンターをリセットしたり、電源スイッチをOFFにしたりすると、設定はクリアされ“01”になります。アプリケーションによっては、ソフトウエアからコピー枚数を設定するものがあります。この場合、ソフトウエアで設定したコピー枚数が優先します。

2. 黒トナー節約

黒トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。NPDL時のみ有効です。

チェック

トナー節約機能を使用するため、「クロトナーセツヤク」をONに設定すると、トナーの使用を節約することができますが、細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。また、OCRフォントやバーコード印刷を行った場合には正常に読み取れない場合があります。本機能は試し印刷する場合などにご使用ください。

3. SET

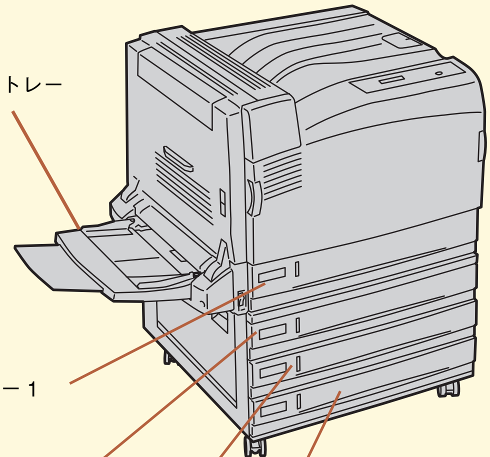
SET（Sharp Edge Technology）を使用するか、しないかを選択できます。SETとは印刷画像のエッジ部を滑らかにする技術です。NPDLモード時のみ有効です。また、メモリースイッチ6-1でも設定できます。

用紙メニュー

1. ホッパー初期設定

電源投入時およびリセット時に指定されるホッパー、または手差しトレーを選択します。
ホッパー 2～4はオプションの増設ホッパーが取り付けられている時のみ表示されます。

- ホッパー 1
- ホッパー 2
- ホッパー 3
- ホッパー 4
- 手差しトレー



2. 用紙種別エラー表示

メニューで設定されている用紙種別とドライバーで指定された用紙種別が異なる場合、印刷前にエラー表示をするかどうかを設定します。

ただしメニューの用紙種別で「指定しない」を設定している場合はエラー表示をONに設定していてもエラー表示をしません。

3. ホッパ1用紙種別

ホッパー 1で使用する用紙の種類を設定します。

- 指定しない
- 普通紙：坪量60～80g/m^{2}の普通紙
- 再生紙：坪量60～80g/m^{2}の再生紙
- やや厚紙：坪量81～105g/m^{2}の厚紙
- 厚紙：坪量106～169g/m^{2}の厚紙
- ごく厚紙：坪量170～216g/m^{2}の厚紙
- カスタム：通常は使用しません。選択しないでください。

4. ホッパ2用紙種別

ホッパー 2で使用する用紙の種類を設定します。

- 指定しない
- 普通紙：坪量60～80g/m^{2}の普通紙
- 再生紙：坪量60～80g/m^{2}の再生紙
- やや厚紙：坪量81～105g/m^{2}の厚紙
- 厚紙：坪量106～169g/m^{2}の厚紙
- カスタム：通常は使用しません。選択しないでください。

5. ホッパ3用紙種別

ホッパー 3で使用する用紙の種類を設定します。

- 指定しない
- 普通紙：坪量60〜80g/m^{2}の普通紙
- 再生紙：坪量60〜80g/m^{2}の再生紙
- やや厚紙：坪量81〜105g/m^{2}の厚紙
- 厚紙：坪量106〜169g/m^{2}の厚紙
- カスタム：通常は使用しません。選択しないでください。

6. ホッパ4用紙種別

ホッパー 4で使用する用紙の種類を設定します。

- 指定しない
- 普通紙：坪量60〜80g/m^{2}の普通紙
- 再生紙：坪量60〜80g/m^{2}の再生紙
- やや厚紙：坪量81〜105g/m^{2}の厚紙
- 厚紙：坪量106〜169g/m^{2}の厚紙
- カスタム：通常は使用しません。選択しないでください。

7. トレー用紙種別

手差しトレーで使用する用紙の種類を設定します。

- 指定しない
- 普通紙：坪量60〜80g/m^{2}の普通紙
- 再生紙：坪量60〜80g/m^{2}の再生紙
- やや厚紙：坪量81〜105g/m^{2}の厚紙
- 厚紙：坪量106〜169g/m^{2}の厚紙
- ごく厚紙：坪量170〜216g/m^{2}の厚紙
- ハガキ
- OHP
- ラベル
- 封筒
- コート紙1：坪量106〜169g/m^{2}のコート紙
- コート紙2：坪量170〜216g/m^{2}のコート紙
- カスタム：通常は使用しません。選択しないでください。

8. トレー定形外用紙

手差しトレーでの定形外用紙の使用を有効、または無効にします。添付されているWindowsドライバーを利用して印刷する場合は、設定する必要はありません。

9. 用紙サイズ設定

ホッパーで用紙サイズ検出を自動で行うか、手動で設定するかどうかを選択します。

10. リレー給紙設定

リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。
指定している給紙先に用紙がなくなった場合に、他のホッパーか手差しトレーに同じサイズ（A4など）、同じ種類（普通紙、厚紙、ハガキなど）の用紙があれば、自動的に給紙先を切り替えて印刷を行う機能です。
リレー給紙が有効となるのは以下の条件をすべて満たしている場合です。

- 指定しているホッパーや手差しトレーがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- 2つ以上のホッパーや手差しトレーがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- リレー給紙機能を使用するホッパーや手差しトレーの内、2つ以上に同じサイズおよび同じ用紙種別の用紙をセットしている。

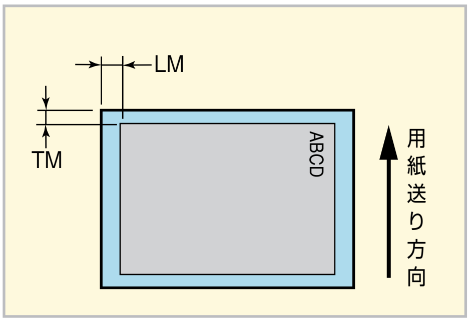
「用紙種別」の設定は正しく行ってください。「用紙種別」で「指定しない」が設定されているホッパー、手差しトレーに対してはリレー給紙は機能しません。

11. 排紙方法設定

印刷面を下にして排紙（フェイスダウン）するか、印刷面を上にして排紙（フェイスアップ）するかを設定します。フェイスダウンにした場合、用紙はスタッカーに、フェイスアップにした場合、用紙はフェイスアップトレイに排紙されます。なお、このメニューはフェイスアップ排出ユニット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

印字位置設定メニュー

ホッパー、手差しトレー、両面印刷時の表面、裏面の印刷位置を調整します。
メニューモードの「テスト印刷」で出力した「ステータス印刷」の結果を使い、外周の四角い罫線のトップマージン（TM）とレフトマージン（LM）を測定して調整します。
調整できる範囲は、「−3.9ミリ」〜「＋3.9ミリ」で、0.3ミリ単位で設定できます。
［設定変更］スイッチを押すと、0.3ミリずつ減り、「−3.9ミ リ」を越えると「＋3.9ミリ」になります。



チェック

この設定は、プリンターやオプションの状態、使用する用紙の種類によって発生する印刷位置の誤差を補正するための機能です。この調整が正しく行われないとアプリケーションで余白の値が正確に指定できなくなったり、用紙端に近い部分の印刷が正常に行われなくなったりします。
またこの機能は、用紙送り方向に対する位置を調整するもので、用紙の向きや印刷方向を設定するものではありません。

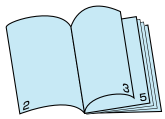
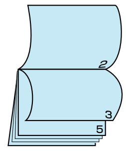
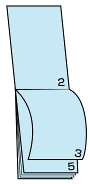
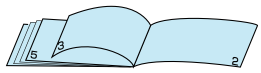
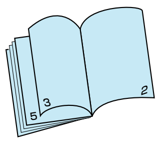
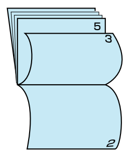
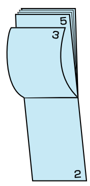
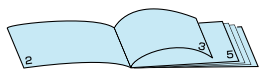
両面印刷メニュー

1. 初期設定

電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。

2. 綴(と)じ代(しろ)

印刷したものを綴じるための余白の位置を設定します。「ロング」とは長辺が綴じ代になることを示します。「ショート」とは短辺が綴じ代になることを示します。

綴じ代	印刷方向	
	ポートレート	ランドスケープ
ロング1	左綴じ 	上綴じ 
ショート1	上綴じ 	右綴じ 
ロング2	右綴じ 	下綴じ 
ショート2	下綴じ 	左綴じ 

3. 余白

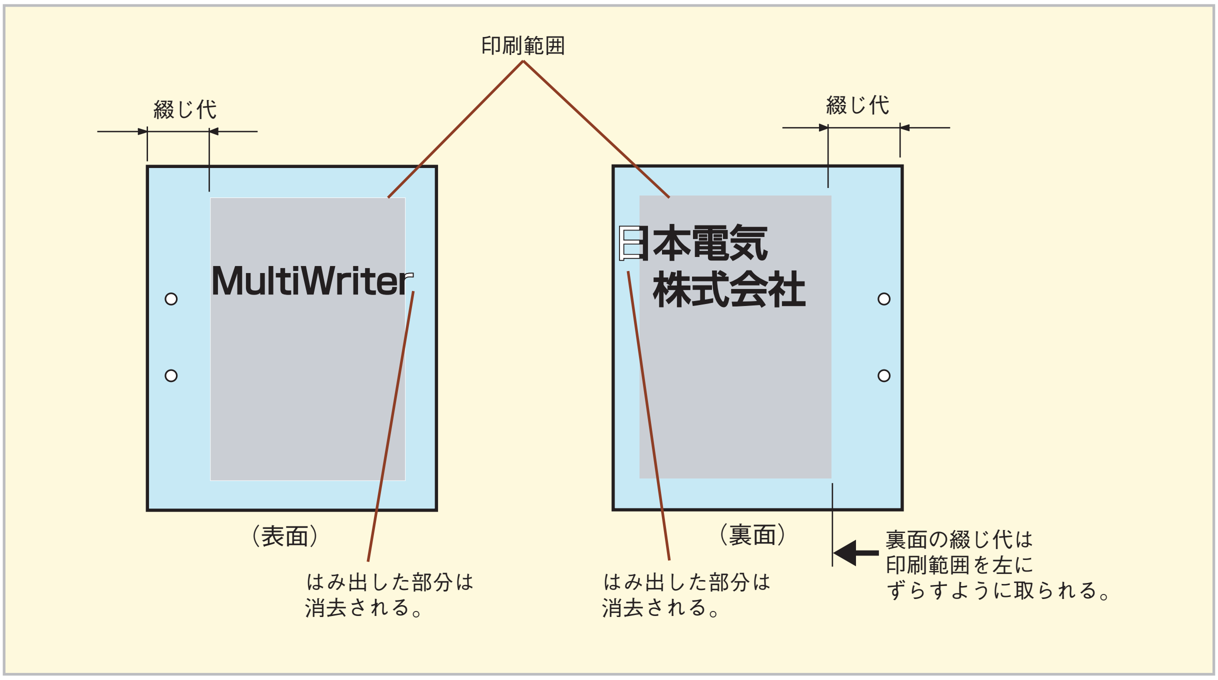
綴じ代の量を設定します。設定範囲は0～20ミリで、1ミリ単位で設定できます。

4. クリップ

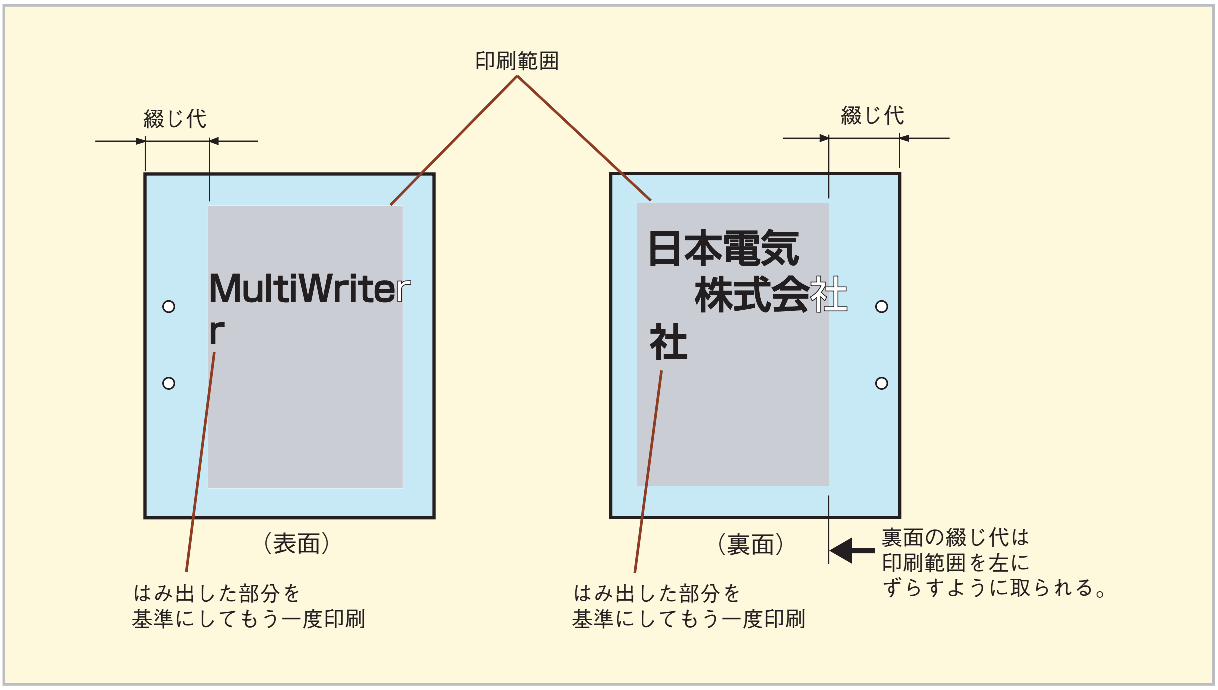
余白（とじしろ）を多く取りすぎると印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。この場合、印刷範囲からはみ出したデータを次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りの行を印刷するかを選択します。本機能は両面印刷時のみ有効です。「クリップ」をOFFにすると、はみ出した印刷データを次の行に引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1行ずつずれることになります。（アプリケーションによってははみ出したデータを消去するものもあります）。

「クリップ」をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。

- クリップON



- クリップOFF



5.　奇数ページ

両面印刷時の奇数ページ原稿の最終ページに対する印刷方法について設定します。「カタメン」（工場出荷時）は、片面分の最終ページを片面印刷時と同じく、両面印刷を行うための給紙動作をせず、印刷を行います。両面の印刷動作を行わず、より高速に印刷を行います。

「リョウメン」に設定すると、最終ページは片面のみのデータですが、両面印刷時と同じく両面印刷を行うための給紙動作を行います。これにより、両面印刷された用紙の奇数ページと最終ページ（奇数ページ原稿）の印刷する用紙を同じ印刷面で印刷を行い、排出します。

チェック

「リョウメン」設定時に、「82　メモリオーバー」もしくは「83　インサツフカ」のアラームが発生した場合は、「カタメン」設定時（工場出荷時）の動作になります。

運用メニュー

1. 節電時間設定

節電機能に入るまでの時間を選択します。

✔チェック

本プリンターには省エネルギー対応として以下の2つの節電モードがあります。どちらのモードも、コンピューターからの印刷命令を受けると自動で復帰し印刷を実行します。

- 節電モード1
  省電力と高速立ち上がりを両立したモード。本モード時は、ディスプレイに「セツデン1　チュウ」と表示されます。初期設定では30分間印刷命令がない場合、このモードに入ります。
- 節電モード2
  省電力を追求したモード（12W以下）。立ち上がりは約30秒です。このモードに入るとディスプレイの表示は消え、節電解除スイッチのランプが点灯します。初期設定では60分間印刷命令がない場合にこのモードに入ります。

2. 自動排出

自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。
データを送り終わったのに印刷を開始しない状態が多く発生するソフトウエアを使用している場合は、このメニューで設定時間を選択することをお勧めします。

3. 総印字枚数

プリンターの総印字枚数を表示します。本メニューは変更できません。また、設定初期化メニューの初期化実行では、初期化されません。

枚数のカウント方法について

- 片面印刷で、用紙サイズがA4、B5、A5、レター、はがき、往復はがき、封筒の場合「1」、A3、B4では「2」とカウントします。また、定形外用紙の場合は、用紙走行方向の長さによってカウント数が異なります。
- 両面印刷の場合、片面印刷の2倍をカウントします。また、片面のみの印刷であっても両面の印刷動作を行う場合は、両面印刷として片面印刷の2倍をカウントします

4. ドラム寿命動作

ドラムカートリッジが寿命になった時に、プリンタの動作を強制停止（初期設定）とするか、動作可能（品質などは非保証）とするかを選択します。（「ドラムカートリッジの交換」（364ページ）を参照してください。）

✔チェック

［スイッチで解除］を選択すると印刷を継続します。この時、プリンターステータスウィンドウ、プリンタ管理ユーティリティ、保守情報のメール通知などでは、寿命ではなく寿命間近のステータスに見えていますが実際は寿命であり、品質は保証されません。

5. トナー設定機能

カウンターによりトナーが寿命に達したら印刷を停止するか、しないかを設定する機能です。
「カスタムモード」は通常は使用しません。設定を変更しないでください。

✔チェック

お客様の都合によりやむを得ず、設定を変更した場合は下記の点にご注意ください。

- カスタムモードは品証保証外のモードであり、所定の機能・性能が保たれないことがあります。
- トナー設定機能のモードを切り替えると節電機能で設定した節電時間がリセットされます。節電時間を指定したい場合は、設定し直してください。

調整メニュー

色の位置ずれ量である、カラーレジ補正を調整するためのメニューです。調整の方法については、ユーザーズマニュアル１章の「カラーレジの補正」を参照してください。

1. スキュー検出0～3

使用しません。

2. 色ずれチャート

カラーレジ調整用のチャート（カラーレジ補正チャート）を印刷します。

3. Ｙ色ずれ補正・M色ずれ補正・Ｃ色ずれ補正

Ｙ色（イエロー）・Ｍ色（マゼンタ）・Ｃ色（シアン）の各色とＫ色（ブラック）の色の位置ずれ量を入力して、色の位置ずれを補正します。

調整できる範囲は+750～-750です。範囲外の数値を設定しても+750, または-750しか補正しません。［設定変更］スイッチを押すと、それぞれの桁毎に１ずつ増えます。

4. 色ずれ補正実行

各色の入力された色ずれ補正値を元に、各色の位置を補正します。このメニューを実行しないと、入力値は反映されません。補正値を入力したら、必ず実行してください。

5. クリーニング

印刷機構のクリーニングを行います。

フォントメニュー

フォントに関する設定は、プリンターが持っている文字に対してのみ有効です。詳細については「文字の種類」（427ページ）を参照してください。

1. 1バイト系ゼロ

1バイトコード系の数字ゼロの字体（0またはØ）を選択します。メモリースイッチ2-1でも選択できます。

2. 2バイト系ゼロ

2バイトコード系の数字ゼロの字体（0またはØ）を選択します。

3. ANK

ANK文字（アルファベット、数字、カタカナ）のフォントを選択します。

- 標準
- イタリック
- クーリエ
- ゴシック

4. 漢字

標準フォント（2バイト系文字）の書体を明朝体／ゴシック体から選択します。

5. 文字セット

2バイト系の文字セットを選択します。

- JIS1978
- JIS1983
- JIS1990

6. 国別

各国文字セットを選択します。メモリースイッチ1-1〜1-3でも選択できます。

- 日本
- アメリカ
- イギリス
- ドイツ
- スウェーデン

NPDL設定メニュー

1. A4ポートレート桁数

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。
メモリースイッチ2-7でも選択できます。

2. エミュレーション

ページプリンターモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。
メモリースイッチ2-2でも選択できます。

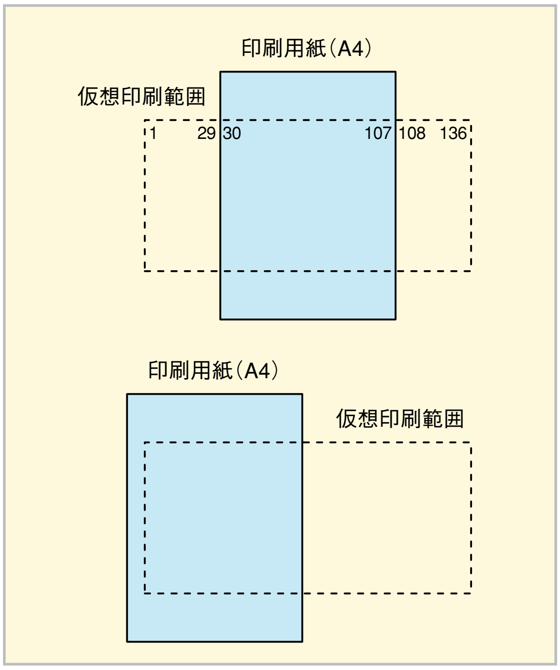
3. 136桁モード設定

- 136桁モード
  136桁モードの有効・無効を選択します。
  メモリースイッチ3-7でも選択できます。

- 用紙位置
  136桁モードが有効のとき、用紙位置を中央合わせにするか、左合わせにするかを選択します。メモリースイッチ3-6でも選択できます。

  – 用紙位置中央合わせでは、A4サイズの用紙を使用した場合、136桁の仮想印刷範囲の30桁目から107桁目までが印刷されます。

  – 用紙位置左端合わせでは、136桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、右の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。



- 微調整
  136桁モードが有効のとき、用紙位置微調整の方向と量を1/10インチ単位で選択します。
  メモリースイッチ3-1〜3-5の組み合わせで選択することもできます。

インターフェース設定メニュー

1. インターフェース1

- インターフェース通信モード
  パラレルインターフェースポートの通信モードを設定します。本メニューでの通信モード名とパソコン側で一般的に呼ばれているモード名は以下のように対応しています。コンピューターの設定と異なる場合、正しく印刷できない場合があります。

通信モード名	パソコン側での呼び方	
	PC98-NX（パラレルモード）	IBM PC/AT 互換機（DOS/V 対応機）
ECP	ECP	Extended Capabilities Port (ECP) Mode
ニブル	双方向	Standard and Bidirectional Mode
なし（コンパチブル）	出力のみ	

✔チェック

通信モードを変更した場合には、電源を入れ直してください。設定は、電源再投入後に有効となります。

- IPアドレス、サブネットマスク
  LANアダプターのIPアドレス、サブネットマスクの設定ができます。設定手順については、1章の「LANアダプターの設置」(23ページ) をご覧ください。

✔チェック

本設定項目は、[インタフェース1] の場合、インターフェース通信モードが「ECP」に設定されていてLANアダプターが取り付けられている時に有効となります。

2. インターフェース2

標準装備のLANインターフェースに対してDHCP、IPアドレス、サブネットマスク、イーサネット、アクセス制限の設定ができます。

- DHCP
  DHCP機能を使用するかどうかを選択します。DHCP機能を使用するとDHCPサーバー(Windows Server 2003、Windows 2000 Server、Windows NT Server、またはUNIX Server) からIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを自動的に取得することができます。

- DHCP-IPアドレス
  DHCP機能を使って取得されたIPアドレスを表示します。DHCP機能がOFFになっていると、このメニューは表示されません。

- DHCP-サブネットマスク
  DHCP機能を使って取得されたサブネットマスクを表示します。DHCP機能がOFFになっていると、このメニューは表示されません。

- IPアドレス
  000.000.000.000～255.255.255.255の範囲でIPアドレスを設定することができます。DHCP機能がONになっていると、このメニューは表示されません。

- サブネットマスク
  000.000.000.000～255.255.255.255の範囲でサブネットマスクを設定することができます。DHCP機能がONになっていると、このメニューは表示されません。

- ゲートウェイアドレス
  000.000.000.000～255.255.255.255の範囲でゲートウェイアドレスを設定することができます。DHCP機能がONになっっている場合はDHCP機能を使って取得された値が表示されます。

- イーサネット設定
  イーサネットの通信速度やモードを設定します。工場設定値は「自動」です。この場合、通信速度やモードの設定は自動的に設定されます。

- アクセス制限
  ある特定のコンピューターまたはネットワークからの印刷を許可または拒否する機能です。詳細は第1章の「アクセス制限」（146ページ）を参照してください。

3.　インターフェース3

オプションの無線LANボードに対してDHCP、IPアドレス、サブネットマスクなどの設定ができます。

- DHCP
  DHCP機能を使用するかどうかを選択します。DHCP機能を使用するとDHCPサーバー（Windows Server 2003、Windows 2000 Server、Windows NT Server、またはUNIX Server）からIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを自動的に取得することができます。

- DHCP-IPアドレス
  DHCP機能を使って取得されたIPアドレスを表示します。DHCP機能がOFFになっていると、このメニューは表示されません。

- DHCP-サブネットマスク
  DHCP機能を使って取得されたサブネットマスクを表示します。DHCP機能がOFFになっていると、このメニューは表示されません。

- IPアドレス
  000.000.000.000～255.255.255.255の範囲でIPアドレスを設定することができます。DHCP機能がONになっていると、このメニューは表示されません。

- サブネットマスク
  000.000.000.000～255.255.255.255の範囲でサブネットマスクを設定することができます。DHCP機能がONになっていると、このメニューは表示されません。

- ゲートウェイアドレス
  000.000.000.000～255.255.255.255の範囲でゲートウェイアドレスを設定することができます。DHCP機能がONになっている場合はDHCP機能を使って取得された値が表示されます。

- ネットワーク名

【文字について】

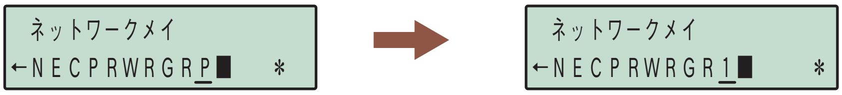
文字の入力は、最大32文字まで入力することができ、有効な文字コードは、“；”（0x3B）を除く“スペース”（0x20）～“チルダ”（0x7E）です。有効な文字の詳細は、「ネットワーク名として使用できる英数記号」（187ページ）を参照してください。
文字列の最後に■（黒四角）を表示していますが、これは文字ではなく終端記号です。ネットワーク名が可変長であるために、操作パネル上で文字列の終端を明示するために■としています（本来は見えない記号です）。



【文字を変更する】

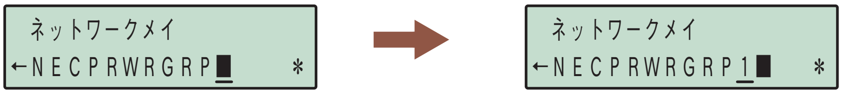
［▶］スイッチを押すことにより、カーソルが右方向に動きます。
現在表示しているカーソルの位置の文字に対し、［設定変更］スイッチを押すたびに文字が変わります（通常のメニュー変更ルールと同じです）。
ただし、［設定変更］スイッチを1秒以上押し続けると以下のように文字が変わります（内輪で最も近いコードにスキップします）。

スペース（0x20）→ A（0x41）→ a（0x61）→ ■：文字列終端の場合



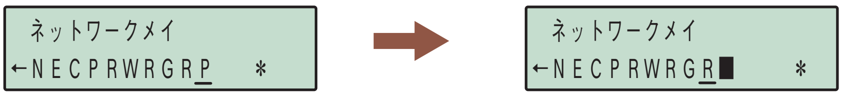
【文字を挿入する】

現在表示しているカーソルの位置の文字を■以外の文字に変更すると、1文字挿入となります。



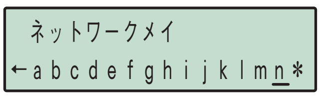
【文字を削除する】

現在表示しているカーソルの位置の文字が最終文字の時に■に変更すると、文字が削除されて、カーソルが1文字戻ります。



【文字の表示】

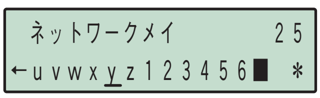
表示は操作パネルの下段に1～14文字目まで表示されます（カレント位置はカーソル付加）。



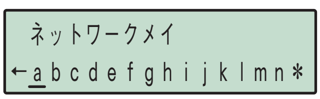
右から2文字目の位置でさらに［▶］スイッチを押すと、11～24文字目の再表示を行います。（10文字分右シフト）。



再度右から2文字目の位置で［▶］スイッチを押すと、21～32文字目の再表示を行います。現在のカーソルの位置は上段右端に表示を行います



現在のカーソルの位置が、最終文字の時にさらに［▶］スイッチを押すと、現在のカーソルの位置が1文字目に戻ります（IPアドレス等の移動ルールと同じです）。



「ネットワーク名として使用できる英数記号」を次ページの表に示します。セミコロン（0x3B）については、ターミネートコードであるため使用できません。

ネットワーク名として使用できる英数記号

ASCII コード	文字	備考	ASCII コード	文字	備考	ASCII コード	文字	備考
0x20		スペース	0x40	@	アットマーク	0x60	`	バックコーテーション
0x21	!	イクスクラメーション	0x41	A		0x61	a	
0x22	"	ダブルコーテーション	0x42	B		0x62	b	
0x23	#	シャープ	0x43	C		0x63	c	
0x24	$	ダラー	0x44	D		0x64	d	
0x25	%	パーセント	0x45	E		0x65	e	
0x26	&	アンパサンド	0x46	F		0x66	f	
0x27	'	アポストロフィ	0x47	G		0x67	g	
0x28	(	左カッコ	0x48	H		0x68	h	
0x29	)	右カッコ	0x49	I		0x69	i	
0x2A	*	アスタリスク	0x4A	J		0x6A	j	
0x2B	+	プラス	0x4B	K		0x6B	k	
0x2C	,	カンマ	0x4C	L		0x6C	l	
0x2D	-	ハイフン	0x4D	M		0x6D	m	
0x2E	.	ピリオド	0x4E	N		0x6E	n	
0x2F	/	スラッシュ	0x4F	O		0x6F	o	
0x30	0		0x50	P		0x70	p	
0x31	1		0x51	Q		0x71	q	
0x32	2		0x52	R		0x72	r	
0x33	3		0x53	S		0x73	s	
0x34	4		0x54	T		0x74	t	
0x35	5		0x55	U		0x75	u	
0x36	6		0x56	V		0x76	v	
0x37	7		0x57	W		0x77	w	
0x38	8		0x58	X		0x78	x	
0x39	9		0x59	Y		0x79	y	
0x3A	:	コロン	0x5A	Z		0x7A	z	
			0x5B	[	左角カッコ	0x7B	{	左中カッコ
0x3C	<	左山カッコ	0x5C	¥	エン	0x7C	¦	縦線
0x3D	=	イコール	0x5D	]	右角カッコ	0x7D	}	右中カッコ
0x3E	>	右山カッコ	0x5E	^	カレット	0x7E	˜	チルダ
0x3F	?	クエスチョン	0x5F	_	アンダースコア			

- ネットワークタイプ
  無線LANボードと無線LAN環境を接続する形態を選択します。

- アクセス制限
  ある特定のコンピューターまたはネットワークからの印刷を許可または拒否する機能です。詳細は「アクセス制限」（146ページ）を参照してください。

設定初期化メニュー

この機能を利用するとメニューモード内の設定（コピー枚数を除く）および操作パネルで設定した手差しトレーの用紙サイズをまとめて記憶させ、必要なときに呼び出すことができます。下記項目は実行後、ただちにメニューモードを終了します。

- 初期化実行
- LAN初期化実行
- 初期化オール実行
- 呼び出し実行
- 記憶実行

［初期化実行］を行うと、プリンターは初期設定に戻ります。［呼び出し実行］を行うと、プリンター内部の不揮発メモリーで記憶されている内容を呼び出します（初期設定に戻すこともできます）。

［記憶実行］を行うと、メニューモード内の各種機能設定をまとめて記憶します。一度記憶された内容は次に［記憶実行］を行うまで変化しません。

チェック

- **［インタフェース1］の場合**
  「インターフェース設定メニュー」で設定されたIPアドレス、サブネットマスクはLANアダプターへ記憶されます。「LAN初期化実行」、「初期化オール実行」を行っても設定された内容は初期化されません。
- **［インタフェース2］、［インタフェース3］の場合**
  「インターフェース設定メニュー」で設定されたIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなどは「初期化実行」を行っても設定された内容は初期化されません。ネットワークインターフェースの設定を初期化する場合は、「LAN初期化実行」または「初期化オール実行」を行ってください。

設定を記憶できるメニューモードの項目と初期設定は次のとおりです。

メニューモードの項目と初期設定（1/2）

設定記憶 / 呼び出し可能な項目	初期設定
印刷設定メニュー	
黒トナー節約	無効
SET	有効
用紙メニュー	
ホッパーの初期設定	ホッパー 1
用紙種別エラー表示設定	ON
ホッパ1用紙種別設定	指定しない
ホッパ2用紙種別設定*1	指定しない
ホッパ3用紙種別設定*1	指定しない
ホッパ4用紙種別設定*1	指定しない
手差しトレーの用紙種別	指定しない
手差しトレー定形外用紙設定	OFF
ホッパ1用紙サイズ	ジドウ
ホッパ2用紙サイズ*1	ジドウ
ホッパ3用紙サイズ*1	ジドウ
ホッパ4用紙サイズ*1	ジドウ
リレー給紙設定（ホッパ1、ホッパ2*1、ホッパ3*1、ホッパ4*1、手差しトレー）	無効
排紙方法*2	フェイスダウン

*1　増設ホッパー（オプション）を装着している場合に表示されます。
*2　フェイスアップ排出ユニット（オプション）を装着している場合に表示されます。

メニューモードの項目と初期設定（2/2）

設定記憶 / 呼び出し可能な項目	初期設定
印字位置設定メニュー	
ホッパー微調整	0（TM、LM）
手差し微調整	0（TM、LM）
両面印刷時のページの微調整*	0（TM、LM）
両面印刷メニュー*	
両面印刷の初期設定*	無効
綴じ代*	ロング1
余白*	0mm
クリップ*	ON
奇数ページ	片面
運用メニュー	
節電モード1移行までの時間	30分
節電モード2移行までの時間	60分
自動排出	無効
ドラム寿命動作	交換まで待つ
フォントメニュー	
1バイト系ゼロの書体	0
2バイト系ゼロの書体	0
ANKフォントの切り替え	標準
漢字フォントの切り替え	明朝
文字セットの切り替え	JIS1978
国別文字の切り替え	日本
NPDL 設定メニュー	
A4ポートレート桁数	78桁
エミュレーション	201エミュレーションモード
136桁モード設定	136桁モード：無効 用紙位置　　：左 微調整　　　：0
インターフェース設定メニュー	
［インタフェース1］双方向設定	ニブル
メモリースイッチメニュー	
190～191ページの一覧表を参照してください。	

* 両面印刷ユニット（オプション）を装着している場合に表示されます。

メモリースイッチの内容

メモリースイッチ設定項目一覧

メニューモードの中で、比較的変更頻度の低いものがここにまとめられています。メモリースイッチは1（ON）か0（OFF）を選択することによって、以下の表に示されている項目を設定することができます。メモリースイッチは1-1から10-8まであります（未使用のスイッチもあります）。

メモリースイッチで設定できる機能の中には、メニューモードで設定できるものもあります。このような場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。以下の表中の太文字は、工場出荷時の設定を示しています。詳細については、「メモリースイッチの詳細」をご覧ください。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容

○：有効　×：無効

番号	機　能	0	1	Windows	NPDL
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1／0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。 **すべて0（日本語）**		×	○
1-2				×	○
1-3				×	○
1-4	グレースケールの網点の切り替え＊1	**粗い**	細い	×	×
1-5	DC1、DC3の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	×	○
1-6	自動復帰改行の切り替え	**復帰改行**	復帰のみ	×	○
1-7	印刷指令の切り替え	**CRのみ**	CR＋その他	×	○
1-8	CR機能の切り替え	**復帰のみ**	復帰改行	×	○
2-1	1バイト系コードのゼロの字体の切り替え	**0**	Ø	×	○
2-2	エミュレーションモードの切り替え	**201PL　エミュレーション**	ページプリンター（NPDL）	×	○
2-3	グラフィックモードの切り替え	**ネイティブモード**	コピーモード	×	○
2-4〜2-5	（未使用）			×	○
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	**8ビット**	7ビット	×	○
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	**78桁**	80桁	×	○
2-8	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え	**4/5倍**	2/3倍	×	○
3-1	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定（136桁モード）	4つのスイッチの1／0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。（1/10インチ単位） **すべて0（0インチ）**		×	○
3-2				×	○
3-3				×	○
3-4				×	○
3-5	用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）	**左**	右	×	○
3-6	用紙位置の設定（136桁モード）	**左端合わせ**	中央合わせ	×	○
3-7	136桁モードの有効／無効の切り替え	**無効**	有効	×	○
3-8	ブザー機能の有効／無効の切り替え＊2	有効	**無効**	×	×

＊1 本プリンターでは設定を変更してもグレースケールの網点の細かさは変わりません。
＊2 本プリンターではブザーは鳴りません。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容（続き）

○：有効　×：無効

番号	機　能	0	1	Windows	NPDL
4-1、4-2	（未使用）			×	○
4-3	ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え	**初期化する**	初期化しない	×	○
4-4	FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え	**出力する**	出力しない	×	○
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	**反時計回り**	時計回り	×	○
4-6〜4-8	（未使用）			×	○
5-1	同期コードの無効／有効の切り替え*	**無効**	有効	×	○
5-2〜5-8	（未使用）			×	○
6-1	SETを使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	×	○
6-2〜6-8	（未使用）			×	○
7-1	（未使用）			×	○
7-2	データストローブ信号のデータラッチタイミング［インタフェース1］	**前縁ラッチ**	後縁ラッチ	○	○
7-3〜7-6	（未使用）			×	○
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え	**表示する**	表示しない	×	○
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え	**自動縮小する**	自動縮小しない	×	○
8-1〜8-4	（未使用）			×	○
8-5〜8-6	ビジィアクノリッジ（BUSY－$\overline{\text{ACK}}$）のタイミング［インタフェース1］	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY－$\overline{\text{ACK}}$のタイミングを切り替えます。 **タイミングA**　（8-1：0、8-2：0）		○	○
8-7〜8-8	アクノリッジ（$\overline{\text{ACK}}$）の幅［インタフェース1］	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、$\overline{\text{ACK}}$の幅を切り替えます。 **1µs**（8-3：0、8-4：0）		○	○
9-1	（未使用）			×	○
9-2	同期コード無効／有効の切り替え*［インタフェース1］	**無効**	有効	×	○
9-3〜9-6	（未使用）			×	○
9-7	印刷向き180度回転	**無効**	有効	×	○
9-8	（未使用）			×	○
10-1〜10-8	（未使用）			×	○

*　本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源を再投入してください。

メモリースイッチの詳細

1-1～1-3 各国文字の切り替え

3つのメモリースイッチの組み合わせにより各国文字を切り替えます。

国別文字セット	1-1	1-2	1-3
＜日本＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞
アメリカ	0	1	0
イギリス	1	1	0
ドイツ	0	0	1
スウェーデン	1	0	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。
表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字となります。国別の文字については「国別相違点」（430ページ）をご覧ください。

1-4 グレースケールの網点の切り替え

グレースケールのパターンを切り替えます。本プリンターではこの設定を変更しても網点の細かさは変わりません。

1-5 DC1、DC3の有効／無効の切り替え

DC1およびDC3を有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

1-6 自動復帰改行の切り替え

バッファーフル印刷を行うとき、「復帰のみ」か、「復帰改行」かを切り替えます。

1-7 印刷指令の切り替え

印刷指令をCRのみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC bを有効にするかを切り替えます。

1-8 CR機能の切り替え

印刷指令コードCRを受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。

2-1 1バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え

1バイト（8ビット）コード系の数字ゼロを「0」と印刷するか、「Ø」と印刷するかを切り替えます。

2-2 エミュレーションモードの切り替え

エミュレーションモードを201PLエミュレーションにするか、ページプリンター（NPDL）にするかを切り替えます。

2-3 グラフィックモードの切り替え

横ドット数をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

2-6　7ビット／8ビットデータの切り替え

インターフェースのデータが7ビット有効か、8ビット有効かを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。
ページプリンター（メモリースイッチ2-2=1）時は8ビット有効に固定されます。

2-7　A4ポートレート印刷桁数の切り替え

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。

2-8　B4→A4縮小の縮小率の切り替え

操作パネルの［縮小］スイッチまたは制御コード（FS f）を使って「B4→A4縮小モード」を指定したときに、縮小率を2/3にするか、4/5にするかを切り替えます。

3-1～3-4　印刷開始位置の調整

印刷開始位置の調整を行います。
エミュレーションモードがページプリンター（メモリースイッチ2-2=1）の時には、レフトマージン量の設定になります。
レフトマージン量とは用紙の最左端印刷位置から第一印刷位置までの距離です。
レフトマージン量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。
エミュレーションモードが201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）で136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）の時には、用紙位置の調整量の設定になります。
印刷位置がずれた場合の、用紙位置調整に使用します。
用紙位置調整量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。
調整方向はメモリースイッチ3-5で切り替えます。

レフトマージン量／用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4
＜0インチ＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞
1/10インチ	1	0	0	0
2/10インチ	0	1	0	0
3/10インチ	1	1	0	0
4/10インチ	0	0	1	0
5/10インチ	1	0	1	0
6/10インチ	0	1	1	0
7/10インチ	1	1	1	0
8/10インチ	0	0	0	1
9/10インチ	1	0	0	1
1インチ	0	1	0	1
11/10インチ	1	1	0	1
12/10インチ	0	0	1	1
13/10インチ	1	0	1	1
14/10インチ	0	1	1	1
15/10インチ	1	1	1	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。

3-5

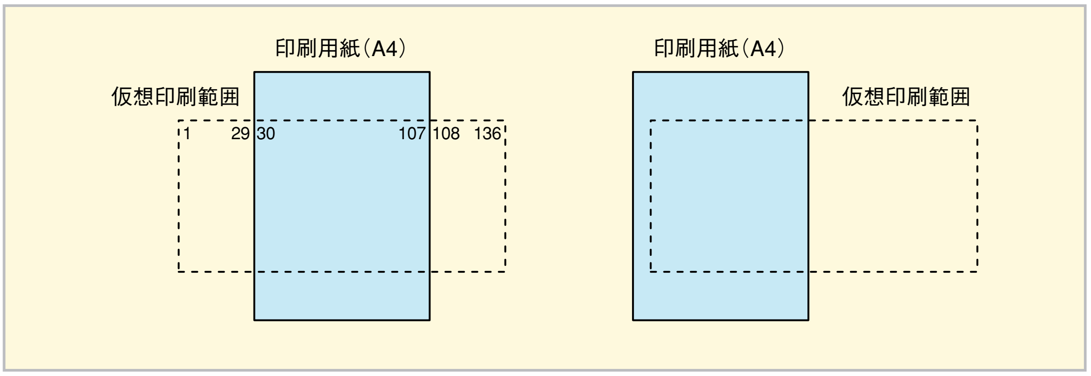
用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）

136桁モードで用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）で136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）時に有効です。

3-6

用紙位置の設定（136桁モード）

136桁モードで用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）で、136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）時に有効です。



3-7

136桁モードの有効／無効の切り替え

136桁モードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

3-8

ブザー機能の有効／無効の切り替え

ブザーを鳴らすか、鳴らさないかを切り替えます。本プリンターでは「ブザーを鳴らす」設定にしても、ブザーは鳴りません。

4-3

ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え

制御コードESC c1での登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。
ESC c1で初期化をしない（メモリースイッチ4-3=1）ときは、ESC c8と同じ機能になります。

4-4

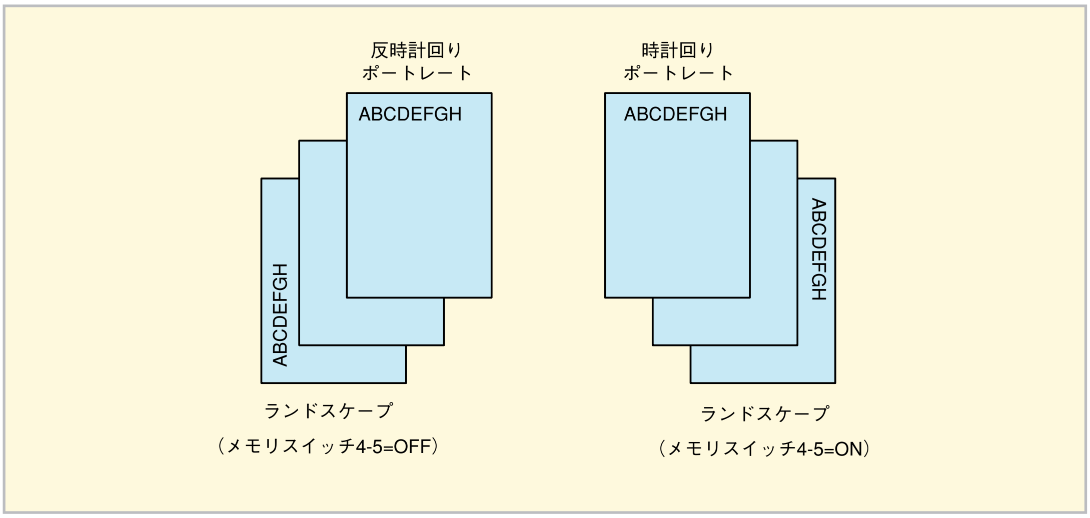
FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え

FFコードのみで白紙を出力するか、しないかを切り替えます。
白紙を出力しない（メモリースイッチ4-4=1）ときは、ESC a、ESC bと同じ機能になります。

4-5

ランドスケープ方向の切り替え

ランドスケープ印刷とポートレート印刷を行ったときのスタッカー上での積み重なり方を切り替えます。



5-1

同期コードの無効／有効の切り替え

同期コードを有効とするか無効とするかを切り替えます。

重要

本メモリースイッチを変更した場合は、プリンターの電源の再投入を行ってください。

6-1

SETを使用する／しないの切り替え

SETを使用するか、しないかを切り替えます。

7-2

データストローブ信号のデータラッチタイミング

［インタフェース1］パラレルインターフェースのデータストローブ信号のデータラッチタイミングを前縁か後縁にするかを切り替えます。

7-7

FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。

7-8

FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え

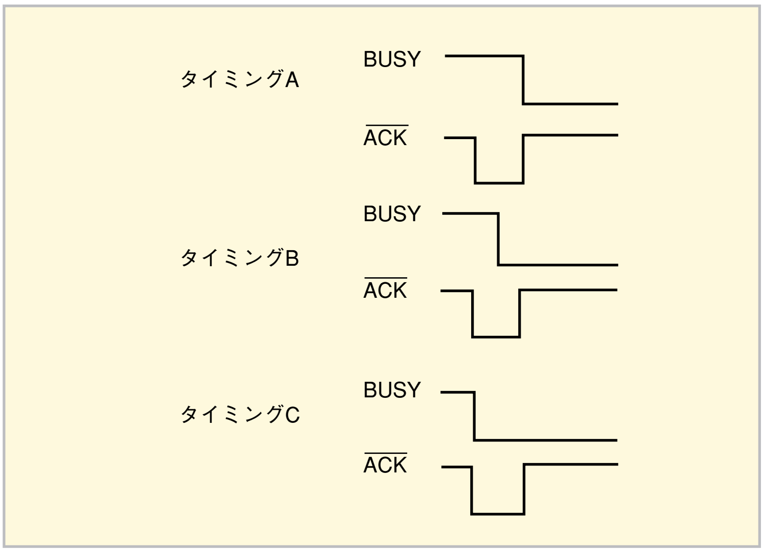
FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、縮小印刷が可能ならば自動縮小をするか、しないかを切り替えます。

8-5、8-6　ビジィアクノリッジ（BUSY－ACK）のタイミング

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、［インタフェース1］のパラレルインターフェースのBUSY－ACKのタイミングを切り替えます。

ACK のタイミング	8-1	8-2
＜タイミングA＞	＜0＞	＜0＞
タイミングB	1	0
タイミングC	0	1
タイミングA	1	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。



8-7、8-8　アクノリッジ（ACK）の幅の切り替え

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、［インタフェース1］のパラレルインターフェースのACKの幅を切り替えます。

ACK の幅	8-3	8-4
4μs	1	0
＜1μs＞	＜0＞	＜0＞
2μs	0	1
10μs	1	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。

ACKの幅を短く設定すると、高速にデータを受信することができます。ただし、接続されたコンピューターによっては、うまく受信できない場合があります。その場合は、ACKの幅を長くして使用してください。

9-2　同期コードの無効／有効の切り替え［インターフェース1］

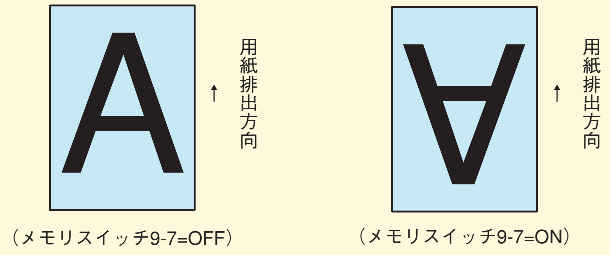
［インタフェース1］のパラレルインターフェースの同期コードを無効とするか有効とするかを切り替えます。

重要

本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源の再投入を行ってください。

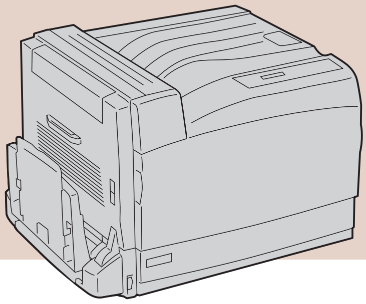
9-7　印刷向き180度回転

印刷イメージを180度回転させて印刷するかしないかを切り替えます。
本スイッチが1（ON）の場合、メモリースイッチ4-5の設定は無効になります。



メ　モ

3章
プリンタードライバー



プリンタードライバーはColor MultiWriter 9700Cで印刷を行うためのソフトウエアです。この章ではプリンタードライバーを使用した以下の設定について説明します。

プリンタードライバーのインストール方法、および文書の印刷方法についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

プロパティダイアログボックス

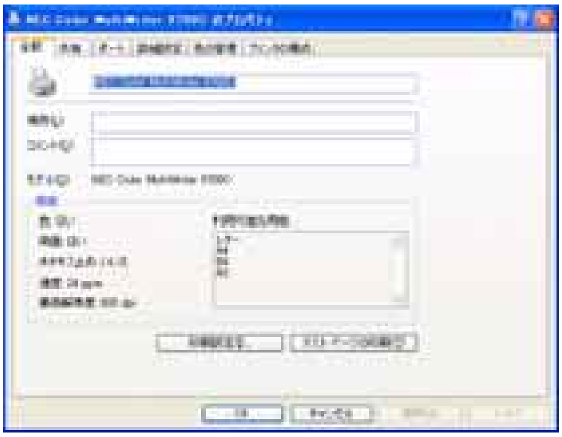
Color MultiWriter 9700Cでは［プロパティダイアログボックス］と呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。ここではプロパティダイアログボックスの開き方とダイアログボックスの設定の概要を各OSに分けて説明します。

Windows XP、Windows Server 2003の場合

Windows XP、Windows Server 2003では、印刷の詳細な設定は以下の2つのダイアログボックスで行います。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックス

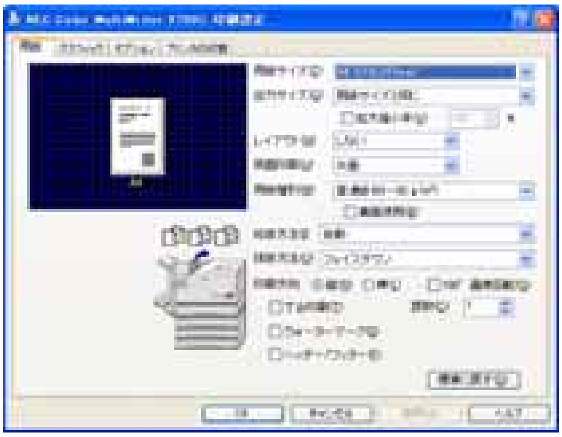
このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。



- ［全般］シート
- ［共有］シート
- ［ポート］シート
- ［詳細設定］シート
- ［色の管理］シート
- ［セキュリティ］シート（通常は表示されません）
- ［プリンタの構成］シート

［印刷設定］ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。また、ダイアログボックス内の設定は自由に組み合わせて登録することができます（「プリセットメニューの設定内容」（278ページ）および3章の「プリセットメニュー」（317ページ）参照）。



- ［用紙］シート
- ［グラフィック］シート
- ［オプション］シート
- ［プリンタの状態］シート

プロパティダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

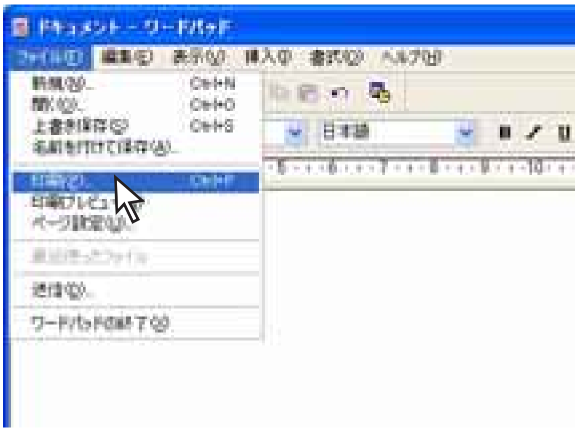
- アプリケーションのメニューから開く方法
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目など表示できないことがあります。アプリケーションから呼び出せるのは印刷の設定を行う［印刷設定］ダイアログボックスだけです。
- タスクバー上の［スタート］から開く方法
  ダイアログボックスの設定は［印刷設定］、［プリンタのプロパティ］ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

アプリケーションから開く

アプリケーションから［印刷設定］ダイアログボックスを開く場合、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドか［プリンタの設定］コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合［ファイル］メニューの中にありますが、［ファイル］メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。）

ここではWindows XP、Windows Server 2003に添付されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって、［印刷設定］ダイアログボックスを呼び出す手順を説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

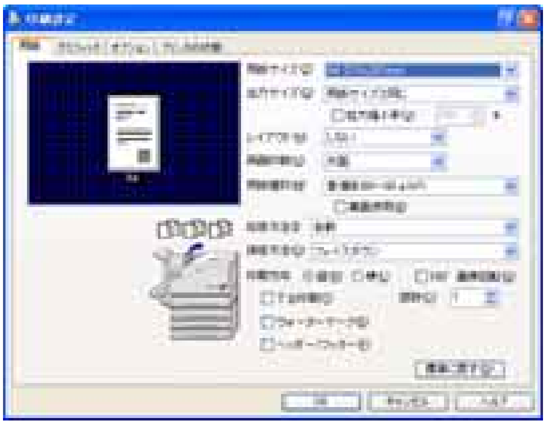
❶ **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。**



❷ **［詳細設定］をクリックする。**



以下のような［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要（印刷設定）」を参照してください。



［スタート］ボタンから開く

［スタート］ボタンからプロパティダイアログボックスを開く場合は、以下の手順で行ってください。

❶ **［プリンタとFAX］フォルダーを開く。**

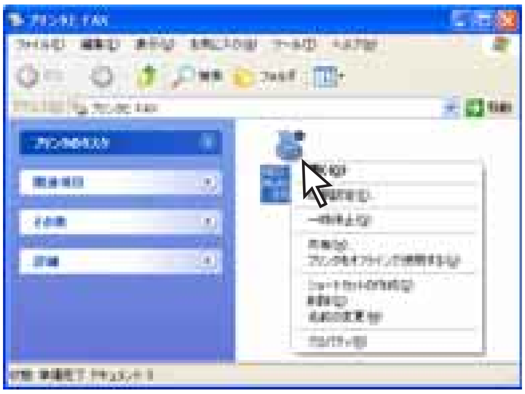
Windows XP Home Editionの場合は、コントロールパネルの［プリンタとその他のハードウェア］をクリックし、［プリンタとFAX］フォルダーを開きます。



❷ **［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンを右クリックする。**

プリンターのアイコンが選択され、メニューが表示されます。

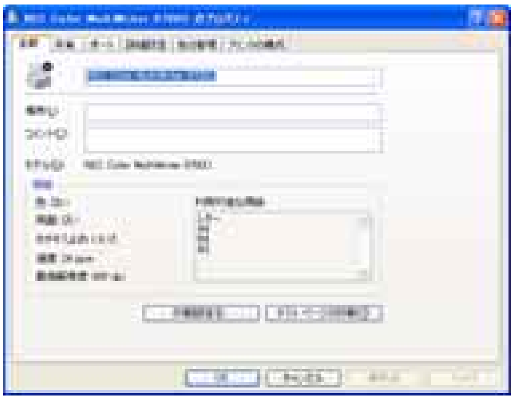
［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを開きたい場合は手順❸へ、［印刷設定］ダイアログボックスを開きたい場合は手順❹へ進みます。



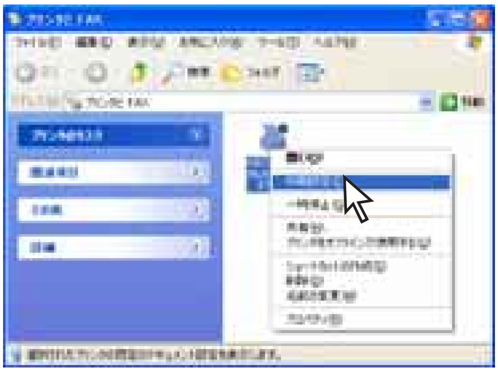
❸ **［プロパティ］をクリックして、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを開く。**



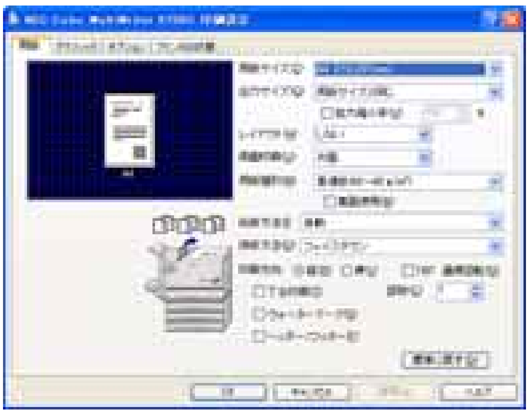
以下のような［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要（プリンタのプロパティ）」を参照してください。



❹ **［印刷設定］をクリックして、［印刷設定］ダイアログボックスを開く。**



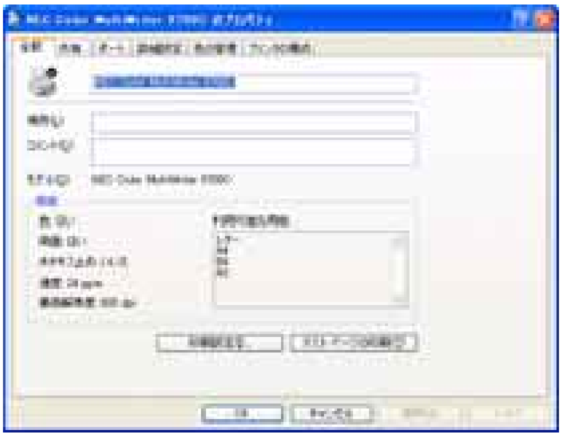
以下のような［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要（印刷設定）」を参照してください。



設定の概要（プリンタのプロパティ）

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプを表示することができます。

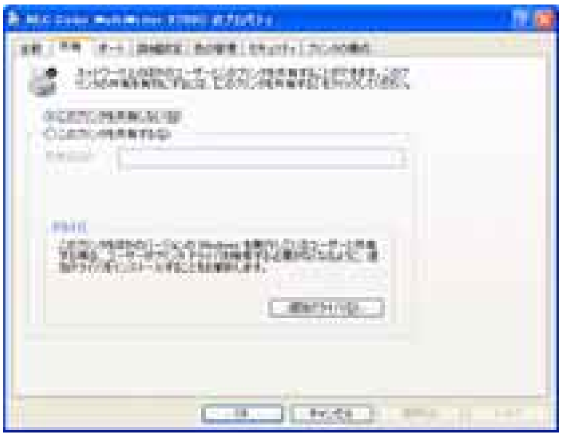
［全般］シート



このプロパティシートはあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows XP、Windows Server 2003 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定を変更する必要はありません。

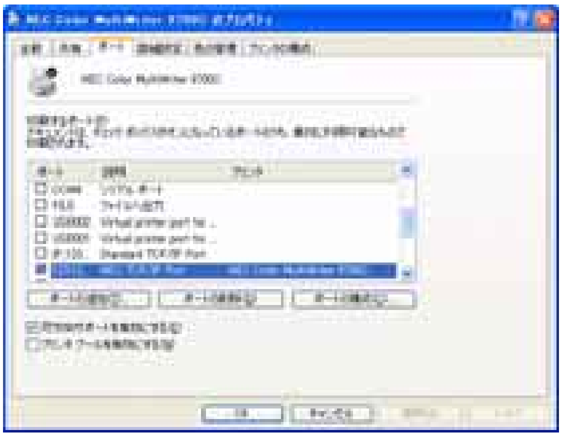
［共有］シート



このプロパティシートはWindows XP、Windows Server 2003 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

プリンターを共有するときの設定を行うシートです。

［ポート］シート



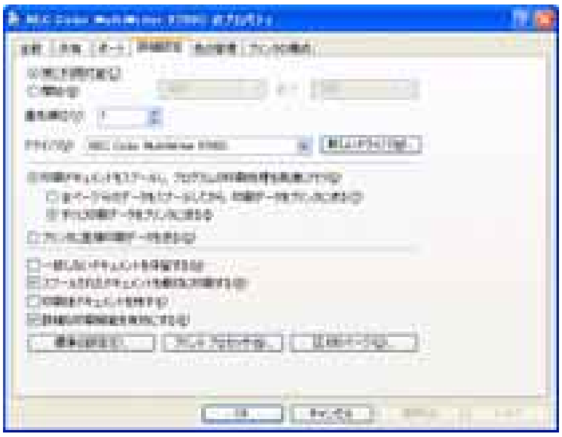
このプロパティシートはWindows XP、Windows Server 2003 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

チェック

PrintAgentを使用する場合は、［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

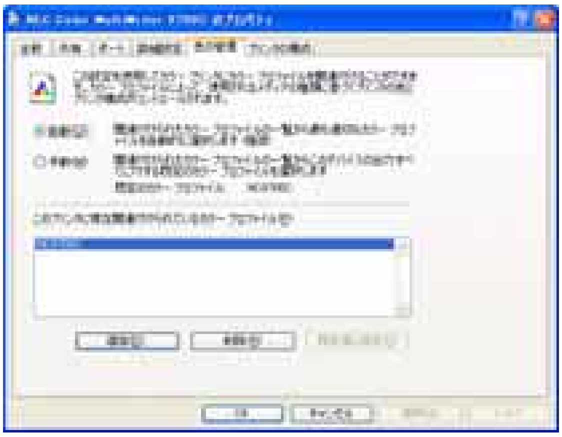
［詳細設定］シート



このプロパティシートはWindows XP、Windows Server 2003 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定を変更する必要はありません。

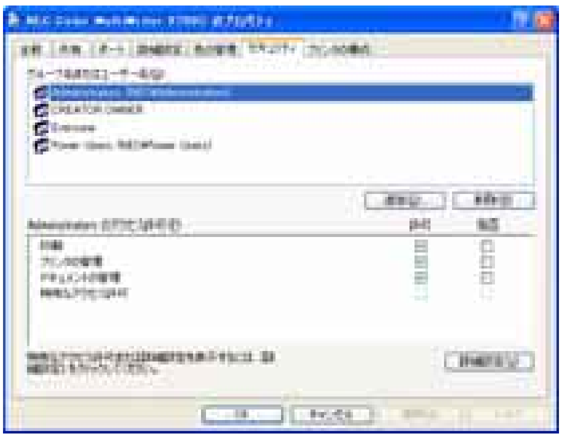
［色の管理］シート



このプロパティシートはWindows XP、Windows Server 2003 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

ICMプロファイルの設定を行うシートです。

［セキュリティ］シート

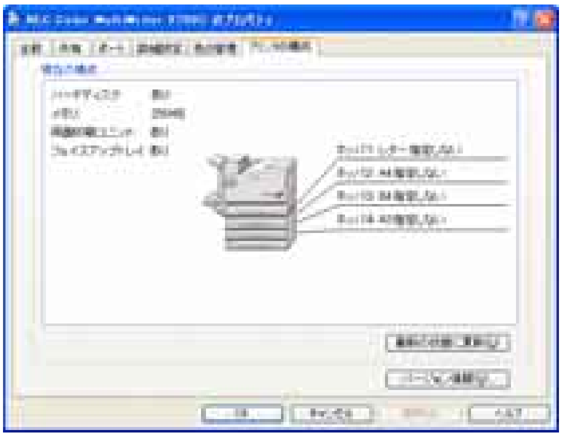


このプロパティシートはWindows XP、Windows Server 2003 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。
通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

「セキュリティ」シートは通常表示されません。表示させるには、以下の手順を行ってください。

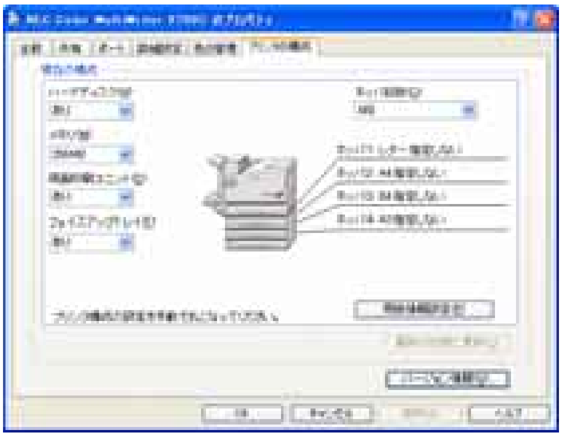
1. ［プリンタとFAX］フォルダーを開く。
2. ［ツール］メニューから［フォルダオプション］をクリックする。
3. 表示された［フォルダオプション］プロパティシートの［表示］タブを選択する。
4. ［詳細設定］の［簡易ファイルの共有を使用する（推奨）］のチェックをはずし、［OK］をクリックする。

［プリンタの構成］シート



双方向通信の場合

このプロパティシートは現在のプリンターの状態（オプション、ホッパー）を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合［最新の状態に更新］をクリックすると最新の情報を取得することができます。



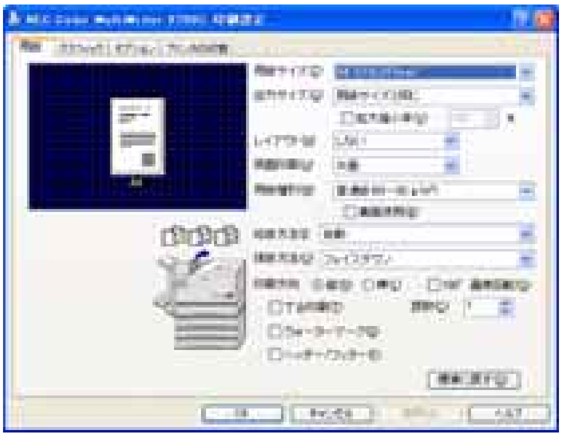
片方向通信の場合

片方向通信を行っている場合は、手動でプリンターの構成を設定できます。

設定の概要（印刷設定）

［印刷設定］ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。

［用紙］シート



このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。

- 用紙サイズ
- 出力サイズ
- 拡大縮小率
- レイアウト
- 両面印刷
- 用紙種別
- 裏面使用
- 給紙方法
- 排紙方法
- 印刷方向
- 180°　画像回転
- 丁合印刷
- 部数
- ウォーターマーク
- ヘッダー／フッター

「用紙サイズ」

原稿の用紙サイズを選択します。

> ✔チェック
>
> はがき、往復はがき、封筒（洋形4号）、定形外（ユーザ定義）または長尺紙を選択すると自動的に給紙方法は「手差しトレー」に変更されます。

「出力サイズ」

印刷する用紙サイズを設定します。初期設定では「用紙サイズと同じ」が設定されています。

「拡大縮小率」

用紙サイズと出力サイズから自動的に最適な値を計算してセットします。チェックボックスをチェックすることにより手動で調整することも可能です。



「レイアウト」

印刷レイアウトに関する以下の設定を行うものです。

- 複数ページレイアウト（2アップ、4アップ、8アップ）
- 分割拡大印刷（2×2、3×3、4×4）

［複数ページレイアウト（2アップ、4アップ、8アップ）］

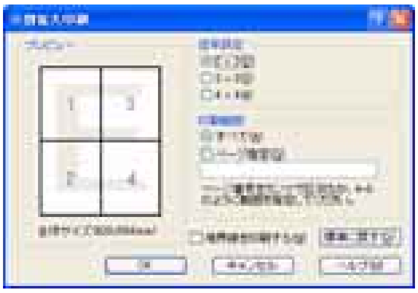
複数ページレイアウト（2アップ、4アップ、8アップ）は、1枚の用紙に複数ページの印刷データを配置して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［複数ページレイアウト印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。



- ページ配置
  ページの配置数を2、4、8ページから設定します。
- ページレイアウト
  印刷するページの配置を設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

［分割拡大印刷（2×2、3×3、4×4）］

分割拡大印刷（2×2、3×3、4×4）は、ポスターなど大判サイズの印刷データを複数のページに分割して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［分割拡大印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。A4用紙を使用した場合、最大約A0サイズ相当のポスターを作成できます。印刷範囲、境界線の有無など詳細な設定ができます。



- 倍率設定
  拡大するページ数を設定します。2×2、3×3、4×4の中から選択してください。（用紙によっては選択できない分割があります。）
- 印刷範囲
  印刷するページを設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

「両面印刷」

片面印刷、両面印刷、および製本印刷に関する設定を行うものです。それぞれ［詳細］をクリックするとダイアログボックスを表示し、詳細な設定ができます。

チェック

次の条件を満たしていないと両面印刷、製本印刷を選択することができません。また、「複数ページレイアウト」を選択している場合は、製本印刷はできません。

- オプションの両面印刷ユニット（型番：PR-L9700C-DL）を装着していること
- 用紙種別で「普通紙」、［再生紙」、［やや厚紙］が選択されていること
- 設定されている用紙サイズがはがき、往復はがき、封筒、ユーザ定義、長尺紙でないこと
- 分割拡大印刷を選択していないこと

［片面］

表面にだけ印刷されます。

［両面］

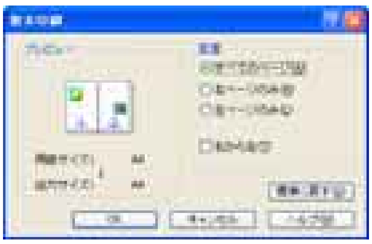
自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。［詳細］をクリックすると、［両面印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。



- 印刷位置調整
  ページ左余白からの印刷位置を0〜20mmの範囲で指定することができます。
- 裏面を対称に配置する
  チェックすると裏面の印刷範囲の枠が綴じ辺を軸にして表面と対称な位置に配置されます。
- 綴じ方向
  綴じ方を「長辺綴じ」にするか「短辺綴じ」にするか、綴じる順番を右からとするか左からとするかを設定します。

［製本］

製本印刷とは週刊誌のように中綴じの本になるようページを割り付けて印刷する機能です。自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。［詳細］をクリックすると、［製本印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。



- 配置
  製本したときに印刷面はどこに配置されるかを指定します。「すべてのページに配置する」、「右ページのみに配置する」、「左ページのみに配置する」の3通りから選択できます。
- 印刷の順番
  ページを印刷する順番を指定します。［右から左］をチェックすると右開きの本（和書）になります。通常は左開き（洋書）の順番です。

「用紙種別」

使用する用紙の種類や厚さに応じて、最適な印刷モードを選択できます。

- 普通紙
  普通紙（60～80g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- 再生紙
  再生紙（60～80g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- やや厚紙
  やや厚めの用紙（81～105g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- 厚紙
  厚めの用紙（106～169g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- ごく厚紙
  非常に厚い用紙（170～216g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- はがき
  はがきを印刷するのに適したモードです。
- 封筒
  封筒を印刷するのに適したモードです。
- ラベル紙
  ラベル紙を印刷するのに適したモードです。
- コート紙1
  コート紙（106～169g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- コート紙2
  非常に厚いコート紙（170～216g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- OHP
  OHPフィルムを印刷するのに適したモードです。

「裏面使用」

手動両面印刷において、裏面を印刷するときにチェックしてください。

「給紙方法」

給紙元（ホッパ/手差しトレー）をコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「自動」にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパー、手差しトレーから自動的に給紙されます。

> **チェック**
>
> 給紙元を「自動」に設定して手差しトレーから給紙を行う場合、プリンターの操作パネルで手差しトレーの用紙サイズを設定しておく必要があります。手差しトレーの用紙サイズの設定が一致し、給紙方法が「自動」の場合でも、手差しトレーから給紙されます。

「排紙方法」

以下の排紙先を選択することができます。ただし、フェイスアップで排紙するにはオプションのフェイスアップ排出ユニットが必要です。

- フェイスダウン
  先頭ページからページ順に印刷面を下に向けて排紙します。
- フェイスアップ（先頭ページから）
  先頭ページからページ順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスアップ（最終ページから）
  最終ページからページの逆順に印刷面を上に向けて排紙します。

「印刷方向」

用紙を縦向きに使用するか横向きに使用するかを選択します。

「180゜画像回転」

印刷結果を180゜回転して印刷します。

「丁合印刷」

チェックボックスにより丁合い印刷が指定できます。排紙方法、両面印刷の設定に従って印刷順序を示すアイコンも変化します。両面印刷・製本印刷が指定されていると自動的に丁合い印刷が指定されます。

チェック

アプリケーションによっては、プリンターのプロパティから「丁合印刷」を選択しただけでは丁合い印刷が有効にならない場合があります。アプリケーションの印刷設定で「丁合い」、もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合は、アプリケーションの方で丁合い印刷を指定してください。
また、一部のアプリケーションにおいてはアプリケーション自身が丁合い処理を行うため、丁合い印刷を高速に行う「電子ソート」の機能が有効にならない場合があります。

「部数」

印刷する部数を設定します。最大で999部まで指定できます。

「ウォーターマーク」

ウォーターマークとは用紙の決まった部分に透かしを入れたように、透かしを重ねて印刷する機能です。[詳細] をクリックするとダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。ウォーターマークはあらかじめ登録されている12個を含めて、最大50個まで登録することができます。ウォーターマークの追加登録方法に関しては4章の「ウォーターマーク印刷」(315ページ)を参照ください。



- 位置
  マークが印刷される位置を指定します。「中央」、「左上」、「右上」、「左下」、「右下」から指定します。
- 角度
  印刷されるマークの角度を5段階で指定します。ビットマップスタイルのスタンプは角度の指定ができません。
- サイズ
  印刷されるマークのサイズを設定します。
- 濃度
  印刷されるマークの濃度を設定します。
- カラー選択
  印刷されるマークの色を指定します。文字スタイルのスタンプにのみ色の指定ができます。

「ヘッダー／フッター」

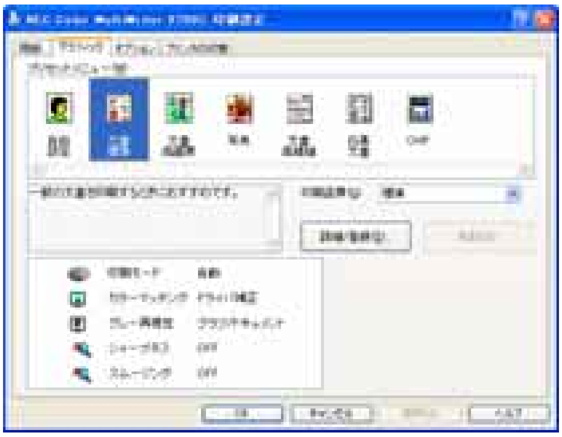
指定した位置にヘッダーもしくはフッターを入れることができます。［詳細］をクリックすると［ヘッダー／フッター］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。



- 位置
  ヘッダー／フッターの位置を設定します。
- 印刷項目
  ヘッダー／フッターの内容を設定します。
- 文字列入力
  ［印刷項目］で［文字列入力］を選択した場合、文字列を入力することができます。
- 文字色
  ヘッダー／フッターの文字の色を設定します。

[グラフィック]シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。



- プリセットメニュー
- 印刷品質

「プリセットメニュー」

一般的な用途で使われる印刷品質・用紙種別に関する設定がスクロールウィンドウ内に登録されています。ウィンドウ内の希望のアイコンをクリックするだけで登録されている設定が印刷文書に反映されます。

あらかじめ登録されているプリセットの内容は以下のとおりです。設定されている内容は左下の設定情報表示エリアに表示されます。

- 文書標準
  一般的な文書を高速に印刷する場合に適した設定です。
- 文書高画質
  一般的な文書を高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 写真
  写真画像を多く含んだ文書を印刷する場合に適した設定です。
- 文書高精細
  テキストやグラフィックを高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 白黒文書
  カラー文書をモノクロモードで印刷するときの設定です。
- OHP
  プレゼンテーション資料などイラストを含んだデータをOHPに印刷する場合の設定です。

チェック

- 初期設定では[文書標準]が選択されています。写真画像が混在した文章を印刷する際に、写真の印刷品質を優先したい場合には、[写真]を選択してください。
- プリセットで設定できる項目の詳細については「カラー調整」(268ページ)、「プリセットメニューの設定内容」(278ページ)をご覧ください。また、オリジナルな設定内容を登録することもできます(登録・削除の方法については4章の「プリセットメニュー」(317ページ)を参照)。

「印刷品質」

以下の印刷品質を選択することができます。印刷品質に関して何を優先するかを選択すると適切な解像度と階調値が設定されます。

- 標準
  印刷速度を重視したモードで、初期設定です。印刷解像度は600dpi です。
- 高画質
  印刷品質を重視したモードです。写真を含んだデータを最もきれいに印刷する設定です。印刷解像度は600dpi です。
- 高精細
  テキスト、写真などを高解像度でシャープに印刷する設定です。印刷解像度は1200dpi です。
- トナーセーブ
  トナーを節約して印刷します。印刷結果は、他のモードに比べて薄くなります。印刷解像度は600dpi です。
- OHP
  OHPを印刷するときの設定です。印刷解像度は600dpi です。

チェック

解像度と階調値について

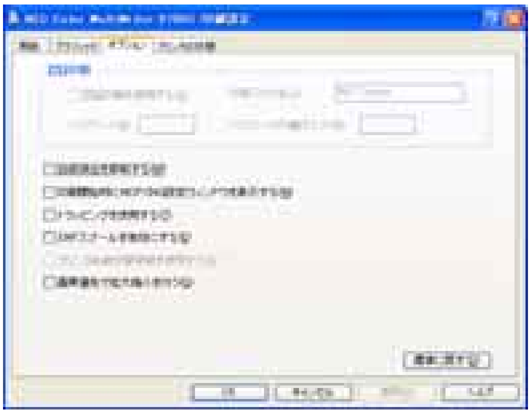
印刷解像度とデータ処理上の解像度は、異なる場合があります。一般に解像度が高く階調値が多いほど高品質な印刷結果が得られます。ただし、データ処理に時間を要するため印刷速度は遅くなります。

- 解像度： 画像の細かさ、線の滑らかさに影響します。文字、線、画像については解像度が高い方がギザギザの少ない印刷結果に仕上がります。また、一部のアプリケーションの設定で「ピクセル単位で印刷」のような設定をした場合には画像の大きさが異なって印刷される場合があります。
- 階調： 色調のなめらかさに影響します。写真画像を印刷する場合には「多値」の方が彩り多く印刷されます。

本プリンターでは、印刷データに合わせて印刷品質を選択できます。各モードにおけるデータ処理上の解像度と階調値は以下の表を参照してください。

モード	テキスト	線画	写真	階調値
標準	600×600 dpi	300×300 dpi	300×300 dpi	多値
トナーセーブ	600×600 dpi	300×300 dpi	300×300 dpi	多値
OHP	600×600 dpi	300×300 dpi	300×300 dpi	多値
高画質	600×600 dpi	600×600 dpi	300×300 dpi	多値
高精細	1200×1200 dpi	600×600 dpi	600×600 dpi	2値

［オプション］シート



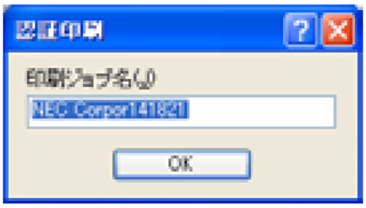
このプロパティシートでは認証印刷機能、白紙排出抑制機能などの設定を行うことができます。

> チェック
>
> 認証印刷機能を使用するためにはプリンターにオプションのハードディスクが装着されている必要があります。

「認証印刷を使用する」

チェックボックスをオンにすると印刷データはプリンターのハードディスクにいったん保存されます。保存したデータはプリンターの操作パネルを使って印刷することができます。保存された印刷データを識別・認証するために印刷ジョブ名、パスワードを設定します。

- 印刷ジョブ名
  半角文字で10文字まで指定することができます。印刷開始時には印刷ジョブ名に続いて時刻が追加されます。
- パスワード
  0～9までの数字で4桁を指定します。いったん入力すると確認のためもう一度同じパスワードを入力するように求められます。



認証印刷を使用する場合、アプリケーションから印刷をする時に次のような認証印刷ダイアログボックスが表示されます。この時、印刷ジョブ名を変更することもできます。認証印刷ダイアログボックスで［OK］をクリックすると、プリンターのハードディスクにデータが転送されます。

> チェック
>
> 印刷時に認証印刷ダイアログボックスが表示されるまでに時間がかかる場合があります。ダイアログボックスが表示されるまでお待ちください。

「白紙排出を抑制する」

チェックボックスをオンにすると白紙ページを印刷しないように抑制することができます。

「印刷開始時にMOPYINGウィンドウを表示する」

チェックボックスをオンにすると印刷開始時に、MOPYINGウィンドウを表示することができます。MOPYINGウィンドウを表示しないときはチェックボックスをオフにしてください。

なお、MOPYING設定ウィンドウは一部のアプリケーションにのみ対応しています。対応アプリケーションや使用する際の注意事項などについては、プリンタードライバーのヘルプ、または添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「¥CMW9700C¥Disk1¥Drivers.txt」をお読みください。

「トラッピングを使用する」

チェックボックスをオンにすると色ズレが目立たないようにオブジェクトを重ねて印刷することができます。

「EMFスプールを有効にする」

アプリケーションによっては、EMFスプールにのみ対応しているものがあります。その場合は、このチェックボックスをオンにしてください。

「プリンタ自動切替機能を使用する」

プリンタ自動切替機能を使用して印刷するかどうかを設定します。片方向の通信時またはプリンタ自動切替用としてプリンターソフトウエアをインストールしていない場合は設定することができません。

「画質優先で拡大縮小を行う」

文字などの印刷品質を考慮して拡大縮小を行います。印刷品質よりもレイアウトを重視して印刷したい場合は、このチェックを外してください。

［プリンタの状態］シート



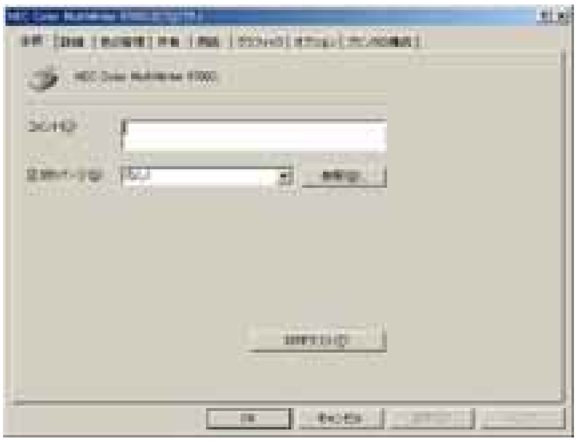
このプロパティシートは現在のプリンターの状態（オプション、ホッパー）を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合に［最新の状態に更新］をクリックすると最新の情報を取得することができます。

次の条件が満たされていると、リプリント機能を使用することができます。

- PrintAgentがインストールされている
- 双方向通信が可能である
- PrintAgentのプロパティでリプリント機能が選択されている

Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合

Windows Me、Windows 98、Windows 95では、印刷の詳細設定はプロパティダイアログボックスで行います。このプロパティダイアログボックスは次のようなプロパティシートで構成されています。



- ［全般］シート＊1
- ［詳細］シート
- ［色の管理］シート＊2
- ［共有］シート＊3
- ［用紙］シート
- ［グラフィック］シート
- ［オプション］シート
- ［プリンタの構成］シート

＊1　お使いのOSによっては［情報］シートと表示されることがあります。

＊2　Windows Me、Windows 98のみ表示されます。

＊3　システムによっては表示されないことがあります。

プロパティダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから開く方法
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また、用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。
- デスクトップ上の［スタート］ボタンから開く方法
  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

アプリケーションから開く

アプリケーションからプロパティダイアログボックスを開く場合、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドか［プリンタの設定］コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合［ファイル］メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。）

ここではWindows Me、Windows 98、Windows 95に添付されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

❶［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

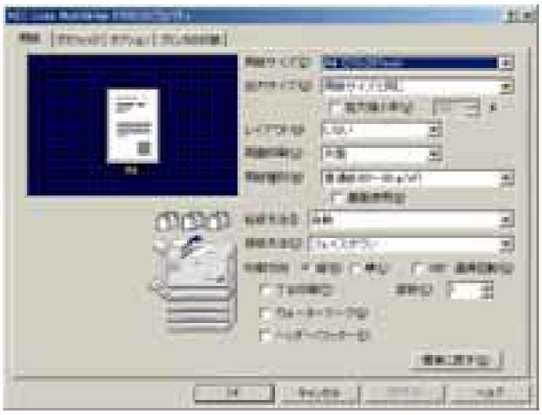
［印刷］ダイアログボックスが開きます。



❷［プロパティ］をクリックする。



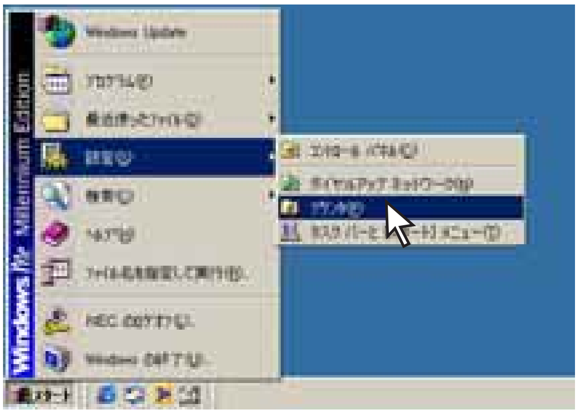
下のようなプロパティダイアログボックスが表示されます。
各プロパティシートについては「設定の概要」を参照してください。



［スタート］ボタンから開く

［スタート］ボタンからプロパティダイアログボックスを開く場合は、以下の手順で行ってください。

❶ **［スタート］ボタンから［設定］－［プリンタ］を選択し、［プリンタ］フォルダーを開く。**



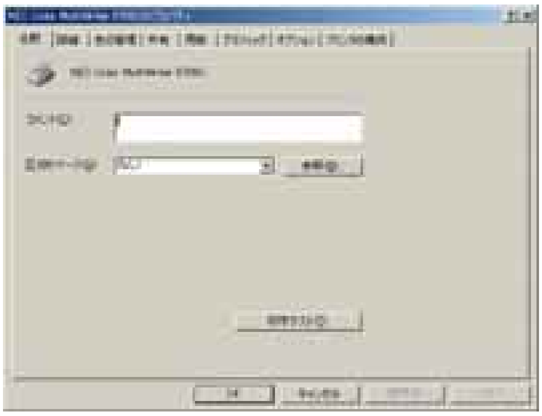
❷ **［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンを右クリックする。**

プリンターのアイコンが選択され、メニューが表示されます。

❸ **メニューの［プロパティ］をクリックする。**



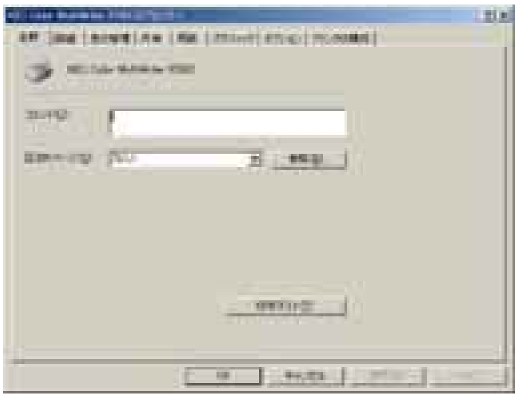
下のようなプロパティダイアログボックスが表示されます。



設定の概要

プロパティダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプを表示することができます。

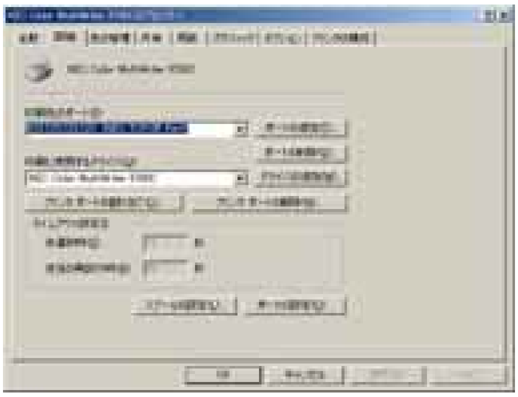
［全般］シート



このプロパティシートはプリンターに関するコメントを設定・表示します。（Windows Me、Windows 98、Windows 95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。）

通常ご使用になっている上では設定を変更する必要はありません。

［詳細］シート

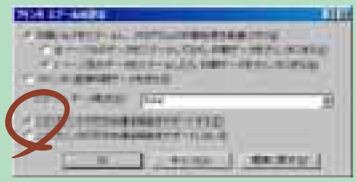


このプロパティシートは印刷先のポートや使用するプリンタードライバーなどを表示・設定します。（Windows Me、Windows 98、Windows 95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。）

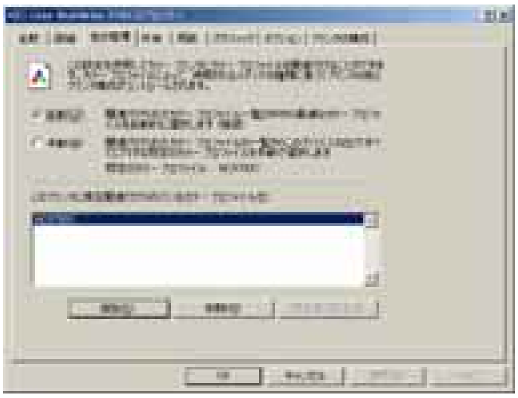
通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありません。

チェック

PrintAgentを使用する場合は［スプールの設定］の［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］（Windows Meでは［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］）を選択してください。

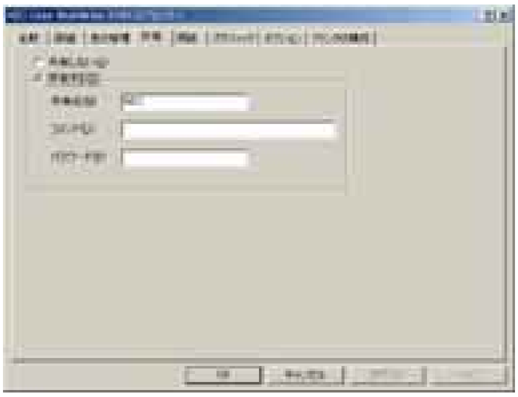


［色の管理］シート



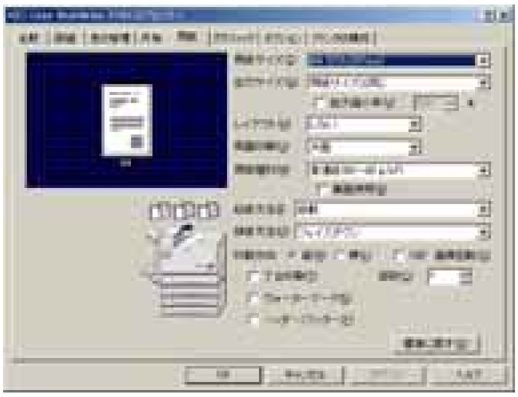
このプロパティシートは色の管理を行うシートです。Windows Me、Windows 98 日本語版の場合のみ表示されます。

[共有] シート



このプロパティシートはプリンターを共有するときの設定を行うシートです。Windows　Me、Windows　98、Windows 95対応のプリンターをネットワークの設定でプリンターを共有できるように設定している場合にのみ表示されます。(Windows Me、Windows 98、Windows 95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。)

[用紙] シート



このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。

- 用紙サイズ
- 出力サイズ
- 拡大縮小率
- レイアウト
- 両面印刷
- 用紙種別
- 裏面使用
- 給紙方法
- 排紙方法
- 印刷方向
- 180°　画像回転
- 丁合印刷
- 部数
- ウォーターマーク
- ヘッダー／フッター

「用紙サイズ」

原稿の用紙サイズを選択します。

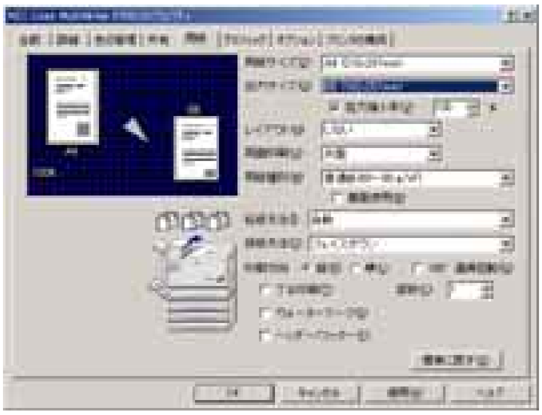
> **チェック**
>
> はがき、往復はがき、封筒（洋型4号）、定形外（ユーザ定義）、または長尺紙を選択すると自動的に給紙方法は「手差しトレー」に変更されます。

「出力サイズ」

印刷する用紙サイズを設定します。初期設定では「用紙サイズと同じ」が設定されています。

「拡大縮小率」

用紙サイズと出力サイズから自動的に最適な値を計算してセットします。チェックボックスをチェックすることにより手動で調整することも可能です。



「レイアウト」

印刷レイアウトに関する以下の設定を行うものです。

- 複数ページレイアウト（2アップ、4アップ、8アップ）
- 分割拡大印刷（2×2、3×3、4×4）

［複数ページレイアウト（2アップ、4アップ、8アップ）］

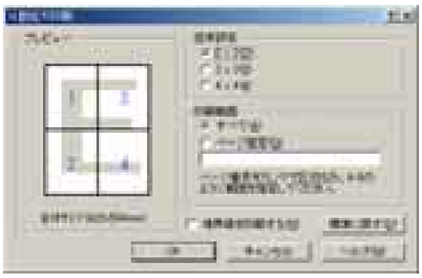
複数ページレイアウト（2アップ、4アップ、8アップ）は、1枚の用紙に複数ページの印刷データを配置して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［複数ページレイアウト印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。



- ページ配置
  ページの配置数を2、4、8ページから設定します。
- ページレイアウト
  印刷するページの配置を設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

［分割拡大印刷（2×2、3×3、4×4）］

分割拡大印刷（2×2、3×3、4×4）は、ポスターなど大判サイズの印刷データを複数のページに分割して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［分割拡大印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。A4用紙を使用した場合、最大約A0サイズ相当のポスターを作成できます。印刷範囲、境界線の有無など詳細な設定ができます。



- 倍率設定
  拡大するページ数を設定します。2×2、3×3、4×4の中から選択してください。（用紙によっては選択できない分割があります。）
- 印刷範囲
  印刷するページを設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

「両面印刷」

片面印刷、両面印刷、および製本印刷に関する設定を行うものです。それぞれ［詳細］をクリックするとダイアログボックスを表示し、詳細な設定ができます。

チェック

次の条件を満たしていないと両面印刷、製本印刷を選択することができません。また、「複数ページレイアウト」を選択している場合は、製本印刷はできません。

- オプションの両面印刷ユニット（型番：PR-L9700C-DL）を装着していること
- 用紙種別で「普通紙」、［再生紙」、［やや厚紙］が選択されていること
- 設定されている用紙サイズがはがき、往復はがき、封筒、ユーザ定義、長尺紙でないこと
- 分割拡大印刷を選択していないこと

［片面］

表面にだけ印刷されます。

［両面］

自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。［詳細］をクリックすると、［両面印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。



- 印刷位置調整
  ページ左余白からの印刷位置を0～20mmの範囲で指定することができます。
- 裏面を対称に配置する
  チェックすると裏面の印刷範囲の枠が綴じ辺を軸にして表面と対称な位置に配置されます。
- 綴じ方向
  綴じ方を「長辺綴じ」にするか「短辺綴じ」にするか、綴じる順番を右からとするか左からとするかを設定します。

［製本］

製本印刷とは週刊誌のように中綴じの本になるようページを割り付けて印刷する機能です。自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。［詳細］をクリックすると、［製本印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。



- 配置
  製本したときに印刷面はどこに配置されるかを指定します。「すべてのページに配置する」、「右ページのみに配置する」、「左ページのみに配置する」の3通りから選択できます。
- 製本の順番
  ページを印刷する順番を指定します。［右から左］をチェックすると右開きの本（和書）になります。通常は左開き（洋書）の順番です。

「用紙種別」

使用する用紙の種類や厚さに応じて、最適な印刷モードを選択できます。

- 普通紙
  普通紙（60～80g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- 再生紙
  再生紙（60～80g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- やや厚紙
  やや厚めの用紙（81～105g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- 厚紙
  厚めの用紙（106～169g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- ごく厚紙
  非常に厚い用紙（170～216g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- はがき
  はがきを印刷するのに適したモードです。
- 封筒
  封筒を印刷するのに適したモードです。
- ラベル紙
  ラベル紙を印刷するのに適したモードです。
- コート紙1
  コート紙（106～169g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- コート紙2
  非常に厚いコート紙（170～216g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- OHP
  OHPフィルムを印刷するのに適したモードです。

「裏面使用」

手動両面印刷において、裏面を印刷するときにチェックしてください。

「給紙方法」

給紙元（ホッパ/手差しトレー）をコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「自動」にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパー、手差しトレーから自動的に給紙されます。

> **チェック**
>
> 給紙元を「自動」に設定して手差しトレーから給紙を行う場合、プリンターの操作パネルで手差しトレーの用紙サイズを設定しておく必要があります。手差しトレーの用紙サイズの設定が一致し、給紙方法が「自動」の場合でも、手差しトレーから給紙されます。

「排紙方法」

以下の排紙先を選択することができます。ただし、フェイスアップで排紙するにはオプションのフェイスアップ排出ユニットが必要です。

- フェイスダウン
  先頭ページからページ順に印刷面を下に向けて排紙します。
- フェイスアップ（先頭ページから）
  先頭ページからページ順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスアップ（最終ページから）
  最終ページからページの逆順に印刷面を上に向けて排紙します。

「印刷方向」

用紙を縦向きに使用するか横向きに使用するかを選択します。

「180°画像回転」

印刷結果を180°回転して印刷します。

「丁合印刷」

チェックボックスにより丁合い印刷が指定できます。排紙方法、両面印刷の設定に従って印刷順序を示すアイコンも変化します。両面印刷・製本印刷が指定されていると自動的に丁合い印刷が指定されます。

チェック

- アプリケーションによっては、プリンターのプロパティから「丁合印刷」を選択しただけでは丁合い印刷が有効にならない場合があります。アプリケーションの印刷設定で「丁合い」、もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合は、アプリケーションの方で丁合い印刷を指定してください。
  また、一部のアプリケーションにおいてはアプリケーション自身が丁合い処理を行うため、丁合い印刷を高速に行う「電子ソート」の機能が有効にならない場合があります。
- クライアント・サーバーシステムにおいて「丁合い」の設定をご使用になるためには、クライアント、サーバー両者にPrintAgentのインストールが必要です。さらにPrintAgentのプロパティにおいて、クライアントでは［共有プリンタを利用する］、サーバーでは［共有プリンタを提供する］をチェックしておく必要があります。ローカル接続、またはネットワーク接続で双方向通信を行っている場合には、このような設定をしなくても丁合い印刷を使用できます。

「部数」

印刷する部数を設定します。最大で999部まで指定できます。

「ウォーターマーク」

ウォーターマークとは用紙の決まった部分に透かしを入れたように、透かしを重ねて印刷する機能です。［詳細］をクリックするとダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。ウォーターマークはあらかじめ登録されている12個を含めて、最大50個まで登録することができます。ウォーターマークの追加登録方法に関しては4章の「ウォーターマーク印刷」（315ページ）を参照ください。



- 位置
  マークが印刷される位置を指定します。「中央」、「左上」、「右上」、「左下」、「右下」から指定します。
- 角度
  印刷されるマークの角度を5段階で指定します。ビットマップスタイルのスタンプは角度の指定ができません。
- サイズ
  印刷されるマークのサイズを設定します。
- 濃度
  印刷されるマークの濃度を設定します。
- カラー選択
  印刷されるマークの色を指定します。文字スタイルのスタンプにのみ色の指定ができます。

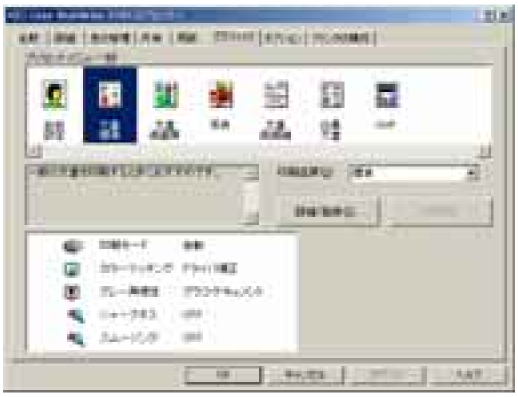
「ヘッダー／フッター」

指定した位置にヘッダーもしくはフッターを入れることがきます。［詳細］をクリックすると［ヘッダー／フッター］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。



- 位置
  ヘッダー／フッターの位置を設定します。
- 印刷項目
  ヘッダー／フッターの内容を設定します。
- 文字列入力
  ［印刷項目］で［文字列入力］を選択した場合、文字列を入力することができます。
- 文字色
  ヘッダー／フッターの文字の色を設定します。

[グラフィック] シート



このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。

- プリセットメニュー
- 印刷品質

「プリセットメニュー」

一般的な用途で使われる印刷品質・用紙種別に関する設定がスクロールウィンドウ内に登録されています。ウィンドウ内の希望のアイコンをクリックするだけで登録されている設定が印刷文書に反映されます。

あらかじめ登録されているプリセットの内容は左下のとおりです。設定されている内容は左下の設定情報表示エリアに表示されます。

- 文書標準
  一般的な文書を高速に印刷する場合に適した設定です。
- 文書高画質
  一般的な文書を高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 写真
  写真画像を多く含んだ文書を印刷する場合に適した設定です。
- 文書高精細
  テキストやグラフィックを高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 白黒文書
  カラー文書をモノクロモードで印刷するときの設定です。
- OHP
  プレゼンテーション資料などイラストを含んだデータをOHPに印刷する場合の設定です。

チェック

- 初期設定では［文書標準］が選択されています。写真画像が混在した文章を印刷する際に、写真の印刷品質を優先したい場合には、［写真］を選択してください。
- プリセットで設定できる項目の詳細については「カラー調整」（268ページ）、「プリセットメニューの設定内容」（278ページ）をご覧ください。また、オリジナルな設定内容を登録することもできます（登録・削除の方法については4章の「プリセットメニュー」（317ページ）を参照）。

「印刷品質」

以下の印刷品質を選択することができます。印刷品質に関して何を優先するかを選択すると適切な解像度と階調値が設定されます。

- 標準
  印刷速度を重視したモードで、初期設定です。印刷解像度は600dpi です。
- 高画質
  印刷品質を重視したモードです。写真を含んだデータを最もきれいに印刷する設定です。印刷解像度は600dpi です。
- 高精細
  テキスト、写真などを高解像度でシャープに印刷する設定です。印刷解像度は1200dpi です。
- トナーセーブ
  トナーを節約して印刷します。印刷結果は、他のモードに比べて薄くなります。印刷解像度は600dpi です。
- OHP
  OHPを印刷するときの設定です。印刷解像度は600dpi です。

チェック

解像度と階調値について

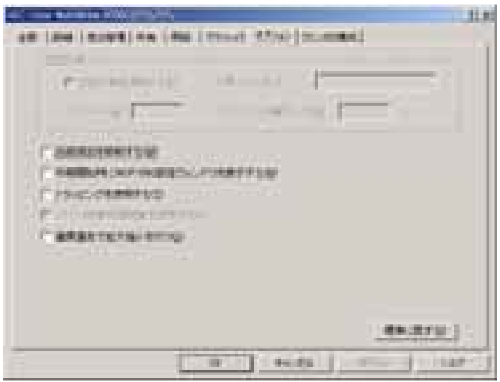
印刷解像度とデータ処理上の解像度は、異なる場合があります。一般に解像度が高く階調値が多いほど高品質な印刷結果が得られます。ただし、データ処理に時間を要するため印刷速度は遅くなります。

- 解像度：　画像の細かさ、線の滑らかさに影響します。文字、線、画像については解像度が高い方がギザギザの少ない印刷結果に仕上がります。また、一部のアプリケーションの設定で「ピクセル単位で印刷」などの設定をした場合には画像の大きさが異なって印刷される場合があります。
- 階調：　色調のなめらかさに影響します。写真画像を印刷する場合には「多値」の方が彩り多く印刷されます。

本プリンターでは、印刷データに合わせて印刷品質を選択できます。各モードにおけるデータ処理上の解像度と階調値は以下の表を参照してください。

モード	テキスト	線画	写真	階調値
標準	600×600 dpi	300×300 dpi	300×300 dpi	多値
トナーセーブ	600×600 dpi	300×300 dpi	300×300 dpi	多値
OHP	600×600 dpi	300×300 dpi	300×300 dpi	多値
高画質	600×600 dpi	600×600 dpi	300×300 dpi	多値
高精細	1200×1200 dpi	600×600 dpi	600×600 dpi	2値

［オプション］シート



このプロパティシートでは認証印刷機能、白紙排出抑制機能などの設定を行うことができます。

チェック

認証印刷機能を使用するためにはプリンターにオプションのハードディスクが装着されている必要があります。

「認証印刷を使用する」

チェックボックスをオンにすると印刷データはプリンターのハードディスクにいったん保存されます。保存したデータはプリンターの操作パネルを使って印刷することができます。保存された印刷データを識別・認証するために印刷ジョブ名、パスワードを設定します。

- 印刷ジョブ名
  半角文字で10文字まで指定することができます。印刷開始時には印刷ジョブ名に続いて時刻が追加されます。
- パスワード
  0～9までの数字で4桁を指定します。いったん入力すると確認のためもう一度同じパスワードを入力するように求められます。



認証印刷を使用する場合、アプリケーションから印刷をする時に次のような認証印刷ダイアログボックスが表示されます。この時、印刷ジョブ名を変更することもできます。認証印刷ダイアログボックスで［OK］をクリックすると、プリンターのハードディスクにデータが転送されます。

チェック

印刷時に認証印刷ダイアログボックスが表示されるまでに時間がかかる場合があります。ダイアログボックスが表示されるまでお待ちください。

「白紙排出を抑制する」

チェックボックスをオンにすると白紙ページを印刷しないように抑制することができます。

「印刷開始時にMOPYINGウィンドウを表示する」

チェックボックスをオンにすると印刷開始時に、MOPYINGウィンドウを表示することができます。MOPYINGウィンドウを表示しないときはチェックボックスをオフにしてください。

なお、MOPYING設定ウィンドウは一部のアプリケーションにのみ対応しています。対応アプリケーションや使用する際の注意事項などについては、プリンタードライバーのヘルプ、または添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「¥CMW9700C¥Disk1¥Drivers.txt」をお読みください。

「トラッピングを使用する」

チェックボックスをオンにすると色ズレが目立たないようにオブジェクトを重ねて印刷することができます。

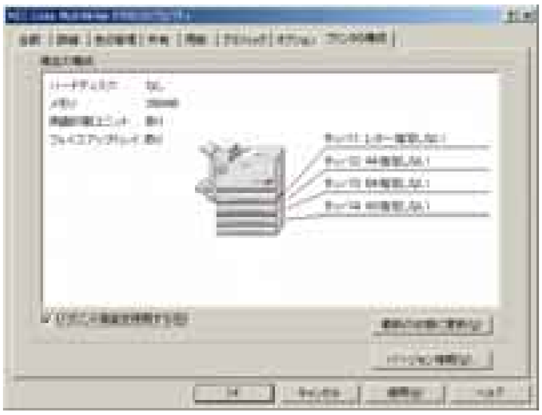
「プリンタ自動切替機能を使用する」

プリンタ自動切替機能を使用して印刷するかどうかを設定します。片方向の通信時またはプリンタ自動切替用としてプリンターソフトウエアをインストールしていない場合は設定することができません。

「画質優先で拡大縮小を行う」

文字などの印刷品質を考慮して拡大縮小を行います。印刷品質よりもレイアウトを重視して印刷したい場合は、このチェックを外してください。

［プリンタの構成］シート



双方向通信の場合

このプロパティシートは現在のプリンターの状態（オプション、ホッパー）を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合に［最新の状態に更新］をクリックすると最新の情報を取得することができます。

次の条件が満たされているとリプリント機能を使用するかどうかを選択することができます。

- PrintAgentがインストールされている
- 双方向通信が可能である
- PrintAgent のプロパティでリプリント機能が選択されている



片方向通信の場合

片方向通信を行っている場合は、手動でプリンターの構成を設定できます。

Windows 2000の場合

Windows 2000では、印刷の詳細な設定は以下の2つのダイアログボックスで行います。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。



- ［全般］シート
- ［共有］シート
- ［ポート］シート
- ［詳細設定］シート
- ［色の管理］シート
- ［セキュリティ］シート
- ［プリンタの構成］シート

［印刷設定］ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。また、ダイアログボックス内の設定は自由に組み合わせて登録することができます（ユーザーズガイドの「プリセットメニュー」参照）。



- ［用紙］シート
- ［グラフィック］シート
- ［オプション］シート
- ［プリンタの状態］シート

プロパティダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから開く方法
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目など表示できないことがあります。アプリケーションから呼び出せるのは印刷の設定を行う［印刷設定］ダイアログボックスだけです。
- タスクバー上の［スタート］から開く方法
  ダイアログボックスの設定は［印刷設定］、［プリンタのプロパティ］ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

アプリケーションから開く

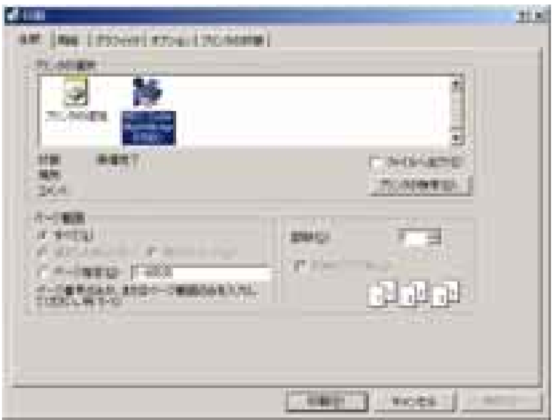
アプリケーションから［印刷設定］ダイアログボックスを開く場合、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドか［プリンタの設定］コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合［ファイル］メニューの中にありますが、［ファイル］メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。）

ここではWindows 2000に添付されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって、［印刷設定］ダイアログボックスを呼び出す手順を説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

❶ **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。**



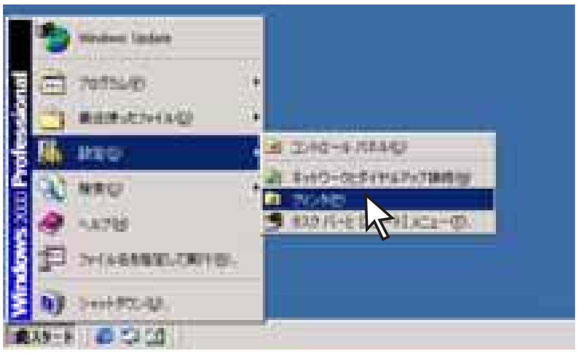
以下のような［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要（印刷設定）」を参照してください。



[スタート] ボタンから開く

[スタート] ボタンからプロパティダイアログボックスを開く場合は、以下の手順で行ってください。

❶ **[プリンタ] フォルダーを開く。**



❷ **[NEC Color MultiWriter 9700C] アイコンを右クリックする。**

プリンターのアイコンが選択され、メニューが表示されます。

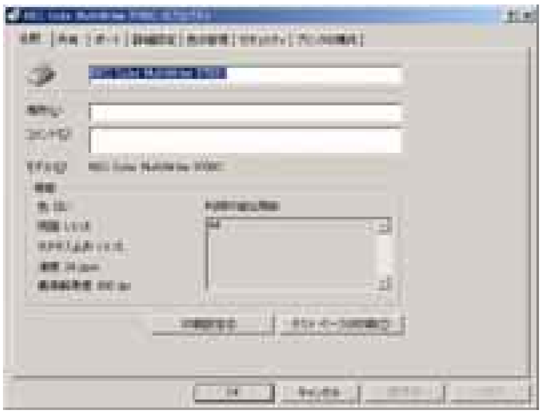
[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを開きたい場合は手順3へ、[印刷設定] ダイアログボックスを開きたい場合は手順4へ進みます。



❸ **[プロパティ] をクリックして、[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを開く。**



以下のような [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要（プリンタのプロパティ）」を参照してください。



❹ **[印刷設定] をクリックして、[印刷設定] ダイアログボックスを開く。**



以下のような [印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要（印刷設定）」を参照してください。



設定の概要（プリンタのプロパティ）

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプを表示することができます。

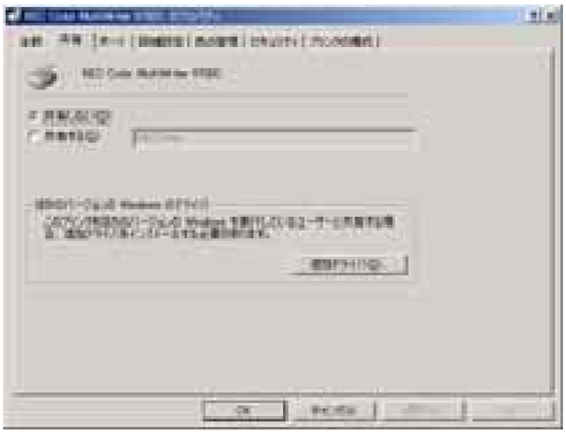
［全般］シート



このプロパティシートはあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

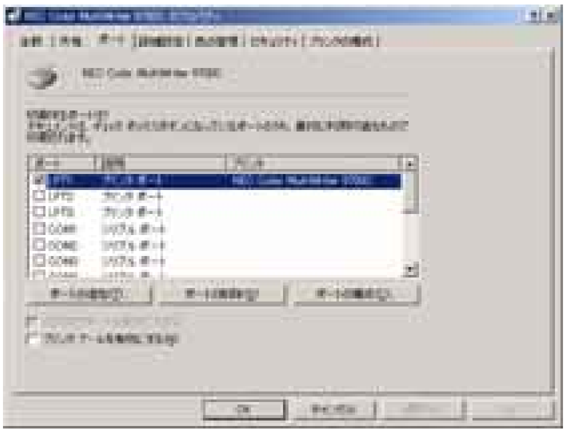
［共有］シート



このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

プリンターを共有するときの設定を行うシートです。

［ポート］シート



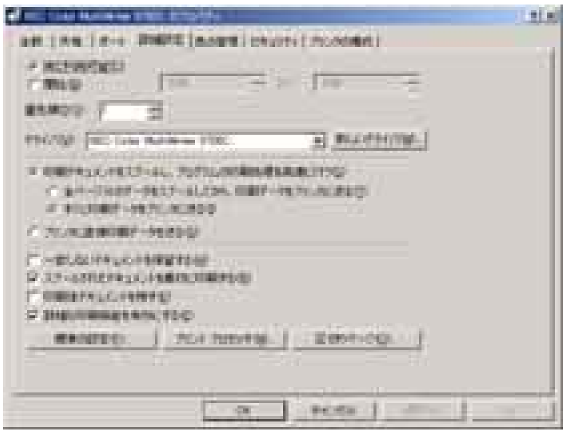
このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

チェック

PrintAgentを使用する場合は、［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

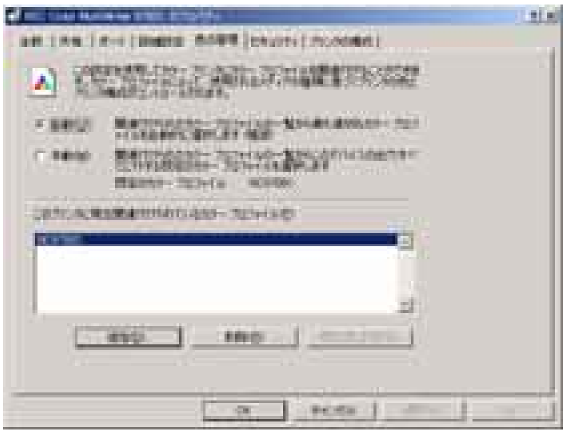
［詳細設定］シート



このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定を変更する必要はありません。

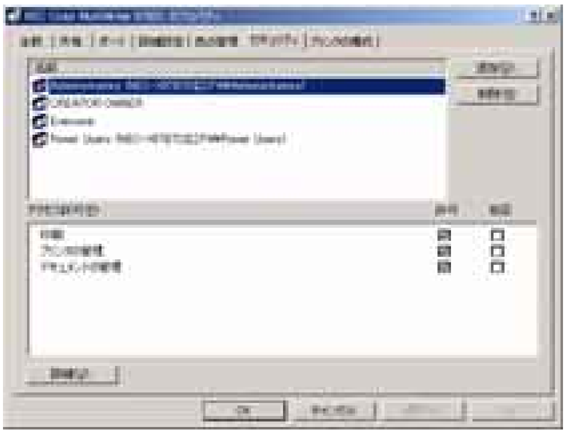
［色の管理］シート



このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

ICMプロファイルの設定を行うシートです。

［セキュリティ］シート



このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

［プリンタの構成］シート



双方向通信の場合

このプロパティシートは現在のプリンターの状態（オプション、ホッパー）を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合に［最新の状態に更新］をクリックすると最新の情報を取得することができます。



片方向通信の場合

片方向通信を行っている場合は、手動でプリンターの構成を設定できます。

設定の概要（印刷設定）

［印刷設定］ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。

［用紙］シート



このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。

- 用紙サイズ
- 出力サイズ
- 拡大縮小率
- レイアウト
- 両面印刷
- 用紙種別
- 裏面使用
- 給紙方法
- 排紙方法
- 印刷方向
- 180°画像回転
- 丁合印刷
- 部数
- ウォーターマーク
- ヘッダー／フッター

「用紙サイズ」

原稿の用紙サイズを選択します。

チェック

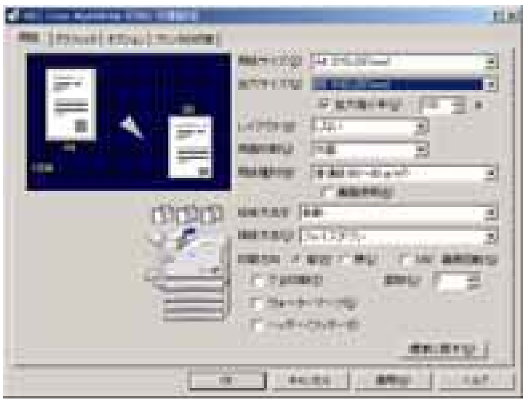
はがき、往復はがき、封筒（洋形4号）、定形外（ユーザ定義）、または長尺紙を選択すると自動的に給紙方法は「手差しトレー」に変更されます。

「出力サイズ」

印刷する用紙サイズを設定します。初期設定では「用紙サイズと同じ」が設定されています。

「拡大縮小率」

用紙サイズと出力サイズから自動的に最適な値を計算してセットします。チェックボックスをチェックすることにより手動で調整することも可能です。



「レイアウト」

印刷レイアウトに関する以下の設定を行うものです。

- 複数ページレイアウト（2アップ、4アップ、8アップ）
- 分割拡大印刷（2×2、3×3、4×4）

［複数ページレイアウト（2アップ、4アップ、8アップ）］

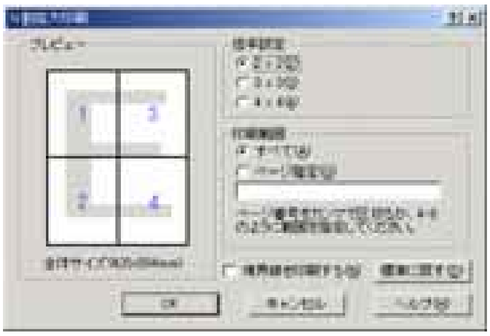
複数ページレイアウト（2アップ、4アップ、8アップ）は、1枚の用紙に複数ページの印刷データを配置して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［複数ページレイアウト印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。



- ページ配置
  ページの配置数を2、4、8ページから設定します。
- ページレイアウト
  印刷するページの配置を設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

［分割拡大印刷（2×2、3×3、4×4）］

分割拡大印刷（2×2、3×3、4×4）は、ポスターなど大判サイズの印刷データを複数のページに分割して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［分割拡大印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。A4用紙を使用した場合、最大約A0サイズ相当のポスターを作成できます。印刷範囲、境界線の有無など詳細な設定ができます。



- 倍率設定
  拡大するページ数を設定します。2×2、3×3、4×4の中から選択してください。（用紙によっては選択できない分割があります。）
- 印刷範囲
  印刷するページを設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

「両面印刷」

片面印刷、両面印刷、および製本印刷に関する設定を行うものです。それぞれ［詳細］をクリックするとダイアログボックスを表示し、詳細な設定ができます。

チェック

次の条件を満たしていないと両面印刷、製本印刷を選択することができません。また、「複数ページレイアウト」を選択している場合は、製本印刷はできません。

- オプションの両面印刷ユニット（型番：PR-L9700C-DL）を装着していること
- 用紙種別で「普通紙」、［再生紙」、［やや厚紙］が選択されていること
- 設定されている用紙サイズがはがき、往復はがき、封筒、ユーザ定義でないこと
- 分割拡大印刷を選択していないこと

［片面］

表面にだけ印刷されます。

［両面］

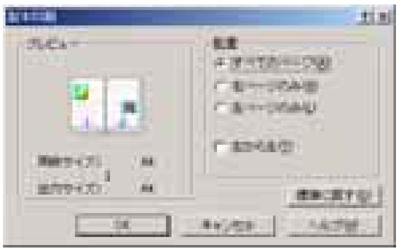
自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。［詳細］をクリックすると、［両面印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。



- 印刷位置調整
  ページ左余白からの印刷位置を0～20mmの範囲で指定することができます。
- 裏面を対称に配置する
  チェックすると裏面の印刷範囲の枠が綴じ辺を軸にして表面と対称な位置に配置されます。
- 綴じ方向
  綴じ方を「長辺綴じ」にするか「短辺綴じ」にするか、綴じる順番を右からとするか左からとするかを設定します。

［製本］

製本印刷とは週刊誌のように中綴じの本になるようページを割り付けて印刷する機能です。自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。［詳細］をクリックすると、［製本印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。



- 配置
  製本したときに印刷面はどこに配置されるかを指定します。「すべてのページに配置する」、「右ページのみに配置する」、「左ページのみに配置する」の3通りから選択できます。
- 印刷の順番
  ページを印刷する順番を指定します。［右から左］をチェックすると右開きの本（和書）になります。通常は左開き（洋書）の順番です。

「用紙種別」

使用する用紙の種類や厚さに応じて、最適な印刷モードを選択できます。

- 普通紙
  普通紙（60～80g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- 再生紙
  再生紙（60～80g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- やや厚紙
  やや厚めの用紙（81～105g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- 厚紙
  厚めの用紙（106～169g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- ごく厚紙
  非常に厚い用紙（170～216g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- はがき
  はがきを印刷するのに適したモードです。
- 封筒
  封筒を印刷するのに適したモードです。
- ラベル紙
  ラベル紙を印刷するのに適したモードです。
- コート紙1
  コート紙（106～169g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- コート紙2
  非常に厚いコート紙（170～216g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- OHP
  OHPフィルムを印刷するのに適したモードです。

「裏面使用」

手動両面印刷において、裏面を印刷するときにチェックしてください。

「給紙方法」

給紙元（ホッパ/手差しトレー）をコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「自動」にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパー、手差しトレーから自動的に給紙されます。

> **チェック**
>
> 給紙元を「自動」に設定して手差しトレーから給紙を行う場合、プリンターの操作パネルで手差しトレーの用紙サイズを設定しておく必要があります。手差しトレーの用紙サイズの設定が一致し、給紙方法が「自動」の場合でも、手差しトレーから給紙されます。

「排紙方法」

以下の排紙先を選択することができます。ただし、フェイスアップで排紙するにはオプションのフェイスアップ排出ユニットが必要です。

- フェイスダウン
  先頭ページからページ順に印刷面を下に向けて排紙します。
- フェイスアップ（先頭ページから）
  先頭ページからページ順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスアップ（最終ページから）
  最終ページからページの逆順に印刷面を上に向けて排紙します。

「印刷方向」

用紙を縦向きに使用するか横向きに使用するかを選択します。

「180゜画像回転」

印刷結果を180゜回転して印刷します。

「丁合印刷」

チェックボックスにより丁合い印刷が指定できます。排紙方法、両面印刷の設定に従って印刷順序を示すアイコンも変化します。両面印刷・製本印刷が指定されていると自動的に丁合い印刷が指定されます。

チェック

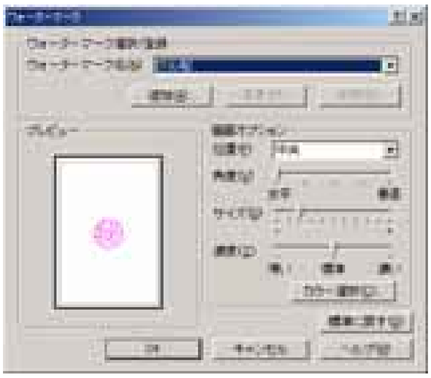
アプリケーションによっては、プリンターのプロパティから「丁合印刷」を選択しただけでは丁合い印刷が有効にならない場合があります。アプリケーションの印刷設定で「丁合い」、もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合は、アプリケーションの方で丁合い印刷を指定してください。
また、一部のアプリケーションにおいてはアプリケーション自身が丁合い処理を行うため、丁合い印刷を高速に行う「電子ソート」の機能が有効にならない場合があります。

「部数」

印刷する部数を設定します。最大で999部まで指定できます。

「ウォーターマーク」

ウォーターマークとは用紙の決まった部分に透かしを入れたように、透かしを重ねて印刷する機能です。[詳細] をクリックするとダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。ウォーターマークはあらかじめ登録されている12個を含めて、最大50個まで登録することができます。ウォーターマークの追加登録方法に関しては4章の「ウォーターマーク印刷」(315ページ)を参照ください。



- 位置
  マークが印刷される位置を指定します。「中央」、「左上」、「右上」、「左下」、「右下」から指定します。
- 角度
  印刷されるマークの角度を5段階で指定します。ビットマップスタイルのスタンプは角度の指定ができません。
- サイズ
  印刷されるマークのサイズを設定します。
- 濃度
  印刷されるマークの濃度を設定します。
- カラー選択
  印刷されるマークの色を指定します。文字スタイルのスタンプにのみ色の指定ができます。

「ヘッダー／フッター」

指定した位置にヘッダーもしくはフッターを入れることができます。［詳細］をクリックすると［ヘッダー／フッター］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。



- 位置
  ヘッダー／フッターの位置を設定します。
- 印刷項目
  ヘッダー／フッターの内容を設定します。
- 文字列入力
  ［印刷項目］で［文字列入力］を選択した場合、文字列を入力することができます。
- 文字色
  ヘッダー／フッターの文字の色を設定します。

［グラフィック］シート



このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。

- プリセットメニュー
- 印刷品質

「プリセットメニュー」

一般的な用途で使われる印刷品質・用紙種別に関する設定がスクロールウィンドウ内に登録されています。ウィンドウ内の希望のアイコンをクリックするだけで登録されている設定が印刷文書に反映されます。

あらかじめ登録されているプリセットの内容は以下のとおりです。設定されている内容は左下の設定情報表示エリアに表示されます。

- 文書標準
  一般的な文書を高速に印刷する場合に適した設定です。
- 文書高画質
  一般的な文書を高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 写真
  写真画像を多く含んだ文書を印刷する場合に適した設定です。
- 文書高精細
  テキストやグラフィックを高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 白黒文書
  カラー文書をモノクロモードで印刷するときの設定です。
- OHP
  プレゼンテーション資料などイラストを含んだデータをOHPに印刷する場合の設定です。

チェック

- 初期設定では［文書標準］が選択されています。写真画像が混在した文章を印刷する際に、写真の印刷品質を優先したい場合には、［写真］を選択してください。
- プリセットで設定できる項目の詳細については「カラー調整」（268ページ）、「プリセットメニューの設定内容」（278ページ）をご覧ください。また、オリジナルな設定内容を登録することもできます（登録・削除の方法については4章の「プリセットメニュー」（317ページ）を参照）。

「印刷品質」

以下の印刷品質を選択することができます。印刷品質に関して何を優先するかを選択すると適切な解像度と階調値が設定されます。

- 標準
  印刷速度を重視したモードで、初期設定です。印刷解像度は600dpi です。
- 高画質
  印刷品質を重視したモードです。写真を含んだデータを最もきれいに印刷する設定です。印刷解像度は600dpiです。
- 高精細
  テキスト、写真などを高解像度でシャープに印刷する設定です。印刷解像度は1200dpi です。
- トナーセーブ
  トナーを節約して印刷します。印刷結果は、他のモードに比べて薄くなります。印刷解像度は600dpi です。
- OHP
  OHPを印刷するときの設定です。印刷解像度は600dpi です。

チェック

解像度と階調値について

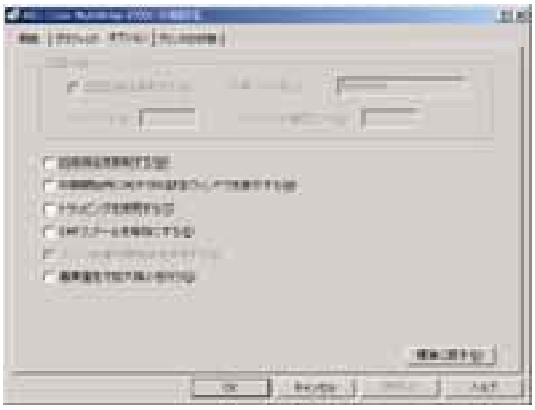
印刷解像度とデータ処理上の解像度は、異なる場合があります。一般に解像度が高く階調値が多いほど高品質な印刷結果が得られます。ただし、データ処理に時間を要するため印刷速度は遅くなります。

- 解像度：　画像の細かさ、線の滑らかさに影響します。文字、線、画像については解像度が高い方がギザギザの少ない印刷結果に仕上がります。また、一部のアプリケーションの設定で「ピクセル単位で印刷」などの設定をした場合には画像の大きさが異なって印刷される場合があります。
- 階調：　色調のなめらかさに影響します。写真画像を印刷する場合には「多値」の方が彩り多く印刷されます。

本プリンターでは、印刷データに合わせて印刷品質を選択できます。各モードにおけるデータ処理上の解像度と階調値は以下の表を参照してください。

モード	テキスト	線画	写真	階調値
標準	600×600 dpi	300×300 dpi	300×300 dpi	多値
トナーセーブ	600×600 dpi	300×300 dpi	300×300 dpi	多値
OHP	600×600 dpi	300×300 dpi	300×300 dpi	多値
高画質	600×600 dpi	600×600 dpi	300×300 dpi	多値
高精細	1200×1200 dpi	600×600 dpi	600×600 dpi	2値

[オプション] シート



このプロパティシートでは認証印刷機能、白紙排出抑制機能などの設定を行うことができます。

> ✔チェック
>
> 認証印刷機能を使用するためにはプリンターにオプションのハードディスクが装着されている必要があります。

「認証印刷を使用する」

チェックボックスをオンにすると印刷データはプリンターのハードディスクにいったん保存されます。保存したデータはプリンターの操作パネルを使って印刷することができます。保存された印刷データを識別・認証するために印刷ジョブ名、パスワードを設定します。

- 印刷ジョブ名
  半角文字で10文字まで指定することができます。印刷開始時には印刷ジョブ名に続いて時刻が追加されます。
- パスワード
  0〜9までの数字で4桁を指定します。いったん入力すると確認のためもう一度同じパスワードを入力するように求められます。



認証印刷を使用する場合、アプリケーションから印刷をする時に次のような認証印刷ダイアログボックスが表示されます。この時、印刷ジョブ名を変更することもできます。認証印刷ダイアログボックスで［OK］をクリックすると、プリンターのハードディスクにデータが転送されます。

> ✔チェック
>
> 印刷時に認証印刷ダイアログボックスが表示されるまでに時間がかかる場合があります。ダイアログボックスが表示されるまでお待ちください。

「白紙排出を抑制する」

チェックボックスをオンにすると白紙ページを印刷しないように抑制することができます。

「印刷開始時にMOPYINGウィンドウを表示する」

チェックボックスをオンにすると印刷開始時に、MOPYINGウィンドウを表示することができます。MOPYINGウィンドウを表示しないときはチェックボックスをオフにしてください。

なお、MOPYING設定ウィンドウは一部のアプリケーションにのみ対応しています。対応アプリケーションや使用する際の注意事項などについては、プリンタードライバーのヘルプ、または添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「¥CMW9700C¥Disk1¥Drivers.txt」をお読みください。

「トラッピングを使用する」

チェックボックスをオンにすると色ズレが目立たないようにオブジェクトを重ねて印刷することができます。

「EMFスプールを有効にする」

アプリケーションによっては、EMFスプールにのみ対応しているものがあります。その場合は、このチェックボックスをオンにしてください。

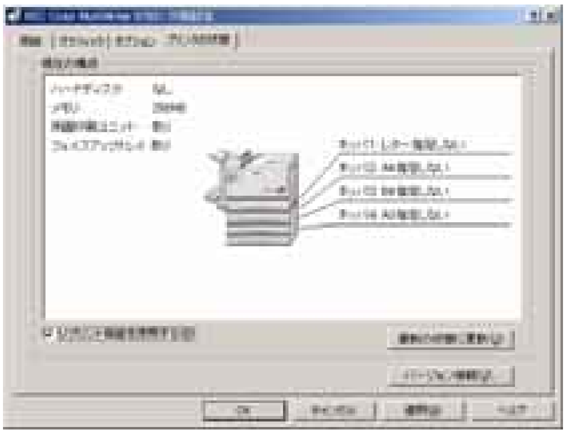
「プリンタ自動切替機能を使用する」

プリンタ自動切替機能を使用して印刷するかどうかを設定します。片方向の通信時またはプリンタ自動切替用としてプリンターソフトウエアをインストールしていない場合は設定することができません。

「画質優先で拡大縮小を行う」

文字などの印刷品質を考慮して拡大縮小を行います。印刷品質よりもレイアウトを重視して印刷したい場合は、このチェックを外してください。

［プリンタの状態］シート



このプロパティシートは現在のプリンターの状態（オプション、ホッパー）を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合に［最新の状態に更新］をクリックすると最新の情報を取得することができます。

次の条件が満たされているとリプリント機能を使用するかどうかを選択することができます。

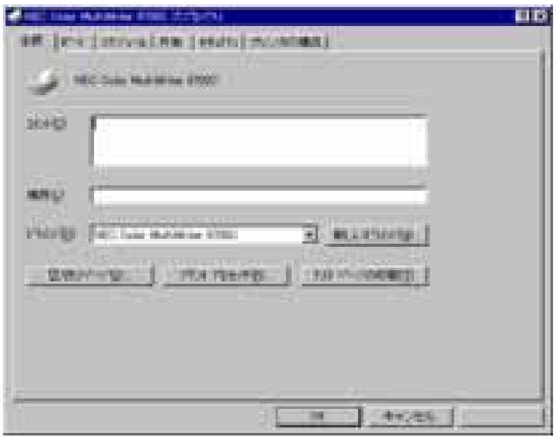
- PrintAgentがインストールされている
- 双方向通信が可能である
- PrintAgent のプロパティでリプリント機能が選択されている

Windows NT 4.0の場合

Windows NT 4.0では、印刷の詳細な設定は以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。



- ［全般］シート
- ［ポート］シート
- ［スケジュール］シート
- ［共有］シート
- ［セキュリティ］シート
- ［プリンタの構成］シート

［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。



- ［用紙］シート
- ［グラフィック］シート
- ［オプション］シート
- ［プリンタの状態］シート

プロパティダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから開く方法
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また、用紙の設定の項目など表示できないことがあります。アプリケーションから呼び出せるのは印刷の設定を行う［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスだけです。
- デスクトップ上の［スタート］ボタンから開く方法
  ダイアログボックスの設定は［プリンタのプロパティ］、［ドキュメントプロパティ］、ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

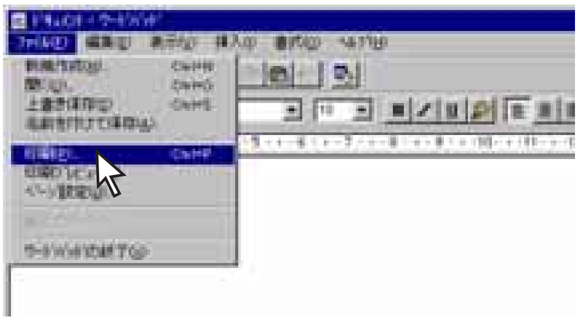
アプリケーションから開く

アプリケーションから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを開く場合、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドか［プリンタの設定］コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合［ファイル］メニューの中にありますが、［ファイル］メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。）

ここではWindows NT 4.0に添付されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを呼び出す手順を説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

❶ **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。**

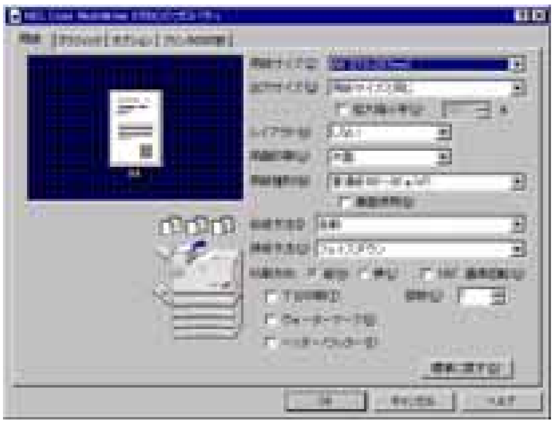
［印刷］ダイアログボックスが表示されます。



❷ **［プロパティ］をクリックする。**



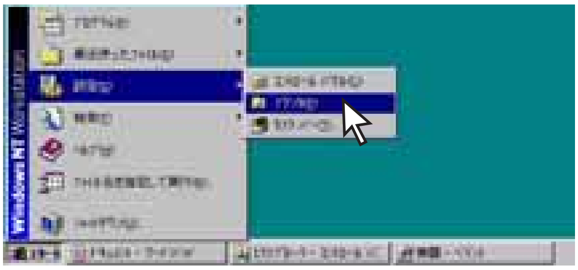
以下のような［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要（印刷設定）」（252ページ）を参照してください。



［スタート］ボタンから開く

［スタート］ボタンからプロパティダイアログボックスを開く場合は、以下の手順で行ってください。

❶ **［プリンタ］フォルダーを開く。**



❷ **［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンを右クリックする。**

プリンターのアイコンが選択され、メニューが表示されます。

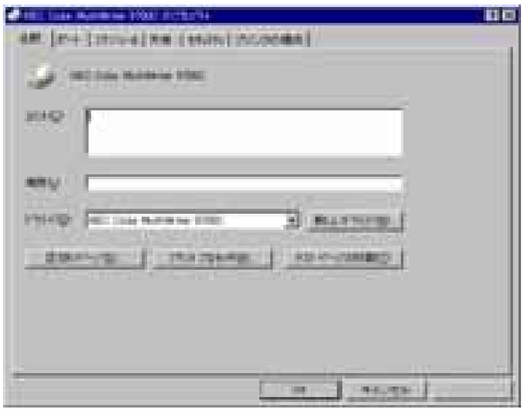
［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを開きたい場合は手順3へ、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを開きたい場合は手順4へ進みます。



❸ **［プロパティ］をクリックして、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを開く。**



以下のような［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要（プリンタのプロパティ）」を参照してください。



❹ **［ドキュメントの既定値］をクリックする。**



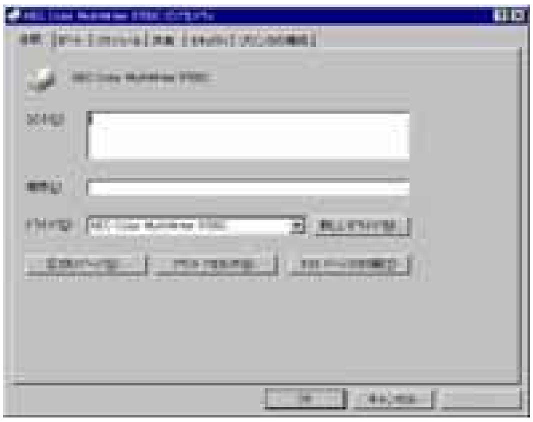
以下のような［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。各プロパティシートについては、「設定の概要（印刷設定）」（252ページ）を参照してください。



設定の概要（プリンタのプロパティ）

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプを表示することができます。

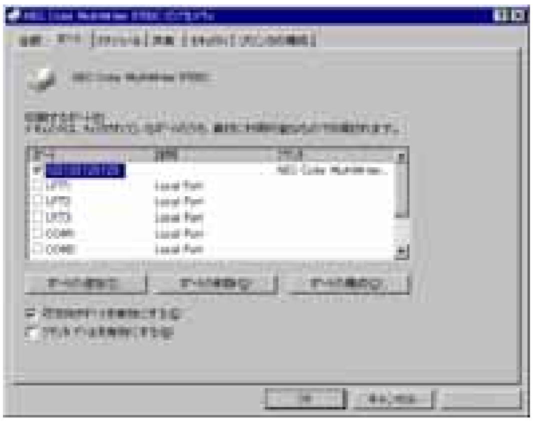
［全般］シート



このプロパティシートはあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

［ポート］シート



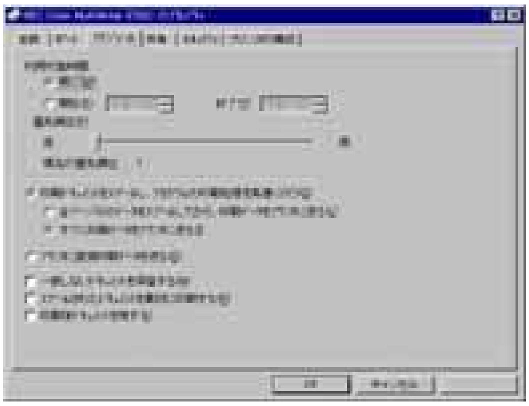
このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

チェック

PrintAgentを使用する場合は、［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

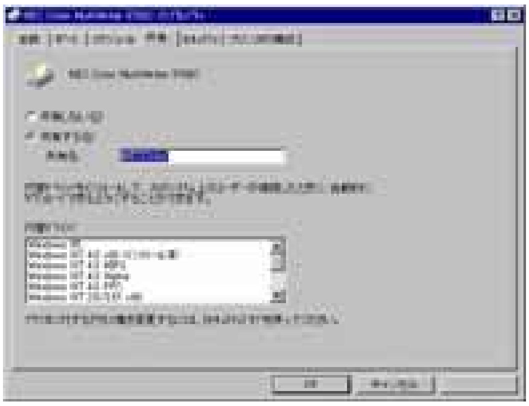
［スケジュール］シート



このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

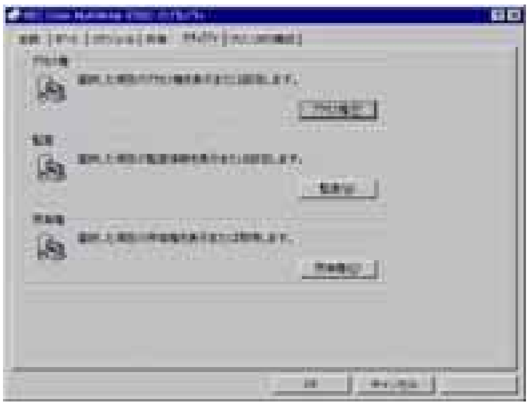
［共有］シート



このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

プリンターを共有するときの設定を行うシートです。

［セキュリティ］シート



このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常、ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

［プリンタの構成］シート



双方向通信の場合

このプロパティシートは現在のプリンターの状態（オプション、ホッパー）を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合［最新の状態に更新］をクリックすると最新の情報を取得することができます。



片方向通信の場合

片方向通信を行っている場合は、手動でプリンターの構成を設定できます。

設定の概要（印刷設定）

［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。

［用紙］シート



このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。

- 用紙サイズ
- 出力サイズ
- 拡大縮小率
- レイアウト
- 両面印刷
- 用紙種別
- 裏面使用
- 給紙方法
- 排紙方法
- 印刷方向
- 180° 画像回転
- 丁合印刷
- 部数
- ウォーターマーク
- ヘッダー／フッター

「用紙サイズ」

原稿の用紙サイズを選択します。

チェック

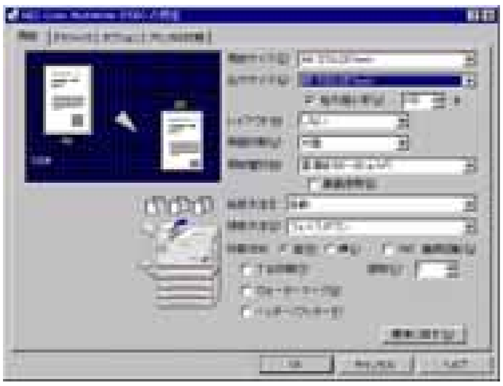
はがき、往復はがき、封筒（洋形４号）、定形外（ユーザ定義）または長尺紙を選択すると自動的に給紙方法は「手差しトレー」に変更されます。

「出力サイズ」

印刷する用紙サイズを設定します。初期設定では「用紙サイズと同じ」が設定されています。

「拡大縮小率」

用紙サイズと出力サイズから自動的に最適な値を計算してセットします。チェックボックスをチェックすることにより手動で調整することも可能です。



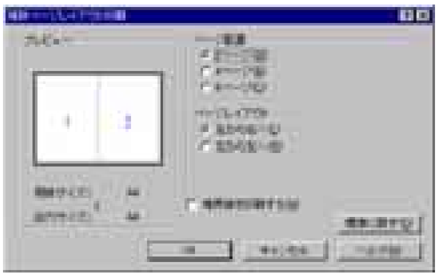
「レイアウト」

このプロパティシートは印刷レイアウトに関する以下の設定を行うものです。

- 複数ページレイアウト（2アップ、4アップ、8アップ）
- 分割拡大印刷（2×2、3×3、4×4）

［複数ページレイアウト（2アップ、4アップ、8アップ）］

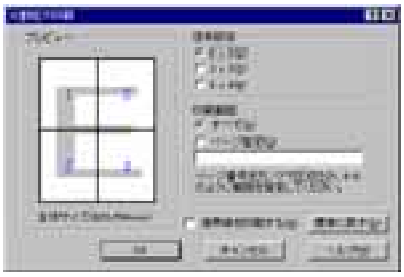
複数ページレイアウト（2アップ、4アップ、8アップ）は、1枚の用紙に複数ページの印刷データを配置して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［複数ページレイアウト印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。



- ページ配置
  ページの配置数を2、4、8ページから設定します。
- ページレイアウト
  印刷するページの配置を設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

［分割拡大印刷（2×2、3×3、4×4）］

分割拡大印刷（2×2、3×3、4×4）は、ポスターなど大判サイズの印刷データを複数のページに分割して印刷する機能です。［詳細］をクリックすると［分割拡大印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。A4用紙を使用した場合、最大約A0サイズ相当のポスターを作成できます。印刷範囲、境界線の有無など詳細な設定ができます。



- 倍率設定
  拡大するページ数を設定します。2×2、3×3、4×4の中から選択してください。（用紙によっては選択できない分割があります。）
- 印刷範囲
  印刷するページを設定します。
- 境界線を印刷する
  境界線の有無を設定します。

「両面印刷」

片面印刷、両面印刷、および製本印刷に関する設定を行うものです。それぞれ［詳細］をクリックするとダイアログボックスを表示し、詳細な設定ができます。

チェック

次の条件を満たしていないと両面印刷、製本印刷を選択することができません。また、「複数ページレイアウト」を選択している場合は、製本印刷はできません。

- オプションの両面印刷ユニット（型番：PR-L9700C-DL）を装着していること
- 用紙種別で「普通紙」、［再生紙］、［やや厚紙］が選択されていること
- 設定されている用紙サイズがはがき、往復はがき、封筒、ユーザ定義、長尺紙でないこと
- 分割拡大印刷を選択していないこと

［片面］

表面にだけ印刷されます。

［両面］

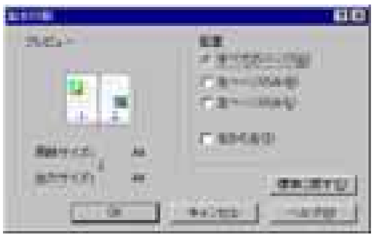
自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。［詳細］をクリックすると、［両面印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。



- 印刷位置調整
  ページ左余白からの印刷位置を0～20mmの範囲で指定することができます。
- 裏面を対称に配置する
  チェックすると裏面の印刷範囲の枠が綴じ辺を軸にして表面と対称な位置に配置されます。
- 綴じ方向
  綴じ方を「長辺綴じ」にするか「短辺綴じ」にするか、綴じる順番を右からとするか左からとするかを設定します。

［製本］

製本印刷とは週刊誌のように中綴じの本になるようページを割り付けて印刷する機能です。自動的に排紙方法が「フェイスダウン」、丁合印刷が有効に設定されます。［詳細］をクリックすると、［製本印刷］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。



- 配置
  製本したときに印刷面はどこに配置されるかを指定します。「すべてのページに配置する」、「右ページのみに配置する」、「左ページのみに配置する」の3通りから選択できます。
- 印刷の順番
  ページを印刷する順番を指定します。［右から左］をチェックすると右開きの本（和書）になります。通常は左開き（洋書）の順番です。

「用紙種別」

使用する用紙の種類や厚さに応じて、最適な印刷モードを選択できます。

- 普通紙
  普通紙（60～80g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- 再生紙
  再生紙（60～80g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- やや厚紙
  やや厚めの用紙（81～105g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- 厚紙
  厚めの用紙（106～169g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- ごく厚紙
  非常に厚い用紙（170～216g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- はがき
  はがきを印刷するのに適したモードです。
- 封筒
  封筒を印刷するのに適したモードです。
- ラベル紙
  ラベル紙を印刷するのに適したモードです。
- コート紙1
  コート紙（106～169g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- コート紙2
  非常に厚いコート紙（170～216g/m^2）を印刷するのに適したモードです。
- OHP
  OHPフィルムを印刷するのに適したモードです。

「裏面使用」

手動両面印刷において、裏面を印刷するときにチェックしてください。

「給紙方法」

給紙元（ホッパ/手差しトレー）をコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「自動」にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパー、手差しトレーから自動的に給紙されます。

> **チェック**
>
> 給紙元を「自動」に設定して手差しトレーから給紙を行う場合、プリンターの操作パネルで手差しトレーの用紙サイズを設定しておく必要があります。手差しトレーの用紙サイズの設定が一致し、給紙方法が「自動」の場合でも、手差しトレーから給紙されます。

「排紙方法」

以下の排紙先を選択することができます。ただし、フェイスアップで排紙するにはオプションのフェイスアップ排出ユニットが必要です。

- フェイスダウン
  先頭ページからページ順に印刷面を下に向けて排紙します。
- フェイスアップ（先頭ページから）
  先頭ページからページ順に印刷面を上に向けて排紙します。
- フェイスアップ（最終ページから）
  最終ページからページの逆順に印刷面を上に向けて排紙します。

「印刷方向」

用紙を縦向きに使用するか横向きに使用するかを選択します。

「180゜画像回転」

印刷結果を180゜回転して印刷します。

「丁合印刷」

チェックボックスにより丁合い印刷が指定できます。排紙方法、両面印刷の設定に従って印刷順序を示すアイコンも変化します。両面印刷・製本印刷が指定されていると自動的に丁合い印刷が指定されます。

> **チェック**
>
> アプリケーションによっては、プリンターのプロパティから「丁合印刷」を選択しただけでは丁合い印刷が有効にならない場合があります。アプリケーションの印刷設定で「丁合い」、もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合は、アプリケーションの方で丁合い印刷を指定してください。
> また、一部のアプリケーションにおいてはアプリケーション自身が丁合い処理を行うため、丁合い印刷を高速に行う「電子ソート」の機能が有効にならない場合があります。

「部数」

印刷する部数を設定します。最大で999部まで指定できます。

「ウォーターマーク」

ウォーターマークとは用紙の決まった部分に透かしを入れたように、透かしを重ねて印刷する機能です。[詳細]をクリックするとダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。ウォーターマークはあらかじめ登録されている12個を含めて、最大50個まで登録することができます。ウォーターマークの追加登録方法に関しては4章の「ウォーターマーク印刷」（315ページ）を参照ください。



- 位置
  マークが印刷される位置を指定します。「中央」、「左上」、「右上」、「左下」、「右下」から指定します。
- 角度
  印刷されるマークの角度を5段階で指定します。ビットマップスタイルのスタンプは角度の指定ができません。
- サイズ
  印刷されるマークのサイズを設定します。
- 濃度
  印刷されるマークの濃度を設定します。
- カラー選択
  印刷されるマークの色を指定します。文字スタイルのスタンプにのみ色の指定ができます。

「ヘッダー／フッター」

指定した位置にヘッダーもしくはフッターを入れることができます。［詳細］をクリックすると［ヘッダー／フッター］ダイアログボックスを表示し、以下の設定ができます。



- 位置
  ヘッダー／フッターの位置を設定します。
- 印刷項目
  ヘッダー／フッターの内容を設定します。
- 文字列入力
  ［印刷項目］で［文字列入力］を選択した場合、文字列を入力することができます。
- 文字色
  ヘッダー／フッターの文字の色を設定します。

[グラフィック] シート



このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。

- プリセットメニュー
- 印刷品質

「プリセットメニュー」

一般的な用途で使われる印刷品質・用紙種別に関する設定がスクロールウィンドウ内に登録されています。ウィンドウ内の希望のアイコンをクリックするだけで登録されている設定が印刷文書に反映されます。

あらかじめ登録されているプリセットの内容は以下のとおりです。設定されている内容は左下の設定情報表示エリアに表示されます。

- 文書標準
  一般的な文書を高速に印刷する場合に適した設定です。
- 文書高画質
  一般的な文書を高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 写真
  写真画像を多く含んだ文書を印刷する場合に適した設定です。
- 文書高精細
  テキストやグラフィックを高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 白黒文書
  カラー文書をモノクロモードで印刷するときの設定です。
- OHP
  プレゼンテーション資料などイラストを含んだデータをOHPに印刷する場合の設定です。

チェック

- 初期設定では［文書標準］が選択されています。写真画像が混在した文章を印刷する際に、写真の印刷品質を優先したい場合には、［写真］を選択してください。
- プリセットで設定できる項目の詳細については「カラー調整」（268ページ）、「プリセットメニューの設定内容」（278ページ）をご覧ください。また、オリジナルな設定内容を登録することもできます（登録・削除の方法については4章の「プリセットメニュー」（317ページ）を参照）。

「印刷品質」

以下の印刷品質を選択することができます。印刷品質に関して何を優先するかを選択すると適切な解像度と階調値が設定されます。

- 標準
  印刷速度を重視したモードで、初期設定です。印刷解像度は600dpi です。
- 高画質
  印刷品質を重視したモードです。写真を含んだデータを最もきれいに印刷する設定です。印刷解像度は600dpi です。
- 高精細
  テキスト、写真などを高解像度でシャープに印刷する設定です。印刷解像度は1200dpi です。
- トナーセーブ
  トナーを節約して印刷します。印刷結果は、他のモードに比べて薄くなります。印刷解像度は600dpi です。
- OHP
  OHPを印刷するときの設定です。印刷解像度は600dpi です。

チェック

解像度と階調値について

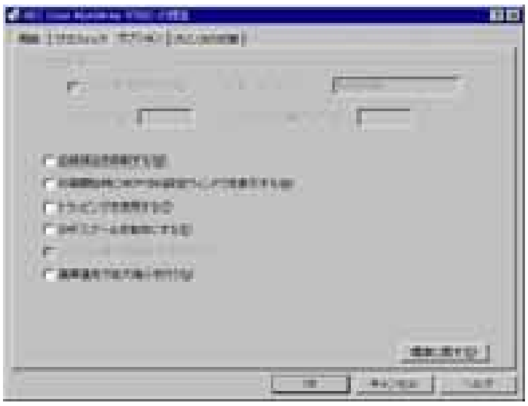
印刷解像度とデータ処理上の解像度は、異なる場合があります。一般に解像度が高く階調値が多いほど高品質な印刷結果が得られます。ただし、データ処理に時間を要するため印刷速度は遅くなります。

- 解像度： 画像の細かさ、線の滑らかさに影響します。文字、線、画像については解像度が高い方がギザギザの少ない印刷結果に仕上がります。また、一部のアプリケーションの設定で「ピクセル単位で印刷」などの設定をした場合には画像の大きさが異なって印刷される場合があります。
- 階調： 色調のなめらかさに影響します。写真画像を印刷する場合には「多値」の方が彩り多く印刷されます。

本プリンターでは、印刷データに合わせて印刷品質を選択できます。各モードにおけるデータ処理上の解像度と階調値は以下の表を参照してください。

モード	テキスト	線画	写真	階調値
標準	600×600 dpi	300×300 dpi	300×300 dpi	多値
トナーセーブ	600×600 dpi	300×300 dpi	300×300 dpi	多値
OHP	600×600 dpi	300×300 dpi	300×300 dpi	多値
高画質	600×600 dpi	600×600 dpi	300×300 dpi	多値
高精細	1200×1200 dpi	600×600 dpi	600×600 dpi	2値

［オプション］シート



このプロパティシートでは認証印刷機能、白紙排出抑制機能などの設定を行うことができます。

> **チェック**
>
> 認証印刷機能を使用するためにはプリンターにオプションのハードディスクが装着されている必要があります。

「認証印刷を使用する」

チェックボックスをオンにすると印刷データはプリンターのハードディスクにいったん保存されます。保存したデータはプリンターの操作パネルを使って印刷することができます。保存された印刷データを識別・認証するために印刷ジョブ名、パスワードを設定します。

- 印刷ジョブ名
  半角文字で10文字まで指定することができます。印刷開始時には印刷ジョブ名に続いて時刻が追加されます。
- パスワード
  0～9までの数字で4桁を指定します。いったん入力すると確認のためもう一度同じパスワードを入力するように求められます。



認証印刷を使用する場合、アプリケーションから印刷をする時に次のような認証印刷ダイアログボックスが表示されます。この時、印刷ジョブ名を変更することもできます。認証印刷ダイアログボックスで［OK］をクリックすると、プリンターのハードディスクにデータが転送されます。

> **チェック**
>
> 印刷時に認証印刷ダイアログボックスが表示されるまでに時間がかかる場合があります。ダイアログボックスが表示されるまでお待ちください。

「白紙排出を抑制する」

チェックボックスをオンにすると白紙ページを印刷しないように抑制することができます。

「印刷開始時にMOPYINGウィンドウを表示する」

チェックボックスをオンにすると印刷開始時に、MOPYINGウィンドウを表示することができます。MOPYINGウィンドウを表示しないときはチェックボックスをオフにしてください。

なお、MOPYING設定ウィンドウは一部のアプリケーションにのみ対応しています。対応アプリケーションや使用する際の注意事項などについては、プリンタードライバーのヘルプ、または添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「¥CMW9700C¥Disk1¥Drivers.txt」をお読みください。

「トラッピングを使用する」

チェックボックスをオンにすると色ズレが目立たないようにオブジェクトを重ねて印刷することができます。

「EMFスプールを有効にする」

アプリケーションによっては、EMFスプールにのみ対応しているものがあります。その場合は、このチェックボックスをオンにしてください。

「プリンタ自動切替機能を使用する」

プリンタ自動切替機能を使用して印刷するかどうかを設定します。片方向の通信時またはプリンタ自動切替用としてプリンターソフトウエアをインストールしていない場合は設定することができません。

「画質優先で拡大縮小を行う」

文字などの印刷品質を考慮して拡大縮小を行います。印刷品質よりもレイアウトを重視して印刷したい場合は、このチェックを外してください。

［プリンタの状態］シート



このプロパティシートは現在のプリンターの状態（オプション、ホッパー）を表示するものです。PrintAgentがインストールされていて、双方向通信している場合に［最新の状態に更新］をクリックすると最新の情報を取得することができます。

次の条件が満たされているとリプリント機能を使用するかどうかを選択することができます。

- PrintAgentがインストールされている
- 双方向通信が可能である
- PrintAgent のプロパティでリプリント機能が選択されている

カラー印刷の調整

印刷を行う際には、カラー印刷に関するさまざまな設定ができます。設定は、［詳細/登録］ダイアログボックス上で行います。［プリセット詳細/登録］ダイアログボックスは、［印刷設定］ダイアログボックス上の［グラフィック］シートで［詳細/登録］をクリックすると開くことができます。ここではWindows XP 日本語版の環境で説明します。

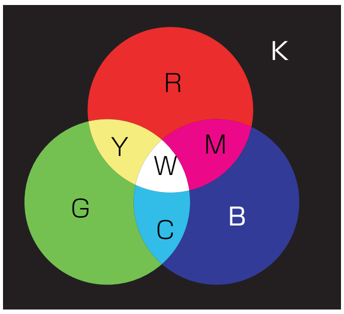


カラー印刷の基礎知識

色の表現方法

ディスプレイでの色の表現方法

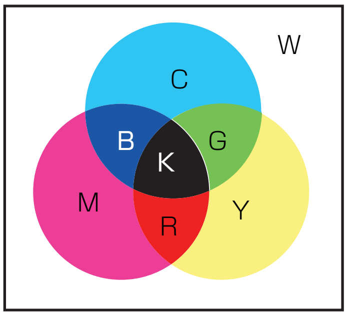
ディスプレイ、スキャナーなどの機器では、色を表現するのに、R（レッド）、G（グリーン）、B（ブルー）の光の3原色を使用しています。下に示すようにR、G、B、3色を混ぜ合わせることによりC（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）という別の3色を得ることができます。光の3原色を混ぜ合わせることにより、様々な色を表現できることから加法混色と呼びます。加法混色の場合、RGB100%強度の光をすべて混ぜ合わせると白に、R、G、Bの光をまったく使用しないと黒になる性質を持っています。



上記では、RGB100%強度の光を混ぜ合わせる場合を示していますが、実際にはRGBそれぞれ256階調の色の強度を表現できることが一般的です。RGBそれぞれ256階調の色の強度を表現でき、それぞれを混ぜ合わせることで別の色を表現できるので、256×256×256=約1670万色の表現が可能ということになります。

プリンターでの色の表現方法

プリンター、印刷機などの機器では、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）の3原色を使用して色を表現します。例えば、印刷物にCを印刷するとRの光を吸収します。同様に、YはBをMはGを吸収する性質を持ち、この特性を利用することにより色を表現していきます。光を吸収することにより色を表現するため、減法混色と呼びます。減法混色の場合、CMYすべてを100%印刷すると、すべての光を吸収して黒となります。また、何も印刷しないと光をまったく吸収せず、白となります。



上記は、CMYを100%印刷した場合を示していますが、各色毎に階調を有しています。本プリンターの場合には各色とも256階調の階調性を有しているので、256×256×256=約1670万色の印刷が可能となっています。また、本プリンターの場合は、黒を正しく再現するためなどの理由により、CMYの3原色以外に、K（ブラック）を加えて色を表現しています。

カラーマッチングについて

前項で説明したように、ディスプレイとプリンターとでは、色の表現方法が異なります。したがって、プリンターで印刷する色をディスプレイで表示されている色に合わせるには、カラーマッチングと呼ばれる手法を用いてRGB色とCMY色のマッチングを行う必要があります。RGB色による色再現範囲とC、M、Y色による色再現範囲は異なっています。異なる色再現範囲に対してカラーマッチングを行いますが、本プリンターでは、様々なカラーマッチング手法を選択して色合わせを行うことができます。

ここでは、本プリンターがサポートしているカラーマッチングの中から、以下の2つを説明します。

・ sRGB

同じRGBを使用したディスプレイでもディスプレイごとに表現できる色は微妙に異なります。sRGBは、平均的なディスプレイのRGB色再現領域をCIE XYZ*という表色系で数値的に規定したものです。プリンターの色再現領域をこのsRGBの色空間に対応させることにより、平均的なディスプレイの色との色合わせを実現することができます。

* CIE（国際照明委員会）にて、定められた表色系で、CIE 1931標準表色系と呼ばれています。RGB表色系がデバイス毎に色再現領域が異なるのに対して、デバイスに依存しない表色系です。

・ ICM

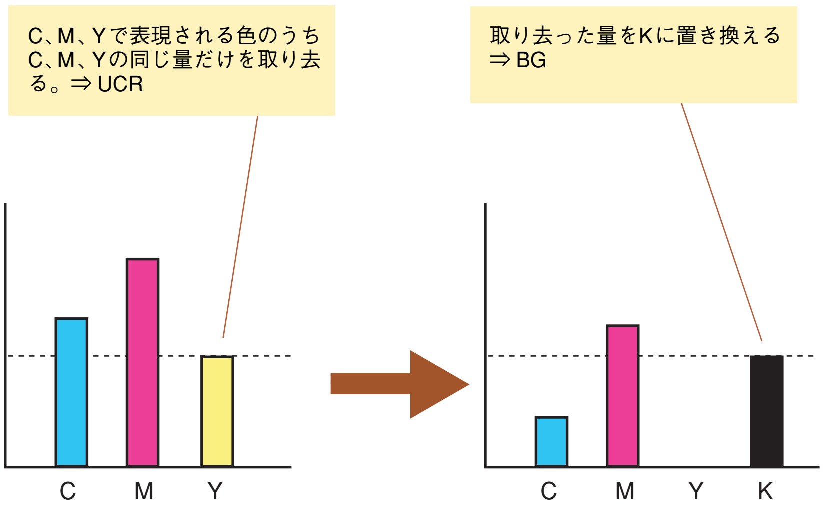
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows Me、Windows 98でサポートしているカラーマッチングシステムで、Image Color Matchingを意味します。写真のようなビットマップイメージに対してのみ有効なカラーマッチングシステムで、Windowsが持つカラーマッチングシステムにプリンターの特性を書き込んだプロファイル（ICC Profile）を与えることでプリンターに最適なカラーマッチングを行います。

UCR/BGについて

「色の表現方法」で説明したように、プリンターなどの機器ではCMYを3原色として色を表現していますが、本プリンターでは、CMYKの4色を使用して色を表現しています。C、M、Yを重ね合わせせることにより理論的にはKを表すことができるにもかかわらず、本プリンターでKを使用しているのは主に以下の理由からです。

- C、M、Yトナーにわずかな不純物が含まれるため、C、M、Yを重ね合わせても純粋なKとはならず、Kを使用した方が高品質に印刷することが可能となるため
- C、M、Yの重ね合わせをK1色で置き換えることができるため、トータルのトナー消費量を抑えることができ、ランニングコストが安くできるため

このような理由から本プリンターでは、UCR（Under Color Removal）とBG（Black Generation）という手法を用いてC、M、Y、Kの4色で色を表現しています。単純なUCR/BGは、以下のようになります。



実際には、このUCR/BGによって再現できる色が異なり、単純にCMYをKに置き換えるだけではきれいな印刷結果を得ることはできません。本プリンターでは、写真向けに階調の連続性を重視したUCR/BGとグラフ／ドキュメント向けにグレー色の再現性を重視したUCR/BGを使い分けることにより、それぞれの印刷物に適した色再現を実現しています。

ハーフトーンについて

本プリンターは、CMYK各色に256階調の色再現性を持ち、約1670万色フルカラーの印刷結果を実現しています。階調表現にはハーフトーンスクリーンという手法を用いています。ハーフトーンスクリーンとは、階調の表現に数個のドットを1つの階調表現の単位として色表現を行う手法です。

この階調表現の単位は、ハーフトーンセルと呼ばれます。一般的に、ハーフトーンセルが大きいとドットの数が多くできるため階調表現能力が有利になりますが、その反面ハーフトーンセルの間隔が大きくなるためドットの目立つ粒状感が悪い印刷結果となります。逆に、ハーフトーンセルが小さいとドットは目立たなくなり粒状感は向上しますが、階調表現能力が不利になります。

本プリンターでは、NEC独自の階調表現技術により小さいハーフトーンセルで圧倒的な階調表現力を実現し、粒状感と階調表現能力を両立した標準／高画質モードで使用するハーフトーン（170lpi*）と、ハーフトーンセルを小さくして色文字の再現性にこだわった高精細モードで使用するハーフトーン（200lpi*）を用意し、印刷物にあった印刷環境を提供しています。

* lpi（line per inch）とは、ハーフトーンセルの細かさを表す単位で、25.4mm（1インチ）の長さに何個のハーフトーンセルが存在するかを示します。数字が大きいほどハーフトーンセルが細かく、粒状感が少なく、細部まで正確に表現できることを示します。

きれいに印刷するためのコツ

印刷ドキュメントに適した印刷モードで印刷する

本プリンターは、色々な印刷に対応できるように様々なカラーマッチング、UCR/BG、ハーフトーンを用意しています。最適な印刷モードを選択して印刷してください。印刷モードの詳細は、カラー調整を参照してください。

印刷する写真データの解像度を確認する

写真データを印刷する場合には、元になるデータの解像度が重要となります。一般に、ハーフトーンセルの解像度の倍の解像度があれば、十分にきれいに印刷することが可能であると言われています。本プリンターの場合には、標準モードのハーフトーンセルは、約170lpiですので、340dpi程度の解像度の写真データであれば、十分きれいに印刷できます。340dpi以上の解像度のデータでもきれいに印刷することはできますが、印刷データが非常に大きくなるため、印刷速度の低下につながる可能性があり、お勧めできません。逆に、印刷データの解像度が小さすぎると印刷速度は速くなりますが解像度不足のため、ガタガタとしたジャギーのある印刷結果となってしまいます。

印刷速度と印刷品質の両方を考えるのであれば、150dpi～400dpiを目安として画像の解像度を調整していただくことをお勧めします。

印刷モードについて

印刷モードは、［プリセット詳細/登録］ダイアログボックス上にあります。次の設定が行えます。

チェック

- 印刷モードが「自動」、または「カラー」に選択された状態でカラー調整が「ドライバ補正」以外の設定になっている場合、印刷モードを「モノクロ」に変更するとカラー調整の設定は自動的に「ドライバ補正」に変更されます。
- 「自動」に設定しておくことで、印刷するページがカラーかモノクロかを自動的に判別して最適な印刷処理を選択します。通常は「自動」に設定しておくことをお勧めします。



- 自動
  印刷するページに含まれる描画データに応じてカラー／モノクロ描画処理を自動で切り替えて印刷します。描画の切り替えはページ毎に行います。データによってはカラー／モノクロの描画の切り替えがうまくいかない場合があります。カラーデータの少ないページもカラーモードで印刷されることがあるため、印刷ログではカラーとして扱われることがあります。初期設定では、この設定になっています。
- モノクロ
  印刷するページに含まれる描画データに関係なく、モノクロ描画処理を行います。印刷ページがカラーの場合、モノクロに変換して印刷します。
- カラー
  すべてのページをカラーモードで印刷します。カラーデータのないページもカラーモードで印刷されるため、印刷ログではカラーとして扱われます。

カラー調整

カラー調整は、［プリセット詳細/登録］ダイアログボックス上にあります。印刷するジョブに補正する場合に設定します。すべてのOSと共通していますが、ここではWindows XP日本語版の環境で説明します。

ドライバ補正

ドライバーが印刷データの色補正を行います。



印刷モードが自動またはカラーの場合

補正方法（写真画像、またはグラフ／ドキュメント）、明るさ、コントラスト、彩度、赤・緑・青のカラーバランスを手動で調整できます。画像を主体とした印刷対象を補正する場合は「写真画像」を選択し、グラフや文字を主体とした印刷対象を印刷する場合は「グラフ／ドキュメント」を指定してください。

通常は、このモードを選択していれば、さまざまなドキュメントをきれいに印刷することができます。



印刷モードがモノクロの場合

印刷モードが「モノクロ」に設定されている場合は、設定できる項目が制限されます。



ドライバ補正を選択すると次のような画像の編集ができます。

- 明るさ



印刷結果の「明るさ」を±5段階で調整できます。実際の画像の「明るさ」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「ー」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。



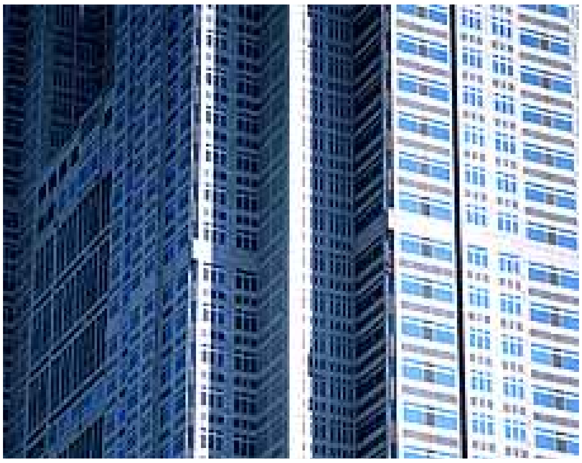
明るさ（＋）



標準



明るさ（ー）



コントラスト（＋）

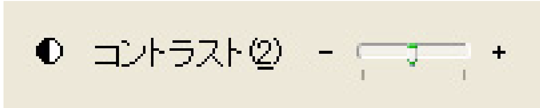


標準



コントラスト（－）

- コントラスト



印刷結果の「コントラスト」を±5段階で調整できます。実際の画像の「コントラスト」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「－」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。



彩度（＋）



標準



彩度（－）

- 彩度



印刷結果の「彩度」を±5段階で調整できます。実際の画像の「彩度」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「－」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。
印刷モードが「モノクロ」に設定されている場合は、編集できません。



カラーバランス（赤）（＋）

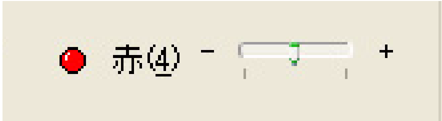


標準



カラーバランス（赤）（－）

- カラーバランス（赤）



印刷結果の「カラーバランス（赤）」を±5段階で調整できます。実際の画像の「カラーバランス（赤）」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「ー」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。
印刷モードが「モノクロ」に設定されている場合は、編集できません。



カラーバランス（緑）（＋）

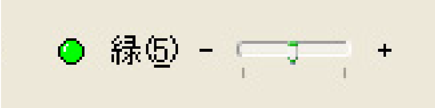


標準



カラーバランス（緑）（－）

• カラーバランス（緑）



印刷結果の「カラーバランス（緑）」を±5段階で調整できます。実際の画像の「カラーバランス（緑）」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「－」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。
印刷モードが「モノクロ」に設定されている場合は、編集できません。



カラーバランス（青）（＋）

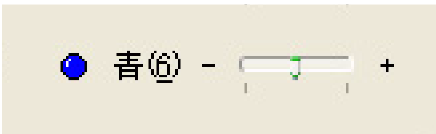


標準



カラーバランス（青）（－）

- カラーバランス（青）



印刷結果の「カラーバランス（青）」を±5段階で調整できます。実際の画像の「カラーバランス（青）」が変わるわけではありませんが、印刷結果のイメージを表しています。

真ん中が標準状態、上が「＋」に調整した場合、下が「－」に調整した場合の印刷結果のイメージを表しています。
印刷モードが「モノクロ」に設定されている場合は、編集できません。



- グレー再現性
  UCR/BGの設定を変更します。この設定を変更することで、ドキュメントの特徴に応じて最適な印刷を行うことができます。

  – 写真画像
    印刷ドキュメントに写真が多く含まれている場合に選択します。階調表現の連続性を重視したUCR/BGを行います。

  – グラフ／ドキュメント
    印刷ドキュメントに文字／グラフなどが多く含まれる場合に選択します。グレー色の再現性を重視したUCR/BGを行います。

    印刷モードが「モノクロ」、用紙種別が「OHP」、または印刷品質が「トナーセーブ」、「OHP」に設定されている場合は、設定できません。

写真画像自動補正

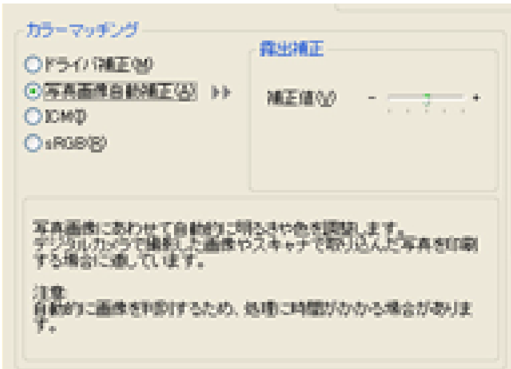


補正値（+）



補正値（−）

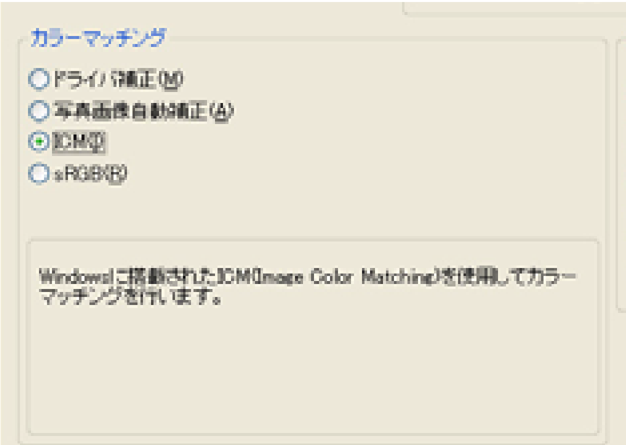
印刷する写真画像を解析し、自動的に画像を調整して印刷します。原画像が暗いなどの理由で美しく印刷できない場合に適した印刷モードです。



写真は自動補正を行う前後の印刷結果のイメージを示します。

露出補正のスライダーバーで補正の強度を微調整できます。スライダーバーが中央にある場合は、自動的に補正の強度を調整します。補正したい画像が暗い場合は、スライダーバーを左に移動させると印刷結果が明るくなります。補正したい画像が明るい場合は、スライダーバーを右に移動させると印刷結果が暗くなります。
通常は中央に設定しておいてください。
自動的に画像を判別するため、処理に時間がかかる場合があります。

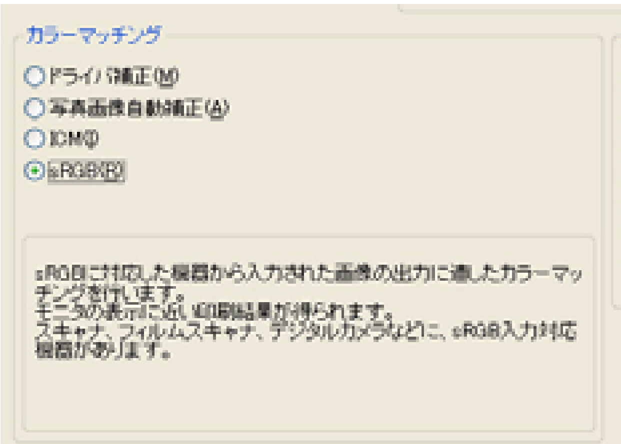
ICM



印刷データの補正をWindowsが提供する補正機能を使って行います*。下段枠内にICMに関する説明が表示されます。Windows NT 4.0では未サポートのため、本設定は表示されません。

*　ICMによるカラーマッチングは写真などのイメージに対してのみ有効です。

sRGBによる補正



sRGBに準拠したカラーマッチングを行います。ディスプレイの表示に近い印刷を行う場合に選択します。
下段枠内にsRGBに関する説明が表示されます。

オプション



オプションでは以下の設定ができます。

- シャープネス
  フルカラービットマップ画像に輪郭強調処理を行います。輪郭強調処理により、ピンボケの写真などの印刷結果が改善されます。
- スムージング
  フルカラービットマップ画像を拡大・縮小する場合に、平滑化処理を行います。解像度が小さいビットマップや解像度が大きすぎるビットマップを印刷する場合、より美しく印刷されます。
  ただし、ビットマップ画像をプリンターの解像度まで拡大して印刷するため、転送データが増えるので、印刷時間が長くなることがあります。
- 重ね合わせ優先
  印刷処理で画像の重ね合わせ処理を優先させます。印刷結果の文字やグラフィックオブジェクトの色合いや模様が画面上と大きく異なったり、抜け落ちたりする場合に指定します。
- イメージ圧縮
  イメージ画像を不可逆形式で圧縮するかどうかを指定します。
- SET
  高精細モードのときのみ設定可能です。
  SETとは、Sharp Edge Technologyの略で、プリンターの解像度よりさらに細かく制御を行うことで、高精細な表現が可能になります。

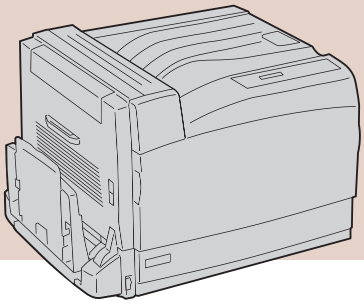
プリセットメニューの設定内容

本プリンタードライバーのプリセットメニューには、すでに7個の設定が登録されています（自由登録を含む）。それぞれの設定内容について以下の表に示します。プリセットメニューは、最大で20個まで登録できます。

プリセットメニューの設定内容

タイトル	設定項目	既定値
文書標準	印刷品質	標準
	印刷モード	自動
	カラー調整	ドライバ補正
	イメージ設定	明るさ：0 コントラスト：0 彩度：0 カラーバランス：0 グレー再現性：グラフ／ドキュメント
文書高画質	印刷品質	高画質
	印刷モード	自動
	カラー調整	ドライバ補正
	イメージ設定	明るさ：0 コントラスト：0 彩度：0 カラーバランス：0 グレー再現性：グラフ／ドキュメント
写真	印刷品質	標準
	印刷モード	自動
	カラー調整	ドライバ補正
	イメージ設定	明るさ：0 コントラスト：0 彩度：0 カラーバランス：0 グレー再現性：写真
文書高精細	印刷品質	高精細
	印刷モード	自動
	カラー調整	ドライバ補正
	イメージ設定	明るさ：0 コントラスト：0 彩度：0 カラーバランス：0 グレー再現性：グラフ／ドキュメント
白黒文書	印刷品質	標準
	印刷モード	モノクロ
	カラー調整	ドライバ補正
	イメージ設定	明るさ：0 コントラスト：0 彩度：0 カラーバランス：0 グレー再現性：グラフ／ドキュメント
OHP	印刷品質	OHP
	印刷モード	自動
	カラー調整	ドライバ補正
	イメージ設定	明るさ：0 コントラスト：0 彩度：0 カラーバランス：0

4章
より進んだ使い方



この章では、本プリンターの便利な機能および使い方について説明しています。

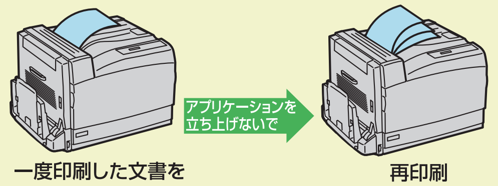
高度な機能が手間をかけずに利用できるばかりでなく、印刷コストの削減も図ることができます。この章をよくお読みになり、本プリンターを使いこなしてください。

機能の紹介

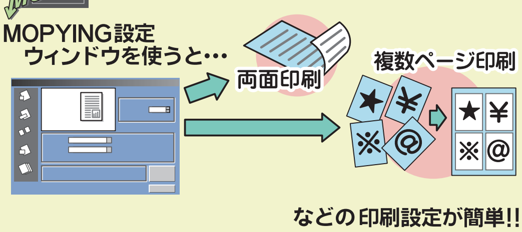
ここでは、本プリンターの便利な機能を紹介します。各機能の設定方法については記載のページをご覧ください。

機能	使用するには	設定する箇所
再印刷する	PrintAgent リプリント2 概要　286ページ	PrintAgent 詳細　299ページ
手間とコストを削減して印刷する	MOPYING設定ウィンドウ 複数ページ印刷や両面印刷の設定を簡単に行うことができます。	プロパティダイアログボックス 詳細　306ページ
文書を結合する	PrintAgent リプリント2 DocuWorks 概要　287ページ	PrintAgent 詳細　304ページ DocuWorks 詳細　DocuWorks オンラインマニュアル
仕分け印刷する	丁合い、電子ソート 概要　289ページ	「用紙」シート 詳細　305ページ
両面印刷・製本印刷する	両面印刷・製本印刷 概要　294ページ	「用紙」シート 詳細　308ページ

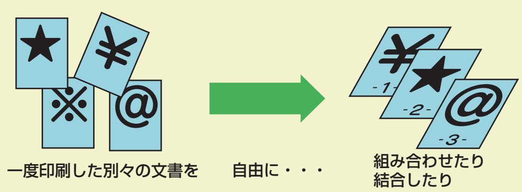
再印刷する



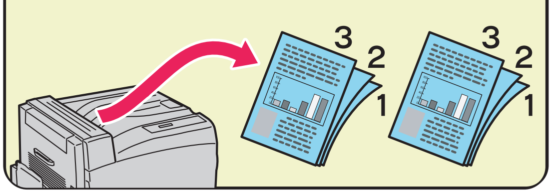
手間とコストを削減して印刷する



文書を結合する

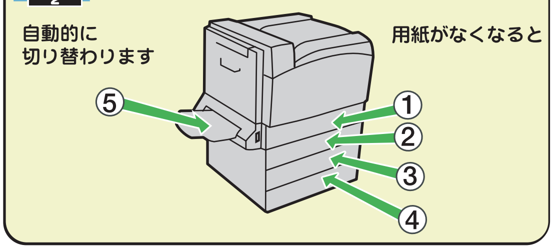
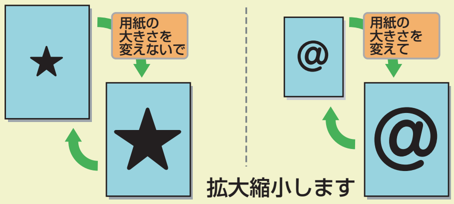
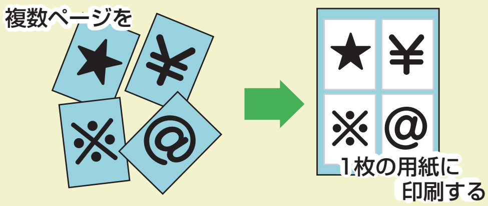
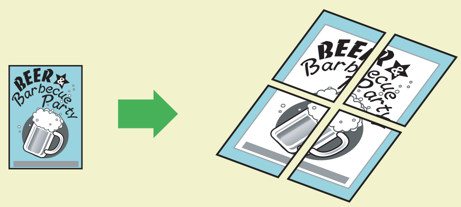
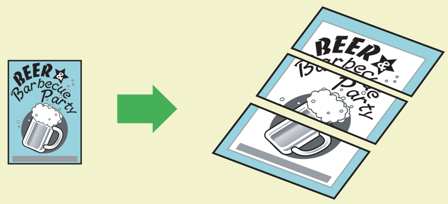


仕分け印刷する

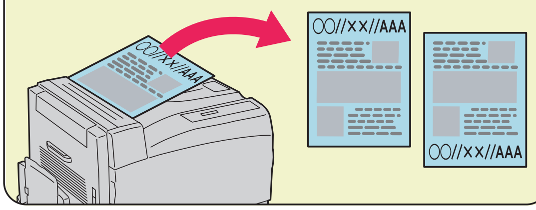


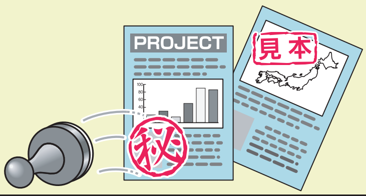
両面印刷・製本印刷する

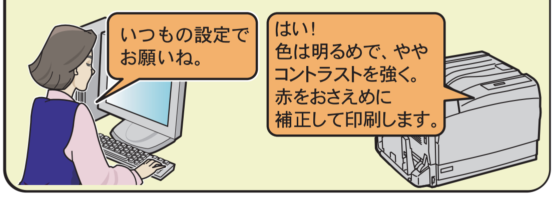


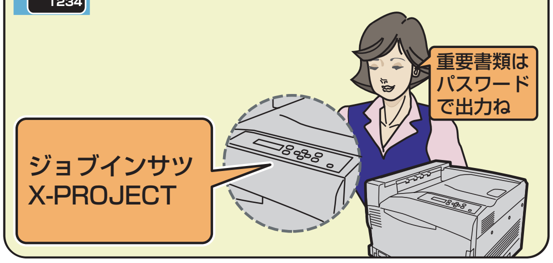
機能	使用するには	設定する箇所
給紙先を自動で切り換える 	リレー給紙 大量に印刷するときに、途中で用紙がなくなっても自動的に同じ種類の用紙がセットされている給紙先に切り換わります。	操作パネル 「用紙」シート 詳細 310ページ
拡大・縮小印刷する 	拡大・縮小印刷 概要 291ページ	「用紙」シート 詳細 311ページ
複数ページ印刷する 	レイアウト 概要 292ページ	「用紙」シート 詳細 312ページ
分割拡大印刷する 	分割拡大印刷 概要 292ページ	「用紙」シート 詳細 313ページ
長尺紙を使ってポスターを印刷する 	長尺紙ポスター印刷 概要 293ページ	「用紙」シート 詳細 313ページ

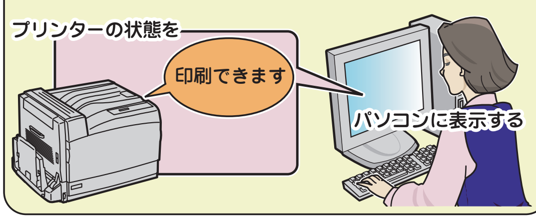
機能	使用するには	設定する箇所
ヘッダー・フッターをつける	ヘッダー／フッター印刷 概要 295ページ	「用紙」シート 詳細 314ページ
ウォーターマークを印刷する	ウォーターマーク印刷 概要 293ページ	「用紙」シート 詳細 315ページ
印刷の設定を登録する	プリセットメニュー 印刷のきめ細かさや色調など、印刷の品質設定を登録できます。	「グラフィック」シート 詳細 317ページ
パスワードを入力して印刷する	認証印刷 印刷した文書を第三者に見られないように、操作パネルでパスワードを入れることで印刷を開始します。	「オプション」シート 詳細 319ページ
プリンターの状態や印刷状況を見る	プリンタステータスウィンドウ 概要 296ページ	PrintAgent 詳細 321ページ

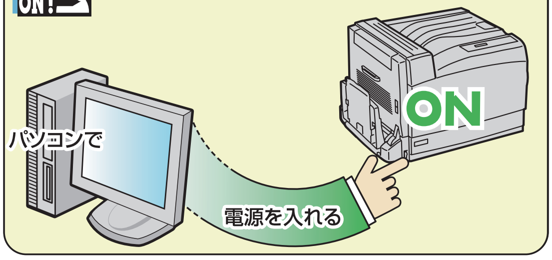
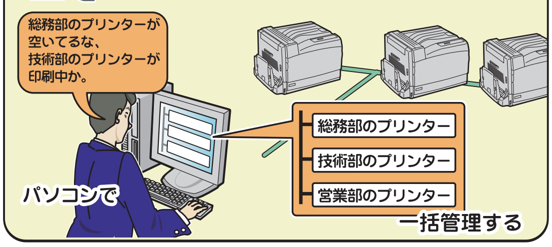
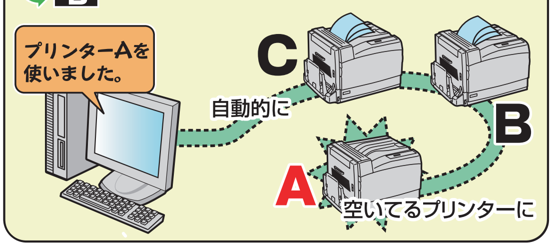
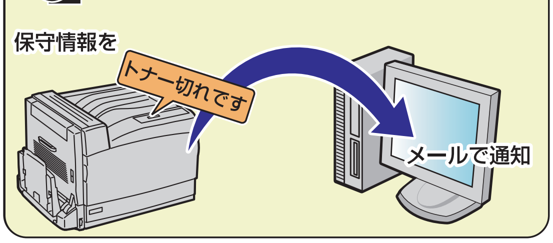




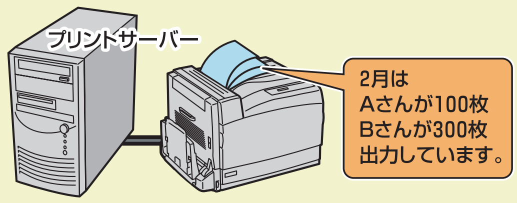


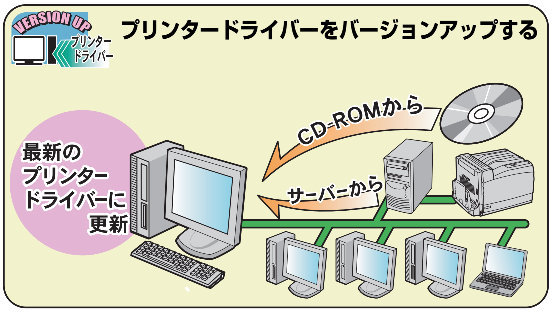




機能	使用するには	設定する箇所
パソコンから電源を入れる 	**リモート電源制御** オプションのLANアダプタを使って、パソコンからプリンターの電源を入れたり、切ったりすることができます。	PrintAgent 詳細　324ページ
プリンターを一元管理する 	**プリンター管理ユーティリティ** 管理者用としてソフトウエアをインストールしたパソコンから、ネットワーク内に接続されているプリンターを設定・管理することができます。	PrintAgent 詳細　330ページ
プリンターを自動切り替えする 	**プリンターの自動切替** 概要　298ページ	PrintAgent 詳細　332ページ
保守情報をメール通知する 	**保守情報のメール通知** 「消耗品確認」、「消耗品寿命」、「定期交換」の保守情報がメールで通知されます。	PrintAgent 詳細　339ページ
ブラウザでプリンターの状況を見る 	**Web PrintAgent** ネットワーク上のクライアントコンピューターの汎用ブラウザーを利用して、プリントサーバーが管理しているプリンターの状態や設定を参照することができる機能です。	PrintAgent 詳細　343ページ

機能	使用するには	設定する箇所
印刷履歴状況を出力する	• **印刷ログ出力** プリントサーバーで管理されているプリンターの印刷履歴を残すことができます。 • **プリンター利用情報通知** FTPサーバーに蓄積されたプリンター利用情報を集計することにより、管理者が各部門や個人の印刷量を管理するのに役立てられます。	PrintAgent 詳細 344ページ 詳細 351ページ
プリンタードライバーをバージョンアップする	**MultiWriter ドライバ配信機能** サーバーからネットワーク上のクライアントへプリンタードライバーの自動配信を行う機能です。これにより、プリンタードライバーを更新する手間を大幅に軽減します。	**MultiWriter ドライバ配信** 詳細 358ページ





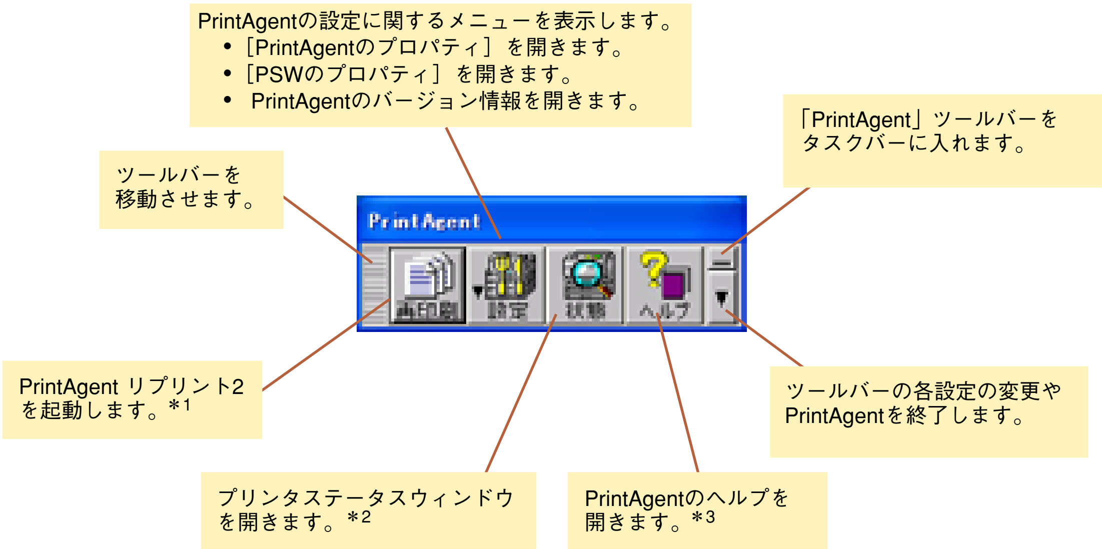
「PrintAgent」ツールバー

「PrintAgent」ツールバーでは、ボタン操作ひとつで簡単にPrintAgentの機能を呼び出すことができます。このツールバーを使うためにはPrintAgentオプションの「ツールバー」をインストールしてください。

「PrintAgent」ツールバーを表示させるには、次のような方法があります。

- タスクバーのPrintAgentアイコンを左、または右クリックし、［ツールバーを表示］をクリックする。
- タスクバーのPrintAgentアイコンをダブルクリックする。前回ツールバーを表示した状態でPrintAgentを終了した場合、「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの起動と同時に表示されます。

「PrintAgent」ツールバーの詳しい説明は、「PrintAgent」ツールバーのヘルプもご覧ください。



＊1　PrintAgent リプリント2がインストールされていない場合、［再印刷］ボタンはご利用になれません。
＊2　PrintAgent対応プリンタがない場合、［状態］ボタンはご利用になれません。
＊3　ヘルプがインストールされていない場合、［ヘルプ］ボタンとツールバー設定ボタンメニューの［ヘルプ］はご利用になれません。

リプリント

リプリント（再印刷）は、「PrintAgent リプリント2」を操作することで、一度印刷した文書を再印刷する機能です。

この機能をご利用になるには、あらかじめPrintAgent リプリント2がインストールされていて、［プリンタの状態］シートで［リプリント機能を使用する］にチェックをすることが必要です。（PrintAgentの追加についてはユーザーズマニュアルの2章を参照してください）。これを使えば、「PrintAgent」ツールバーからPrintAgent リプリント2を簡単に呼び出し、再印刷することができます。

PrintAgent リプリント2では以下の便利な機能を備えています。

- 標準モード　再印刷する文書に対して丁合い機能を選択して仕分け印刷する。
- ジョブ結合モード　一度印刷された文書を結合し、一文書として再印刷する。（ジョブ結合の概要については次ページ以降の解説をご覧ください。）

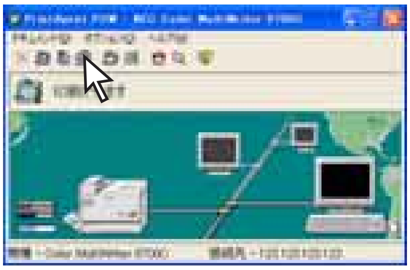
PrintAgent リプリント2を起動するには、以下のとおり「PrintAgent」ツールバーの［再印刷］ボタンをクリックします。



「PrintAgent」ツールバーから実行



単に再印刷するだけなら、プリンタステータスウィンドウの［リプリント］ボタンをクリックすれば、［リプリント機能］ダイアログが開き、リプリントが実行できます。



プリンタステータスウィンドウから実行



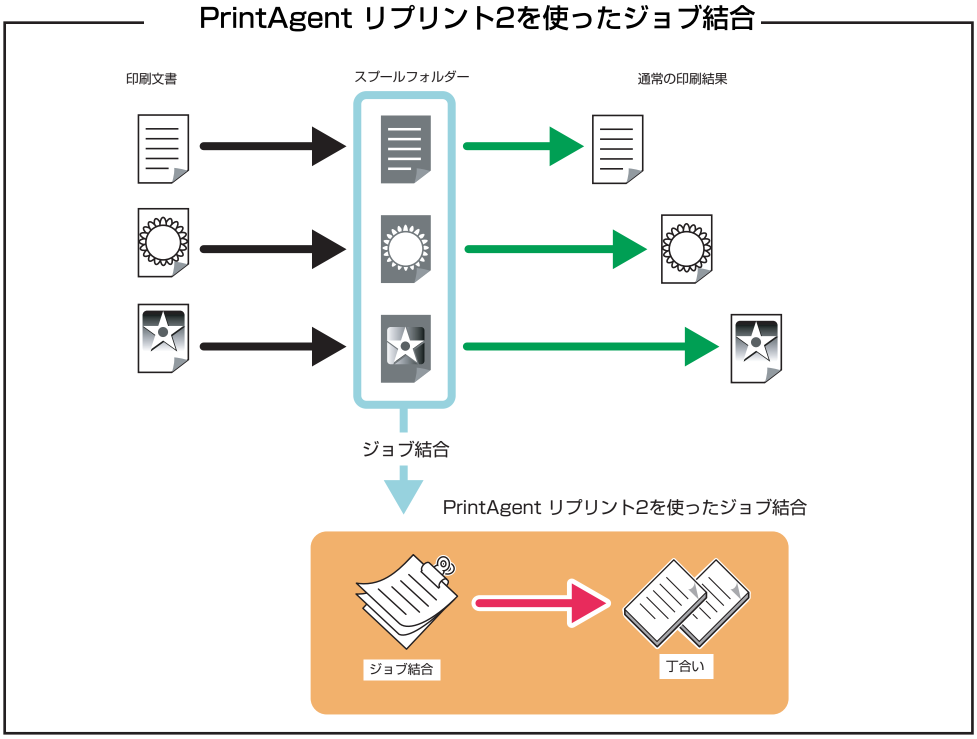
チェック

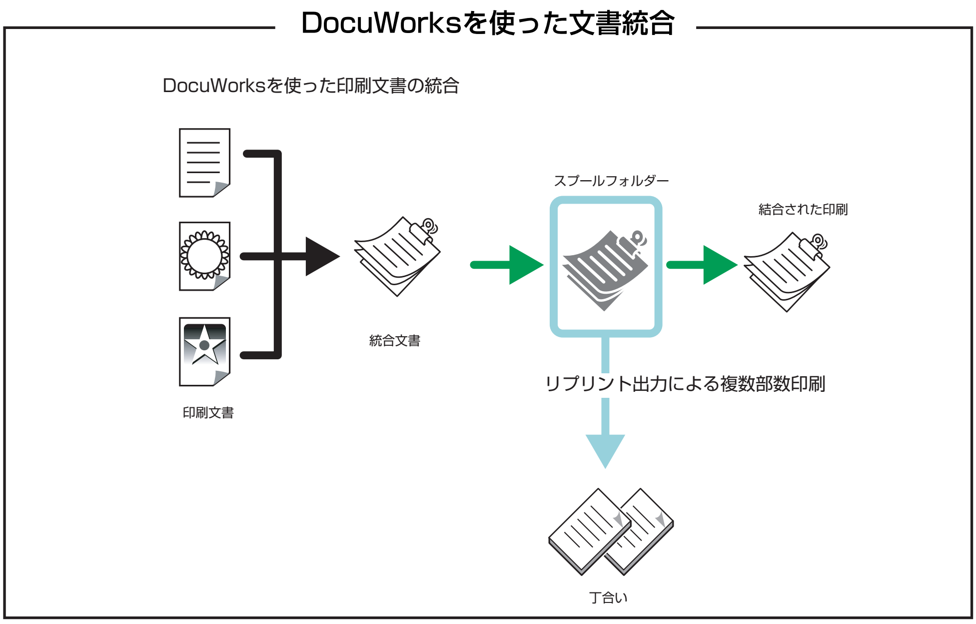
リプリント機能を使って両面印刷の設定はできません。

文書を結合する

文章を結合する方法は、次の2つがあります。

- 一度印刷した複数の文書を結合する（ジョブ結合）
- 異なるアプリケーションで作成した文書をページ単位に編集して統合する（文書統合）





ジョブ結合

PrintAgent リプリント2で実現する機能です。一度印刷した複数の文書を自由に組み合わせ、選択した順番でひとつのジョブとして再印刷することができます。さらにジョブ結合した文書に対しては丁合い出力による仕分け印刷ができます。

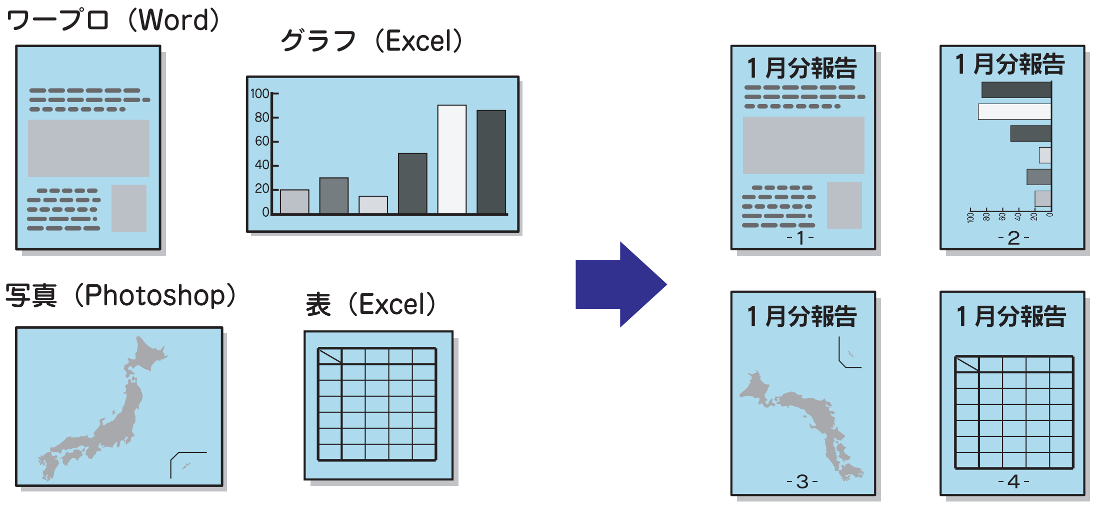
コピー作業のように原稿を並べ替える必要はありません。すべてパソコンのデスクトップ上で原稿は並び替えられ、しかもオリジナルでの出力（MOPYING）が可能です。
設定はPrintAgent リプリント2の［ジョブ結合］シートで行います。



文書統合（DocuWorks）

ドキュメント・ハンドリング・ソフトウエア「DocuWorks Ver.5.0」は文書作りをさらに便利にします。

PrintAgent リプリント2は一度印刷した文書を自由に組み合わせる機能ですが、DocuWorksはパソコン上の文書ファイルをページ単位で組み合わせるアプリケーションです。組み合わせる文書はアプリケーションの種類を問いません。文書の内容がわかっていれば、いちいちアプリケーションを立ち上げなくても希望のページを抜き出してページ単位で編集することができます。



仕分け印刷

本プリンターでは印刷時の仕分け機能として、丁合い機能、電子ソート機能があります。複数部数を印刷する場合に、これらの機能を組み合わせて使うことによって簡単に仕分け印刷することができます。

丁合い機能

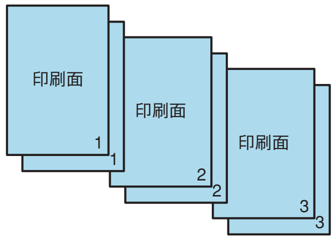
丁合い機能とは、部単位に印刷する機能です。本プリンターのプリンタードライバーは標準では丁合い機能が無効になっています。

3ページからなる文書を2部印刷する場合を例に挙げ説明します。

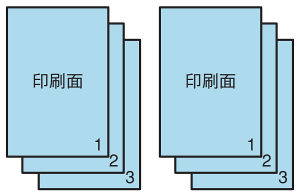
排紙方法：フェイスダウン、またはフェイスアップ*（最終ページから）

- ［丁合印刷］を選択しない場合
  印刷したいデータが複数ページ分ある場合には、右図のような順番で印刷された用紙が排出されます。

  フェイスアップの場合、最後のページから順にページの逆順で印刷された用紙が排出されていきます。すべてのページが印刷されると、右図のように最初のページが一番上になってフェイスアップトレイに排出された状態になります。

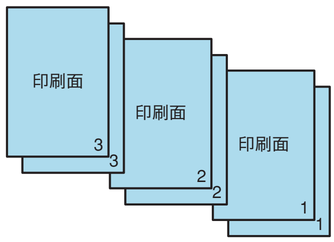


- ［丁合印刷］を選択した場合
  ［丁合印刷］をチェックすると部数ごとに印刷を行います。印刷する部数が多い場合は、丁合印刷を選択すると便利です。ただし、通常の印刷よりも印刷時間が長くなることがあります。

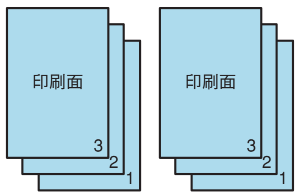


排紙方法：フェイスアップ*（先頭ページから）

- ［丁合印刷］を選択しない場合　（通常）
  印刷したいデータが複数ページ分ある場合には、右図のような順番で印刷された用紙が排出されます。
  最初のページが用紙に印刷されて排出されると、次のページが順次、その上に排出され、最後のページが一番上になって排出されることになります。



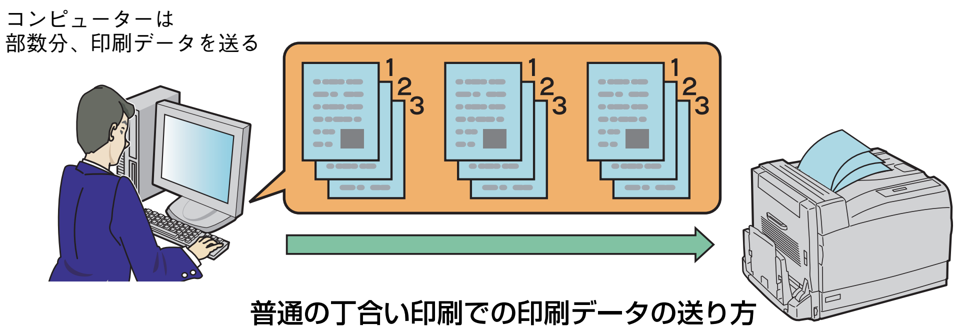
- ［丁合印刷］を選択した場合
  ［丁合印刷］をチェックすると部数ごとに印刷を行います。印刷する部数が多い場合は、丁合印刷を選択すると便利です。ただし、通常の印刷よりも印刷時間が長くなることがあります。



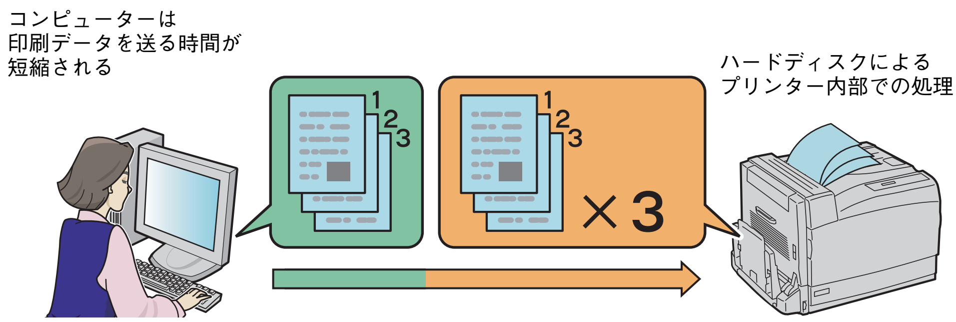
*　フェイスアップ排出ユニットはオプションです。

電子ソート機能

電子ソート機能は、複数部数を印刷する場合にコンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンターで印刷データ処理を行う機能です。これにより、コンピューターはプリンターに印刷データを送る時間を短縮することができます。また2部目以降は本プリンターの最高速度で印刷できます。丁合い機能と組み合わせてお使いになると、複数部数の文書を高速に印刷することができるので、さらに便利です。オプションのハードディスクをプリンターに取り付けることにより実現できる機能です。



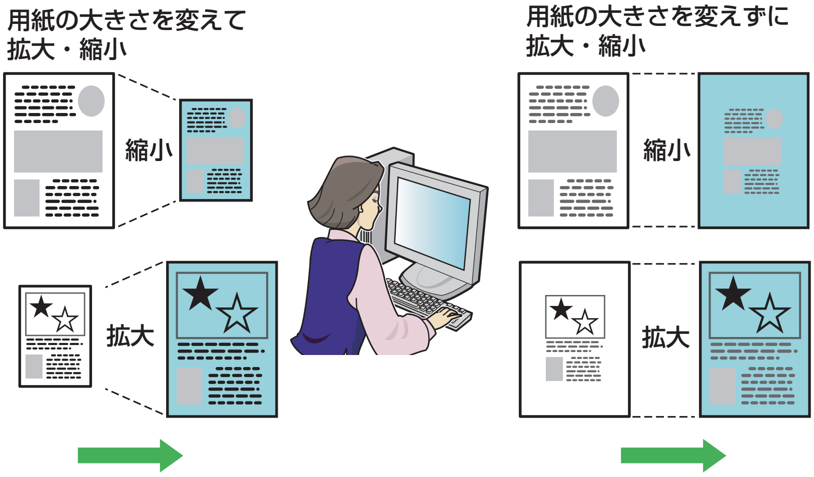
普通の丁合い印刷での印刷データの送り方



電子ソート機能を使った丁合い印刷での印刷データの送り方

拡大・縮小印刷

用紙の大きさを変えて拡大・縮小する方法と、用紙の大きさを変えないで拡大・縮小するという方法があります。



用紙の大きさを変えて拡大・縮小

アプリケーションであらかじめ設定されている論理上の用紙サイズに対して、原稿を実際に印刷する出力用紙サイズを設定することにより、印刷データの拡大・縮小を行います。

用紙の大きさを変えないで拡大・縮小

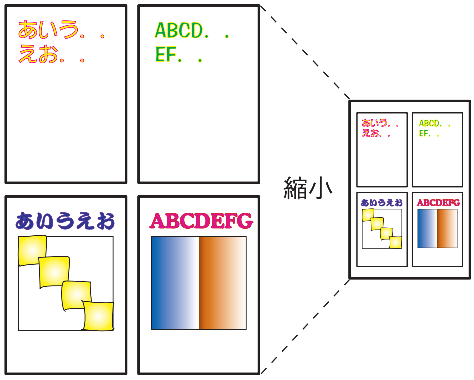
任意の倍率を指定することで、印刷データの拡大･縮小を行います。拡大･縮小率は10%～400%の範囲で設定可能です。

前述の「出力用紙サイズを指定する」と組み合わせると希望の出力用紙に任意の倍率で拡大・縮小して印刷データを出力することができます。

複数ページ印刷

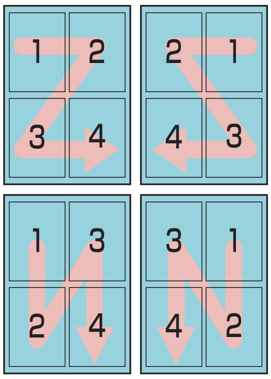
［レイアウト］を選択すると連続した複数ページのデータを1枚の用紙に縮小配置して印刷します。

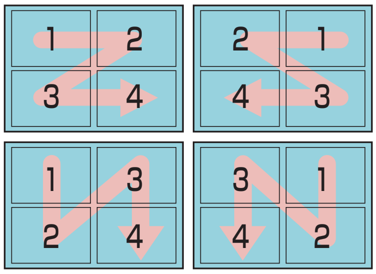
［2アップ］、［4アップ］、［8アップ］が選べます。右のイラストは［4アップ］を選択したときの例です。



ページ配置・ページレイアウト

以下のようなページレイアウトの順序や境界線の印刷が選択できます。

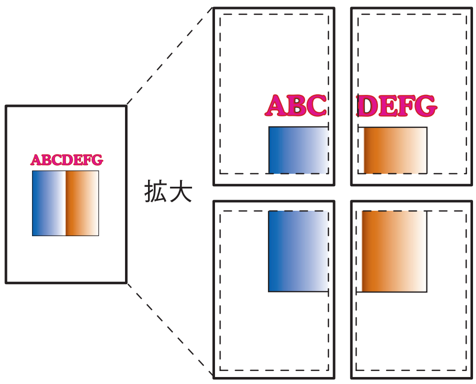




分割拡大印刷

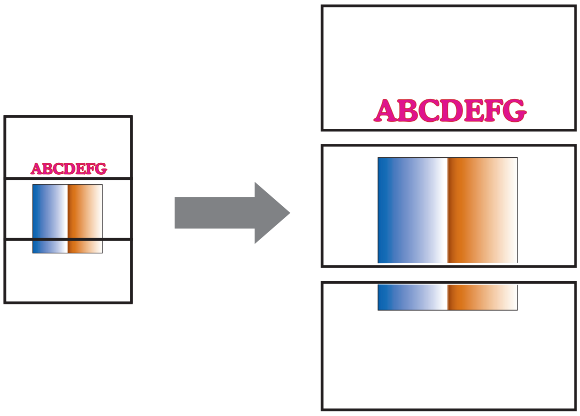
［分割拡大印刷］を選択すると1枚の印刷データを何枚かの用紙に拡大配置して印刷します。［2×2］、［3×3］、［4×4］が選べます。以下のイラストは［2×2］を選択したときの例です。

また、さらに印刷ページの指定や境界線の印刷も選択できます。



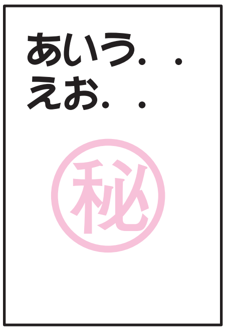
長尺紙ポスター印刷

推奨長尺紙の用紙サイズの297mm×1,200mm、297mm×900mm用紙を使用して手軽にポスターを作成できます。



ウォーターマーク印刷

用紙のある部分に透かしのようなマークの形を印刷する機能です。マークの種類、位置、角度、サイズ、濃度、色の設定ができます。



標準で登録されているウォーターマーク：

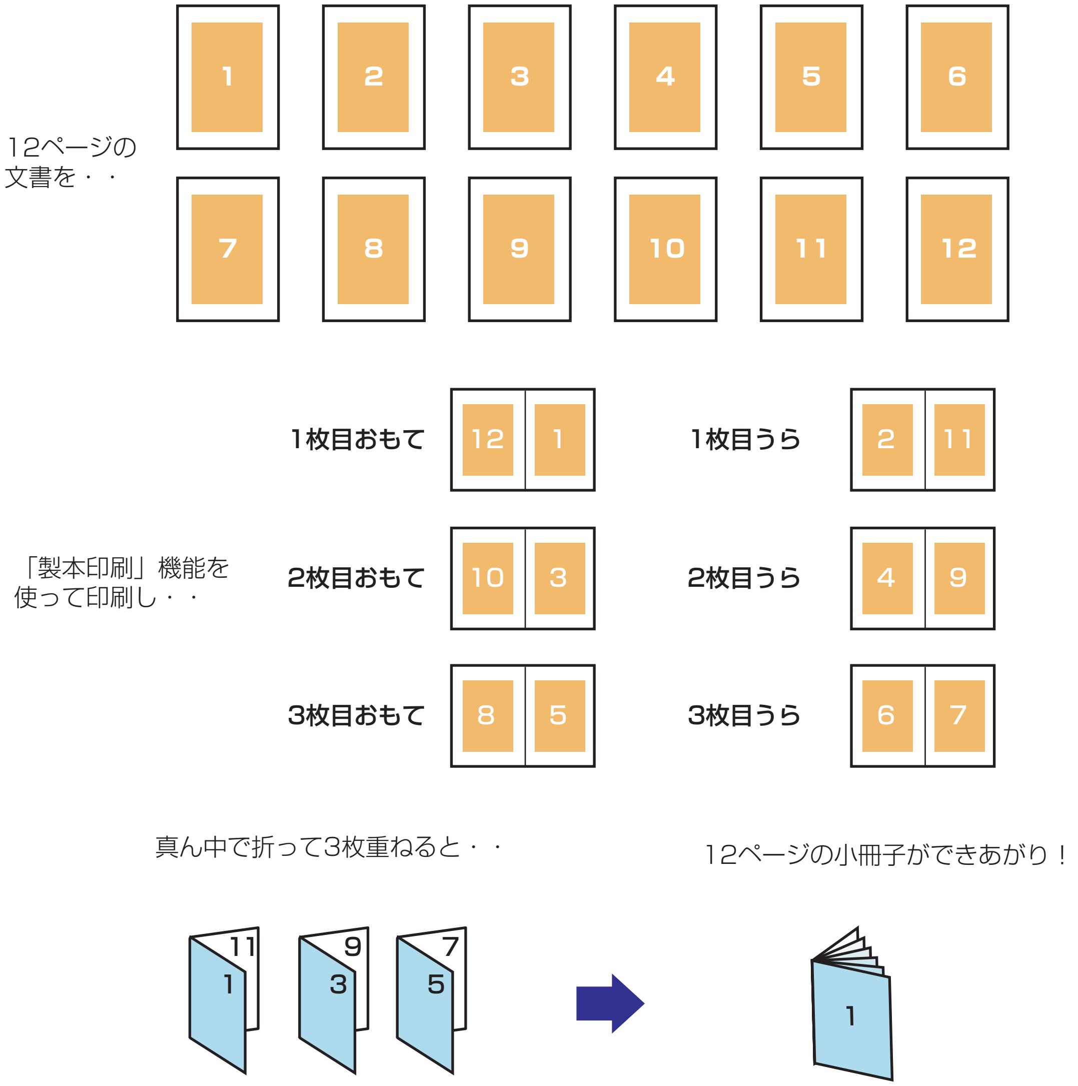
マル秘、お知らせ、コピー禁止、マル仮、回覧、至急、持出禁止、社外秘、取扱注意、重要、CONFIDENTIAL、SECRET

この他、自分でマークを登録することができます。

- ウォーターマークに使用できるビットマップファイルは 1bpp（bits per pixel）、4bpp、8bpp、24bppの非圧縮Windows DIB形式（拡張子：BMP）のファイルだけです。
- 登録できるウォーターマークは標準のウォーターマークを含めて50種類までです。また、ウォーターマーク名と印刷する文字列の長さは半角で32文字、全角で16文字までです。

製本印刷

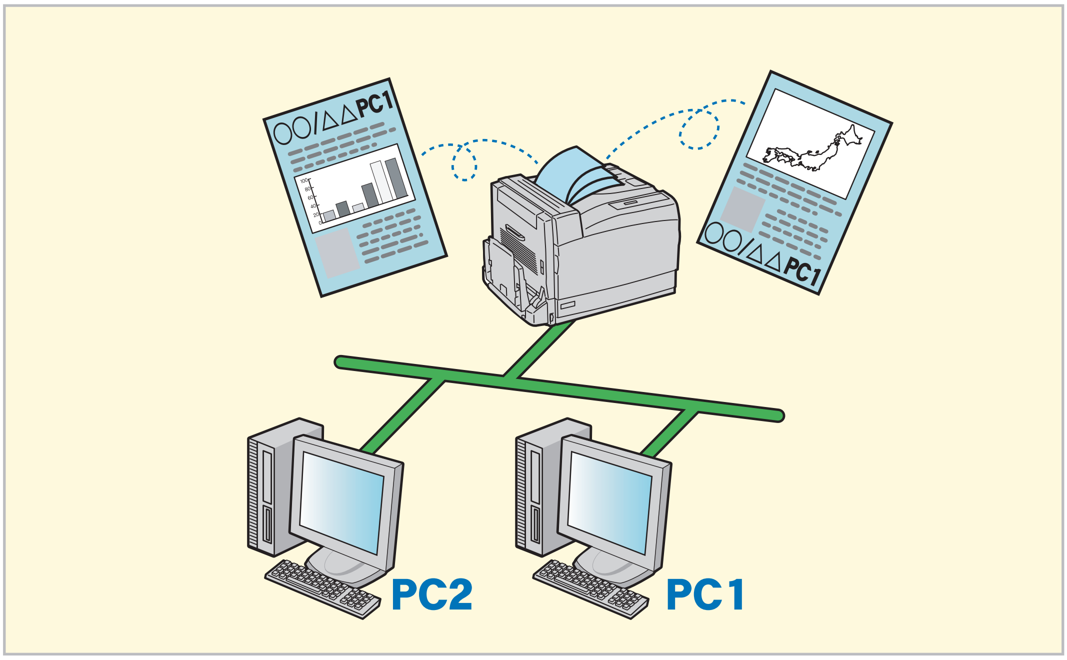
2つ折りの本になるようにページを振り分けて印刷する機能です。2ページ分のデータを1ページに配置し、両面に印刷します。以下は12ページの文書を印刷したときの例です。



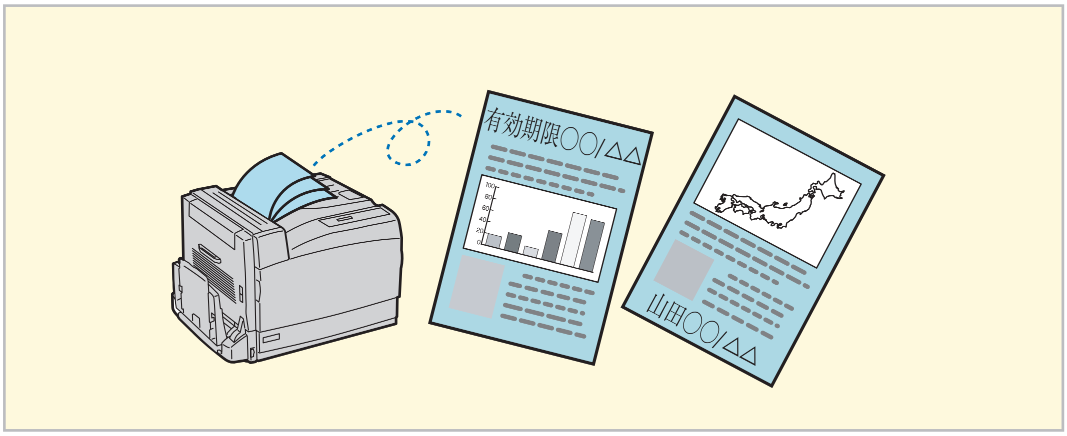
ヘッダー／フッター

ヘッダー／フッター機能は、あらかじめ日付や作成者などを設定して、文章と同時に印刷する機能で、文章の区別、仕分けなど簡単に識別できる便利な機能です。ヘッダー／フッター機能を利用することにより、次のような文書管理が可能になります。

- ヘッダー／フッター機能がないアプリケーションから印刷を行う場合にも、「ユーザー名」や「コンピューター名」をヘッダー／フッター位置に印刷することができ、共有のネットワークプリンタなどにおいて「だれが」、「どこから」印刷したものかを容易に判別できて、印刷元を明らかにすることができます。



- 「文字列（例：有効期限＊＊＊など」、「日付」を設定して印刷することで印刷ドキュメントの管理・有効性を高めることができます。

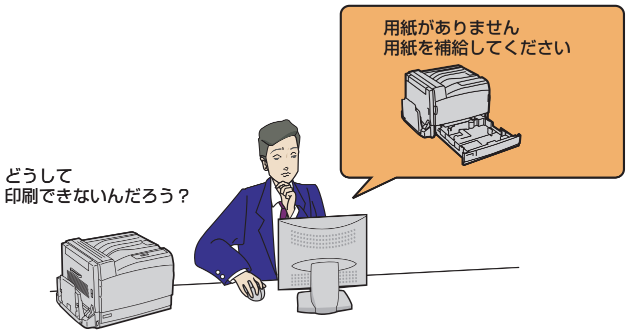


プリンタステータスウィンドウ

プリンタステータスウィンドウは印刷の進行状況やプリンターの状態を画面と音声によるメッセージで通知します。

チェック

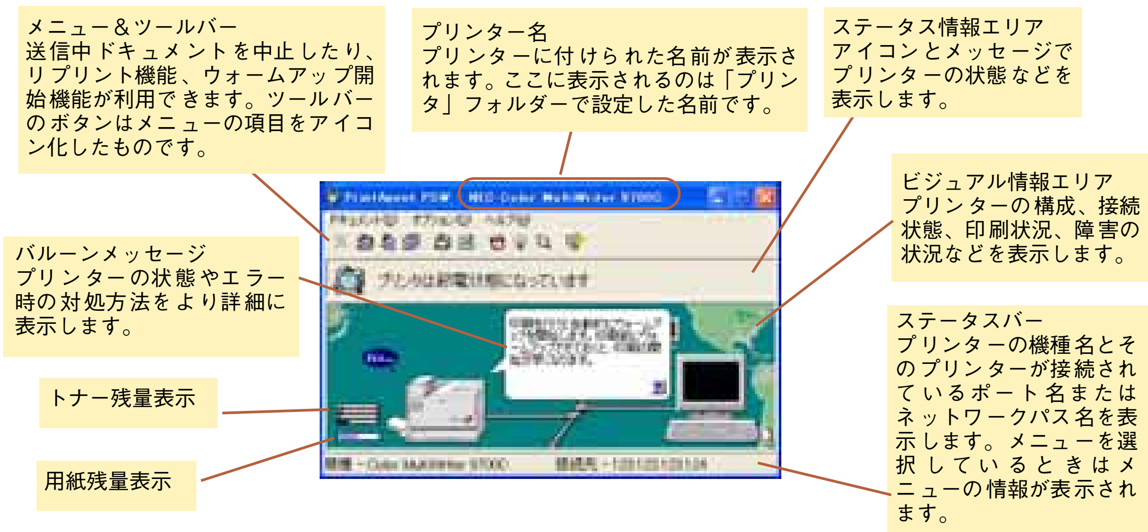
標準設定では音声はインストールされません。「アプリケーションの追加と削除」で音声を選択してインストールしてください。



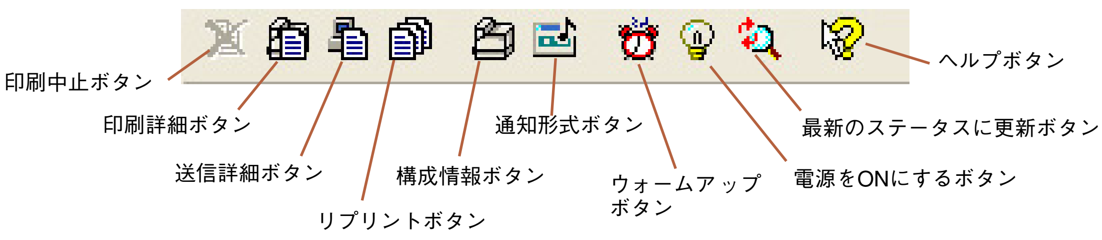
通常プリンターが印刷を開始したり印刷中にエラーが発生したりするとプリンタステータスウィンドウが自動的に起動します。設定により画面上にアイコンや下のようなウィンドウを表示することができます。起動する方法は次の3種類です。

- 「PrintAgent」ツールバーから起動する
- スタートメニューから起動する
- タスクバーのアイコンから起動する

また、印刷の中止などの指示もこのウィンドウから行うことができます。



［ツールバー］

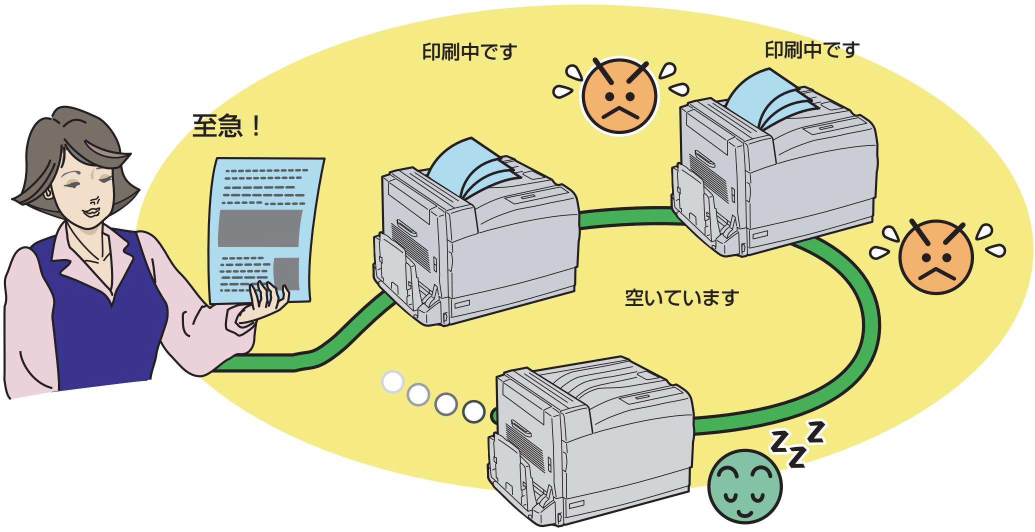


チェック

- プリンターがオプションのリモート電源制御対応LANアダプタ（型番PR-NP-03TR2）に接続されている状態で、電源制御の設定が有効な場合に、［電源をONにする］ボタンが表示されます。
- 初期設定では印刷中以外はプリンターの状態を監視しないことになっています。プリンターの最新の状態を知るためには［最新のステータスに更新］ボタンをクリックしてください。常にプリンターの状態を取得するようにするには147ページ「通知形式を変更する」をご覧ください。

プリンターの自動切替

複数のColor MultiWriter 9700Cをグループ化することにより、自動的に空いているプリンターへ出力する機能です。ネットワーク共有プリンターとして設定することにより、ネットワーク内のクライアントも利用することができます。使用条件は以下のとおりです。



使用条件

- プリンター管理者が複数のColor MultiWriter 9700Cをグループプリンタとして登録することが必要です。
- プリンタードライバーのみをインストールしている場合は利用できません。
- グループプリンタに設定するには、管理者向けインストールで「プリンタ自動切替」オプションを選択してインストールする必要があります。
- Color MultiWriter 9700Cをプリントサーバーコンピューター上で複数台接続しているネットワーク環境でのみ利用できます。
- Windows Me、Windows 98、Windows 95をお使いの場合、プリントサーバーコンピューター上でグループプリンタとして登録できるプリンターは2台までです。

機能の設定方法

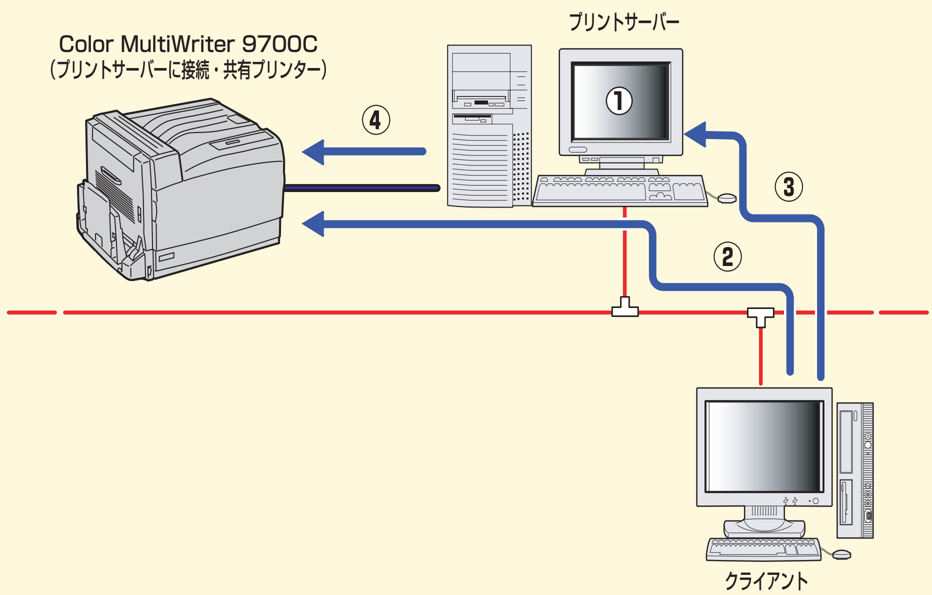
ここでは、それぞれの機能の設定方法について説明します。

リプリント機能

リプリント機能を使うには次のステップが必要です。

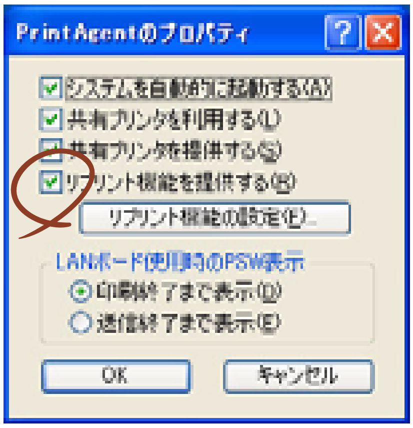
Step 1　リプリント機能を設定する（リプリント機能の提供）
Step 2　印刷する（リプリント用ファイルのスプール）
Step 3　リプリントしたい文書を選ぶ（スプールファイルの選択）
Step 4　リプリントする（スプールファイルの出力）

このイラストはクライアントからリプリントを実行する場合のステップを説明したものです。



Step 1　リプリント機能を設定する

ローカル接続されているコンピューター、またはプリントサーバーの「PrintAgent」ツールバーの設定ボタンメニューからPrintAgentのプロパティを開くか、あるいは［PrintAgentシステムメニュー］からPrintAgentのプロパティを開き、［リプリント機能を提供する］をチェックする。



重要

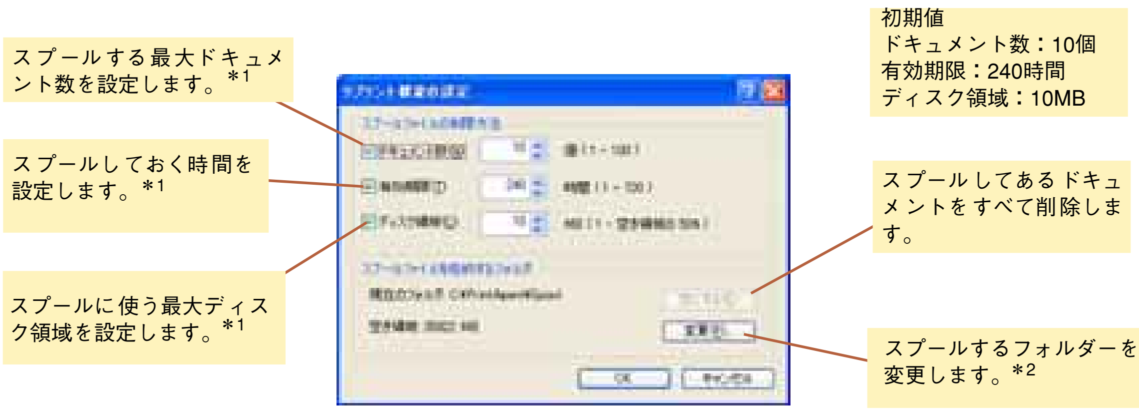
プリントサーバーがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、Administrators（WindowsXPの場合は［コンピュータ管理者］）の権限がないと、この設定はできません。

［リプリント機能を提供する］

リプリントを行う場合には、本項目をチェックしておきます。チェックすると、一度印刷したデータをコンピューター上でプライベートスプールします。プライベートスプールするときの設定を行うには［リプリント機能の設定］ボタンをクリックします。プライベートスプールとは、リプリントを行うためにPrintAgentがドキュメントを保有することです。プリントサーバーのハードディスクに印刷ドキュメントが保存されます。

［リプリント機能の設定］

このボタンをクリックすると、下図に示すダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでリプリント機能に関する詳細な設定を行います。



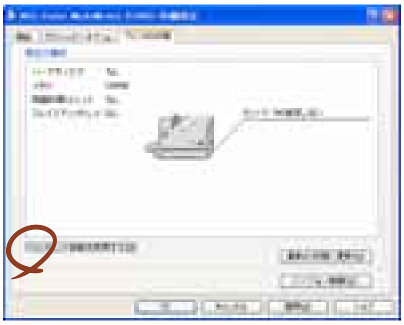
＊1　ここで設定した値のうちのいずれかを超えると、すでにスプールしているドキュメントの中から最も古いファイルの順に消去されます。

＊2　空き容量が不足した場合など、このボタンからスプール先のフォルダーを変更できます。ネットワークで接続されたフォルダーやリムーバブルディスクはスプールするフォルダーとして指定できません。

Step 2　印刷する

❶ **リプリント機能を利用するコンピューターのダイアログボックスを開き、[リプリント機能を使用する]をチェックする。**

リプリント機能は標準で無効になっています。

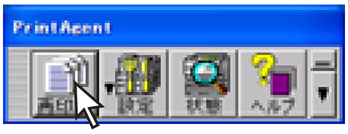


[プリンタの状態] シート

❷ **アプリケーションでドキュメントを印刷する。**

Step 3　リプリントしたい文書を選ぶ

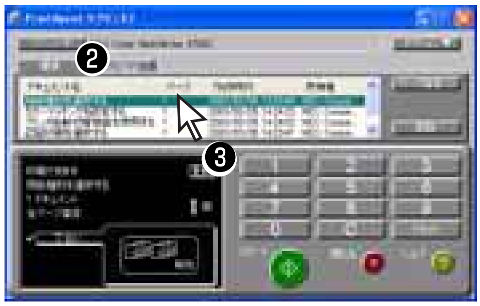
❶ **「PrintAgent」ツールバーの［再印刷］ボタンをクリックする。**



❷ **［標準］シートを開く。**

❸ **PrintAgent　リプリント2でリプリントしたいドキュメントを選ぶ。**

標準ではリプリントできるドキュメント数は「10」に設定されています。変更するときは300ページを参照してください。



Step 4　リプリントする

再印刷するドキュメントの印刷部数、丁合いを設定し、[スタート] ボタンをクリックする。

次ページの「リプリント機能を使用するときの注意事項」を参考にして設定してください。

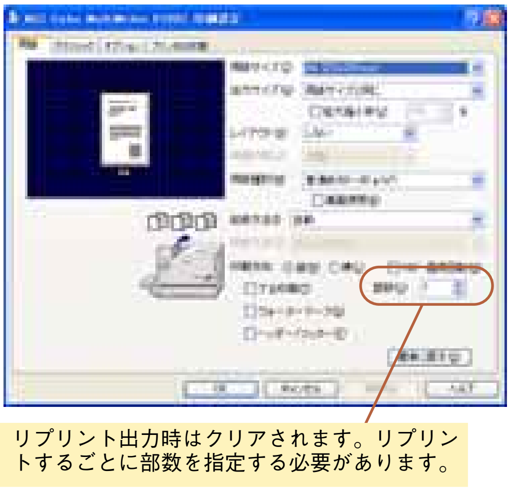


リプリント機能を使用するときの注意事項

リプリント機能を利用するにあたって以下の内容を参考にしてください。

リプリントされるページは最初に印刷したときのプロパティダイアログボックスの設定をそのまま使って印刷されます。

たとえば給紙方法や縮小・拡大率の設定、印刷位置の調整などはそのままの設定で印刷されます。ただし部数、丁合いの設定はクリアされますので、リプリントするときに再設定することになります。

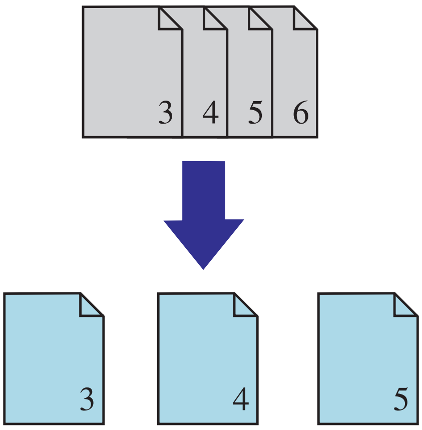


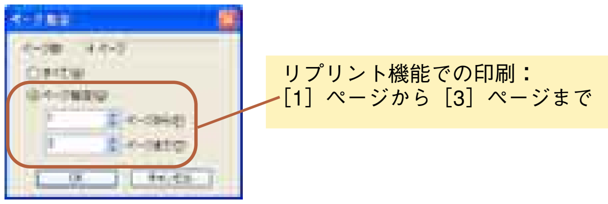
- リプリント機能で印刷できるページはアプリケーションで実際に印刷したページのみです。

  例えば10ページある文書の中から2〜3ページだけを印刷した場合、1ページと4〜10ページをリプリントすることはできません。また、リプリント出力時は、部数設定はクリアされますので、リプリントするごとに部数を指定する必要があります。

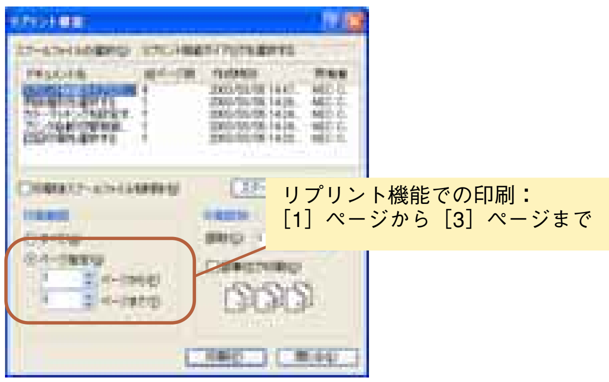
- 本プリンターにおいては、リプリント機能での両面印刷の設定はサポートしていません。
- リプリント機能で印刷するページを指定する場合、最初にアプリケーションで印刷したときの開始ページが「1ページ目」として設定されます。

  例えばアプリケーションで文書の3〜6ページを印刷して、リプリント機能で3ページのみを印刷するときのページ指定は「1」です。また、4、5ページを印刷するときの開始ページは「2」、終了ページは「3」です。



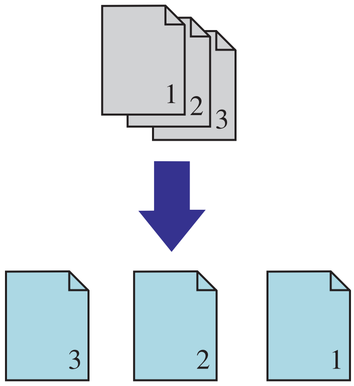


PrintAgent リプリント2の場合



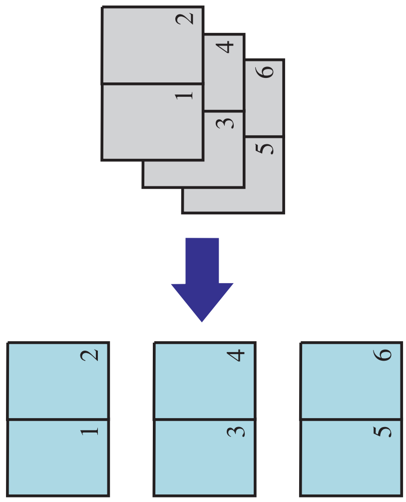
プリンタステータスウィンドウの
［リプリント機能］ダイアログボックスの場合

－　逆順印刷をサポートしているアプリケーションから逆順に印刷した場合や排紙方法としてフェイスアップ（最終ページから）を選択していた場合、末尾ページが「1ページ目」として設定されます。



排紙方法　フェイスアップ（最終ページから）の場合

－　この他、複数ページレイアウトや分割拡大印刷を選択していた場合など、すべてプリンターの印刷した順番通りに1ページ、2ページと設定されるためアプリケーション上のページ数とは異なっています。



複数ページレイアウト（フェイスダウン）の場合

チェック

文書内で用紙サイズ、レイアウト、両面印刷の設定が変わるような文書の場合、ページ指定がうまくいかないことがあります。この場合は、すべてのページをリプリントするようにしてください。

- ネットワーク環境での印刷ファイルはプリントサーバーにスプールされます。

  スプールされたファイルは［リプリント機能の設定］ダイアログボックスで設定された制限に従って古いものから消去されます。

- ヘッダーやフッターで日付や時刻を指定している場合、リプリントしても日付や時刻は最初にプリントしたまま変わりません。



ジョブ結合

ジョブ結合の使い方はPrintAgent リプリント2でリプリントする場合と最初の手順は同じです。

❶ **PrintAgentでリプリント機能の設定をする。**

PrintAgentリプリント2を使用するために、PrintAgentのプロパティでリプリント機能の設定をします。（詳細は126ページ）

❷ **アプリケーションから印刷する。**

リプリント機能を使用する設定でアプリケーションからドキュメントを印刷します。（詳細は127ページ）

❸ **「PrintAgent」ツールバーの［再印刷］ボタンをクリックする。**

PrintAgent リプリント2が起動します。



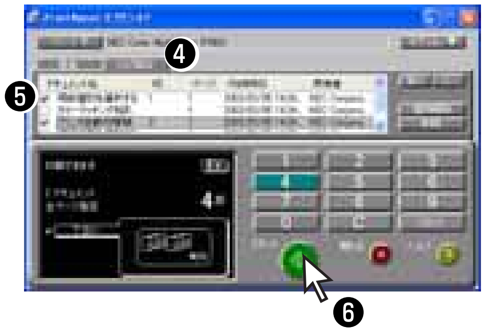
❹ **［ジョブ結合］シートを開く。**

❺ **ジョブ結合したいドキュメントを選択する。**

チェックした順に印刷順が指定されます。印刷順を変えたい場合は［前へ］ボタンまたは［後へ］ボタンを押して変更してください。

❻ **再印刷するドキュメントの印刷部数を設定し［スタート］ボタンをクリックする。**

丁合い印刷をしたい場合は、丁合い機能を有効にして印刷します。



丁合いの設定

丁合い機能とは、部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ）に印刷する機能です。
オプションのハードディスクを取り付けて、この機能を使用することにより、電子ソート機能を使用して高速丁合い印刷を行うことができます。オプションのハードディスクを取り付けなくても丁合い印刷を行うことができますが、印刷速度は低下することがあります。

双方向通信に設定していて、PrintAgentをインストールしている場合、ハードディスクは自動的に検出されます。オプションのハードディスクを取り付けていて、双方向通信の設定をしていない場合には、［プリンタの構成］シートでハードディスク「あり」を選択してください。

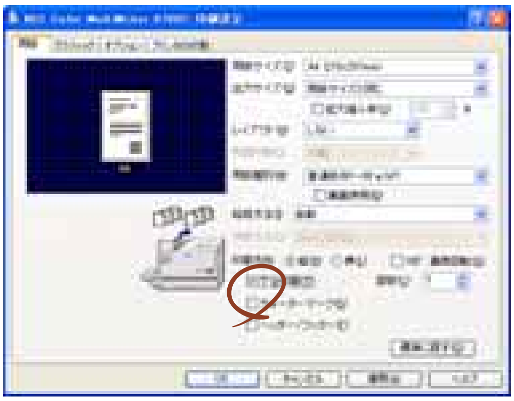
チェック

- Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は、設定に管理者権限が必要です。Windows XPの場合は、設定が［コンピュータの管理者］である必要があります。
- アプリケーションによっては、プリンターのプロパティから「丁合印刷」を選択しただけでは丁合い印刷が有効にならない場合があります。アプリケーションの印刷設定で「丁合い」、もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合は、アプリケーションの方で丁合印刷を指定してください。また、一部のアプリケーションにおいてはアプリケーション自身が丁合い処理を行うため、丁合い印刷を高速に行う「電子ソート」の機能が有効にならない場合があります。

❶ プリンタードライバーの［印刷設定］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

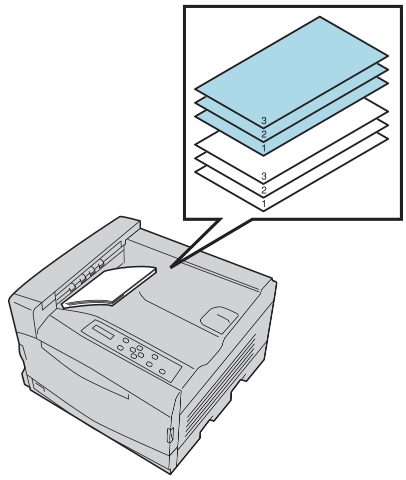
❷ 丁合い機能を有効にする。

［印刷設定］ダイアログボックスの［用紙］シートを開き、［丁合印刷］をチェックします。



❸ ［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ）に仕分けされながらスタッカー上に排出されます。



排出方法について
排出方法を変えると、それに合わせて丁合い印刷のアイコンが変化します。

MOPYING設定ウィンドウ

本プリンターのプリンタードライバーには、より快適にMOPYINGを実現するために、MOPYING設定ウィンドウがあります。複数ページ印刷や両面印刷などの設定を簡単に行うことができます。

チェック

MOPYING設定ウィンドウは、一部のアプリケーションのみ対応しております。対応アプリケーションや使用する際の注意事項などについては、プリンタードライバーのヘルプ、または添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「CMW9700C¥Disk1¥DRIVERS.TXT」をお読みください。

設定方法

MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する場合は以下の手順を行ってください。

Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする
Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする

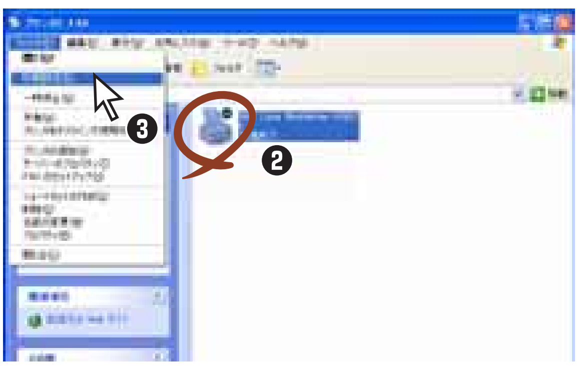
MOPYING設定ウィンドウを表示するため、設定を有効にします。

❶ **［プリンタとFAX］フォルダー（Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、［プリンタ］フォルダー）を開く。**

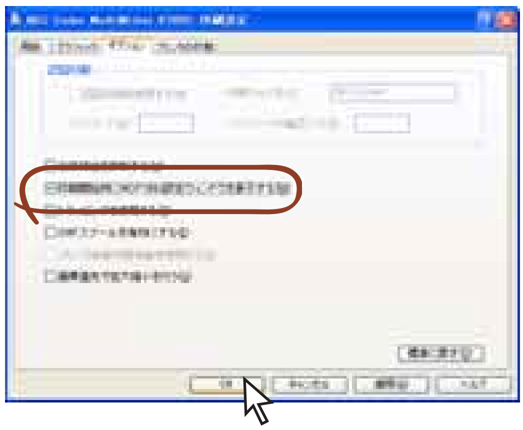
❷ **［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンをクリックする。**

❸ **［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックする。**
プロパティダイアログボックスが表示されます。

Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合はファイルメニューの［プロパティ］、Windows NT 4.0の場合はファイルメニューの［ドキュメントの既定値］をクリックします。



❹ **MOPYING設定を有効にする。**
［オプション］シートを開きます。［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］をチェックし、［OK］をクリックします。

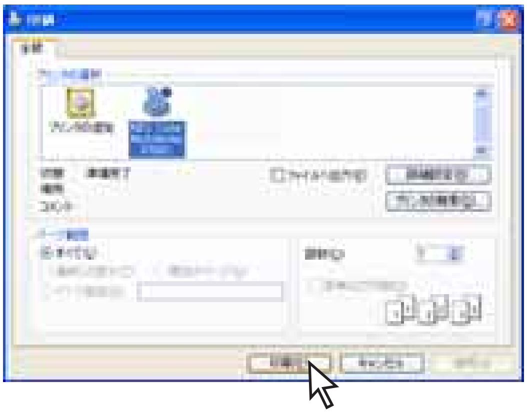


Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

❶ **アプリケーションから印刷を実行し、［印刷］ダイアログボックスを開く。**

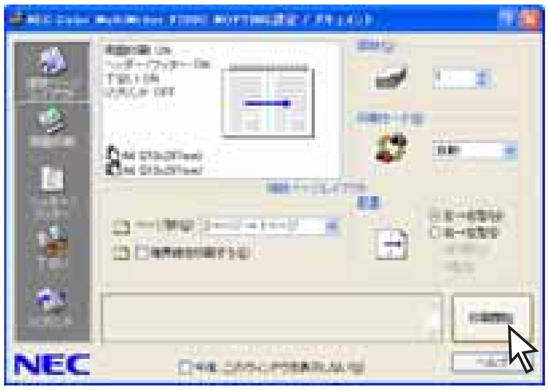
❷ **［印刷］ダイアログボックスの［印刷］をクリックする。**

MOPYING設定ウィンドウが表示されます。



❸ **複数ページレイアウト印刷、両面印刷などの設定をし、［印刷開始］をクリックする。**

印刷が開始されます。



チェック

設定を行わずに、右上の×ボタンを押しても印刷が開始されます。

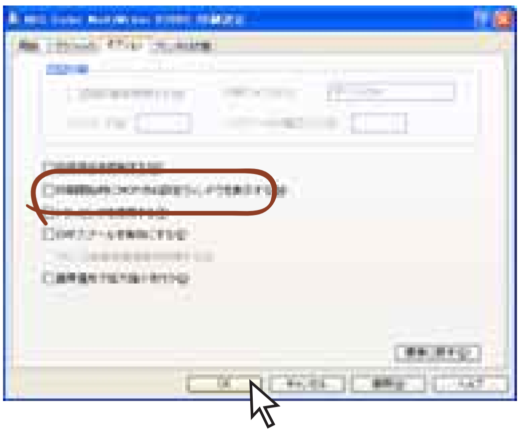
設定を解除する

MOPYING設定ウィンドウの表示を無効にする手順を説明します。

❶ **306ページの手順❶～❸を行い、プロパティダイアログボックスを開く。**

❷ **MOPYING設定を解除する。**

［オプション］シートを開きます。［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］のチェックを外し、［OK］をクリックします。



チェック

この手順以外でもMOPYING設定ウィンドウが表示されているときに、［今後、このウィンドウを表示しない］をチェックすることにより、MOPYING設定を無効にすることができます。

両面印刷・製本印刷

Color MultiWriter 9700Cはオプションの両面印刷ユニット（型番 PR-L9700C-DL）を装着することにより、両面印刷が可能になります。この機能は、ユーザー定義、はがき、往復はがき、封筒以外の「普通紙」、「再生紙」、「やや厚紙」を選択しているときに可能です。（用紙に関しては付録の「用紙の規格」（417ページ）をご覧ください。）

ただし、メモリーの量、印刷品質、片面印刷／両面印刷の条件によっては印刷できない場合があります。詳細については、ユーザーズマニュアル10章の「増設メモリー」をご覧ください。

重要

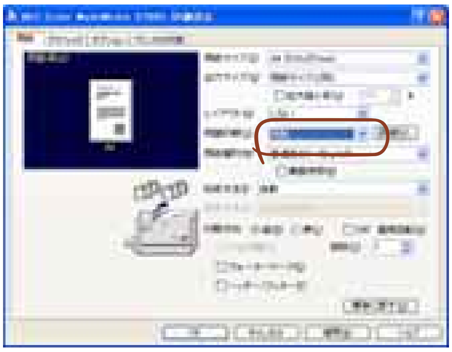
指定以外の用紙を使わないでください。また、両面印刷をする際は両面とも印刷されていない用紙をお使いください。指定以外の用紙や、すでに印刷されている用紙をセットして両面印刷をすると紙づまりやプリンターの故障の原因となります。

両面印刷

以下の手順で両面印刷の設定を行います。

❶ **両面印刷機能を有効にする。**

［印刷設定］ダイアログボックスの［用紙］シートを開き、［両面印刷］で「両面」を選択します。



❷ **［詳細］をクリックする。**

❸ **プレビューを見ながら必要に応じて、綴じ方向、印刷位置を設定する。**



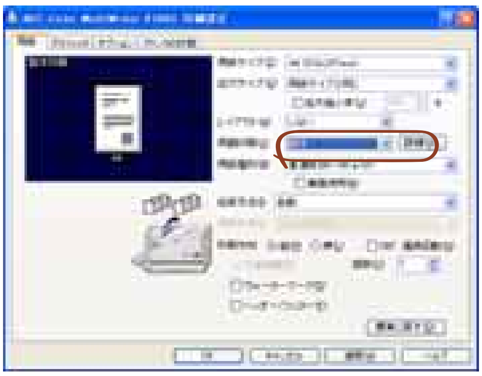
❹ **［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。**

製本印刷

印刷した用紙を本のように綴じる場合は、以下の手順で製本印刷の設定を行ってください。

❶ **製本印刷機能を有効にする。**

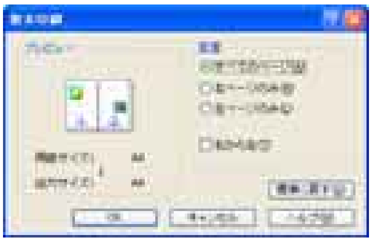
［印刷設定］ダイアログボックスの［用紙］シートを開き、［両面印刷］で「製本」を選択します。



❷［詳細］をクリックする。

❸ プレビューを見ながら必要に応じて製本したときの印刷面、印刷の順序を設定する。

［右から左］をチェックするとページの送り方が右から左になり和書の製本形式に仕上がります。



❹［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

リレー給紙機能

リレー給紙機能を使うには次のステップが必要です。

Step 1 リレー給紙を有効にする
Step 2 給紙方法を設定する

Step 1 リレー給紙を有効にする

リレー給紙を有効にするために、プリンターの設定を行います。

❶ **メニューモードに入る。**
［印刷可］スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、［メニュー］スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させせます。

❷ **操作パネルによって、“リレーキュウシ”をONにする。**
詳しくは、「メニューツリー」（111ページ）をご覧ください。

チェック

リレーさせるホッパーまたは手差しトレーのすべてを“リレーキュウシ”をONにしてください。

❸ **リレーするホッパー/手差しトレー同士の用紙種別を同じに設定する。**

チェック

リレー給紙は用紙サイズ、用紙種別の両方が同じでないと行われません。また「用紙種別の設定」で「指定しない」が選択されているとリレー給紙はしません。

❹ **［メニュー終了］スイッチを押す。**

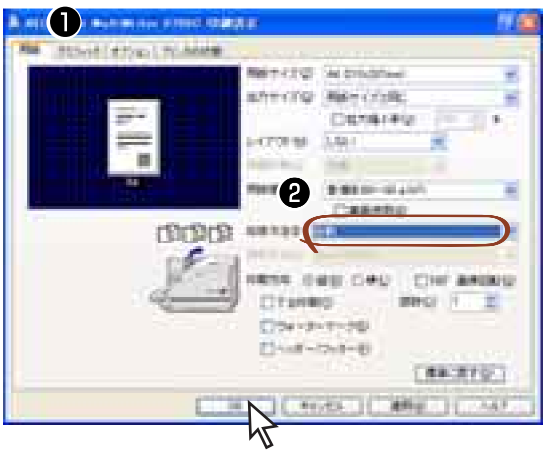
❺ **設定が終わったら、テスト印刷でリレー給紙を有効にしたホッパー/手差しトレーの用紙サイズ、用紙種別が同じになっているか確認する。**

Step 2 給紙方法を設定する

印刷を開始するときに［給紙方法］で［自動］を選択します。

❶ **プリンタードライバーの［印刷設定］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

❷ **ホッパーの給紙方法が［自動］になっていることを確認する。**

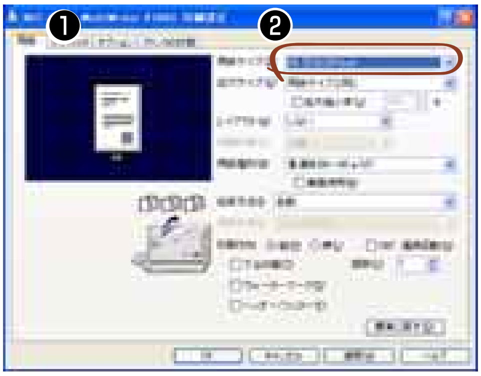


❸ **［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、［OK］をクリックして印刷する。**

拡大・縮小印刷

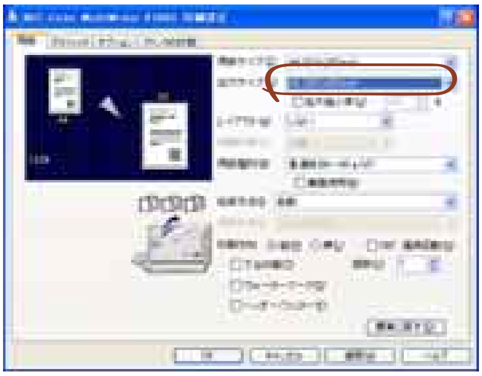
❶ プロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

❷ 用紙サイズのリストボックスから原稿の用紙サイズを選択する。



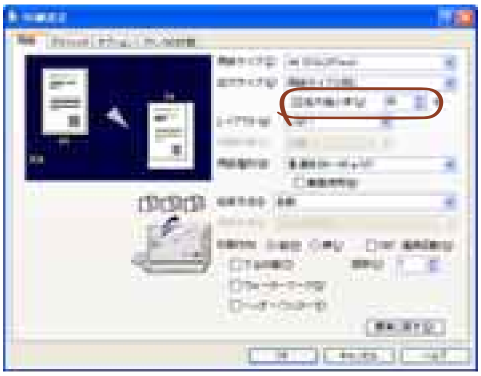
❸ 出力サイズのリストボックスから印刷したい用紙のサイズを選択する。

用紙サイズと出力サイズに対応した拡大縮小率が自動で計算されます。



❹ 用紙プレビューを確認して[OK]をクリックする。

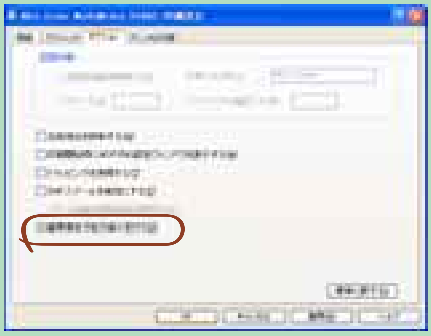
❺ 拡大縮小率を手動で調整したい場合には、［拡大縮小率］のチェックボックスにチェックを入れて、直接入力する。



❻ 用紙プレビューを確認して［OK］をクリックする。

チェック

拡大縮小時に文字などの印刷品質が気になる場合には、［オプション］シートの［画質優先で拡大縮小を行う］チェックボックスにチェックしてください。

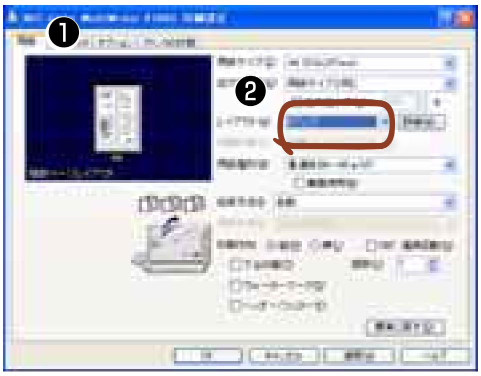


複数ページ印刷

複数ページ印刷では縮小されて印刷されるため、ドラフト印刷、カタログ印刷などに有効な機能です。

❶ **プロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

❷ **［レイアウト］のリストボックスから1ページに配置したいページ数を選択する。**



左上から横方向レイアウトしたい場合（Z型）はこのまま［OK］をクリックします。別のレイアウトをしたい場合は❸に進みます。

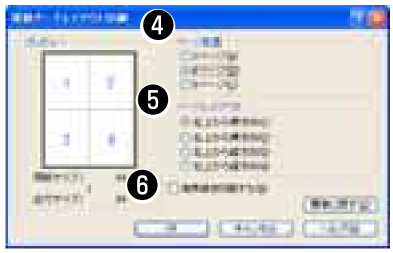
❸ **［詳細］をクリックする。**

❹ **［ページ配置］のページ数を確認（選択）する。**

［複数ページレイアウト印刷］ダイアログボックスが表示されます。

❺ **［ページレイアウト］から配置方法を選択する。**

❻ **必要に応じて［境界線を印刷する］をチェックする。**



❼ **[OK]をクリックする。**

❽ **用紙プレビューを確認して［OK]をクリックする。**

分割拡大印刷

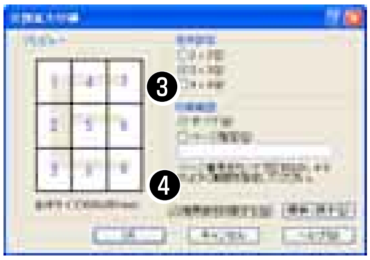
❶ プロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

❷［レイアウト］のリストボックスから分割したい倍率設定を選択し、［詳細］をクリックする。



❸ 倍率を設定後プレビューを確認して印刷範囲を指定する。

❹ 必要に応じて［境界線を印刷する］をチェックする。



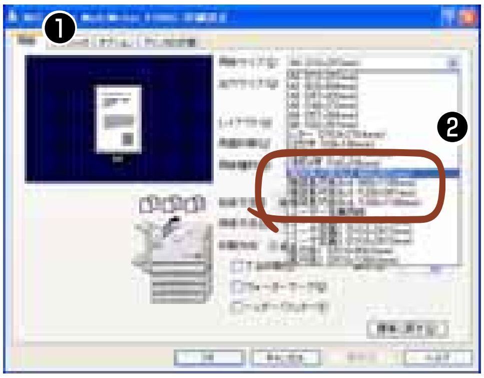
❺［OK]をクリックする。

長尺紙を使用したポスター印刷

推奨長尺紙を使用して手軽にポスターを作成する便利な機能です。

❶ プロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

用紙サイズのリストボックスから［推奨長尺紙A×3］、［推奨長尺紙A×4］、［推奨長尺紙B×3］、［推奨長尺紙B×4］のいずれかを選択する。



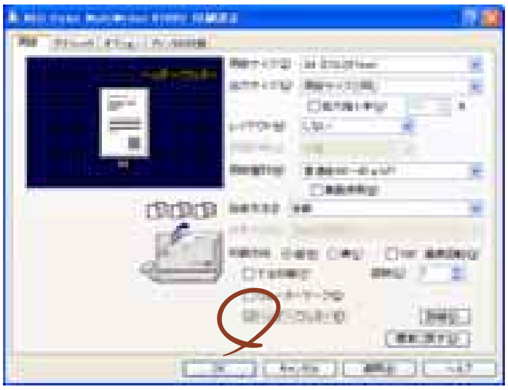
❸ 出力サイズは自動的に決定されるので、印刷したい用紙サイズと同じことを確認する。

❹ プレビューを確認して［OK］をクリックする。

ヘッダー／フッター

❶ **プロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

❷ **［ヘッダー／フッター］をチェックする。**

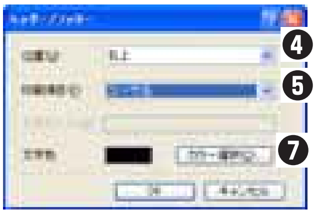


❸ **［ヘッダー／フッター］の右にある［詳細］ボタンをクリックする。**

［ヘッダー／フッター］ダイアログボックスが表示されます。

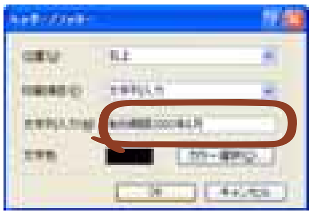
❹ **［位置］からヘッダー／フッターを印刷する位置を選択する。**

❺ **［印刷項目］からヘッダー／フッターに印刷する項目を選択する。**



ヘッダー／フッターとして印刷できる項目は、「ユーザ名」、「コンピュータ名」、「日付」、「時刻」、「日付／時刻」、「ドキュメント名」、「ページ番号」もしくは［文字列入力］です。任意の文字列を印刷する場合は、［文字列入力］を選び、❻に進んでください。その他の場合は、❼に進んでください。

❻ **［印刷項目］ボックスから［文字列入力］を選択し、［文字列入力］ボックスに印刷する文字列を入力する。**



- 入力できる文字数は、全角文字で最大32文字、半角文字で最大64文字までです。
- アプリケーションの印刷プロパティから［ヘッダー／フッター］を設定した場合、アプリケーションが開いている間は設定が保持されます。
- 文字サイズは、明朝10.5pt固定になります。

❼ **印刷する文字の色を選択する。**

❽ **［OK］をクリックする。**

［ヘッダー／フッター］ダイアログの[OK]をクリックし、［用紙］シートの［OK］をクリックします。

チェック

両面印刷、複数ページレイアウト時でもヘッダー／フッターは設定可能です。ただし、その場合は論理ページごとにヘッダー／フッターが印刷されます。

ウォーターマーク印刷

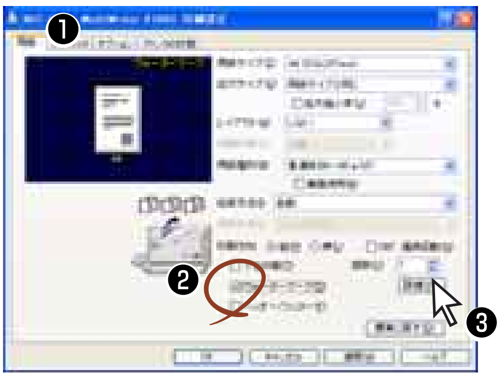
ウォーターマークの印刷

❶ プロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

❷ ［ウォーターマーク］をチェックする。

❸ ［ウォーターマーク］の右にある［詳細］ボタンをクリックする。

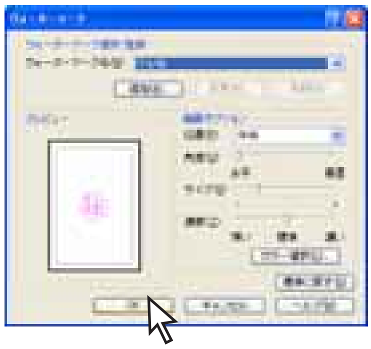
［ウォーターマーク］ダイアログボックスが開きます。



❹ ［ウォーターマーク名］リストボックスから希望のウォーターマークを選ぶ。

❺ プレビューを見ながら描画オプションを設定する。

❻ [OK]をクリックする。



ウォーターマークの登録

チェック

ウォーターマークの登録を行うには次の制限があります。

- Windows NT 4.0ではプリンターのアクセス権がフルコントロールであること。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000ではプリンターの管理がアクセス許可になっていること。

- ウォーターマークに使用できるビットマップファイルは1bpp（bits per pixel）、4bpp、8bpp、24bppの非圧縮Windows DIB形式（拡張子：BMP）のファイルだけです。
- 登録できるウォーターマークは標準のウォーターマークを含めて50種類までです。また、ウォーターマーク名と印刷する文字列の長さは半角で32文字、全角で16文字までです。

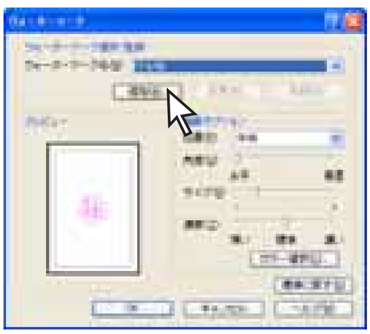
❶ プロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

❷ ［ウォーターマーク］をチェックする。

❸ ［ウォーターマーク］の右にある［詳細］ボタンをクリックする。

［ウォーターマーク］ダイアログボックスが開きます。

❹ [追加]をクリックする。

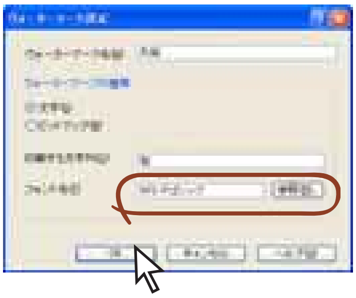


❺ **ウォーターマーク名を入力する。**

❻ **ウォーターマークの種類を選ぶ。**

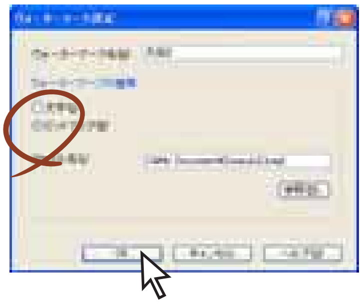
<文字を選んだ場合>

［印刷する文字列］に入力した文字のフォントを指定し、［OK］をクリックする。



<ビットマップを選んだ場合>

ウォーターマークにするビットマップファイルを指定し［OK］をクリックする。



❼ **［OK］をクリックする。**

ウォーターマークの削除

チェック

ウォーターマークの削除を行うには次の制限があります。

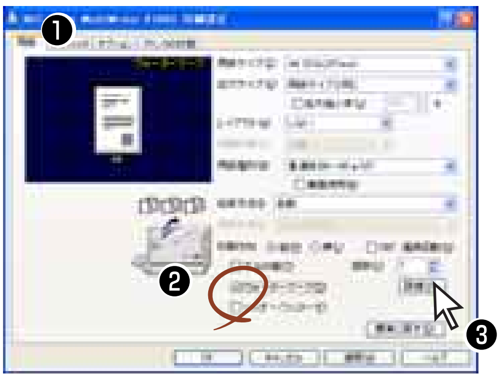
- Windows NT 4.0ではプリンターのアクセス権がフルコントロールであること。
- Windows XP、Windows Server 2003，Windows 2000ではプリンターの管理がアクセス許可になっていること。
- あらかじめ登録されているウォーターマークは削除できません。

❶ **プロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

❷ **［ウォーターマーク］をチェックする。**

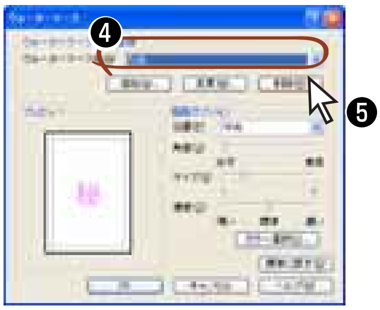
❸ **［ウォーターマーク］の右にある［詳細］ボタンをクリックする。**

［ウォーターマーク］ダイアログボックスが開きます。



❹ **［ウォーターマーク名］リストボックスから削除したいウォーターマークを選ぶ。**

❺ **［削除］をクリックする。**



❻ **［はい］をクリックする。**

❼ **［OK］をクリックする。**

プリセットメニュー

「プリセットメニュー」は設定内容を登録できる機能です。ここではプリセットの登録と削除方法について説明します。

あらかじめ登録されているプリセットの内容は以下のとおりです。設定されている内容は左下の設定情報表示エリアに表示されます。

- 文書標準　：一般的な文書を高速に印刷する場合に適した設定です。
- 文書高画質　：一般的な文書を高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 写真　：写真画像を多く含んだ文書を印刷する場合に適した設定です。
- 文書高精細　：テキストやグラフィックを高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 白黒文書　：カラー文書をモノクロモードで印刷するときの設定です。
- OHP　：プレゼンテーション資料などイラストを含んだデータをOHPに印刷する場合の設定です。

チェック

初期設定では［文書標準］が選択されています。写真画像が混在した文章を印刷する際に、写真の印刷品質を優先したい場合やグラデーションをなめらかにした場合には、［写真］を選択してください。

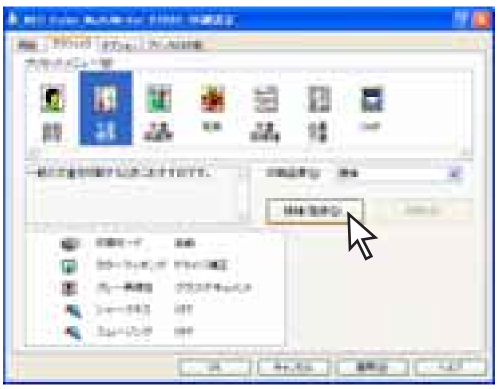
プリセットの登録

❶ **プロパティダイアログボックスの［グラフィック］シートを開く。**

ベースにしたいプリセットがあればそのアイコンをクリックします。

❷ **［詳細/登録］をクリックする。**

［プリセット詳細/登録］ダイアログボックスが表示されます。



❸ **ダイアログボックス内の設定を変更し［プリセットへ登録］をクリックします。**

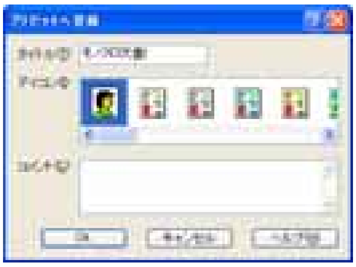
［プリセット詳細/登録］ダイアログボックスが開きます。



設定内容の詳細については3章の「カラー印刷の調整」（263ページ）を参照してください。

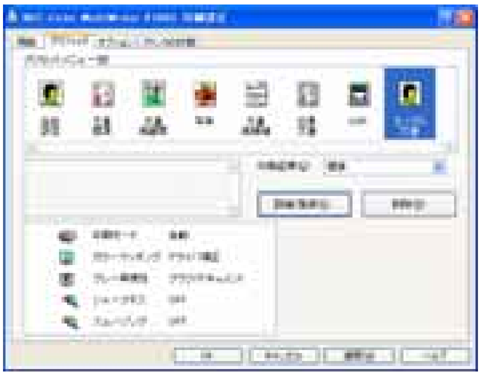
❹ **タイトルを入力し、任意のアイコンを選択します。**

タイトルは必ず入力してください。タイトルの入力文字数は半角で16文字、全角で8文字までです。また、登録する設定の簡単な説明を半角で256文字、全角で128文字まで［コメント］ボックスに入力することができます。



❺ **［OK］をクリックする。**

❻ **リストビューにユーザー設定のアイコンが追加されたことを確認する。**



ユーザー設定の削除

❶ **プロパティダイアログボックスの［グラフィック］シートを開く。**

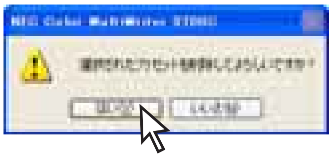
❷ **削除したいユーザー設定のアイコンを選択し、［削除］をクリックする。**



✔チェック

あらかじめ登録されているプリセットは削除できません。

❸ **［はい］をクリックする。**



❹ **「プリセットメニュー」のボックスからユーザー設定のアイコンが削除されたことを確認する。**

認証印刷

認証印刷機能を使用することで機密文書や重要文書の印刷時に、文書を誤って第三者に閲覧されることを防ぐことができます。この機能を使ってプリンターに送信されたデータは送信者しかわからないパスワードを操作パネルに入力しないかぎり印刷されません。

この機能はオプションのハードディスクを装着すると利用できる機能です。

チェック

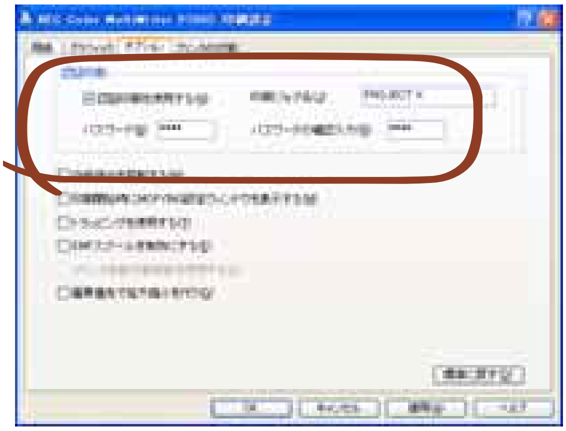
プリンターに保存された認証印刷の文書データは印刷が行われた時点でクリアされます。また、印刷が行われなくてもプリンターの電源をOFFにするとデータはクリアされます。

認証文書の作成

❶ **プロパティダイアログボックスの［オプション］シートを開く。**

❷ **［認証印刷を使用する］をチェックする。**

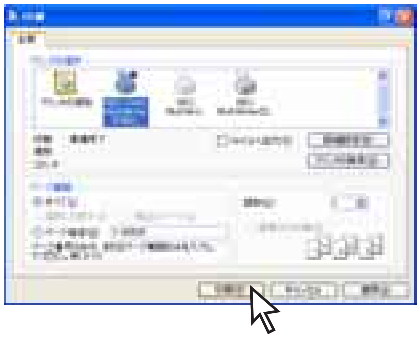
❸ **印刷ジョブ名、パスワードを入力する。**



チェック

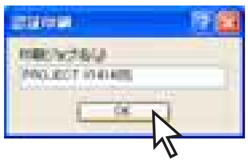
- 「印刷ジョブ名」はプリンターの操作パネルで印刷物を識別するための名前です。パスワードとともに控えておいてください。
- 設定可能な文字の条件についてはダイアログボックスの説明をお読みください。
- 「パスワードは」0～9の数字4桁を入力してください。
- 「印刷ジョブ名」に入力可能な文字はA～Z、a～z、0～9などの半角文字です。

❹ **［OK］をクリックし、通常の印刷動作を行う。**



❺ **印刷ジョブ名を確認して［OK］をクリックする。**

あらかじめ印刷ダイアログボックスの［オプション］シートで登録した印刷ジョブ名と時刻が表示されますが、ここで変更することもできます。



このあとプリンターに印刷データが送られますが、印刷は行われません。データ送信中は、ディスプレイに“ホゾンチュウ”と表示されます。

```
ホゾ゛ンチュウ
```

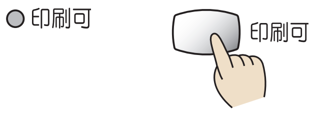
チェック

印刷時に認証印刷ダイアログボックスが表示されるまでに時間がかかる場合があります。ダイアログボックスが表示されるまでお待ちください。

認証文書の印刷

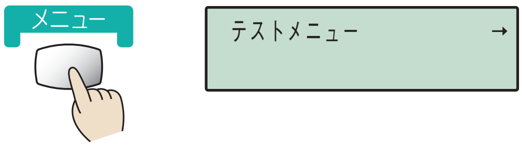
❶ ［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

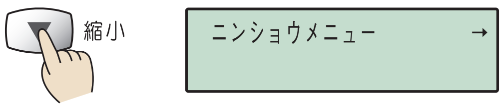


❷ ［メニュー］スイッチを押す。

ディスプレイには、“テストメニュー　→” と表示されます。

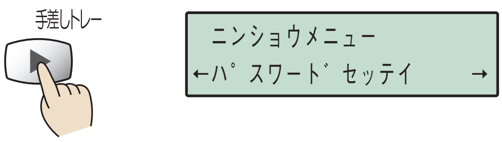


❸ “ニンショウメニュー　→” と表示されるまで［▼］スイッチを押す。



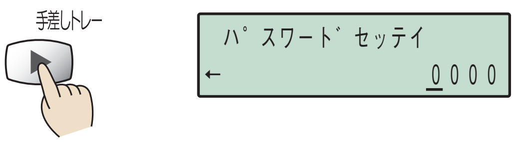
❹ ［▶］スイッチを押す。

ディスプレイには、“パスワードセッテイ” と表示されます。



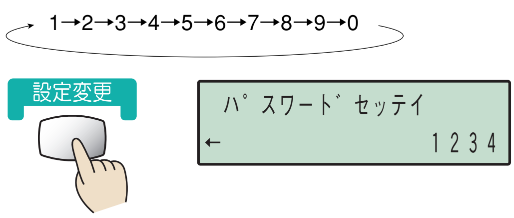
❺ ［▶］スイッチを押す。

ディスプレイに “0000” が表示されます。



❻ 登録したパスワードを入力する。

［設定変更］スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。



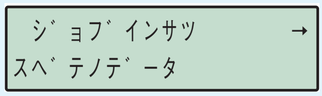
カーソルを移動させるには、［▶］スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力を間違えたら、［◀］スイッチで手順❹に戻って入力し直してください。

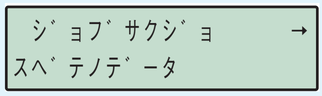
❼ ［▼］スイッチを押す。

ディスプレイ下段に登録されたジョブ名が表示されます。

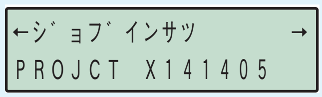


- 複数の認証文書がある場合、ディスプレイは以下の表示になります。データ名の中に “スベテノデータ” が表示されている場合は、すべてのデータを印刷／削除することができます。
  印刷／削除可能なジョブを選択する場合は、［設定変更］スイッチを押して、ジョブ名を表示させます。すべてのデータを印刷／削除する場合は［▶］を押します。

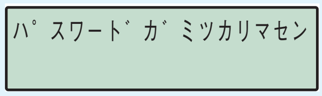




- プリンターが保存している認証文書を削除したい場合は［▼］スイッチを押して以下の表示にし、［▶］スイッチを押します。

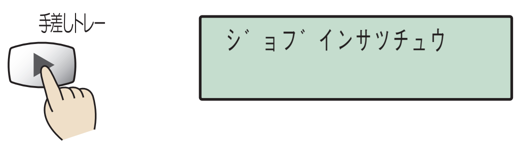


- パスワードに登録されているデータがない場合は、“パスワードガミツカリマセン” と表示されます。



❽ 印刷するジョブ名を確認して［▶］スイッチを押す。

ディスプレイの表示は “ジョブインサツチュウ” の表示に変わり認証印刷を開始します。

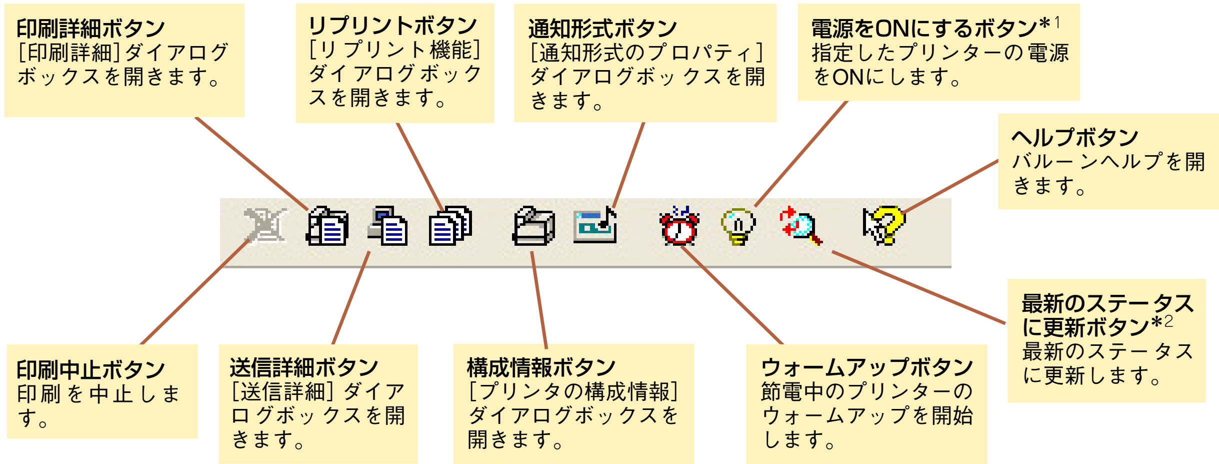


プリンタステータスウィンドウ

プリンタステータスウィンドウには、次のような機能があります。それぞれの機能はツールバーのボタンをクリックして設定、または実行します。
また、常に情報取得をするか、ウィンドウ表示するかどうかなどを選択できます。

使用条件

プリンタードライバーのみをインストールしている方は利用できません。ご利用になるにはPrintAgentのインストールが必要です。



*1　プリンターがオプションのリモート電源制御対応LANアダプタ（型番PR-NP-03TR2）に接続されている状態で、電源制御の設定が有効な場合に表示されます。

*2　初期設定では印刷中以外はプリンターの状態を監視しないことになっています。プリンターの最新の状態を知るためには［最新のステータスに更新］ボタンをクリックしてください。常にプリンターの状態を取得できるようにするには、次ページの「通知形式を変更する」をご覧ください。

送信中のドキュメントの印刷を中止する

「送信中ドキュメント情報」に表示されているドキュメントを中止する機能です。
［印刷中止］ボタンをクリックします。

リプリント機能を使う

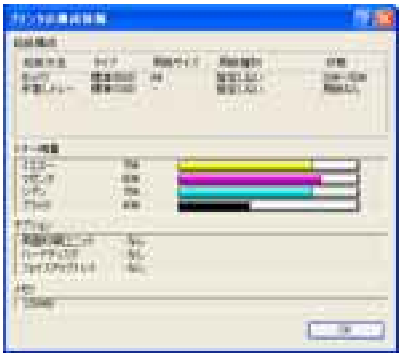


リプリント機能を利用すると一度印刷したデータはアプリケーションから再び印刷を実行することなく、プリンタステータスウィンドウのダイアログボックスから直接再印刷（リプリント）できるようになります。リプリント機能の使用方法については、「リプリント機能」（125ページ）をご覧ください。

リプリントは左の［リプリント機能］ダイアログボックスを使って行います。このダイアログボックスは［リプリント］ボタンをクリックするか、［ドキュメント］メニューの［リプリント機能］を選択すると表示されます。

リプリント機能についてはPrintAgent リプリント2をご利用になると、より豊富な機能を利用することができます。PrintAgent リプリント2をお使いになることをお勧めします。

プリンターの構成情報を見る

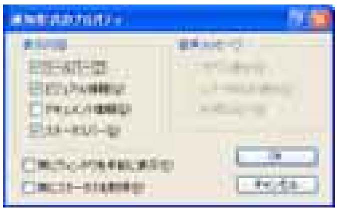


プリンターの構成情報（給紙構成、用紙残量、トナー残量、オプション、メモリー）を確認するダイアログボックスです。

このダイアログボックスを表示させるには［構成情報］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［プリンタの構成情報］を選択します。ただし、常に最新の情報を取得する設定になっていないと、このダイアログボックスの構成情報と実際の構成情報が一致しない場合があります。

最新の情報に更新するにはツールバーの［最新のステータスに更新］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［最新のステータスに更新］を選択してください。
常に最新の情報を取得したい場合は［通知形式のプロパティ］ダイアログボックスで［常にステータスを取得する］をチェックしてください。［通知形式のプロパティ］ダイアログボックスの開き方については次項「通知形式を変更する」を参照してください。

通知形式を変更する



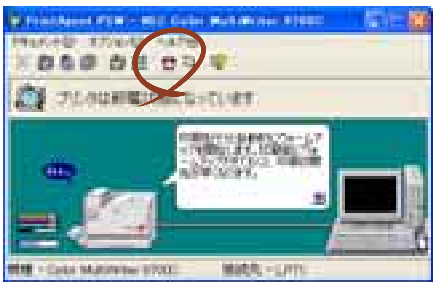
プリンタステータスウィンドウの表示内容を選択します。必要とする項目だけを表示させることで、ウィンドウをコンパクトにすることができます。また、常にステータスを取得するかどうかなどの設定ができます。
通知形式は［通知形式のプロパティ］ダイアログボックスで変更します。このダイアログボックスを表示するためには、［通知形式］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［通知形式］を選択します。

チェック

［常にステータスを取得］について

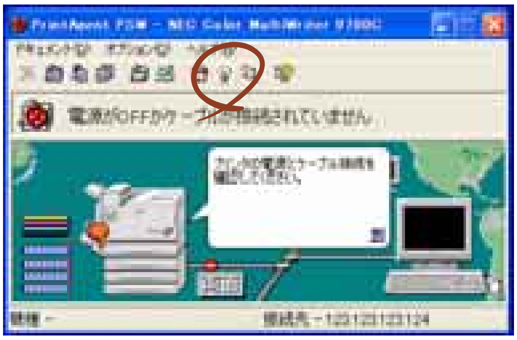
- ［常にステータスを取得］をチェックすると印刷中以外でもプリンターの状態を常に監視します。
- ネットワーク共有プリンターの場合は、サーバーで設定してください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、Administrators権限のユーザー（Windows XPの場合は［コンピュータの管理者］）のみが設定を変更できます。

ウォームアップを行う



［ウォームアップ開始］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［ウォームアップ開始］を選択すると節電状態のプリンタのウォームアップを開始します。通常はデータ受信とともにウォームアップを開始しますが、印刷前にあらかじめウォームアップを開始させておくと印刷までの時間が早くなります。さらに、通常状態で［ウォームアップ開始］ボタンをクリックすると節電状態に入るまでの時間をリセットすることができます。なお、節電機能のON/OFFと節電状態に入るまでの時間はプリンターの操作パネルによるメニューモードで設定できます。

プリンターの電源をONにする



［電源をONにする］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［電源をONにする］を選択すると指定したプリンターの電源をONにすることができます。リモート電源制御機能を有効にするためには次ページの「リモート電源制御」をご覧ください。

チェック

プリンターがリモート電源制御対応LANアダプタ（型番 PR-NP-03TR2）に接続されている場合のみ有効な機能です。

最新のステータスに更新する



初期設定では印刷しているとき以外は、プリンターの状態を監視していません。最新のステータスを取得するには［最新のステータスに更新］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［最新のステータスに更新］を選択してください。

リモート電源制御

この機能を利用するためには次のステップが必要です。

Step 1　電源制御の設定をする
Step 2　プリンターの電源をONにする

✔チェック

プリンターがリモート電源制御対応LANアダプター（型番 PR-NP-03TR2）に接続されている場合のみ有効な機能です。

Step 1　電源制御の設定をする

Step1ではOSごとに次の手順で設定します。

✔チェック

LANアダプターの設定が正しく行われていることを確認してください。（設定方法はLANアダプターの取扱説明書かLANアダプターに添付のCD-ROMに収録されている活用マニュアルをご覧ください。）

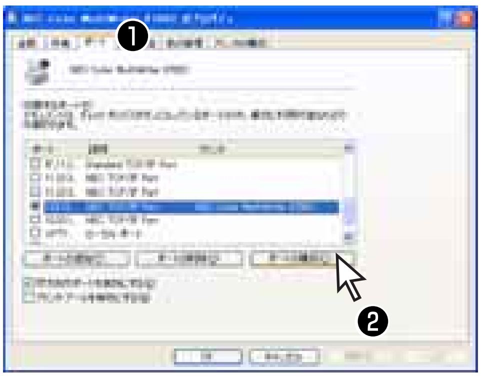
<Windows XP、Windows Server 2003，Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

✔チェック

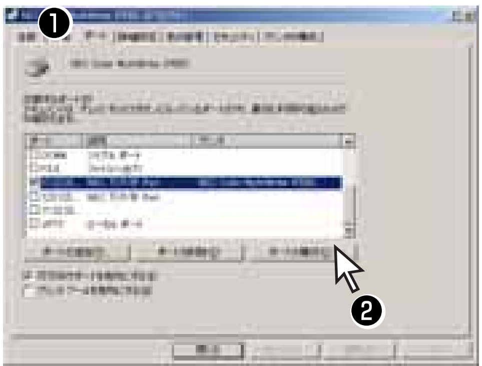
Administrators権限のユーザー（Windows XPの場合は［コンピュータの管理者］）が設定してください。

❶ **プロパティダイアログボックスの［ポート］シートを開く。**

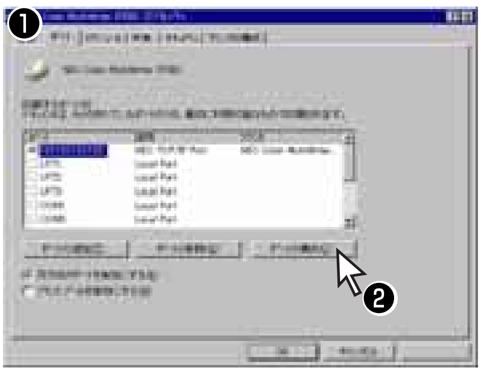
❷ **［ポートの構成］をクリックする。**
［NEC Network Port］ダイアログボックスが表示されます。



Windows XP、Windows Server 2003の場合



Windows 2000の場合

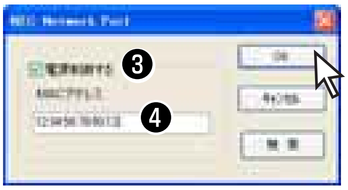


Windows NT 4.0の場合

❸ ［電源制御する］をチェックする。

❹ ［MACアドレス］の欄にLANアダプターのMACアドレスを入力し［OK］をクリックする。

プリンター、LANアダプターの電源がONの場合は、［検索］をクリックすると自動的にMACアドレスを検索することができます。



❺ ［OK］をクリックする。

＜Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合＞

❶ ［プロパティ］ダイアログボックスの［詳細］シートを開く。

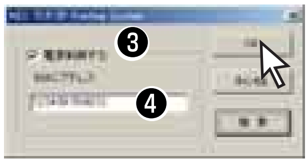
❷ ［ポートの設定］をクリックする。

［NEC TCP/IP Printing System］ダイアログボックスが表示されます。

❸ ［電源制御する］をチェックする。

❹ ［MACアドレス］の欄にLANアダプターのMACアドレスを入力し［OK］をクリックする。

プリンター、LANアダプターの電源がONの場合は、［検索］をクリックすると自動的にMACアドレスを検索することができます。



❺ ［OK］をクリックして、プロパティを閉じる

Step 2　プリンターの電源をONにする





プリンタステータスウィンドウの［電源をONにする］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［電源をONにする］を選択します。

チェック

プリンタステータスウィンドウからプリンターの電源をOFFすることはできません。プリンターの電源OFFはプリンター管理者のみがプリンタ管理ユーティリティを利用して行える機能です。

プリンター管理者向けインストール

ここではプリンター管理者としてプリンターソフトウエアをインストールする場合の手順を説明します。

プリンター管理者向けのインストールを行うと、以下の機能を利用することができます。

プリンター管理者のみ選択可能なオプション

Web PrintAgent
ブラウザーを使ってプリンターの状況を見ることができます。

プリンタ管理者ユーティリティー
ネットワークインターフェースコネクタ／LANアダプターのリモート設定、プリンタ自動切替機能、保守情報のメール通知機能が利用できます。

印刷ログ
印刷の履歴状況を出力することができます。

- □PrintAgent リプリント2
- □Web PrintAgent*1
- □お読みください。TXT
- □ツールバー
- □プリンタステータスウィンドウ
  - □音声
- □プリンター覧
- □プリンタ管理ユーティリティ
  - □プリンタ自動切替
  - □メール通知*2
- □ヘルプファイル
- □印刷ログ*3

*1　プリントサーバーにWeb サーバーがインストールされている必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。
*2　ネットワーク設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。
*3　Windows XP、Windows Server 2003，Windows 2000、Windows NT 4.0で選択できます。

また、プリンターを管理する方は以下の機能もご利用いただけます。

セキュリティのためのパスワード設定（58ページ）
プリンター管理者以外の人に「プリンタ管理ユーティリティ」の使用や、プリンターソフトウエアの削除を保護するためにパスワードの設定が可能です。

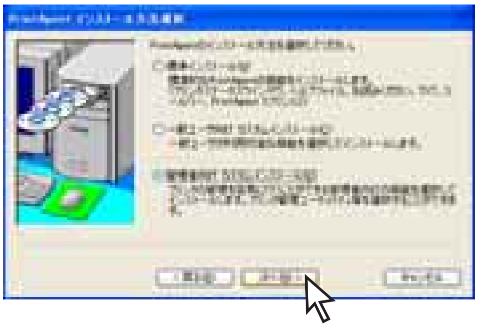
インストール手順

ここでは、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 日本語版に対応したプリンターソフトウエアをプリンター管理者としてインストールする手順を説明します。

❶ **[PrintAgent インストール方法選択]ダイアログボックスを開く。**

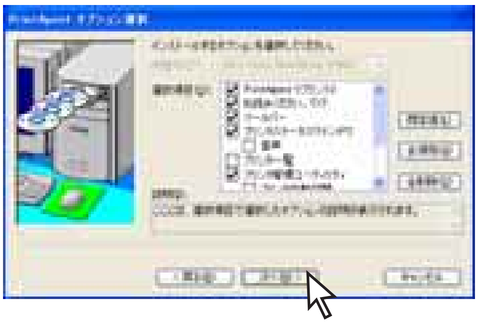
ユーザーズマニュアルの「『インストールプログラム』からのインストール」の手順❶～❾に従ってください。

❷ **[管理者向けカスタムインストール］を選び、[次へ］をクリックする。**



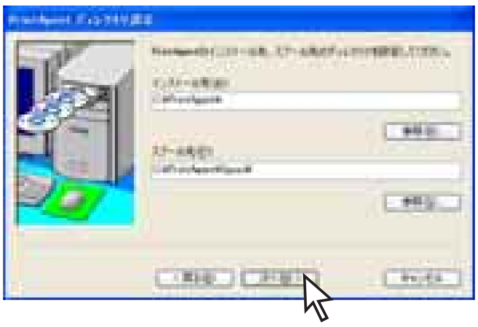
❸ **任意の機能を選び、[次へ］をクリックする。**

[全追加］をクリックすると、すべてチェックされます。[全削除］をクリックすると、すべてチェックが外れます。

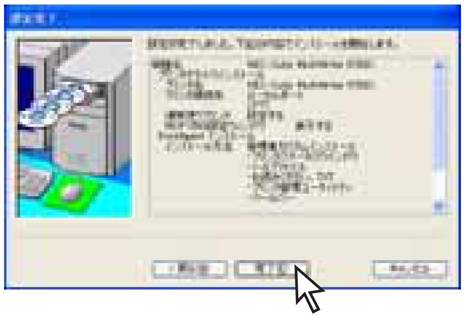


❹ **PrintAgent のインストール先とスプールファイルの作成先を指定し、[次へ］をクリックする。**

すでに他のプリンターのPrintAgentがインストールされている場合は、このダイアログボックスは表示されません。



❺ **設定した内容を確認し、[完了］をクリックする。**



❻ **[OK］をクリックする。**

ソフトウエアのインストールが開始されます。



❼ **インストールが終了したら、[OK］をクリックする。**



チェック

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。



❽ プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

> 管理者向けカスタムインストールで選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

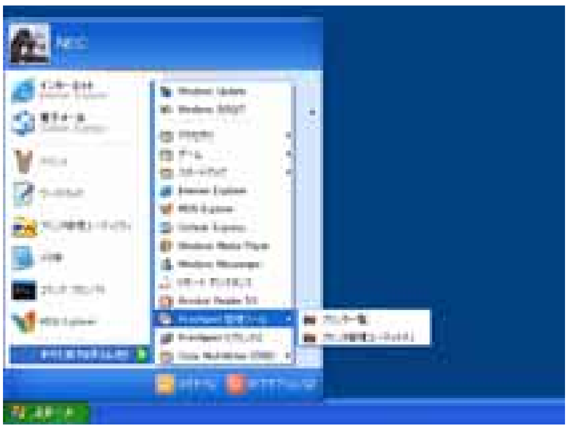
☐ ［プリンタとFAX］フォルダー＊1内に、［NEC Color MultiWriter 9700C］アイコンが登録されている。



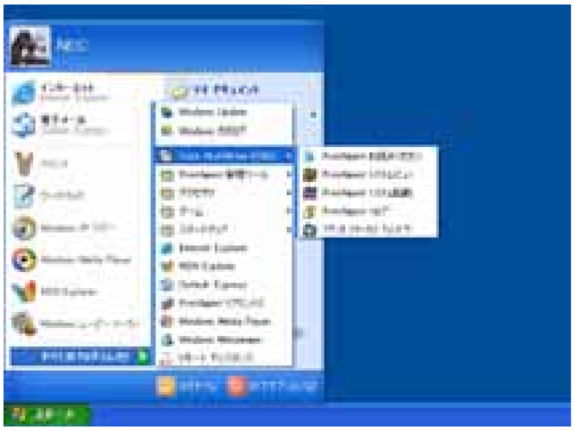
☐ タスクバーのトレイに、［PrintAgent システム］アイコンが登録されている。



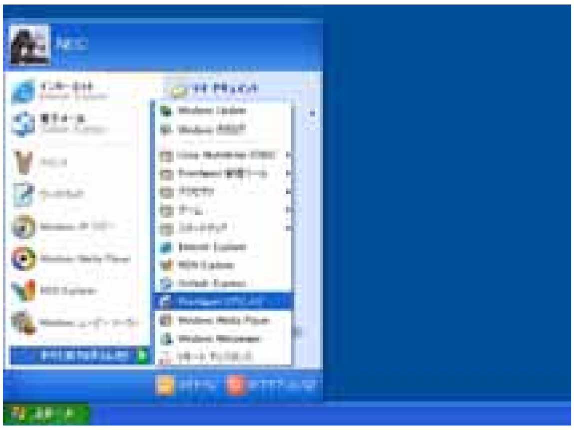
☐ スタートメニューの［すべてのプログラム］＊2 に［PrintAgent管理ツール］というフォルダーが追加され、その下に［プリンタ管理ユーティリティ］と［プリンター覧］が登録されている。



☐ スタートメニューの［すべてのプログラム］＊2 に［Color MultiWriter 9700C］というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。



☐ スタートメニューの［すべてのプログラム］＊2 に［PrintAgent リプリント2］が登録されている。



＊1　WIndows XP、Windows Server 2003以外は［プリンタ］フォルダー
＊2　WIndows XP、Windows Server 2003以外は［プログラム］

パスワードの設定

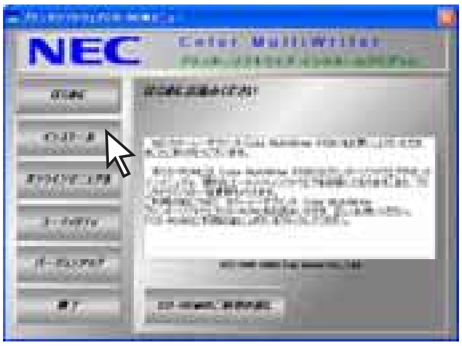
プリンター管理者としてプリンターソフトウエアをインストールした場合、パスワードを設定できます。以下の手順で設定します。Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 日本語版に対応しています。

> **チェック**
>
> - パスワードで保護される機能はプリンタ管理ユーティリティの起動、プリンターソフトウエアの削除です。
> - 設定したパスワードはPrintAgentに対応した機種で共通に使用されます。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

> お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

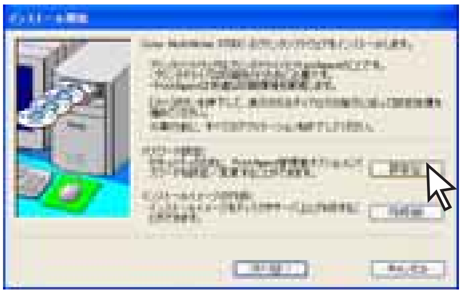
❷ ［インストール］をクリックする。



❸ 右側のボックスから［Color MultiWriter 9700C］を選んで［インストール開始］をクリックする。

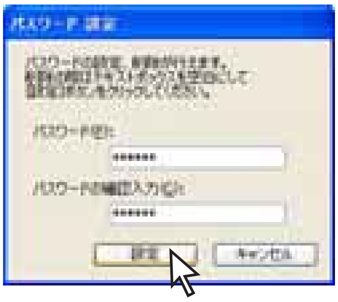


❹ パスワード設定の［設定］をクリックする。



❺ パスワードとパスワードの確認を入力し、［設定］をクリックする。

パスワードを設定しない場合は空白のまま［設定］をクリックします。すでに入力してあるパスワードを解除する場合はボックス内の文字を削除して、［設定］をクリックします。



> 半角の英数文字で8文字まで入力できます。

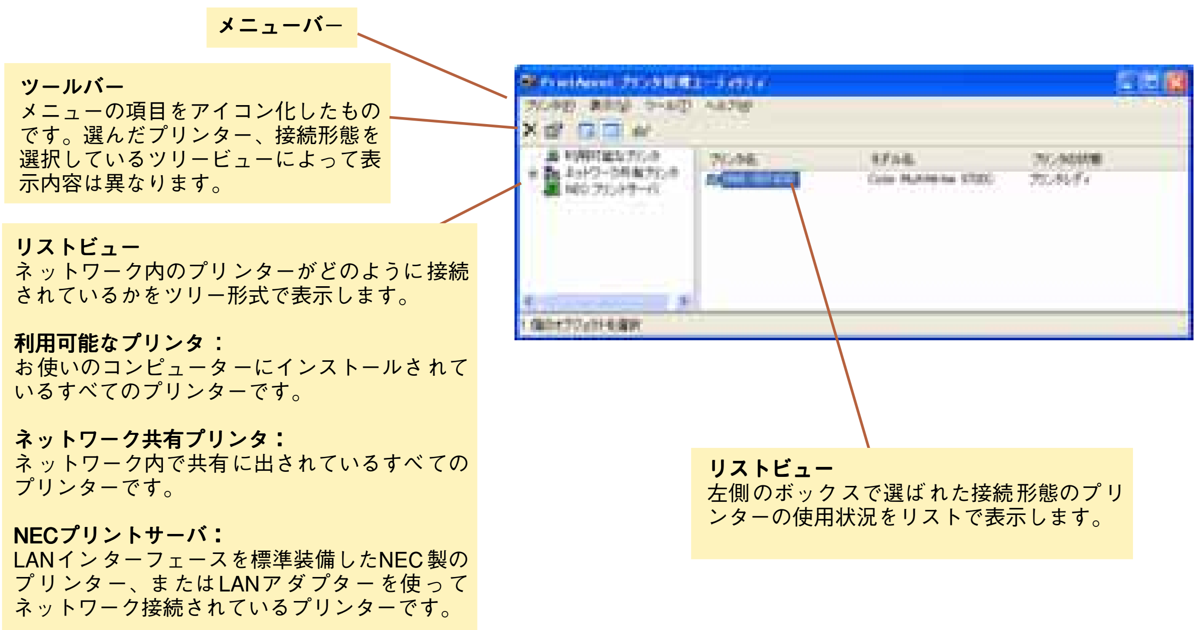
PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ

「PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ」は管理者用としてソフトウエアをインストールした方のみご利用になれるユーティリティーです。このユーティリティーは、ローカル接続も含めネットワーク内に接続されているプリンターであれば管理者ご自身が実際に使用している、いないにかかわらず以下の機能を使ってプリンターを設定･管理することができます。

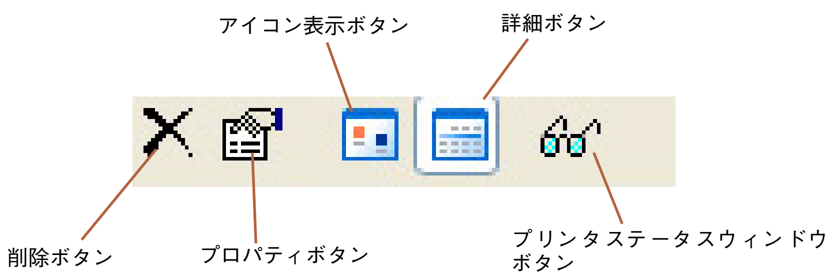
管理者用としてソフトウエアをインストールする方法については、「プリンター管理者向けインストール」（326ページ）を参照してください。

- プリンターの使用状況の確認
- 印刷ジョブの制御
- 保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）の設定
- ネットワーク関連の設定
- プリンタステータスウィンドウの起動

［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］は以下のウィンドウを使って設定・管理します。



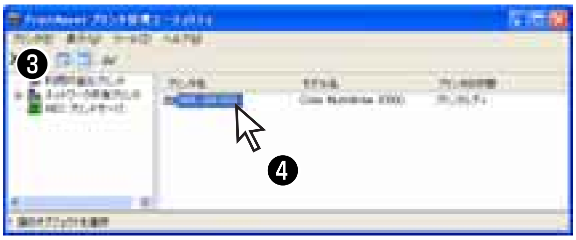
［ツールバー］



設定・管理手順

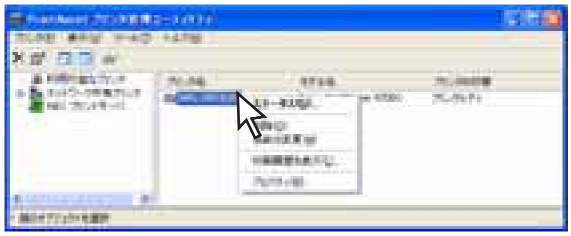
次の手順でプリンターを設定・管理します。

1. ［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。
2. パスワードを入力する。
3. 対象のプリンターの接続形態を選ぶ。
4. 対象のプリンターを選ぶ。



5. 設定・管理項目を選んで実行する。

対象のプリンターを右クリックするかウィンドウ上部のメニューバーをクリックしてメニューを表示させ、希望の項目をクリックします。



チェック

メール通知の設定は、ご利用のコンピューターで［利用可能なプリンタ］としてインストールされたプリンターに対して設定できます。ネットワーク共有プリンターには設定できません。

プリンターの自動切り替え

プリントサーバーで管理する複数台のColor MultiWriter 9700Cをグループプリンタとしてグループ化することで、印刷ジョブを自動的に切り替えて印刷する「プリンタ自動切替」機能を利用することができます。また、グループプリンタを共有化することで、ネットワーク上のクライアントコンピューターからも利用することができます。(プリントサーバーのOSがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合、グループ化できるプリンターは2台までです。)

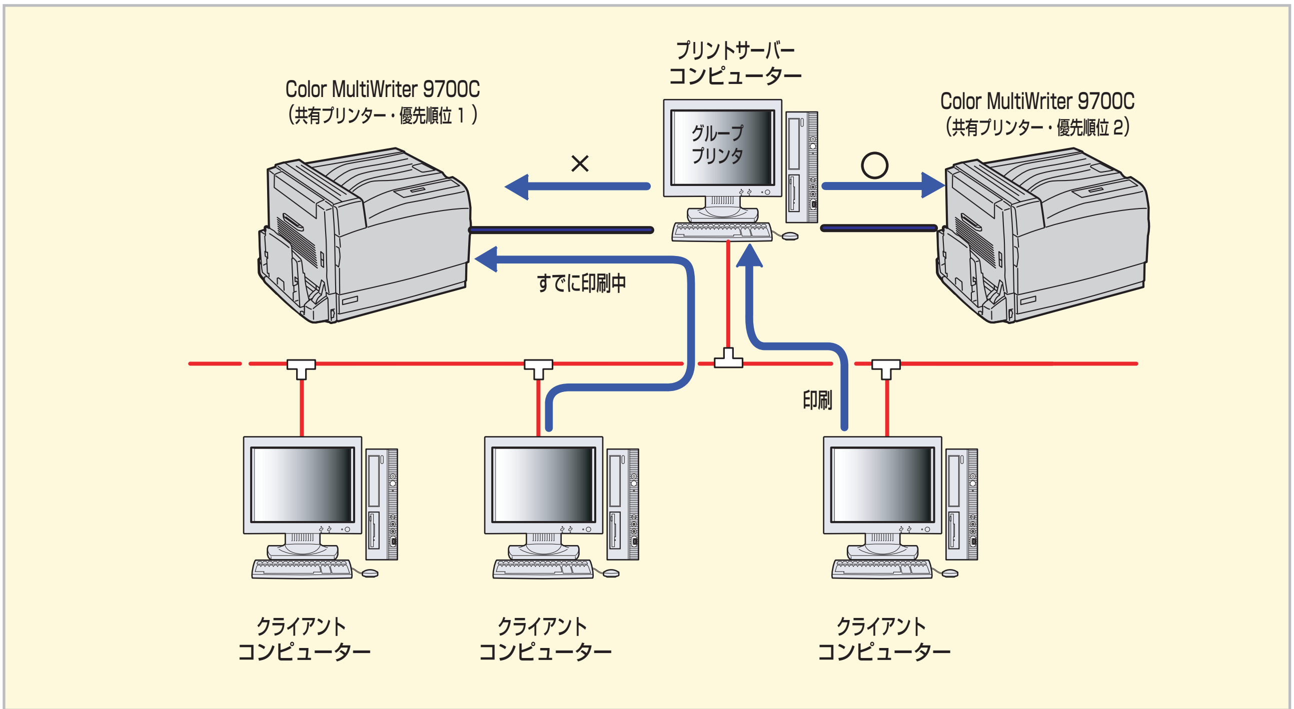
プリンターの切り替えは、プリンターの状態(印刷中など)、用紙サイズ、両面印刷機能の有無、優先順位(プリンター管理者が設定します)の要素から決定し、印刷を行います。次ページの図はプリンタ自動切替機能を利用した構成例を表したものです。また、設定は次の手順で行ってください。

Step 1　グループプリンタの設定
Step 2　グループプリンタを共有プリンタにする
Step 3　共有されたグループプリンタに接続する
Step 4　グループプリンタへ出力する

重要

Step 2・Step 3を行う場合、プリントサーバーに以下のことが必要です。

- ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピューターにあらかじめ以下のネットワークコンポーネントをインストールしておく必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。
  - Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合:
    「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」
  - Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合:「Microsoft ネットワーク共有サービス」
  - Windows NT 4.0の場合:　「サーバー」
- ネットワーク環境で LAN プリンターとしてお使いになるためには、あらかじめコンピューターのネットワーク設定にTCP/IPプロトコルをインストールしておく必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。



プリンター自動切替機能を利用した構成例

Step 1　グループプリンタの設定

ここでは、グループプリンタの作成・編集方法を説明します。グループプリンタへの印刷方法とグループプリンタ使用時のプリンタステータスウィンドウについては、「グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウ」(338ページ）をご覧ください。

グループプリンタを作成するには、次の手順が必要です。

1. グループプリンタの条件を確認する
2. 場所を設定する
3. グループプリンタを作成する
4. グループプリンタを編集する

1　グループプリンタの条件を確認する

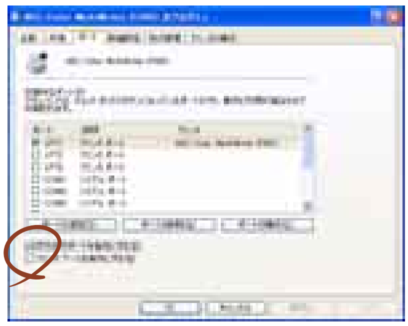
グループプリンタを作成する前に、以下の点を確認してください。

グループを構成できるプリンターについて

グループを構成できるプリンターは次の条件をすべて満たしているプリンターです。

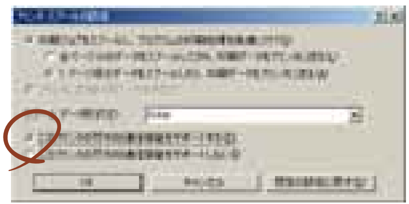
- 双方向通信していること

【Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合】
プリンターのプロパティダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］がチェックされていることを確認します。

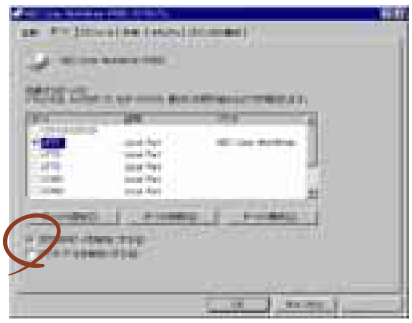


【Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合】
プリンターのプロパティダイアログボックスの［詳細］シートで［スプールの設定］ダイアログボックスを表示させ、以下の項目がチェックされていることを確認します。

Windows Meの場合：［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］
Windows 98、Windows 95の場合：［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］



【Windows NT 4.0】
［デバイスプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］がチェックされていることを確認します。



- 双方向通信が可能なポートに接続していること
  それぞれの接続形態において双方向通信が可能な以下のポートを使っていることを確認してください。

> ✔チェック
>
> 接続先がプリントサーバーの共有プリンターの場合はグループを構成できません。

OS	プリンターケーブル接続	LAN プリンター接続	USB 接続
Windows XP Windows Server 2003 Windows 2000	LPTx	NEC Network Port	USBxxx:
Windows Me、Windows 98、Windows 95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System	USBxxx*
Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port	–

* Windows 95は対応していません。

［設置場所の表示について］

グループプリンタの印刷が終了すると利用者には、印刷の終了を通知するダイアログボックスが表示されます。

> このダイアログボックスに［設置場所］が設定されていると、どこのどのプリンターで印刷されているのかが利用者に表示されるので設定しておくと便利です。



Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は、［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を使って［利用可能なプリンタ］に［設置場所］を設定することができます。設定方法については、次ページをご覧ください。
Windows XPの場合は、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］のユーザーであるとき、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は、Administratorsの権限で［設置場所］を設定することができます。詳しくは、各OSのヘルプをご覧ください。

2　場所を設定する

プリンターの設置場所を設定しておくと、PrintAgentの機能を使ってプリンターの状況を確認するときや印刷終了通知を受け取ったときにプリンターの場所が参照できて便利です。Windows XPの手順を例にとってプリンターの場所を設定します。

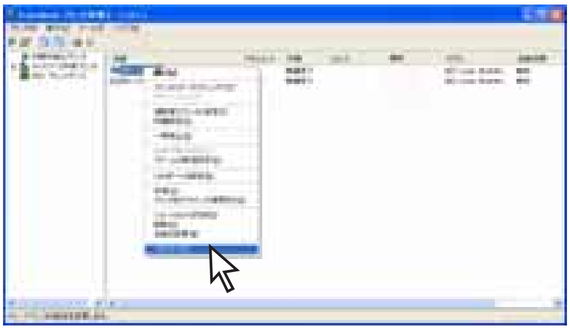
❶ **［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。**

❷ **パスワードを入力する。**

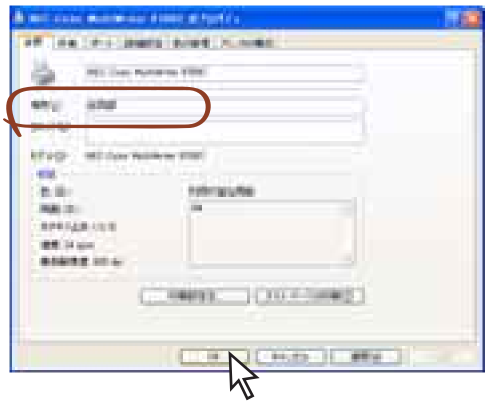
❸ **ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。**

❹ **リストビューから対象のプリンターを右クリックし［プロパティ］を選ぶ。**

Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は［場所の設定］を選択し、［場所の設定］ダイアログボックスが表示させます。



❺ **場所を設定し、［OK］をクリックする。**



3　グループプリンタを作成する

以下の手順でグループプリンタを作成します。

❶ **［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。**

❷ **パスワードを入力する。**

❸ **ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。**

❹ **［自動切替プリンタの作成］ウィザードを起動する。**

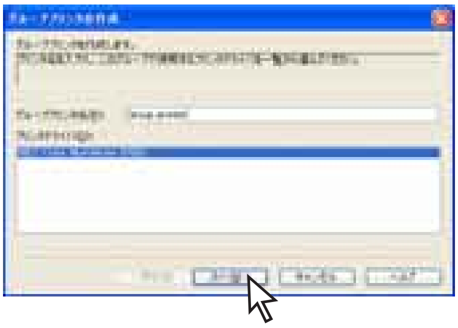
［プリンタ］メニューの［新規作成］をポイントし、［自動切替プリンタ］をクリックします。



チェック

グループプリンタを設定するためには、あらかじめ管理者インストールで、自動切替オプションがインストールされている必要があります。PrintAgentにオプションを追加する方法についてはユーザーズマニュアル2章の「PrintAgentの追加・削除」を参照してください。

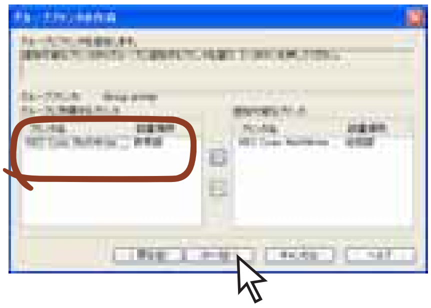
❺ **［グループプリンタ名］を入力し、基本となる［プリンタドライバ］を選択し、［次へ］をクリックする。**



❻ **グループを構成するプリンターを選び、[次へ] をクリックする。**

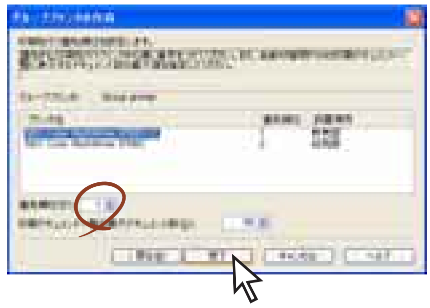
[追加可能なプリンタ] ボックスから希望のプリンターを選び [<<] をクリックします。

> ✔チェック
>
> Windows Me、Windows 98、Windows 95をプリントサーバーのOSとしてご使用になる場合、追加可能なプリンターは2台までです。



❼ **印刷の優先順位を設定し、[完了] をクリックする。**

希望のプリンター名を選び、[▲] か [▼] をクリックして順位を変更します。また、ここでグループプリンタ用プリンタステータスウィンドウの [印刷ドキュメント一覧] で表示できる最大ドキュメント数も設定できます。(設定可能範囲は1〜100)



4　グループプリンタを編集する

以下の手順でグループプリンタを編集します。

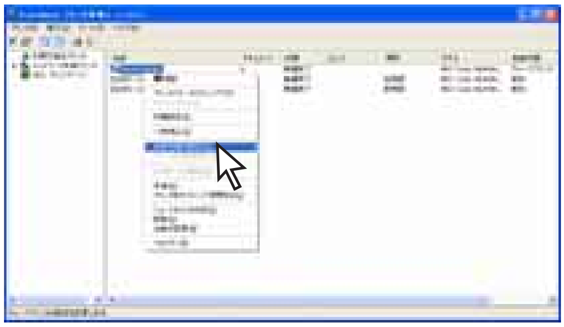
❶ **[PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ] を起動する。**

❷ **パスワードを入力する。**

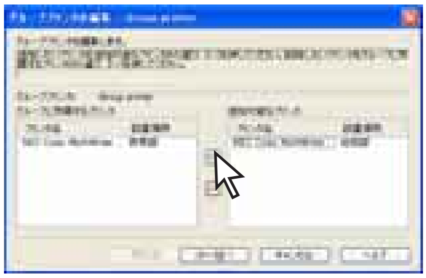
❸ **ツリービューから [利用可能なプリンタ] を選ぶ。**

❹ **リストビューから希望のグループプリンタを右クリックし、[自動切替の設定] をクリックする。**

[グループプリンタの編集] ダイアログボックスが表示されます。

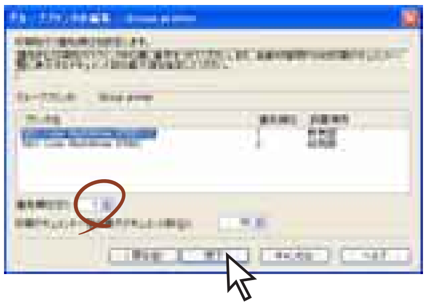


❺ **必要に応じてプリンターを追加・削除し、[次へ] をクリックする。**



❻ **必要に応じて印刷の優先順位を変更し、[完了] をクリックする。**

グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウの [印刷ドキュメント一覧] で表示できる最大ドキュメント数も変更できます。(設定可能範囲は1〜100)



Step 2　グループプリンタを共有プリンタにする

❶ ［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。

❷ パスワードを入力する。

❸ ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ

❹ リストビューから対象のグループプリンタを選ぶ。

❺ ［プリンタ］メニューの［共有］をクリックする。

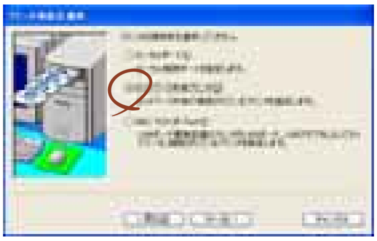


共有設定については、各OSのヘルプをご覧ください。

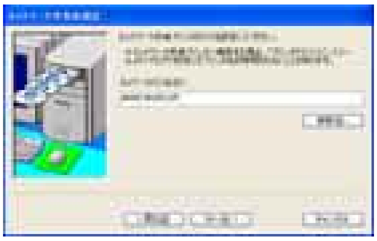
Step 3　共有されたグループプリンタに接続する

クライアントコンピューターから共有されたグループプリンタに対してプリンターソフトウエアをインストールします。
ユーザーズマニュアル2章の「インストールプログラムからインストールする」を参照して、インストールください。

ユーザーズマニュアル2章の「インストールプログラムからインストールする」では、手順❼でのプリンターの接続先は[ネットワーク共有プリンタ]を選択してください。



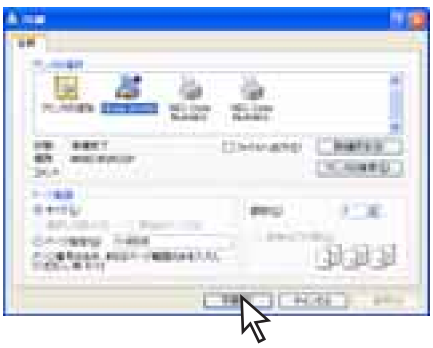
［ネットワーク共有プリンタ］を選択する。



プリンターの接続先を[ネットワークパス名]に直接入力するか、[参照]をクリックして表示される一覧から指定します。

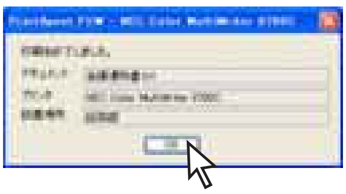
Step 4　グループプリンタへ出力する

❶ 共有プリンタを接続先としてインストールしたプリンターを指定して、アプリケーションから印刷する。



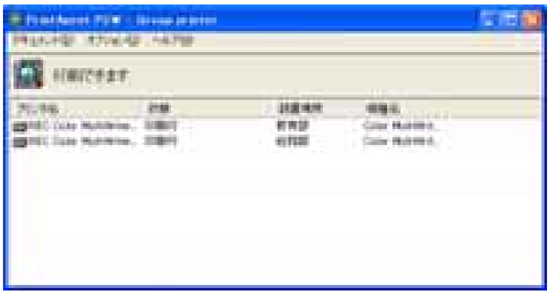
❷ ［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して［OK］をクリックする。

印刷が終了すると、このような「印刷終了通知」が表示されます。

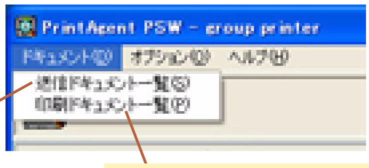


グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウ

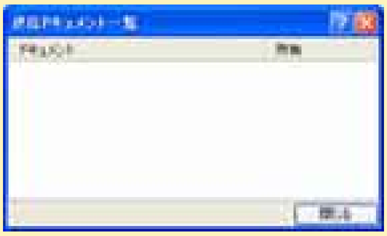
グループプリンタ使用時に表示されるプリンタステータスウィンドウは、通常のプリンター用のプリンタステータスウィンドウを簡略したものが表示されます。このプリンタステータスウィンドウは複数台のプリンターステータスを扱うので、印刷ジョブの削除などプリンター個別の処理は［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］か［プリンタ一覧］で行ってください。



- ［ドキュメント］



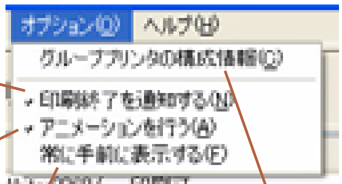
［送信ドキュメント一覧］
送信中のドキュメントをリスト表示します。



［印刷ドキュメント一覧］
印刷中および印刷済のドキュメントをリスト表示します。記録は100件まで表示することができ、PrintAgentシステムが再起動するまで保持されます。



- ［オプション］

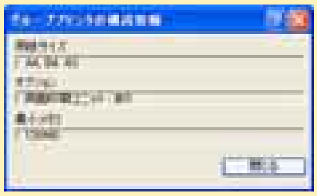


［印刷終了を通知する］
印刷終了とともに通知を出すかどうかを設定します。

［アニメーションを行う］
プリンターのアイコンのアニメーションを行うかどうか設定します。

［常に手前に表示する］
プリンタステータスウィンドウを常に手前に表示するかどうかを設定します。

［グループプリンタの構成情報］
グループプリンタに実際に入っているすべての用紙サイズ、オプションの有無、メモリーの容量を表示します。



保守情報のメール通知

保守情報（アラームステータス）のメール通知の設定は、ご利用のコンピューターで［利用可能なプリンタ］としてインストールされたプリンターのみに対し設定できます。ネットワーク共有プリンターとグループプリンタには設定できません。

通知できるアラームステータスは以下のとおりです。
- 消耗品確認
- 消耗品寿命
- 定期交換

To：xxxx, ####
From：日電太郎<nichitaro>
Reply-To：日電太郎<nichitaro>
Cc：yyyy, zzzz
Subject：[PA Report]保守情報の自動通知

NEC Color MultiWriter PrintAgent メール通知
通知概要： 消耗品確認（YMトナー）
プリンター名： NEC Color MultiWriter 9700C
通知アラーム： 76 ショウモウヒンカクニン（イエロートナー ,マゼンタトナー）
通知アラーム検出： 2003/08/21

入り口近くの柱の脇にあるプリンターです。

****
NEC ☆※部
日電太郎
東京都○×区△1丁目2番3号
□■ビル 1F
03-XXXX-XXXX
****

保守情報の通知例

メール通知の自動設定

❶ ［プリンタ管理ユーティリティ］を起動する。

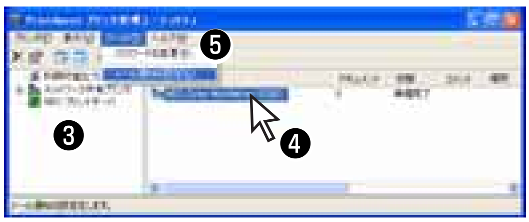
❷ パスワードを入力する。

❸ 左側のツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。

❹ 対象のプリンターを選ぶ。

❺ ［ツール］メニューの［メール通知の設定］をクリックする。

［メール通知の設定］ダイアログボックスが表示されます。



❻ **メール送信情報とユーザー情報を入力する。**

メール送信元情報の項目は必須です。管理者名、メールアドレス、メールサーバー名のいずれかが入力されていないと設定が終了できません。

> このダイアログボックスの設定は共通の設定となります。一度入力してしまえば他のプリンターでメール通知の設定をする場合、ここの項目は改めて入力する必要はありません。



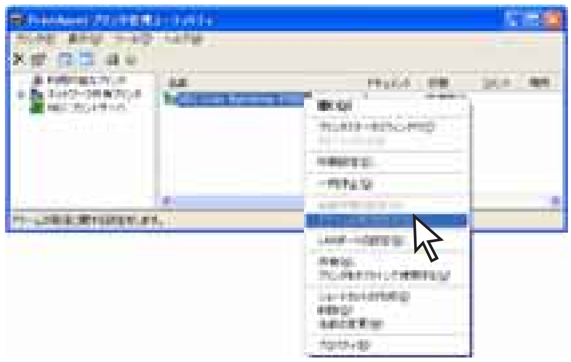
［メール送信情報］シート



［ユーザ情報］シート

❼ **右側のリストビューから希望のプリンターを右クリックし、メニューの［アラームの発信設定］をクリックする。**

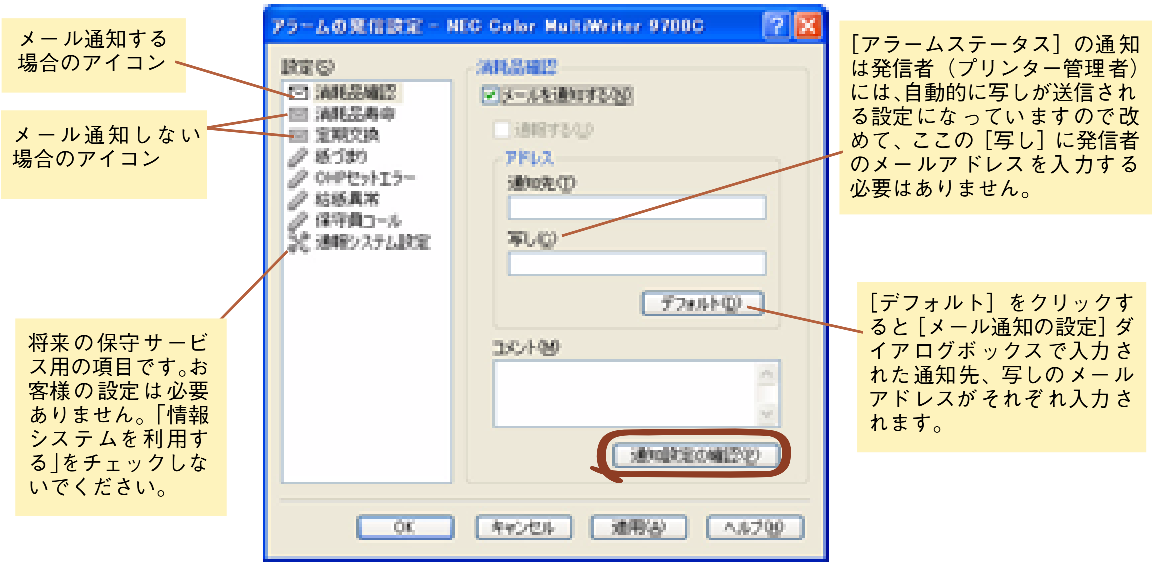
［アラームの発信設定］ダイアログボックスが表示されます。



❽ **必要に応じてアラームステータスの通知先情報を入力する。**

通知先のメールアドレスが入力されていないと設定が終了できません。

［通知設定の確認］をクリックして送信されるメールのイメージを確認してください。



［消耗品確認］を選択した場合

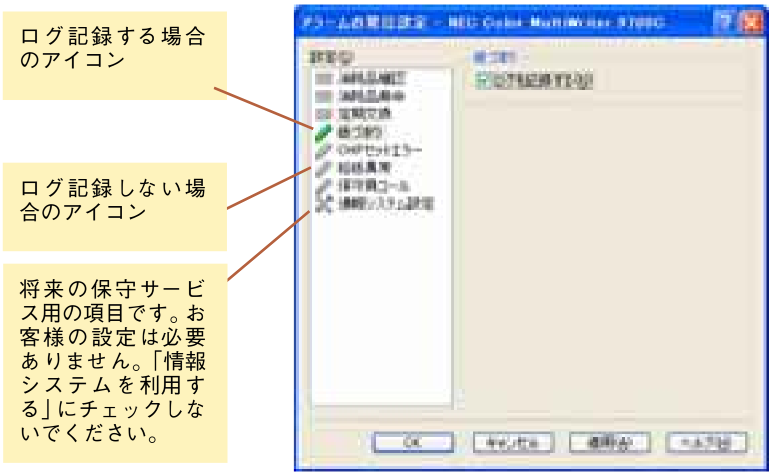
メール通知ログファイルの出力

本プリンターには保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）で通知したメールの履歴をログ情報としてプリントサーバーの［PrintAgent］フォルダーに出力し、記録させることができます。

メール通知が行われるとPrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というサブフォルダーが作成されます。また、そのサブフォルダー内に「PAMail.log」というログファイルが作成され、メール通知履歴情報が記録されます。

ログファイルとして出力できるステータスは以下のとおりです。

- 消耗品確認
- 消耗品寿命
- 定期交換
- 紙づまり
- OHPセットエラー
- 給紙異常
- 保守員コール



［紙づまり］を選択した場合

Cドライブ上にPrintAgentをインストールし、メール通知を行ったときログファイルは以下のフォルダーに作成されます。

```
ログファイル：C:¥PrintAgent¥LOG¥PAMail.log
```

メールを通知するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

```
通知アラーム検出日時：通知先：写し：プリンター名：通知概要
```

エラーが検出されメール通知が行われなかった場合には次のような情報が記録されます。

```
通知アラーム検出日時 ：通知先：写し：プリンター名：通知概要：エラー情報
```

（例）ログファイルの内容

```
==============================
通知アラーム検出：2003/04/01　12：03
To: xxx@xxxxx.xxx
Cc: yyy@yyyyy.yyy
プリンタ名：NEC Color MultiWriter 9700C
通知概要：消耗品確認（YKトナー）
==============================
==============================
通知アラーム検出：2003/04/02　08：10
プリンタ名：NEC Color MultiWriter 9700C
通知概要：紙づまり（ホッパ1，両面下）
==============================
==============================
通知アラーム検出：2003/10/22　10：31
プリンタ名：NEC Color MultiWriter 9700C
通知概要：保守員コール11
==============================
==============================
通知アラーム検出：2003/12/01　20：58
To: xxx@xxxxx.xxx
Cc: yyy@yyyyy.yyy
プリンタ名：NEC Color MultiWriter 9700C
通知概要：消耗品寿命（YKトナー）
==============================
```

Web PrintAgent

Web PrintAgentとは、ネットワーク上のクライアントコンピューターの汎用ブラウザーを利用して、プリントサーバーが管理しているプリンターの状態や設定を参照することができる機能です。

次の手順でWeb PrintAgentの準備をします。

❶ **プリントサーバーのコンピューターに Web サーバーをインストールする。**

Webサーバーはマイクロソフト社のWebページからダウンロードするかOSに添付のものを使用してください。

❷ **クライアントのコンピューターにブラウザーソフトウエアをインストールする。**

❸ **プリントサーバーのコンピューターにWeb PrintAgentをインストールする。**

プリンターソフトウエアを管理者としてインストールします（55ページ参照）。またプリンターを「共有プリンタ」にする必要があります。

お使いのブラウザーで次の場所を指定して開くと以下のトップページ画面が表示されます。詳細なWeb PrintAgentの使い方についてはWeb PrintAgentの「ヘルプ」を参照ください。

http://xxx.xxx.xxx.xxx/webpa/

下線部はWebサーバーをインストールしたコンピューターのIPアドレスか、IPアドレスと対応させたコンピューター名です。



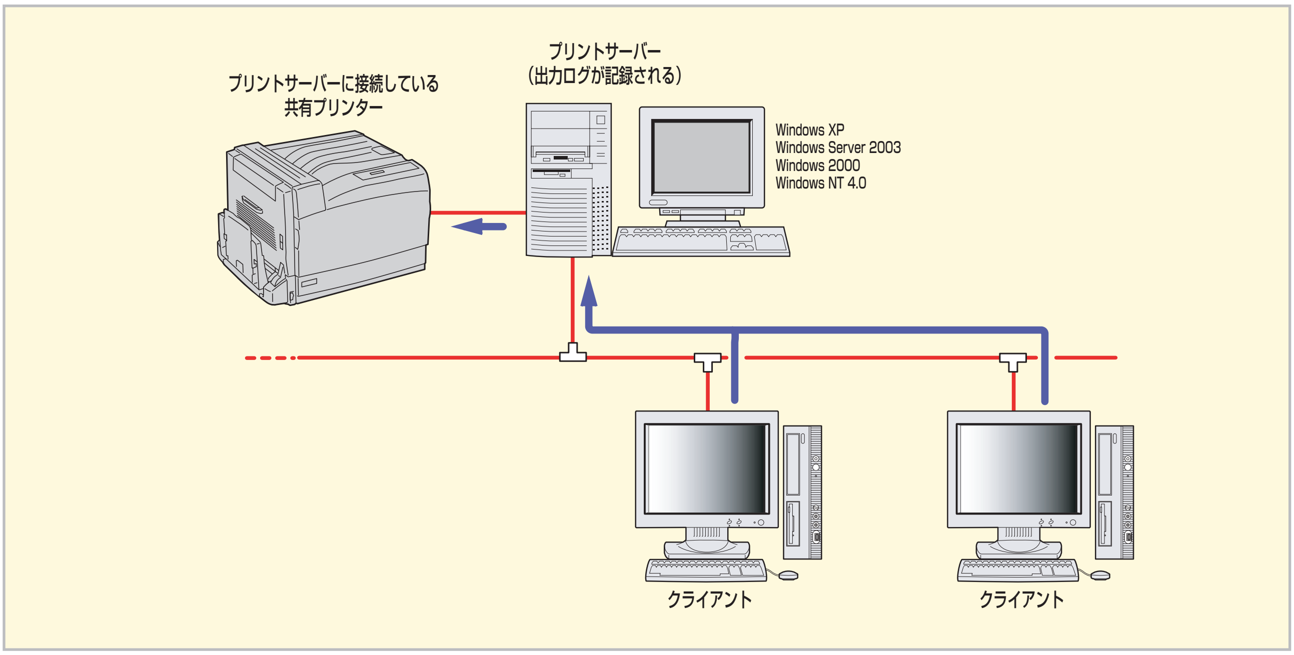
上記の画面はMicrosoft Internet Explorer 6.0 日本語版で表示したときの例です。お使いのブラウザーの種類、バージョンによって画面の表示が多少異なります。また画面のデザインはソフトウエアの改版によって変更されることがあります。

印刷ログの出力

この機能を利用するにはプリントサーバー（Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0）とColor MultiWriter 9700Cが以下のいずれかの形態で接続されている必要があります。

ローカル接続

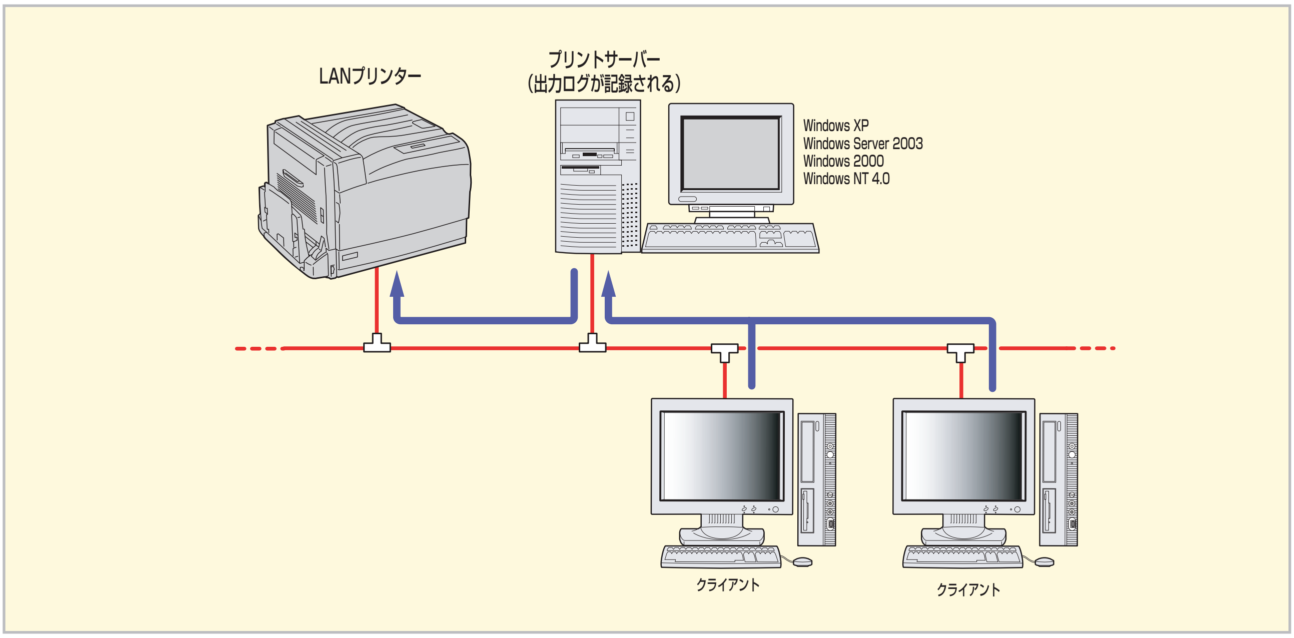
プリントサーバーがローカル接続されているColor MultiWriter 9700Cを共有プリンターに設定している形態です。



ローカル接続されたプリンターの共有

ネットワーク接続

プリントサーバーがネットワーク接続されているColor MultiWriter 9700Cを共有プリンターに設定している形態です。



ネットワークで接続されたプリンターの共有

印刷ログ出力機能を利用するためには、プリントサーバーで次のステップを行う必要があります。
各設定を行うにはAdministratorsの権限（Windows XPの場合は「コンピュータの管理者」）が必要です。

Step 1　印刷ログ出力機能を設定する
Step 2　印刷ログファイルを出力する

Step 1　印刷ログ出力機能を設定する

❶ **PrintAgentのプロパティを開く。**

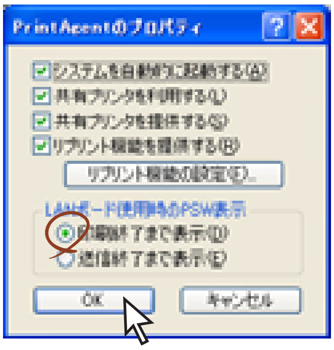
「PrintAgent」ツールバーの設定ボタンメニュー、または［スタート］メニューから［すべてのプログラム］を選び、［Color MultiWriter 9700C］の［PrintAgent システムメニュー］から開きます。

Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、［プログラム］を選び、［Color MultiWriter 9700C］の［PrintAgentシステムメニュー］から開きます。

❷ **［LANボード使用時のPSW表示］を［印刷終了まで表示］を選び、［OK］をクリックする。**

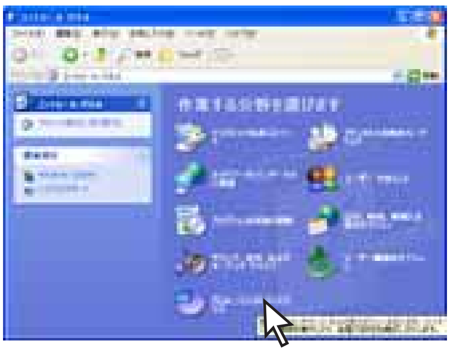
LANボード接続されているプリンターを共有している場合のみ、［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスで設定してください。

この後の手順❸以降はOSごとに説明します。

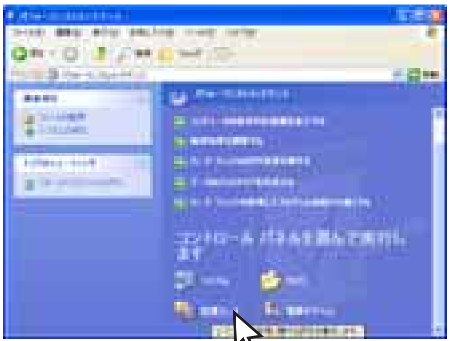


<Windows XPの場合>

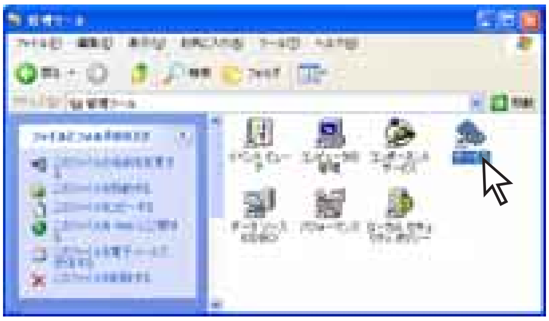
❸ **［コントロールパネル］の［パフォーマンスとメンテナンス］アイコンをクリックする。**



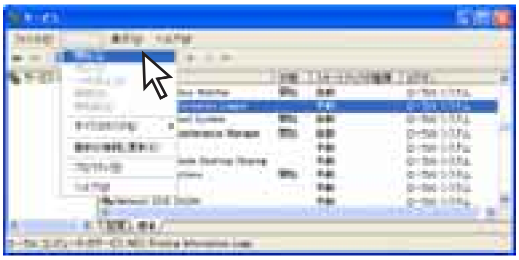
❹ **［管理ツール］アイコンをクリックする。**



❺ **［サービス］アイコンをダブルクリックする。**



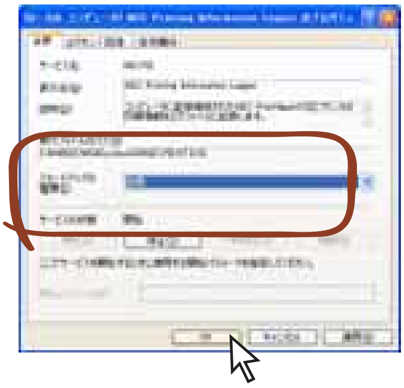
❻ **リストビューから［NEC Printing Information Logger］を選び、［操作］メニューの［開始］をクリックする。**



❼ **OS を再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。**

①［操作］メニューから［プロパティ］を開く。

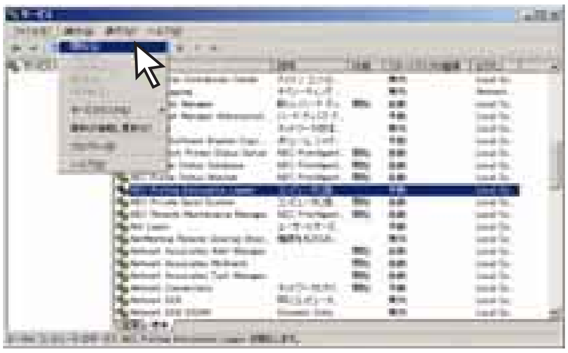
②［全般］シートの［スタートアップの種類］で［自動］を選び、［OK］をクリックする。



＜Windows Server 2003の場合＞

❸ **［スタート］メニューから［管理ツール］の［サービス］を選択する。**

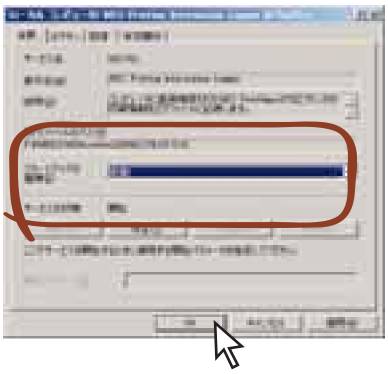
❹ **リストビューから［NEC Printing Information Logger］を選び、［操作］メニューの［開始］をクリックする。**



❺ **OS を再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。**

①［操作］メニューから［プロパティ］を開く。

②［全般］シートの［スタートアップの種類］で［自動］を選び、［OK］をクリックする。

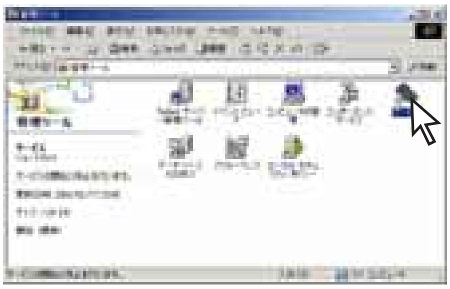


＜Windows 2000の場合＞

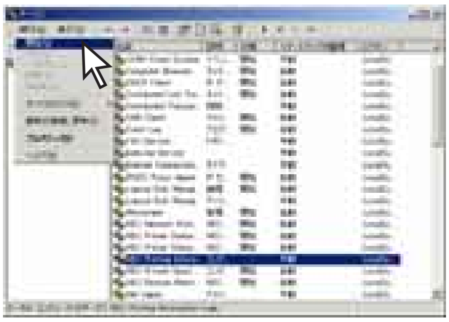
❸ **［コントロールパネル］の［管理ツール］アイコンをダブルクリックする。**



❹ **［サービス］アイコンをダブルクリックする。**



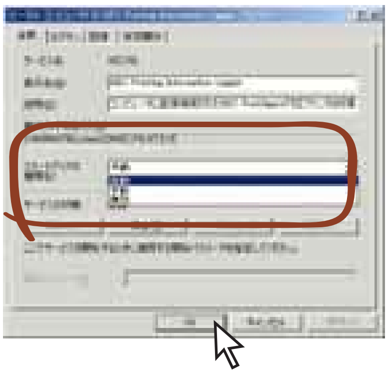
❺ **リストビューから［NEC Printing Information Logger］を選び、［操作］メニューの［開始］をクリックする。**



❻ **OS を再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。**

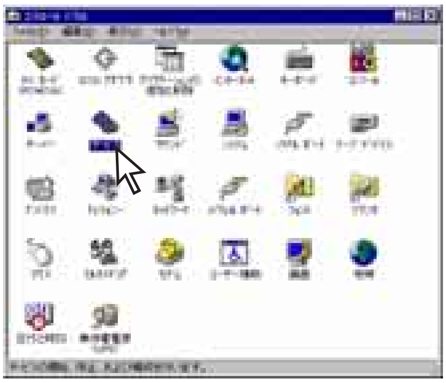
①［操作］メニューから［プロパティ］を開く。

②［全般］シートの［スタートアップの種類］で［自動］を選び、［OK］をクリックする。



＜Windows NT 4.0の場合＞

❸ ［コントロールパネル］の［サービス］アイコンをダブルクリックする。



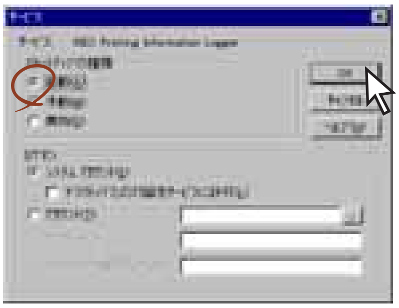
❹ リストボックスから［NEC Printing Information Logger］を選んで、［開始］をクリックする。



❺ OS を再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

①［スタートアップ］をクリックする。

②［サービス］ダイアログボックスの［スタートアップの種類］で［自動］を選び、［OK］をクリックする。



Step 2　印刷ログファイルを出力する

印刷ログ出力機能を有効にする設定をして、サービスが起動すると、PrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というフォルダーが作成されます。

また印刷が行われると、そのフォルダー内に「NEC Color MultiWriter 9700C.log」というログファイルが作成され、印刷履歴情報が記録されます。

CドライブにPrintAgentをインストールし、NEC Color MultiWriter 9700Cで印刷を行ったとき、ログファイルは以下のフォルダーに作成されます。
なお、ログファイルのファイルネームは［プリンタ］フォルダーに登録した名前になります。

ログファイル：C:¥PrintAgent¥LOG¥NEC Color MultiWriter 9700C.log

印刷するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

“プリンタ名”，“ドキュメント名”，“ドキュメント所有者名”，印刷開始日，印刷開始時刻，印刷終了日，印刷終了時刻，総印刷枚数，モノクロ印刷枚数，カラー印刷枚数，Yカバレッジ，Mカバレッジ，Cカバレッジ，Kカバレッジ

（例）ログファイルの内容

```
"NEC Color MultiWriter 9700C", "アドレス一覧 - メモ帳", "武井", 2003/08/21, 13:28:46,2003/08/21, 13:28:58, 10, 2, 8, 5, 5, 5, 10
"NEC Color MultiWriter 9700C", "「PrintAgent」ツールバーとは？", "森", 2003/08/21, 13:29:11, 2003/08/21, 13:29:15, 3, 3, 0, 0, 0, 0, 5
"NEC Color MultiWriter 9700C", "W2Kprlog", "川口", 2003/08/21, 13:30:09, 2003/08/21, 13:30:18, 20, 4, 16, 10, 5, 10, 5
"NEC Color MultiWriter 9700C", "会議資料", "西川", 2003/08/21, 13:30:38, 2003/08/21, 13:30:54, 12, 0, 12, 5, 10, 5, 5
```

ログファイルについて

- ログファイルは CSV形式で記録されます。このファイル形式は表計算ソフトやデータベースソフトなどで読み込むことができます。
- ログファイルのサイズが1MB を超えると自動的にバックアップされます。バックアップファイルの拡張子は".log"から".001", ".002"...のようになります。
- OSによっては、日付け、時間の記録形式が上記の例とは異なる場合があります。
- 印刷モードで自動、もしくはカラーを選択している場合、また両面印刷を行う場合は、モノクロのページでもカラーモードで印刷される場合があります。この場合は、カラー印刷枚数として記録されます。

Step 3 印刷ログに記録されるカバレッジについて

本機能により、印刷したドキュメントにおけるYMCK各色のカバレッジ*を知ることができ、トナーの消費量の管理ができます。

* A4フルサイズを100%とした場合のトナーの消費量を5%刻みで記録します。カバレッジは、印刷ドキュメントのページ数で平均をとったものです。したがって、カバレッジが非常に少ないと0%と表示されることがあります。

（例） 本機能を使用して、トナーカートリッジの交換時期を予測する。

印刷ログからの抜粋

日付	ドキュメント名	総印刷枚数	モノクロ枚数	カラー枚数	Y	M	C	K
2/20	アドレス一覧	10	2	8	5	5	5	10
2/20	「PrintAgent」ツールバーとは？	3	3	0	0	0	0	5
2/20	W2Kprlog	20	4	16	10	5	10	5
2/20	会議資料	12	0	12	5	10	5	5
2/21	プレゼンテーション	1	0	1	20	15	20	10
2/21	論文資料	30	5	25	10	10	5	10
2/22	2月分勤務管理表	10	0	10	15	15	20	5
2/22	パーティーポスター	20	5	15	10	15	10	5

このような印刷ログとなった場合には、3日間の印刷ログの統計を取ることにより、トナーカートリッジの交換時期を予測することができます。

Yトナーカートリッジについて

Yトナーのカバレッジにカラー枚数を掛け合わせることにより、そのドキュメントのYトナーの消費量が計算されます。これを上記8つのドキュメントで行い、足し合わせると以下のようになります。

8 × 5 + 0 ×0 + 16 × 10 + 12 × 5 + 1 ×20 + 25× 10 + 10 ×15 + 15× 10 = 830%

Yトナーカートリッジの寿命はカラーで約6000枚ですが、これは5%印刷を行った場合の枚数です。したがって、以下のように計算できます。

6,000 × 5 = 30,000%

よって30,000/830≒36となり、現在は約1/36のトナーを消費したことになります。3日間で1/36のトナーカートリッジを消費したことになるので以下の数式より、Yトナーカートリッジの交換周期の予測は約108日ということになります。

3 × 36 = 108

Mトナーカートリッジについて

同様に以下の数式により、Mトナーカートリッジの交換周期の予測は128日となります。

（（6,000 × 5 ）/ （8 ×5 + 0×0 + 16 ×5 + 12 ×10 + 1 × 15 + 25 × 10 + 10 × 15 + 15 × 15））× 3 ≒ 102

Cトナーカートリッジについて

同様に以下の数式により、Cトナーカートリッジの交換周期の予測は149日となります。

（（6,000×5）/ （8 × 5 + 0 ×0 + 16 ×10 + 12 × 5 + 1 × 20 + 25× 5 + 10 × 20 + 15 × 10））× 3≒ 117

Kトナーカートリッジについて

Y、M、Cトナーと基本的には同様ですが、Kトナーの場合は総印刷枚数を使用してトナー消費量を計算します。ただし、Kトナーカートリッジの寿命は7,500枚ですので、以下の数式により、Kトナーカートリッジの交換周期の予測は153日となります。

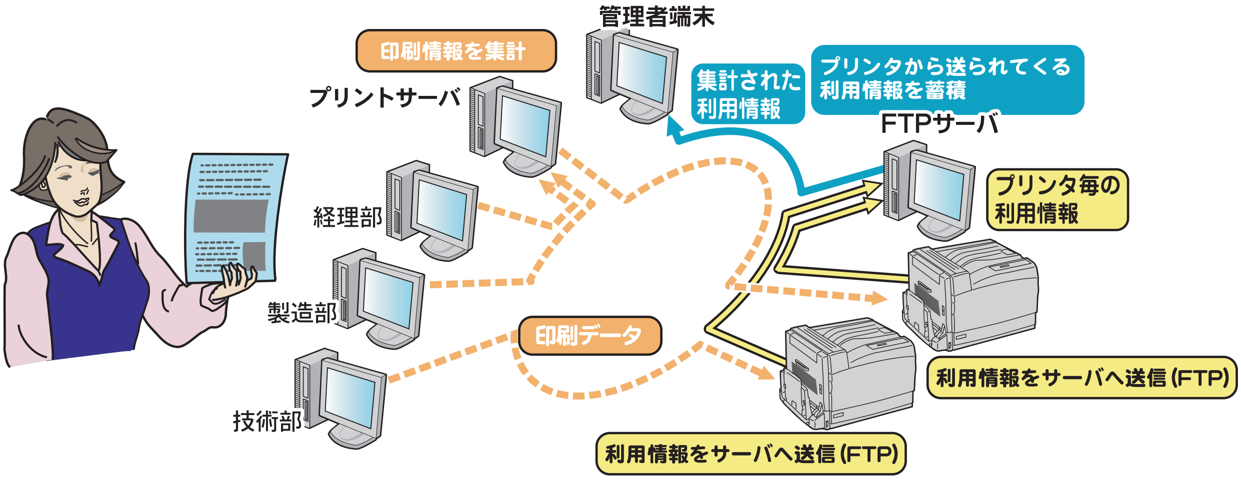
（（7500 × 5）/（10 ×10 + 3 × 5 + 20 × 5 + 12 × 5 + 1× 10 + 30 × 10 + 10 × 5 + 20 × 5））× 3 ≒ 153

チェック

本機能の印刷カバレッジはあくまでも目安です。実際のトナーカートリッジ交換においては、プリンターの操作パネルの指示に従ってください。

プリンタ利用情報通知

プリンタ利用情報通知とは、プリンターを使用したユーザーや部門の印刷枚数・使用用紙サイズなどの情報をプリンターが蓄積し、一定の条件が揃うとFTPサーバーへ送信する機能です。管理者（部門）が各部門や個人の印刷量を集計するのに役立てられます。



この利用情報を集計するには、FTPサーバーに蓄積された各プリンターからの利用情報を集計し、条件に合わせて印刷量を算出するため「印刷ログユーティリティー」が必要です。

印刷ログユーティリティーとは

印刷ログユーティ リティーとは、以下の2 つで構成されいる利用情報集計ツールで、プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されています。

- 合成サービス
- 集計サービス

合成サービス

プリンタ利用情報通知機能に対応した各プリンターからFTPサーバーに送信されたログをひとつのログファイル（マスターログ）に合成するサービスです。Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作します。

集計サービス

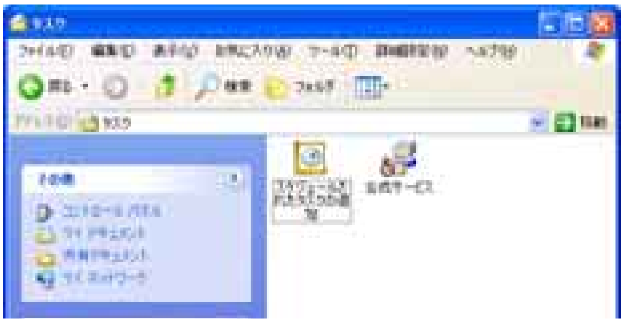
Microsoft Excelのマクロで作成されたユーティリティーです。合成サービスが作成したマスターログを利用者ごとに分類して一覧表示したり、用紙サイズ毎に印刷枚数の集計が可能です。これらの表示/集計結果はMicrosoft Excelのブック形式で保存することができ、グラフ作成などの編集にも利用可能です。

印刷ログユーティリティーでできること

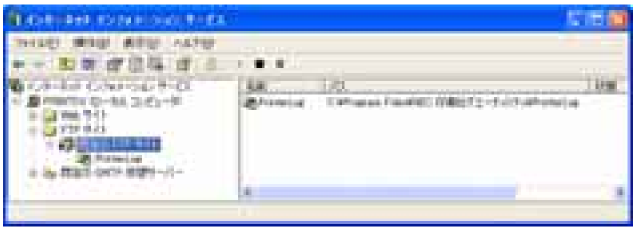
合成サービス

合成サービスをインストールすると、

- タスクスケジュラーに「合成サービス」のタスクが追加され、一定時間ごとにマスターログを生成/更新されます。



- FTP サーバーにはプリンターログを保存するための仮想ディレクトリ“/PrinterLog”が作成されます。



集計サービス

部署別に集計、利用者別に集計、プリンター別に集計することができます。

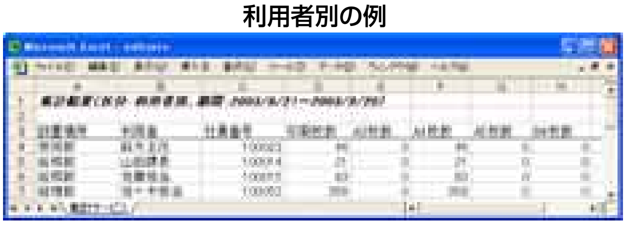
部署別の例



プリンター別の例



利用者別の例



設定方法

以下の設定をしてください。設定は、一度実行すれば保持されます。詳細はプリンターソフトウエアCD-ROMの￥logutilフォルダーのreadme.txtを参照してください。

1. 印刷ログユーティリティーのサーバー設定
2. 印刷ログユーティリティープリンターの設定

1 印刷ログユーティリティーのサーバー設定

❶ Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0でFTPサーバーを起動する。

詳しくは各OSのマニュアルを参照してください。

❷ 印刷ログユーティリティー合成サービスをインストールする。

プリンターソフトウエアCD-ROMから「印刷ログユーティリティー合成サービス」をインストールします。インストールを行うと、FTPサーバーに“/PrinterLog”仮想ディレクトリが自動的に作成されます。

タスクスケジュラーには「合成サービス」のタスクが追加され、一定時間ごとにマスターログを生成/更新します。

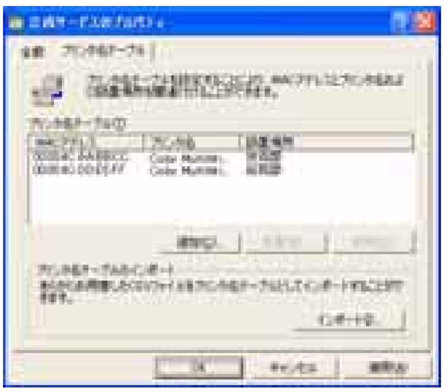
❸ [プリンタ名テーブル]シートを開いて、プリンタを登録する。

[スタート] ー [すべてのプログラム] ー [NEC印刷ログユーティリティー] ー [合成サービスのプロパティ] を開くと以下の設定が可能です。

[プリンタ名テーブル] シート

- プリンタ名テーブルの追加/変更/削除
- プリンタ名テーブルのインポート
  あらかじめ用意したCSVファイルをプリンター名テーブルとしてインポート可能です。

  データ順序：MACアドレス、プリンタ名、設置場所（設置場所は省略可能）



プリンタ名テーブルについて

プリンターに装着されているLANボードのMACアドレスとプリンタ名、設置場所を関連付けるテーブルです。この情報を設定しておくと、マスタログにプリンタ名、設置場所の情報が追加されます。

例）
00:00:4C:AA:BB:CC,Color MultiWriter9700C,
技術部

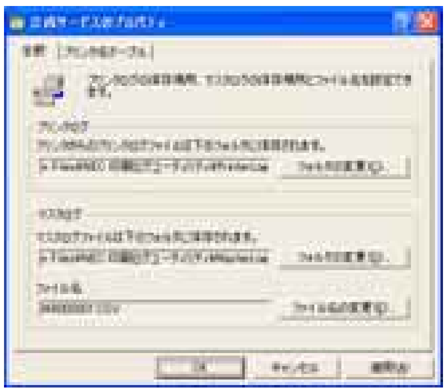
✔チェック

プリンタ名には、同じ名前は使用できません。

[全般] シート

必要に応じて、以下のフォルダーおよびファイル名を変更します。通常は標準設定でご利用ください。

- プリンタログ保存先フォルダー
- マスタログの保存先フォルダーおよびファイル名



2　印刷ログユーティリティープリンターの設定

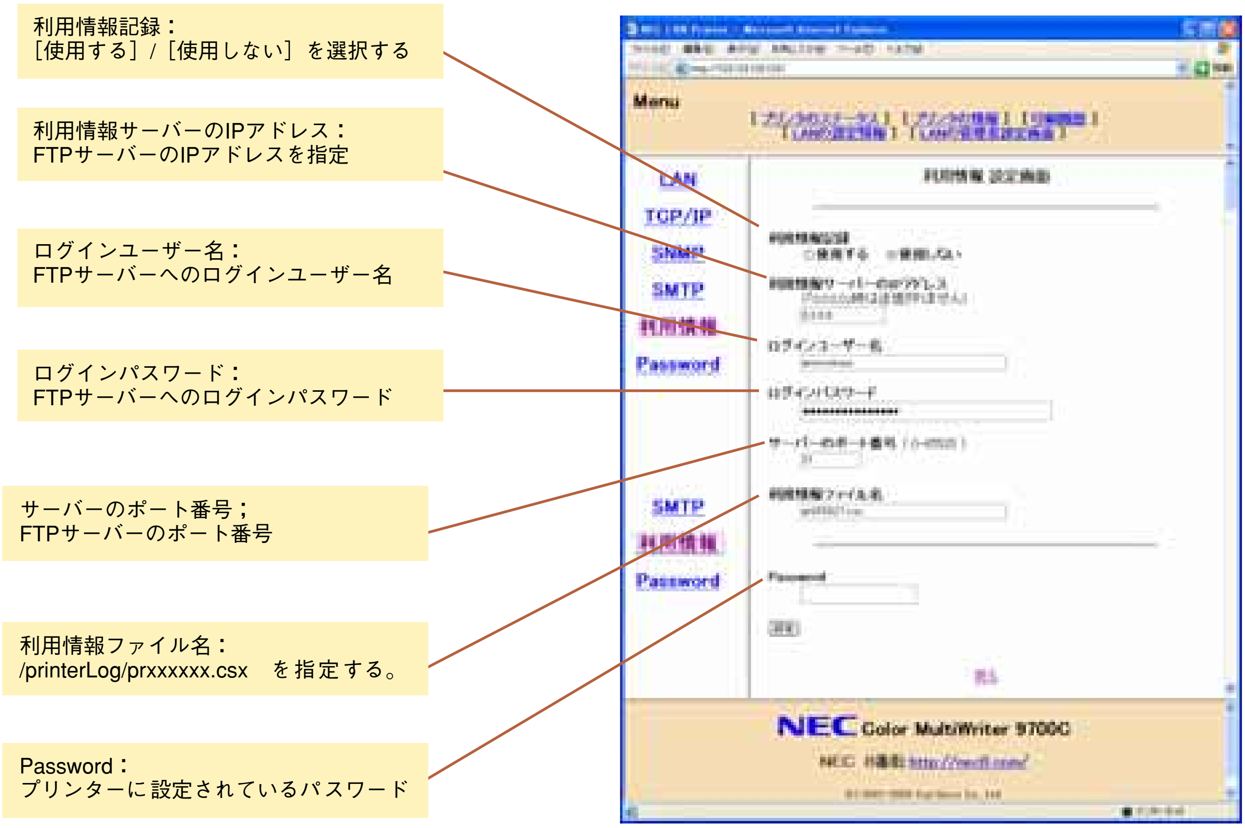
❶ プリンター（LANインターフェース）の設定をする。

プリンターのIPアドレスなどの設定を行います。

❷ 利用情報機能の設定をする。

Webブラウザーのアドレスに、❶で設定したIPアドレスを指定し、「LANの管理者設定画面」を呼び出して、「利用情報」の設定を行います。

印刷を行うと利用情報がプリンターのメモリーに記録され、一定の条件が揃うとプリンターがFTPサーバーに利用情報を送信します。



利用情報の集計方法

❶ **印刷ログユーティリティー集計サービスのインストールをする。**

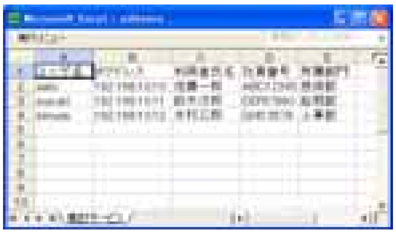
プリンターソフトウエアCD-ROMから印刷ログユーティリティー集計サービスをインストールします。

❷ **集計サービスを起動する。**

［スタート］－［すべてのプログラム］－［NEC印刷ログユーティリティー］－［集計サービス］を開きます。

❸ **ユーザー情報テーブルの設定をする。**

集計サービスの［実行メニュー］－［環境設定］－［ユーザー情報設定］を選択し、ユーザー名、IPアドレス、利用者名、社員番号、所属部門で分類し集計を行います。



❹ **マスターログの指定をする。**

集計サービスの［実行メニュー］－［環境設定］－［マスタログ指定］を選択し、合成サービスで設定したマスターログを指定します。

❺ **利用情報の集計**

- **印刷ログの一覧表示**
  - 集計サービスの［実行メニュー］－［ログ一覧］を選択します。
  - ［取り込み］ボタンを押すと印刷ログを一覧表示します。
  - 必要に応じて［保存］ボタンを押して別名保存します。

- **印刷ログの集計**
  - 集計サービスの［実行メニュー］－［集計］を選択します。
  - ［集計］ダイアログボックスで、集計期間を設定し、集計区分を選択します。
  - 集計区分：所属部門別・利用者別・プリンター別・所属部門/プリンター別・利用者/プリンター別
  - ［開始］ボタンを押すと、設定した条件で収集を行います。
  - 必要に応じて、［保存］ボタンを押して別名保存します。

必要な環境

FTPサーバー

次のコマンドをサポートしたFTPサーバー：　USER/PASS/QUIT/PORT/TYPE/APPEND

印刷ログユーティリティー

利用者情報集計ツールとして以下の「印刷ログユーティリティー」が添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されています。

	印刷ログユーティリティー合成サービス	印刷ログユーティリティー集計サービス
動作可能OS	Windows NT Workstation/Server 4.0 日本語版 Windows 2000 Proffesional/Server 日本語版 Windows XP Professional 日本語版 Windows Server 2003 日本語版	Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0
必要ソフトウエア	Microsoft社製FTPサーバー、 タスクスケジュラーサービス	Microsoft Excel 97 以降のWindows版 Excel

その他

プリンタ（LANインターフェース）の設定：プリンタの利用情報通知機能を設定するにはInternet Explorer 3.02以降またはNetscape Navigator/Communicator 3.02以降が動作するコンピューターが必要です。

補足情報

利用情報詳細

記憶順	情報名称	説明	備考
1	プリンタ名	印刷出力したプリンターの名称	装置内に定義されている名称
2	（未使用）		
3	ユーザ名	印刷データを送信したユーザー名	NECプリンタードライバー（Windows用）使用時に有効。最大8バイト。
4	印刷開始日	印刷データを生成した日	NECプリンタードライバー（Windows用）使用時に有効。
5	印刷開始時刻	印刷データを生成した時刻	NECプリンタードライバー（Windows用）使用時に有効。
6	印刷終了日	印刷出力が終了した日	未設定（合成サービスを使用している場合は合成サービスが付加）
7	印刷終了時刻	印刷出力が終了した時刻	未設定（合成サービスを使用している場合は合成サービスが付加）
8	印刷枚数＊1	印刷出力した用紙の枚数	
9	ポート識別情報	印刷データを受信したポートの識別情報	Network/Parallel/USB/Other
10	IPアドレス	印刷データを送信した装置のIPアドレス	プリントサーバー経由の場合はサーバーのアドレスとなる。
11	A3サイズの印刷枚数	印刷出力したA3サイズの用紙の枚数	
12	A4サイズの印刷枚数	印刷出力したA4サイズの用紙の枚数	
13	A5サイズの印刷枚数	印刷出力したA5サイズの用紙の枚数	
14	B4サイズの印刷枚数	印刷出力したB4サイズの用紙の枚数	
15	B5サイズの印刷枚数	印刷出力したB5サイズの用紙の枚数	
16	レターサイズの印刷枚数	印刷出力したレターサイズの用紙の枚数	
17	その他のサイズの印刷枚数	印刷出力したその他のサイズの用紙の枚数	
18	総印刷枚数＊2	印刷出力した面数	
19	モノクロ印刷枚＊3	モノクロモードで印刷した面数	
20	カラー印刷枚数＊3	カラーモードで印刷した面数	
21	Yカバレッジ	Yトナーのカバレッジ	Yトナーの消費量（詳細は349ページ参照）
22	Mカバレッジ	Mトナーのカバレッジ	Mトナーの消費量（詳細は349ページ参照）
23	Cカバレッジ	Cトナーのカバレッジ	Cトナーの消費量（詳細は350ページ参照）
24	Kカバレッジ	Kトナーのカバレッジ	Kトナーの消費量（詳細は350ページ参照）

＊1　両面印刷で2ページ分のデータを1枚の紙に印刷した場合印刷枚数=1、総印刷枚数=2

＊2　2アップで2ページ分のデータを1枚の紙に印刷した場合印刷枚数=1、総印刷枚数=1

＊3　印刷モードが“自動”の場合には印刷速度を優先するためにモノクロのページであってもカラーの面数に加算されることがあります。

利用情報例

チェック

- 利用情報記録ファイルはCSV 形式です。
- FTP サーバーにすでにファイルが存在する場合は、そのファイルに追加します。ファイルが存在しない場合は、ファイルを作成します。

TCP/IPを使用したネットワーク印刷

¨ NEC Color MultiWriter 9700C ¨ ,, “AAA” ,2003/08/21,19:52:01,,,21, ¨ Network ¨ ,,192.168.0.131,21,0,0,0,0,0,0,21,,,,,,,,[CR][LR]

TCP/IPを使用しないネットワーク印刷

¨ NEC Color MultiWriter 9700C ¨ ,, “BBB” ,2003/08/21,20:00:12,,,10, ¨ Network ¨ ,,0,10,0,0,0,0,0,0,10,,,,,,,,[CR][LR]

パラレルインターフェースによる印刷

¨ NEC Color MultiWriter 9700C ¨ ,, “CCC” ,2003/08/21,10:00:00,,,1, ¨ Parallel ¨ ,,0,0,1,0,0,0,0,0.1,,,,,,,,[CR][LR]

USBによる印刷

¨ NEC Color MultiWriter 9700C ¨ ,, “DDD” ,2003/08/21,05:00:00,,,1 , ¨ USB ¨ ,,0,0,1,0,0,0,0,0.1,,,,,,,,[CR][LR]

ステータス/サンプルによるポートを使用しない印刷

¨ NEC Color MultiWriter 9700C ¨ ,, “,,,,,,,,2, ¨ Other ¨ ,,2,0,0,0,0,0,0,2.2,,,,,,,,[CR][LR]

プリンターがFTPサーバーへ利用情報を送信するタイミング

- 一定時間経過時
  10分間（固定）経過したとき
- 利用情報格納エリアニアフル
  FTPサーバーへ利用情報を送信する間に生成される利用情報を格納するエリアを除いて、保存エリアがフルになったとき
- オペレータパネルリセット時
  ユーザーが操作パネルでリセット操作をしたとき

チェック

- FTPサーバーへの送信に失敗した場合は、印刷出力します。
- 利用情報がない場合は送信されません。

プリンタードライバーのバージョンアップ

MultiWriterには、プリンターソフトウエアCD-ROMからとネットワーク上のサーバ-クライアント環境で自動的にクライアントへプリンタードライバーの自動配信を行う機能があります。これにより、プリンタードライバーの更新手間を大幅に軽減します。

プリンターソフトウエアCD-ROMからの更新

お使いのコンピューターにインストールされているプリンタードライバー（OSに収録されているプリンタードライバーも含む）について、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンタードライバーのバージョンが新しい場合に、自動的にバージョンアップ（更新）することができます

動作環境

以下のOSで使用が可能です。

- Microsoft Windows XP 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- Microsoft Windows Me 日本語版
- Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版
- Microsoft Windows 98 日本語版
- Microsoft Windows 95 日本語版
- Microsoft Windows 2000 日本語版
- Microsoft Windows NT 4.0 日本語版

設定方法

チェック

ご使用の前に、起動しているすべてのアプリケーションを終了してください。

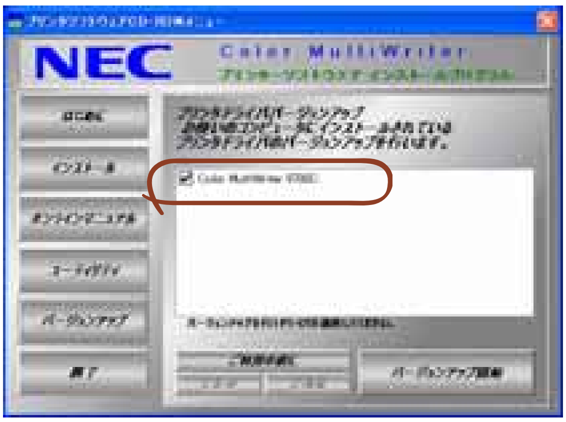
❶ **プリンターソフトウエア CD-ROM をセットし、メニュープログラムを立ち上げる。**

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はプリンターソフトウエアCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❷ **画面左側の［バージョンアップ］をクリックする。**

お使いのコンピューターにインストールされているプリンタードライバーの内、バージョンアップの対象となる製品名が表示されます。

❸ **製品名のチェックボックスをクリックし、バージョンアップを行う製品を選択する。**



❹ **［バージョンアップ開始］をクリックし、プリンタードライバーをバージョンアップする。**

確認メッセージが表示されます。［OK］をクリックするとバージョンアップが開始されます。



バージョンアップが終了すると、終了メッセージが表示されます。

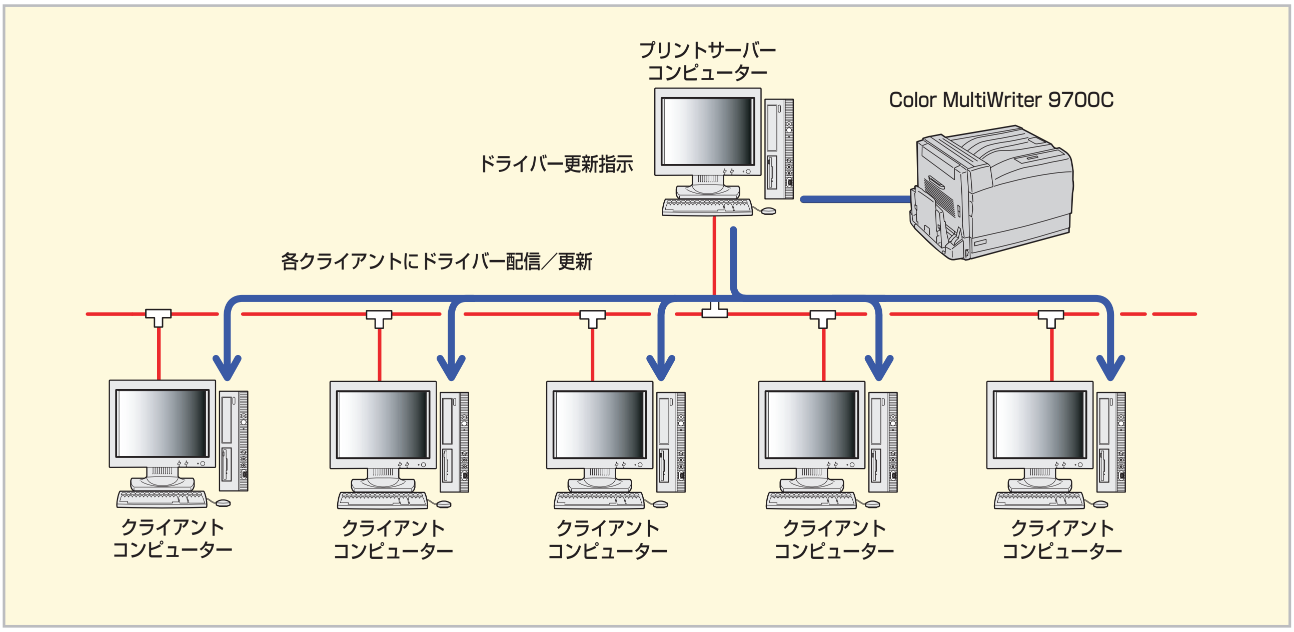
> **チェック**
>
> OSの再起動が必要な場合は、再起動を促すメッセージが表示されます。表示された場合は、再起動を行ってください。再起動しない場合は、正しくプリンタードライバーの更新が行えない場合があります。

使用上の注意事項

- バージョンアップを行えるのはプリンタードライバーのみです。PrintAgentのバージョンアップは行えません。
- OSに添付されているプリンタードライバーをインストールされている場合も自動バージョンアップの対象となります。この場合は、CD-ROMに格納されているプリンタードライバーに置き換わります。
- Windows XPにインストールしようとしている時に、他のユーザーがそのコンピューターにログオンしている場合は、インストールできません。他のすべてのユーザーをログオフしてからインストールしてください。
- Windows XPでご使用になる場合には、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］の権限を持ったユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0 でご使用になる場合には、Administratorsの権限を持ったユーザー名でログオンしてください。Administrators権限を持たないユーザー名でログオンした場合にはバージョンアップを行えません。

MultiWriter ドライバ配信機能

ネットワーク上のサーバークライアント環境で自動的にクライアントコンピューターへプリンタードライバーの配信を行い、更新を行う機能です。



「MultiWriterドライバ配信」では配信先コンピューターに対して、以下の機能を提供します。

- ローカルプリンターの作成
  “LPT1:” などに接続されたプリンターの作成が行えます。

- NEC TCP/IP Portのプリンターの作成
  接続先がNEC TCP/IP Portのプリンターの作成が行えます。

- ネットワーク共有プリンターの作成
  他のコンピューターの共有プリンターに接続するプリンターの作成が行えます。

- プリンタードライバーの更新
  プリンタードライバーおよびNEC TCP/IP Portファイルの更新が行えます。

- プリンターの削除
  プリンターの削除が行えます。

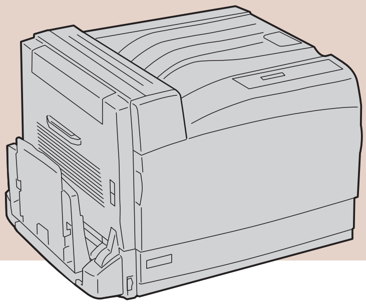
また、設定によっては以下の機能も使用できます。

- ユーザーがログオンしたときに自動的にプリンターの作成、プリンタードライバーの更新が行えます。

- 配信先コンピューターがログオフした状態でも、管理用コンピューターからプリンターの作成、プリンタードライバーの更新が行えます（一部のOSを除きます）。

詳しくは、プリンターソフトウェアCD-ROMの¥MWDUPフォルダーのREADME.TXT および¥MWDUP¥MANUAL フォルダーのオンラインマニュアル（HTML形式）を参照してください。

5章
日常の保守



この章では、トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、トナー回収カートリッジの取り扱い、プリンターの清掃・輸送など日常の保守について説明しています。

トナーカートリッジの交換

ここでは、トナーカートリッジについて、交換の目安および交換方法を説明してます。

トナーカートリッジの交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルのディスプレイに“76　ショウモウヒンカクニン　＊＊＊トナー”（＊＊＊は各色を表します）のメッセージが表示され、一度印刷が停止します。［印刷可］スイッチを押すことにより印刷を続けることができますが、お早めに新しいトナーカートリッジに交換してください。そのまま印刷を続けると“85　ショウモウヒンジュミョウ　＊＊＊トナー”を表示して印刷が完全に停止します。

お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、カートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。

トナーカートリッジ交換の目安は、5%の印刷密度の場合（1ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合）、A4サイズの用紙でブラックは約7,500枚（大容量トナーカートリッジは約15,000枚）、シアン・マゼンタ・イエローは約6,000枚（大容量トナーカートリッジは約12,000枚）です。

76　ｼｮｳﾓｳﾋﾝｶｸﾆﾝ
ｲｴﾛｰﾄﾅｰ

→

85　ｼｮｳﾓｳﾋﾝｼﾞｭﾐｮｳ
ｲｴﾛｰﾄﾅｰ

チェック

- 開封後1年以上経過すると印刷品質が劣化しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- 必ずNEC純正品を使用してください。NEC純正品以外を使用するとプリンターが故障するおそれがあります。

トナーカートリッジの交換手順

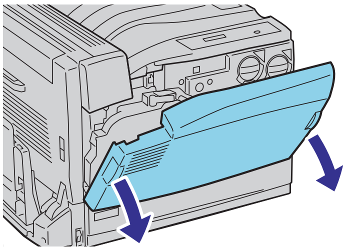
警告

- トナー、トナー回収カートリッジ、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

チェック

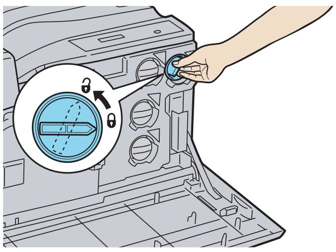
トナー回収カートリッジを交換するとき、回収されたトナーがこぼれて床面を汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。

1 本プリンターが印刷中でないことを確認し、フロントカバーを開ける。

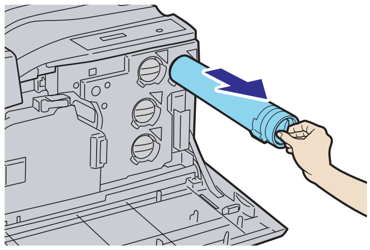


2 メッセージに表示されている色のトナーカートリッジを、カギ印（印）の位置まで左方向に回す。

> Kはブラック、Cはシアン、Mはマゼンタ、Yはイエローです。



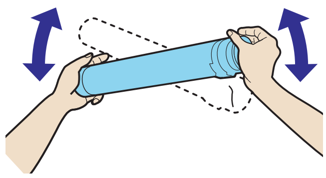
3 トナーカートリッジを手前に静かに引いて、取り出す。



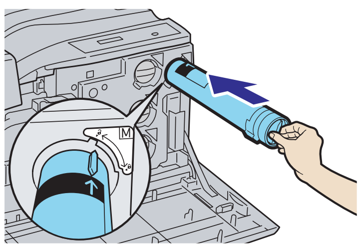
チェック

- トナーカートリッジはゆっくり引き出してください。トナーが飛び散ることがあります。
- 使用済みのトナーカートリッジは、回収を行っております。

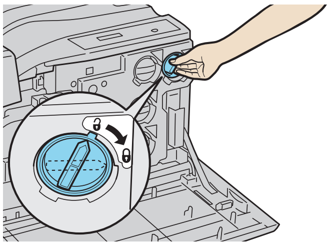
4 取り出したトナーカートリッジと同じ色の新しいトナーカートリッジを用意し、図のように、軽く3、4回上下左右によく振る。



5 トナーカートリッジの矢印をカギ印（印）の位置に合わせて、奥に突き当たるまで差し込む。



❻ **トナーカートリッジを、カギ印（ 印）まで右方向に突き当たるまで回して固定する。**

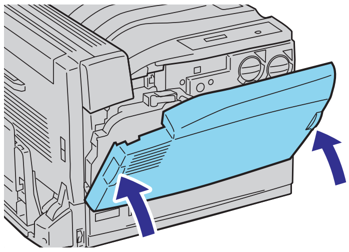


チェック

トナーカートリッジは、正しい位置まで差し込まないと回りません。

❼ **フロントカバーを閉じる。**

印刷可能な状態になります。



ドラムカートリッジの交換

ここでは、ドラムカートリッジについて、交換の目安および交換方法を説明しています。

ドラムカートリッジの交換の目安

ドラムカートリッジの寿命残量が少なくなると操作パネルのディスプレイに“76　ショウモウヒンカクニン　ドラムカートリッジ”のメッセージが表示され、一度印刷が停止します。［印刷可］スイッチを押すことにより印刷を続けることができますが、お早めに新しいドラムカートリッジに交換してください。そのまま印刷を続けると“85　ショウモウヒンジュミョウ　ドラムカートリッジ”を表示して印刷を停止します。ドラムカートリッジの交換と同時に、トナー回収カートリッジを交換してください。

ドラムカートリッジ交換の目安は、A4サイズの用紙で約30,000枚です。ただし、これは一般的な使用状況で印刷した場合（一度に3ページずつ）の枚数です。印刷内容、用紙サイズ・種類、温度などの使用環境、本体の電源ON／OFF，間隔を空けた印刷などにより、印刷品質を保持する調整動作が入るため、実際の印刷可能枚数は少なくなります。例えば、1枚ずつ印刷する場合には、ドラムカートリッジの寿命は30,000枚より短くなります。また、A4より大きな用紙で印刷した場合もドラムカートリッジの寿命は短くなります。

76　ｼｮｳﾓｳﾋﾝｶｸﾆﾝ
ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞ

→

85　ｼｮｳﾓｳﾋﾝｼﾞｭﾐｮｳ
ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞ

チェック

- 開封後1年以上経過すると印刷品質が劣化しますので、新しいドラムカートリッジを準備してください。
- ドラムカートリッジは必ずNEC純正品をお使いください。NEC純正品以外を使用すると、プリンターが故障するおそれがあります。

重要

ドラムカートリッジの寿命動作について

本プリンターの初期設定においては、“85　ショウモウヒンジュミョウ　ドラムカートリッジ”表示時には、印刷が停止して、新しいドラムカートリッジと交換するまでは印刷できなくなっております。
操作パネルより設定するメニューモードの［ウンヨウメニュー］－［ドラムジュミョウドウサ］の設定を［コウカンスルマデマツ］（初期設定）→［スイッチデカイジョ］に変更することにより、動作が変化します（169ページ参照）。この場合、“85　ショウモウヒンジュミョウ　ドラムカートリッジ”表示時に、一度動作が停止しますが、［印刷可］スイッチを押すことにより印刷を続けることができます。
ただし、この場合には印刷を続けることはできますが、印刷品質などは保証されませんので、早めにドラムカートリッジを新品のものと交換してください。なお、この場合、プリンターステータスウィンドウ（296ページ参照）、プリンタ管理ユーティリティ（330ページ参照）、保守情報メール通知（339ページ参照）などについては、“76　ショウモウヒンカクニン　ドラムカートリッジ”と同様のステータスとなりますが、実際には寿命状態であり、品質は保証されるものではありません。

ドラムカートリッジの交換手順

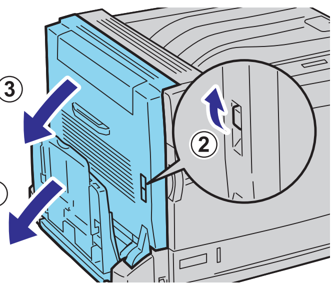
警告

- トナー、トナー回収カートリッジ、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

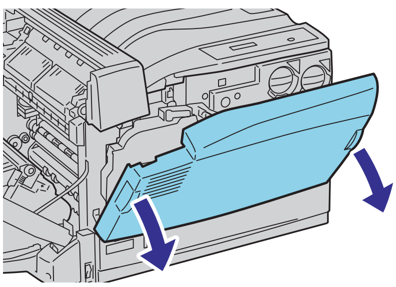
チェック

- ドラムカートリッジにはトナー回収カートリッジが添付されておりますので、ドラムカートリッジ交換時には、トナー回収カートリッジを必ず交換してください。
- トナー回収カートリッジを交換するとき、回収されたトナーがこぼれて床面を汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。

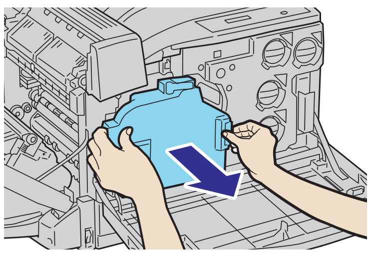
❶ プリンターが印刷中でないことを確認し、手差しトレーを下げ（①）、リリースレバー（A）を上げながら（②）、左カバーをゆっくりと開ける（③）。



❷ フロントカバーを開ける。

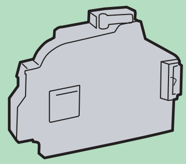


❸ トナー回収カートリッジを、図の位置を持って手前に引いて取り外す。



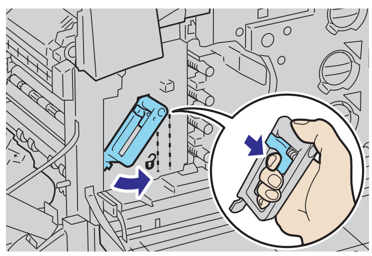
チェック

- 取り外したトナー回収カートリッジを傾けると、トナーがこぼれます。トナーがこぼれないように図のように立てておいてください。



- 一度外したトナー回収カートリッジは、再使用できません。
- 使用済みのトナー回収カートリッジは、回収を行っています。

❹ ハンドルの内側のレバーを手前に引きながら、ハンドルをカギ印（ 印）のガイドラインの位置まで回す。

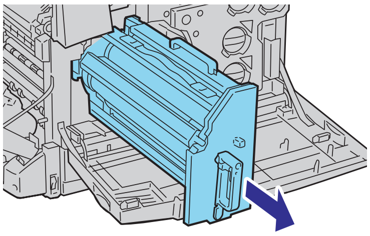


チェック

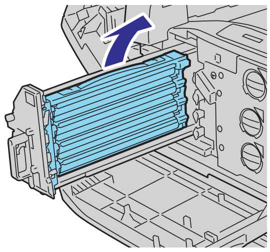
レバーは引きにくいときは、ハンドルを少し左に持ち上げてからレバーを引いてください。

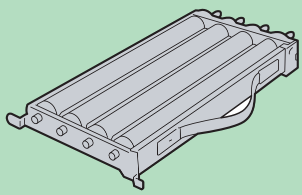
❺ **中間転写ユニットのハンドルを持って、ゆっくりと確実に止まるまで引き出す。**

> **チェック**
>
> 中間転写ユニットの転写ロールに触らないでください。ロール表面に傷や手の脂、汚れなどが付くと印刷品質が低下します。



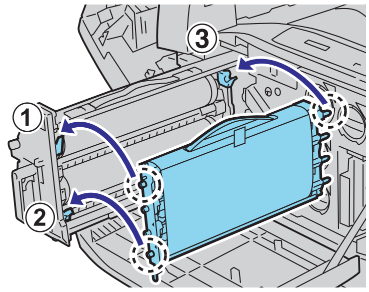
❻ **ドラムカートリッジの取っ手を持って、持ち上げるようにして取り外す。**



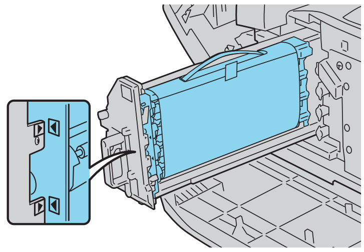
> **チェック**
>
> - ドラムカートリッジを引き出すとき、床に落とさないように注意してください。
> - ドラムカートリッジに付着したトナーに触れないように注意してください。
> - 使用済みのドラムカートリッジは、汚れ防止のため図のような向きで置いてください。
>
> 
>
> - 使用済みのドラムカートリッジは、回収を行っております。

❼ **新しいドラムカートリッジを、梱包箱から取り出し、梱包材を取り除く。**

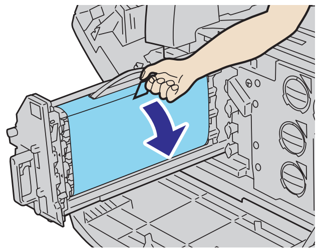
❽ **保護紙を付けたままドラムカートリッジの取っ手を持って、図のように手前側の突起を載せてから（①、②）奥側の突起を載せる（③）。**



❾ **中間転写ユニットの矢印とドラムカートリッジの2か所の矢印の位置が合っていることを確認する。**

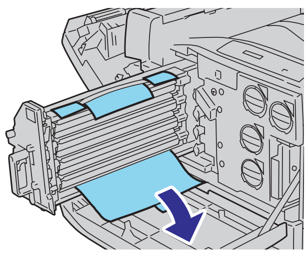


❿ **ドラムカートリッジの保護紙のテープをはがす。**

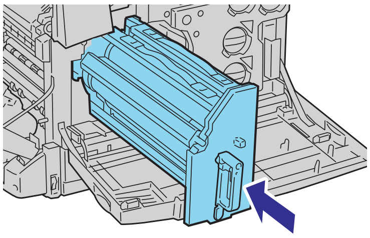


> **チェック**
>
> 保護紙を外した後は、長い時間（3分以上）そのままにしたり、強い光を当てないでください。きれいな印刷ができなくなることがあります。

⓫ **保護紙を下方向に引き抜く。**

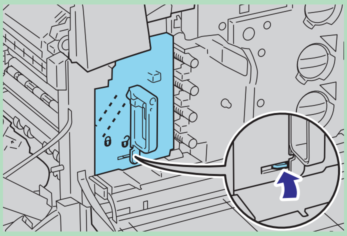


⓬ **中間転写ユニットを、まっすぐゆっくりと奥に突き当たるまで押し込む。**

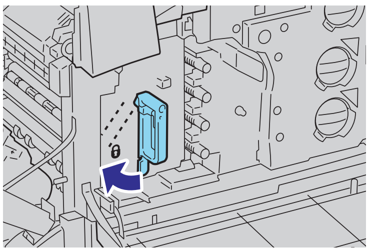


チェック

- 中間転写ユニットの転写ロールや、ドラムカートリッジのドラムに触らないでください。ロール表面に傷や手の脂、汚れなどが付くと印刷品質が低下します。
- 中間転写ユニットが正しい位置まで戻ると、図の突起も元に戻ります。



⓭ **中間転写ユニットのハンドルを、カギ印（🔒印）のガイドラインの位置まで回す。**

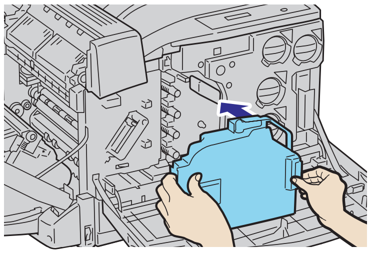


チェック

- ハンドルが回りにくいときは、もう一度中間転写ユニットを引き出し、本プリンターの奥までしっかりと押し込んでください。
- ハンドルを正しい位置まで戻すと、ハンドルが固定されます。

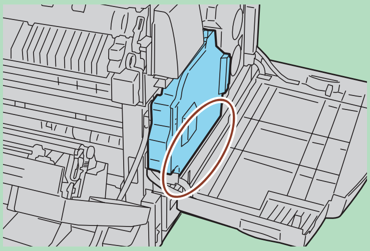
⓮ **ドラムカートリッジに添付されている新しいトナー回収カートリッジを袋から取り出す。**

⓯ **トナー回収カートリッジを、図の位置を持って取り付ける。**

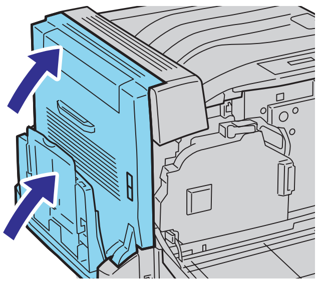


チェック

トナー回収カートリッジが正しくセットされていないと、フロントカバーが閉まらなかったり、操作パネルにメッセージが表示されたりします。図のようにトナー回収カートリッジは本プリンターのフレーム内に正しくセットしてください。

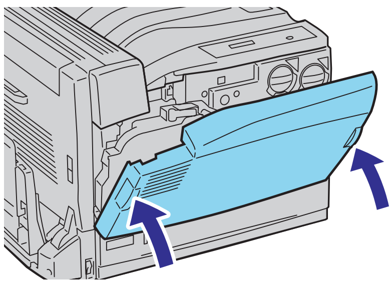


⓰ **左カバーの中央部を押してゆっくりと閉じる（①）。中必要に応じて、手差しトレーを上げる（②）。**



⓱ **フロントカバーを閉じる。**

印刷可能な状態になります。



トナー回収カートリッジの交換

ここでは、トナー回収カートリッジについて、交換の目安および交換方法を説明してます。

トナー回収カートリッジの交換の目安

トナー回収カートリッジの交換時期が近くなると、操作パネルのディスプレイに“76　ショウモウヒンカクニン　トナーカイシュウカートリッジ”のメッセージが表示され、一度印刷が停止します。［印刷可］スイッチを押すことにより印刷を続けることができますが、お早めに新しいトナー回収カートリッジに交換してください。そのまま印刷を続けると“85　ショウモウヒンジュミョウ　トナーカイシュウカートリッジ”を表示して印刷を停止します。トナー回収カートリッジ交換の目安は約24,000ページです。ただし、これはA4用紙で各色5%の印刷密度の場合です。

チェック

使用済みのトナー回収カートリッジは、回収を行っております。

76　ｼｮｳﾓｳﾋﾝｶｸﾆﾝ ﾄﾅｰｶｲｼｭｳｶｰﾄﾘｯｼﾞ	→	85　ｼｮｳﾓｳﾋﾝｼﾞｭﾐｮｳ ﾄﾅｰｶｲｼｭｳｶｰﾄﾘｯｼﾞ

トナー回収カートリッジの交換手順

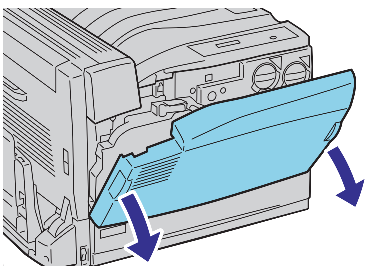
警告

- トナー、トナー回収カートリッジ、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

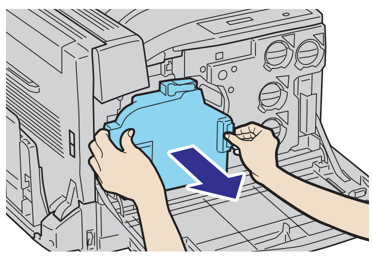
チェック

トナー回収カートリッジを交換するとき、回収されたトナーがこぼれて床面を汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。

❶ プリンターが印刷中でないことを確認し、フロントカバーを開ける。

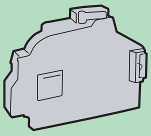


❷ トナー回収カートリッジを、図の位置を持って手前に引いて取り外す。



チェック

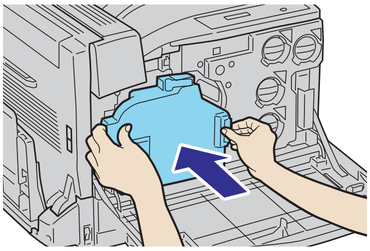
- 取り外したトナー回収カートリッジを傾けると、トナーがこぼれます。トナーがこぼれないように図のように立てておいてください。



- 一度外したトナー回収カートリッジは、再使用できません。
- 使用済みのトナー回収カートリッジは、回収を行っています。

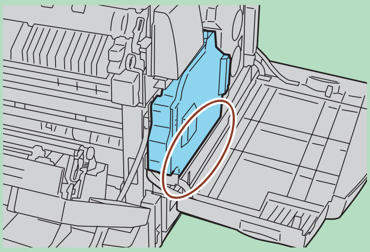
❸ **新しいトナー回収カートリッジを袋から取り出す。**

❹ **トナー回収カートリッジを、図の位置を持って取り付ける。**



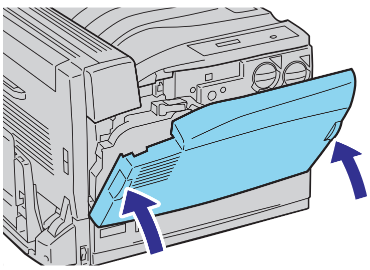
チェック

トナー回収カートリッジが正しくセットされていないと、フロントカバーが閉まらなかったり、操作パネルにメッセージが表示されたりします。図のようにトナー回収カートリッジは本プリンターのフレーム内に正しくセットしてください。



❺ **フロントカバーを閉じる。**

印刷可能な状態になります。



カラーレジの補正

カラーレジの補正は、プリンターを初めて設置したときや、移動などで再設置したときに行ってください。その他に次のような場合にカラーレジ補正を行うことをお勧めします。

- ドラムカートリッジを交換したとき
- 印刷結果がぼやけて見えるとき

カラーレジの補正方法はユーザーズマニュアルの「1章　プリンターの設置」を参照してください。

プリンターの清掃・点検

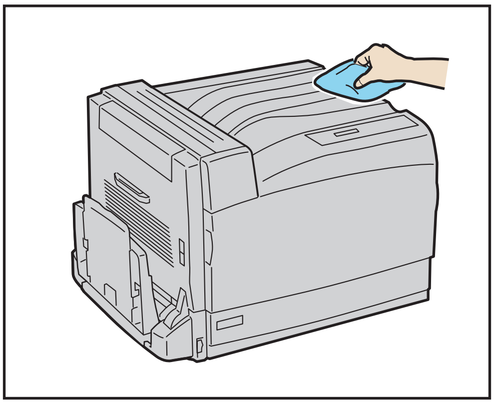
プリンターを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように約1か月に1回、清掃および点検を行ってください。

❶ **プリンターの電源をOFFにする。**

❷ **プリンターの表面を、水または中性洗剤を含ませてかたく絞った布でふく。**

❸ **柔らかい乾いた布でふく。**

> チェック
> - 水または中性洗剤以外は使用しないでください。
> - 本プリンターは油をさす必要はありません。注油しないでください。



❹ **以下の点検を行う。**

- 電源プラグに異常な発熱、サビ、および曲がりなどはありませんか？
- 電源プラグやコンセントに細かいほこりがついていませんか？
- 電源コードに亀裂や擦り傷などがありませんか？
- 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？

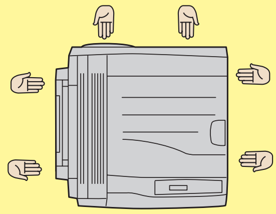
点検を行って異常がある場合は、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧」に記載のサービス窓口までご連絡ください。

プリンターを輸送するとき

プリンターは精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

注意

- プリンターの質量は60kg（オプションを除く）です。必ず3人以上で持ち運んでください。なお、プリンターを持ち運ぶときは、必ずオプションの増設ホッパーをプリンターから取り外してください。
- プリンターを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。
- プリンターを持ち上げるときは、プリンターの左右と背面に向かい、左右両側、背面側の下方にある取っ手部を両手でしっかりと持ってください。それ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。



- プリンターを移動する場合は、プリンターを10°以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

1. **電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。**
2. **電源コードおよびインターフェースケーブルなどの、すべての接続コードを外す。**

警告

電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

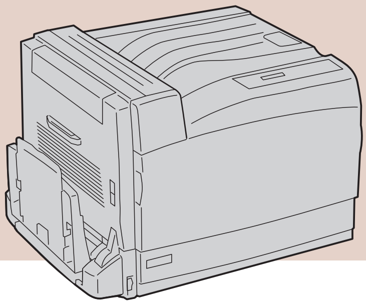
注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

3. **用紙カセットから用紙を取り出し、湿気やホコリがない場所に保管する。**
4. **オプションのフェイスアップ排出ユニットが取り付けられている場合は、フェイスアップトレイを取り外す。**
5. **オプションの増設ホッパーを取り付けている場合は、取り外す。（ユーザーズマニュアル参照）**
6. **本プリンターを傷つけないように梱包し、運搬する。**

メ　モ

6章
故障かな？と思ったら



この章では、「故障かな？」と思ったときの症状を以下の項目に分けて、原因と処置方法を説明します。

- 印刷できないときは
- 用紙送りがおかしいときは
- アラーム表示が出ているときは
- 印刷に異常が見られるときは
- 思うように印刷できないときは
- PrintAgent システムが起動しない／機能の一部が使用できないときは
- プリンタステータスウィンドウが正しく動作しないときは
- e-mailメンテナンスができないときは
- リプリントできないときは
- ネットワークで思うように印刷できないときは
- 紙づまりのときは

また、PrintAgentを正しく動作させるための注意事項や、プリンター・消耗品を廃棄に関する説明も記載しています。

その他プリンターソフトウエアを利用する際の補足情報がプリンターソフトウエアの「はじめにお読みください」(Readme.txt）に記載されています。これらはプリンターソフトウエアCD-ROMのメニュープログラムから参照できます。

修理に出す前に

「故障かな？」と思ったときは、修理に出す前に以下の手順を行ってください。

❶ **電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認する。**

❷ **定期的な清掃を行っていたか、またトナーカートリッジなどの消耗品の交換は確実に行われていたかを確認する。**

❸ **本章の374〜399ページをご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行う。**

以上の処理を行っても、なお異常があるときは無理な操作をせずに、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあればお知らせください。故障時のディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、保証書を添えてお申し込みください。

また、プリンターをお持ち込みいただくときは、5章の「プリンターを輸送するとき」（371ページ）や梱包箱に表示されている手順を参照してプリンターを梱包してください。

重要

海外でのご使用について

このプリンターは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

印刷できないときは

次の表に、印刷できないときの症状、および原因と処理方法を示します。それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症状	原因と処理方法
印刷可ランプが点灯しない	**電源スイッチがOFFになっている。** →　電源スイッチをONにしてください。 **電源コードがきちんと差し込まれていない。** →　プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 **コンセントに電気が供給されていない。** →　配電盤などの状態を調べてください。 **節電モード2になっている。** →　節電解除スイッチを押してください。
頻繁に電源が切れる	**プリンターが故障している。** →　電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口までご連絡ください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	**印刷可ランプが消灯している。** →　［印刷可］スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 **プリンターケーブルが正しく選択されていない、または正しく接続されていない（印刷可ランプが点滅しない）。** →　付録の「使用できるプリンターケーブル」（483ページ）を参照して、プリンターケーブルの種類を確認後、接続してください。 **改ページ、または排出コードがない（ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示される）。** →　［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウエアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします。 **用紙がなくなった、または指定されたサイズの用紙がない（アラームランプ（赤）点灯）。プリンターの規格に合っていない。** →　ユーザーズマニュアルを参照して、用紙を補給してください。 **アラームランプ（赤）が点灯している。** →　「アラーム表示が出ているときは」（377ページ）をご覧ください。 **「通常使うプリンタ」として選択されていない。** →　「通常使うプリンタ」として選択してください。 **データ送信中** →　本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1 ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。もう少しお待ちください。さらに、多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。 また他のインターフェースからのデータを処理しているため、その処理が終了するまで待たされることがあります。

<table>
<tr><th>症状</th><th>原因と処理方法</th></tr>
<tr><td>データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない（続き）</td><td>ドラムカートリッジがクリーニング動作を行っている。
→　印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。

定着器ユニットの温度を調整している。
→　印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。

プリンターが節電モードになっている。
→　ウォームアップには最大で約30秒必要です。もうしばらくお待ちください。節電モードに移行する時間は最長120分まで変更できます。なお、節電モードに入らないようにすることはできません。

印刷途中でメモリーやハードディスクの容量の不足を知らせるメッセージが表示され、印刷が中止される。また、何もメッセージが表示されないで印刷されずに終わってしまう。
→　お使いのコンピューター上で動いているアプリケーションが使用しているメモリーの状況や印刷データが大きい場合など、プリンタードライバーが必要とするメモリーやハードディスク容量が得られない場合があります。このような場合、不要なアプリケーションを終了してください。

また、仮想メモリーサイズの変更やハードディスクの空き容量を増やすことで改善される場合があります。仮想メモリーのサイズを変更する場合は、お使いのWindowsのヘルプを参照してください。</td></tr>
<tr><td>手差しトレーから印刷ができない</td><td>給紙方法が自動またはホッパになっている。
→　プリンタードライバーの給紙方法を手差しトレーに設定し直してください。

手差しトレーにセットした用紙サイズが正しく設定されてない。
→　［手差しトレー］スイッチで用紙サイズを設定してください。（ユーザーズマニュアルの「4 章　操作パネルについて」を参照）</td></tr>
<tr><td>プリンタードライバーの給紙方法を［手差しトレー］として印刷したのに「トレー　XX　セット」が表示される</td><td>用紙をセットし直してください。
→　ユーザーズマニュアル 3 章の「手差しトレーから給紙する」を参照して用紙をセットし直してください。

手差しトレーにセットした用紙サイズが正しく設定されてない。
→　［手差しトレー］スイッチで用紙サイズを設定してください。（ユーザーズマニュアルの「4 章　操作パネルについて」を参照）</td></tr>
<tr><td>異常音がする</td><td>プリンターが傾いています。
→　安定した水平な場所に設置してください。

プリンター内部に用紙くずや異物があります。
→　プリンター内部を点検し、取り除いてください。</td></tr>
</table>

用紙送りがおかしいときは

次の表に、用紙送りがおかしいときの症状、および原因と処理方法を示します。それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症状	原因と処理方法
紙づまりがよく起きる 複数枚同時に引き込まれる 斜めに引き込まれる	**プリンターが傾いています。** →　安定した水平な場所に設置してください。 **用紙が薄すぎるか厚すぎます。** →　プリンターに適した用紙を使用してください。 **用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。** →　適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。 **用紙に折り目やしわや反りがあります。** →　プリンターに適した用紙を使用してください。反りがある場合は修正してください。 **裏面が印刷された用紙を使用しています。** →　本プリンター以外で印刷された用紙は使用できません。 **用紙がそろっていません。** →　用紙の上下左右をそろえてからセットしてください。 **用紙カセットに用紙を1枚だけセットしています。** →　用紙は複数枚でセットしてください。 **用紙カセット、手差しトレーに用紙が入ったまま用紙をつぎ足しています。** →　先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。 **用紙がまっすぐにセットされていません。** →　用紙カセットの用紙ガイドを用紙に合わせてください。 →　手差しトレーのサイドガイドを用紙に合わせてください。 **はがきや封筒などのセット方向が間違っています。** →　正しくセットしてください。 **封筒、ラベル紙、はがき、OHPを用紙カセットにセットしています。** →　封筒、ラベル紙、はがき、OHPは用紙カセットから印刷できません。手差しトレーにセットしてください。
用紙が送られない	**プリンタードライバーの[給紙方法]の選択が間違っています。** →　用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。
つまった用紙を取り除いても復旧しない	**用紙を取り除くだけでは復旧しません。** →　左カバーを開閉してください。
用紙が丸まってしまう	**用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。** →　適切な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、アラームのランプが点滅し、ディスプレイにその内容が表示（アラーム表示）されます。

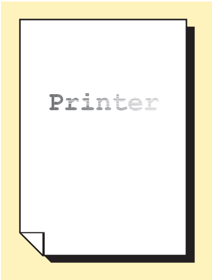
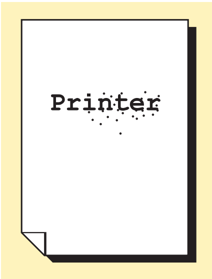
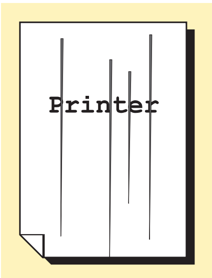
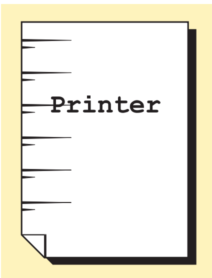
次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

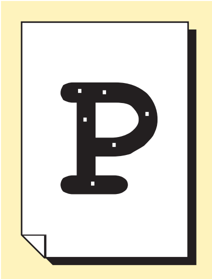
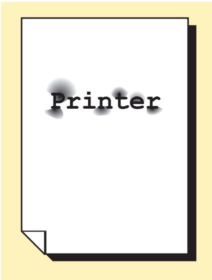
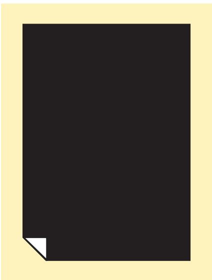
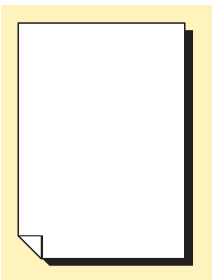
ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
ホッハ゜1　A4ヨコ　ホキュウ フツウシ トレー　　A4ヨコ　セット フツウシ	**用紙がなくなった。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がない。** →　表示されているサイズの用紙をホッパーまたは手差しトレーに補給してください。
72　カハ゛ーオーフ゜ン フロントカハ゛ー	**カバーが開いている。** →　下段に表示されているカバーをきちんと閉じてください。
73　ミソウチャク イエロートナー	**消耗品または定期交換部品が取り付けられていない。** →　下段に表示されている消耗品を取り付けてください。
74　カミツ゛マリ ホンタイハイシ　　　　XXX	**紙づまりが発生している。** →　下段に表示されている箇所から、つまった用紙を取り除いてください。詳しくは「紙づまりのときは」（402ページ）を参照してください。
75　ヨウシサイス゛エラー 　　　　　　　ホッハ゜1	**指定サイズと異なる用紙がセットされている。** →　下段右側に表示されているホッパー、または手差しトレーに指定サイズの用紙をセットして、［印刷可］スイッチを押してください。
76　ショウモウヒンカクニン イエロートナー	**消耗品の残量があとわずかです。** →　［印刷可］スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、少しの間は印刷を続けることができます。目的の印刷が終了したら、下段に表示されている消耗品をすみやかに交換してください。また、この状態のままプリンターの電源をOFFにし、再び電源をONにしても、この表示は解除できません。
77　テイキコウカン XXX	**定期保守(定期交換部品の交換)の必要な時期です。** →　販売店にお問い合わせください。 「XXX」は寿命になった定期交換部品を表します。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、［印刷可］スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。また、この状態のままプリンターの電源をOFFにし、再び電源をONにしても、この表示は解除できません。
78　ハイシスタッカフル	**スタッカーに許容量以上の用紙が入っています。** →　スタッカーの用紙を取り除いて、［印刷可］スイッチを押してください。
79　キュシイシ゛ョウ ホッハ゜2　ハ　ツカエマセン	**給紙機構部に異常が発生しました。** →　販売店にお問い合わせください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありません。下段に表示されている給紙口以外からは印刷可能です。電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。
81　タイフ゜チカ゛イ ト゛ラムカートリッシ゛　コウカン	**下段に表示された消耗品が異常です。** →　消耗品を正しくセットしても解除できない場合には、消耗品を交換してください。
83　インサツフカ メモリヲソ゛ウセツシテクタ゛サイ	**メモリー不足のために印刷できない。** →　メモリーを増設してください。または印刷品質を変更してください。

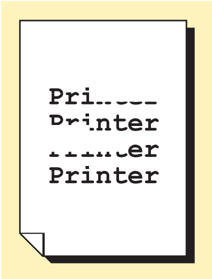
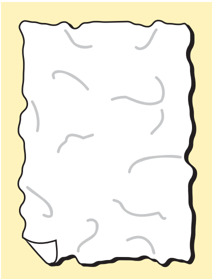
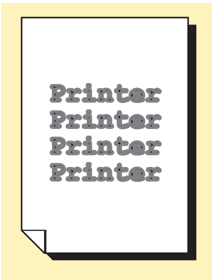
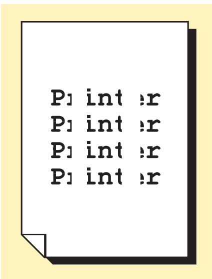
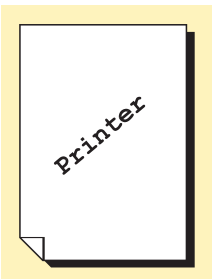
ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
84 フォーム オーバ゛ー	**フォーム登録に必要なメモリーが不足しています。** →　［印刷可］スイッチを押してください。フォームデータが読み捨てられます。 メモリーの増設により、フォーム登録用メモリーが増加します。
85 ショウモウヒンジ゛ュミョウ イエロートナー	**消耗品が寿命に達しました。** →　下段に表示されている消耗品を交換するまで印刷できません。ただし、設定により印刷を継続できます（ドラムカートリッジについては5章の「ドラムカートリッジの寿命動作について」（364ページ）、トナーカートリッジについては「トナーカートリッジを継続して使用するときは」（414ページ）を参照してください）。
87 セツゾ゛クエラー インタフェース3	**インターフェース3のボードが異常です。** →　装着したオプションが本プリンターでサポートされているか確認してください。または電源投入後に無線LANボードのカードを抜かないでください。
88 OHPセットエラー タダ゛シクセットシテクダ゛サイ	**使用できないOHPフィルムがセットされている。** →　正しいOHPフィルムをセットしてください。 **OHP以外の用紙が大きく斜行して給紙された。** →　縦横の用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。ユーザーズマニュアル「3章　用紙のセット」を参照して用紙をセットし直してください。
89 ヨウシザ゛ンリョウカクニン ホッパ゜1 ヨウシザ゛ンリョウ	**用紙が残り少なくなりました。** →　下段に表示されているホッパーに用紙を補給してください。
91 ヨウシシュベ゛ツフイッチ ホッパ゜ フツウシセット	**プリンタードライバーで指定された［用紙種別］とメニューで設定されている［用紙種別］が一致していません。** →　表示されているホッパーに表示されている用紙をセットし、印刷可スイッチを押してください。 詳細についてはユーザーズマニュアルの3章の「用紙種別の設定」を参照してください。
ホッパ゜1 インサツフカヨウシ	**このプリンターではサポートされていない用紙がセットされました。** →　表示されているホッパーまたは手差しトレーから用紙を取り除いてください。
ホッパ゜1 A4 セットチガ゛イ	**用紙のセット方向（縦/横）が間違っています。** →　表示されているホッパーに表示されている用紙を取り除いて正しい方向に再セットしてください。
15 コール15	**メモリーの異常です。** →　電源をOFFにして、メモリーを取り付け直してください。（ユーザーズマニュアルの10章「増設メモリー」を参照）それでもアラームが発生する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。
46 コール46	**画質調整センサーの異常です。** →　電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが発生する場合は、再度電源をOFFにしてもう一度ONにしてください。これを数回繰り返してもアラームが発生する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。
52 コール52	**増設ホッパーの接続不良です。** →　増設ホッパーを設置し直してください。それでもアラームが表示される場合はプリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。
上記以外の表示	**障害が発生しています。** →　電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが発生する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。 →　ネットワークに接続されたプリンターに印刷しているときにプリンターフォルダーの画面から「印刷中止」や「印刷ドキュメントの削除」を行った場合、ネットワーク環境によっては印刷が中断されたことがプリンターに伝わらない場合があります。この場合はプリンター内に印刷データが残ったままとなり次の印刷データと混じることにより、上記以外のアラームが表示されたり誤印字したりすることがあります。そのような環境でお使いの場合はPrintAgentのジョブキャンセル機能を使って印刷を中止するようにしてください。

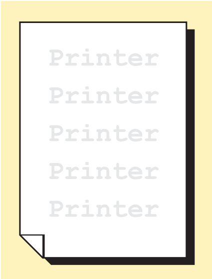
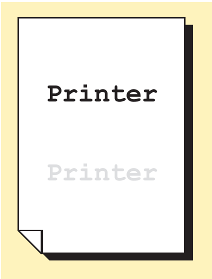
印刷に異常が見られるときは

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

症　状	原因と処理方法
印刷がうすい （かすれる、不鮮明）  	**用紙が湿気を含んでいます。** →　新しい用紙と交換してください。 **ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。** →　新しいドラムカートリッジと交換してください。 **トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。** →　新しいトナーカートリッジと交換してください。
色点が印刷される  	**ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。** →　新しいドラムカートリッジと交換してください。
色線が印刷される  	**ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。** →　新しいドラムカートリッジと交換してください。
等間隔に汚れが起きる  	**用紙搬送路に汚れが付着しています。** →　数枚印刷してください。 **ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。** →　新しいドラムカートリッジと交換してください。

症　状	原因と処理方法
色でぬりつぶされた部分に白点が現れる 	**使用している用紙が適切ではありません。** →　適切な用紙をセットしてください。 **ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。** →　新しいドラムカートリッジと交換してください。
指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる  	**用紙カセットにセットした用紙とプリンタドライバーで設定した［用紙種別］が合っていません。** →　用紙カセットにセットした用紙に適する［用紙種別］をプリンタドライバーで設定してください。 **用紙が湿気を含んでいます。** →　新しい用紙と交換してください。 **使用している用紙が適切ではありません。** →　適切な用紙をセットしてください。
用紙全体がぬりつぶされて印刷される 	**ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。** →　新しいドラムカートリッジと交換してください。 **高圧電源の故障が考えられます。** →　お買い求めの販売店、または添付の「NEC サービス網一覧」に記載の『サービス窓口』と記載されているサービス窓口へ連絡してください。
何も印刷されない 	**一度に複数枚の用紙が搬送されています（重送）。** →　用紙をよくさばいてからセットし直してください。 **ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。** →　新しいドラムカートリッジと交換してください。

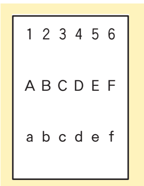
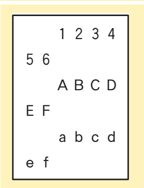
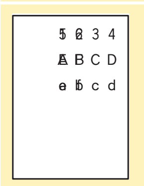
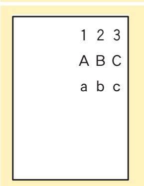
症　状	原因と処理方法
白抜けや白筋が出る 	**用紙が湿気を含んでいます。** →　新しい用紙と交換してください。 **使用している用紙が適切ではありません。** →　適切な用紙をセットしてください。 **高圧電源の故障が考えられます。** →　お買い求めの販売店、または添付の「NEC サービス網一覧」に記載の『サービス窓口』と記載されているサービス窓口へ連絡してください。
用紙にシワが付く 文字がにじむ  	**使用している用紙が適切ではありません。** →　適切な用紙をセットしてください。 **用紙の継ぎ足しをしています。** →　用紙カセットや手差しトレーにセットしてある用紙を使いきる前に、用紙を継ぎ足すと起こることがあります。セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。 **用紙が湿気を含んでいます。** →　新しい用紙と交換してください。
縦長に白抜けする 	**ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。** →　新しいドラムカートリッジと交換してください。 **トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。** →　新しいトナーカートリッジと交換してください。
斜めに印刷される 	**用紙カセットの用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。** →　縦横の用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。

症　状	原因と処理方法
全体がうっすらと印刷される  	**手差しトレーを使用して印刷した場合で、プリンタードライバーで選択した用紙サイズと実際にセットされている用紙のサイズが異なります。または、一度に複数枚の用紙が搬送されています。** →　手差しトレーに、正しいサイズの用紙をセットするか、用紙をよくさばいてからセットしてください。 **トナーセーブモードになっていませんか。** →　プリンタードライバーの［グラフィック］シートの［印刷品質］を、［トナーセーブ］以外に設定してください。
離れた位置にうっすらと影が印刷される  	**クリーニング機能が自動で働かない。** →　メニューモードにある「クリーニング1」を行ってください。 **用紙種別の設定が最適でない。** →　「厚紙」、「ごく厚紙」を使用した場合に、この症状が現れるときは、次のように用紙種別の設定を変更してください。 •「厚紙」→「コート紙1」 •「ごく厚紙」→「コート紙2」
OHPフィルムにきれいに印刷されない	**適切なOHPフィルムを使用していますか。** →　本プリンターで使用できるOHPフィルムは、次のとおりです。 ●　PR-L9200C-TP 白い枠付きのOHPフィルム、カラー用OHPフィルムは、使用できません。 **用紙種別を［OHP］に設定していますか。** →　プリンタードライバーのプロパティで、用紙の種別を［OHP］に設定してください。
はがきにきれいに印刷されない	**適切なはがきを使用していますか。** →　使用できるはがきをセットしてください。 **手動両面で印刷していますか。** →　はじめに本文面を印刷し、その後で宛名面を印刷すると、よりきれいに印刷できます。
カラーの文字がかすれたように印刷される	**中間色を表現するために網点を使用しているためです。** →　プリンターの故障ではありません。濃い目の色を使用するかゴシックなどの太めの字体を使用してください。
カラーの細い線が点線のように印刷される	**中間色を表現するために網点を使用しているためです。** →　濃い目の色を使用するかゴシックなどの太めの字体を使用してください。 →　［グラフィック］シートにある印刷品質を「標準」から「高画質」または「高精細」モードにしてください。
封筒にきれいに印刷されない	**適切なサイズの封筒を使用していますか。** →　本プリンターで使用できる封筒のサイズは、洋形4号です。使用できる封筒をセットしてください。
きれいに印刷されない	**プリンタードライバーで、トナーセーブ機能や、解像度を低く設定していませんか。** →　プリンタードライバーの［グラフィック］シートで、設定を変更してください。

思うように印刷できないときは

プリンターの動作がおかしくて思うように印刷ができないときは、プリンターまたはアプリケーションの設定を変更すれば、ほとんどの場合は改善できます。
ここで説明する項目を参照して原因の確認と処理を行ってください。

症　状	原因と処理方法
正常に印刷できない	**他のプリンタードライバーが同一のポートを使用している。** →　プリンタードライバーによっては利用先のポート（LPT1:、COM1:など）に対し常に通信を行おうとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのヘルプを参照して、他のプリンタードライバーのポートを本プリンタードライバーと違うポートに変更するか、他のプリンタードライバーを削除してください。 **お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのセントロ設定が異なる。** →　お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのセントロ設定の動作モードを同じ設定にしてください。詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
斜線の太さが均一でない （線の角度によって線の太さが違っている） 写真などの絵やグラデーションがおかしい	**トナーセーブモードになっている。** →　プリンタードライバーの［グラフィック］シートの［印刷品質］を、［トナーセーブ］以外に設定してください。トナーセーブとはトナーの使用を節約する試し印刷用の機能です。この機能を使うと細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	**アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。** →　アプリケーションのマニュアルを見て正しく設定してください。ソフトウエアによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。 **プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。** →　メニューモードでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。 A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。 **使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。** →　付録の「用紙の規格」（417ページ）を参照して、確認してください。 Color MultiWriter 9700Cのようなページプリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のページプリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。 **以前使用していたプリンターとColor MultiWriter 9700Cとの間に印刷位置の互換性がない。** →　プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6W等のNPDLまたはNPDL(Level2)対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンターに対しては印刷位置の互換性はありません。
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない	**改ページコードまたは排出コードがありません（NPDL時）。** →　［印刷可］スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押してください。 本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中には、ページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 なお、メニューモードで自動排出を有効にしておくと設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている（NPDL時）。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。 ソフトウエアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。また、新たにソフトウエアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード（0Ch）を付加するようにしてください。

症　状	原因と処理方法
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない（続き）	**コンピューターからのデータ送信が途切れている。** →　プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの「タイムアウト設定」の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。
ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	**自動排出機能が有効になっている（NPDL時）。** →　メニューモードで自動排出を無効にしてください。 プリンターには自動排出機能（コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能）があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。 また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。
用紙の左側が空白になる（印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される）	**綴じしろが合っていない。** →　印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリッピング機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。詳細は2章の「両面印刷メニュー」（179ページ）を参照してください。 **一部のソフトウエアでは、用紙位置が異なる場合があります。** →　メニューモードで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	**印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合があります（NPDL時）。** →　プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。
改行量（行の間隔）が2倍になる  1行が2行にわたる  各行の文字が重なって印刷されてしまう  用紙の途中から印刷が始まってしまう 	**アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なってる。** →　ソフトウエアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。 →　他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。 A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピューターの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** →　ページプリンター、またはレーザープリンターを選択してください。 →　メニューモードを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。 アプリケーションがシリアルプリンター専用に作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	**一部のソフトウエアには、ソフトウエアの指定によって改行で用紙を排出するものがあります。** →　ソフトウエアの設定をシートフィーダー付きにするか、1ページの長さを67行（A4サイズの用紙の場合）に設定してください。

症　状	原因と処理方法
画面の文字と異なる文字が印刷された	**ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。** →　ユーザーズマニュアルの「2 章　プリンターソフトウエアのインストール」を参照してください。 **プリンターケーブルがきちんと接続されていない。** →　プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 **プリンターバッファーやプリンター切替器を使用している。** →　プリンターバッファーやプリンター切替器を使用しない接続方法に変更してください。
白紙が出る	**ソフトウエアのプリンター設定がシートフィーダー付きになっている。** →　シートフィーダー付きになっている場合は、メニューモード、またはメモリースイッチの設定で「136桁モード」を有効にしてください。
プリンタードライバーで指定したホッパーから印刷できない	**プリンタードライバーの指定と、操作パネルの設定が合っていない。** →　プリンターの操作パネルのメニューで、該当ホッパーの用紙サイズ設定とプリンタードライバーの設定があっているか確認してください。プリンターの操作パネルのメニューで、該当ホッパーの用紙サイズ設定が自動（初期設定）の状態で、プリンタードライバーで定形外用紙以外を指定してください。定形外用紙を使用する場合、プリンターの操作パネルのメニューで、該当ホッパーの用紙サイズ設定を「テイケイガイコテイ」に設定し、プリンタードライバーで定形外用紙を選択してください。
両面印刷が正しく機能しない	**メニューモード、メモリースイッチが合っていない。** →　設定し直してください。 **セットされている用紙サイズが合っていない。** →　自動両面印刷は「普通紙」、「再生紙」、「やや厚紙」のA3、A4、B4、B5、A5、レターでしか機能しません。セットされている用紙を確認してください。 **手差しトレーの用紙種別を「普通紙」、「再生紙」、「やや厚紙」以外に設定している。** →　手差しトレーから両面印刷を行う場合、用紙種別を「普通紙」、「再生紙」、「やや厚紙」に設定してください。 **手差しトレーの定形外用紙がONになっている。** →　メニューモードで定形外用紙をOFFにしてください。 **メモリーが足りない。** →　A3、B4 サイズの用紙に両面印刷を行う場合、メモリーの増設が必要な場合があります。ユーザーズマニュアルの「10章 消耗品・オプション」をご覧になり、メモリーを増設してください。 **両面印刷ユニットが正しく取り付けられていない。** →　両面印刷ユニットの取り付けが正しく行われているか確認してください。
正しく印刷できずに文字が化ける	**プリンター切替器などを介して印刷している。** →　プリンター切替器などを介さずにプリンターを接続してください。 →　イーサネットコネクター接続に変更してください。
思ったような色で印刷されない	**トナーが残り少なくなっている。** →　トナーカートリッジを交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** →　付録の「用紙の規格」（417ページ）を参照して正しい用紙をセットしてください。 **用紙種別が正しく設定されていない。** →　2章の「メニューモード」（157ページ）を参照して、用紙種別を正しく設定してください。 **カラーの調整が適切でない。** →　［プリセット詳細/登録］ダイアログボックスの設定を見直してください。詳細は3章の「カラー印刷の調整」（263ページ）を参照してください。
ウォーターマークやヘッダー／フッターがきれいに印刷できない	**ウォーターマークやヘッダー／フッターの色と文書の色が混合されて印刷される。** →　ウォーターマークやヘッダー／フッターと文書の色が重ならないようウォーターマークやヘッダー／フッターのサイズ、位置を調整してください。
「リレー給紙」設定をONにしてもリレー給紙されない	**用紙種別の設定が正しくない。** →　2章の「メニューモード」（157ページ）を参照して、用紙種別の設定を行ってください。リレー給紙は用紙サイズ、用紙種別両方の設定が同じホッパー /手差しトレーでのみ動作します。ただし用紙種別が「指定しない」の設定ではリレー給紙は行われません。

症　状	原因と処理方法
プリンターの構成が自動取得されない	**［プリンタの構成］シートでプリンターの情報が自動取得されない。** →　［プリンタの構成］シートでプリンターの状態を自動取得するにはPrintAgentがインストールされている必要があります。また、ネットワーク共有プリンターを使用する場合は、サーバー・クライアントの両方にPrintAgentがインストールされている必要があります。［プリンタの構成］シートに情報が表示されていない場合、［最新の状態に更新］をクリックすると、情報が表示される場合があります。
印刷速度が遅い	**プリンターバッファーなどを取り付けている。** →　コンピューター本体とプリンターを市販のプリンターバッファー、プリンター切替器、プリンター共有器、コピープロテクターなどで接続している場合には、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（396ページ）を参照して、双方向通信機能を無効にしてください。 **プリンターと双方向通信ができない。** →　本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（396ページ）を参照してください。 **OSがMicrosoft Windowsのターミナルサービスのコンピューターで印刷している。** →　本章の「その他の注意事項」（397ページ）を参照してください。
製本印刷ができない フェイスアップ*（最終ページから）を指定すると印刷できない 丁合い印刷ができない	**Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0を使用し、ハードディスクをNTFS形式でフォーマットしている。** →　Windowsディレクトリーのあるハードディスクドライブを NTFS形式でフォーマットしている場合で、Windowsディレクトリーにアクセス制限が掛けられている場合、添付CD-ROMの¥TEMPSetフォルダーに格納されているTEMPSetフォルダーによる設定を行う必要があります。 特に、Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionをNTFSでご使用になられている場合、デフォルトでWindowsディレクトリーにアクセス制限が掛けられているため、TEMPSetユーティリティーによる設定が必須となります。詳細については、添付CD-ROMの¥TEMPSetフォルダーのreadme.txtをご参照ください。 **コンピューターのハードディスクの空き容量が少ない。** →　プリンタードライバーは文書データを一時的にコンピューターのハードディスクに書き出す場合があり、ハードディスクの空き容量が少ないと、印刷できないことがあります。Windowsディレクトリーのあるハードディスクドライブの空き容量を増やして印刷を行ってください。

*　フェイスアップ排出ユニットはオプションです。

PrintAgentシステムが起動しない／機能の一部が使用できないときは

PrintAgentシステムが動作しないときの症状とその原因、処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

症　状	原因と処理方法
タスクバーのトレイに[PrintAgent]アイコンが表示されていない	**PrintAgentシステムが自動的に起動する設定になっていない。** →　［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスで［システムを自動的に起動する］をチェックしてください。Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は次回起動時から、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0は次回ログオン時から自動的に起動します。 **PrintAgentシステムを終了している。** →　［スタート］-［プログラム］*-［Color MultiWriter 9700C］-［PrintAgentシステム起動］を実行してください。 *　Windows XP、Windows Server 2003は［すべてのプログラム］ **PrintAgentをアンインストールした、またはPrintAgentのインストールに失敗した。** →　ユーザーズマニュアルの2章を参照してPrintAgentをインストールしてください。
PrintAgentの機能が一部使用できない	**MultiWriter 2000X/2200XのPrintAgentをアンインストールした。** →　PrintAgent対応機種が複数インストールしている場合、MultiWriter 2000X／2200ＸのPrintAgentをアンインストールすると他のPrintAgent対応機種のPrintAgentが使用できなくなります。次の手順を行ってください。 ①　他の機種のPrintAgentをアンインストールする。 ②　MultiWriter 2000X/2200XのPrintAgentをアンインストールする。 ③　必要な機種のPrintAgentをインストールする。 **PrintAgentをアンインストールせずにOSをWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードした。** →　PrintAgentをそのままにしてOSをアップデートしてもPrintAgentが正しく動作しないことがあります。すでにOSをWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードしてしまった場合は「PrintAgent Eraser」を使用して、いったんプリンターソフトウエアを削除してから再インストールしてください。詳細は「PrintAgentを正しく動作させるために」（393ページ）を参照してください。 **双方向通信機能が無効になっている。** →　双方向通信機能が無効になっているとプリンタステータスウィンドウなどの機能が使用できません。各OSのプロパティダイアログボックスで設定を有効にしてください。 <Windows Me> ［詳細］シートの［スプールの設定］-［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選択する。 <Windows 98、Windows 95> ［詳細］シートの［スプールの設定］-［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選択する。 <Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000> ［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートにある［双方向サポートを有効にする］をチェックする。 <Windows NT 4.0> ［デバイスプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートにある［双方向サポートを有効にする］をチェックする。

症　状	原因と処理方法
PrintAgentの機能が一部使用できない（続き）	**ネットワークの設定を変更した。** →　PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPのみです。またネットワーク環境でColor MultiWriter 9700Cを共有プリンターとしてお使いになる場合は次のソフトウエアを組み込んでおく必要があります。各OSのマニュアルまたはヘルプを参照してネットワークの環境を設定してください。 **＜Windows Me、Windows 98、Windows 95＞** ［Microsoft ネットワーク共有サービス］ **＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000＞** ［Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有］ **＜Windows NT 4.0＞** ［サーバ］ **プリンターとコンピューターとの接続が適切でない。** →　プリンターとコンピューターとの接続は当社指定のケーブルをご利用ください（詳細は付録の「使用できるプリンターケーブル」（483ページ）を参照）。 指定以外のケーブルを使ったり市販のプリンターバッファー、プリンター切替器、プリンター共有器などを使用するとPrintAgentの機能が正常に動作しないことがあります。 **コンピューターの処理能力が十分でない。** →　コンピューターの性能があまり高くないとPrintAgentのご利用により他の作業の処理速度に影響することがあります。その場合はコンピューターのメモリーを増設するかプリンターをローカルに接続してご利用になることをお勧めします。
Web PrintAgentがうまく動作しない	**適切なブラウザーソフトウエアで表示していない。** →　Web PrintAgentの動作を保証しているのはMicrosoft Internet Explorer 3.0以上またはNetscape Navigator 3.0以上です。 **プリントサーバーのコンピューターにWeb PrintAgentがインストールされていない。** →　Web PrintAgentをインストールできるのはプリンター管理者だけです。4章の「プリンター管理者向けインストール」（326ページ）を参照してWeb PrintAgentをインストールしてください。 **ブラウザの設定でJavaScriptが有効になっていない。** →　JavaScriptを有効にする、またはスクリプトを有効にしてください。
印刷ログ出力ができない	**PrintAgentのプロパティが正しく設定されていない。** →　［PrintAgent のプロパティ］の［LAN ボード使用時の PSW 表示］で［印刷終了まで表示］をチェックしてください。 **プリントサーバーが印刷ログ機能を利用できない。** →　印刷ログ機能を利用できるのはWindows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のみです。

プリンタステータスウィンドドウが正しく動作しないときは

次の表にプリンタステータスウィンドウが正しく動作しないときの症状とその原因、処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウが［スタート］メニューに登録されていない	**カスタムインストールによって、インストール対象とされなかった。** →　システムの管理者にご相談ください。 **必要なファイルが削除されている。** →　PrintAgentを再インストールしてください。
使用したいプリンターのプリンタステータスウィンドウが選択できない	**プリンタフォルダーに「NEC Color MultiWriter 9700C」のプリンターが登録されていない。** →　PrintAgentおよびプリンタードライバーをインストールしてください。 **プリンタードライバーが変更されている。** →　プリンタードライバーを変更すると、誤動作の原因となります。プリンタードライバーを削除し、再度プリンタードライバーをインストールしてください。
プリンタステータスウィンドウが起動しない	**プリンターのアクセス権がない。** →　権限を確認してください。 **必要なファイルが削除されている。** →　PrintAgentを再インストールしてください。 **コンピューターのメモリーが不足している。** →　必要のないアプリケーションを終了してください。 **パラレルポートの設定が正しくない。** →　コンピューターのパラレルポートの設定を変更してください。 **プリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティーが使用されている。** →　コンピューターで使用されているユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。 **ドメインに参加していない。** →　ドメインに参加していないWindows XPのコンピュータをプリントサーバーとしてクライアントから印刷を行った場合、ドキュメントの所有者が［Guest］となり、プリンタステータスウィンドウがポップアップしない場合があります。ドメインに参加してください。詳しくは、OSのヘルプをご覧ください。
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない	**印刷データを直接プリンターに送信している。** →　印刷データ（ジョブ）をスプールするように設定してください。 **最新のステータスを取得していない。** →　プリンタステータスウインドウの［最新のステータスに更新］ボタンをクリックしてください。 **14ピンパラレルインターフェースでプリンターを接続している。** →　このインターフェースではプリンターの情報を取得することができずプリンタステータスウィンドウの機能が大幅に制限されます。プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）をお使いになることをお勧めします。

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない（続き）	**プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。** →　＜Windows Me＞ ［詳細］シートの［スプールの設定］-［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選んでください。 ＜Windows 98、Windows 95＞ ［詳細］シートの［スプールの設定］-［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選んでください。 ＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000＞ ［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートにある［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。 ＜Windows NT 4.0＞ ［デバイスプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートにある［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。 **節電モード2による節電中である。** →　節電モード 2 を解除してください。操作パネルの［節電解除］ボタンを押すか、印刷データを送信すると解除できます。 **プリンターが直接つながっているコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でプリンタープールを使用している。** →　Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0上のすべてのプリンターの［プリンタのプロパティ］-［ポート］-［プリンタプールを有効にする］のチェックを外してください。 **お使いのコンピューターのプリンターポート（パラレルポート）の設定とプリンターのセントロ設定が異なっている。** →　双方の動作設定を合わせてください。「PrintAgentの制限事項」（398ページ）を参照してください。
プリンタステータスウィンドウの音声メッセージが通知されない	**音声がインストールされていない。** →　標準設定では音声はインストールされません。「アプリケーションの追加と削除」で音声を選択してインストールしてください。 **音声を通知しない設定となっている。** →　［通知形式のプロパティ］の設定を確認してください。 **［PSWのプロパティ］の［自分のドキュメントを印刷していないときの設定］が「自動起動する」になっていない。** →　自分のドキュメントを印刷していないときの音声メッセージは「自動起動しない」と設定されているときは通知されません。「エラー発生時にウィンドウで自動起動する」と設定されているときはエラー時のみ通知されます。 **ボリューム、Windowsのサウンドの設定が変更されている。** →　設定を確認してください。
プリンタステータスウィンドウ上から印刷ドキュメントの削除ができない	**印刷ドキュメントがすでにプリンターへ送られてしまった。** →　すでにプリンターへ送信済みのドキュメントに対して、削除はできません。 **プリンターのアクセス権がない。** →　ネットワーク管理者に権限を確認してください。 **印刷先がネットワーク共有プリンターである。** →　ネットワーク共有プリンターのサーバーのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は、クライアントでプリンターをインストール（作成）した直後は削除できません。いったんクライアント側のOSをログオフ→ログオンしてください。

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウが自動起動しない／自動起動してしまう	**［PSWのプロパティ］の設定が変更されている。** →　設定を確認してください。 **LANプリンターに直接接続して使用している。** →　LANプリンターをサーバーを介さずに使用している場合は［PSWのプロパティ］で［自分のドキュメントを印刷していないとき］の起動条件として［印刷中にアイコンで自動起動する］を設定しても、他の人の印刷時には自動起動しません。ただしこの場合でもエラー発生時には自動起動を行います。
プリンターの構成情報の表示が実際の構成と食い違っている	**プリンターが、双方向通信できないインターフェースで接続されている。もしくはプリンターがバッファーなどを経由して接続されている。** →　プリンターの現在の設定は読み込むことができません。双方向通信できない時は、初期状態として、最大構成が入っています。この場合の構成は、プリンタードライバーから設定が可能です。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプをご確認ください。 **プリンターの情報をうまく取得できていない。** →　ネットワークのトラフィックの状況や上位ホストの処理状況により正しくプリンターの情報がとれなかったと思われます。プリンターの電源を入れ直してください。情報の更新を行ってください。

e-mailメンテナンスができないときは

e-mailメンテナンスがうまくいかなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と処理を行ってください。

症　状	原因と処理方法
メール送信されない	**メールサーバー名が間違っている。** →　［メール通知の設定］ダイアログボックスでメールサーバー名が正しく入力されているかを確認してください。
紙づまり、OHPセットエラー、保守員コールが記録されない。	**監視を行っているコンピューターから印刷していないときに紙づまり、OHPセットエラーや保守員コールが発生した。** →　通常の設定では印刷時のみ監視を行っているため、他ポートやLAN接続で他のコンピューターからの印刷時に発生した紙づまり、OHPセットエラーや保守員コールは記録されません。常に監視したい場合は、プリンタステータスウィンドウの［通知形式のプロパティ］ダイアログボックスで［常にステータスを取得］をチェックしてください。

リプリントできないときは

リプリントがうまくいかなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と処理を行ってください。

症　状	原因と処理方法
リプリント機能が使用できない	**［リプリント機能を提供する］が無効になっている。** →　［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスで［リプリント機能を提供する］をチェックしてください。 **［リプリント機能を使用する］が無効になっている。** →　＜Windows Me、Windows 98、Windows 95＞ ［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［プリンタの構成］シートの［リプリント機能を使用する］をチェックする。 ＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000＞ ［印刷設定］ダイアログボックスの［プリンタの状態］シートの［リプリント機能を使用する］をチェックする。 ＜Windows NT 4.0＞ ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスの［プリンタの状態］シートの［リプリント機能を使用する］をチェックする。 **双方向通信機能が無効になっている。** →　双方向通信機能が無効になっているとプリンタステータスウィンドウなどの機能が使用できません。各OSのプロパティダイアログボックスで設定を有効にしてください。 ＜Windows Me＞ ［詳細］シートの［スプールの設定］-［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選択する。 ＜Windows 98、Windows95＞ ［詳細］シートの［スプールの設定］-［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選択する。 ＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000＞ ［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートにある［双方向サポートを有効にする］をチェックする。 ＜Windows NT 4.0＞ ［デバイスプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートにある［双方向サポートを有効にする］をチェックする。 **プリンターとコンピューターとの接続が適切でない。** →　プリンターとコンピューターとの接続は当社指定のケーブルをご利用ください（詳細は「付録」を参照）。指定以外のケーブルを使ったり市販のプリンターバッファー、プリンター切替器、プリンター共有器などを使用するとPrintAgentの機能が正常に動作しないことがあります。 **ドメインに参加していない。** →　ドメインに参加していないWindows XPのコンピュータをプリントサーバとしてクライアントから印刷を行った場合、リプリント機能は利用できません。ドメインに参加してください。詳しくは、OSのヘルプをご覧ください。
PrintAgent リプリント2が使用できない	**PrintAgent リプリント2がインストールされていない。** →　ユーザーズマニュアル2章の［PrintAgentの追加・削除］を参照して「PrintAgent リプリント2」を追加インストールしてください。
リプリントするファイルが見当たらない	**スプールファイルの制限（ドキュメント数、有効期限、ディスク領域）を超えている。** →　スプールされているファイルは古い順から消去されます。［リプリント機能の設定］ダイアログボックスで設定を確認してください。詳細は4章の「リプリント機能」（299ページ）を参照してください。 →　接続先をFILEに変更した場合、リプリント用に保存されていた印刷データは削除されます。

PrintAgentを正しく動作させるために

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項についてネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項

PrintAgentをインストールまたはアンインストールする時は以下のことに注意してください。

- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。[PrintAgentセットアップ]のウィンドウが閉じるまで、CD-ROMやフロッピーディスクなどインストール元のメディアを取り出さないでください。
- PrintAgentのインストールまたはアンインストール終了後、再起動を促すメッセージが表示されることがあります。画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。
- インストール時に指定したPrintAgentソフトウェアのフォルダー（ディレクトリー）名を変更するとアンインストールできません。インストール時のフォルダー（ディレクトリー）名に戻してからアンインストールしてください。
- プリンターのプロパティダイアログボックスを表示している時、および本プリンターが印刷中の時、PrintAgentをアンインストールすることができません。プリンターのプロパティダイアログボックスを閉じ、印刷が終了してからアンインストールしてください。
- Windows XPで、インストールしようとしているコンピューターに他のユーザーがログオンしている場合は、インストールはできません。各ユーザーに切り替えてすべてのユーザーをログオフしてからインストールしてください。
- Windows XPにPrintAgentをインストールまたはアンインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0にPrintAgentをインストールまたはアンインストールするには、[Administrators]または[DomainAdmins]グループのメンバーである必要があります。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でPrintAgentのインストールする場合、アクセス権により使用可能なユーザーが制限されているフォルダー（ディレクトリー）にインストールしないでください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で[プリンタの追加ウィザード]より、他のコンピューターに接続されたプリンターを指定してインストールしたプリンタードライバーをPrintAgentで使用している時に、さらに[プリンタの追加ウィザード]でローカル接続のプリンタードライバーをインストールする場合は、[現在のドライバを使う（推奨）]ではなく、[新しいドライバに置き換える]を選択してインストールしてください。
- Windows XP、Windows Server 2003の場合は[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]より起動したPrintAgentの追加と削除でPrintAgentのオプションを追加すると、セットアップに必要なファイルを要求する画面が表示される場合があります。この場合は、以前にインストールで使用したプリンターソフトウエアCD-ROMを挿入するか、もしくはプリンターソフトウエアCD-ROMよりインストールプログラムを実行しカスタムインストールでPrintAgentのオプションを追加してください。

共有プリンターの利用/提供について

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、共有プリンターの提供の設定は[コンピュータの管理者]およびAdministrators権限のある方が変更できます。
[共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- **ネットワークの回線速度が遅い**
  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でプリンタステータスウィンドウなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、[PrintAgentのプロパティ]で[共有プリンタを利用する]のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。
- **転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境**
  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合に、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。
  考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。
  - ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合

  これを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。
- **コンピューターの処理能力が十分でない**
  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

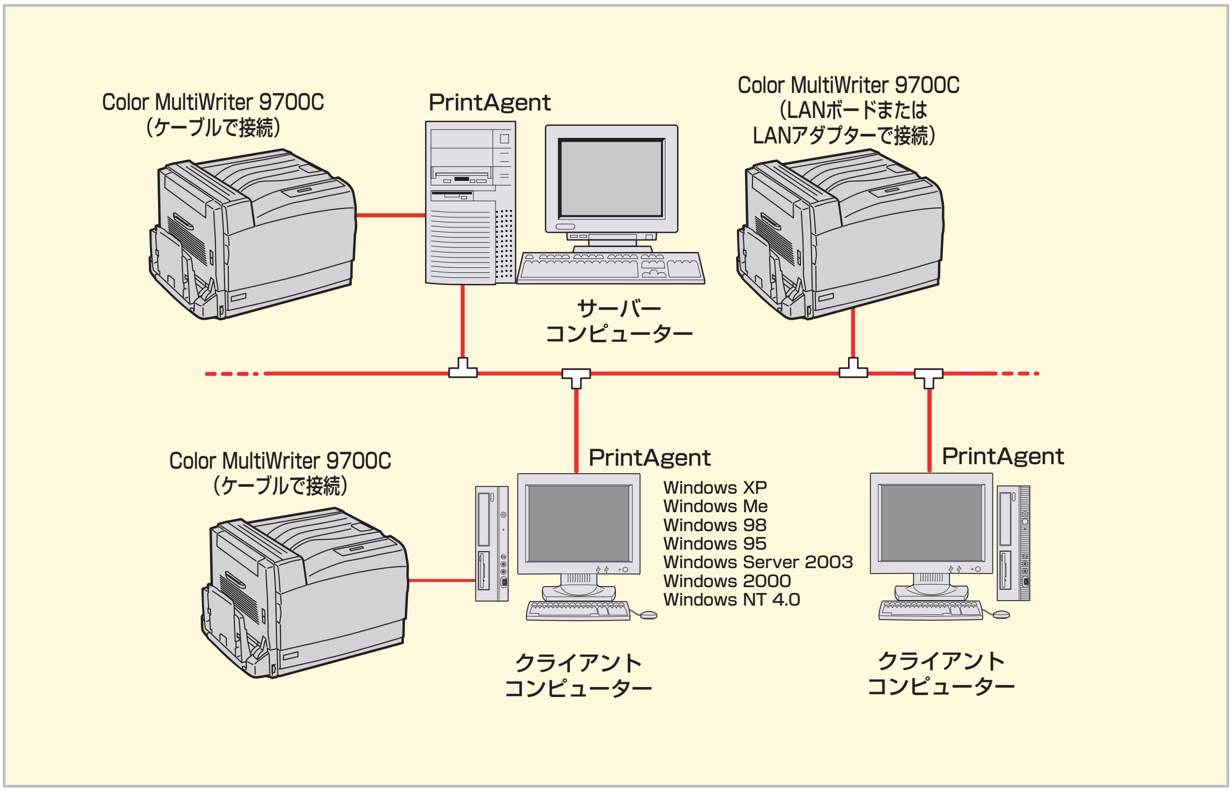
従量課金回線での課金を最小限（印刷時のみ）とするためには

- クライアントコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを利用する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを提供する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューターがWindows Meの場合は、プリンターの[プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]を選択してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows 98、Windows 95の場合は、プリンターの[プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートしない]を選択してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]-[双方向サポートを有効にする]のチェックを外してご利用ください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の環境でStandard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷する場合は、［SNMPステータスを有効にする］のチェックを外してください。

クライアント・サーバーシステムでお使いの場合

PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでお使いの場合、以下のことに注意してください

- PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウエアはサーバーコンピューター、クライアントコンピューター両者にインストールされている必要があります。



- 1台のサーバーコンピューターに接続されたクライアントコンピューターの中でPrintAgentを使用するクライアントコンピューターは30台以下を推奨します。サーバーの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなる、クライアントコンピューターでオフライン作業になる、またはネットワークプリンターの状態が不明になる場合があります。このような場合、印刷時以外は[PrintAgentのプロパティ]の設定の[共有プリンタを利用する]のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。
- プリントサーバーコンピューターには64Mバイト以上のメモリーを搭載し、運用することを推奨します。
(Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000日本語版をプリントサーバーコンピューターとしてご利用の場合には、256Mバイト以上を推奨します。)

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために、双方向通信でお使いになることをお勧めします。

- 双方向通信が可能なポートに接続してください。

OS	パラレルインターフェース接続	USB インターフェース接続	LAN 接続
Windows XP Windows Server 2003 Windows 2000	LPTx	USBxxx	NEC Network Port
Windows Me Windows 98 Windows 95	LPTx	USBxxx*	NEC TCP/IP Printing System
Windows NT 4.0	LPTx	- - -	NEC Network Port

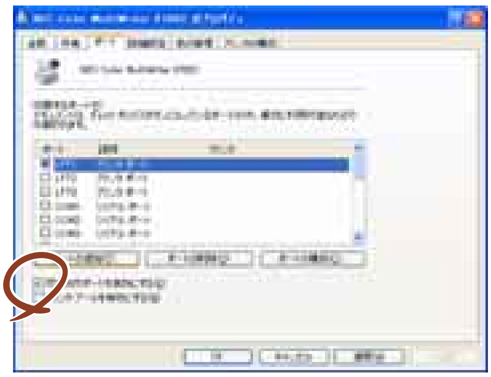
*　Windows 95日本語版には、対応していません。

チェック

- 上記の表以外のポートでご利用の場合には双方向通信を無効に設定してください。PrintAgentの機能はご利用になれません。
- マルチプロトコルLANアダプタ「PR-NPX-05」はPrintAgentに対応していません。

- 双方向通信を有効にしてください。

＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合＞
［プロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］をチェックする。

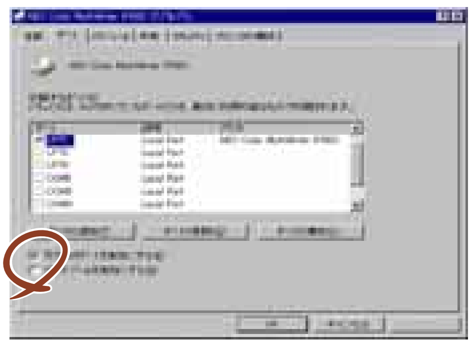


＜Windows Meの場合＞
［プロパティ］ダイアログボックスの［詳細］-［スプールの設定］-［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選択する。

＜Windows 98、Windows 95の場合＞
［プロパティ］ダイアログボックスの［詳細］-［スプールの設定］-［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選択する。



＜Windows NT 4.0の場合＞
［プロパティ］ダイアログボックスで［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］をチェックする。



その他の注意事項

PrintAgentを動作させる前に、以下のことに注意してください。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、プリンタープールはサポートしていません。サーバーコンピューター上ですべてのプリンターのプリンタープールを無効にする必要があります。サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]-[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。[プリンタプールを有効にする]をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。
- PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPです。また、LANボード、無線LANボードまたは、LANアダプターを装着したプリンターと接続する場合、サポートしているネットワークプロトコルもTCP/IPのみです。
- PrintAgentはWindows Server 2003,Enterprise Edition 日本語版、Windows Server 2003,Datacenter Edition 日本語版、Windows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Datacenter Server、Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム、あるいはWindows NT Server 4.0, Terminal Server Edition、Windows 2000のTerminal Service（Windows Server 2003リモートデスクトップによる接続を含む）を実装したシステムには対応していません。これらのシステムでは、PrintAgentが正常に動作しない場合がありますので、PrintAgentをインストールしないでご利用ください。またこれらのシステムでご使用の際には、双方向通信に対応していないプリンタードライバーをお使いください。双方向通信に対応していないプリンタードライバーは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの以下に収録しています。

  − Windows Server 2003、Windows 2000対応ドライバー：¥CMW9700C¥WIN2KTS

  − Windows NT 4.0対応ドライバー：¥CMW9700C¥NT40TSE

  プリンタードライバーのインストール方法については、1章の「ターミナルサービス用プリンタードライバーのインストール」（125ページ）を参照してください。また、OSの「プリンタの追加」機能で上記のフォルダーを指定することでプリンタードライバーのインストールを行うこともできます。

- PrintAgentをインストール時に指定するPrintAgentモジュールのフォルダー名（指定しなければ「PrintAgent」になります）はインストール終了後に変更しないでください。フォルダー名を変更するとアンインストールが正常に行えません。また、PrintAgentが正しく動作しません。
- プリンターソフトウエアをインストールする際に指定する出力ポート（インターフェースコネクター）に、プリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーを使用している場合、PrintAgentはご利用になれません。PrintAgentをインストールしないでご利用ください。また、PrintAgentを利用する場合は、出力ポート（インターフェースコネクター）からプリンターインターフェース変換アダプター、プリンターバッファー、プリンター切替器などを取り外してお使いください。
- ドメインに参加していないWindows XPをプリントサーバーとしてご使用の場合、プリンタステータスウィンドウやリプリントが正しく動作しない場合があります。
- コンピューターのOSがWindows Me、Windows 98、 Windows 95の場合でネットワークアダプターが他のインターフェースなどと同一の割り込み要求（IRQ）に設定されていると、Windows起動時にエラーが発生することがあります。このような場合は、使用していないインターフェースの割り込み要求（IRQ）を解放し、ネットワークアダプターで使用する割り込み要求（IRQ）と競合しないように設定を変更してください。割り込み要求（IRQ）の解放、変更についてはお使いのコンピューター、ネットワークアダプターの取扱説明書または各OSのヘルプ等を参照してください。

✔チェック

- 一部のコンピューターによっては、CPUの性能によりPrintAgentの動作が不安定または動作しないものがあります。
- PrintAgentはプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

PrintAgentの動作中は

コンピューターにPrintAgent対応プリンターが複数インストールされている場合、プリンタステータスウィンドウを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgent とプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティー（DMITOOLなど）を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。
- プリンターとお使いのコンピューターのプリンターポート（パラレルポート）の設定が異なる場合、PrintAgentの動作に不具合が生じることがあります。（例えば、コンピューターはECPモード、プリンターはニブルモードといった場合です。）双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照して、プリンターポート（パラレルポート）の設定を変更するか、プリンターの設定を変更してください。プリンターの設定を変更するには2章「メニューモード」（157ページ）を参照してください。

OSをアップグレードする場合

お使いのコンピューターのOSをアップグレードする場合、以下のことに注意してください。

- OSをアップグレードする前に、ユーザーズマニュアルの「プリンタードライバーの削除」、「PrintAgentの追加・削除」の手順に従ってプリンタードライバーおよびPrintAgentを削除してください。OSをアップグレードした後に、再度プリンターソフトウエアをインストールしてください。
- PrintAgent をご利用になっているコンピューターの OS を他の OS にアップグレードする際には、あらかじめPrintAgentをアンインストールする必要があります。OSアップグレード後、そのOS用のPrintAgentをインストールしてください。
  以下のOSのアップグレードを行う場合、アップグレード対象のOSに対応したプリンタソフトウエアをご使用のときは、PrintAgentはそのままご利用になれます。
  - Windows 98からWindows Me
  - Windows 95からWindows Me
  - Windows 95からWindows 98
  - Windows 2000からWindows XP
  - Windows 2000からWindows Server 2003*

* Web PrintAgentは、OSアップグレード時に停止されますので、インターネットインフォメーションサービス（IIS）のWebサイトを開始する必要があります。

チェック

すでにOSをWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードしてしまった場合、PrintAgentをアンインストールせずにWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000上で「PrintAgent Eraser」を使用してPrintAgentを削除してください。
「PrintAgent　Eraser」は、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「￥PAeraser￥Readme.txt」をご覧ください。

ネットワークで思うように印刷できないときは

ネットワーク接続上の疑問およびネットワークを介しての印刷がうまくできないときは、プリンターの故障を疑う前にこのページを参照してください。

症状	原因と対策
Windows XP、Windows Server 2003，Windows 2000、Winsows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95 をご使用の場合	
プリンターに印刷できない。 プリンターがネットワーク上のホストコンピューターから見えない。	**1.　コンフィグレーションページを印刷して以下の項目を確認してください。** **<u>標準装備のLANインターフェースをご使用の場合</u>** →　ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？ コンフィグレーションページ「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。 →　プリンターのリンクランプ（緑色）は点灯していますか？ →　プリンターおよびHUBのリンクランプは点灯していますか？ ネットワークケーブルが抜けていないか、ハブの電源がONになっているか確認してください。 →　ネットワーク通信速度は正しく設定されていますか？ 「10BASE/100BASE」の設定が、接続されているハブの通信速度と一致していることを確認してください。「？」と表示されるときはHUBの通信設定を固定にするかWWWブラウザーまたはPrintAgentプリンタ管理ユーティリティを用いてプリンターの通信速度･通信モードを固定してください。 →　IPアドレスとサブネットマスクが正しく設定されていますか？ IPアドレスとサブネットマスクを確認してください。ルータを越えた環境ではゲートウェイアドレスを設定してください。 →　ネットワーク設定が「自動」になっていますか？ 「10Base／100Base」、「Half／Full Duplex」の項目が「Auto(?)」と表示されているときは自動設定ができません。「？」と表示されるときはHUBの通信設定を固定にするかWWWブラウザーまたはPrintAgentプリンタ管理ユーティリティを用いてプリンターの通信速度・通信モードを固定してください。 **<u>無線LANボードをご使用の場合</u>** →　無線ネットワーク環境に合った無線設定がされていますか？ 「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。この時に、「No connection」の場合は、「Network Name」、「Access Point Name」、「Channel」、「Encryption」の結果を確認してください。無線ネットワーク環境に合った無線設定がされていないときは、ネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。 →　プリンターがセレクト状態で起動し、無線LANボードの電源ランプが点灯していますか？ 無線LANボードに添付の無線LANカード以外のPCカードが取り付けられている、無線LANカードの挿入が不十分、または無線LANボードの取り付け不十分が考えられます。1章の「ネットワークへの接続・設定」を参照して正しく取り付けてください。また、無線LANボード電源ランプと送受信ランプが10秒程度の間隔で点滅している場合は、無線LANボードとしては、正常に動作していますが、無線接続が確立していない状態です。ネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。 →　暗号キーやネットワーク名は間違っていませんか？ 暗号キーやネットワーク名が正しく設定されていないと、無線通信のセキュリティ機能により無線接続されません。この場合はネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。暗号キーを変更する場合は無線LANボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。 **2.　コンピューターからPingコマンドを実行し、コンピューターとプリンターが通信できるか、以下の手順に従って確認してください。** →　<Windows Me 日本語版の場合> ①［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［MS-DOSプロンプト］を選択する。 ② ping 123.123.123.123（「123.123.123.123」はプリンターのIPアドレス）。

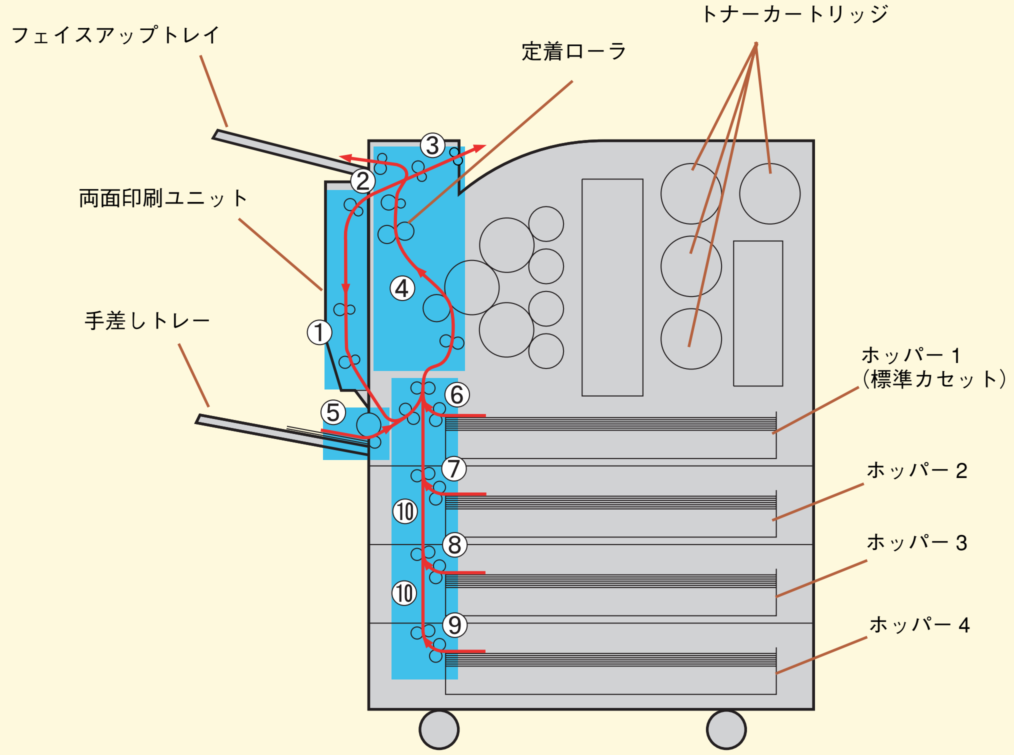
症　状	原因と処理方法
プリンターに印刷できない。プリンターがネットワーク上のホストコンピューターから見えない。（続き）	（例） C:¥WINDOWS> ping 123.123.123.123 ［return］ Pinging 123.123.123.123 with 32 bytes of data: Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Ping statistics for 123.123.123.123: Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss), Approximate round trip times in milli-seconds: Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms 応答がある場合は、コンピューター上のプリンターのプロパティを開いて［印刷先］を再度、確認してください。 また、プリンターの電源をOFFにして応答がないことを確認してください。 プリンターの電源を入れた状態で応答がない場合は、プリンター以外の機器（コンピューター）と通信できるか確認してください。また、コンピューターおよびプリンターのIPアドレスが適切かどうか確認してください。 IPアドレスは、コンピューターのIPアドレスが「192.168.0.1」のとき、プリンターのIPアドレスは「192.168.0.2」のようにネットワークの番号帯が一致している必要があります。プリンターのIPアドレスが「11.22.33.44」のように番号帯が異なる場合は、一致させるようにしてください。
コンフィグレーションページが印刷されない。	→ LANボード/LANアダプターは動作していますか？ LANボード/LANアダプターのステータスランプが点灯または点滅している場合は、再度プリンターの電源を入れ直してください。
印刷速度が遅い	→ 無線通信に影響を与えるものがプリンターの周辺にありませんか？ 無線LANボードは最大11Mbpsの無線通信速度に対応していますが、次のような周囲の環境によっては通信速度が低下する場合があります。 • 近くに電子レンジなど同じ周波数帯の電波を放射する機器がある。 • アクセスポイント等の通信相手との距離が離れていたり間に障害物がある。 • プリンターが壁やパーティションに囲まれている。 コンフィグレーションページを印刷し、「Link Quality」の結果が「Good」以外の場合は設置場所の変更をお勧めします。
丁合い印刷、多部数印刷ができない。	プリンターと双方向通信が有効でない。 → PrintAgentは、IPP印刷、LPR印刷に対応していません。プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にしてください。詳しくは、本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（396ページ）を参照してください。 → 丁合い印刷には、メモリー増設による電子ソート機能を利用することをお勧めします。詳しくは4章の「仕分け印刷」（289ページ）を参照してください。 → 丁合い印刷または部数印刷はアプリケーションの設定を行ってください。
SNMP Trapがホストコンピューターに送信されない。	→ ルーターを越えた環境にSNMPマネージャのコンピューターが存在する場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要になります。
SNMPに応答がない。	→ ホストコンピューターに設定されたコミュニティ名と同じコミュニティ名をLANボードに設定してください。
無線LANカードに添付のユーティリティーから無線LANボードの接続が確認できない。	→ ご使用の無線LANカードに添付のユーティリティーによっては、無線LANボードとの接続状態を表示できない場合があります。この場合は、ご使用のコンピューターからEASY設定ユーティリティを起動し、プリンタリストのウィンドウに接続先の無線LANプリンターが表示されることで接続状態を確認してください。

症　状	原因と処理方法
Windows Me、Windows 98、Windows 95 をご使用の場合	
プリンターに印刷はできるが、正しく印刷されない。印刷の途中で操作パネルに「データガノコッテイマス」と表示される。データの最後の部分が欠けて印刷される。	→ IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。 → WWWブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを指定して設定画面を開き、[印刷履歴]を設定し、不具合発生時にログにエラーが無いか確認してください。 → プリンターのプロパティを開いて、スプールの設定を「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」にしてください。 → パラレルインターフェース、USB　インターフェースから正しく印刷できるか確認してください。
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 をご使用の場合	
プリンターに印刷はできるが、正しく印刷されない。印刷の途中で操作パネルに「データガノコッテイマス」と表示される。データの最後の部分が欠けて印刷される。 白紙が印刷される。	→ IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。 → WWWブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを指定して設定画面を開き、[印刷履歴]を設定し、不具合発生時にログにエラーが無いか確認してください。また、「LPRバイトカウントを有効にする」設定を有効にしてください。 → プリンターのプロパティを開いて、スプールの設定を「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」にしてください。 → Standard TCP/IP Port の設定を確認してRAW（9100）になっている場合はLPRに変更してください。 → Standard TCP/IP Port のLPRを用いて印刷している方は、「LPRバイトカウントを有効にする」を有効にしてください。 → パラレルインターフェース、USBインターフェースから正しく印刷できるか確認してください。
Windows NT 4.0 をご使用の場合	
LPR印刷で、しばらくしてプリントマネージャーに「プリンタビジーまたはエラー」と表示される。	→ 他のジョブを印刷している場合に起こることがあります。プリンターが使用中であれば、しばらく待ってからデータを送り直してください。
LPRで印刷中に、ジョブがキャンセルされる。 「エラー」と表示した状態で停止する。	→ 印刷するページを少なくして、もう一度印刷してみてください。印刷できた場合は、Windows NTのSystemディレクトリーの空き容量が少ないことが考えられます。十分な空き容量を確保してください。
LPRで大量の印刷を行うと途中で印刷が止まる場合がある。	→ 12ジョブ以上の印刷で止まる場合はWindows NTシステムの設定による可能性があります。マイクロソフト社から提供されている「サポート技術情報」を参考に設定を確認してください。
UNIX をご使用の場合	
lprコマンドでデータを転送したが、文字が正しく印刷されない。	→ プリンター側のエミュレーションの設定が誤っている場合があります。エミュレーションの設定を確認してください。 → プリンターのコードに変換されていない場合があります。euc コードのフィルター設定を確認してください。フィルターの機能については、3章の「ネットワークへの 接続・設定」の「UNIX環境の設定」（129ページ）を参照してください。
putコマンドでデータを転送したが、最後のページが排出されない。	→ テキストファイルなどの転送の場合、FFコードが付いていないことがあります。プリンター側で自動排出を設定してください。

紙づまりのときは

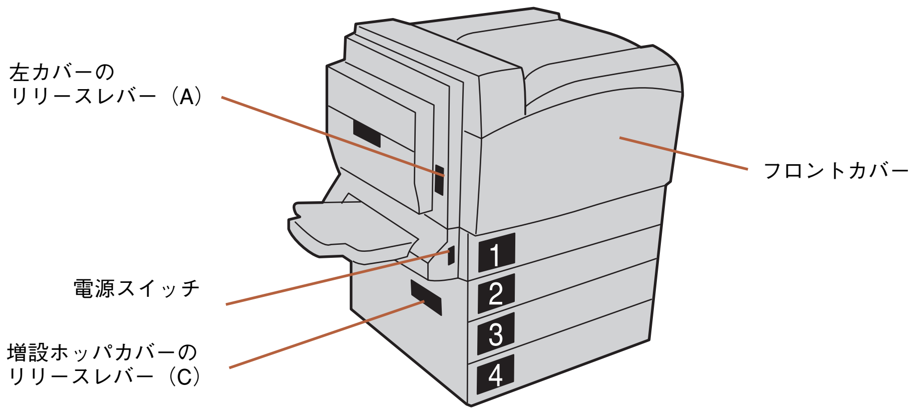
紙づまりが発生すると、操作パネルのアラームランプが点灯し、ディスプレイ上段に“74　カミヅマリ”が表示されます。ディスプレイ下段につまった箇所が表示されますので、それぞれつまった箇所に応じた手順で用紙を取り除いてください。

ディスプレイ表示	紙づまり発生箇所	処置方法
74　カミツ゛マリ リョウメン　シタ　　＊＊	①	「4　両面印刷ユニット部での紙づまり」（408ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ リョウメン　ウエ　　＊＊	②	「5　左カバーでの紙づまり」（409ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ ホンタイ　ハイシ　　＊＊	③	「5　左カバーでの紙づまり」（409ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ ホンタイ　キュウシ　　＊＊	④	「5　左カバーでの紙づまり」（409ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ トレー　キュウシ　　＊＊	⑤	「2　手差しトレーでの紙づまり」（405ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ ホッハ゜1　キュウシ　　＊＊	⑥	「1　用紙カセットでの紙づまり」（404ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ ホッハ゜2　キュウシ　　＊＊	⑦	「1　用紙カセットでの紙づまり」（404ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ ホッハ゜3　キュウシ　　＊＊	⑧	「1　用紙カセットでの紙づまり」（404ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ ホッハ゜4　キュウシ　　＊＊	⑨	「1　用紙カセットでの紙づまり」（404ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ ゾウセツホッパ　　＊＊	⑩	「3　増設ホッパカバーでの紙づまり」（406ページ）を参照。



紙づまり、ピックミスの発生箇所

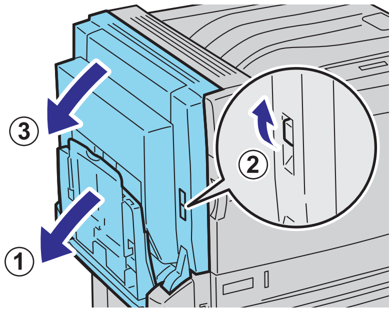
> **チェック**
>
> 連続印刷中に紙づまりが発生した場合は、操作パネルに表示されている場所以外にも紙が残っている場合があります。操作パネルに表示されている箇所の用紙を取り除きカバーを閉めると、自動的に用紙を排出するか、改めて残っている紙づまりの箇所を表示します。再度操作パネルの表示に従って用紙を取り除いてください。
> 何度も用紙を取り除くのが面倒な場合には①～⑩の紙づまりの処理を順番に行うと、用紙の取り忘れや紙づまりの再発がなく確実に処理が行えます。



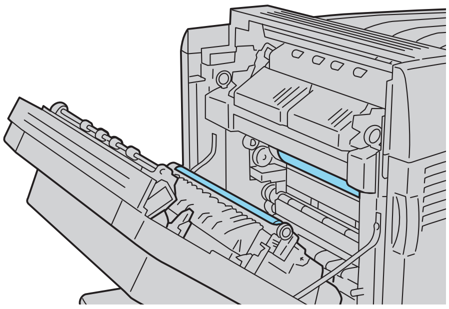
1　用紙カセットでの紙づまり

用紙カセット1～4で用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

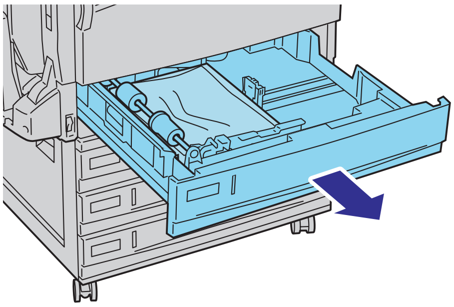
❶ **手差しトレーを下げる（①）。リリースレバー（A）を上げながら（②）、左カバーをゆっくりと開く（③）。**



❷ **つまっている用紙がないか確認し、なければ左カバーをしっかり閉じ、❸の手順に進む。つまっている場合には「5　左カバーでの紙づまり」（409ページ）に進む。**

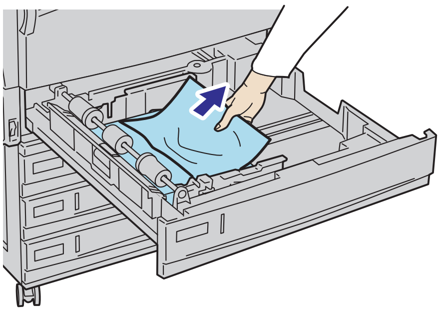


❸ **ディスプレイに表示されている、紙がつまっている用紙カセットを引き出す。**

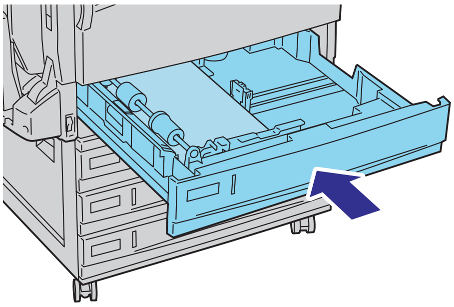


❹ **つまっている用紙を取り除く。**

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。



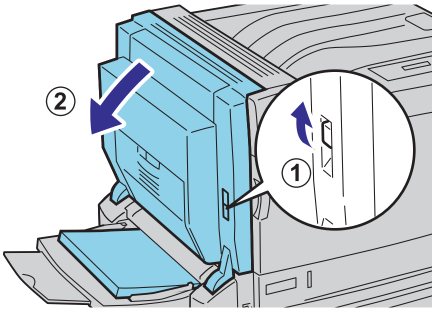
❺ **奥に突き当たるところまで、用紙カセットをゆっくりと押し込む。**



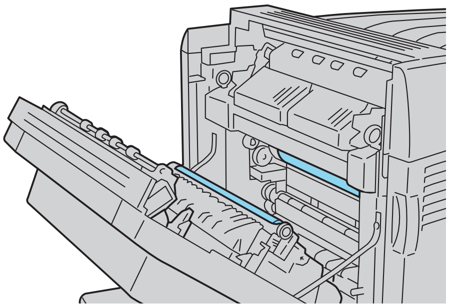
2　手差しトレーでの紙づまり

手差しトレーで用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

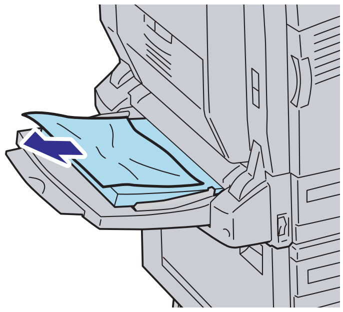
❶ **リリースレバー（A）を上げながら（①）、左カバーをゆっくりと開く（②）。**



❷ **つまっている用紙がないか確認し、なければ左カバーをしっかり閉じ、❸の手順に進む。つまっている場合には「5　左カバーでの紙づまり」（409ページ）に進む。**

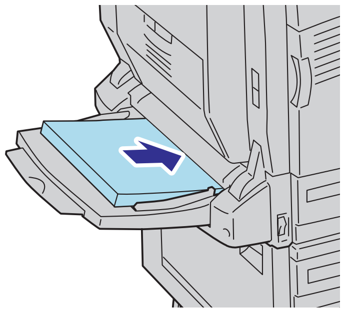


❸ **手差しトレーの奥（用紙の差し込み口付近）を点検し、つまった用紙がある場合には取り除く。**



> **チェック**
>
> 用紙を複数枚セットしていた場合は、いったんすべての用紙を取り出してください。

❹ **取り出した用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を下にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れる。**



3　増設ホッパカバーでの紙づまり

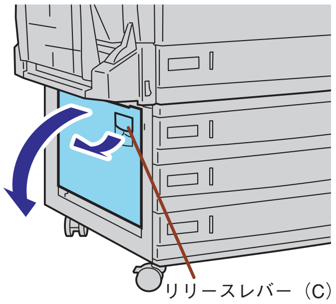
増設ホッパの左側の増設ホッパカバー内で用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

チェック

増設ホッパカバーでの紙づまりメッセージは、オプションの増設ホッパ（500×3）、または増設ホッパ（500）を装着している場合に表示されます。

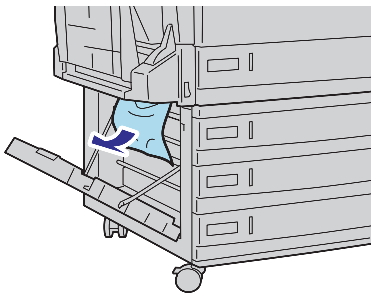
増設ホッパ（500×3）

❶ **リリースレバー（C）を引きながら、増設ホッパカバーをゆっくりと開く。**

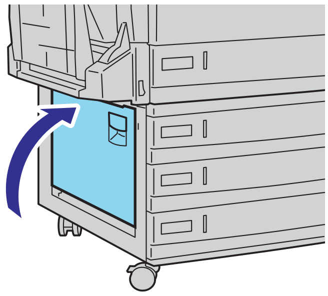


❷ **つまっている用紙を取り除く。**

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

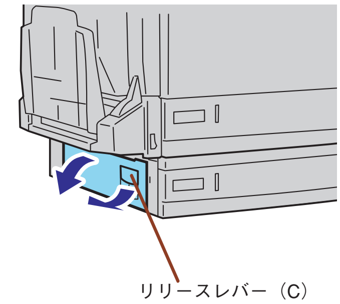


❸ **増設ホッパカバーをゆっくりと閉じる。**



増設ホッパ（500）

❶ **リリースレバー（C）を引きながら、増設ホッパカバーをゆっくりと開く。**

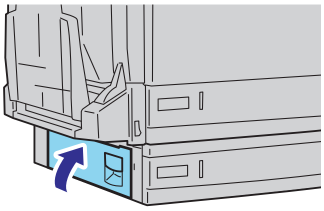


❷ **つまっている用紙を取り除く。**

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。



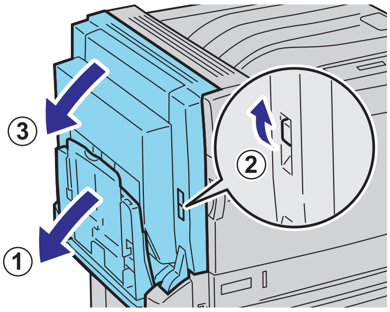
❸ **増設ホッパカバーをゆっくりと閉じる。**



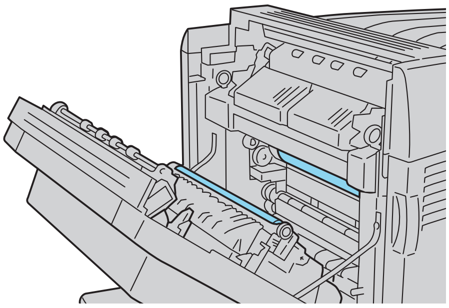
4　両面印刷ユニット部での紙づまり

両面印刷ユニットカバー内で用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

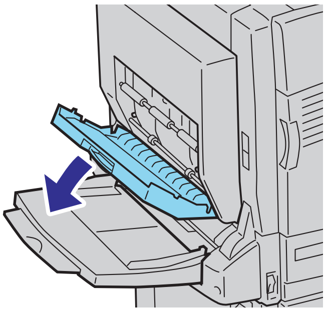
❶ 手差しトレーを下げる（①）。リリースレバー（A）を上げながら（②）、左カバーをゆっくりと開く（③）。



❷ つまっている用紙がないか確認し、なければ左カバーをしっかり閉じ、❸の手順に進む。つまっている場合には「5 左カバーでの紙づまり」に進む。

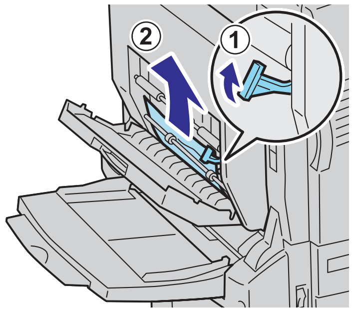


❸ 両面印刷ユニットカバーをゆっくりと開く。



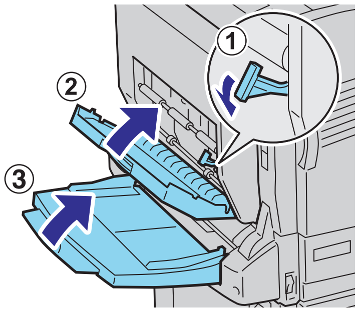
❹ 図のレバーを上げて（①）、つまった用紙を取り除く（②）。

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。



❺ レバーを戻し（①）、両面印刷ユニットカバーを閉じる（②）。

必要に応じて、手差しトレーを上げます（③）。

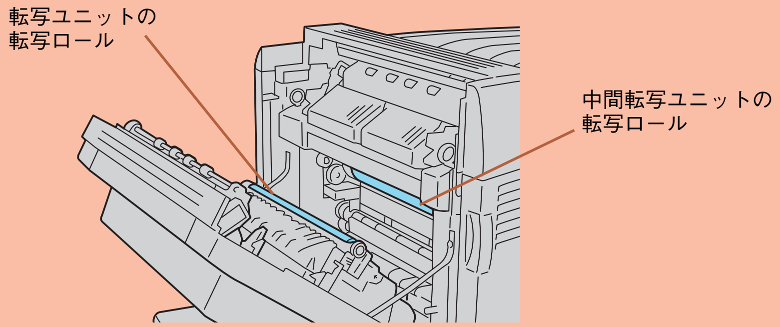


5　左カバーでの紙づまり

左カバー内で用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。
なお、長尺サイズ用紙の紙づまりの場合は、用紙やプリンターの損傷、およびけがを防ぐため、「長尺サイズの用紙の場合」（411ページ）の手順に従って用紙を取り除いてください。

重要

転写ユニットの転写ロール（黒いゴム状のローラー）および中間転写ユニットの転写ロールに画像が付いていることがあります。用紙を取り除くときは、これらの転写ロールに触れないでください。画質に影響を及ぼしたり、転写ロールが損傷して交換が必要になることがあります。

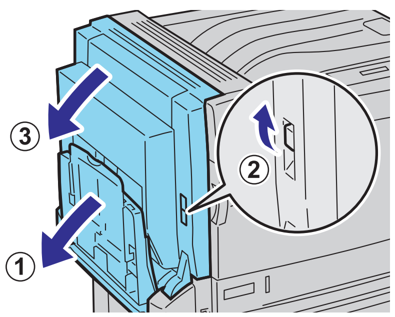


チェック

フェイスアップ排出ユニット（オプション）に出力された用紙がある場合は、取り除いてから作業してください。

定形サイズの用紙の場合

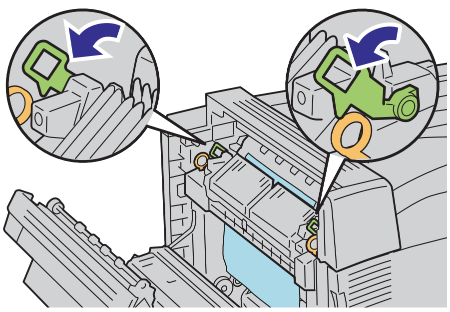
❶ **手差しトレーを下げる（①）。リリースレバー（A）を上げながら（②）、左カバーをゆっくりと開く（③）。**



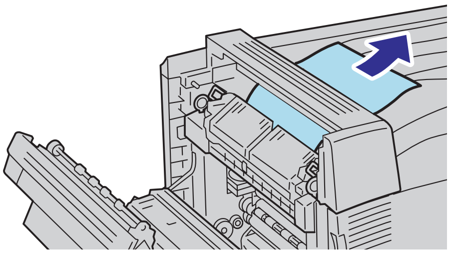
❷ **図の緑色のレバーを手前に倒す。**

チェック

緑色以外のレバーは、動かさないでください。



❸ **つまっている用紙の先端がスタッカーの方向に出ている場合は、排出方向にまっすぐに引いて用紙を取り除く。**



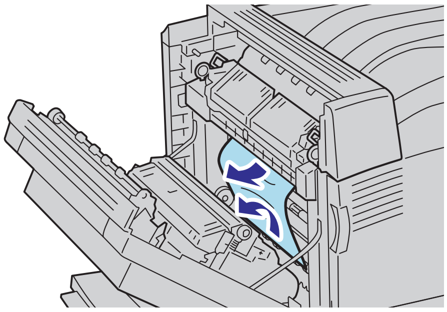
重要

つまっている用紙を取り除いたあとの印刷物が、数枚汚れることがあります。

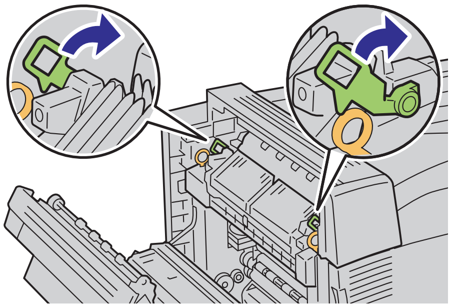
注意

「高温注意」を促すラベルが貼られている周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店、添付の「NECサービス網一覧」に記載の「サービス窓口」と記載されているサービス窓口へ連絡してください。

❹ **つまっている用紙を取り除く。**

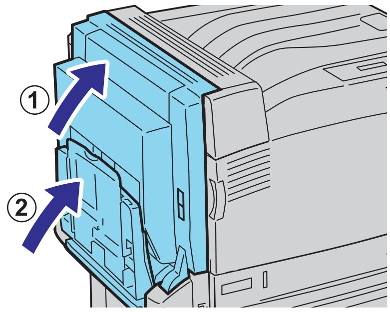


❺ **図の緑色のレバーを元の位置に戻す。**



❻ **左カバーの中央部を押してゆっくりと閉じる（①）。**

必要に応じて、手差しトレーを上げます（②）。

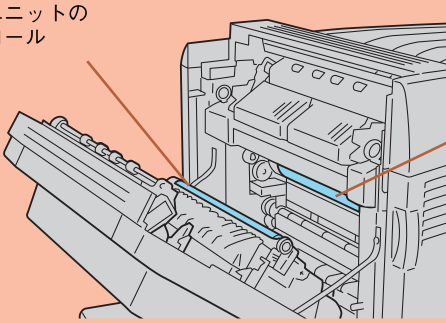


長尺サイズの用紙の場合

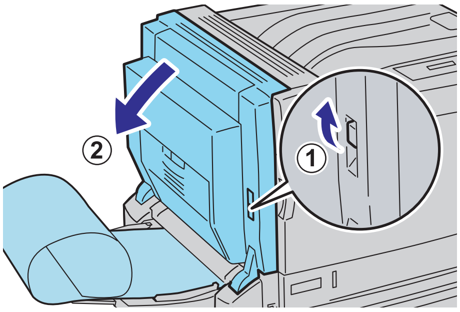
長尺サイズの用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

重要

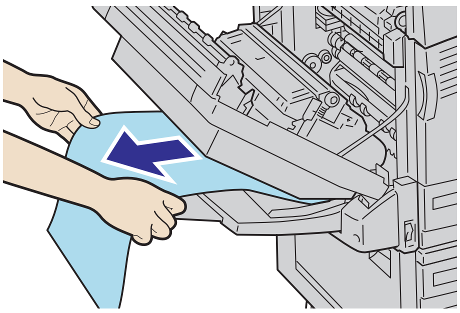
転写ユニットの転写ロール（黒いゴム状のローラー）、および中間転写ユニットの転写ロールに画像が付いていることがあります。用紙を取り除くときは、これらの転写ロールに触れないでください。画質に影響を及ぼしたり、転写ロールが損傷して交換が必要になることがあります。



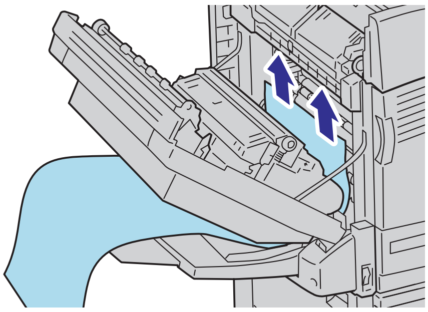
❶ リリースレバー（A）を上げながら（①）、左カバーをゆっくりと開く（②）。



❷ 左カバーを開けたときに、用紙の先端が見えない場合、または、用紙の先端をつかむことができない場合は、用紙を図のように矢印の方向へ引き抜く。手順❿へ進む。



❸ 用紙が定着部（定着ユニット）に送られていない場合は、矢印方向に、両手でまっすぐに引き抜く。手順⓫へ進む。

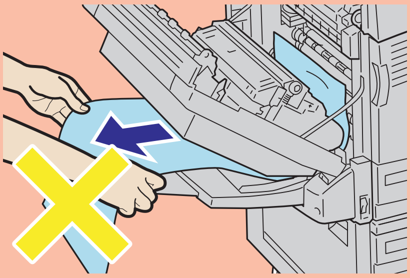


注意

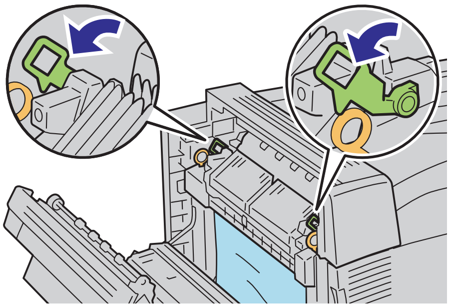
「高温注意」を促すラベルが貼られている周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、また添付の「NECサービス網一覧」に記載の「サービス窓口」と記載されているサービス窓口へ連絡してください。

重要

このとき、用紙を手差しトレー側から引き抜かないでください。定着していないトナーがローラーに付いて、次の用紙を汚してしまうことがあります。



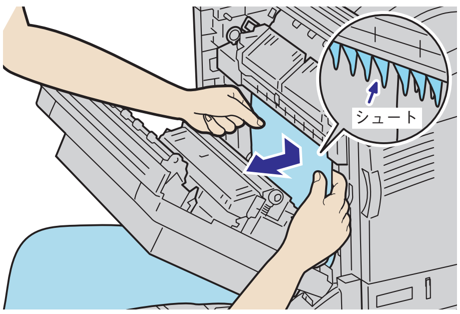
❹ 用紙の先端が定着部（定着ユニット）の中で止まっている場合は、図の緑色のレバーを解除する。



チェック

緑色以外のレバーは、動かさないでください。

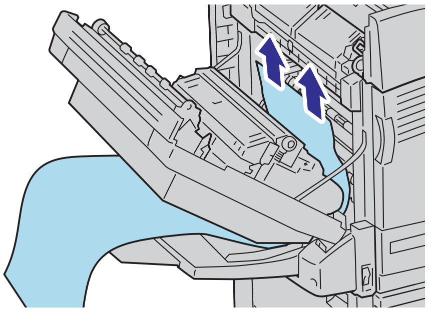
❺ 用紙を両手で持ち、矢印方向に引いて、用紙の先端を引き出す。



重要

用紙は、シュートに当たらないように引き出してください。

❻ 手順❺で引き出した用紙を、矢印方向に両手でまっすぐに引き抜く。手順❿へ進む。

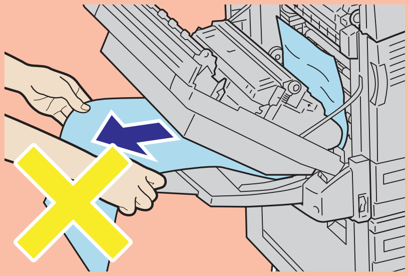


注意

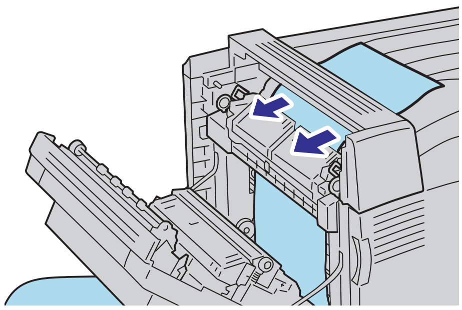
「高温注意」を促すラベルが貼られている周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、また添付の「NECサービス網一覧」に記載の「サービス窓口」と記載されているサービス窓口へ連絡してください。

重要

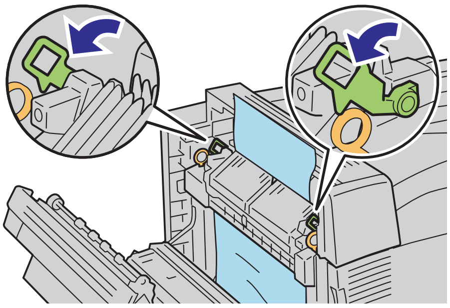
このとき、用紙を手差しトレー側から引き抜かないでください。定着していないトナーがローラーに付いて、次の用紙を汚してしまうことがあります。



❼ 用紙の先端がスタッカー側に出ている場合は、用紙の両端を両手で持ち、矢印方向にまっすぐに引いて、用紙の先端を引き出す。



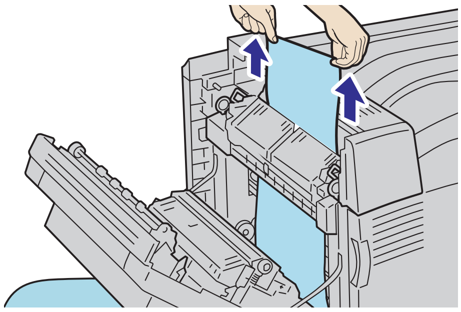
❽ **図の緑色のレバーを解除する。**



チェック

緑色以外のレバーは、動かさないでください。

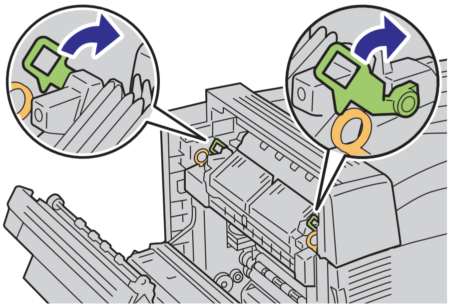
❾ **手順❼で引き出した用紙を両手で真上（矢印方向）に、まっすぐに引き抜く。**



チェック

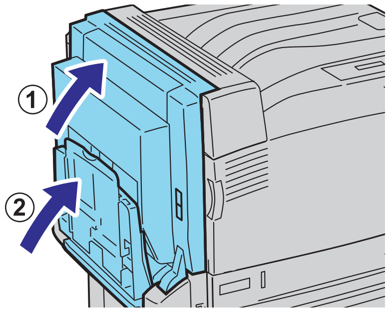
- 引き抜くときに、少し重たく感じられることがあります。
- 矢印方向にまっすぐに引き抜かないと、用紙が途中で切れ、本プリンターの中に残り、トラブルになるおそれがあります。

❿ **図のレバーを元の位置に戻す。**



⓫ **左カバーの中央部を押してゆっくりと閉じる（①）。**

必要に応じて、手差しトレーを上げます（❷）。



プリンター・消耗品を廃棄するときは

プリンターまたは消耗品を廃棄する場合は、以下の内容を参照してください。

- プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はトナーカートリッジ、ドラムカートリッジおよびトナー回収カートリッジを取り外してお出しください。
- トナーカートリッジ、ドラムカートリッジおよびトナー回収カートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用済みのトナーカートリッジ、ドラムカートリッジおよびトナー回収カートリッジは捨てずに、回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設まで、お持ち寄りください。なお、その際はカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。
- EPカートリッジ回収に関するWebページ
「ECOLOGY & TECHNOLOGY」
URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/recycle/ep_recycle.html

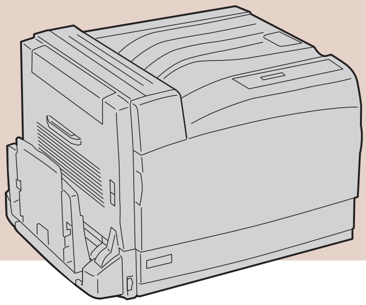
トナーカートリッジを継続して使用するときは

お客様の都合により、やむを得ず印刷を継続する場合、操作パネルの「ウンヨウメニュー」の「トナーセッテイ」で、「カスタムモード」*を選択すると継続して印刷可能な状態になります（2章の「5. トナー設定機能」（181ページ）参照）。

注意　カスタムモードは品証保障外のモードであり、所定の機能、性能が保たれないことがあります。そのまま使い続けるとプリンターが故障する原因になる場合がありますので、新しいカートリッジに交換してください。

* 既に「ショウモウヒンジュミョウ」のアラームが発生している場合には、操作パネルのメニューに入ることができませんので、「シフト」スイッチを押しながら「▲」スイッチを押して「カスタムモード」に入ってください。

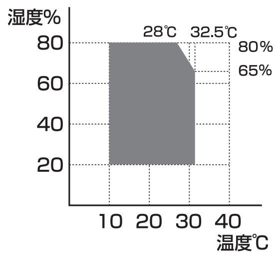
付録 技術情報



この章では、本プリンターの仕様、印刷範囲、文字コード、その他の技術情報について説明します。

仕　様

項目	内容
印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：レーザーダイオード＋ポリゴンスキャナー 現像方式：2成分乾式
印刷速度*	普通紙・再生紙・やや厚紙 カラー：　約24ページ/分 モノクロ：約24ページ/分 厚紙・ラベル紙・コート紙など カラー：　約12ページ/分 モノクロ：約12ページ/分 OHP カラー：　約6ページ/分 モノクロ：約6ページ/分 * 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。また、印刷品質を保つために数十枚毎にインターバルが入ることがあります。
ウォームアップの待ち時間	電源投入時：約30秒以内（室温22℃）
ファーストプリントタイム	カラー　：　約12.5秒（A4、フェイスダウン排出時） モノクロ：　約11秒（A4、フェイスダウン排出時）
給紙容量	用紙カセット　：　普通紙560枚ー坪量64g/m^{2}の普通紙の場合、または総厚54mm以下（用紙ニアエンド検出機能あり） 手差しトレー　：　• 180枚ー坪量64g/m^{2}の普通紙で、A4 以下のサイズの場合、または総厚18mm以下（A4サイズ以下） • 100枚ー坪量64g/m^{2}の普通紙で、A4 以下のサイズの場合、または総厚10mm以下（A4サイズ以上）
排出容量	フェイスアップ（オプション）：約150枚ー坪量64g/m^{2}の普通紙の場合（A4サイズ以下） 約50枚ー坪量64g/m^{2}の普通紙の場合（A4サイズ以上） フェイスダウン　：　約500枚ー坪量64g/m^{2}の普通紙の場合（スタッカーフル検出機能あり）
ドット間隔	0.0423×0.0423mm（1/600×1/600インチ） 0.0212×0.0212mm（1/1,200×1/1,200インチ）

項目	内容
CPU	QED RM5261A（300MHz）
メモリー	標準128MB、最大1,024MB（オプション増設時）
オプションRAMソケット	2ソケット（DIMM用） （内 1ソケットは128MB DIMM実装済）
インターフェース	• IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース • イーサネットインターフェース（10Base-T/100Base-TX） • USB 2.0準拠
言語	Windows専用言語および、NPDL Level 2（201PLエミュレーション含む）
環境	動作温度：　10～32.5℃ 動作湿度：　20～80%（RH）ただし結露しないこと 保管温度：　0～32.5℃ 保管湿度：　10～80%（RH）ただし結露しないこと 塵埃量　：　一般事務室程度 ガス成分：　一般事務室程度 気圧　　：　1013～665hPa（海抜0～3100m） 動作温湿度 
騒音 （音圧レベル、A補正）	動作時　：　51dB 待機時　：　24dB
電源	電圧　　：　AC100V±10% 周波数　：　50/60Hz±1Hz
消費電力*1	動作時　　　：　最大1100W、平均400W 節電モード時：　12W以下 （最大値は瞬間的なピーク値を除いた値です。同系列の電源に入力条件が厳しい機器を接続する場合にはサービス窓口にご相談ください。）
質量	約60kg（消耗品、用紙カセットを含む）
製品寿命	印刷枚数150万枚、または使用年数5年のいずれか早い方 （定期交換部品の交換が必要です。）
消耗品寿命	トナーカートリッジ（ブラック）：約7,500枚*2 トナーカートリッジ（イエロー、マゼンタ、シアン）：約6,000枚*2 大容量トナーカートリッジ（ブラック）：約15,000枚*2 大容量トナーカートリッジ（イエロー、マゼンタ、シアン）：約12,000枚*2 ドラムカートリッジ：約30,000枚*3 トナー回収カートリッジ：約24,000枚*2
内蔵フォント	アウトラインフォント　2種類（明朝体、ゴシック体）*4
対応OS	• Microsoft Windows XP 日本語版*5、*6 • Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版*5 • Microsoft Windows 98 日本語版*5 • Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版*5 • Microsoft Windows 95 日本語版 • Microsoft Windows Server 2003 日本語版*5、*7 • Microsoft Windows 2000 日本語版 • Microsoft Windows NT 4.0 日本語版 • 日本語MS-DOS　(ver 3.3以上)

*1　電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。

*2　A4用紙、画像面積比5%印刷時

*3　A4用紙で連続通常印刷の場合。用紙サイズ、使用条件によっては寿命が短かくなります。

*4　NPDLモード時に使用。

*5　USB インターフェース接続において、OSのアップグレードの組み合わせによっては、正常に動作しない場合があります。また、PC-9821シリーズのUSBインターフェースには対応していません。

*6　Windows XP 64-Bit Editionには対応していません。

*7　64ビットバージョンWindows Server 2003には対応していません。

用紙の規格

種類	サイズ　単位：mm		厚さ
普通紙	A4	210×297	坪量60～216g/m^2 両面印刷（オプション）の場合坪量60～105g/m^2
	A5	148×210	
	B4	257×364	
	B5	182×257	
	A3	297×420	
	レター	215.9×279.4	
	定形外用紙（ユーザー定義サイズ）	幅　90～304.8 長さ 98.4～1200	坪量60～216g/m^2
はがき	はがき	100×148	官製はがき
	往復はがき	148×200	
封筒	封筒（洋形4号）	105×235	―
ラベル紙	A4	210×297	0.1～0.2mm
	レター	215.9×279.4	
OHPシート	A4	210×297	0.1～0.11mm
	レター	215.9×279.4	
部分印刷用紙	―	―	坪量60～216g/m^2
カラー用紙	―	―	坪量60～216g/m^2

チェック

- NPDLモードでは、幅が297mmより広い用紙、および長さが420mmより長い用紙はサポートしません。
- 用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があったり、プリンタードライバーで設定する内容が異なります。詳しくはユーザーズマニュアルの3章をご覧ください。

印刷範囲

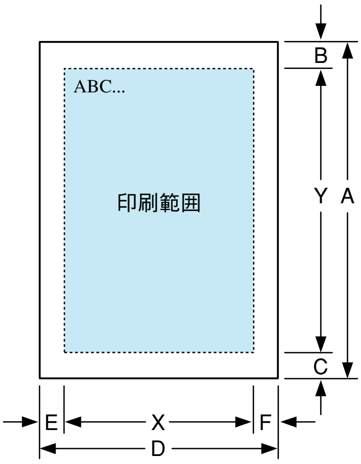
定形用紙

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。

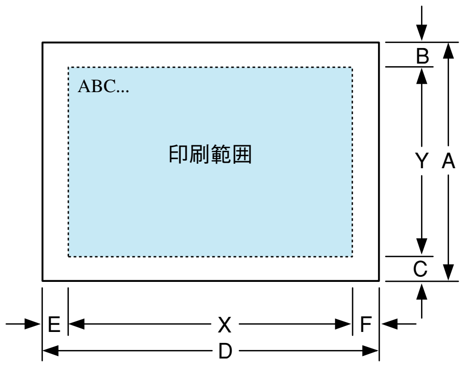
チェック

添付のプリンタードライバーを使用した場合、プリンタードライバーの機能により余白量をすべて約5mmに設定できます。

- ポートレート



- ランドスケープ



印刷範囲

本印刷範囲はMS-DOS環境などでお使いになる場合のNPDLの印刷範囲です。Windowsドライバーから印刷を行う場合は、Windowsドライバーの印刷範囲に従い、余白5mmで印刷を行います。

- ポートレート

データ	用紙	A（用紙長）	B（上余白）	C（下余白）	Y（印刷範囲）		D（用紙幅）	E（左余白）	F（右余白）	X（印刷範囲）		
		mm	mm	mm	ドット*1	行*2	mm	mm	mm	ドット*1	文字*3	文字*4
A3	A3	420	5.00	6.06	3864	96	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B4	364	17.28	5.94	3864	96	257	10.12	7.70	2712	113	75
	A4	297	19.39	4.98	3864	96	210	14.77	3.88	2712	113	75
B4	A3	420	10.29	6.17	3336	83	297	13.47	7.73	2280	95	63
	B4	364	5.00	5.94	3336	83	257	8.00	7.70	2280	95	63
	A4(2/3)	297	30.82	30.80	3336	83	210	26.84	22.30	2280	95	63
	A4(4/5)	297	9.55	4.98	3336	83	210	10.75	6.21	2280	95	63
	B5	257	10.50	11.12	3336	83	182	12.66	8.48	2280	95	63
A4	A3	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	12.49	1872	78	52
	A3(80)	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	5.40	1920	78	53
	B4	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	11.09	1872	78	52
	B4(80)	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	5.05	1920	80	53
	A4	297	5.00	4.98	2712	67	210	8.00	3.88	1872	78	52
	B5	257	8.60	9.22	2712	67	182	10.54	6.36	1872	78	52
	B5(80)	257	8.60	9.22	2712	67	182	8.85	3.82	1920	80	53
A4(80)	A4(80)	297	5.00	4.98	2712	67	210	3.40	3.40	1920	80	53
A4×2	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.42	4.23	2712	-	-
	A4(80)	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.42	4.23	2712	-	-
B5	B4	364	11.35	7.63	2328	58	257	13.29	5.37	1608	67	44
	A4	297	9.23	6.14	2328	58	210	10.12	5.36	1608	67	44
	A5	257	5.00	5.62	2328	58	182	8.00	3.42	1608	67	44
B5×2	B5	257	19.39	5.62	3288	-	182	13.93	3.82	2328	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	1896	47	148	7.88	4.23	1284	53	35
帳票	B4	364	35.90	51.66	3264	81	257	25.78	7.70	2640	110	73
	A4	297	30.82	35.88	3264	81	210	19.85	3.88	2640	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	1320	33	100	8.00	5.64	816	34	22
レター	レター	279.4	5.00	5.00	2544	63	215.9	8.00	4.80	1920	80	53
往復ハガキ	往復ハガキ	148	5.00	5.00	1303	32	200	5.00	5.00	1796	74	49
封筒	封筒	235	5.00	5.00	2126	53	105	5.00	5.00	898	37	24

*1 解像度240dpiの場合。
*2 改行ピッチが6lpiの場合。
*3 文字ピッチが10cpiの場合（7.2ポイントのフォント使用時）。
*4 10.8ポイントのフォント使用時。

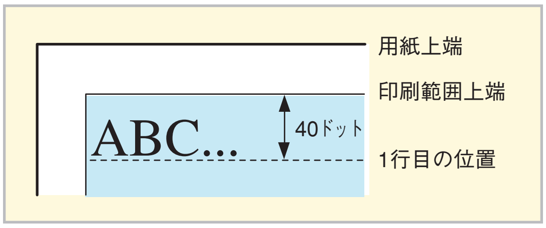
- ランドスケープ

データ	用紙	A（用紙長）	B（上余白）	C（下余白）	Y（印刷範囲）		D（用紙幅）	E（左余白）	F（右余白）	X（印刷範囲）		
		mm	mm	mm	ドット*1	行*2	mm	mm	mm	ドット*1	文字*3	文字*4
A3	A3	297	4.98	5.00	2712	67	420	5.00	6.06	3864	161	107
	B4	257	9.82	8.00	2712	67	364	9.66	13.56	3864	161	107
	A4	210	10.65	8.00	2712	67	297	19.39	4.98	3864	161	107
B4	A3	297	16.20	5.00	2280	57	420	10.29	14.84	3264	136	90
	B4	257	7.70	8.00	2280	57	364	5.00	13.56	3264	136	90
	A4(2/3)	210	26.74	22.39	2280	57	297	30.82	35.88	3264	136	90
	A4(4/5)	210	8.75	8.21	2280	57	297	9.55	11.01	3264	136	90
	B5	182	8.48	12.66	2280	57	257	13.04	13.66	3264	136	90
A4	A3	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	A3(80)	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	B4	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	B4(80)	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	A4	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B5	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
	B5(80)	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
A4(80)	A4(80)	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
A4×2	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	18.55	8.37	3828	-	-
	A4(80)	210	10.65	8.00	2712	-	297	15.16	4.98	3924	-	-
B5	B4	257	10.66	8.00	1608	40	364	11.35	7.63	2328	97	64
	A4	210	7.48	8.00	1608	40	297	9.23	6.14	2328	97	64
	B5	182	3.82	8.00	1608	40	257	5.00	5.62	2328	97	64
B5×2	B5	182	9.75	8.00	2328	-	257	12.20	12.82	3288	-	-
A5	A5	148	4.23	7.88	1284	32	210	5.00	4.34	1896	79	52
帳票	B4	257	25.48	8.00	2640	66	364	35.90	51.66	3264	136	90
	A4	210	15.73	8.00	2640	66	297	30.82	35.88	3264	136	90
ハガキ	ハガキ	100	5.64	8.00	816	20	148	5.00	5.84	1296	54	36
レター	レター	215.9	4.80	8.00	1920	48	279.4	5.00	5.76	2544	106	70
往復ハガキ	往復ハガキ	200	5.00	5.00	1796	21	148	5.00	5.00	1303	54	36
封筒	封筒	105	5.00	5.00	898	22	235	5.00	5.00	2126	88	59

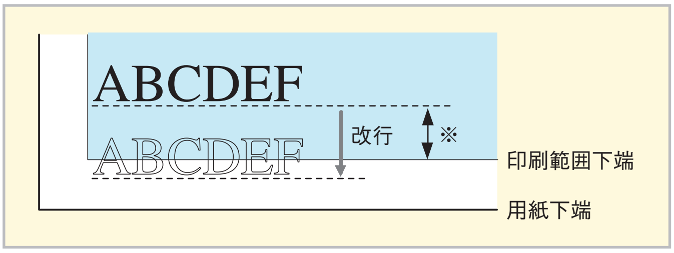
*1　解像度240dpiの場合。
*2　改行ピッチが6lpiの場合。
*3　文字ピッチが10cpiの場合（7.2ポイントのフォント使用時）。
*4　10.8ポイントのフォント使用時。

補足説明

- 余白量（印刷不可領域）は、使用する用紙の寸法差、プリンター個々の用紙走行の精度などの条件により前後する場合があります。
- 印刷範囲（印刷可能ドット数）は、すべて9.45ドット/mm（240dpi）の解像度で規定されています。23.6ドット/mm（600dpi）での印刷可能ドット数は9.45ドット/mmのドット数を5/2倍にした値での印刷可能ドット数は9.45ドット/mmのドット数を5倍にした値になります。
- 行桁モードでは、1行目の位置は9.45ドット/mm（240dpi）相当で印刷範囲の上から40ドット目（約4.2mm）となります。したがって、40ドットより小さい文字を印刷した場合、上端の余白は上記値よりも大きくなります。
  - 1行目の第一印刷位置に文字を印刷したときは、全点アドレス印刷モードで座標値として(0, 39)（9.45ドット/mm）を指定したのと同じ位置に印刷されます。
  - 文字が小さい場合などでは見かけ上の余白が大きくなります。



- 行桁モードでは、ページの下端付近での改行の結果、次の印刷位置が上記印刷範囲をはみ出してしまう場合には改ページされます。このため改行ピッチの設定によっては印刷範囲下端付近には印刷できない場合があり、その場合の下端余白は上記値よりも大きくなります。
- 最終行が下にはみ出してしまうので、実際には改ページ後に印刷されます。その結果、※の部分には印刷できなくなるので見かけ上の余白が大きくなります。



- 印刷可能桁数、行数は、上記印刷範囲のドット数を文字ピッチあるいは行ピッチで割ることによって算出したものです。計算に用いる値は右のとおりです。

<table>
<tr><th colspan="3">種　別</th><th>ドット数</th></tr>
<tr><td rowspan="6">文字数</td><td rowspan="3">1バイト系</td><td>パイカ</td><td>24ドット</td></tr>
<tr><td>エリート</td><td>20ドット</td></tr>
<tr><td>コンデンス</td><td>14ドット</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2バイト系</td><td>7ポイント(1/10インチ)</td><td>24ドット</td></tr>
<tr><td>10.5ポイント(3/20インチ)</td><td>36ドット</td></tr>
<tr><td>12ポイント(1/6インチ)</td><td>40ドット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">行数</td><td colspan="2">6LPI(1/6インチ)</td><td>40ドット</td></tr>
<tr><td colspan="2">8LPI(1/8インチ)</td><td>30ドット</td></tr>
</table>

  - 値はすべて9.45ドット/mm（240dpi）でのドット数です。文字数、行数とも、計算はすべて9.45ドット/mmで行います。
  - 2バイト系文字については、カッコ内に示した文字ピッチを使用している場合のドット数を示しています。文字ピッチを変えることにより、印刷可能桁数も変わります。
  - 1バイト系、2バイト系文字とも、文字間にスペースを挿入することが可能ですが、この場合も印刷可能桁数は減少します。

定形外用紙

定形外用紙とは、本プリンターでサポートしている定形用紙（A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき、往復はがき、封筒）以外の大きさの用紙のことです。この場合の印刷範囲と印刷位置は、使用する用紙の大きさ、プリンター設定に応じてアプリケーションから正しく制御する必要があります。

チェック

定形外用紙をセットするときの注意

アプリケーションソフトウエアで任意の用紙サイズを指定できても定形外用紙への印刷が行えないことがあります。

また、対応可能な用紙の厚み（坪量）は、定形用紙に比べて扱える範囲が狭くなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することを強くお勧めいたします。

- 形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、裁断角度が直角でない用紙は使用しないでください。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目等により正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- スタックが完全にされない場合があります。この場合はその都度用紙を取り除いてください。
- メニューモードの「ヨウシメニュー」で「テイケイガイヨウシ」を「ON」にする必要があります。

余白について

印刷品質を保つため、実際に使用する用紙に対して上下左右とも5mm以上の余白ができるように、印刷位置と印刷範囲を設定してください。

重要

印刷結果が実際に使用する用紙をはみ出すことのないように注意してください。はみ出した印刷を続けると、思わぬ障害の原因となります。

印刷位置について

次に様々なケースでの印刷位置、印刷範囲の考え方を説明します。これらの説明は主に行桁モードによる制御を前提にしていますが、それ以外の方法でも同様の考え方による制御を行ってください。

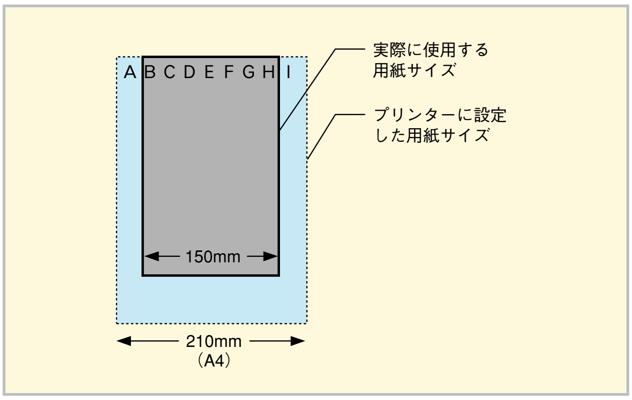
- ポートレートの桁方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左右の端の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

このような場合には、各行の先頭に適当な量のスペースを取ることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要なスペース量は次のように算出してください。

$$必要なスペース＝\frac{A-B}{2}$$

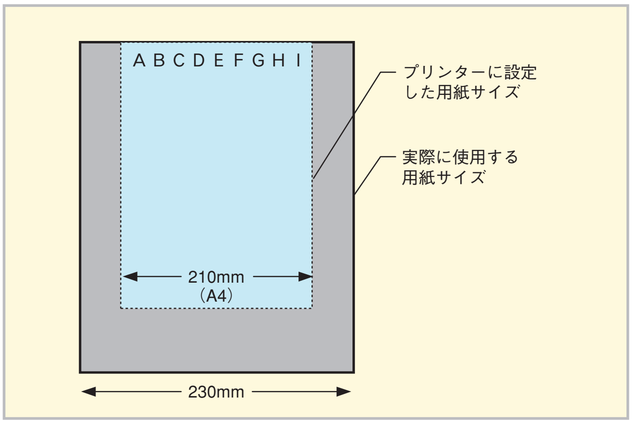
A: プリンターに設定されている用紙の幅
B: 実際に使用する用紙の幅



- ポートレートの桁方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに幅が230mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左右には印刷できない部分が発生します。

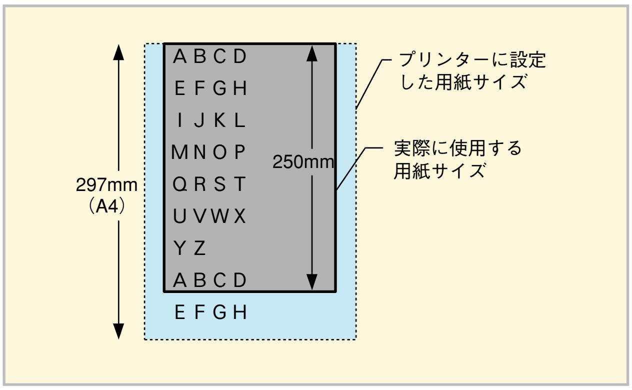
このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左右の部分にも印刷したい場合には、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



- ポートレートの行方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに長さが250mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙の長さを超えるような改行命令については自動的に改ページをしますが、使用する用紙が短いために下端付近のデータは用紙をはみ出してしまいます。

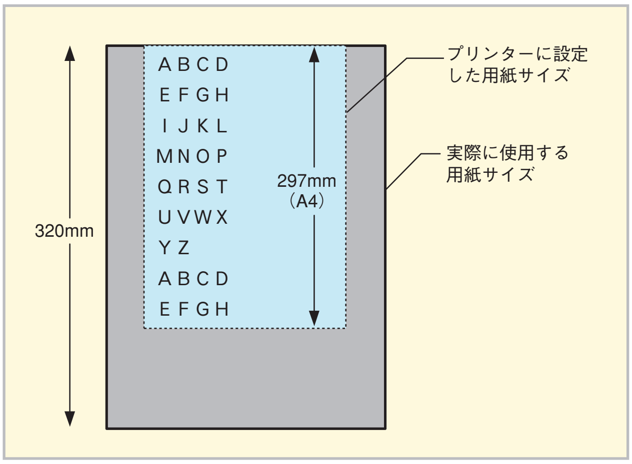
このような場合には、1ページ当たりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。



- ポートレートの行方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが320mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙を超えるようなデータは印刷しません。その結果、用紙の下端には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の下端部分にも印刷したい場合は、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

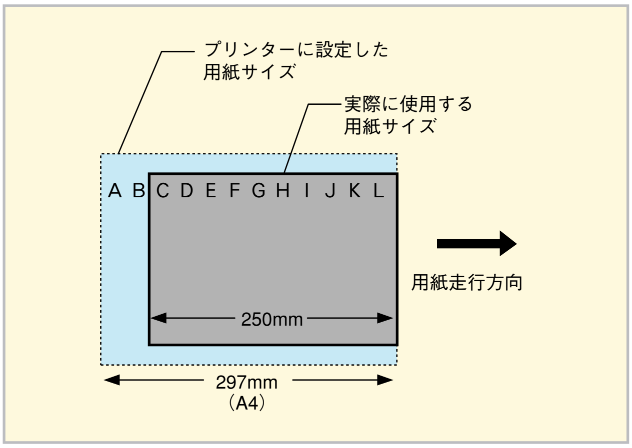


- ランドスケープの桁方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが250mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左端（行の先頭）の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

この場合には、各行の先頭に適当な量のスペースをとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要なスペース量は次のように算出してください。

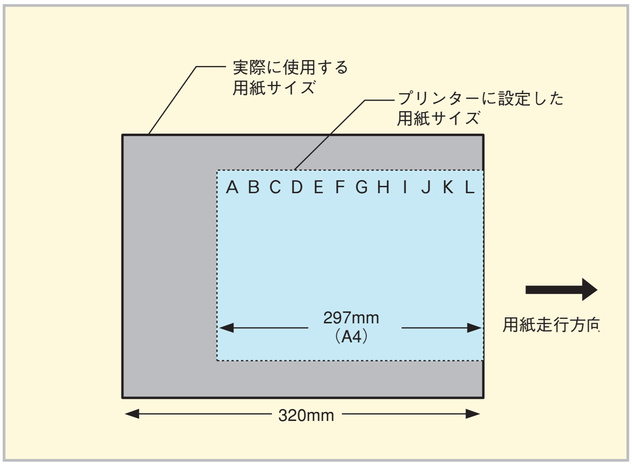
必要なスペース＝A－B
A：プリンターに設定されている用紙の幅
B：実際に使用する用紙の幅



- ランドスケープの桁方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

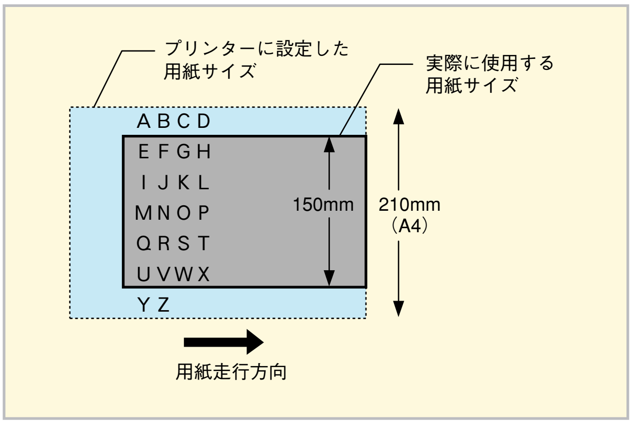
例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが320mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左端には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左端の部分にも印刷したい場合は、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



• ランドスケープの行方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合､プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、ページの上下の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。



この場合には各ページの先頭に適当な量の余白（改行）をとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要な余白の量は次のように算出してください。

$$必要なスペース= \frac{C\text{-}D}{2}$$

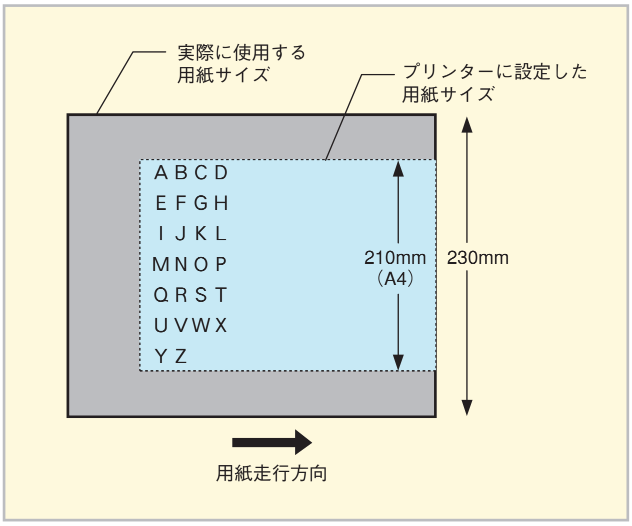
C: プリンターに設定されている用紙の幅
D: 実際に使用する用紙の幅

また、1ページ当たりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。

• ランドスケープの行方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が230mmの用紙に印刷する場合､プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の上下には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし､用紙上下の部分にも印刷したい場合には、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



チェック

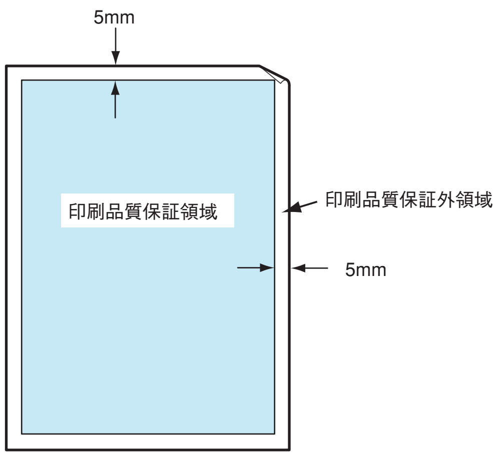
80桁モードについて

本プリンターの印刷可能桁数は78桁（A4用紙、パイカモード時）です。したがって、80桁のシリアルプリンターでバッファーフル印刷を利用して改行を行うソフトウエアを本プリンターで使用した場合、印刷位置が異なることになります。

このため、本プリンターではバッファーフルまでの印刷桁数を印刷範囲に広げることで、80桁にすることができます（A4ポートレートの場合のみ可能です）。設定はメニューモードの「A4ポートレートケタスウ」メニューで行います。

印刷品質保証領域

印刷品質保証領域については、以下の図を参照してください。



文字の種類

内蔵文字の種類

表中の「○」は、各書体においてその文字の種類が内蔵されていることを示します。

1バイト系文字

文字の種類	標準／クーリエ／ゴシック／イタリック
英数字・記号　96種（スペース、0を含む）	○
カタカナ・記号　63種	○
ひらがな　55種	○
CGグラフィック　56種	○
各国文字　15種	○

2バイト系文字

JIS C6226-1978 準拠

文字の種類	明朝体アウトライン	ゴシック体アウトライン
記号　96種（スペースを含む）	○	○
英数字　62種	○	○
ひらがな　83種	○	○
カタカナ　86種	○	○
ギリシャ文字　48種	○	○
ロシア文字　66種	○	○
半角文字　212種（スペースを含む）	○	○
JIS第一水準漢字　2965種	○	○
JIS第二水準漢字　3384種	○	○

*　JIS X0208-1983, JIS-X0208-1990への切り替え可能

文字間隔

文字種	文字サイズ	文字間隔（インチ）
1バイト系文字	パイカ	1/10
	エリート	1/12
	コンデンス	約1/17
	プロポーショナル	約1/27〜1/10
2バイト系文字	7ポイント*1	1/10
	10.5ポイント*2	約1/6.66
	12ポイント	1/6

*1　正確には7.2ポイントです。
*2　正確には10.8ポイントです。

文字構成

1バイト系文字

文字種				ドット構成*1 （ボディフェース） ＜縦 × 横＞（ドット）	文字寸法 （ボディフェース） ＜縦 × 横＞（mm）
1バイト系文字	標　準	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	56×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×A*2	3.39×B*2
		CGグラフィック	パイカ	54×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×40	3.39×2.54
	スクリプト	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×A*2	1.69×B*2
		CGグラフィック	パイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×40	1.69×2.54

*1　論理解像度400dpi時のサイズです。
*2　A:15〜37ドット（400dpi）、23〜55ドット（600dpi）

2バイト系文字、グラフィック

文字種			ドット構成* （ボディフェース） ＜縦 × 横＞（ドット）	文字寸法 （ボディフェース） ＜縦 × 横＞（mm）
2バイト系文字	7ポイント	全角	40×40	2.54×2.54
		半角	40×20	2.54×1.27
	10.5ポイント	全角	60×60	3.81×3.81
		半角	60×30	3.81×1.91
	12ポイント	全角	67×67	4.23×4.23
		半角	67×34	4.23×2.12
ドット列印刷	40ドット		67×n	4.23×m

*　論理解像度400dpi時のサイズです。

文字コード表

本プリンターは、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。
1バイト系コードは、メモリースイッチ1-1～1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。
2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。

1バイト系コード表

カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR			注 15
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US	注 15
20	SP	!	”	注1	注2	%	&	’	(	)	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	注 17
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_	
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12		
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼	注 13・注 16
90	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯	注 13・注 16
A0		｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	注 14・注 16
B0	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	注 14・注 16
C0	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ	注 14・注 16
D0	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	注 14・注 16
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲	注 13・注 16
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒									注 13・注 16

ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR			注 15
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US	注 15
20	SP	!	”	注1	注2	%	&	’	(	)	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	注 17
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_	
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12		
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼	注 13・注 16
90	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯	注 13・注 16
A0		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ	注 14・注 16
B0	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ	注 14・注 16
C0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま	注 14・注 16
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜	注 14・注 16
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲	注 13・注 16
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒									注 13・注 16

国別相違点

注　No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü

注1～12　各国特殊文字が入ります（メモリースイッチ1-1～1-3で切り替えます。）
注13　8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。
注14　A～D行はひらがなモード（ESC＆で指定）の場合はひらがな文字、カタカナモード（ESC $で指定）の場合はカタカナ文字になります。
注15　0、1行は制御コードです。
注16　0、1行の空欄は無視されます。2～F行の空欄はスペース（SP）として処理されます。
注17　3行、0列の「0」の印刷字体はメモリースイッチ2-1により「Ø」に変更できます。

2バイト系コード表

半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、“J”のコードは0040＋A＝004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分のスペース（SP）です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾	
0080		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0		｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ
00B0	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ
00C0	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ
00D0	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ﾞ	ﾟ
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

全角文字

- このコード表は、JIS 1978年版に準拠しています。（本プリンターでは、制御コードによってコード表をJIS 1983年版およびJIS 1990年版に切り替えることもできます。）ただし、デザイン処理などの都合により、一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、“亜”のコードは3020＋1＝3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース（SP）です。

漢字コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2120			、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨
2130	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
2140	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
2150	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
2160	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
2170	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
2220		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	
2230																
2240																
2250																
2260																
2270																
2320																
2330	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
2340		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
2350	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
2360		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
2370	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ					
2420		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
2430	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
2440	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
2450	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
2460	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
2470	ゐ	ゑ	を	ん												
2520		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
2530	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
2540	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
2550	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
2560	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
2570	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
2620		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
2630	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
2640		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2660																
2670																
2720		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
2740	Ю	Я														
2750		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
2770	ю	я														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3020		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
3030	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
3040	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲
3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3060	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
3070	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
3120		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑
3130	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
3140	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
3150	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
3170	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
3220		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億
3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
3240	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
3270	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
3320		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
3340	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫
3350	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
3360	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
3370	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
3420		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦
3430	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
3440	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
3450	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
3460	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
3520		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
3530	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
3570	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
3620		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強
3630	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
3640	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
3660	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
3720		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君
3730	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3740	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
3750	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
3760	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
3770	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3820		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣
3830	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
3840	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
3860	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3920		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麴	克	刻
3970	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
3A20		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
3A30	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3A40	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
3A50	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3A60	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
3A70	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
3B20		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒
3B30	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3B40	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3B60	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
3B70	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
3C20		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
3C30	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3C40	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蘂	縞	舎	写	射	捨	赦
3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3C60	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3D20		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐
3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3D40	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
3D70	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少
3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3E40	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
3E50	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
3E70	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
3F20		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
3F30	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靱	笥	諏	須	酢	図	厨
3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
3F70	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4020		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4040	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
4060	窃	節	説	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
4070	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4120		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮
4130	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
4150	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	搔
4160	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	糟	総	綜	聡
4170	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
4220		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
4230	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4240	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	驒	体	堆
4250	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
4270	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
4320		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
4330	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地
4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
4370	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
4420		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
4430	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
4440	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	摑
4450	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺	嬬	紬	爪	吊
4460	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
4520		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲
4530	徹	撤	轍	迭	鉄	典	塡	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
4540	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	檮	棟
4570	盗	淘	湯	濤	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到	
4620		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働
4630	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
4640	得	徳	瀆	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
4650	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
4660	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
4670	軟	難	汝	二	尼	弐	邇	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
4720		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年
4730	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
4740	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
4750	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
4760	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
4770	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4820		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発
4830	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
4840	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
4850	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
4870	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美	
4920		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
4930	檜	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4940	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧
4950	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	
4A20		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
4A30	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆
4A50	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4A60	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
4B20		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨
4B50	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槇	幕	膜	枕	鮪	柾
4B70	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	儘	繭	麿	万	慢	満	
4C20		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
4C30	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模
4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4C60	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
4C70	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	藪	鑓	愉	愈	油	癒	
4D20		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4D40	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶
4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4D60	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃	
4E20		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜
4E30	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4E40	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
4E50	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4E60	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
4E70	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
4F20		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗
4F30	楼	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録
4F40	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨
4F50	椀	湾	碗	腕												
4F60																
4F70																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5020		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊
5030	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
5040	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻
5050	佩	佰	侑	佯	來	侖	侭	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
5060	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
5070	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲	
5120		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂
5130	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
5140	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢
5150	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
5160	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
5170	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨	
5220		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵
5230	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
5240	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦
5250	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
5260	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
5270	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨	
5320		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢
5330	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
5340	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜
5350	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
5360	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
5370	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉	
5420		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏
5430	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
5440	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹
5450	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
5460	壜	壤	壟	壯	壷	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
5470	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩	
5520		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟
5530	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
5540	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾
5550	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
5560	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
5570	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓	
5620		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶
5630	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
5640	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇
5650	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
5660	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
5670	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏	
5720		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸
5730	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
5740	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從
5750	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
5760	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
5770	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚	

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5820		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆
5830	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
5840	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙
5850	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
5860	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
5870	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛	
5920		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼
5930	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5940	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵
5950	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5960	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5970	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	
5A20		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯
5A30	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5A40	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛
5A50	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5A60	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5A70	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼	
5B20		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦
5B30	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5B40	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤
5B50	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5B60	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
5B70	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍	
5C20		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚
5C30	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5C40	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝
5C50	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5C60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
5C70	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣	
5D20		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻
5D30	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5D40	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤
5D50	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5D60	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
5D70	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	
5E20		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒
5E30	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5E40	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭
5E50	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5E60	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
5E70	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌	
5F20		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘
5F30	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
5F40	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟
5F50	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
5F60	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
5F70	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6020		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆
6030	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
6040	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩
6050	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
6060	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
6070	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱	
6120		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎
6130	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
6140	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣
6150	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
6160	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6170	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	
6220		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴
6230	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
6240	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿
6250	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
6260	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
6270	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬	
6320		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚
6330	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
6340	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗
6350	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
6360	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
6370	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	
6420		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝
6430	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
6440	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣
6450	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
6460	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6470	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆	
6520		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲
6530	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
6540	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅
6550	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
6560	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
6570	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺	
6620		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸
6630	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
6640	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋
6650	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
6660	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
6670	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋	
6720		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀
6730	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
6740	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅
6750	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
6760	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
6770	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙	

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6820		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚
6830	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
6840	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽
6850	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
6860	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
6870	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈	
6920		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇
6930	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6940	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣
6950	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6960	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
6970	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	
6A20		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄
6A30	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6A40	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁
6A50	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6A60	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
6A70	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞	
6B20		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩
6B30	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6B40	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅
6B50	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6B60	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
6B70	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	
6C20		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁
6C30	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6C40	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚
6C50	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6C60	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
6C70	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊	
6D20		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁
6D30	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6D40	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜
6D50	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6D60	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
6D70	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸	
6E20		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲
6E30	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6E40	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢
6E50	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6E60	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
6E70	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮	
6F20		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭
6F30	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
6F40	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩
6F50	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
6F60	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
6F70	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
7020		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴
7030	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
7040	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉
7050	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
7060	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
7070	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰	
7120		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒
7130	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
7140	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭
7150	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
7160	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
7170	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷	
7220		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲
7230	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
7240	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱
7250	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
7260	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
7270	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈	
7320		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩
7330	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
7340	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩
7350	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
7360	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
7370	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠	
7420																
7430																
7440																
7450																
7460																
7470																

NPDLの初期状態

次の条件で、プリンターの内部状態は初期状態になります。それぞれの条件下における初期状態については、次の表をご覧ください。

- 電源をONにしたとき
- 操作パネル上でリセットを実行したとき
  →未印刷データをすべて消します。
- ソフトウエアリセット（ESC c1）を実行したとき
  →印刷フォーマット、ホッパー指定は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- INPUT･PRIME信号を受信したとき
  →VFU、印刷フォーマット、ホッパー指定、およびセレクト／ディセレクトは初期状態になりません。
  未印刷データは印刷されます。
- パラメーターリセット（ESC c8）を実行したとき
  →VFU、印刷フォーマット、ホッパー指定、セレクト／ディセレクト、動作モード、網かけ登録、1バイト文字登録などの登録内容は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類				
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
現在位置		第1行第1桁				
レフトマージン幅		メニュー設定に従う（工場設定000）				
ライトマージン幅		A3：113　A4：078（80桁モード時 080）　A5：053 B4：095　B5：067　レター：080　はがき：034				
水平タブセット		クリア				
VFU	FF長	A3: 96行　A4: 67行　A5: 47行 B4: 83行　B5: 58行　レター：63行　はがき: 33行				変化せず
	ボトム領域	なし				変化せず
	VTセット（CH2）	A3:第7､13､19､25､31､37､43､49､55､61､67､73､79､85､91行目 A4:第7､13､19､25､31､37､43､49､55､61､67行目 A5:第7､13､19､25､31､37、43行目 B4:第7､13､19､25､31､37､43､49､55､61､67､73､79行目 B5:第7､13､19､25､31､37､43､49､55行目 レター:第7､13､19､25､31､37､43､49､55､61行目 はがき:第7､13､19､25､31行目				変化せず
	VTセット（CH3〜CH6）	クリア				変化せず
改行方向		順方向改行				
改行幅		1/6インチ				
セレクト／ディセレクト状態		セレクト状態			変化せず	
受信バッファー		クリア		クリアせず		
ページバッファー		クリア		クリアせず		
未印刷データ		—	クリア	印刷実行		
動作モード		メニュー設定に従う（エミュレーション／ページプリンター）				変化せず
印刷方式		パイカモード				
コード表のシフト状態		カタカナ状態（8ビットコード）				
1バイト文字フォント		メニュー設定に従う（標準／イタリック／クーリエ／ゴシック）				
漢字書体		メニュー設定に従う（内蔵明朝／内蔵ゴシック）				
漢字	文字サイズ	10.5ポイント				
	文字幅	3/20インチ				
半角	縦書き	解除				
	組文字	解除				
スクリプト文字		解除				

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">内部状態</th><th colspan="5">イニシャライズ（初期化）の種類</th></tr>
<tr><th>電源ON</th><th>操作パネルリセット</th><th>ESC c1</th><th>INPUT・PRIME</th><th>ESC c8</th></tr>
<tr><td colspan="2">倍率指定</td><td colspan="5">縦横とも解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">修飾印刷</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td rowspan="3">アンダーライン</td><td>指定</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>線種</td><td colspan="5">実線、一重線</td></tr>
<tr><td>線幅</td><td colspan="5">2ドット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">網かけ</td><td>指定</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>登録</td><td colspan="4">クリア（未登録状態）</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td colspan="2">白黒反転</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">固定ドットスペース</td><td colspan="5">左右とも0ドット</td></tr>
<tr><td colspan="2">縦方向文字位置オフセット</td><td colspan="5">0ドット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1バイト文字登録</td><td>パターン</td><td colspan="5">ROMパターン</td></tr>
<tr><td>登録</td><td colspan="4">クリア（未登録状態）</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td colspan="2">2バイト文字登録</td><td colspan="4">クリア（未登録状態）</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドット切り替え</td><td colspan="5">メニュー設定に従う（ネイティブモード／コピーモード）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷フォーマット</td><td>印刷方向</td><td colspan="2">ポートレート</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
<tr><td>縮小モード</td><td colspan="2">解除</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コピー枚数</td><td>コード（FSx）</td><td colspan="2">1枚</td><td colspan="3">メニュー設定に従う</td></tr>
<tr><td>操作パネル</td><td colspan="2">1枚</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
<tr><td colspan="2">座標指定単位</td><td colspan="5">1/240インチ</td></tr>
<tr><td colspan="2">描画座標</td><td colspan="5">（X，Y）＝（0，0）</td></tr>
<tr><td colspan="2">全点アドレス印刷モード</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フォーム</td><td>登録</td><td colspan="4">クリア</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td>参照</td><td colspan="4">解除</td><td>変化せず</td></tr>
<tr><td colspan="2">図形印刷モード</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">グラフ描画モード</td><td colspan="5">絶対描画モード</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリンター単位</td><td colspan="5">1/240インチ</td></tr>
<tr><td rowspan="7">線分</td><td>線種</td><td colspan="5">実線</td></tr>
<tr><td>線幅</td><td colspan="5">1ドット幅</td></tr>
<tr><td>線長</td><td colspan="5">P_1 P_2の対角線距離の4%</td></tr>
<tr><td>線端タイプ</td><td colspan="5">断切り型</td></tr>
<tr><td>接続タイプ</td><td colspan="5">マイター接続</td></tr>
<tr><td>選択パターン</td><td colspan="5">黒べた</td></tr>
<tr><td>登録パターン</td><td colspan="4">クリア</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ペン</td><td>座標</td><td colspan="5">（X，Y）＝（0，0）</td></tr>
<tr><td>上下位置</td><td colspan="5">アップ状態</td></tr>
<tr><td colspan="2">塗り潰しモード</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td rowspan="2">塗り潰し</td><td>選択パターン</td><td colspan="5">パターン番号1</td></tr>
<tr><td>登録パターン</td><td colspan="4">クリア（未登録状態）</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スケーリング
ポイント</td><td>P1</td><td colspan="5">（X，Y）＝（0，0）</td></tr>
<tr><td>P2</td><td colspan="5">各用紙サイズ、印刷フォーマットでの最大印刷位置</td></tr>
<tr><td colspan="2">スケーリング</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">ウィンドウ領域</td><td colspan="5">各用紙サイズでの最大</td></tr>
<tr><td colspan="2">座標系反転</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">座標系回転</td><td colspan="5">0度</td></tr>
<tr><td colspan="2">論理描画</td><td colspan="5">OR</td></tr>
<tr><td colspan="2">パス構築モード</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">パスデータ</td><td colspan="5">廃棄</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホッパー指定</td><td colspan="2">メニュー設定に従う（ホッパー 1/ホッパー 2/
ホッパー 3/ホッパー 4/手差しトレー）</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホッパー／手差しトレー</td><td colspan="2">ホッパー給紙</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
<tr><td colspan="2">両面印刷</td><td colspan="2">メニュー設定に従う（片面印刷/両面印刷）</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
</table>

制御コード

制御コードは「テキストモード」と「図形モード」の2つに分かれています。
制御コードの詳細については別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）リファレンスマニュアル」を参照してください。なお、「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）」に記載されていない制御コードまたは、機能を拡張した制御コードについては「機能拡張制御コード」（442ページ）で細かく説明しています。

以下の表において「E」と「P」は動作モードを表します。
E：201PLエミュレーションモード　　P：ページプリンタ（NPDL）モード

また、「○」と「×」はそれぞれの動作モードでその制御コードを使用できるか（○）使用できないか（×）を示します。

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
ページ制御コード	改ページ指令	FF	○	○
	未印刷データ排出	ESC a	○	○
	未印刷データ排出	ESC b	○	○
	印刷方向の設定およびホッパ選択	FS f c_1 c_2 c_3 .	○	○
	印刷方向の設定および用紙サイズ選択	FS f c_1 c_2 c_3 .	○	○
	印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定	FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .	○	○
	ページコピー枚数の設定	FS x	○	○
行桁関連制御コード				
■　行桁制御印刷コード	ドットスペース（1〜8ドットスペース）	ESC <n>	○	○
	ドットスペース（9〜25ドットスペース）	ESC <n>	×	○
	固定ドットスペース	FS w	○	○
	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
	ドットアドレッシング	ESC F	○	○
	半角文字の組文字設定	ESC q	○	○
	縮小文字の組文字印刷指定	FS P	○	○
	縦方向オフセット量の設定	FS t	×	○
	VFUの設定開始	GS	○	○
	VFUの設定終了	RS	○	○
	簡易VFUの設定	ESC v	○	○
	垂直タブの実行	VT	○	○
	VFUの実行	US	○	○
	水平タブの設定	ESC (	○	○
	水平タブの実行	HT	○	○
	水平タブの部分クリア	ESC)	○	○
	水平タブの全クリア	ESC 2	○	○
	レフトマージンの設定	ESC L	○	○
	ライトマージンの設定	ESC /	○	○
	1/6インチ改行モードの設定	ESC A	○	○
	1/8インチ改行モードの設定	ESC B	○	○
	N/120インチ改行モードの設定	ESC T	○	○
	印刷位置の復帰	CR	○	○
	改行指令	LF	○	○
	改ページ指令	FF	○	○
	n行改行	US	○	○
	順方向改行モードの設定	ESC f	○	○
	逆方向改行モードの設定	ESC r	○	○
■　行桁修飾制御コード	ライン付加モードの設定	ESC X	○	○
	ライン付加モードの解除	ESC Y	○	○
	アンダーライン／オーバーラインの切り替え	ESC _	○	○
	付加ライン線種の設定	FS Ø4 L	○	○
	網かけ・白黒反転モードの設定	FS n	○	○
	網かけ・白黒反転モードの解除	FS E	○	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
■　ドット列印刷制御コード	8ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC S	○	○
	16ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC I	○	○
	24ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC J	○	×
	8ビットドット列リピート	ESC V	○	×
	16ビットドット列リピート	ESC W	○	×
	24ビットドット列リピート	ESC U	○	×
	40ビットドット列印刷モードの設定	FS b	×	○
■　その他	コピーモードの設定	ESC D	○	○
	ネイティブモードの設定	ESC M	○	○

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
文字関連制御コード				
■ 文字セット制御コード	英数モードの設定（7ビットコード）	SI	○	×
	カタカナモードの設定（7ビットコード）	SO	○	×
	カタカナモードの設定（8ビットコード）	ESC $	○	○
	英数モードの設定（7ビットコード）	ESC $	○	×
	ひらがなモードの設定（8ビットコード）	ESC &	○	○
	ひらがなモードの設定（7ビットコード）	ESC &	○	×
	CGグラフィックモードの設定（7ビットコード）	ESC #	○	×
	外字（24×24ドット）のロード	ESC +	○	×
	外字（16×16ドット）のロード	ESC ＊	○	×
	1バイトコード文字のダウンロード	ESC /	○	×
	登録文字のクリア	ESC /Ø	○	×
	登録文字の印刷	ESC /+	○	×
	プリンター内蔵文字の印刷	ESC /-	○	×
	1バイトコード文字の登録	FS g R	×	○
	2バイトコード文字の登録	FS g R2K	×	○
	1バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC1.	×	○
	2バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC2.	×	○
	1バイトコード内蔵文字印刷	FS g MI1.	×	○
	1バイトコード登録文字印刷	FS g MR1.	×	○
	1バイト文字フォントの選択	FS Ø6F1	○	○
	2バイト文字書体の選択	FS 6F2	×	○
	2バイト文字指定	ESC O	○	○
■ 文字スタイル制御コード	文字拡大モードの設定（8ビットコード）	SO	○	×
	文字拡大モードの解除（8ビットコード）	SI	○	×
	文字拡大モードの設定（7ビットコード）	DC2	○	×
	文字拡大モードの解除（7ビットコード）	DC4	○	×
	パイカモードの設定	ESC H	○	○
	エリートモードの設定	ESC E	○	○
	コンデンスモードの設定	ESC Q	○	○
	プロポーショナルモードの設定	ESC P	○	○
	漢字（横書き）モードの設定	ESC K	○	○
	漢字（縦書き）モードの設定	ESC t	○	○
	外字の印刷（横書き）	ESC K a_1 b_1	○	○
	外字の印刷（縦書き）	ESC t a_1 b_1	○	○
	半角文字の縦書きモード設定	ESC h1	○	○
	半角文字の縦書きモード解除	ESC hØ	○	○
	スーパースクリプトモードの設定	ESC s1	○	○
	サブスクリプトモードの設定	ESC s2	○	○
	スクリプトモードの解除	ESC sØ	○	○
	文字サイズの設定	FS Ø4S	○	○
	1バイト文字サイズの設定	FS Ø7S1	×	○
	2バイト文字サイズの設定	FS Ø7S2	×	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：3/20インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS A	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/5インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS B	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/6インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS C	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/10インチ、文字サイズ：7ポイント）	FS F	○	×
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/6インチ、文字サイズ：12ポイント）	FS G	○	×
	縦横拡大率の指定	ESC e	○	×
	文字の拡大率、縮小率の指定	FS m	○	○
	強調印刷モードの設定	ESC !	○	○
	強調印刷モードの解除	ESC ”	○	○
	文字修飾の指定／解除	FS c	○	○
	文字明度の指定	FS $	×	○
■ その他	キャラクターリピート	ESC R	○	○

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
面制御コード	座標指定単位の設定	FS <	×	○
	描画座標の指定	FS e	×	○
	座標のコピー	FS e	×	○
	罫線の描画	FS l	×	○
	領域指定の網かけ	FS s	×	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
	領域指定のイメージ印刷	FS i	×	○
	全点アドレス印刷モードの設定	FS a	×	○
	全点アドレス印刷モードの解除	FS R	×	○
	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
	フォーム登録モードの解除	FS U	○	○
その他	セレクト状態の設定	DC1	○	×
	ディセレクト状態の設定	DC3	○	×
	201PLエミュレーションモードの設定	FS d 16Ø.	○	○
	ページプリンターモードの設定	FS d 24Ø.	○	○
	ソフトウエアリセット	ESC c1	○	○
	パラメーターリセット	ESC c8	○	○
	図形モードの設定	FS Y	×	○
	図形モードの解除	FS Z	×	○
	描画論理の指定	FS "	×	○
	クリッピング領域の設定	FS #	×	○

図形モード

図形モードに関する制御コードは、すべてページプリンタモードの図形モード中で有効です。

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の座標系設定	スケーリングポイントの設定	IP	×	○
	座標系の設定	SC	×	○
	ウィンドウ領域の指定	IW	×	○
	回転角の設定	RO	×	○
	座標系の反転	RC	×	○
	プリンタ単位の設定	SU	×	○
線に関する設定	線種の設定	LT	×	○
	線幅の設定	LW	×	○
	線端タイプの設定	LC	×	○
	線接続タイプの設定	LJ	×	○
	線タイプの登録	RL	×	○
	線パターンの選択	LP	×	○
塗りつぶしに関する設定	塗りつぶしモードの設定	XX1	×	○
	塗りつぶしモードの解除	XXØ	×	○
	塗りつぶしパターンの選択	PP	×	○
	塗りつぶしパターンの登録	RP	×	○
	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
	描画論理の設定	PM	×	○
図形の描画	ペンを上げる	PU	×	○
	ペンを下げる	PD	×	○
	直線の描画（絶対描画モード）	PA	×	○
	直線の描画（相対描画モード）	PR	×	○
	ペンの移動（絶対描画モード）	MA	×	○
	ペンの移動（相対描画モード）	MR	×	○
	扇形の描画（絶対描画モード）	FA	×	○
	扇形の描画（相対描画モード）	FR	×	○
	円の描画	CI	×	○
	円弧の描画（絶対描画モード）	AA	×	○
	円弧の描画（相対描画モード）	AR	×	○
	円弧の描画（絶対座標）	AX	×	○
	円弧の描画（相対座標）	AY	×	○
	円弧の描画	AT	×	○
	楕円の描画	EL	×	○
	楕円弧の描画	ED	×	○
	楕円弧の描画（逆方向）	EN	×	○

図形モード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の描画（続き）	枠無し四角形の塗りつぶし（絶対位置指定） 枠無し四角形の塗りつぶし（相対位置指定） 枠あり四角形の塗りつぶし（絶対位置指定） 枠あり四角形の塗りつぶし（相対位置指定） 枠無し扇形の塗りつぶし 枠あり扇形の塗りつぶし 閉領域の塗りつぶし パス構築モードの開始 パスの閉鎖 パス構築モードの終了 ストロークの描画 フィルの描画（非零則） フィルの描画（偶奇則）	RA RR EA ER WG EW PI NP CP EP ST FL EF	× × × × × × × × × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
その他	イニシャライズ 初期設定 図形モード設定 図形モード解除	IN DF FS Y FS Z	× × × ×	○ ○ ○ ○

機能拡張制御コード

別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）リファレンスマニュアル」に記載されていない機能を拡張した制御コードの一覧表を以下に示します。その後にそれぞれの機能を説明しています。

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
文字スタイル制御コード	漢字文字幅2/15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定 文字明度の指定 1バイト文字サイズの設定 2バイト文字サイズの設定 1バイト文字縦横サイズの設定 2バイト文字縦横サイズの設定	FS D FS $ FS Ø7 S1 FS Ø7 S2 FS 12 S1 FS 12 S2	○ × × × × ×	× ○ ○ ○ ○ ○
行桁制御印刷コード	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
文字ロード	1バイト/2バイトコード文字の登録	FS g	×	○
バーコードの印刷	バーコードの印刷	FS\` $p_1,p_2,p_3,p_4,p_5,p_6,p_7.d_1d_2d_3d_4$・・・	○	○
面制御コード	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
ページ制御コード	縮小印字の設定 印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定 両面印刷設定	FS Ø5f FS f $c_1c_2c_3c_4c_5.$ FS '	○ ○ ○	× ○ ○
領域指定イメージ	領域指定イメージ描画の設定	FS i	×	○
座標指定単位設定	座標指定単位の設定	FS <	×	○
文字セット制御コード	OCR-Bフォントの指定	FS Ø6 F1- ØØ4	○	○
カスタマーバーコードの印刷	カスタマーバーコード書体の選択	FS Ø6 F2-$n_1n_2n_3$	○	○
漢字コード表切り替えのための制御コード	漢字コード表の設定	FS Ø5 F2	○	○

図形モード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の描画コード	楕円の描画 楕円弧の描画 自由曲線の描画（絶対座標モード） 自由曲線の描画（相対座標モード）	EL ED, EN BA BR	× × × ×	○ ○ ○ ○
プリンター単位指定	プリンター単位の設定	SU	×	○
塗りつぶしに関する設定	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
楕円弧描画	楕円弧の描画	SG	×	○
弓形描画	弓形の描画	CV	×	○
扇形描画	扇形の描画	FV	×	○
角丸矩形描画	角丸矩形描画	RB	×	○

文字スタイル制御コード

漢字文字幅2／15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定　FS D

全角漢字の文字幅を2／15インチ、文字サイズを9.5ポイントに設定します。

形　式　FS D

記述例
```
LPRINTCHR$（&h1C）; CHR$（&h44）;
または
LPRINT  CHR$（28）; "D";
```

文字明度の指定　FS $

テキストモードでの文字明度を指定します。

> FS $は形式、パターンの範囲ともに従来と同じですが、従来0〜100のパラメーターを白または黒のどちらかに解釈して印刷していたものが、本プリンターでは中間調に印刷できるようになりました。これにより従来よりも細かい明度表現が可能となります。

形　式　FS $ p_1 .

- p_1 でテキストモードでの文字明度を指定します。
- p_1 の範囲は0〜100が有効です。
- p_1 は0に近いほど黒くなり、100に近いほど白くなります。（p_1=0で黒、p_1=100で白）
- p_1 省略時およびp_1が100より大きいときは、本コマンドは無効となります。

記述例　テキストモードでの文字明度を50に指定するとき

```
LPRINT  CHR$（&h1C）;CHR$（&h24）;"50.";
または
LPRINT  CHR$（28）;"$50.";
```

1バイト文字サイズの設定　FS Ø7S1

1バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形　式　　FS Ø 7 S 1 — c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1 c_2 c_3 c_4 で文字サイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_1 c_2 c_3 c_4 の有効範囲は0001～9999です。

記述例　文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT  CHR$（&h1C）;CHR$（&h30）;CHR$（&h37）;CHR$（&h53）;CHR$（&h31）;
        CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h32）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
または
LPRINT  CHR$（28）;"07S1-0200";
```

2バイト文字サイズの設定　FS Ø7S2

2バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形　式　　FS Ø 7 S 2 — c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1 c_2 c_3 c_4 で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_1 c_2 c_3 c_4 の有効範囲は0001～9999です。

記述例　文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT  CHR$（&h1C）;CHR$（&h30）;CHR$（&h37）;CHR$（&h53）;CHR$（&h32）;
        CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h32）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
または
LPRINT  CHR$（28）;"07S2-0200";
```

1バイト文字縦横サイズの設定　FS 12S1

1バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS 1 2 S 1 — c_1 c_2 c_3 c_4 — c_5 c_6 c_7 c_8

- c_1 c_2 c_3 c_4で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_5 c_6 c_7 c_8で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001～9999。

記述例　縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRIN   CHR$（&h1C）;CHR$（&h31）;CHR$（&h32）;CHR$（&h53）;CHR$（&h31）;
        CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h35）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
        CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h32）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
または
LPRINT  CHR$（28）;"12S1-0500-0200";
```

2バイト文字縦横サイズの設定　FS 12S2

2バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS 1 2 S 2 — c_1 c_2 c_3 c_4 — c_5 c_6 c_7 c_8

- c_1 c_2 c_3 c_4で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_5 c_6 c_7 c_8 で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。

記述例　縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT  CHR$（&h1C）;CHR$（&h31）;CHR$（&h32）;CHR$（&h53）;CHR$（&h32）;
        CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h35）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
        CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h32）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
または
LPRINT  CHR$（28）;"12S2-0500-0200";
```

行桁制御印刷コード

2バイトコード文字の文字幅設定　FS p

2バイトコード文字の文字幅（印刷ピッチ）を設定します。

形 式　FS p 2 , p_1 / p_2 .

- p_1／p_2で文字幅を設定します。
- p_1は文字幅の分子、p_2は文字幅の分母を表します。
- p_2を240に設定したとき、p_1は1〜240の値が有効となります。
- p_2を240以外の値に設定するときは、以下の組み合わせのみが有効です。

p_1	p_2	文字幅
1	5	1/5インチ
1	6	1/6インチ
1	10	1/10インチ
2	15	2/15インチ
3	20	3/20インチ

従来このコマンドは表に示す組み合わせにのみ設定可能でしたが、本プリンターでは1/240〜240/240の設定が可能になりました。これにより、より細かな文字幅の設定が行えます。

記述例　2バイトコード文字の文字幅を1/8インチ（30/240）に設定するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h70）;"2,30/240.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"p";"2,30/240.";
```

文字ロード

1バイト/2バイトコード文字の登録　FS g

外字パターンのロードをします。

形　式　FS g c_1 c_2 c_3 , p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 . c_4 c_5 d_1 … d_n

- c_1はこの制御コードのモードを表す1バイトの文字です。c_1によってこの制御コードは次の動作をします。

c_1	動作
R A M	登録 クリア 印刷文字選択

- c_2 c_3は印刷方式とキャラクターモードを指定します。

c_2	c_3	印刷方式 / キャラクターモード	
K	N H E Q P	パイカ パイカ エリート コンデンス プロポーショナル	カタカナ
H	N H E Q P	パイカ パイカ エリート コンデンス プロポーショナル	ひらがな
2	K	漢字	

- c_1がAのときは、c_2 c_3は次の意味を持ちます。
このとき、この制御コードはp_1 以降のパラメーターとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
C	1	1バイト系の全クリア
C	2	2バイト系の全クリア

- c_1がMのときは。c_2 c_3は次の意味を持ちます。
このとき、この制御コードはp_1以降のパラメーターとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
I	1	1バイト系は内部CGを印刷
R	1	1バイト系はダウンロード文字を印刷

- p_1 は文字の高さを表します。p_1 はc_1 がRのときのみ有効で、登録する文字の高さをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi	動作
H or K	36	60	90	―
2の時	24 26 40	40 60 67	60 90 100	7.2ポイントの登録を意味する 10.8ポイントの登録を意味する 12ポイントの登録を意味する

- p_2は左スペース量を表します。p_2はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の左側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi
P	0～23	0～39	0～59
P以外	0		

- p_3は文字幅を表します。p_3はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の文字幅をドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

またc$_3$=pのときは　$p_2+p_3+p_4 \leqq 24$　(240dpi)
$p_2+p_3+p_4 \leqq 40$　(400dpi)
$p_2+p_3+p_4 \leqq 60$　(600dpi)　でなくてはなりません。

c_3	p_3		
	240dpi	400dpi	600dpi
N	24	40	60
H			
E	20	34	50
Q	14	24	35
P	1～24	1～40	1～60
K	p_1	p_1	p_1

- p_4は右スペース量を表します。p_4はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の右側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi
P	0～23	0～39	0～59
P以外	0		

- p_1～p_4はc_1c_2の状態によっては省略可能な場合があります。省略可能な場合は次のとおりです。

c_1c_2	p_1	p_2	p_3	p_4
RK	不可	可（0）	不可	可（0）
RH	不可	可（0）	不可	可（0）
R2	不可	可（0）	可（p_1）	可（0）

（　）内は省略時の値

- c_4c_5は参照に使用する文字コードを表します。使用可能なコードは次のとおりです。

c_2=HまたはKのとき　21h≦c_4≦7Eh　80h≦c_4≦9Eh　A1h≦c_4≦FEh　c_5は指定しない
c_2=2のとき　76h≦c_4≦78h　20h≦c_5≦7Fh

上記以外の値を指定したときは、c_2=HまたはKのときはc_4までを、c_2=2のときはc_5までを読み捨ててシーケンスを終了します。

- d_1～d_nはパターンデータをバイナリー表現で表します。データ数は$p_1 \times p_4 \div 8$とします。

- この制御コードでパラメーターに不正があったときはピリオドまでを読み捨てて、シーケンスを終了します。ただし文字コードに不正があったときは、文字コードまでを読み捨てます。どちらの場合でもパターンデータの読み捨てはしません（パターンデータはテキストデータとして扱い、印刷される）。

- 本プリンターでは、登録可能な文字数は次のとおりです。

  c_2=HまたはKのもの　　128文字（1バイト系）
  c_2=2のとき　　256文字（2バイト系）

  また文字の登録があった時、そのエリアに登録されていた前のパターンは同一ページ内では保証されません。

- 未登録の文字コードや文字サイズは空白が登録されているのと同様の印刷を行います。

バーコードの印刷

バーコードの印刷　　FS `

チェック

バーコードをご使用になる際の注意

- 読み取り装置によっては、本プリンターで印刷したバーコードをうまく読み取れない場合があります。ご使用になる読み取り装置でバーコードを読み取れることを確認してからご使用ください。
- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。
- p_2で指定されるHRCはOCR-Bフォントで印刷されます。ただし、OCR-Bフォントの最小ピッチは10CPIのため、HRCの幅の方がバーコードより広くなることがあります。また、オートリターン有効時でも、印刷範囲から超えた場合にはデータを読み捨てます（オートリターンしません）。
- バーコードの印刷を行う際には、次のコマンドは無効となります。
  — 縦横拡大指定（FS m）
  — 網かけ、反転（FS n）
  — アンダーライン／オーバーライン（ESC X）
  — 縦方向オフセット（FS t）
  — 固定ドットスペース（FS w）

形　式　　FS ` p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 , p_6 , p_7 . d_1 d_2 d_3 d_4 …

- p_1はバーコードの種類を設定します。

  ＜201PLエミュレーションモード＞

p_1		バーコードの種類
Ø	1	NW-7のスタート／ストップキャラクター設定
Ø	2	NW-7
Ø	3	JAN
Ø	4	CODE 39
Ø	5	INDUSTRIAL 2 OF 5
Ø	6	INTERLEAVED 2 OF 5

＜ページプリンターモード＞

p_1	バーコードの種類
1	NW-7のスタート／ストップキャラクター設定
2	NW-7
3	JAN
4	CODE 39
5	INDUSTRIAL 2 OF 5
6	INTERLEAVED 2 OF 5

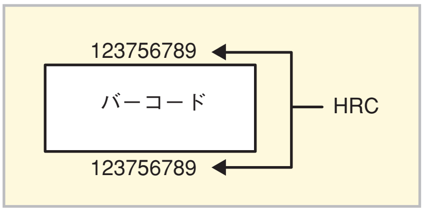
p_1の指定により、p_2〜p_7、d_1〜d_nの値は変化します。

- p_2はバーコードに対するHRC（付加文字）の有無およびその位置を指定します。

p_2	HRC
Ø	文字なし
1	文字を下につける
2	文字を上につける
3	新料金代理収納ガイドライン形式で文字を下につける（p_1=7の時のみ有効）

＊ HRCはバーコードの下または上にOCR-Bフォントで印刷します。

バーコードとOCR文字のボディフェースは隣接するべきだが、ページモードでバーコードの上に文字がつく場合に限り、4dot（240dpi）の隙間を開けている。

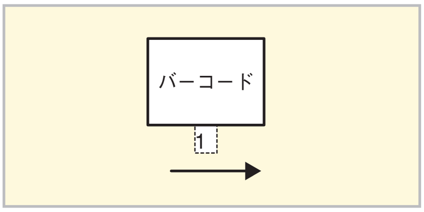


HRCの均等割付け方法

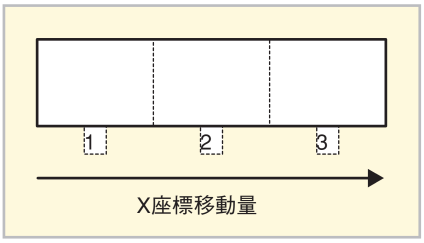
バーコードより文字列の方が長い場合は、文字幅単位で印刷されます。（以下の例は文字列よりバーコードの方が長い場合を示します。

＜201PLエミュレーション＞

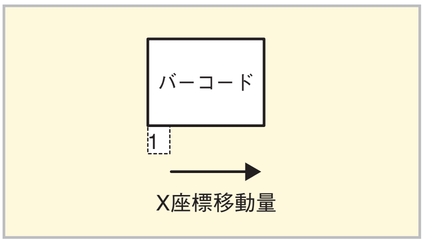
1文字の場合、バーコードの幅の中央に配置し、バーコードの幅の分だけX座標を移動します。



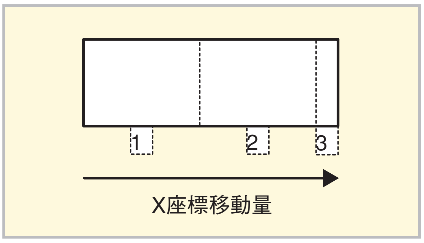
複数文字の場合、バーコードの幅を文字数で割り、その中央に配置します。



<ページプリンターモード>
1文字の場合、バーコードの左側に配置し、文字の幅の分だけX座標を移動します。



複数文字の場合、バーコードの幅から1文字幅引き、文字数-1で割り、その左端に配置します。



- p_3はバーコードのモジュール幅をドット単位で指定します。

  <201PLエミュレーション>
  指定範囲：2≦p_3≦4（160dpi）

  <ページプリンターモード>
  指定範囲：4≦p_3≦10（400dpi）、4≦p_3≦15（600dpi）

- p_4はバーコードのワイド／ナローエレメント比を指定します。
  p_4=30のみ有効

- p_5はバーコード高さをドット単位で指定します。

  <201PLエミュレーション>
  0≦p_5≦999（160dpi）
  p_5が0の時は、高さを改行ピッチに設定します。したがって、改行ピッチの切り替えコマンドと組み合わせることにより1/120インチ単位での指定も可能となります。またバーコードの下にHRCがある場合は、実際に改行する幅はバーコードの高さ＋HRCの高さです。

  <ページプリンターモード>
  指定範囲：
  10≦p_5≦1665（400dpi　1ドット＝約0.064mm なるべく150～300程度の値でご使用ください）
  10≦p_5≦2498（600dpi　1ドット＝約0.042mm なるべく150～300程度の値でご使用ください）

- p_6はデータキャラクターの長さをバイト単位で指定します。
  この値は、バーコードの種類ごとに下記のように制限されます。

p_1	有効な p_6
1	2
2	0～34
3	13または8
4	0～34
5	0～34
6	0～34(偶数のみ)

- p_7はp_3、p_5の解像度を指定します。

  <201PLエミュレーション>
  省略してください。(160dpi)

  <ページプリンターモード>
  指定：p_7=400（400dpi）、p_7=600（600dpi）

- d_1、d_2、d_3、d_4･･･はデータキャラクターまたはスタート／ストップキャラクター（p_1=1のとき）です。
- グレーの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。

記述例　p_1=1、スタートキャラクターを“a”、ストップキャラクターを“b”とするとき

```
LPRINT  CHR$（&h1C）;CHR$（&h60）;"1,,,,,2,.ab";
または
LPRINT  CHR$（&h1C）;"`1,,,,,2,.ab";
```

補足

バーコードの種類によって、パラメーターの意味が少しずつ異なります。

- p_1=1のとき（NW-7のスタート／ストップキャラクターを指定します。）
  - バーコードの印刷ではなく、バーコードの種別NW-7の仕様に従い、NW-7で付加されるスタート／ストップキャラクターの設定を行います。
  - スタート／ストップキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。（初期状態は“a”）
    a b c d e n t ＊ A B C D E N T
    また、p_2～p_5およびp_7は省略されます。
    記述例スタートキャラクターを“a”、ストップキャラクターを“b”とするとき
    LPRINT CHR$（&h1C）;"`1,,,,,2,.ab";

- p_1=2のとき（NW-7）
  - p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p3×p4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6=0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 － $. ／ : +
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1=3のとき（JAN）
  - p_3の値が1モジュールの幅に対応し、他の幅のバーおよびスペースはこの整数倍の幅となります。
  - p_6は13または8とし、13のときはJAN標準のバーコード、8のときはJAN短縮のバーコードを印刷します。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - JAN標準でデータキャラクターの1バイト目（フラグキャラクター）が規定外のときは、データキャラクターも含めて読み捨てます。
  - レフトガードバー、サイドガードバー、ライトガードバーは自動的に付加します。

- p_1=4のとき（CODE-39）
  - p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6=0のときは、スタート／ストップキャラクター（“＊”固定）のみ印刷します。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 － $. ／ + % SP（スペース）
    A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1=5のとき（INDUSTRIAL 2 OF 5）
  - p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6＝0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクターがないため印刷されません。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1=6のとき（INTERLEAVED 2 OF 5）
  - p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6＝0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクターがないため印刷されません。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - 2つのデータキャラクターを1組のバーコードデータとして印刷します。
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

面制御コード

フォーム登録の開始／参照　FS u

フォームデータの登録開始および参照を指示します。

形　式　FS u c_1 , p_1 , c_2 .

- c_1で登録か参照かを設定します。

c_1	機　　能
1	フォーム登録モードを設定（フォーム登録を開始）
2	フォーム参照モードを設定

- p_1でフォーム番号を指定します。省略時は1となります。指定範囲は1～100です。
- c_2はc_1=1（フォーム登録モード）のときは必ず省略してください。c_1=2（フォーム参照モード）のときは、c_2でフォーム参照の継続の有無を設定します。

c_2	機　　能
省略	この制御コードが存在するページに対してフォームを描画（参照）します。現ページに対してのみ有効です。
S	この制御コードが存在するページ以降、解除が指定される間でのフォーム参照を継続します。
E	上記「S」で設定されたフォーム参照モードを解除します。

チェック

100面までの登録が可能です。実際にはメモリーの容量に依存しますが、オプションの増設メモリーを装着することによってより多くのフォーム登録が可能となります。また、従来フォームに登録できなかった図形モードデータ、領域指定網かけ、全点アドレス印刷データも登録可能となっています。

記述例　フォーム番号2にフォーム登録を行うとき

LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h75）;CHR$（&h31）;CHR$（&h2C）;"2";CHR$（&h2E）;
または
LPRINT　CHR$（28）;"u1,2.";

ページ制御コード

縮小印字の設定　FS Ø5f

形　式　FS Ø 5 f c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1、c_2、c_3で縮小率を設定します。
  組み合わせは次の中から選択します。

c_1	c_2	c_3	設定内容
1	Ø	Ø	縮小印字解除(原寸)
Ø	8	Ø	4/5縮小印字
Ø	6	7	2/3縮小印字

- c_4で縮小基準位置を設定します。
  設定は次のとおりです。

c_4	縮小基準位置
L	左端基準
C	中央基準

- すべての文字に対して有効です。
- 行の先頭で指定してください。その行から縮小印字します。
- 行の途中で指定した場合は、次の行から縮小印字します。
- 縮小印字は受信したデータを2／3または4／5に縮小して印刷しますので、例えばA4サイズのデータをA5サイズの用紙に、またはB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷したいようなときに役立つ機能です。
- プリンターがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
- 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また、文字によっては見づらくなるものがあります。

記述例　縮小率を4／5、左端基準で印刷するとき

```
LPRINT  CHR$（&h1C）；CHR$（&h30）；CHR$（&h35）；
CHR$（&h66）；"080L"
または
LPRINT  CHR$（28）；"05f"; "080L"
```

印刷方向の設定およびホッパの選択　FS f c_1 c_2 c_3 .

プリンターの印刷方向およびホッパーの設定を行います。

形　式　FS f c_1 c_2 c_3 .

- c_1は印刷方向を設定します。

c_1	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- 本プリンターでは手差しトレー指定が追加されました。パラメーターの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。

c_2	c_3	機　能
M	Ø	手差しトレー指定

記述例　印刷方向をポートレートで、給紙口に手差しトレーを指定して印刷するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h66）;"PMØ.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"f";"PMØ.";
```

印刷方向の設定および用紙サイズの設定　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

プリンターの印刷方向および用紙サイズの設定を行います。

形　式　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

- c_1は印刷方向を設定します。

c_1	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- 本プリンターでは封筒指定、往復はがき指定が追加されました。パラメーターの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。

c_2	c_3	c_4	c_5	機　能
E	N	V	4	封筒
U	P	P	C	往復はがき

記述例　印刷方向をポートレートで、往復はがきに印刷するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h66）;"PUPPC.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"f";"PUPPC.";
```

印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

プリンターの印刷方向および縮小／拡大モードの設定を行います。

形　式　　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

- c_1は印刷方向を設定します。

c_1	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- 本プリンターでは縮小／拡大機能が追加されました。パラメーターの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。

＜追加パラメーター＞

c_2	c_3	c_4	c_5	機　能
L	P	B	4	帳票→B4
L	P	A	4	帳票→A4
U	P	A	4	A4×2→A4
U	P	B	5	B5×2→B5
A	3	B	4	A3→B4
A	3	A	4	A3→A4
A	4	A	3	A4→A3
A	4	B	4	A4→B4
A	4	B	5	A4→B5
B	4	A	3	B4→A3
B	4	A	4	B4→A4
B	4	B	5	B4→B5
B	5	A	4	B5→A4
B	5	B	4	B5→B4

記述例　印刷方向をポートレートで、A4サイズの印刷データをA3用紙に拡大して印刷するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h66）;"PA4A3.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"f";"PA4A3.";
```

両面印刷設定 FS '

両面印刷を設定します。

形　式　　FS ' c_1 , c_2 , p_1 , p_2 .

- c_1で印刷モードを設定します。

c_1	印刷モード
S	片面印刷
B	両面印刷

- c_1で片面印刷を指定した場合は、c_2以降のパラメーターは無効になります。
- c_2で両面印刷における用紙の印刷開始面を設定します。

c_2	印刷面
F	表面
B	裏面

- c_2を省略した場合は、表面を印刷開始面とします。
- p_1で綴じ代を付加する位置を設定します。

p_1	印刷面
1	長辺綴じ位置1
2	短辺綴じ位置1
3	長辺綴じ位置2
4	短辺綴じ位置2

- p_2で綴じ代として追加する余白量を1mm単位で設定します。範囲は、$0 \leqq p_2 \leqq 20$です。
  綴じ代を付けない場合は、0を指定します。
- p_1、p_2を省略した場合、メニューの設定に従います。
- 本コマンドはページの先頭で使用してください。ページの途中で指定した場合は、改ページを行い、以前のページの用紙をすべて排出した後で、本コマンドの設定に従った印刷を開始します。

記述例　　印刷開始面が表面の両面印刷で、長辺綴じ1、余白量を10mmに設定するとき

LPRINT　CHR$（&h1C）; CHR$（&h27）;　"B,F,1,10.";
または
LPRINT　CHR$（28）; " ' "; "B,F,1,10.";

領域指定イメージ

領域指定イメージ描画の設定　FS i

描画座標を原点として指定された領域にラスターイメージを描画します。

形　式　FS i p_1 , p_2 , p_3 , p_4 / p_5 , p_6 / p_7 , p_8 , p_9 . d_1 … d_n

- p_1はイメージ領域のXサイズです。
- p_2はイメージ領域のYサイズです。
- p_3はデータの形式です。
- p_4はX方向拡大率の分子です。
- p_5はX方向拡大率の分母です（省略時は1と同等）。
- p_6はY方向拡大率の分子です。
- p_7はY方向拡大率の分母です（省略時は1と同等）。
- p_8はパターンデータのバイト数です。
- p_9はイメージデータの解像度を指定します。p_9を省略した場合、または規定値以外の数値を指定した場合、解像度は240dpiになります。

p_9	解像度
16Ø	160dpi
2ØØ	200dpi
24Ø	240dpi
3ØØ	300dpi
4ØØ	400dpi
6ØØ	600dpi

- d_1～d_nはnバイトのラスターイメージデータ（バイナリー形式）です。

座標指定単位設定

座標指定単位の設定　　FS <

面モード時の移動量の基本単位を設定します。

形　式　　FS < p_1 / p_2 , c_1 .

- p_1は単位量の分子を表します。
- p_2は単位量の分母を表します。
- c_1はインチまたはmmの識別を表します。
- p_1、p_2、c_1は下記の値が有効です。

p_1	p_2	c_1	座標指定単位
1	160	i	1/160インチ
1	200		1/200インチ
1	240		1/240インチ
1	400		1/400インチ
1	600		1/600インチ
1	720		1/720インチ
1	100	m	1/100mm

- 描画座標指定（FS e）、座標指定罫線（FS l）、領域指定網かけ（FS s）の領域の大きさ、全点アドレス印刷モード（FS a）の移動量、クリッピング領域指定（FS #）が、この制御コードで設定された単位で指定されます。
- 領域指定イメージのビットパターンデータは影響を受けません。
- 上記制御コードの後に、この単位設定を実行しても、それまでに設定した座標、大きさ、移動量等は変化しません。
- p_1が省略された場合は1、p_2が省略された場合は240、c_1が省略された場合はiとみなされます。
- 本コマンドを再度受信するまでは有効です。
- 以下の場合、単位は1/240インチとなります。

① POWER ON時
② 操作パネルでリセットが実行されたとき
③ ソフトウエアリセットを受けたとき
④ インプットプライムを受けたとき

文字セット制御コード

OCR-Bフォントの指定　FS Ø6F1-ØØ4

形式　FS Ø 6 F 1 — Ø Ø 4

1バイト文字としてOCR-Bフォントを選択します。

OCR-Bフォントについて

本プリンターはOCR-Bフォントを内蔵しており、各種アプリケーションから指定して印刷することができますが、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

- OCR-Bフォントは大きさが限定されています。本プリンターの場合10CPI（12ポイント、パイカサイズ）のみでご使用になれます。それ以外の文字サイズは指定しないでください。また文字の拡大／縮小、ページの拡大／縮小を行うと印刷できません。
- OCR-Bフォントの印刷は本プリンターのNPDLモードでのみ可能です。またOCR-Bフォントの指定はアプリケーションソフトから行う必要があります。
- WindowsからOCR-Bフォントを使用する場合はいずれかの方法で指定します。
  - アプリケーションのフォント選択で「OCR-Bフォント」を選択します。
    このとき画面上は他のフォントを使用して表示されます。なお、文字のサイズは必ず12ポイントを指定してください。またボールド、イタリック（斜体）、アンダーラインなどの文字スタイルを設定しないでください。
  - アプリケーションのフォント選択の中に「OCR-B」というプリンターフォントがない場合は、本プリンタードライバーの「TrueTypeフォントのプリンターフォントへ置き換え」機能を使用して印刷します（詳細はユーザーズマニュアル参照）。なおOCR-Bフォントに置き換えるフォントは「Courier New」等の固定ピッチの英文フォントで指定してください。また置き換えるフォントによっては文字のピッチがOCR-Bフォントと合わないため、OCR読み取り装置で読み取れないことがあります。特にプロポーショナルフォントには置き換えないでください。和文フォントは置き換えるフォントとして指定できますが、実際に置き換えることができるのは半角英数文字だけです。
- OCR-Bフォントは、OCR読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- トナーが少なくなり印刷にかすれなどがある場合には、OCR読み取り装置でうまく読み取れない場合があります。
- 黒トナー節約機能は使用しないでください。OCR読み取り装置がうまく読み取れない場合があります。

カスタマーバーコードの印刷

カスタマーバーコード書体の選択　FS Ø6F2

カスタマーバーコードはJANコードなどのバーコードとは異なり、2バイト文字として印刷を行います。
このため、カスタマーバーコードの印刷には、まず2バイト文字書体の選択を行う必要があります。

形　式　FS Ø 6 F 2 - n_1 n_2 n_3

- n_1、n_2、n_3は3桁の文字表現の10進数（‘123’など）であり、書体番号を示します。
  但し、例外として‘CLR’（43h 4Ch 52h）のパラメーターは指定可能です。
- 初期状態ではプリンターのメニュー機能による設定が有効となります。
- 本制御コードによる書体選択制御コードにより他の書体が選択されるまで、現在の書体選択が有効です。
- 初期化処理により書体は初期状態に戻ります。

カスタマーバーコードの書体番号を次のように割り当てます。

851：カスタマーバーコード書体（回転なし）
852：カスタマーバーコード書体（反時計回り90°回転）
853：カスタマーバーコード書体（反時計回り180°回転）
854：カスタマーバーコード書体（反時計回り270°回転）
CLR：初期状態の書体に戻す。（メニュー設定に従う）

- 2桁目の数字‘5’は文字の太さを指定するパラメーターですが、カスタマーバーコード書体の場合は意味を持ちません。
- 8から始まる書体番号において上記に合致しない場合は、カスタマーバーコード書体への切り替えは行わず読み捨てます。その際、書体選択の初期化は行いません。（例：850、861、867）

✔チェック

- 書体番号851を選択して縦書きで印刷すると書体番号852の印刷結果と等しくなります。同様に書体番号852の縦書きは書体番号853、書体番号853の縦書きは書体番号854、書体番号854の縦書きは書体番号851となります。
- 201PLエミュレーションで使用する場合、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来サポートされておりませんが、カスタマーバーコード書体選択時のみ、201PLエミュレーションでも有効となります。カスタマーバーコード以外の書体を選択した場合には、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来どおり無効コマンドとなります。

✔チェック

バーコードをご使用になる際のご注意

- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- 黒トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。

カスタマーバーコードのキャラクター指定

カスタマーバーコードの21種のキャラクターは次の文字コードを割り当てます。

数字（‘0’ ～ ‘9’）	：2330h～2339h（数字の ‘0’ ～ ‘9’）
ハイフン	：215Dh（マイナス記号 ‘ー’）
英字用制御コード（CC1～CC3）	：2361h～2363h（小文字アルファベットの ‘a’ ～ ‘c’）
予備用制御コード（CC4～CC8）	：2364h～2368h（小文字アルファベットの ‘d’ ～ ‘h’）
スタートコード（STC）	：2163h（不等号 ‘<’）
ストップコード（SPC）	：2164h（不等号 ‘>’）

上記外の文字コードが指定された場合は全角スペースに置き換えて印刷します。

カスタマーバーコードのサイズの指定

日本郵政公社のカスタマーバーコードの仕様によると、読み取りのためにはバーコードパターンを文字とみなしたときにその大きさを8ポイントから11.5ポイントまでの範囲にする必要があります。（この範囲内で任意の値を指定できます）
一方、プリンタはカスタマーバーコードといえども文字であるため、NPDL2、201PLそれぞれで定義された文字制御に関する全ての機能を有効とします。（例えば、上記範囲から外れる文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾など）
このため、カスタマーバーコードの印刷を行うアプリケーションは適切な印刷結果が得られるように留意してください。
また、プリンター側の機能で縮小や拡大を指定しての印刷においても適切な印刷結果が得られなくなります。

カスタマーバーコード（キャラクター指定とバーの組み合わせ）

カスタマーバーコードの体系について
（バーの種類とは、ロングバー：1、セミロングバー（上）：2、セミロングバー（下）：3、タイミングバー：4としたもの。）

- **数字（‘0’ ～ ‘9’）**

キャラクター	0	1	2	3	4
文字コード	0 (2330h)	1 (2331h)	2 (2332h)	3 (2333h)	4 (2334h)
カスタマーバーコード					
バー種類	1　4　4	1　1　4	1　3　2	3　1　2	1　2　3

キャラクター	5	6	7	8	9
文字コード	5 (2335h)	6 (2336h)	7 (2337h)	8 (2338h)	9 (2339h)
カスタマーバーコード					
バー種類	1　4　1	3　2　1	2　1　3	2　3　1	4　1　1

- ハイフン

キャラクター	－
文字コード	－ (215Dh)
カスタマーバーコード	
バー種類	4　1　4

- 英字用制御コード

キャラクター	CC1	CC2	CC3
文字コード	a (2361h)	b (2362h)	c (2363h)
カスタマーバーコード			
バー種類	3　2　4	3　4　2	2　3　4

- 予備用制御コード

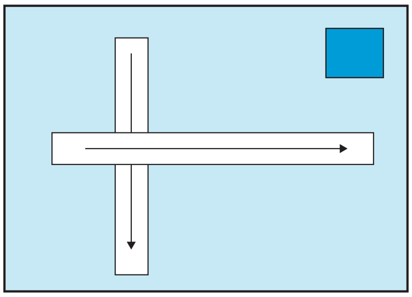
キャラクター	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
文字コード	d (2364h)	e (2365h)	f (2366h)	g (2367h)	h (2368h)
カスタマーバーコード					
バー種類	4　3　2	2　4　3	4　2　3	4　4　1	1　1　1

- スタート／ストップコード

キャラクター	スタート	ストップ
文字コード	＜ (2163h)	＞ (2164h)
カスタマーバーコード		
バー種類	1　3	3　1

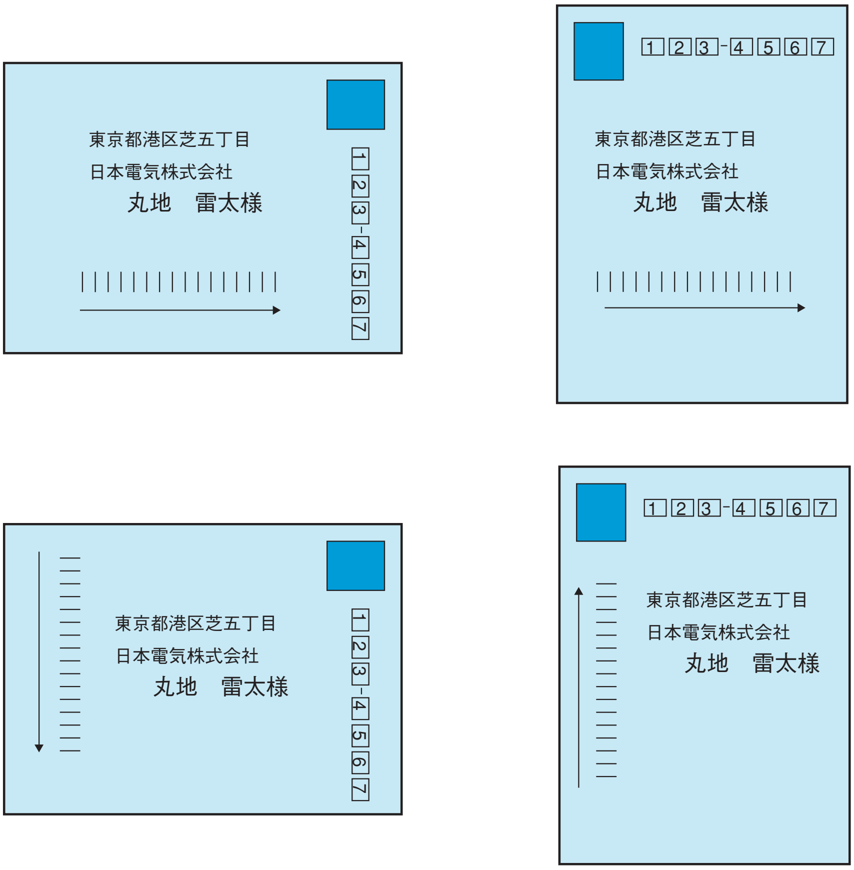
備考（宛名書きとカスタマーバーコードとの関係）

カスタマーバーコードは、封書の切手の位置（はがきの料金印刷部分）を右上に位置付けたときに、下図の示すように上から下、左から右の方向へ印刷されます。

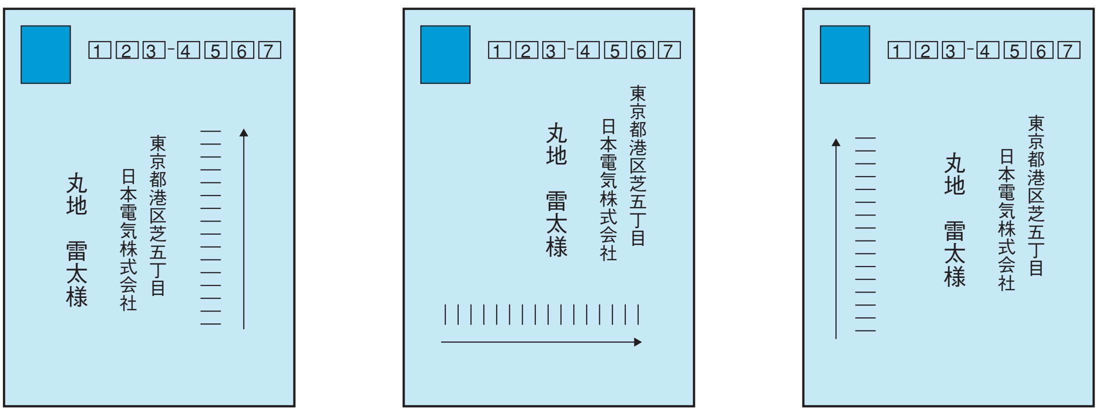


宛名が横書きの場合

日本郵政公社の資料には記載されていない印刷例



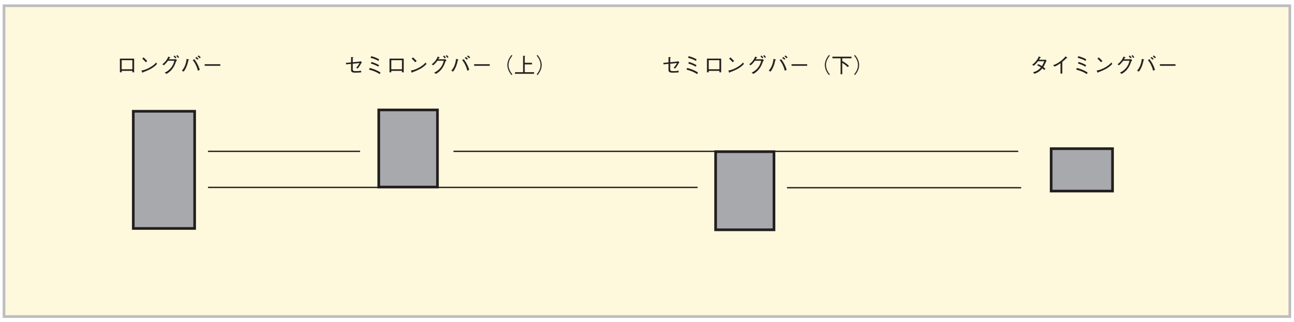
宛名が縦書きの場合



カスタマーバーコードの仕様と注意点

カスタマーバーコードの形状

カスタマーバーコードは、上下にバーを延ばしたロングバー、上方向のみにバーを延ばしたセミロングバー（上）、下方向のみにバーを延ばしたセミロングバー（下）およびタイミングバーの4つの形状のバーを3本組み合わせて1つのキャラクターを表す4ステイト3バーとします。



カスタマーバーコードの寸法

aポイント、8、9、10、11.5ポイントの場合、次表のとおりとして（10ポイントの場合、a/10=1）、8≦a≦11.5の大きさを許すものとします。

a ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	3.6×a/10	3.40×a/10〜3.60×a/10
タイミングバー長さ	2	1.2×a/10	1.05×a/10〜1.35×a/10
バーピッチ	2	1.2×a/10	0.95×a/10〜1.30×a/10
バー幅	1	0.6×a/10	0.50×a/10〜0.70×a/10
バースペース	1	0.6×a/10	0.45×a/10〜0.60×a/10

8≦a≦11.5

8 ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	2.88	2.72〜2.88
タイミングバー長さ	2	0.96	0.84〜1.08
バーピッチ	2	0.96	0.76〜1.04
バー幅	1	0.48	0.40〜0.56
バースペース	1	0.48	0.36〜0.48

9 ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	3.24	3.06〜3.24
タイミングバー長さ	2	1.08	0.95〜1.22
バーピッチ	2	1.08	0.86〜1.20
バー幅	1	0.54	0.45〜0.63
バースペース	1	0.54	0.41〜0.54

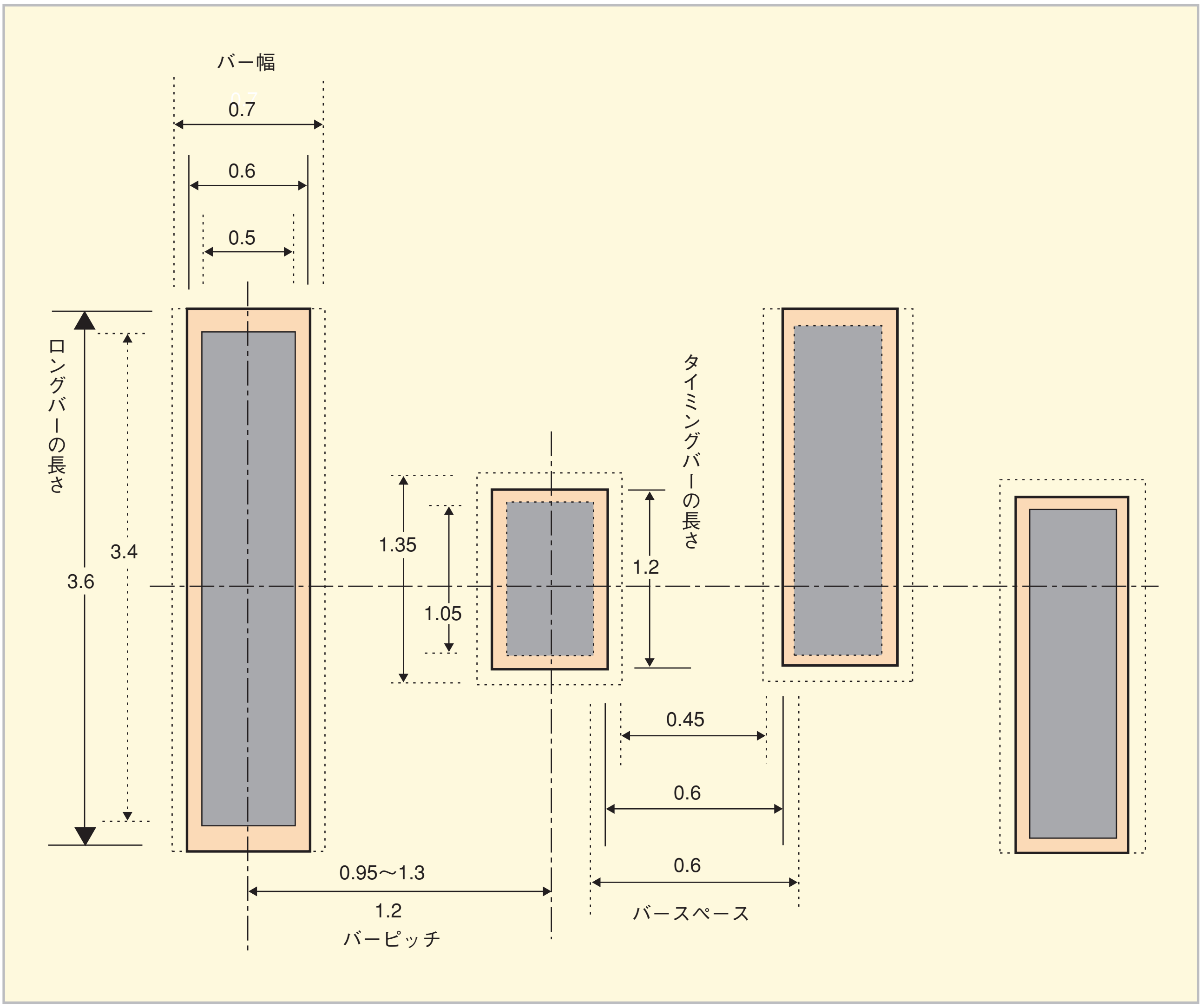
10 ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	3.60	3.40〜3.60
タイミングバー長さ	2	1.20	1.05〜1.35
バーピッチ	2	1.20	0.95〜1.30
バー幅	1	0.60	0.50〜0.70
バースペース	1	0.60	0.45〜0.60

11.5 ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	4.14	3.91～4.14
タイミングバー長さ	2	1.38	1.21～1.55
バーピッチ	2	1.38	1.09～1.50
バー幅	1	0.69	0.58～0.81
バースペース	1	0.69	0.52～0.69

（注1）カスタマーバーコードは、すべての規定（ロングバーの長さ、タイミングバーの長さ、バーピッチ、バー幅およびバースペース）が許容範囲に収まらなければなりません。
（注2）各比率に対して、許容範囲の設定に変更がありますが、これは印刷時のバーの太り等を考慮したものです。

【例1】カスタマーバーコードの寸法（10p相当）

実線で囲まれた範囲は基準寸法示し（数値はゴシック体で表記）、点線で囲まれた範囲は許容範囲を示します。



【例2】ドット割付寸法（参考）

レーザープリンター等ドットマトリックス形式で印刷する場合などは、バーコードの印刷上がりを規定の比率にできるかぎり近づけます。この点を考慮して下記にドット構成の参考を記載します。

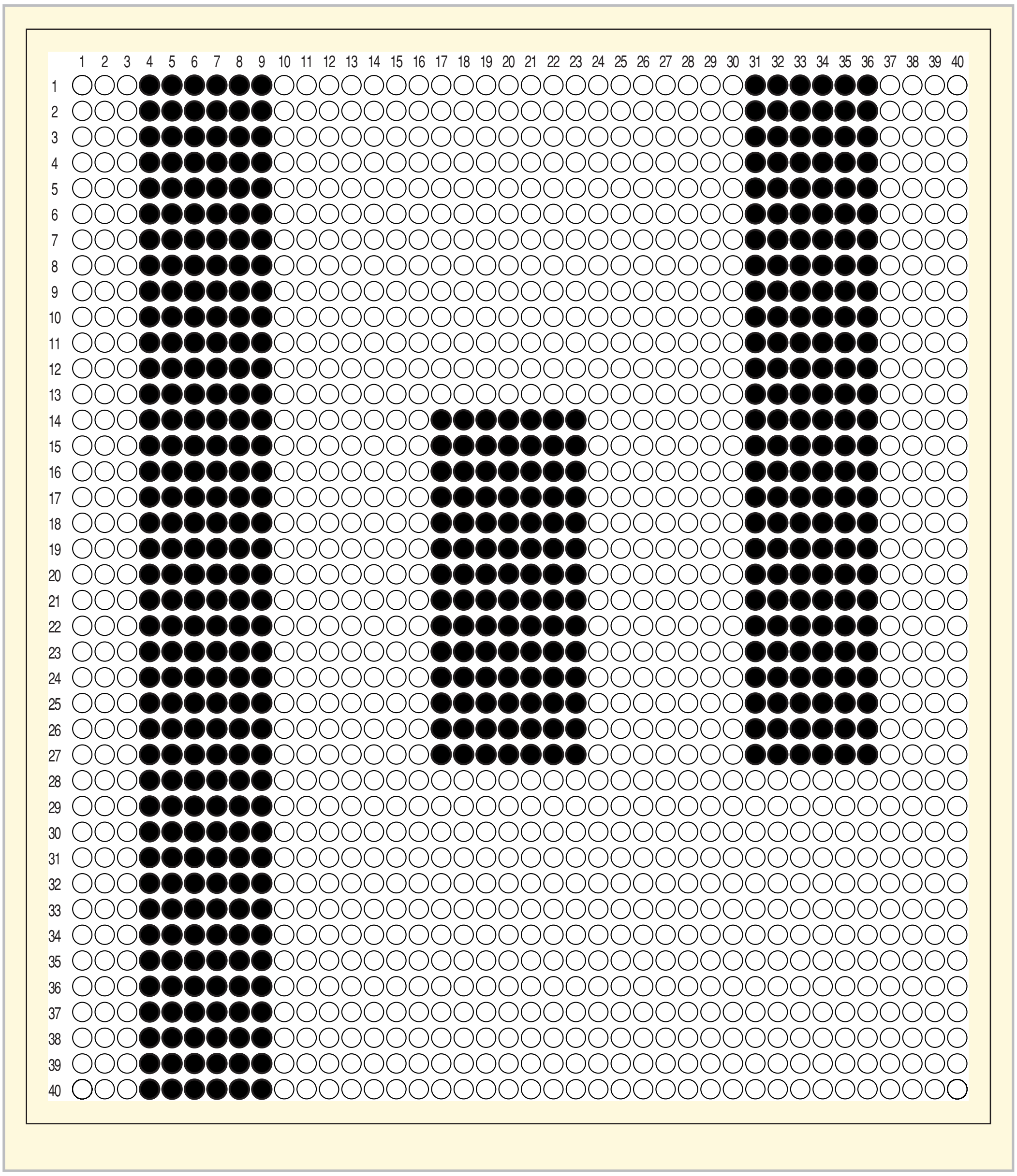
マトリックスサイズ	横７分割 W, B, W, B, W, B, W	縦３分割 U, M, L
24×24	2, 4, 4, 4, 4, 4, 2	8, 8, 8
30×30	2, 5, 5, 5, 5, 5, 3	10, 10, 10
32×32	3, 5, 5, 5, 6, 5, 3	11, 10, 11
40×40	3, 6, 7, 7, 7, 6, 4	13, 14, 13
60×60	5, 10, 10, 10, 10, 10, 5	20, 20, 20

（B：バー部のドット数、W：空白部のドット数、U：バー上部のドット数、
M：タイミングバーのドット数、L：バー下部のドット数）

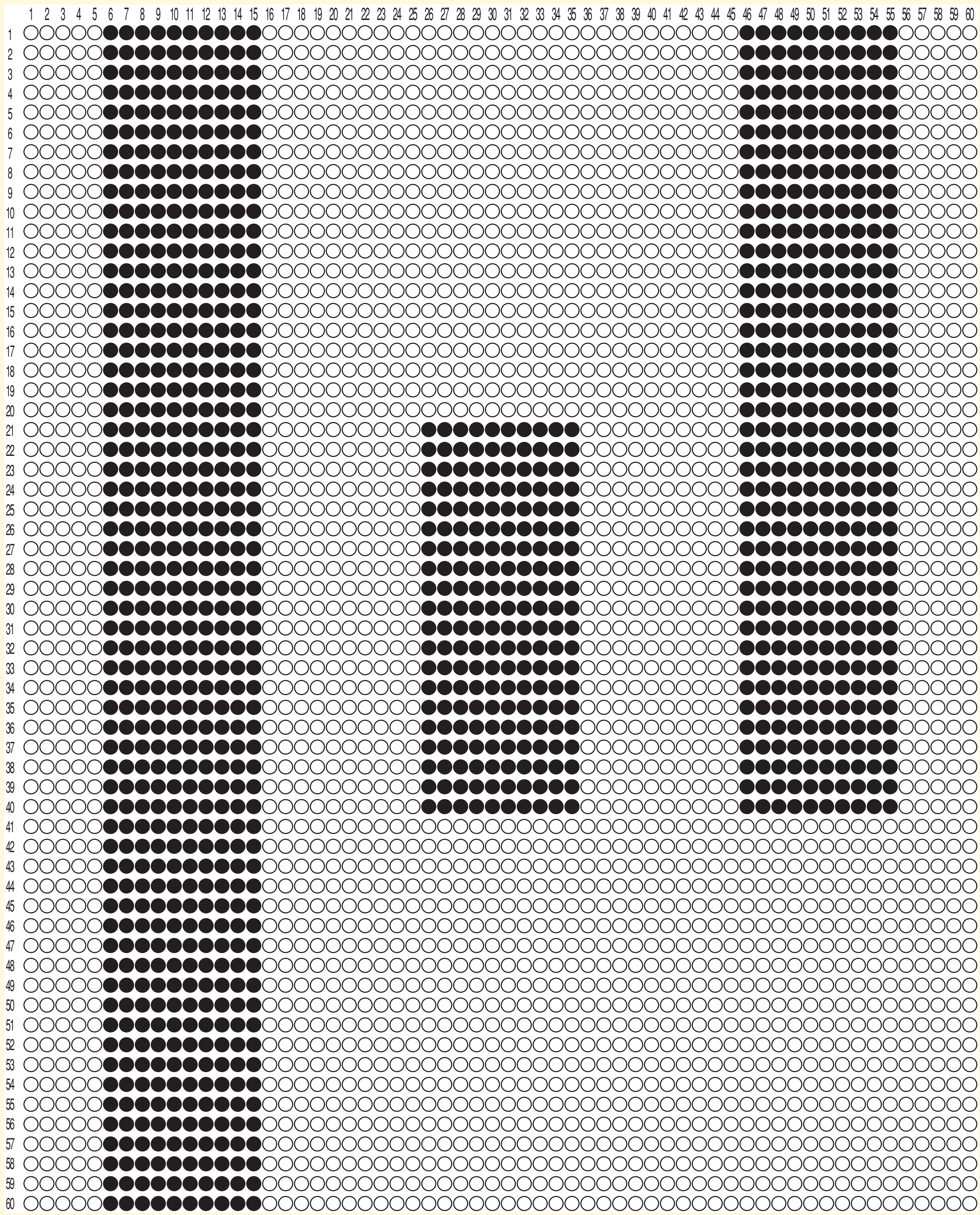
- 上記の表にないマトリックスサイズ（例：48×48等）のドット振り分けは比例的に準じます。

各マトリックスサイズにおけるドットの割付の実際について、次に参考例を示します。

〈参考例1〉　40ドット×40ドットの場合



〈参考例2〉60ドット×60ドットの場合



カスタマーバーコードのフォーマットおよび桁数

カスタマーバーコードのフォーマットは次のとおりとします。ただし、新郵便番号の3桁目と4桁目の間のハイフンおよび新郵便番号と住所表示番号を連結するハイフンは省くものとします。また、英字1文字は制御コードと数字コードの組み合わせにより表現し、バーコード2桁分として扱います。

フォーマット　：スタートコード＋新郵便番号＋住所表示番号＋チェックデジット＋ストップコード
バーコード桁数：　（1）　（7）　（13）　（1）　（1）

住所表示番号が規定のけた数13桁に対して過不足のある場合には、次のように調節します。

13桁を越える場合：

13桁までの住所表示番号をバーコードに変換し、それ以上の情報は含めません。ただし、制御コード＋数字コードで表される英字の制御コードが13桁目に当たる場合は、この制御コードに該当するバーコードまで含めるものとします。

13桁に満たない場合：

13桁になるまで制御コードCC4に該当するバーコードで埋めるものとします。

また、チェックデジットは、新郵便番号〜住所表示番号に盛り込む情報の各キャラクターをチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数となるように生成します。

各キャラクターのチェック用数字への置き換えは、次のとおりとします。

バーコード用キャラクター	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	CC 1	CC 2	CC 3	CC 4	CC 5	CC 6	CC 7	CC 8
チェック用数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

漢字コード表切り替えのための制御コード

本プリンターは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の3つの漢字コード表に対応しています。これらをコンピューターから切り替えるために、以下の制御コードを使用します。

漢字コード表の設定　FS Ø5F2

形　式　FS Ø 5 F 2 — c_1 c_2

- c_1 c_2で漢字コード表を設定します。

c_1c_2	漢字コード表
ØØ	JIS 1978年版(JIS C6226-1978)
Ø1	JIS 1983年版(JIS X0208-1983)
Ø2	JIS 1990年版(JIS X0208-1990)

- 本プリンターで印刷する文字は、基本的に上記JISに準拠していますが、デザイン処理等の都合により多少字形が異なるものがあります。
- コンピューターが対応していないコード表を選択した場合には、コンピューターのディスプレイと印刷結果の文字が異なる場合があります。

記述例　JIS 1983年版を選択するとき

```
LPRINT  CHR$（&h1C）;CHR$（&h30）;CHR$（&h35）;CHR$（&h46）;
        CHR$（&h32）;CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h31）;
または
LPRINT  CHR$（28）;"05F2-01";
```

図形の描画コード

楕円の描画　EL

現在の座標位置を中心に楕円を 描画します。従来のELコマンドに加え、楕円の回転を可能にしています。これにより斜楕円の描画を行えます。

形　式　E L r_1 , r_2 . θ ;

- r_1は楕円の長軸を、r_2は楕円の短軸を示します。
- θは楕円の回転角度を示します。θは省略した場合0°とみなします。
- θ=360以上を指定した場合、360の剰余とみなします。またθは負の値も設定可能です。たとえば - 1°は359°とみなします。
- 回転の方向は反時計回りです。
- r_1、r_2は線幅の1/2以下でなければなりません。
- r_1、r_2は下記の値以下でなければなりません。
  400dpiで印刷する場合：　32767-400=32367　（約2055mm）
  600dpiで印刷する場合：　32767-600=32167　（約1362mm）

記述例　長軸方向1000、短軸方向500の楕円を30°回転させて描画するとき

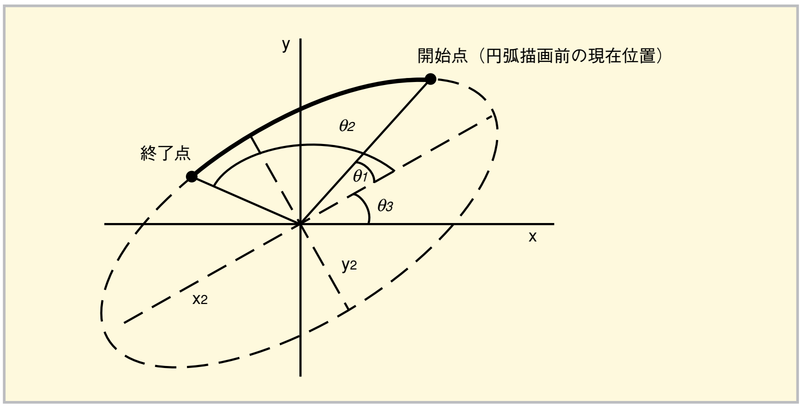
LPRINT　CHR$（&h45）;CHR$（&h4C）;"1000, 500, 30;";
または
LPRINT　"EL1000, 500, 30;";

楕円弧の描画　ED, EN

楕円弧を描きます（直線がはじめに引かれる場合があります）。

形　式　E D x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , θ_1 , θ_2 , θ_3 ;

E N x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , θ_1 , θ_2 , θ_3 ;



- （x_1, y_1）は楕円の中心座標を示します。
- x_2とy_2はそれぞれx軸方向、y軸方向の長短軸の半径を示します。
- θ_1とθ_2はそれぞれ楕円弧の開始角度、終了角度を示します。0〜359（度単位）が有効です。
  θ_2が省略された場合、欠けていない楕円を描画します。θ_1は省略できません。
- θ_3は楕円弧の回転角度を示します。θ_3で示された角度だけ、楕円そのものと楕円の開始、終了角度が回転します。
  θ_3が省略された場合、回転なしと解釈されます。
- 楕円の開始角度で示される開始点が現在位置と異なる場合、現在位置から楕円の開始位置まで直線が描画されます。欠けていない楕円の場合も同様です。

- 楕円描画後の現在位置は楕円弧の終了位置になります。
- EDコマンドの楕円弧の描画方向は、座標系コマンド（RC、RO）の設定に関わらず常に反時計回りになります。ENコマンドは常に時計回りに描画します。
- 指定角度が360を越えている場合は360で割った余りが使用されます。
- 指定角度に負の数を使用することができます。-1は359とみなします。

記述例　長中心点（100,100）、軸方向1000、短軸方向500で、開始角度15°、終了角度120° の楕円弧を反時計方向に30° 回転させて描画するとき

```
LPRINT  "ED100,100,1000,500,15,120,30;";
```

チェック

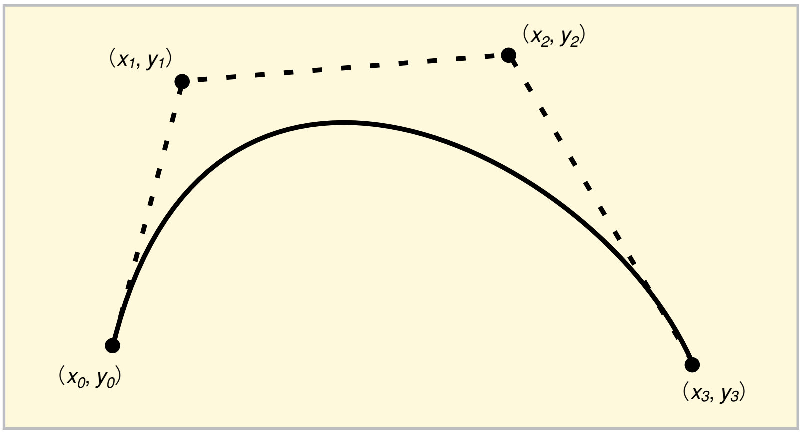
従来は楕円を回転（傾斜）させることができませんでしたが、EL、ED、ENの各コマンドに楕円の角度を指定するパラメータが追加され、任意の角度に回転させることができるようになりました。

自由曲線の描画（絶対座標モード）　BA

曲線を絶対座標モードで描画します。

形　式　B A x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , x_3 , y_3 … , x_n , y_n ;

- 現在の座標を（x_0 y_0）として（x_0, y_0）、（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。
- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは絶対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中（コマンドNP指定後）でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。



記述例　現在の座標位置から（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）を結ぶ曲線を描画するとき

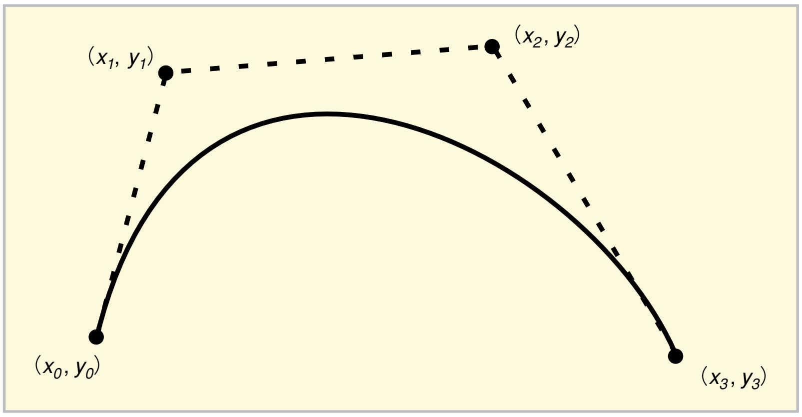
```
LPRINT  CHR$（&h42）;CHR$（&h41）;"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
または
LPRINT  "BA X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
```

自由曲線の描画（相対座標モード） BR

曲線を相対座標モードで描画します。

形　式　　B R x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , x_3 , y_3 … , x_n , y_n ;

- 現在の座標を（x_0 y_0）として（x_0, y_0）、（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。



- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは相対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中（コマンドNP指定後）でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例　現在の座標位置から（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）を結ぶ曲線を描画するとき

LPRINT　CHR$（&h42）;CHR$（&h52）;"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
または
LPRINT　"BR X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";

プリンター単位指定

プリンター単位の設定 SU

図形モードのプリンター単位を設定します。

形　式　　S U n_1 , n_2 , n_3 ;

- n_1、n_2、n_3でプリンター単位を設定します。

n_1, n_2, n_3	プリンター単位
1,1ØØ,Ø	1/100インチ
1,16Ø,Ø	1/160インチ
1,2ØØ,Ø	1/200インチ
1,24Ø,Ø	1/240インチ
1,4ØØ,Ø	1/400インチ
1,6ØØ,Ø	1/600インチ
1,72Ø,Ø	1/720インチ

- プリンター単位の初期設定は 1/240 インチです。初期化動作（電源 ON、操作パネルのリセット操作、リセットコマンド他）およびイニシャライズ（IN）制御コードにより1/240インチに初期化されます。
- プリンター単位設定により初期化が実行されます。
- 上記以外の組み合わせは無効です。
- パラメーターを省略することはできません。省略した場合、コマンドは無効となります。

塗りつぶしに関する設定

グレーレベルパターンの設定　SG

フィル描画（FL, EL）や閉領域塗りつぶし描画（PI）で使用する塗りつぶしパターンを明度で設定します。

SGは形式、パラメーターの指定範囲ともに従来と同じですが、本プリンターでは64階調で表現しています。これにより従来よりも細かな明度表現が可能となります。

形　式　S G n_1 , n_2 ;

- n_1、n_2は明度を示します。

パラメーター	用途	明度
n_1	面分描画で使用	0～100
n_2	線分描画で使用	0～100

- n_1、n_2の設定範囲は0（黒ベタ）から100（白）までです。（初期値は0です。）
- n_1、n_2とも省略すると本コマンド以前の内容が保存されます。
- 本コマンドでの設定は以下の①～④まで有効です。

  ① 初期化動作（電源ON、リセット動作など）
  ② イニシャライズコマンド（IN）実行
  ③ 初期化を伴うコマンド（RC、SU、DF）の実行
  ④ 塗りつぶしパターン選択（PP）の実行

- 塗りつぶしパターン選択コマンド（PP）が実行された場合、そのコマンドで指定されたパターンが選択されます。
- 線パターンとして黒ベタ以外を設定した場合、一般に線描画で閉領域が構成できないため閉領域塗りつぶし（PI）の使用は避けること。
- グレーの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。
- スクリーン角度は45°です。
- パラメーターを省略したとき、いずれか一方でもパラメーターを設定範囲外に指定した時は本コマンドは無効です。
- パラメーター値とパターンの関係は以下のとおりです。パターン番号は小数点第 1 位を四捨五入した値です。

  パターン番号 ＝ パラメーター × 63/100

  （例）　パラメーターで70を指定するとき
  70 × 63/100 ＝ 44.1
  選択されるパターンはパターン番号44となります。

記述例　面分描画での明度を50、線分描画での明度を0（黒）に設定するとき

```
LPRINT  CHR$（&h53）;CHR$（&h47）;"50,0;";
または
LPRINT  "SG 50,0;";
```

楕円弧描画

楕円弧の描画 AV

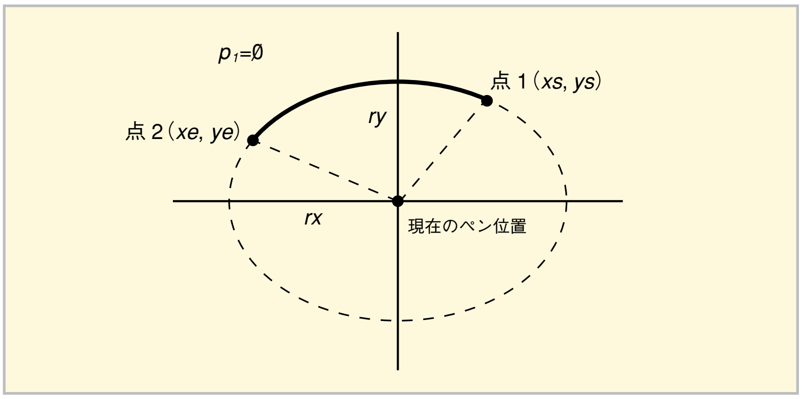
矩形領域に内接する楕円弧を描画します。

形　式　　A V rx , ry , xs , ys , xe , ye , p_1 ;

パラメーター

① *rx*.............x半径
② *ry*.............y半径
③ *xs*............点1のx座標（絶対座標）
④ *ys*............点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe*............点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye*............点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1.............描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ry の楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（xe、ye）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画方向に従い描画します。
- p_1＝0の時、反時計回り
  p_1＝1の時、時計回り
- 省略時は反時計回りになります。
  p_1に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が中心点と同じ場合、楕円弧を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。



記述例　　現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画するとき

LPRINT　CHR$（&h41）; CHR$（&h56）; rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; " ;
または
LPRINT　" AV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; " ; "

弓形描画

弓形の描画 CV

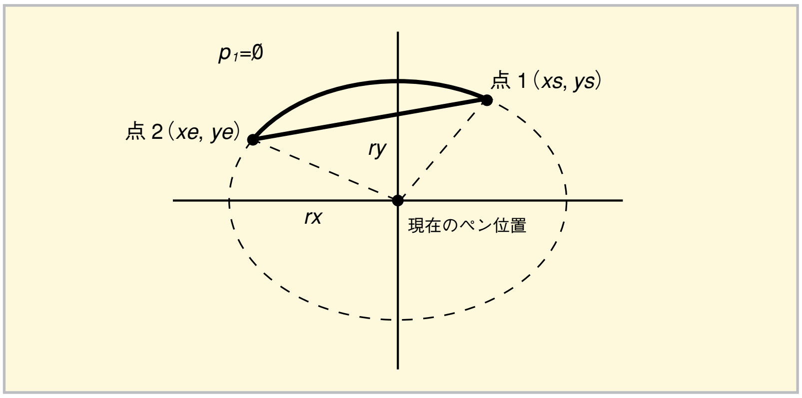
矩形領域に内接する楕円弧を基に弓形を描画する。

形　式　C V *rx* , *ry* , *xs* , *ys* , *xe* , *ye* , p_1 , p_2 ;

パラメーター

① *rx*.............x半径
② *ry*.............y半径
③ *xs*............点1のx座標（絶対座標）
④ *ys*............点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe*............点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye*............点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1.............描画モード
⑧ p_2.............描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ry の楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に弓形を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画する。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p_2＝0の時、反時計回り。
  p_2＝1の時、時計回り。
  省略時は反時計回りになります。
  p_2に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、弓形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。



記述例　現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする弓形を描画するとき

LPRINT　CHR$（&h43）; CHR$（&h56）; " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
または
LPRINT　"CV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "; "

扇形描画

扇形の描画 FV

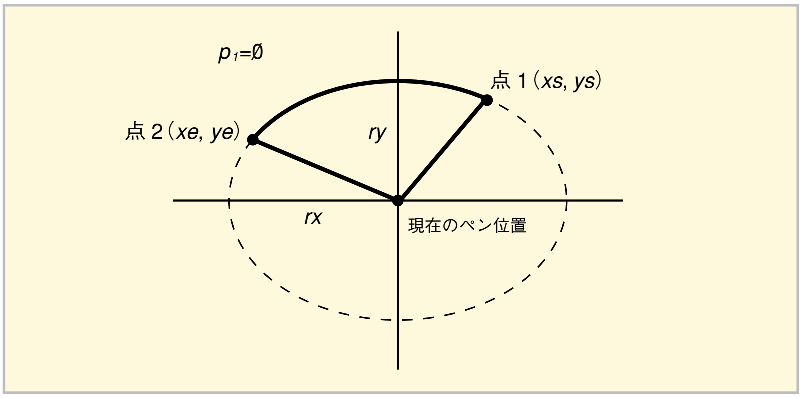
矩形領域に内接する楕円弧を基に扇形を描画します。

形　式　F V *rx* , *ry* , *xs* , *ys* , *xe* , *ye* , p_1 , p_2 ;

パラメーター

① *rx*.............x半径
② *ry*.............y半径
③ *xs*............点1のx座標（絶対座標）
④ *ys*............点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe*............点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye*............点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1.............描画モード
⑧ p_2.............描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ry の楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に扇形を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画します。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p_2＝0の時、反時計回り。
  p_2＝1の時、時計回り。
  省略時は反時計回りになります。
  p_2に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、扇形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。



記述例　現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする扇形を描画するとき

```
LPRINT   CHR$（&h46）; CHR$（&h56）; " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
または
LPRINT   "FV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "; "
```

角丸矩形描画

角丸矩形の描画　RB

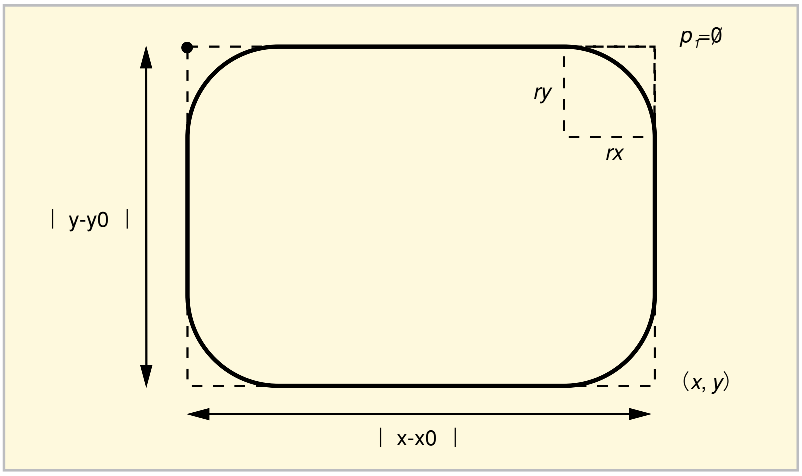
指定された2点を基に角丸矩形を描画する。

形　式　R B *x* , *y* , *rx* , *ry* , p_1 ;

パラメーター

① *x* ....矩形の対角のx座標（絶対座標）
② *y* ....矩形の対角のy座標（絶対座標）
③ *rx* ....角丸のx半径
④ *ry* ....角丸のy半径
⑤ p_1.............描画モード

- 現在のペン位置からx、yで示される矩形の角に半径rx、ryの1/4楕円を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画します。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- ｜x-x0｜＞2 × *rx*かつ｜y-y0｜＞2 × *ry*のとき角丸めを行い、それ以外は角丸めを行いません。
- *x*、*y*半径が32767 - 解像度を超える場合は、32767 - 解像度に丸める。
- 対角点の座標（プリンター座標系）が-32768〜32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。



記述例　現在のペン位置から *x*、*y*で示される矩形に半径 *rx*、*ry*の角丸矩形を描画するとき

```
LPRINT　CHR$（&h52）; CHR$（&h42）; " x, y, rx, ry, p1; ";
または
LPRINT　" RB x, y, rx, ry, p1; ";
```

ディスプレイ表示一覧

ディスプレイの表示の一覧を以下の表に示します。

表示の種類		表　示	表示の意味
通常表示	給紙方法に関する表示	ホッパ　XXX　XXX	ホッパー給紙を選択しています。
		ホッパ1　XXX　XXX	上から1段目のホッパーからの給紙を選択しています。*
		ホッパ2　XXX　XXX	上から2段目のホッパーからの給紙を選択しています。*
		ホッパ3　XXX　XXX	上から3段目のホッパーからの給紙を選択しています。*
		ホッパ4　XXX　XXX	上から4段目のホッパーからの給紙を選択しています。*
		トレー　XXX　XXX	手差しトレー給紙を選択しています。
	用紙サイズに関する表示	XXX　A3　XXX	A3サイズの用紙を選択しています。
		XXX　B4　XXX	B4サイズの用紙を選択しています。
		XXX　A4　XXX	A4サイズの用紙を選択しています。
		XXX　B5　XXX	B5サイズの用紙を選択しています。
		XXX　A5　XXX	A5サイズの用紙を選択しています。
		XXX　LT　XXX	レターサイズの用紙を選択しています。
		XXX　ハガキ　XXX	はがきサイズの用紙を選択しています（手差しトレー使用時）。
		XXX　フウトウ　XXX	封筒サイズの用紙を選択しています（手差しトレー使用時）。
		XX　ハガキ×2　XXX	往復はがきサイズ（横置き）の用紙を選択しています（手差しトレー使用時）。
		XXX　テイケイガイ　XXX	定形外用紙を選択しています。
	縮小／拡大モードに関する表示	XXX　A4→A3　XXX	A4サイズのデータをA3サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　B4→A3　XXX	B4サイズのデータをA3サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　A3→B4　XXX	A3サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　LP→B4　XXX	帳票サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　A4→B4　XXX	A4サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　B5→B4　XXX	B5サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　A3→A4　XXX	A3サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B4→A4　XXX	B4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　LP→A4　XXX	帳票サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　A4 × 2　XXX	A4サイズ2ページ分のデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B4→B5　XXX	B4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　A4→B5　XXX	A4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B5 × 2　XXX	B5サイズ2ページ分のデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B5→A4　XXX	B5サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
	印刷方向に関する表示	XXX　XXX　ポート	印刷方向にポートレートを選択しています。
		XXX　XXX　ランド	印刷方向にランドスケープを選択しています。

*　オプションの増設ホッパーを取りつけている場合のみ表示されます。

表示の種類		表　示	表示の意味
通常表示	用紙の種類に関する表示	フツウシ　　XXX　XXX	普通紙を選択しています。
		サイセイシ　XXX　XXX	再生紙を選択しています。
		ヤヤアツガミ　XXX　XXX	やや厚紙を選択しています。
		アツガミ　　XXX　XXX	厚紙を選択しています。
		ゴクアツガミ　XXX　XXX	ごく厚紙を選択しています。（ホッパ1、手差しトレー使用時）
		ハガキ　　　XXX　XXX	はがきを選択しています。（手差しトレー選択時）
		フウトウ　　XXX　XXX	封筒を選択しています。（手差しトレー選択時）
		ラベル　　XXX　XXX	ラベルを選択しています。（手差しトレー選択時）
		コートシ1　XXX　XXX	コート紙1を選択しています。（手差しトレー選択時）
		コートシ2　XXX　XXX	コート紙2を選択しています。（手差しトレー選択時）
		OHP　　XXX　XXX	OHPシートを選択しています（手差しトレー使用時）。
		カスタム　　XXX　XXX	カスタムを選択しています。
	両面印刷に関する表示	XXX　　XXX　リョウメン	両面印刷を選択しています。
ステータス表示		コピー　XX　マイ	コピー枚数がXX枚に設定されています。コピー枚数はメニューモードで最大20枚まで設定できます。この表示は、コピー枚数をメニューモードで2枚以上に設定したときに、給紙方法・用紙サイズ・印刷方向（例：“ホッパA4ポート”）の表示と交互に表示されます。コピー枚数が1枚（オリジナルのみ）の場合には表示されません。
		イニシャライズチュウ	電源投入時のイニシャライズを実行中です。
		ウォームアップチュウデス	ウォームアップ中です。
		チョウセイチュウ	画質を一定に保つための調整を行っています。
		ジュシンチュウ	データを受信中です。
		セツデン1チュウ	節電モード1で節電中です。
		ショリチュウ	データ処理を実行中です。データ処理が終了し、用紙が排出可能となるまで表示されます。
		インサツチュウ	印刷中です。用紙が排出されるまで、表示されます。
		テストインサツチュウ	テスト印刷を実行中です。
		データガノコッテイマス	未印刷データがプリンター内に残っています。
		16シンダンプチュウ	16進ダンプ印刷を実行中です。
		リセットジッコウ	リセット中です。
アラーム表示		ホッパX　XX　ホキュウ トレー　　XX　セット	用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がありません。増設ホッパーを取り付けている場合には、「ホッパX」のXの箇所に選択しているホッパー番号が表示されます。
		ヨウシカセット　ナシ XXX	用紙カセットがセットされていません。Xの箇所にセットされていないカセットが表示されます。
		72　カバーオープン フロントカバー	フロントカバーが開いています。
		72　カバーオープン ヒダリカバー	左カバーが開いています。
		72　カバーオープン リョウメンカバー	両面カバーが開いています。
		72　カバーオープン ゾウセツホッパカバー	増設ホッパーのカバーが開いています。
		73　ミソウチャク XXX	消耗品が取り付けられていません。XXXには、取り付けられていない消耗品が表示されます。
		74　カミヅマリ XXX	紙づまりが発生しています。ディスプレイ下段には紙づまりが発生している箇所が表示されます。
		75　ヨウシサイズエラー XXX	指定されているサイズと異なる用紙がセットされています。XXXの箇所に発生している場所が表示されます。
		76　ショウモウヒンカクニン XXX	消耗品の寿命が近いことを示しています。お早めに新しい消耗品を用意してください。
		77　テイキコウカン XXX	定期交換部品の交換時期です。
		78　ハイシスタッカフル	スタッカーが一杯です。
		79　キュウシイジョウ XXX　ハ　ツカエマセン	給紙機構に異常が発生しています。XXXの箇所に異常が発生しているホッパーが表示されます。

表示の種類	表　示	表示の意味
アラーム表示（続き）	81　タイプチガイ XXX　コウカン	消耗品のタイプが違います。
	83　インサツフカ メモリヲゾウセツシテクダサイ	プリンターのメモリーオーバーのため解像度を落として印刷しようとしましたがそれでもメモリーが不足したため印刷できませんでした。
	84　フォーム　オーバー XXX	フォーム登録に必要なメモリーが不足しています。
	85　ショウモウヒンジュミョウ XXX	消耗品の寿命です。XXXには、寿命に達した消耗品が表示されます。
	87　セツゾクエラー インタフェース3	インターフェース3への不正な接続をしています。
	88　OHPセットエラー タダシクセットシテクダサイ	使用できないOHPフィルムが使用されているか、大きな斜行が発生しています。
	89　ヨウシザンリョウカクニン XXX	用紙の残量が少なくなっています。XXXには用紙残量が少なくなったホッパーが表示されます。
	91　ヨウシシュベツフイッチ XXX　XXX	コマンドで指定された用紙の種別と操作パネルで設定された用紙の種別が不一致であることを示します。XXXには不一致が発生しているホッパーと用紙種別が表示されます。
	その他の表示	障害が発生しています。
メニュー表示	メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。メニュー表示については7章の「メニューモード」をご覧ください。	

使用できるプリンターケーブル

本プリンターで使用できるプリンターケーブルは次の表のとおりです。お使いになっているコンピューターによって使用できるプリンターケーブルが異なります。

コンピューター		セントロニクスケーブル*1	USB ケーブル*5
PC98-NXシリーズを含むIBM　PC/AT互換機（DOS/V対応機）	PC98-NXシリーズ	PC-PRCA-01 PC-CA205 *2	PR-UCX-02*6
	IBM、富士通、東芝、DELL、その他各社	PC-PRCA-01 *2	
PC-9800シリーズデスクトップタイプミニタワータイプ	98MATEシリーズ（除くAp･As･Ae･Af） 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ（除くBA･BX） 98MULTiシリーズ（除くCe） 98MULTi CanBeシリーズVALUE STARシリーズ CEREB 98FINE PC-H98シリーズ *3	PC-CA202 *4 PC-CA204 *2	－
	PC-98XA･XL･XL^2･R*3	PC-PR801-21 （パソコン本体に標準添付）	－
	上記以外の14ピンパラレルインターフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA203 *2	－
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ *3 SV-98シリーズ	PC-CA202 *4 PC-CA204 *2	－
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf･Np･Nx･Nd･Nm･Ne3･Ne2･Nd2 PC-9801NL/A･NS/A	PC-CA202 *4 PC-CA204 *2	－
	上記以外の20ピンパラレルインターフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19	－
PC-9800シリーズラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202 *4 PC-CA204 *2	－
プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）		PC-CA202 *4 PC-CA204 *2	－

*1　他社のケーブルをお使いになる場合、運用した結果の影響については責任を負いかねます。
*2　ケーブルの長さは4.0m。
*3　ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。
*4　ケーブルの長さは1.5m。
*5　他社のケーブルをお使いになる場合、運用した結果の影響については責任を負いかねます。特に、USB2.0対応ではないケーブルをお使いの場合、転送スピードが低下する場合があります。
*6　ケーブルの長さは2.0m。

ステータス印刷のプリント結果

次にステータス印刷のプリント結果例を示します。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、本プリンターの状態が印刷されます。オプションを接続した後の確認にご使用ください。次にステータス印刷の結果例を示します。設定値が工場出荷時の設定以外はアンダーラインが引かれます。

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊

Color MultiWriter 9700C
00000000

H/W情報

Version	エンジン	00．09．07．03
	NVM	00．09．07．00
	コントローラ	85．16
オプション	両面印刷ユニット	
	フェイスアップ排出ユニット	
	ハードディスク	

給紙構成	ホッパ1	A4
	ホッパ2	A4
	ホッパ3	B4
	ホッパ4	A3
	トレー	B4
メモリ容量	256MB	

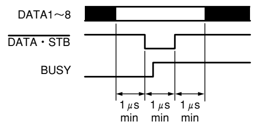
メニュー情報

印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚
	黒トナー節約	OFF
	SET	ON
用紙メニュー	ホッパ初期設定	ホッパ1
	用紙種別エラー表示	ON
	用紙種別設定	
	ホッパ1	指定しない
	ホッパ2	指定しない
	ホッパ3	指定しない
	ホッパ4	指定しない
	トレー	指定しない
	トレー定形外用紙	OFF
	用紙サイズ設定	
	ホッパ1	自動
	ホッパ2	自動
	ホッパ3	自動
	ホッパ4	自動
	リレー給紙設定	
	ホッパ1	OFF
	ホッパ2	OFF
	ホッパ3	OFF
	ホッパ4	OFF
	トレー	OFF
	排紙方法	フェイスダウン
印字位置設定	ホッパ1微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	ホッパ2微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	ホッパ3微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	ホッパ4微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	トレー微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	表面微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	裏面微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
両面印刷メニュー	初期設定	OFF
	綴じ代	ロング1
	余白	0mm
	クリップ	ON
	奇数ページ	片面
運用メニュー	節電機能1　時間設定	30分
	節電機能2　時間設定	60分
	自動排出	無効
	総印字枚数	1枚
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	0
	2バイト系ゼロ	O
	ANK	標準
	漢字	明朝
	文字セット	JIS1978
	国別	日本

NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	無効
I/F設定	インタフェース1	
	双方向設定	ニブル
	インタフェース2	
	DHCP	OFF
	IPアドレス	11.22.33.44
	サブネットマスク	255.0.0.0
	ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0
	イーサネット設定	自動
	アクセス制限	OFF
メモリスイッチ		12345678
	MSW1	00000000
	MSW2	00000000
	MSW3	00000001
	MSW4	00000000
	MSW5	00000000
	MSW6	00000000
	MSW7	00000000
	MSW8	00000000
	MSW9	00000000
	MSW10	00000000

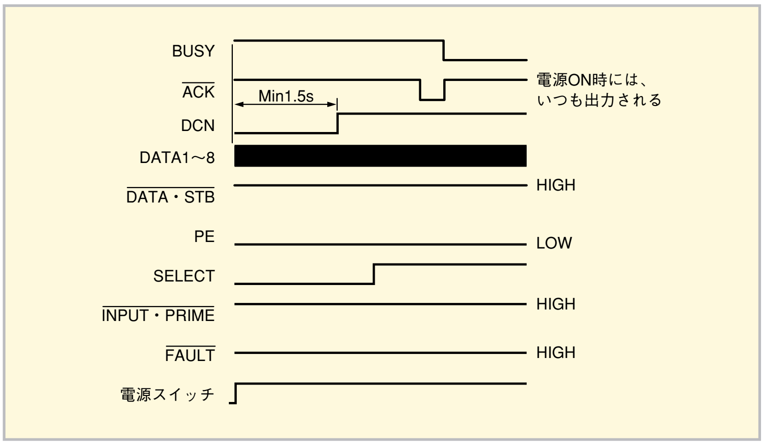
インターフェース

インターフェース信号の機能

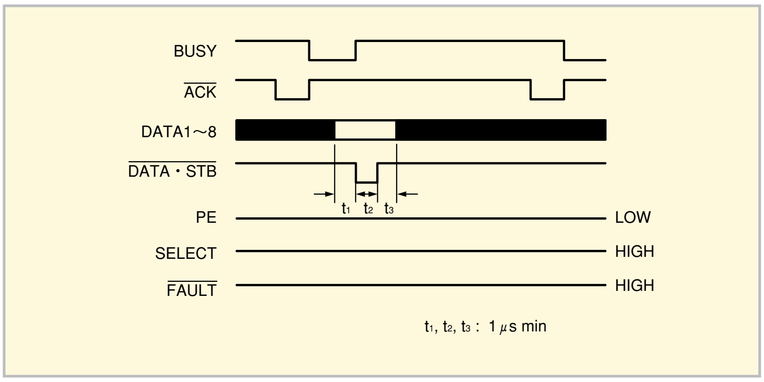
ピン番号	信号名	略称	信号の方向	機能
1	データストローブ	DATA·STB	PR←PC	DATA 1～8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1～8を読み込む。パルス幅は最小1μsとする。 
2 3 4 5 6 7 8 9	データ1 データ2 データ3 データ4 データ5 データ6 データ7 データ8	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	PR←PC	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁（LSB）、DATA 8が最上位桁（MSB）である。上図に示すDATA·STBの前後1μsの範囲でDATA 1～8は確定していること。
10	アクノリッジ	ACK	PR→PC	受信したデータをプリンター内へ取り込み完了したことを示す信号で、DATA·STB受信に対する応答である。ただし、電源ON時、インプットプライム処理終了時、および操作パネルによるリセットの処理終了時には無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約1μsLOWとなるパルスを出力する。
11	ビジィ	BUSY	PR→PC	プリンターがデータ受信不可能（BUSY中）状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 ● SELECT信号がLOWのとき。 ● FAULT信号がLOWのとき。 ● INPUT·PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過したのちHIGHとなり、内部初期化処理が終了するまでの間。 ● データを受信してから、プリンター内へ取り込み完了するまでの間。 ● 操作パネルによるリセットを行ってから、内部初期化処理が終了するまでの間。 ［補足］ 本プリンターは印刷処理用の1ページ分バッファーのほかに、受信用のバッファーを持ち、データを受信するとまず受信用のバッファーに書き込まれる。このため、データの処理が完了しないうちに次のデータを受信することができ、プリンターの動作状態とBUSY信号の状態は同期しない。また、受信用バッファーが満杯になったときはBUSY信号はHIGHを保持し、印刷動作実行などにより余裕が生じたらLOWとなって次の受信を行う。
12	ペーパーエンド	PE	PR→PC	用紙がなくなったときHIGHになる。 ● 設定されたサイズの用紙がホッパーに存在せず、縮小もできない場合 ● データが存在して用紙がない場合
13	セレクト	SELECT	PR→PC	プリンターがセレクト中（HIGH）かディセレクト中（LOW）かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。 ［セレクトになる条件］ ● 電源ONしたとき ● ディセレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 ● メモリースイッチ1-5がOFFで、ディセレクト状態でDC1コードを受信したとき。 ［ディセレクトになる条件］ ● セレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 ● メモリースイッチ1-5がOFFで、DC3コードを受信したとき。 ● PE=1のとき。 ● FAULT=0のとき。
14～15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	デバイスコネクト	DCN	PR→PC	プリンターの電源がONになっていることを表す。操作パネルのリセットスイッチでリセットを実行した場合、最小で1.5秒間LOWとなる。
19～30	GND	—	—	（信号グランドに接続されている。）
31	インプットプライム	INPUT·PRIME	PR←PC	この信号がLOWになるとプリンターは初期状態になる。パルス幅は15μs以上必要。SELECT信号がHIGH、LOWどちらであってもINPUT·PRIMEは有効。INPUT·PRIMEによる初期状態は電源ON時とほぼ同じ状態となる。
32	フォルト	FAULT	PR→PC	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。（本信号をLOWにするときは、必ずBUSYを先または同時にHIGHにすること） ● SELECT＝0のとき。 ● プリンターがエラーのとき。
33	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
34～36	—	—	—	将来の拡張用

タイムチャート

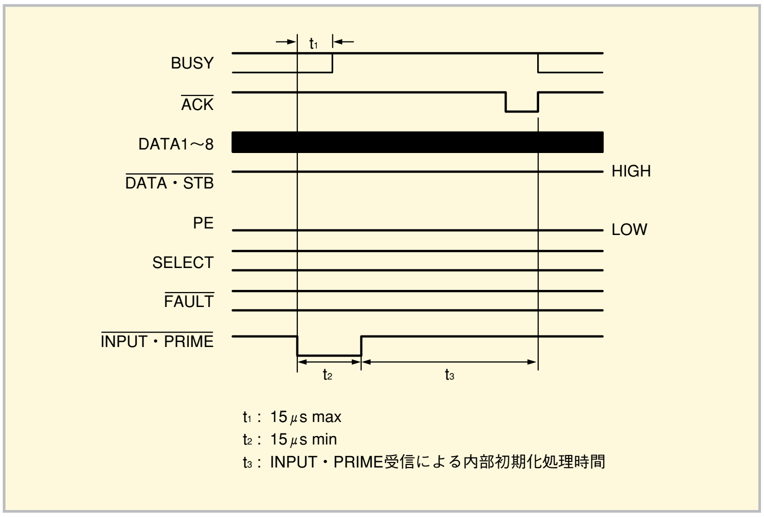
● 電源ON時



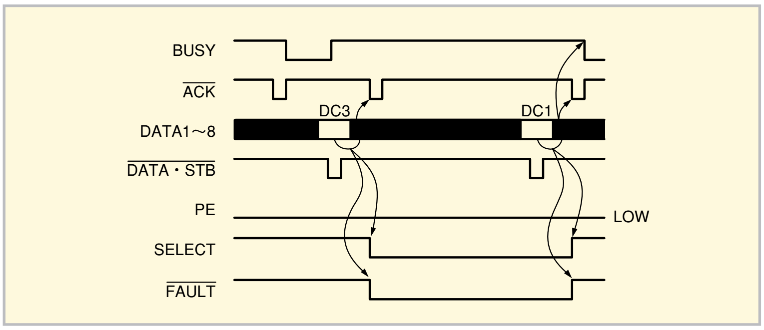
● データ受信時



● INPUT･PRIME受信時



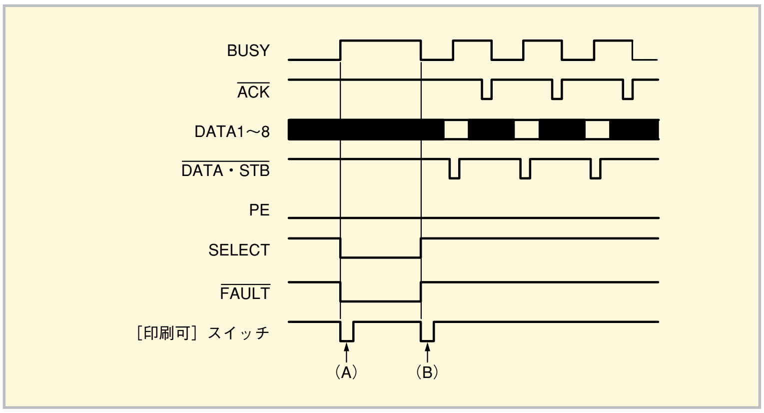
● DC1、DC3によるセレクト、ディセレクトの切り替え



◇ DC1、DC3の処理は受信用バッファーから読み出された後に実行される。

◇ DC3処理後はBUSY、ディセレクトのため、実際には通常の送信方法ではDC1はプリンターに対して送信できない。

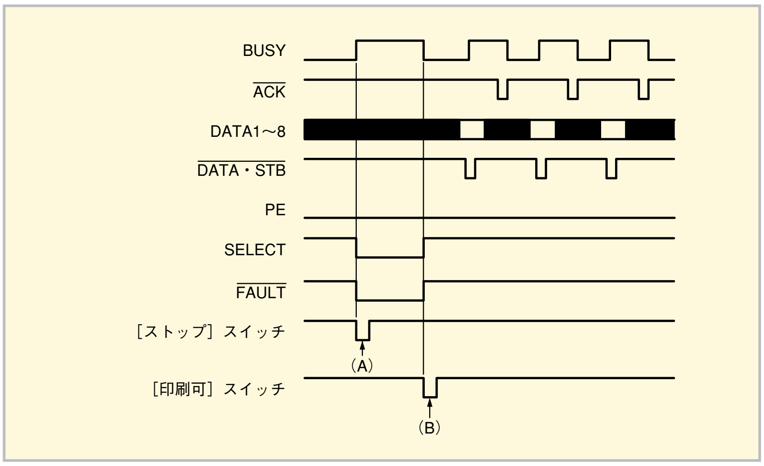
● 操作パネルによるセレクト、ディセレクトの切り替え



(A) セレクト状態で[印刷可]スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。

(B) ディセレクト状態で［印刷可］スイッチを押すとセレクト状態になる。

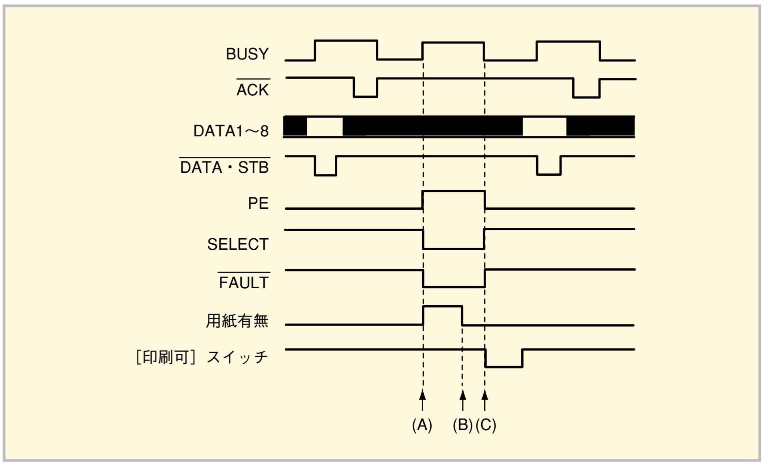
● ［ストップ］スイッチによる一時停止



(A) セレクト状態で［ストップ］スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。

(B) ディセレクト状態で［印刷可］スイッチを押すとセレクト状態になる。

● 用紙なし発生時

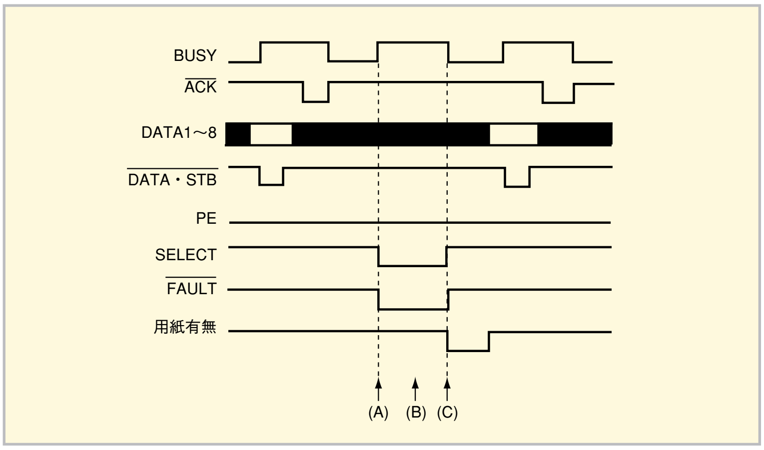


(A) 印刷データ受信後、用紙なしを検出するとただちにディセレクト状態になる。

(B) 用紙をセットする。

(C) 用紙をセットすることによりセレクト状態となり、前の続きの処理を再開する。

● 紙づまり発生時

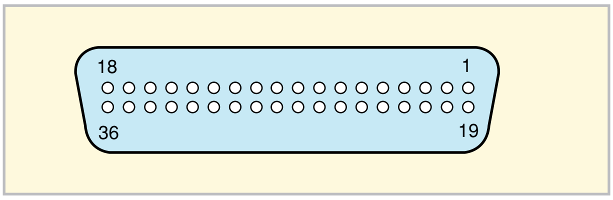


(A) 用紙ジャム発生状態

(B) 用紙を取り除く。用紙が取り除かれるまで状態は続く。

(C) ［印刷可］スイッチを押すことにより印刷を再開する。

コネクターピン配置

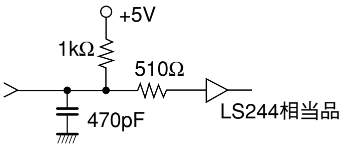
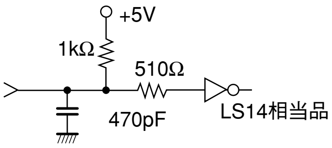


各ピンの信号については「インターフェース信号の機能」をご覧ください。

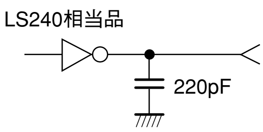
16ピン、19～30ピン、33ピンのピンの端子はプリンター内部で相互に接続されています。

電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
DATA1〜8 ［インタフェース1］	
$\overline{\mathrm{DATA \cdot STB}}$ $\overline{\mathrm{INPUT \cdot PRIME}}$	

出力回路

信号名	回路形式
$\overline{\mathrm{ACK}}$ $\overline{\mathrm{FAULT}}$ BUSY PE SELECT $\overline{\mathrm{DCN}}$	

用語解説

英数字

[?]ボタン

Windows XP、Windows Server 2003, Windows 2000, Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?]ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。

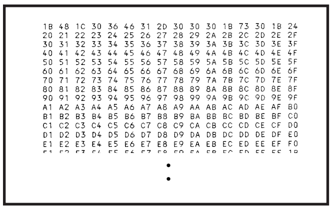


10BASE-T/100BASE-TX

ネットワークの伝送路に関する規格。伝送速度は10BASE-Tが10Mbps、100BASE-TXが100Mbps。本プリンターではこれらの規格のケーブルを使ってネットワークに接続することができる。

16進ダンプ印刷

プリンターが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。プリンターの動作を調べるときに使用する。(→ステータス印刷)



201PL

NECのシリアルプリンター用標準コードのこと。

CR

Carriage Return(キャリッジリターン)の略。改行を表す文字コード。もともとはタイプライターのキャリッジを左端に戻すという意味。プリンターの制御コード(コマンド)のひとつ。

CSV形式

データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する場合の形式のひとつ。データを区切り符号で仕切ることで異なるアプリケーション間でのデータの共有を図ることができる。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略。ネットワーククライアントにIPアドレスなどのパラメーターを配布するプロトコル。DHCPサーバーにおいてIPアドレスなどを一括管理し、クライアントは起動時にDHCPサーバーにIPアドレスの貸し出しを要求する。IPアドレスの一括管理によりアドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。

DPI(dpi)

Dots Per Inchの略。1インチ当たりのドット数。プリンターの解像度などを表す単位。(→解像度)

ECP

Extended Capabilities Portの略。コンピューターとプリンターをつなぐパラレルインターフェースであるIEEE 1284が使用する、データ転送モードのひとつ。米マイクロソフト社と米ヒューレット・パッカード社が中心となって提案した。データ転送速度は従来のセントロニクスの最大150KB/秒に比べ、2MB/秒と高速である。また、双方向通信機能やデータ圧縮機能を備える。使用するにはコンピューターとプリンターなど周辺機器の両方が対応している必要がある。

FF

Form Feedの略。プリンター制御命令のひとつで、改ページを行うためのもの。

IPアドレス

IPはInternet Protocolの略。インターネット上で個々のユーザーを認識する符号(アドレス)。インターネットに接続したコンピューターにはすべてIPアドレスが割り振られる。

IPP

Internet Printing Protocolの略。Windows 2000で標準にサポートされたインターネット印刷プロトコル。イントラネットやインターネットを通じてURLの指定を受けたプリンターに印刷することができる。

IPX/SPX

NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピューターが使用するプロトコル。

ISO 9660

ISO(International Organization for Standardization:国際標準化機構)が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採っており、OSによって異なるフォルダーやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN

Local Area Networkの略。構内情報通信網のこと。

LAN Manager

マイクロソフト社が開発したネットワークOS。NetBEUIプロトコルを用いる。

MIB

Management Information Baseの略。TCP/IP通信でのネットワーク管理用プロトコルのSNMPで、コンピューター間でやり取りされる管理情報を定義したもの。

MOPYING

Multiple Original coPY and printINGの略。NECが提唱するコピー機の代わりにプリンターでオリジナル印刷する新しい「印刷スタイル」。

MS-DOS

Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。現在のパソコンの基礎となったオペレーティングシステム。

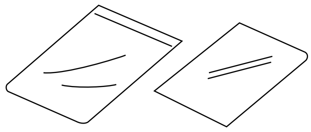
NetBEUI

ネットビューイと読む。IBMによって開発された小規模LAN用のプロトコル。主にLAN ManagerをネットワークOSにしたときに用いられる。

NetWare
ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。

NPDL
NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OHPフィルム
OHP（オーバーヘッドプロジェクター）用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。本プリンターで印刷するときは、手差しトレーを用いる。



OPC
Organic Photo Conductorの略。有機光電導体。ドラムカートリッジのドラムに用いられる有機材。一様に帯電させ、表面に光を照射すると照射量に応じて電荷が失われる現象を利用して潜像を形成する。

OS
Operating System（オペレーティングシステム）の略。コンピューターのハードウエア、ソフトウエアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウエアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウエアを「基本OS」、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。

PrintAgent
双方向通信により、コンピューターの画面上で印刷状況の確認、プリンターの設定をすることを実現したソフトウエア。MultiWriterシリーズに搭載。

RGBガンマ
Red Green Blueガンマ
使用しているモニターで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニターの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

SET
Sharp Edge Technologyの略。MultiWriterシリーズに採用されている高精細印字機能。

TCP/IP
Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめ、Windows XP、Windows Server 2003，Windows 2000，Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType
米国アップルコンピュータ社と米国マイクロソフト社が開発したソフトウエアで、Macintosh/Windows用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX
AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバーにする例が多い。

USB
Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピューターの間を統一したコネクターとケーブルで接続できるインターフェース。

WAN
Wide Area Networkの略。広域情報通信網。離れた場所のLAN同士を接続するネットワークのこと。一般の電話回線や専用回線などを介して接続する。

Windows 2000
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows NTの堅牢性とWindows 98の機能を合わせ持つ、ローエンドからハイエンドまですべての領域をカバーするOS。Windows NT 4.0の後継にあたる。

Windows 95
マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 3.1の後継にあたる。

Windows 98
マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 95の後継にあたる。不具合の修正と機能の強化を図ったアップデート版としてWinodws 98 Second Editionもある。

Windows Me
マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 98の後継にあたる。主にマルチメディア、ネットワークなどの機能強化が図られた。

Windows NT
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバーとして用いられることが多い。

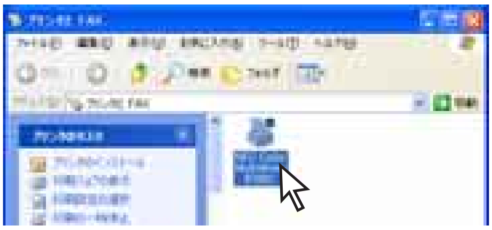
Windows Server 2003
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows 2000 Serverの後継にあたる。

Windows XP
マイクロソフト社が開発したOS。ビジネスユーザー向けとされるWindows 2000の安定性を受け継ぐ。ただし製品としては、Windows 2000の他、家庭向けのWindows Me、Windows 98後継にも位置づけられ、インターネット接続性の機能強化が図れた。

WWW
World Wide Webの略。インターネットに公開されている情報を検索するためのシステムのひとつ。ユーザーはWebブラウザーを通して情報の検索や閲覧を行う。

五十音順

アイコン
アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。



アウトラインフォント
文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アクセスポイント
ネットワークに外部から接続（アクセス）するための受け口。MultiWriterのオプション品である無線LANボードは、アクセスポイント経由の接続に対応する。

アドホック（ad hoc）
無線LAN機器が備える動作設定のひとつ。無線親機（アクセスポイント）なしに、無線LANボードなどの無線子機同士が相互に通信できる。

アドミニストレーター（Administrators）
管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。（→システム管理者）

アプリケーション
文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

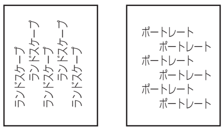
アンインストール
インストールしたソフトウエアを削除し、インストール前の状態に戻すこと。

イーサネット（Ethernet）
LANの伝送路に関する規格。米ゼロックス社と米ディジタルイクイップメント（DEC）社と米インテル社が協同で開発、規格した。3社の頭文字をとってDIX規格と呼ぶこともある。IEEE802.3標準の伝送速度10Mbpsの規格とほぼ同義。コンピューター同士をどのようなケーブルで結び、どのような信号で、どうやり取りするかなどを決めている。同軸ケーブル上で電波を使って通信する仕組みで、複数の端末が通信するために、CSMA/CDという信号制御方式を採用している。現在では同軸ケーブルではなくツイストペアケーブルを使うことが多い。

イニシャライズ
初期状態にすること。例えば、メモリーの内容を全部ゼロにしたり,プログラム中のカウンターをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ
アプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き
用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。横長（ランドスケープ）と縦長（ポートレート）がある。

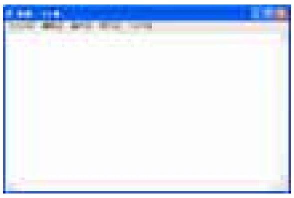


印刷範囲
プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール
一般にはシステムや装置を設置するという意味。ソフトウエアではOSやアプリケーションをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース
2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。

ウィンドウ
アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。



ウォームアップ
プリンターの電源をONにした後、ヒートローラーが一定の温度になり印刷が可能になるまでの状態をいう。

エミュレーション機能
他のプリンターのために開発されたソフトウエアの制御コードを本プリンターで使用できるようにする機能。たとえば、PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。この機能を実現するためのプログラムをエミュレーターと呼ぶ。

エリート文字
1インチ当たり12文字の等間隔で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

解像度
プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ（25.4mm）当たりのドット数で表す。

拡張子
MS-DOS、Windowsなどでファイル名の最後に付加する文字列で、ファイルの種類を表すためのもの。ピリオドに続けて表記される。「.txt」や「.jpg」など。

拡張制御コード
制御コードのうち、ESC（1BH）、FS（1CH）、のように後に続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。（↔基本制御コード）

紙づまり
用紙がつまってプリンターが動作しなくなった状態をいう。

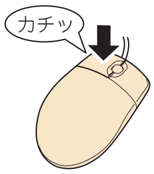
輝度
モニターなどの画面の明るさ。

基本制御コード
制御コードのうち、CR （0DH）、LF（0AH）のように単独で機能を表すコード。（←→拡張制御コード）

クライアント
ネットワークを介して他のコンピューター（またはサーバー）にアクセスしている利用者、または利用者のコンピューター。

クライアント・サーバー（システム）
中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピューター（サーバー）が共有の資源（ハードディスクやプリンター）を管理し、接続を許されたコンピューター（クライアント）が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバー型ネットワークとも呼んでいる。
（→ピア・ツー・ピア）

クリック
マウスのボタンを押して素早く放す操作のこと。



グレースケールイメージ
白黒写真のように色彩情報がなく、ドットの多少により明暗を表現するグラフィックスイメージ。
（→ハーフトーン）

現像ユニット
OPCドラム上に形成された潜像に、負帯電させたトナーを付着させる役目を持つ。ドラムカートリッジに内蔵されている。

コマンド
コンピューターに行わせたい作業を実行するために選択または入力する命令。

コンデンス文字
1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

コントラスト
グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル
Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などパソコンのさまざまな設定を行うための画面をいう。

サスペンド機能
データやプログラムを作業時の状態のままにしてパソコンの動作を一時停止させる機能。

システム管理者
コンピューターシステムを管理する人。
あるグループ全体のコンピューターや周辺装置、ソフトウエアなどシステムを構成する様々な要素に関する情報をもとに、システムが効果的に運用できるように管理する。

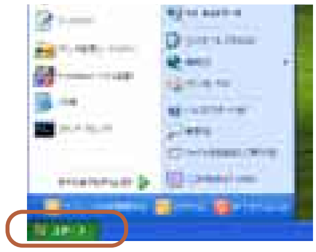
自動給紙
カット紙（単票用紙）を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出
コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンター
文字単位で印刷を行うプリンターの総称。

ジョブ結合
PrintAgent リプリント2で実現する機能。これを利用すると一度印刷してスプールしてあるドキュメントを組み合わせて、一つにまとめて印刷することができる。再印刷のために複数のアプリケーションを起動する手間を省くことができる。

[スタート]ボタン
Windows XP、Windows Server 2003，Windows 2000，Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95でアプリケーションソフトの選択、起動、ファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。



ステータス印刷
テスト印刷のうちのひとつ。給紙構成や動作モード、メモリースイッチの設定状態などプリンターの状態を印刷するもの。

スプール
ドキュメント（文書）を印刷する場合に印刷データをコンピューターのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピューターでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード
プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。たとえば、CR（改行コード）やFF（改ページ）など。

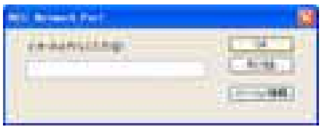
セントロニクス・インターフェース
旧セントロニクス社が開発したプリンターとコンピューター間の通信仕様。仕様名として当時の会社名がそのまま使われ続けている。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンター用のインターフェース規格として広く使用されている。本プリンターは標準の36ピン・パラレルコネクターで使用できる。

双方向通信
コンピューターとプリンターの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するための必須条件。コンピューターから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピューターに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信には、セントロニクスインターフェースか双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピューターである、またはUSBやネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウエア
コンピューターやプリンターなどハードウエアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタードライバーなどの総称。（←→ハードウエア）

ダイアログボックス

設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。



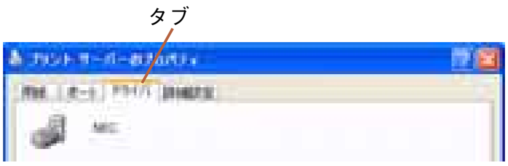
タイトルバー

ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー]ボックスや[最大表示]、[アイコン化]、[最小化]ボタンなどもついている。



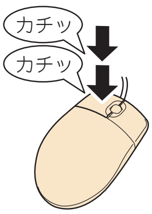
タブ

Windowsで、ダイアログボックスの中に複数の設定画面(シート)がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみのこと。



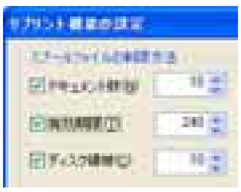
ダブルクリック

マウスのポインター（矢印）を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。



チェックボックス

ダイアログボックスの中の小さな正方形で、ON／OFFの切り替えができるオプション（機能）を示す。オンにするとチェックボックスに×や✓印が表示される。



通常使うプリンタ

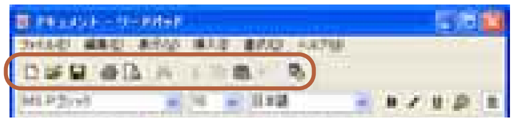
アプリケーションで[印刷]コマンドを実行し、プリンターの指定を省略したときにその印刷データを印刷するプリンター。

坪量

用紙の重さを表す単位。用紙1枚1㎡単位の重さをいう。(ユーザーズマニュアルで使用している用紙の坪量は、64.0g/㎡)。

ツールバー

ウィンドウのメニューバーの下のボタンがついている部分。



定着ユニット

用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

テスト印刷

プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

電子ソート

複数部数を印刷する場合にコンピューターから一部目だけ印刷データを送り、二部目以降はプリンターのハードディスクからデータを送る機能。オプションのハードディスクをプリンターに取り付けることで実現する。

動作環境

ソフトウエアや周辺機器が正しく動作するために必要な環境条件。

ドライバー

周辺装置やそのインターフェースをコントロールするプログラム。

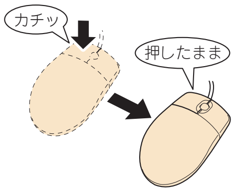
(→プリンタードライバー)

ドライブ名

ハードディスク内やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどの領域に割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。



ネットワーク

複数のコンピューターや周辺機器をケーブルまたは他の手段を用いて接続し、情報交換したり機器を共有したりできるようにしたコンピューターの集団。

バーコード

白と黒の縞模様を線の太さと間隔を変えながら書き並べてデータを表し、印刷されたコード。国名、商品名、価格など、主として流通や商品管理で必要な管理情報、POS用のコードを表すのに使われる。本製品は、カスタマバーコード、NW-7、JAN、CODE 39、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5に対応する。

ハードウエア

コンピューター本体、キーボード、マウス、コンピューターやプリンターなどコンピューターシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。(⇔ソフトウエア)

ハーフトーン
画像を表示・出力する際に、一定間隔の点（網点）に分解し、それぞれの黒い点の大きさを変えることで濃淡を表現する。大きい点は濃いグレー、小さい点は薄いグレーになる。

バッファーフル
ページバッファーに1ページ分の印刷データがたまることをバッファーフルという。バッファーフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ハブ
LANでコンピューターなどの端末を放射線状に配線する際、中心に配置する集線装置。一般には10BASE-Tや100BASE-TXのLANケーブルを接続する集線装置を指す。RJ-45のジャックを4～32口程度持つ箱で、各コンピューターのLANボードとツイストペアケーブルで接続して使う。動作によってリピーターハブとスイッチングハブ（スイッチ）に大別できる。

パラレルインターフェース
同時に複数の信号を並列に送るデータ転送方式、あるいは物理的な接続コネクターのこと。MultiWriterとコンピューター間ではセントロニクス仕様に準拠した方式（IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース）が用いられる。

ピア・ツー・ピア
小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバーコンピューターを必要とせず、コンピューターどうし、コンピューターとプリンター間で相互に通信が可能となる。本プリンターをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボード／LANアダプターが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。（↔クライアント・サーバー（システム））

ピア・ツー・ピアグループ
無線LAN機器が備える設定のひとつ。無線親機（アクセスポイント）なしで、無線LANボードなどの無線子機同士が相互通信できる。

ヒートローラー
定着ユニットにあり、プレッシャーローラーとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

ピクセル
Pixel（Picture elementからの合成語）。画素とも言う。ディスプレイの画面に表示できる情報の最小単位。

ビットマップ
画面やプリンターに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷
見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント
同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリー
電源をOFFにしても記憶した内容が消えないメモリー。

ブラウザー
インターネット上のWebページを閲覧（ブラウズ）するためのソフトウエア。WWWブラウザーとも呼ぶ。主なものに、Microsoft Internet Explorer やNetscape Navigatorがある。

ブラシパターン
図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンターケーブル
コンピューターとプリンターを接続するケーブル。

プリンタードライバー
コンピューターとプリンターの間のやり取りを仲介するプログラム。インターフェースやフォントの指定、インストールされたプリンターの機能などの情報を、OSに提供する。

プリンターバッファー
一般にコンピューターの処理速度は速くプリンターの処理速度は遅い。したがって、プリンターでの印刷をしている間コンピューターは何もしないで待つという状態が発生する。そこで、コンピューターから送られたデータをいったん記憶装置に蓄え、プリンターの処理に合わせて順次その記憶装置からプリンターに印刷データを送ることにする。これによってコンピューターは印刷の終了を待たずに印刷処理から解放され､別の仕事をすることができる｡この記憶装置をプリンターバッファーと呼ぶ。

プリンタープール
複数の同じ印刷装置をひとつの論理プリンターとして関連づけて印刷を行うこと。

プロトコル
コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ
ファイルやソフトウエアなどの固有の情報。フォントやウィンドウの色などさまざまな情報の設定、状態などを表す。プリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。

プロポーショナル文字
印刷される文字ごとに、文字幅が異なる文字のこと。

ページ記述言語
１ページ分のテキスト（文字）やグラフィック（図形）のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

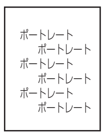
ページプリンター
ページ単位で印刷を行うプリンター。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリー上に展開（作成）して印刷を行うプリンターのこと。

ポイント（マウスの）
マウスのポインターを目的の項目の上に置く動作。

ポイント（文字の）
印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート
コンピューターが外部とデータをやり取りするときに使用するケーブルの接続部分。

ポートレート
用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。（↔ランドスケープ）



ボタン
ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。



マウスポインター
マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。ポインターの形は設定やアプリケーションによって異なる。



丸め誤差
四捨五入や切り捨て、切り上げなどで、切りのいい数字にすることによって生じた誤差。

無線LAN
ケーブルの代わりに電波などを利用してネットワーク（LAN）を構成するシステム。IEEE802委員会がIEEE802.11標準として勧告しているシステムが代表例。MultiWriterのオプション品である無線LANボードは、IEEE802.11bに準拠している。

メニュー
ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。



メニューバー
すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。



メモリー
データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

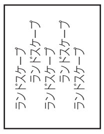
メモリースイッチ（MSW）
不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にON／OFFを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

メモリースイッチ設定モード
プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

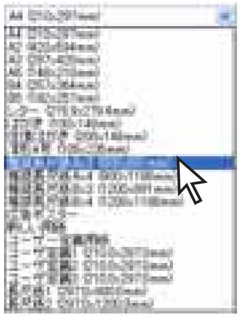
ラジオボタン
ダイアログボックスで複数の項目の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでONだったものが連動してOFFになる。



ランドスケープ
用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。（←→ポートレート）



リストボックス
ユーザーに対して項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。



リプリント
一度印刷した印刷データのスプールファイルを利用して再印刷する機能。この機能を使うと、いちいちアプリケーションを再起動する必要がない。標準シートとジョブ結合シートがある。
PrintAgent リプリント2のウィンドウを使って実現し、その際に、丁合いの設定も可能。



PrintAgent リプリント2のウィンドウ

ローカルプリンター
コンピューターと直接プリンターケーブルで接続しているプリンター。

索引

記号

A

B

C

D

E

F

G

I

L

M

N

O

P

S

T

U

V

W

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

キ

ク

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

レ

ロ

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性一第3-2部：限度値一高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、ネットワークオプション*の無線LANボード(型番：PR-WLX-13)、マルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）を取り付けた場合、この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

なお、この装置にネットワークオプション*のLANアダプタ（TCP/IP）（型番：PR-NP-03TR2）およびスキャナオプション*（型番：PR-MW-SC21）を接続して使用した場合、接続したオプションを含むプリンター全体としては情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置になります。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

* オプションについては、ユーザーズマニュアルを参照してください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

Color
MultiWriter 9700C
カラーレーザプリンタ



NEC